

第145回社会保障審議会医療保険部会 議事次第

令和3年9月22日（水）
14時00分～16時00分
場所：オンライン開催

（議題）

1. 令和4年度診療報酬改定の基本方針について
2. オンライン資格確認等システムについて
3. 医療費における保険給付率と患者負担率のバランス等の
定期的な見える化について
4. 令和2年度医療費の動向
5. 令和4年度予算概算要求（保険局関係）

（配布資料）

- | | |
|--------|---|
| 資料 1 | 令和4年度診療報酬改定の基本方針の検討について |
| 資料 2 | オンライン資格確認等システムについて |
| 資料 3 | 医療費における保険給付率と患者負担率のバランス等の 定期的な見える化について |
| 資料 4-1 | 令和2年度医療費の動向 |
| 資料 4-2 | 医療費の動向 令和2年度4月～3月 |
| 資料 4-3 | 医療費の動向 令和3年度4月～5月<暫定版> |
| 資料 5 | 令和4年度予算概算要求（保険局関係）の主な事項 |

- | | | |
|---------|--------------------|-------|
| 参考資料1 | 診療報酬改定の基本方針 | 参考資料 |
| 参考資料2-1 | 令和2年度医療費の動向 | 概算医療費 |
| 参考資料2-2 | 令和2年度医療費の動向 | 医科医療費 |
| 参考資料2-3 | 令和2年度医療費の動向 | 調剤医療費 |
| 参考資料3 | 令和4年度予算概算要求（保険局関係） | 参考資料 |

社会保障審議会医療保険部会 委員名簿

令和3年9月22日

| | |
|---------------------|----------------------------|
| あきやま ともや 秋山 智弥 | 日本看護協会副会長 |
| あんどう のぶき 安藤 伸樹 | 全国健康保険協会理事長 |
| いけばた ゆきひこ 池端 幸彦 | 日本慢性期医療協会副会長 |
| いしがみ ちひろ 石上 千博 | 日本労働組合総連合会副事務局長 |
| いちのせ まさた 一瀬 政太 | 全国町村会理事／長崎県波佐見町長 |
| いぶか ようこ 井深 陽子 | 慶應義塾大学経済学部教授 |
| かねこ ひさし 兼子 久 | 全国老人クラブ連合会理事 |
| きくち よしみ ○ 菊池 馨実 | 早稲田大学法学学術院教授 |
| さの まさひろ 佐野 雅宏 | 健康保険組合連合会副会長 |
| すがはら たくま 菅原 琢磨 | 法政大学経済学部教授 |
| そでい たかこ 袖井 孝子 | NPO法人高齢社会をよくする女性の会副理事長 |
| たなべ くにあき ◎ 田辺 国昭 | 国立社会保障・人口問題研究所所長 |
| はやし まさずみ 林 正純 | 日本歯科医師会常務理事 |
| はら かつのり 原 勝則 | 国民健康保険中央会理事長 |
| ひらい しんじ 平井 伸治 | 全国知事会会長／鳥取県知事 |
| ふじい りゆうた 藤井 隆太 | 日本商工会議所社会保障専門委員会委員 |
| ほんだ こういち 本多 孝一 | 日本経済団体連合会社会保障委員会医療・介護改革部会長 |
| まえば やすゆき 前葉 泰幸 | 全国市長会相談役・社会文教委員／津市長 |
| まつばら けんじ 松原 謙二 | 日本医師会副会長 |
| もり まさひら 森 昌平 | 日本薬剤師会副会長 |
| よこお としひこ 横尾 俊彦 | 全国後期高齢者医療広域連合協議会会長／多久市長 |

◎印は部会長、○印は部会長代理である。

(五十音順)

令和4年度診療報酬改定の基本方針の検討について

令和4年度診療報酬改定の基本方針の検討について

- 「令和2年度診療報酬改定の基本方針」においては、①改定に当たっての基本認識に続いて、②改定の基本的視点と具体的な方向性を示している。
- これまでの基本方針における改定の視点は、社会保障・税一体改革を経て、これまでの改定でも基本的に継承されてきており、それに各改定時における医療を取り巻く状況を踏まえた重点課題等を追加してきたところである。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえ、当該感染症をはじめとする新興感染症等への対応力の強化を図ることは重要なテーマ。
- また、2040年を展望し、誰もがより長く元気に活躍できる社会の実現を目指して、健康寿命の延伸、人生100年時代に向けた「全世代型社会保障」の実現、給付や負担の見直し等による社会保障の持続可能性の確保についての取組・議論が進められる予定。
- 加えて、患者・国民に身近で、どこに住んでいても適切な医療を安心して受けられる社会の実現、医師等の働き方改革の推進、医療におけるICTの利活用なども引き続き重要となる。



- 令和4年度改定の基本方針においても、令和2年度改定時と同様に、(1)改定に当たっての基本認識、(2)改定の基本的視点と具体的な方向性を示し、次ページのような観点から検討してはどうか。

基本方針

診療報酬改定の議論の基礎



中医協における審議

① 令和4年度診療報酬改定の基本方針について

- 令和4年度改定においても、これまでの改定の視点（※別添参照）をベースとしつつ、近年の社会情勢・医療を取り巻く状況を踏まえたものとしてはどうか。その際、改定に当たっての基本認識や各視点の具体的な検討の方向について、どのようなものが考えられるか。

（1）改定に当たっての基本認識

（例）

新型コロナウイルス感染症をはじめとする新興感染症等に対応できる医療提供体制の構築

（例）

健康寿命の延伸、人生100年時代に向けた「全世代型社会保障」の実現

（例）

患者・国民に身近で、どこに住んでいても適切な医療を安心して受けられる社会の実現、医師等の働き方改革の推進

（例）

社会保障制度の安定性・持続可能性の確保、経済・財政との調和

（参考）令和2年度改定時の「改定に当たっての基本認識」

- ▶ 健康寿命の延伸、人生100年時代に向けた「全世代型社会保障」の実現
- ▶ 患者・国民に身近な医療の実現
- ▶ どこに住んでいても適切な医療を安心して受けられる社会の実現、医師等の働き方改革の推進
- ▶ 社会保障制度の安定性・持続可能性の確保、経済・財政との調和

(2) 改定の基本的視点と具体的方向性

○「視点」の例と「方向」の例における記述は、前回の議論や中央社会保険医療協議会での議論を参考に整理している。

| 「視点」の例 | 「方向」の例 |
|---|---|
| <p>(例) 新型コロナウイルス感染症をはじめとする新興感染症等に対応できる医療提供体制を構築する視点</p> | <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当面、継続的な対応が見込まれる新型コロナウイルス感染症への対応 ・ 医療計画の見直しを踏まえた新興感染症等に対応できる医療提供体制の構築に向けた取組 |
| <p>(例) 医療従事者の負担を軽減し、医師等の働き方改革を推進する視点</p> | <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師等の長時間労働などの厳しい勤務環境を改善する取組の評価 ・ 地域医療の確保を図る観点から早急に対応が必要な救急医療体制等の評価 ・ 業務の効率化に資するICTの利活用の推進 |
| <p>(例) 医療機能の分化・強化、連携と地域包括ケアシステムの推進に関する視点</p> | <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機能や患者の状態に応じた効果的・効率的で質の高い入院医療の評価 ・ 質の高い外来医療を確保するための外来機能の明確化・連携の推進や、かかりつけ機能の強化 ・ 質の高い在宅医療・訪問看護の確保 ・ 地域包括ケアシステムの推進のための取組 |
| <p>(例) 患者・国民にとって身近であって、安心・安全で質の高い医療を実現する視点</p> | <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 患者が安心して医療を受けられる体制の評価 ・ アウトカムに着目した評価の推進 ・ 重点的な対応が求められる分野への適切な評価（安心で安全な不妊治療の評価等） ・ 口腔疾患の重症化予防、口腔機能の管理、生活の質に配慮した歯科医療の推進 ・ 薬局・薬剤師業務の対物中心から対人中心への転換の推進 ・ 医療におけるICTの利活用 |
| <p>(例) 効率化・適正化を通じて、制度の安定性・持続可能性を高める視点</p> | <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品やバイオ後続品の使用促進等の医薬品の適切な使用の促進 ・ 費用対効果評価制度の活用 ・ 市場実勢価格を踏まえた適正な評価 |

(参考) 過去の診療報酬改定の基本方針における視点等

| | 平成22年度改定 | 平成24年度改定 | 平成26年度改定 | 平成28年度改定 | 平成30年度改定 | 令和2年度改定 | |
|---------|--|---|--|--|---|--|--|
| 「重点課題」等 | 1. 救急、産科、小児、外科等の医療の再建 | 1. 病院勤務医等の負担の大きな医療従事者の負担軽減 | 医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実等 | 地域包括ケアシステムの推進、病床の機能分化・連携を含む医療機能の分化・強化・連携 | 地域包括ケアシステムの構築と医療機能の分化・強化、連携の推進 | 医療従事者の負担軽減、医師等の働き方改革の推進 | |
| | ・地域連携による救急患者の受入れ ・新生児等の救急搬送を担う医師 ・後方病床・在宅療養の機能強化 ・手術の適正評価 | ・チーム医療の促進 ・勤務体制の改善等の取組 ・救急外来や外来診療の機能分化 | ・医療機関相互の連携や医療・介護の連携によるネットワーク ・入院医療 ・外来医療(外来医療の機能分化、連携) ・在宅医療(量と質の確保) | ・医療機能に応じた入院医療 ・医療従事者の負担軽減 ・地域包括ケアシステム推進のための取組 ・質の高い在宅医療、訪問看護 ・外来医療の機能分化 | ・地域包括ケアシステム構築のための取組の強化 ・かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師・薬局 ・医療機能や患者の状態に応じた入院医療 ・外来医療の機能分化、重症化予防 ・質の高い在宅医療・訪問看護 ・国民の希望に応じた看取りの推進 | ・医師等の長時間労働などの厳しい勤務環境の改善 ・地域医療の確保を図る観点から早急に対応が必要な救急医療体制 ・業務の効率化に資するICTの利活用の推進 | |
| | 2. 病院勤務医の負担軽減(医療従事者の増員に努める医療機関への支援) | 2. 医療と介護の役割分担の明確化と地域における連携体制の強化の推進及び地域生活を支える在宅医療等の充実 | | | | | |
| | ・医師以外の医療職等の役割 ・地域の医療機関や医療・介護関係職種との連携 ・医療クラークの配置 | ・医療・介護の連携 ・在宅医療を担う医療機関の役割分担・連携 ・看取りに至るまでの医療の充実 ・早期の在宅療養や地域生活への復帰 ・在宅歯科・在宅薬剤管理、訪看の充実 | | | | | |
| 「改定の視点」 | 医療機能の分化・連携の推進 | ・質が高く効率的な急性期入院医療や回復期リハ等 ・在宅医療、訪問、在宅歯科医療 ・介護関係者も含めた多職種連携 | ・病院機能にあわせた入院医療 ・慢性期入院医療 ・医療提供の困難地域への配慮 ・診療所の機能 ・医療機関間の連携 | — ※【重点課題】に記載あり | — ※【重点課題】に記載あり | — ※【重点課題】等に記載あり | |
| | 患者にわかりやすく、QOLを高める医療 | ・わかりやすい診療報酬体系等 ・医療安全対策 ・心身の特性やQOLの配慮 ・疾病の重症化予防 | ・診療報酬点数表の平易化・簡素化 ・医療安全対策 ・患者に対する相談支援体制 ・明細書無料発行 | ・診療報酬点数表の平易化・簡素化 ・医療安全対策 ・患者に対する相談指導 ・明細書無料発行 ・入院中ADL低下予防 ・患者データの提出 | ・かかりつけ医、歯科医、薬剤師・薬局 ・ICTによる医療連携、医療データの収集・利活用 ・質の高いリハビリテーション | ・かかりつけ機能 ・患者にとって必要な情報提供、相談支援 ・重症化予防の取組 ・仕事と治療の両立に資する取組 ・ICTの利活用 | |
| | 充実が求められる領域の評価 | ・がん医療 ・認知症 ・新医療技術や医薬品等のイノベーション ・精神科入院医療 ・歯科医療 ・新型インフル等の感染症 ・肝炎 ・手術以外の医療技術 | ・がん医療 ・認知症 ・医療技術、医薬品等のイノベーション ・精神疾患 ・歯科医療 ・生活習慣病 ・感染症 ・リハビリテーション ・手術等の医療技術 | ・がん医療 ・認知症 ・イノベーション ・精神科医療 ・歯科医療 ・救急医療、小児医療、周産期医療 ・リハビリテーション ・投薬管理 ・医療技術 | ・がん医療 ・認知症 ・精神医療 ・難病 ・小児医療、周産期医療、救急医療 ・歯科医療 ・薬学管理 ・医療技術、イノベーション | ・がん医療 ・認知症 ・精神医療 ・難病 ・小児医療、周産期医療、救急医療 ・歯科医療 ・医療技術、イノベーション ・ICT技術の導入、データの収集活用 ・アウトカムに着目した評価 | ・がん医療 ・認知症 ・精神医療 ・難病 ・小児医療、周産期医療、救急医療 ・医療技術、イノベーション ・歯科医療 ・薬局の対物から対人への業務転換 ・ICTの利活用 ・アウトカムに着目した評価 |
| | 効率化できる領域の適正化 | ・後発医薬品 ・市場実勢価格の反映(医薬品、医療材料、検査等) ・新技術への置換え | ・後発医薬品 ・市場実勢価格の反映(医薬品、医療材料、検査等) ・平均在院日数減少、社会的入院は正 ・治療効果が低くなった技術の評価 | ・後発医薬品 ・医薬品、医療機器、検査等の評価 ・長期収載品の薬価特例的引下げ ・平均在院日数の減少や社会的入院の是正 ・大規模薬局の調剤報酬の適正化 | ・後発医薬品、長期収載品 ・退院支援 ・医薬品の適正使用 ・医薬分業のための調剤報酬 ・重症化予防 ・医薬品、医療機器、検査等の評価 | ・薬価制度 ・後発医薬品 ・費用対効果の評価 ・医薬品の適正使用 ・薬局の評価 ・医薬品、医療機器、検査等の評価 | ・後発医薬品やバイオ後続品 ・費用対効果評価制度の活用 ・市場実勢価格を踏まえた適正な評価 ・医師・院内薬剤師と薬局薬剤師の協働の取組による医薬品の適正使用 |
| | | | | 【医療従事者の負担軽減】 ・チーム医療 ・医療従事者の負担軽減の取組 ・救急外来の機能分化 | | 【医療従事者の負担軽減、働き方改革】 ・チーム医療、勤務環境の改善 ・業務の効率化、合理化 ・医療従事者の負担軽減の取組 ・多職種連携 | 【医療従事者の負担軽減、医師等の働き方改革の推進】 ※【重点課題】等に記載あり |

令和2年度診療報酬改定のスケジュール

令和元年

社会保障審議会(医療保険部会、医療部会)

秋以降 令和2年度診療報酬改定の基本方針の議論
12月10日 令和2年度診療報酬改定の基本方針の策定

内閣

12月17日 予算編成過程で、診療報酬の改定率を決定

令和2年

厚生労働大臣

1月15日
中医協に対し、
・ 予算編成過程を通じて内閣が決定した「改定率」
・ 社会保障審議会で策定された「基本方針」
に基づき改定案の調査・審議を行うよう諮問

厚生労働大臣

3月5日 診療報酬改定に係る告示・通知の発出

中央社会保険医療協議会

1月以降 入院医療、外来医療、在宅医療等のあり方
について議論

平成30改定の検証結果も含め、
個別項目について集中的に議論

11月13日 医療経済実態調査の結果報告

12月4日 薬価調査・材料価格調査の結果報告

1月以降 厚生労働大臣の諮問を受け、具体的な診療
報酬点数の設定に係る調査・審議
(公聴会、パブリックコメントの実施)

2月7日
厚生労働大臣に対し、改定案を答申

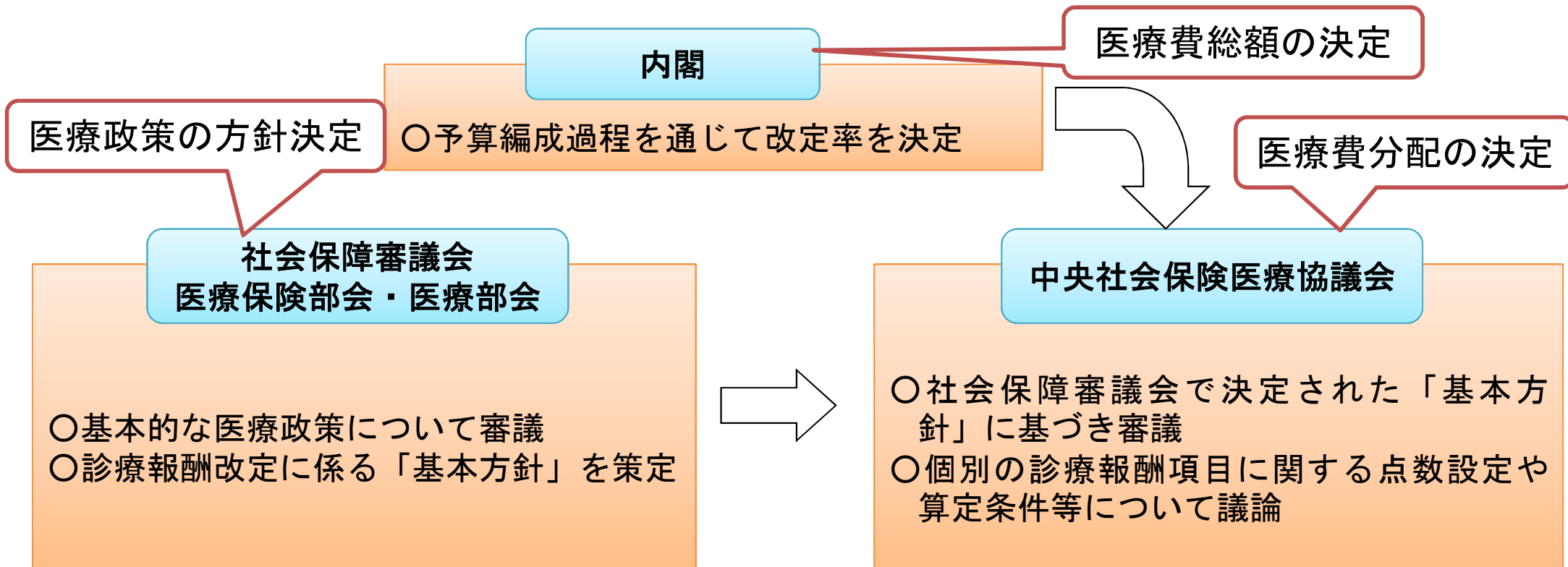
令和2年4月1日 施行

診療報酬改定の流れ

(参考2)

診療報酬改定は、

- ① 予算編成過程を通じて内閣が決定した改定率を所与の前提として、
- ② 社会保障審議会医療保険部会及び医療部会において策定された「基本方針」に基づき、
- ③ 中央社会保険医療協議会において、具体的な診療報酬点数の設定等に係る審議を行い実施されるものである。



オンライン資格確認等システムについて

1. 医療機関・薬局の対応状況について

医療機関・薬局におけるオンライン資格確認システムの導入準備状況

(2021/9/12時点)

1. 現在の申込状況

オンライン資格確認の導入予定施設数

<顔認証付きカードリーダー申込数>

128,794施設 (56.3%) / 228,912施設

| 【内訳】 | | | |
|-------|----------|----------|--------------|
| 病院 | 6,366 / | 8,243施設 | 77.2% |
| 医科診療所 | 39,175 / | 89,271施設 | 43.9% |
| 歯科診療所 | 34,318 / | 70,850施設 | 48.4% |
| 薬局 | 48,935 / | 60,548施設 | 80.8% |

※ 病院の申込割合は**全都道府県で60%超**、うち、21府県で80%以上、

22都道県で70%以上

医科診療所の申込割合は**10県で50%超**

歯科診療所の申込割合は**3県で70%以上、8県で60%以上**

薬局の申込割合は**全都道府県で70%超、28都府県で80%以上**

※ 公的医療機関等における申込状況は厚生労働省HPに掲載

目標：医療機関等の6割程度での導入（令和3年3月時点）、概ね全ての医療機関等での導入（令和5年3月末）を目指す
（令和元年9月デジタル・ガバメント閣僚会議決定）

2. 準備完了施設数・プレ運用施設数

<準備完了施設数> ※ 院内システムの改修など、準備が完了している施設数

12,894施設 (5.6%)

| | | | |
|-------|----------|-------|----------|
| 病院 | 1,125 施設 | 医科診療所 | 4,091 施設 |
| 歯科診療所 | 2,919 施設 | 薬局 | 4,759 施設 |

<プレ運用施設数>

3,502施設 (1.5%)

| | | | |
|-------|--------|-------|----------|
| 病院 | 293 施設 | 医科診療所 | 979 施設 |
| 歯科診療所 | 854 施設 | 薬局 | 1,376 施設 |

【参考：健康保険証の利用の登録】

5,234,954件 カード交付枚数に対する割合 **10.9%**

【参考：マイナンバーカード申請・交付状況】

有効申請受付数：約5,131万枚（人口比 40.5%）
交付実施済数：約4,803万枚（人口比 37.9%）

オンライン資格確認システムの導入推進状況

- オンライン資格確認の導入準備は、新型コロナ対策／予防接種対応があるなかでも、10月の本格運用開始に向け、確実に加速している。
- さらなる上乗せを目指し、「パソコン・ルーターなどのハードウェア不足への対応」やシステム事業者における「対応能力の向上」に取り組んでいくとともに、引き続き、医療関係団体・公的医療機関等に対して、導入加速の働きかけ等を継続していく。

【システムベンダーの対応状況】

- 直近の導入ペースは、約900施設/週の増加となっており、10月の本格運用開始に向け、確実に加速している。
- 主な課題と対応状況は以下のとおり。

| 主な課題 | 主な対応状況 |
|--------------------------|--|
| パソコン・ルーターなどのハードウェア不足への対応 | 【供給元への働きかけ】 <ul style="list-style-type: none">・ 半導体不足の影響を受けているノートパソコン・ルーター確保のため、関係省庁と一体となり、供給元への働きかけを行っている。 |
| | 【供給見通しの開示】 <ul style="list-style-type: none">・ 厚生労働省ホームページにおいて、オンライン資格確認システムに必要なパソコンの供給見通しを開示 (https://www.mhlw.go.jp/content/10200000/000809298.pdf) し、マッチングを支援。<ul style="list-style-type: none">※ システムベンダーは、これらを参考に、必要に応じてパソコンの調達先を追加するなど、機器確保に向けた取組を実施※ ルーターについても供給見通しの開示を行えないか、調整中。 |
| システム事業者の改修対応能力向上 | 【外部委託の促進】 <ul style="list-style-type: none">・ 厚生労働省は、HPにシステムベンダーに対するオンライン資格確認システム導入支援業者を開示 (https://www.mhlw.go.jp/content/10200000/000703906.pdf) 。・ システムベンダーは、自社で対応しきれない場合、導入支援業者を活用して医療機関・薬局へのシステム導入を進めている。 |
| | 【作業工程の短縮支援】 <ul style="list-style-type: none">・ 導入初期は6時間／診療所ほど要していたが、ノウハウが蓄積され、大手システム事業者を中心に現在は約3時間程度に短縮（事業者によりばらつきあり）。・ システム事業者からの要望を踏まえ、更なる作業工程短縮を支援。 |

2. 本格運用開始スケジュールについて

オンライン資格確認の本格運用開始に向けたスケジュールについて

7～9月

【現在】チェック機能強化や修正対応により「データの正確性は担保されている」状態。

※ マイナンバーカードでの受診時でも、念のため保険証の持参を依頼

- 個人番号の誤りについて、**システムのチェック機能を更に強化**するなどの対応。
- 請求に必要となる証記号番号等について、**保険者において優先的に修正**。限度額適用認定証情報などについて更に精査中。
- **全医療機関・薬局に影響する仕組み**であることを踏まえ、参加機関数を増やしなが、慎重にシステムの安定性を**入念的に確認**しながら進めている。



10月

以下のスケジュールで本格運用を開始

- **10月20日（水）～：本格運用の開始**
（医療機関・薬局での特定健診等情報・薬剤情報の閲覧開始）

※ 国民向けに「受診する際、マイナンバーカードで受付できる医療機関・薬局かどうか事前に確認して下さい」と説明

※ 10月請求分のレセプトを10/11までに受付後、最終確認作業を行ったうえで閲覧を開始

※ マイナポータルでの情報閲覧については、本格運用の開始後、10月中に閲覧を開始

※ 11月からは、マイナポータルで、医療費通知情報の閲覧も開始

（10月5日～：レセプトの振替・分割サービス（※）の運用開始

※ 資格情報の登録遅れにより、旧資格の保険証で受診した場合にも、オンライン資格確認を活用し、タイムラグで生じる資格過誤について返戻せず、審査支払機関側で正しい資格情報に振替・分割する仕組み

※本格運用の定義：「保険証とシステムとで情報が異なった場合に、システム上の情報が原則正しいと判断すること」
= マイナンバーカードに対応している医療機関については、マイナンバーカードだけで受診が可能

3. イレギュラーなケースへの対応の整理について

ケース1：マイナンバーカードや被保険者証等の不持参の場合

- 患者側に責任があることで資格確認ができないケースについては、現行の被保険者証不持参又は無効な被保険者証を提示された場合と同様の対応と想定。

| ケース | 支払等に向けた手続き |
|---|--|
| <u>マイナンバーカードを患者が忘れた</u> 場合 (被保険者証も持っていない場合) | <ul style="list-style-type: none">○ <u>現在の保険証を忘れた場合の対応と同じ</u><ul style="list-style-type: none">※ 一時的に患者が10割分を医療機関に支払い、後日、被保険者資格を医療機関で確認した上で自己負担割合に応じた額（7割分等）を患者に返す。※ 医療機関等において、把握している資格情報等により、後日精算とはしない運用も行われている。 |

- オンライン資格確認に対応していない医療機関に、患者が被保険者証を持たずにマイナンバーカードのみで受診した場合、当該医療機関では、オンライン資格確認を用いて加入する保険者や被保険者番号を確認することができないため、基本的には上記の被保険者証忘れと同様の対応とする。

→ ※ すべての医療機関・薬局においてシステムが導入されているわけではない旨、周知を図る

- ※ 現状の扱いに準じ、医療機関の判断により、マイナンバーカード表面の氏名、生年月日、住所を書き取り、所属保険者（必要に応じて電話番号等）を聞き取ることなどにより、医療費の自己負担分（3割分等）とすることも可能。

ケース2：カードリーダーの故障等の場合

- カードリーダーの故障等により、マイナンバーカードの読み取りができない場合などは、主に、検索による資格情報の確認を可能とする資格確認（システム障害・大規模災害時）機能を起動する。
（氏名（またはカナ氏名）、生年月日、性別、住所、保険者名により検索し、資格確認を行う。

| ケース | 支払等に向けた手続き |
|--|---|
| 医療機関等における個別の カードリーダーの故障等 により、 マイナンバーカードの読取ができない | <ul style="list-style-type: none"> ○ 予備のカードリーダーを使うか、又は患者に被保険者証を出してもらい、資格情報を確認し、負担割合に応じて手続きをする。 ○ 上記で対応できない場合（初診の患者の場合等）： <ul style="list-style-type: none"> - コールセンターに連絡し、資格確認（システム障害・大規模災害時）機能を起動 → 検索が可能となり、氏名（またはカナ氏名）、生年月日、性別、住所（部分指定可能）、保険者名により検索し、資格確認を行う。 |

※ 個人のマイナンバーカードのICチップの破損等は、厳密には患者の責任と整理しうるが、運用においては、マイナンバーカードの読み取りができない場合として対応する。

※ システム障害時の対応として、オンライン資格確認システムにおいては、1つのシステム障害発生時に10分未満で復旧可能な状態とすることを機能要件としている。

上記の事前対策を超えてシステム利用が実施できず、かつ初診の患者で資格情報を取得することが難しい場合には、氏名（漢字）や性別、生年月日、住所（マイナンバーカード表面）を控え、医療費の自己負担分（3割分等）を受領する。後刻、コールセンターに問合せを行い、上記資格確認（システム障害・大規模災害時）機能を利用して資格確認を行う。

ケース3：転職等により保険者を異動した直後の場合

- 転職等により保険者を異動した直後は、異動先の保険者がデータを登録するまでの間、**タイムラグが生じる**。

この場合、保険証を確認する等の対応を行う（オンライン資格確認上のデータと保険証のデータが異なる場合は、オンライン資格確認上のデータを優先するというルールの例外）。

| ケース | 支払等に向けた手続き |
|--------------------------|---|
| 転職等により保険者を異動した直後に医療機関で受診 | <p>（マイナンバーカードで受診した場合）</p> <ul style="list-style-type: none">○ 医療機関において資格確認を行うと、「無効」との結果が表示される。○ 医療機関においては、新保険者発行の保険証を有していないかを確認し、有している場合には保険証情報に基づき自己負担分を請求する。 有していない場合には、10割を請求する。後日、被保険者資格を医療機関で確認した上で自己負担割合に応じた額（7割分等）を患者に返す（これまでの紙保険証を発行するまでのタイムラグと同じ扱い。各保険者において、新規加入者に対して、データ登録までの必要期間を周知予定。）。 |
| | <p>（新たな保険証で受診した場合）</p> <ul style="list-style-type: none">○ 医療機関等において資格確認を行うと、「該当資格なし」との結果が表示される。 この場合、医療機関等においては、提示された保険証情報に基づき請求を行う。 |

4. 薬剤情報、特定健診等情報、医療費通知情報について

薬剤情報について

薬剤情報とは

医療機関等を受診し、医療機関等から毎月請求される医科・歯科・調剤・DPCレセプト（電子レセプト）から抽出した薬剤の情報。

医療機関・薬局で同意した場合に閲覧可能な項目

（注）下線の項目は後期高齢者においては存在しない。

- 受診者情報
（氏名、性別、生年月日、年齢、保険者番号、被保険者証等記号・番号・枝番）
- 薬剤情報
（調剤年月日、処方医療機関識別、処方区分、使用区分、医薬品名、成分名、用法、用量、調剤数量）

マイナポータルで閲覧可能な項目

（注）下線の項目は後期高齢者においては存在しない。

- 本人情報
（氏名、性別、生年月日、年齢、保険者番号、被保険者証等記号・番号・枝番）
- 薬剤情報
（調剤年月日、病院・薬局名、使用区分、医薬品名、用法、用量、調剤数量）
- 削減可能額（※ジェネリック医薬品が存在する薬剤の場合）
（自己負担相当額、削減可能額）

薬剤情報の対象レセプトについて

- ・ 令和3年9月診療分の電子レセプト（医科・歯科・調剤・DPC）から抽出を開始し、以後、**3年間分**の情報が閲覧可能。
- ・ 月遅れ請求及び返戻分の再請求も対象。一次請求時に抽出した薬剤情報と重複した場合は、後に請求されたレセプトの薬剤情報が表示。

薬剤情報の抽出タイミングについて

- ・ 受付開始日5日から10日までの受付レセプトを一括して**翌11日**の朝までに更新し表示。
また、11日受付レセプトは翌12日、12日受付レセプトは翌13日朝までに更新し表示。

薬剤情報のメリット

- ・ 医師、歯科医師、薬剤師等が、患者の同意により、**他院のレセプト由来の薬剤情報**や**これまで把握出来なかった院内、DPC等の薬剤情報を把握可能**。
- ・ マイナポータルにアクセスすることで、処方された薬剤情報をいつでも閲覧可能。

閲覧開始時期

令和3年10月～ 医療機関・薬局、マイナポータルでの薬剤情報の閲覧開始予定 ※令和3年9月診療分

医療機関・薬局での薬剤情報の閲覧イメージ（1）

作成日：2022年1月8日

2/4ページ

薬剤情報一覧

作成日：2022年1月8日 1/4ページ

| | | | |
|------|------------|----------|------------|
| 氏名カナ | サンキノタロウ | 保険者番号 | 98765432 |
| 氏名 | 三機能太郎 | 被保険者証等記号 | 1234567890 |
| 生年月日 | 1975年2月20日 | 性別 | 男 |
| | | 年齢 | 46歳 |
| | | 検査 | 00 |

この薬剤情報一覧は、2021年11月までに調剤された医薬品情報を表示しています。但し、一部は表示されない場合があります。（紙レセプトや医薬品が包括される場合など、医薬品が表示されない場合があります）

処方実績

| 調剤年月日 | 処方医療機関識別 | 処方区分 | 使用区分 | 医薬品名 (成分名) | 調剤数量 *4 |
|------------|----------|------|------|--|---------|
| 21年11月 28日 | (001) 他院 | 院内 | 1. | セロクエル 100mg錠 (クエチアピンフル酸塩) 【1日1回就寝前】 | 1錠 30日分 |
| | | | 2. | アエル 2.5mg錠 (チアピニフル酸塩) 【1日1回就寝前】 | 2錠 30日分 |
| | | | 3. | ヒルナミン錠 (2.5mg) (レボメプロマジンマレイン酸塩) 【1日1回就寝前】 | 1錠 30日分 |
| | | | 4. | 向)ランドセン錠 2mg (ランドセン) 【1日1回就寝前】 | 1錠 30日分 |
| | | | 5. | フルニトラゼパム錠 2mg (フルニトラゼパム) 【1日1回就寝前】 | 1錠 30日分 |
| | | | 6. | マグミット錠 500mg (酸化マグネシウム) 【1日1回就寝前】 | 1錠 30日分 |
| | (002) 他院 | 外用 | 1. | ツロプテロールテープ 2mg「サワイ」 (ツロプテロール) 【外用 1日1回 1回1枚 胸部】 | 1枚 30日分 |
| 14日 | (003) 他院 | 院内 | 1. | カルバマゼピン錠 200mg「アメル」 (カルバマゼピン) 【1日1回夕食後】 | 1錠 30日分 |
| | | | 2. | メジコ錠 15mg「NP」 (メジコ) 【1日1回夕食後】 | 1錠 28日分 |
| | | | 4. | アトルバスタチン錠 10mg「サント」 (アトルバスタチンカルシウム水和物) 【1日1回夕食後】 | 1錠 28日分 |
| | | | 5. | カルボシステイン錠 250mg「サワイ」 (L-カルボシステイン) 【1日3回夕食後】 | 6錠 28日分 |

「調剤年月日」
検索した期間で最新の順で表示

「医薬品名」
実際に調剤された薬剤名

「成分名」
調剤された薬剤名

「医薬品記号」
・麻薬の場合：麻)
・毒薬の場合：毒)
・覚醒剤原料の場合：覚)
・向精神薬の場合：向)
を表示

「用法、用量」
いつ、どれだけ服用するか等表示

「処方医療機関識別」
・自院か他院かの把握可能
・処方された機関を識別する番号が付与

「調剤数量」
実際に調剤された数量を表示

| 調剤年月日 | 処方医療機関識別 | 処方区分 | 使用区分 | 医薬品名 (成分名) | 調剤数量 *4 |
|------------|----------|------|------|---|-----------|
| 21年11月 10日 | (004) 他院 | 入院 | 注射 | 1. ソリュエーゲンF注 500mL (酢酸リンゲル) | 1瓶 1回 |
| | | | | 2. ソリュエーゲンF注 TN 50mL (食塩液) | 2キット 1回 |
| | | | | 3. ハイドロコトロン注射液 100mg 2mL (ヒドロコルチゾンリン酸エステルナトリウム) | 3瓶 1回 |
| | | | | 4. ネオフィリン注 250mg 2.5% 10mL (アミノフィリン水和物) | 1管 1回 |
| 8日 | (004) 他院 | 入院 | 注射 | 1. ソルデム3A輸液 200mL (維持液) | 1袋 2回 |
| | | | | 2. リンデロン注 2mg (0.4%) (ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム) | 1管 2回 |
| | | | | 3. ソルデム3A輸液 200mL (維持液) | 1管 2回 |
| | | | | 4. ハイドロコトロン注射液 100mg 2mL (ヒドロコルチゾンリン酸エステルナトリウム) | 2瓶 2回 |
| | | | | 5. ソルデム3A輸液 200mL (維持液) | 1袋 2回 |
| | | | | 6. ネオフィリン注 250mg 2.5% 10mL (アミノフィリン水和物) | 1管 2回 |
| | | | | 7. 水溶性ハイドロコトロン注射液 100mg 2mL (ヒドロコルチゾンリン酸エステルナトリウム) | 2瓶 2回 |
| 5日 | (004) 他院 | 入院 | 注射 | 1. ソルデム3A輸液 200mL (維持液) | 1袋 1回 |
| | | | | 2. 水溶性ハイドロコトロン注射液 100mg 2mL (ヒドロコルチゾンリン酸エステルナトリウム) | 2瓶 1回 |
| 4日 | (004) 他院 | 入院 | 注射 | 1. ボスミン注 1mg 0.1% 1mL (アドレナリン) | 1管 1回 |
| | | | | 2. ソルデム3A輸液 200mL (維持液) | 1袋 1回 |
| | | | | 3. リンデロン注 2mg (0.4%) (ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム) | 2管 1回 |
| | | | | 4. ネオフィリン注 250mg 2.5% 10mL (アミノフィリン水和物) | 1管 1回 |
| 1日 | (005) 自院 | 院内 | 内服 | 1. メジコ錠 15mg (デキストロメトランフェン臭化水素酸塩水和物) | 3錠 3日分 |
| | | | 外用 | 2. メブチンエア-10μg吸入 100回 0.0143% 5mL (プロピペドール塩酸塩水和物) | 1キット 1処方分 |

「処方区分」
・入院、院内、院外のいずれかで調剤されたかを表示

「使用区分」
・内服、外用、屯服※、注射、在宅のいずれの区分かを表示
※屯服：決まった時間ではなく、発作時や症状のひどいときなどに服用すること

※ 各画面イメージは、現時点のイメージであり、今後変更される可能性がある。また、医療機関等のシステムにより見え方は異なる。

医療機関・薬局での薬剤情報の閲覧イメージ（2）

作成日：2022年1月8日 3/4ページ

| 調剤 年月 日 | 処方 医療 機関 番号 *1 | 処方 区分 *2 | 使用 区分 | 薬品名 | | 調剤数量 *4 |
|------------|----------------------------|----------------|----------|--|--|-----------|
| | | | | 【成分名】 【用法】*3 / 【1回用量】*3 / 【用法等の特別指示】*3 | | |
| 21年10月 10日 | (001) | 院外 他院 | 内服 | 1. | ファミチタン錠 1.0mg「NP」 （ファミチタン） 【1日2回朝夕食後】 | 2錠 28日分 |
| | | | | 2. | シンドレア錠 1.0mg （モンテルカストナトリウム） 【1日1回夕食後】 | 1錠 28日分 |
| | | | | 3. | アトムバスタチン錠 1.0mg「ザント」 （アトムバスタチンカルシウム水和物） 【1日1回夕食後】 | 1錠 28日分 |
| | | | | 4. | カルボシステイン錠 2.50mg「ザワイ」 （L-カルボシステイン） 【1日3回食後】 | 6錠 28日分 |
| 3日 | (004) | 院外 他院 | 内服 | 1. | ヒルナン錠（5mg） （レボプロマジンメリン塩酸） 【1回用量：2錠】 / 【不眠時】 | 30錠 1処方分 |
| | | | | 2. | セロクセル 2.5mg錠 （クエチアピン塩酸） 【1回用量：1錠】 / 【中夜就寝時】 | |
| 21年9月 22日 | (006) | 院外 他院 | 内服 | 1. | タロピット錠 5.00mg（レボフロキサシリンとして） （レボフロキサシリン水和物） 【1日1回夕食後】 | 1錠 4日分 |
| | | | | 2. | トナキサム錠カプセル 2.50mg「トーク」 （トナキサム酸） 【1日3回食後】 | |
| 15日 | (007) | 院外 他院 | 内服 | 1. | サワシリンカプセル 2.50 2.50mg （アモキシシリン水和物） 【1日3回食後】 | 3カプセル 3日分 |
| | | | | 2. | ロキソニン錠 6.0mg （ロキソプロフェンナトリウム水和物） 【1回用量：2錠】 / 【痛み時】 | 6錠 1処方分 |
| | | | 外用 | 3. | ネオステリンゲリーングがいの液 0.2% （ベンゼトニウム塩化物） 【1日3～4回がいの】 | 40mL 1処方分 |
| | | | | 4. | アフターール 2.5μg （トリアムシロロンアセトド） 【1日1～2回患部に貼付】 | 10枚 1処方分 |
| 8日 | (005) | 院外 他院 | 内服 | 1. | カロナール錠 200 200mg （アセトアミノフェン） 【1日3回食後】 | 3錠 7日分 |
| | | | | 2. | トナキサム錠カプセル 2.50mg「トーク」 （トナキサム酸） 【1日3回食後】 | 3カプセル 7日分 |
| | | | 3. | ロキソプロフェンNa錠 6.0mg「YD」 （ロキソプロフェンナトリウム水和物） 【1回用量：1錠】 / 【疼痛時】 | 10錠 1処方分 | |

「1回用量」及び「用法等の特別指示」
1回の服薬量及び処方時の指示等を表示

医薬品コードに紐づく名称で記載
（レボフロキサシンのように脱水物に換算されて
いる薬剤に関してはこのように記載される）

作成日：2022年1月8日 4/4ページ

| 調剤 年月 日 | 処方 医療 機関 番号 *1 | 処方 区分 *2 | 使用 区分 | 薬品名 | | 調剤数量 *4 |
|------------|----------------------------|----------------|----------|---|---|---------|
| | | | | 【成分名】 【用法】*3 / 【1回用量】*3 / 【用法等の特別指示】*3 | | |
| 21年9月 1日 | (001) | 院外 他院 | 内服 | 1. | ファミチタン錠 1.0mg「NP」 （ファミチタン） 【1日2回朝夕食後】 | 2錠 35日分 |
| | | | | 2. | シンドレア錠 1.0mg （モンテルカストナトリウム） 【1日1回夕食後】 | 1錠 35日分 |
| | | | | 3. | アトムバスタチン錠 1.0mg「ザント」 （アトムバスタチンカルシウム水和物） 【1日1回夕食後】 | 1錠 35日分 |
| | | | | 4. | カルボシステイン錠 2.50mg「ザワイ」 （L-カルボシステイン） 【1日3回食後】 | 6錠 35日分 |

【注意事項】

- *1 処方又は処方箋を発行した医療機関を識別するための番号等を表示しております。また、この番号は、薬剤情報を閲覧することには利用されず、医療機関ごとの設定された番号ではありません。
- *2 入院/院内/院外で分類し、その場合「院内」とは、入院や院外（薬局）で調剤された医薬品以外の医薬品を指します。
- *3 抽出元が調剤レセプトの場合に表示しています。
- *4 調剤時の使用方法（数量、回数、回数等）と一致しない場合があります。

※ 各画面イメージは、現時点のイメージであり、今後変更される可能性がある。また、医療機関等のシステムにより見え方は異なる。

マイナポータルでの薬剤情報の閲覧イメージ

マイナポータル ニックネームさん

トップ/リンクリンク/リンクリンク

回答詳細

申し込み条件

健康・医療
薬剤情報

確認対象日 2021年9月から
2021年10月まで

確認者 マイナ事務所
確認日: 2021年11月20日

回答内容

回答は、一度確認した後でログアウトすると、削除されて閲覧できなくなります。必要に応じてダウンロードしてください。

情報の一覧を紙で確認する場合、PDFをダウンロードして印刷してください。

PDFをダウンロードする

形式を選んでダウンロードする

資格情報

| | |
|------|--------|
| 氏名カナ | シカクタロウ |
| 氏名 | 資格太郎 |

詳しく見る

| | |
|------------|--------|
| 氏名カナ (その他) | ホケンタロウ |
|------------|--------|

PDFファイルでの閲覧イメージは次ページ参照

| | |
|------------|------------|
| 氏名カナ (その他) | ホケンタロウ |
| 氏名 (その他) | 保険太郎 |
| 生年月日 | 1980年1月16日 |
| 性別 | 男 |
| 年齢 | 41歳 |
| 保険者番号 | 212009 |
| 被保険者証等記号 | 123 |
| 被保険者証等番号 | 456 |
| 枝番 | 01 |

この薬剤情報一覧は、2021年10月までに調剤された医薬品情報を表示しています。但し、一部は表示されない場合があります。

表示期間
2021年9月から2021年10月まで

ジェネリック医薬品に切り替えた場合の削減可能額の合計
3,000円

薬剤情報詳細

2021年10月29日
オン資格薬局 (オン資格病院)

向) マイスリー錠5mg

内服

調剤数量: 6錠30日分

1日3回食後服用

ジェネリック医薬品に切り替えた場合
自己負担相当額 333円
削減可能額 159円

向) デパス錠0.5mg

内服

調剤数量: 6錠30日分

1回用量: 2錠/不安時

ジェネリック医薬品に切り替えた場合
自己負担相当額 54円
削減可能額 16円

閉じる

もっと見る

確認結果一覧へ

- #### 薬剤情報の注意事項
- この薬剤情報は、電子請求された診療・薬剤報酬明細書から抽出した医薬品等の情報を表示しているため、請求がない場合や紙媒体での請求、医薬品を包括する点数を算定している等においては表示されません。
 - 自己負担相当額及び削減可能額の表示について
 - 医療機関の1日単位の差額合計が500円以上の場合などで絞り込みを行い金額を表示しているため、全ての医薬品に対して表示されるものではありません。
 - 自己負担相当額は、お薬に掛かった金額のみ表示しています。実際の医療機関等窓口での支払いには、お薬代以外の診療や調剤等に要する費用が含まれます。【算出方法: 調剤された医薬品の診療月時点の薬価×診療月時点の自己負担割合】
 - 自己負担相当額は、お薬に掛かった金額のみ表示しています。実際の医療機関等窓口での支払いには、お薬代以外の診療や調剤等に要する費用が含まれます。【算出方法: 調剤された医薬品の診療月時点の薬価×診療月時点の自己負担割合】
 - 削減可能額は、あくまでも目安です。ジェネリック医薬品は複数存在しているため、必ずしも記載している金額が削減できるとは限りません。
 - ジェネリック医薬品は、必ずしも切り替えられるわけではありません。切り替えを希望する際は、処方される医師、薬剤師等にご相談ください。

※ 医薬品名の先頭に次の記号が記載される場合があります。
麻: 麻薬、高: 高熱、覚: 覚醒剤原料、白: 白精神薬

※ 用量/1回用量/用法等の特別指示は、薬局で調剤された医薬品の場合のみ表示されます。

※ 調剤数量は、調剤時の使用方法(回数、回数、日数等)と一致しない場合があります。

※ QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

画面番号: A-01

ページTOPへ

※ 各画面イメージは、現時点のイメージであり、今後変更される可能性があります。

マイナポータルによる薬剤情報閲覧のイメージ (PDF版)

薬剤情報一覧

作成日: 2021年10月11日

1/2ページ

| | | | |
|------|-----------|----------|----------|
| 氏名カナ | 19911100 | 保険者番号 | 01131234 |
| 氏名 | 薬劑太郎 | 被保険者証等記号 | 10 |
| 生年月日 | 1990年7月4日 | 性別 | 男 |
| | | 年齢 | 31歳 |
| | | 被保険者証等番号 | 008 |
| | | 枝番 | 00 |

この薬剤情報一覧は、2021年9月までに調剤された医薬品情報を表示しています。但し、一部は表示されない場合があります。

【表示期間: 2021年9月~2021年9月】 ジェネリック医薬品に切り替えた場合の削減可能額の合計 **1,067円**

薬剤情報明細

| 調剤年月日 | 使用区分 | 調剤 | | 調剤数量 ³ | ジェネリック医薬品に切り替えた場合 | |
|-----------|-------------------|----------------------|--|---|-------------------------|------------------------|
| | | 病院・薬局名 (処方機関発行医療機関名) | 医薬品名 ¹ | | 自己負担割合 | 削減可能額 |
| 21年9月 29日 | 薬局A (処方機関発行医療機関B) | 内服 | 1. 向) マイスリー錠5mg 【1日1回朝食前服用】 2. 向) デバス錠0.5mg 【1日3回食後服用】 3. ドグマチール錠50mg 【1日3回食後服用】 4. 向) デバス錠0.5mg 【1回用量: 2錠】 / (不安時) | 1錠 30日分 6錠 30日分 3錠 30日分 20錠 1処方分 | 316 497 340 55 | 212 151 68 17 |
| 18日 | 薬局A (処方機関発行医療機関A) | 内服 | 1. ロキソプロフェンナトリウム錠60mg「日医工」 【1日3回食後服用】 2. レバミピド錠100mg「オーツカ」 【1日3回食後服用】 外用 | 3錠 7日分 3錠 7日分 21枚 1処方分 | | |
| 15日 | 薬局A (処方機関発行医療機関B) | 内服 | 1. 向) マイスリー錠5mg 【1日1回朝食前服用】 2. 向) デバス錠0.5mg 【1日3回食後服用】 3. ドグマチール錠50mg 【1日3回食後服用】 4. 向) デバス錠0.5mg 【1回用量: 2錠】 / (不安時) | 2錠 14日分 6錠 14日分 3錠 14日分 20錠 1処方分 | 295 232 159 55 | 198 71 32 17 |
| 3日 | 薬局A (処方機関発行医療機関A) | 内服 | 1. ロキソプロフェンナトリウム錠60mg「日医工」 【1日3回食後服用】 2. レバミピド錠100mg「オーツカ」 【1日3回食後服用】 | 3錠 7日分 3錠 7日分 | | |
| 1日 | 薬局A (処方機関発行医療機関B) | 内服 | 1. 向) マイスリー錠5mg 【1日1回朝食前服用】 2. 向) デバス錠0.5mg 【1日3回食後服用】 3. ドグマチール錠50mg 【1日3回食後服用】 | 2錠 14日分 6錠 14日分 3錠 14日分 | 295 232 159 | 198 71 32 |

「調剤年月日」
検索した期間で
最新の順で表示

「医薬品名」
実際に調剤された薬剤名

「1回用量」及び「用法等の特別指示」
1回の服薬量及び処方時の指示等を表示

「使用区分」
・内服、外用、屯服※、
注射、在宅のいずれ
の区分かを表示
※屯服: 決まった時間では
なく、発作時や症状のひ
どいときなどに服用すること

「用法、用量」
いつ、どれだけ服用するか等表示

「調剤数量」
実際に調剤された数量を表示

作成日: 2021年10月11日

2/2ページ

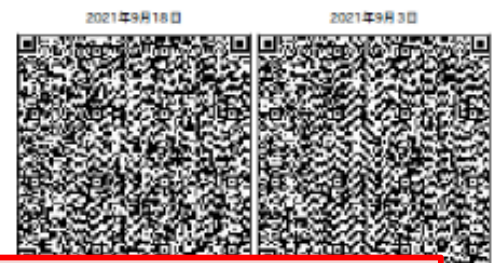
電子版お薬手帳への取り込み

薬剤情報を電子版お薬手帳へ取り込みされる方は、以下のQRコードを読み込んでください。ただし、PDFの表示方法やお薬手帳アプリによっては読み取れない場合があります。なお、既に過去の調剤明細書等に記録されているQRコードにて電子版お薬手帳へ登録している場合、重複して登録されるため、医療機関等名称及び調剤日を確認の上読み取ってください。

薬局A (処方機関発行医療機関B)



薬局A (処方機関発行医療機関A)



【注意事項】

- ※ この薬剤情報は、電子請求された診療・調剤報酬明細書から抽出した医薬品等の情報を表示しているため、請求がない場合や紙媒体での請求、医薬品を包含する点数を算定している等においては表示されません。
- ※ 自己負担相当額及び削減可能額の表示について
 - ・ 医療機関の1日単位の差額合計が500円以上の場合などで取り込みを行い金額を表示しているため、全ての医薬品に対して表示されるものではありません。
 - ・ 自己負担相当額は、お薬に書かれた金額のみ表示しています。実際の医療機関等窓口での支払いには、お薬代以外の診療や調剤等に要する費用が含まれます。【算出方法: 調剤された医薬品の診療月時点の薬価×診療月時点の自己負担割合】
 - ・ 削減可能額は、あくまでも目安です。ジェネリック医薬品は複数存在しているため、必ずしも記載している金額が削減できるとは限りません。
 - ・ ジェネリック医薬品は、必ずしも切り替えられるわけではありません。切り替えを希望する際は、処方される医師、薬剤師等にご相談ください。
 - ・ 保険者から送付される差額通知とは異なる場合があります。

¹ 医薬品名の先頭に右記の記号が記載される場合があります。 麻: 麻薬、毒: 毒薬、薬: 天然剤原料、向: 向精神薬
² 薬局で調剤された医薬品の場合のみ表示されます。
³ 調剤時の使用方法 (数量、回数、日数等) と一致しない場合があります。
 ※QRコードは(株)デンソーウェアの登録商標です。

※ 各画面イメージは、現時点のイメージであり、今後変更される可能性がある。

マイナポータルでの特定健診等情報の閲覧について

特定健診情報とは（特定健診とは）

特定健診とは、日本人の死亡原因の約6割を占める生活習慣病の予防のため、40歳から74歳までの方を対象としたメタボリックシンドロームに着目した健診。特定健診情報は、この特定健診の結果の情報。（75歳以上の者については後期高齢者健診の結果の情報）

マイナポータルで閲覧可能な項目

（注）下線の項目は後期高齢者健診においては存在しない。

- 受診者情報
（氏名、性別、生年月日、年齢、保険者番号、被保険者証等記号・番号・枝番）
- 健診機関情報（健診機関名称）
- 特定健診結果情報（※）
（診察（既往歴等）、身体計測、血圧測定、血液検査（肝機能・血糖・脂質等）、尿検査、心電図検査、眼底検査の結果）
- 質問票情報（服薬・喫煙歴等）（※） ○ メタボリックシンドローム基準の該当判定（※）
- 特定保健指導の対象基準の該当判定（※）

※ 令和2年度以降に実施し順次登録された直近過去5回分の情報が閲覧可能。

特定健診等情報の登録について

- ・特定健診等情報をマイナポータルで閲覧するためには、**保険者が特定健診等の結果の情報を、オンライン資格確認等システムに登録する必要がある。**
- ・登録は法定報告（健診実施年度の翌年度の11月1日までの報告）時の登録に加えて、月次で随時登録が可能である。

国民（加入者）への登録状況の周知

- ① 保険者が加入者に対して、事前に登録状況及び登録予定日を周知する。
- ② マイナポータルの特定健診等情報の検索画面において、保険者ごとに情報の閲覧が可能となる時期が異なる旨を周知する。
- ③ マイナポータルに掲載するFAQ内で、保険者ごとに情報の閲覧が可能となる時期が異なる旨を周知する。
- ④ 各保険者の特定健診等情報の登録状況を厚生労働省HP（https://www.mhlw.go.jp/stf/index_16743.html）に掲載する。

保険医療機関等への登録状況の周知

- ① 医療機関向け運用マニュアルにおいて周知する。
- ② 医療機関向けポータルサイトの「お知らせ」に保険者の登録状況一覧（厚生労働省HP）を掲載して周知する。
- ③ 医療機関向けポータルサイトに登録している医療機関等に保険者の登録状況一覧（厚生労働省HP）をメール等にて周知する。

マイナポータルでの閲覧開始時期

令和3年10月～

マイナポータルでの特定健診等情報の閲覧開始予定
※令和3年7月6日より医療機関等での特定健診等情報の閲覧を試行的に開始

スマートフォンやタブレット等の
モバイル端末での閲覧イメージ



マイナポータル

ニックネームさん

リンク

詳細

後期高齢者健診情報

マイナ事務所

閲覧日：2021年11月20日

回答は、一度確認した後でログアウトすると、削除されて閲覧できなくなります。必要に応じてダウンロードしてください。

情報の一覧を紙で確認する場合、PDFをダウンロードして印刷してください。

PDFをダウンロードする

形式を選んでダウンロードする

資格情報

氏名カナ シカクタロウ

氏名 資格太郎

詳しく見る

氏名カナ (その他) ホケンタロウ

氏名 (その他) 保険太郎

PDFファイルでの閲覧
イメージは19ページ
以降を参照

| | |
|----------|------------|
| 氏名 (その他) | 保険太郎 |
| 生年月日 | 1980年1月16日 |
| 性別 | 男 |
| 年齢 | 41歳 |
| 保険者番号 | 212009 |
| 被保険者証等記号 | 173 |
| 被保険者証等番号 | 456 |
| 枝番 | 01 |

健診機関情報

| 実施日 | 健診機関名称 |
|------------|------------|
| 2020年7月4日 | XXXXXクリニック |
| 2019年7月18日 | XXXXXクリニック |
| 2018年7月16日 | XXXXX病院 |
| 2017年7月23日 | XXXXX病院 |
| 2016年7月9日 | XXXXX病院 |

健診情報

実施日
2020年7月4日

既往歴 (医師記載)
ヘルニア、膀胱炎

自覚症状 (医師記載)
頭痛

他覚症状 (医師記載)
特記すべきことなし

比較する実施日を選択してください。

実施日1
2020年7月4日

実施日1
2020年7月4日

実施日2
2019年7月18日

表示する

基本項目

身体測定

| 項目 | 受診勧奨判定値*1 | 実施日1 2020年 7月4日 | 実施日2 2019年 7月18日 |
|----------|-----------|-----------------------|------------------------|
| 身長 | | 172.3 | 173 |
| 体重 | | 50.1 | 52.3 |
| 腹囲 (注1) | | 70※ | 72※ |
| 内臓脂肪面積*2 | | 56.2 | 56 |
| BMI | | 16.9 | 17.3 |

血圧

| 項目 | 受診勧奨判定値*1 | 実施日1 2020年 7月4日 | 実施日2 2019年 7月18日 |
|-------|-----------|-----------------------|------------------------|
| 収縮期血圧 | ▲140以上 | ▲150 | ▲154 |
| 拡張期血圧 | ▲90以上 | 80 | 82 |

血中脂質

| 項目 | 受診勧奨判定値*1 | 実施日1 2020年 7月4日 | 実施日2 2019年 7月18日 |
|----------------|-----------|-----------------------|------------------------|
| 中性脂肪 | ▲300以上 | ▲350 | ▲343 |
| HDLコレステロール | ▽34以下 | 75 | 82 |
| LDLコレステロール | ▲90以上 | 84 | 89 |
| Non-HDLコレステロール | ▲90以上 | 76 | 75 |

肝機能

| 項目 | 受診勧奨判定値*1 | 実施日1 2020年 7月4日 | 実施日2 2019年 7月18日 |
|--------------|-----------|-----------------------|------------------------|
| GOT (AST) | ▲51以上 | ▲51 | ▲53 |
| GPT (ALT) | ▲51以上 | 49 | 47 |
| γ-GT (γ-GTP) | ▲101以上 | 90 | 93 |

血糖

| 項目 | 受診勧奨判定値*1 | 実施日1 2020年 7月4日 | 実施日2 2019年 7月18日 |
|----------|-----------|-----------------------|------------------------|
| 空腹時血糖*4 | ▲126以上 | ▲150 | ▲154 |
| HbA1c *4 | ▲6.5以上 | 5.4 | 5.9 |
| 随時血糖 *4 | ▲126以上 | 80 | 82 |

| 尿 | | | |
|-----|-----------|-----------------------|------------------------|
| 項目 | 受診勧奨判定値*1 | 実施日1 2020年 7月4日 | 実施日2 2019年 7月18日 |
| 尿糖 | | (+)※ | (±)※ |
| 尿蛋白 | | (+)※ | (+)※ |

健康情報の注意事項
 (注1) 範囲は、後期高齢者健診者において任意項目
 ・ *1~*4 「健康診査の説明」を参照
 ・ ※がついている結果は、健診機関等により複数の検査結果が登録されているため、実際に受け取られている後期高齢者健診者または特定健康診査受診結果通知表の結果と異なる場合があります。なお、労働安全衛生法に基づく健康診断（事業者健診）等を受診した際、特定健康診査の基本項目を実施し、かつ事業者が保険者にその結果を提供している場合、特定健康診査として扱われます。

[健康診査の説明へ](#)

詳細項目

| 貧血 | | | |
|----------|--------------------------------|-----------------------|------------------------|
| 項目 | 受診勧奨判定値*1 | 実施日1 2020年 7月4日 | 実施日2 2019年 7月18日 |
| 赤血球数 | | 330 | 335 |
| 血色素量 | ▽男 12.0 以下 ▽女 11.0 以下 | 15 | 14 |
| ヘマトクリット値 | | 20.1 | 27 |

| 血清 | | | |
|----|-----------|---------------|---------------|
| 項目 | 受診勧奨判定値*1 | 実施日1 2020年 | 実施日2 2019年 |

| | | | |
|----------|---------|-----|------|
| 血清クレアチニン | | 30 | 31 |
| eGFR | ▽45.0未満 | ▽13 | ▽1.2 |

心電図検査

| 項目 | 実施日1 2020年 7月4日 | 実施日2 2020年 7月18日 |
|----|-----------------------|------------------------|
| 所見 | 洞性徐脈、低電位 | 洞性徐脈、低電位 |

眼底検査

| 項目 | 実施日1 2020年 7月4日 | 実施日2 2020年 7月18日 |
|----------------|-----------------------|------------------------|
| キースワグナー分類 | IIa | IIb |
| シェイエ分類：H | 2 | 3 |
| シェイエ分類：S | 1 | 1 |
| SCOTT分類 | III(a) | III(b) |
| Wong-Mitchell分 | 中等度 | 中等度 |
| 改変Davis分類 | 増殖前網膜症 | 増殖前網膜症 |
| その他の所見 | 洞性徐脈、低電位 | 洞性徐脈、低電位 |

健康情報の各項目の説明
 ・ 基本項目及び詳細項目の各検査の説明については、厚生労働省のホームページを参照してください。

[厚生労働省のホームページへ](#)

| 項目 | 実施日1 2020年 7月4日 | 実施日2 2020年 7月18日 |
|--------------------|-----------------------|------------------------|
| メタボリックシンドローム判定(注2) | 非該当 | 非該当 |
| 保健指導レベル(注2)*6 | なし | なし |

健康情報の注意事項
 (注2) メタボリックシンドローム判定及び保健指導レベルは、74歳までに受診した特定健康診査において、表示されます。
 ・ *5~*6 「健康診査の説明」を参照

[健康診査の説明へ](#)

医師の判断
 実施日：2020年7月4日

肝機能がわずかに異常ですが支障はないと思われます。肝機能がわずかに異常ですが支障はないと思われます。肝機能がわずかに異常ですが支障はないと思われます。肝機能がわずかに異常ですが支障はないと思われます。

質問票
 確認したい年月日を選択してください。

確認したい年月日を選択してください。

2020年7月4日 [表示](#)

後期高齢者健診 [+](#)

- あなたの現在の健康状態はいかがですか
よい
- 毎日の生活に満足していますか
どちらかといえばはい
- 体調が悪いときに、身近に相談できる人がいますか
どちらかといえばはい

特定健診(注3) [+](#)

質問票の注意事項
 (注3) 質問票（特定健診）は、74歳までに受診した特定健康診査において、表示されます。
 (注4) 医師の診断・診療のもとで服薬中のものを指す。

健康情報の注意事項
 ※ 健診情報に関して、検査未実施及び質問未回答の場合、「-」と表示されます。また、健診機関等より保険者に登録されたデータに基づき結果が表示されるため、一部検査実施及び質問回答した場合においても「-」と表示されることがあります。

[確認結果一覧へ](#)

画面番号：A-01 [ページTOPへ](#)

マイナポータルでの特定健診情報の閲覧イメージ (PDF版)

特定健康診査受診結果

作成日：2027年4月2日 1/5ページ

労働安全衛生法に基づく健康診断（事業者健診）等を受診した際、特定健康診査の基本項目を実施し、かつ事業者が保険者にその結果を提供している場合、特定健康診査として記録が表示されます。

| 資格情報 | |
|----------|------------|
| 氏名カナ | サンキノウタロウ |
| 保険者番号 | 06999999 |
| 氏名 | 三機能太郎 |
| 被保険者証等記号 | 1234567890 |
| 被保険者証等番号 | 1234567890 |
| 生年月日 | 1975年2月20日 |
| 性別 | 男 |
| 年齢 | 52歳 |
| 枝番 | 01 |

| 特定健診機関情報 | |
|------------|------------------|
| 実施日 | 特定健診機関名称 |
| 2026/07/02 | 特定健診1000000001機関 |
| 2025/07/23 | 特定健診1000000002機関 |
| 2024/08/23 | 特定健診1000000003機関 |
| 2023/05/18 | 特定健診1000000002機関 |
| 2022/07/10 | 特定健診1000000001機関 |

| 特定健診情報 | |
|----------------|--------------|
| 実施日 | 2026/07/02 |
| 既往歴 (医師記載) | 高血圧 |
| 自覚症状 (医師記載) | 体がだるい めまいがする |
| 他覚症状 (医師記載) | 特記すべきことなし |

| 実施日 | 2026/07/02 | 2025/07/23 | 2024/08/23 | 2023/05/18 | 2022/07/10 |
|-----------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| メボリックシフトロム判定 *1 | 予備群該当 | 予備群該当 | 予備群該当 | 予備群該当 | 予備群該当 |
| 保健指導レベル *2 | 動機付け支援 | 動機付け支援 | 動機付け支援 | 動機付け支援 | 動機付け支援 |

| 実施日 | 受診勧奨判定値 *3 | 2026/07/02 | 2025/07/23 | 2024/08/23 | 2023/05/18 | 2022/07/10 | |
|------|-------------------|------------|------------|------------|------------|------------|------|
| 身体計測 | 身長 | 173.6 | 173.8 | 173.5 | 173.2 | 173.6 | |
| | 体重 | 76.2 | 74.5 | 72 | 74.4 | 76.2 | |
| | 腹囲 | 94.8 | 91.9 | 93 | 92.1 | 94.8 | |
| | 内臓脂肪面積 *4 | - | - | - | - | - | |
| BMI | BMI | 25.2 | 24.7 | 23.9 | 24.8 | 25.2 | |
| | 収縮期血圧 | ▲ 140 以上 | ▲ 142 | ▲ 144 | ▲ 168 | ▲ 150 | 132 |
| 血圧 | 拡張期血圧 | ▲ 90 以上 | 78 | 71 | ▲ 103 | ▲ 91 | 78 |
| | 中性脂肪 | ▲ 300 以上 | 144 | 132 | 102 | 132 | 144※ |
| 基本項目 | HDL-コレステロール | ▽ 34 以下 | 44 | 50 | 53 | 50 | ▽ 33 |
| | LDL-コレステロール | ▲ 140 以上 | 127 | 132 | 134 | 132 | 127 |
| | Non-HDLコレステロール *5 | ▲ 170 以上 | - | - | - | - | - |
| | GOT (AST) | ▲ 51 以上 | 22 | 16 | 23 | 16 | 22 |
| 肝機能 | GPT (ALT) | ▲ 51 以上 | 43 | 31 | 36 | 31 | 43 |
| | γ-GT (γ-GTP) | ▲ 101 以上 | 43 | 33 | 31 | 33 | 43 |
| | 空腹時血糖 *6 | ▲ 126 以上 | 89 | 90 | 91 | 90 | 89 |
| 血糖 | HbA1c *6 | ▲ 6.5 以上 | 5.3 | 5.2 | 5.2 | 5.2 | 5.3 |
| | 随時血糖 *6 | ▲ 126 以上 | - | - | - | - | - |
| 尿 | 尿糖 | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | |
| | 尿蛋白 | (+) | (+) | (+) | (+) | (+) | |

特定健康診査受診結果

作成日：2027年4月2日 2/5ページ

| 実施日 | 受診勧奨判定値 *3 | 2026/07/02 | 2025/07/23 | 2024/08/23 | 2023/05/18 | 2022/07/10 | |
|------|------------|----------------------------|------------|------------|------------|------------|------|
| 詳細項目 | 赤血球数 | 490 | 490 | 508 | 491 | 490 | |
| | 貧血 血色素量 | ▽ 男 12.0 以下 ▽ 女 11.0 以下 | 16.2 | 15.7 | 16.6 | 15.9 | 16.2 |
| | ヘマトクリット値 | 46.5 | 46.2 | 49.1 | 45.5 | 46.5 | |
| | 血清クレアチニン値 | 1.15 | 1.09 | 1.12 | 1.02 | 1.15 | |
| | 清 eGFR | ▽ 45.0 未満 | 52.7 | 56.2 | 55.1 | 61.8 | 52.7 |

*1~*6 別紙「説明」を参照
※がついている結果は、健診機関等により複数の検査結果が登録されているため、実際に受け取られている特定健康診査受診結果通知表の結果と異なる場合があります。

| 実施日 | 2026/07/02 | 2025/07/23 | 2024/08/23 | 2023/05/18 | 2022/07/10 | |
|------|-----------------|------------|------------|------------|------------|-----------------------------------|
| 詳細項目 | 心電図検査 所見 | 所見なし | 所見なし | 所見なし | - | 要精密検査心臓超音波 |
| | キースワグナー分類 | 0 | 1 | 1 1 a | - | - |
| | シェイエ分類：H | 0 | 1 | 2 | - | - |
| | シェイエ分類：S | 0 | 1 | 2 | - | - |
| | SCOTT分類 | 1 (a) | 1 (b) | 1 1 | - | - |
| | Wong-Mitchell分類 | 所見なし | 軽度 | 中等度 | - | - |
| 眼底検査 | 改変Davis分類 | 網膜症なし | 単純網膜症 | 増殖前網膜症 | - | - |
| | その他の所見 | - | - | - | - | 左側 中心性漿液性脈絡網膜炎疑い 右側 中心性漿液性脈絡網膜炎疑い |

基本項目及び詳細項目の各検査の説明については、厚生労働省のホームページを参照してください。
<https://www.mhlw.go.jp/content/12400000/000688569.pdf>

| | |
|-------|--------------------------|
| 実施日 | 2026/07/02 |
| 医師の判断 | 高血圧 主治医の指示に従って治療をお続け下さい。 |

※ 各画面イメージは、現時点のイメージであり、今後変更される可能性がある。

マイナポータルでの後期高齢者健診情報の閲覧イメージ（PDF版）

| 後期高齢者健康診査受診結果 | | 作成日：2026年10月25日 | | 1/4ページ | | | |
|--------------------|------------------|-----------------|------------|------------|------------|------------|------|
| 資格情報 | | | | | | | |
| 氏名カナ | サンキノウハナコ | 保険者番号 | 39999999 | | | | |
| 氏名 | 三機能花子 | 被保険者証等記号 | - | | | | |
| | | 被保険者証等番号 | 1234567890 | | | | |
| 生年月日 | 1940年6月20日 | 性別 | 女 | 年齢 | 86歳 | | |
| | | 枝番 | - | | | | |
| 後期高齢者健診機関情報 | | | | | | | |
| 実施日 | 後期高齢者健診機関名称 | | | | | | |
| 2025/12/16 | 健診1000000001機関 | | | | | | |
| 2024/12/15 | 健診1000000002機関 | | | | | | |
| 2023/12/07 | 健診1000000003機関 | | | | | | |
| 2022/12/05 | 健診1000000002機関 | | | | | | |
| 2021/12/04 | 健診1000000001機関 | | | | | | |
| 後期高齢者健診情報 | | | | | | | |
| 実施日 | 2025/12/16 | | | | | | |
| 既往歴 (医師記載) | 高血圧 | | | | | | |
| 自覚症状 (医師記載) | 体がだるい めまいがする | | | | | | |
| 他覚症状 (医師記載) | 特記すべきことなし | | | | | | |
| 実施日 | 受診勧奨判定値*1 | 2025/12/16 | 2024/12/15 | 2023/12/07 | 2022/12/05 | 2021/12/04 | |
| 身体計測 | 身長 | 173.6 | 173.8 | 173.5 | 173.2 | 173.6 | |
| | 体重 | 76.2 | 74.5 | 72 | 74.4 | 76.2 | |
| 内臓脂肪面積*2 | 腹囲(注1) | 94.8 | 91.9 | 93 | 92.1 | 94.8 | |
| | BMI | 25.2 | 24.7 | 23.9 | 24.8 | 25.2 | |
| | 血圧 | | | | | | |
| 収縮期血圧 | ▲ 140以上 | ▲ 142 | ▲ 144 | ▲ 168 | ▲ 150 | 132 | |
| | ▲ 90以上 | 78 | 71 | ▲ 103 | ▲ 91 | 78 | |
| 中性脂肪 | ▲ 300以上 | 144 | 132 | 102 | 132 | 144※ | |
| | HDL-コレステロール | ▽ 34以下 | 44 | 50 | 53 | 50 | ▽ 33 |
| LDL-コレステロール | ▲ 140以上 | 127 | 132 | 134 | 132 | 127 | |
| | Non-HDLコレステロール*3 | ▲ 170以上 | - | - | - | - | |
| 肝機能 | GOT (AST) | ▲ 51以上 | 22 | 16 | 23 | 16 | 22 |
| | GPT (ALT) | ▲ 51以上 | 43 | 31 | 36 | 31 | 43 |
| | γ-GT (γ-GTP) | ▲ 101以上 | 43 | 33 | 31 | 33 | 43 |
| 血糖 | 空腹時血糖*4 | ▲ 126以上 | 89 | 90 | 91 | 90 | 89 |
| | HbA1c*4 | ▲ 6.5以上 | 5.3 | 5.2 | 5.2 | 5.2 | 5.3 |
| | 随時血糖*4 | ▲ 126以上 | - | - | - | - | - |
| 尿 | 尿糖 | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | |
| | 尿蛋白 | (+) | (+) | (+) | (+) | (+) | |

| | | 作成日：2026年10月25日 | | 2/4ページ | | | |
|--|--------------------------|--------------------------|------------|------------|------------|-----------------------------------|------|
| 実施日 | 受診勧奨判定値*1 | 2025/12/16 | 2024/12/15 | 2023/12/07 | 2022/12/05 | 2021/12/04 | |
| 詳細項目 | 赤血球数 | 490 | 490 | 508 | 491 | 490 | |
| | 貧血 | ▽ 男 12.0以下 ▽ 女 11.0以下 | 16.2 | 15.7 | 16.6 | 15.9 | 16.2 |
| | 血色素量 | | 46.5 | 46.2 | 49.1 | 45.5 | 46.5 |
| | ヘマトクリット値 | | 1.15 | 1.09 | 1.12 | 1.02 | 1.15 |
| | 血清クレアチニン値 | | 52.7 | 56.2 | 55.1 | 61.8 | 52.7 |
| eGFR | ▽ 45.0未満 | | | | | | |
| (注1) 腹囲は任意項目 *1~*4 別紙「説明」を参照 ※がついている結果は、健診機関等により複数の検査結果が登録されているため、実際に受け取られている後期高齢者健康診査の結果と異なる場合があります。 | | | | | | | |
| 実施日 | 2025/12/16 | 2024/12/15 | 2023/12/07 | 2022/12/05 | 2021/12/04 | | |
| 心電図検査 | 所見 | 所見なし | 所見なし | 所見なし | - | 要精密検査心臓超音波 | |
| | キースワグナー分類 | 0 | I | IIa | - | - | |
| 詳細項目 | シェイエ分類：H | 0 | 1 | 2 | - | - | |
| | シェイエ分類：S | 0 | 1 | 2 | - | - | |
| | SCOTT分類 | I (a) | I (b) | II | - | - | |
| | Wong-Mitchell分類 | 所見なし | 軽度 | 中等度 | - | - | |
| | 変更Davis分類 | 網膜症なし | 単純網膜症 | 増殖前網膜症 | - | - | |
| 眼底検査 | | - | - | - | - | 左側 中心性漿液性脈絡網膜炎疑い 右側 中心性漿液性脈絡網膜炎疑い | |
| | その他の所見 | | | | | | |
| 基本項目及び詳細項目の各検査の説明については、厚生労働省のホームページを参照してください。 https://www.mhlw.go.jp/content/12400000/000688569.pdf | | | | | | | |
| 実施日 | 2025/12/16 | | | | | | |
| 医師の判断 | 高血圧 主治医の指示に従って治療をお続け下さい。 | | | | | | |

※ 各画面イメージは、現時点のイメージであり、今後変更される可能性がある。

マイナポータルでの「医療費通知情報」の閲覧について

「医療費通知情報」とは

保険医療機関・保険薬局の窓口で支払った公的医療保険に係る医療費の情報を、マイナポータルでの閲覧や医療費控除の申請で利用可能としたもの。
(なお、審査支払機関へ提出されるレセプト(医科・歯科・調剤・DPC)に含まれない情報(柔道整復療養費等)は対象外)

マイナポータルで閲覧可能な項目

- 受診者情報
(氏名、性別、生年月日、年齢、保険者番号、被保険者証等記号・番号・枝番)
- 医療費の情報(※)
(総額、保険者負担額、公費負担額、窓口負担相当額、診療年月、診療区分、診療実日数、医療機関等名称)
※ 3年間分を保存し、被保険者・被扶養者が任意に指定した範囲を閲覧可能。
※ 柔道整復療養費等、審査支払機関へ提出されるレセプト(医科・歯科・調剤・DPC)に含まれない情報は対象外となる。

医療費通知情報の対象レセプトについて

- ・ 令和3年9月診療分のレセプト(医科・歯科・調剤・DPC)から抽出を開始。紙レセプトも対象。
- ・ 月遅れ請求、審査支払機関でのレセプト審査時の返戻分のレセプトは対象。ただし、医療保険者審査時の返戻分のレセプトは対象外。

医療費通知情報の抽出タイミングについて

- ・ 支払基金・国保連での審査後、査定結果を含めた請求金額を、受診月の翌々月11日より閲覧開始。
※ 12月末に受診した医療費の情報は、翌年2月9日から利用可能となり、確定申告時期2月中旬～3月中旬に課税対象期間である前年1月～12月分の医療費の情報が取得可能となる。

被保険者・被扶養者にとってのメリット

- ・ マイナポータルを活用した**医療費控除の申告手続きの簡素化**(マイナポータルを通じて申告に必要な医療費通知情報を取得し、e-Taxへの転記を行う)。
- ・ 医療費の領収書を管理しなくても、マイナポータルで医療費通知情報を管理可能になる。
※ 令和4年分の確定申告から1年分の確定申告が可能

マイナポータルでの閲覧開始時期

令和3年11月～

マイナポータルでの医療費通知情報の閲覧開始予定 ※令和3年9月診療分

マイナポータルでの医療費通知情報の閲覧イメージ

マイナポータル

ニックネーム: シカクタロウ

回答詳細

申し込み条件

申請期間: 2021年9月から2021年10月まで

回答内容

PDFをダウンロードする

形式を選んでダウンロードする

資格情報

| | |
|-----------|------------|
| 氏名カナ | シカクタロウ |
| 氏名 | 資格太郎 |
| 氏名カナ(その他) | ホケンタロウ |
| 氏名(その他) | 保険太郎 |
| 生年月日 | 1980年1月16日 |
| 性別 | 男 |
| 年齢 | 41歳 |
| 保険者番号 | 212009 |

被保険者証等記号: 123

被保険者証等番号: 456

枝番: 01

この医療費通知情報は、2021年10月までに受診された医療費情報を検索・閲覧できます。但し、一部の情報は表示されない場合があります。(詳しくは注意書きをご覧ください)

医療費の合計

対象期間: 2021年9月から2021年10月まで

窓口負担相当額: 16,000円

医療費の総額: 20,000円

保険者の負担額: 14,000円

その他の公費の負担額: 0円

年間の合計

対象期間: 2021年9月から2021年12月まで

窓口負担相当額: 19,900円

医療費の総額: 24,800円

保険者の負担額: 19,900円

その他の公費の負担額: 0円

2021年11月

オン資格薬局 (調剤)

医療費窓口負担相当額: 16,000円

医療費詳細

日数: 1日

医療費の総額: 20,000円

保険者の負担額: 14,000円

その他の公費の負担額: 0円

食事療養費詳細

回数: 1回

医療費の総額: 20,000円

保険者の負担額: 14,000円

その他の公費の負担額: 0円

保険者情報一覧

| 保険者の名称 | 医療費情報明細の範囲 |
|-------------|--------------------|
| 保険者00212999 | 2021年9月から2021年9月まで |
| 保険者00212009 | 2021年9月から2021年9月まで |

確認結果一覧へ

医療費通知情報の注意事項

- ※ 医療費情報一覧には以下の情報は含まれていません。
 - 立替払いしたときの診療費
 - はり・きゅう、あんま・マッサージ・指圧の産後費用
 - 整形外科・接骨院で施術を受けたときの柔道整復療養費
 - 保険適用外の費用(自由診療や差額ベッド代など)
 - 医療機関等から未請求の場合
- ※ 「窓口負担相当額」は医療機関等からの請求額に基づいて算出しております。実際に医療機関等の窓口で支払った額は10円単位で算出しているため、領収書の額と異なる場合がございます。また、医療費助成や保険給付金を受け取り、実際にご自身が負担された額と異なる場合がございます。
- ※ 保険者から送付される(またはWeb等で提供される)医療費明細とは異なる場合があります。
- ※ このページを印刷したものでは、医療費控除の添付書類として利用できません。

画面番号: A-01

ページTOPへ

PDFファイルでの閲覧イメージは23ページを参照

※ 各画面イメージは、現時点のイメージであり、今後変更される可能性があります。

マイナポータルでの医療費通知情報の閲覧イメージ (PDF版)

医療費通知情報
作成日: 2024年9月6日
1/1ページ

資格情報

| | | |
|----------------|----------|----------|
| 氏名カナ (印刷用) | 保険者番号 | 01299991 |
| 氏名 医療費 太郎 | 被保険者証等記号 | 01-00 |
| 生年月日 1980年4月1日 | 性別 男 | 年齢 44歳 |
| | 被保険者証等番号 | 99996001 |
| | 校番 | 01 |

この医療費通知情報は、2024年6月までに受取された医療費情報を検索・閲覧できます。
但し、一部の情報は表示されない場合があります。(詳しくは、注意事項をご覧ください)

医療費の合計

| 期間 | 医療費の総額 (円) | 保険者の負担額 (円) | その他の公費の負担額 (円) | 窓口負担相当額 (円) |
|---------------------|------------|-------------|----------------|-------------|
| 2021年 1月 ~ 2023年12月 | 581,300 | 406,700 | 300 | 174,300 |

年度の合計

| 期間 | 医療費の総額 (円) | 保険者の負担額 (円) | その他の公費の負担額 (円) | 窓口負担相当額 (円) |
|---------------------|------------|-------------|----------------|-------------|
| 2021年 9月 ~ 2021年12月 | 10,000 | 7,000 | 0 | 3,000 |
| 2022年 1月 ~ 2022年12月 | 551,200 | 385,700 | 200 | 165,300 |
| 2023年 1月 ~ 2023年12月 | 20,100 | 14,000 | 100 | 6,000 |

医療費の明細

| 診療 年月 | 診療 区分 | 日数 / 回数 | 医療機関等名称 | *が表示されている金額は入院時の食事にかかった費用です | | | |
|-----------|----------|------------|--------------------|-----------------------------|-----------------|--------------------|-----------------|
| | | | | 医療費の 総額 (円) | 保険者の 負担額 (円) | その他の公費の 負担額 (円) | 窓口負担 相当額 (円) |
| 2021年 10月 | 歯科 外来 | 1 | 医療法人 サンプルイリュウヒ歯科医院 | 10,000 | 7,000 | 0 | 3,000 |
| 2022年 1月 | 内科 外来 | 1 | 医) サンプルイリュウヒ総合病院 | 20,100 | 14,000 | 100 | 6,000 |
| 2022年 1月 | 調剤 | 1 | サンプルイリュウヒ薬局 | 5,000 | 3,500 | 0 | 1,500 |
| 2022年 9月 | 内科 入院 | 7 | 医) サンプルイリュウヒ総合病院 | 500,000 | 350,000 | 0 | 150,000 |
| 2022年 9月 | 内科 入院 | * 6 | 医) サンプルイリュウヒ総合病院 | * 6,000 | * 4,200 | * 0 | * 1,800 |
| 2022年 11月 | 訪問 看護 | 1 | 医) サンプルイリュウヒ総合病院 | 20,100 | 14,000 | 100 | 6,000 |
| 2023年 4月 | 内科 外来 | 1 | 医) サンプルイリュウヒ総合病院 | 20,100 | 14,000 | 100 | 6,000 |

保険者情報

| 保険者の名称 | 医療費の明細の範囲 |
|--------------------------|---------------------|
| サンプルイリュウヒ健康保険組合イリュウキカン支部 | 2021年10月 ~ 2023年 4月 |

【注意事項】

※この医療費通知情報は、医療機関等から審査支払機関に提出された診療・調剤報酬明細書から抽出しています。
下記の事例のように、審査支払機関での取り扱いと異なる情報は表示されません。

- ・高額な医療費を医療機関等の窓口で支払い、後日、保険者から支給を受けた場合の医療費
- ・立て戻しをしたときの医療費 (保険資格を確認できずに入院した場合やコルセット等の治療用器具を作成した場合など)
- ・はり、きゅう、あんま、マッサージ・指圧の施術費用
- ・処置部・検査部で受けたときの検査費用
- ・保険適用外の費用 (自由診療や差ベッド代など)

※定期に医療機関等の窓口で支払った額は10円単位で算出しているため、桁合わせの誤りとなる場合があります。
また、医療費総額や保険給付額などを受けとり、実際に自己が負担された額と異なる場合があります。

※保険者から送付される (またはWeb等で提供される) 医療費通知とは異なる場合があります。

※医療費通知の原本はデータ (XML) となります。WEB画面やPDFを印刷・ダウンロードしたものは医療費通知の原本ではありません。
この場合、医療費通知の原本と異なる場合があります。医療費通知の印刷物の「2 医療費 (上記1以外) の印刷」欄に「印刷のとおり」と記載してください。
なお、原本である医療費通知データ (XML) を送付して医療費控除の届出書の「1 医療費通知に記載された事項」に記載しe-Tax送信する場合は、通知に記載されている情報の正確性を確保する必要があります。
(XMLのデータは、マイナポータルからは取得できません。取得方法については、国民庁ホームページをご覧ください。)

※ 各画面イメージは、現時点のイメージであり、今後変更される可能性がある。

5. 周知広報について

周知広報資料

- マイナンバーカードを患者の方に持参していただくことを働きかけるポスターを一部のプレ運用参加機関に配布（予定）。
- 社会保険診療報酬支払基金から全医療機関にリーフレットを配布。
- タレント出演の患者向け動画を公開中。

ポスター



動画URL

スペシャルムービー：<https://www.youtube.com/watch?v=vMMb6Q8neH4>

受付編：<https://www.youtube.com/watch?v=wD-vVPGsEqw>

申込み編：https://www.youtube.com/watch?v=aPD3fT-X_Tg

リーフレット

民間検索サイトとのコラボレーション

- マイナンバーカードの健康保険証利用が可能な施設を民間WEBサイトでも検索できるよう、順次対応中。
- あわせて、同WEBサイト上でマイナンバーカードの健康保険証利用に関する特集も掲載する予定。

お医者さんガイド

診療科目: 内科・皮膚科・小児科

住所・詳細: 〒102-0085 東京都千代田区六番町7-1 番町グロリアビル

アクセス: 東京メトロ有楽町線 麩町駅 徒歩

診療時間: 月火水木土13:30-17:30 金・開始・終了時間は直接の確認を

特徴: オンライン診療 女性医師 消化器内 門診 スギ・ダニ舌下免疫療法 各種

マイナンバーカード保険証利用可

反映済

- ✓ フリーワード検索にも対応
- ✓ 該当施設に上記マーク

URL <https://www.10man-doc.co.jp/>

caloo

医療法人サンプル医療機関

公式

★★★★☆ 4.24 (利用者の声 21 件... 3件 18件)

追加

神奈川県藤沢市遠藤4409-105 **【地図】**

駐車場あり / カード可 / ネット予約 / 女医在籍 **マイナ受付**

土曜・日曜・祝日 夜間~22:00・早朝7:00~ 救急

反映済

- ✓ マイナ受付で検索可能
- ✓ 該当施設に上記マーク

URL <https://caloo.jp/>

EPARK

ネット予約・人気店順番受付ならEPARK

クリニック・病院を探す

エリア・駅名 店舗名・キーワード

人気のカテゴリ: 内科 小児科 皮膚科 産婦人科

準備中

- ✓ 検索反映予定
- ✓ 特集サイトも準備中

URL <https://epark.jp/>

QLIFE

病院検索 診療検索 医師の検索 NEWS記事 診療情報

QLife

お医者さんガイド

病院名・医師名・病名・フリーワードで検索

検索

特集 NEWS&記事

準備中

- ✓ 検索反映を検討中
- ✓ 特集サイトを検討中

URL <https://www qlife.jp/>

Doctors File

ドクターズ・ファイル

病院を探す

フリーワード検索

検索

準備中

- ✓ 検索反映予定
- ✓ 特集サイトも準備中

URL <https://doctorsfile.jp/>

病院ナビ

フリーワード検索

エリア: 東京都 (東京都全域) 診療科目: (診療科目を選択)

検索

現在地へ検索

準備中

- ✓ 9月中に検索反映予定
- ✓ 特集サイトも準備中

URL <https://byoinnavi.jp/>

医療費における保険給付率と患者負担率の バランス等の定期的な見える化について

これまでの経緯

基本的な考え方

- 現在、医療費の動向、医療費の伸び率の要因分解、制度別の実効給付率等について定期的に公表しているほか、制度改正や診療報酬改定の財政影響について、その都度必要に応じ公表しているところである。
- 支え手の中核を担う勤労世代が減少しその負担能力が低下する中で、改革に関する国民的理解を形成する観点から保険給付率（保険料・公費負担）と患者負担率のバランス等を定期的に見える化しつつ、診療報酬とともに保険料・公費負担、患者負担について、国民にわかりやすい形で公表していくことが必要。
- 国民に広く医療保険財源について理解してもらうことにより、医療保険制度をより信頼し、安心して利用してもらうような環境を形成するため、こうした内容を年1回医療保険部会において報告するとともにホームページ上で公表することとしたところ（令和2年10月28日医療保険部会において、公表資料案とともに議論）

医療保険部会における議論の整理（令和2年12月23日）

（医療費について保険給付率と患者負担率のバランス等の定期的に見える化）

（略）今後、**医療費の財源構造、医療保険制度の比較、実効給付率の推移と要因分析、生涯医療費の分析内容について、年1回当部会において報告するとともにホームページ上で公表し、資料についてはわかりやすさを重視したものとすべき**である。

新経済・財政再生計画改革工程表 2020（令和2年12月18日）

- 6 1. 医療費について保険給付率（保険料・公費負担）と患者負担率のバランス等を定期的に見える化しつつ、診療報酬とともに保険料・公費負担、患者負担について総合的な対応を検討
- a. **医療費の財源構造、医療保険制度の比較、実効給付率の推移と要因分析、生涯医療費の分析内容を含む資料について、わかりやすさを重視したうえで、年1回関係審議会において報告するとともに、ホームページ上で公表する。**《厚生労働省》

医療保険の財源について、特に自己負担・保険料負担・公費負担の構造等を定期的にわかりやすい形で公表し、制度検討の議論に供することで、定期的に総合的な対応について検討していく。

また、国民に広く財源について理解してもらうことにより、医療保険制度をより信頼し、安心して利用してもらうような環境を形成する。

具体的には、以下の分析内容について、年1回医療保険部会において報告するとともにホームページ上で公表する。資料についてはわかりやすさを重視したものとする。

①医療費の財源構造

国民医療費がどのような財源によってまかなわれているか、概略をわかりやすく図で表記。また後期高齢者医療制度とそれ以外の制度で財源がどのように異なるかも示す。

②医療保険制度の比較

各医療保険制度の財源構成について、前期調整額・後期支援金等の流れも含め、わかりやすく図示する。

③実効給付率の推移と要因分析

高齢化の影響による実効給付率の推移を図示。後期高齢者医療制度とそれ以外での推移も示す。またその伸びの要因を財源別（保険料・公費）に着目して分析したものを示す。

④生涯医療費

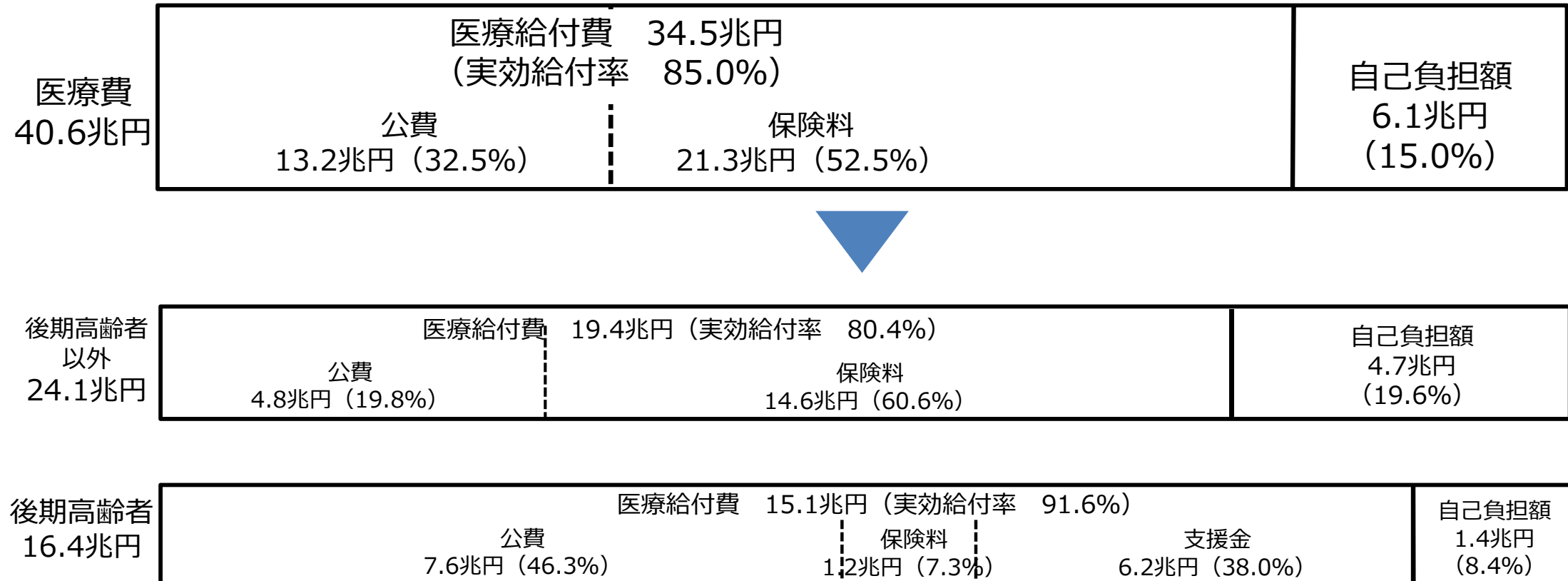
生涯医療費（＝一生涯でかかると考えられる医療費の平均。死亡率を考慮したもの）について図示し、そのうち保険給付でまかなわれる部分を示す。

本年度公表予定の資料について（４～１１ページ）

医療費の財源構成（平成30年度）

皆さんが病院の窓口で支払う金額（自己負担額）は、平均的には、受けた医療にかかった費用（医療費）の約15%程度です。その他の部分は医療保険制度から支払われます。この医療保険でまかなわれる割合（85%）を、「実効給付率」といいます。またこの85%のうち、公費でまかなわれる部分が32%程度、保険料でまかなわれる部分が53%程度となっています。

自己負担額の割合は年齢によって異なり、後期高齢者（75歳以上）とそれ以外で分けた場合には、後期高齢者が約8%、それ以外が約20%となっています。

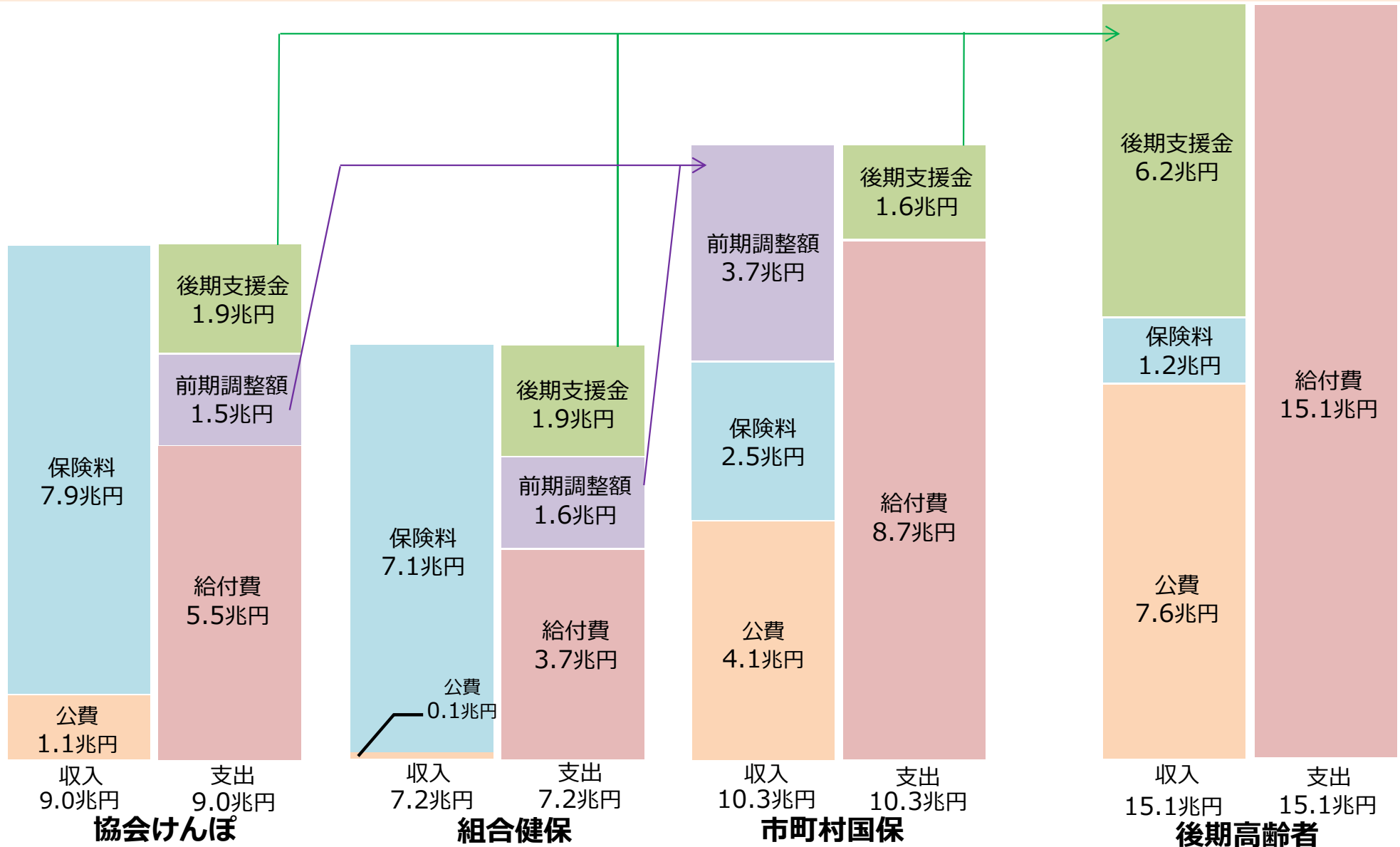


〔 公費 0.8兆円
保険料 5.5兆円 〕

※ この資料における「医療給付費」は医療保険からの給付費であり、公費負担医療分や地方単独事業分は含んでいない。
また、「自己負担額」は医療保険に係る医療費から上記の「医療給付費」を除いたものとなっている。

制度別の財政の概要（平成30年度）

医療保険制度間では、年齢構成による医療費の違いなどによる財政の負担を調整するために、負担を調整する仕組みとなっています（前期調整額）。また後期高齢者に係る給付費の一部は他の制度も支援金という形で負担しています。（後期支援金）

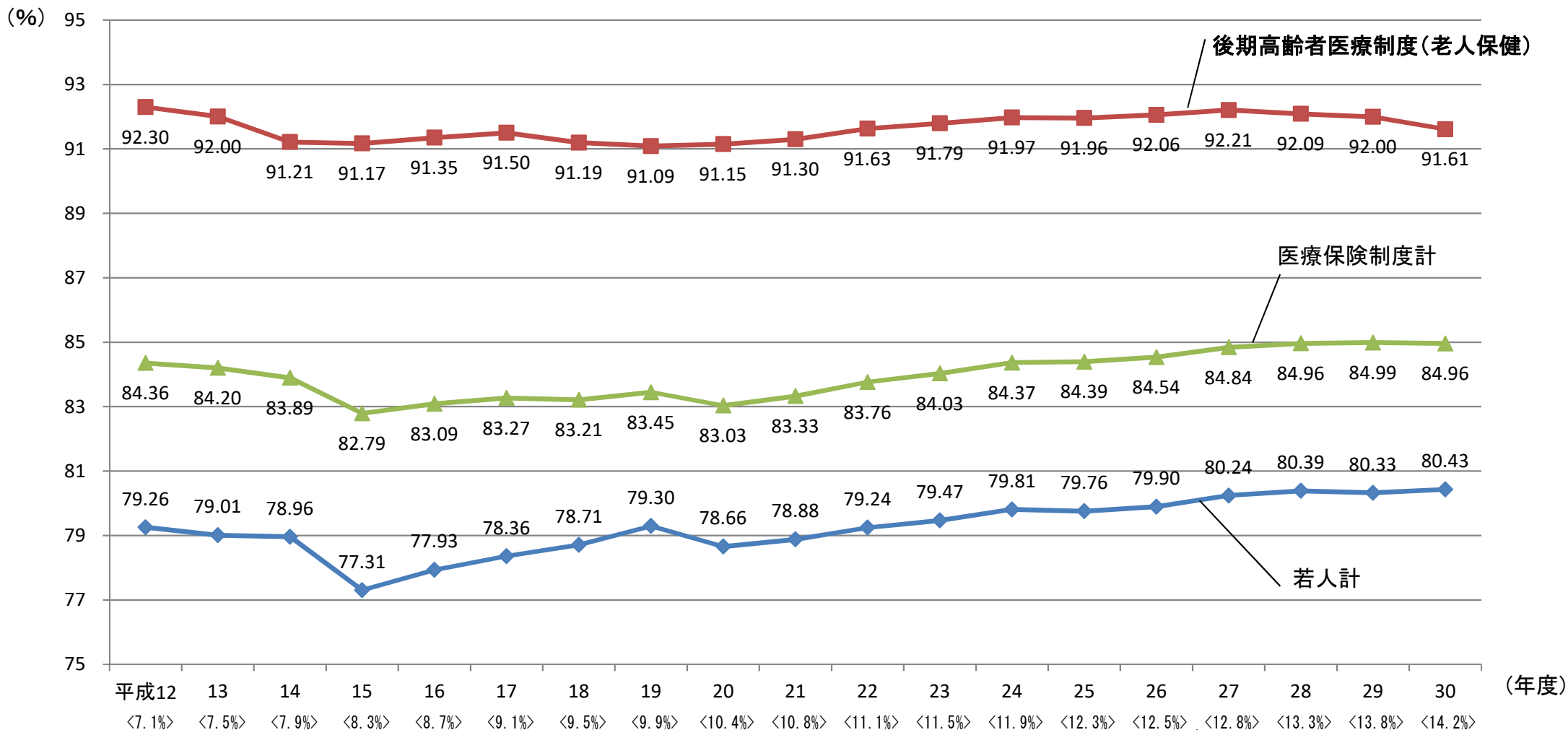


注1 前期調整額及び後期支援金の拠出側の合計と交付側の金額が一致しないのは、表示されていない他制度（共済組合など）があるため。

注2 「前期調整額」には、退職拠出金も含む。また、市町村国保の後期高齢者支援金に係る前期調整額は、「収入」の「前期調整額」に含めており、「支出」の「後期支援金」には調整前の金額を記載している。

実効給付率の推移

実効給付率（直近では約85%）は、制度改革等により上下することはあるものの、高齢者の方が実効給付率が高い傾向にあるため、高齢化の進展等により、近年のトレンドとしては上昇傾向になっています。



H14.10～70歳以上
: 定率1割(現役並み2割)

H15.4～健保
: 2割→3割

H18.10～70歳以上
: 現役並み: 2割→3割

H20.4～後期高齢者医療制度発足
70～74歳(凍結)/義務教育前: 2割

H26.4～70～74歳
: 順次凍結解除

(注1) 予算措置による70歳～74歳の患者負担補填分を含んでいない。

(注2) 特定疾患治療研究事業、小児慢性特定疾患治療研究事業といった公費による医療費の自己負担の軽減は含まれていない。

出典: 各制度の事業年報等を基に作成

実効給付率の推移と財源構成

実効給付率を財源別に見ると、保険料分が53%程度、公費分が32%程度となっています。

公費分の増減は、制度改正のほか、高齢化による後期高齢者の増加、被用者化による国保加入者の減少等によって変化しています。

| | 平成23年度 (2011) | 平成24年度 (2012) | 平成25年度 (2013) | 平成26年度 (2014) | 平成27年度 (2015) | 平成28年度 (2016) | 平成29年度 (2017) | 平成30年度 (2018) |
|-------------|------------------|------------------|------------------|--------------------------------------|--|---|-------------------------|---------------------------|
| 実効給付率 | 84.0% | 84.4% | 84.4% | 84.5% | 84.8% | 85.0% | 85.0% | 85.0% |
| うち保険料分 | 52.3% | 52.4% | 52.3% | 52.3% | 52.4% | 52.6% | 52.7% | 52.5% |
| うち公費分 | 31.7% | 32.0% | 32.1% | 32.3% | 32.4% | 32.4% | 32.3% | 32.5% |
| 前年度差（実効給付率） | 0.3% | 0.3% | 0.0% | 0.1% | 0.3% | 0.1% | 0.0% | ▲0.0% |
| うち保険料分 | 0.2% | 0.1% | ▲0.1% | ▲0.0% | 0.1% | 0.2% | 0.1% | ▲0.2% |
| うち公費分 | 0.1% | 0.3% | 0.1% | 0.2% | 0.2% | ▲0.1% | ▲0.0% | 0.1% |
| 制度改正 | | | | ・国保の保険基盤安定 (保険料軽減)の拡充 (約500億円) | ・国保の保険基盤安定 (保険者支援)の拡充 (約1,700億円) ・後期高齢者支援金の総 報酬割部分を1/2に引上 げ | ・短時間労働者の適用拡 大(H28.10~) ・後期高齢者支援金の総 報酬割部分を2/3に引上 げ | ・後期高齢者支援金の全 面総報酬割を実施 | ・国保の財政支援の拡充 (約1,700億円) |

※1. 実効給付率は医療保険医療費に対しての率である。

※2. 保険料分及び公費分は、各年度の財政構造表に基づき、実効給付率に財源構成における所要保険料及び公費の割合を乗じて算出したもの。

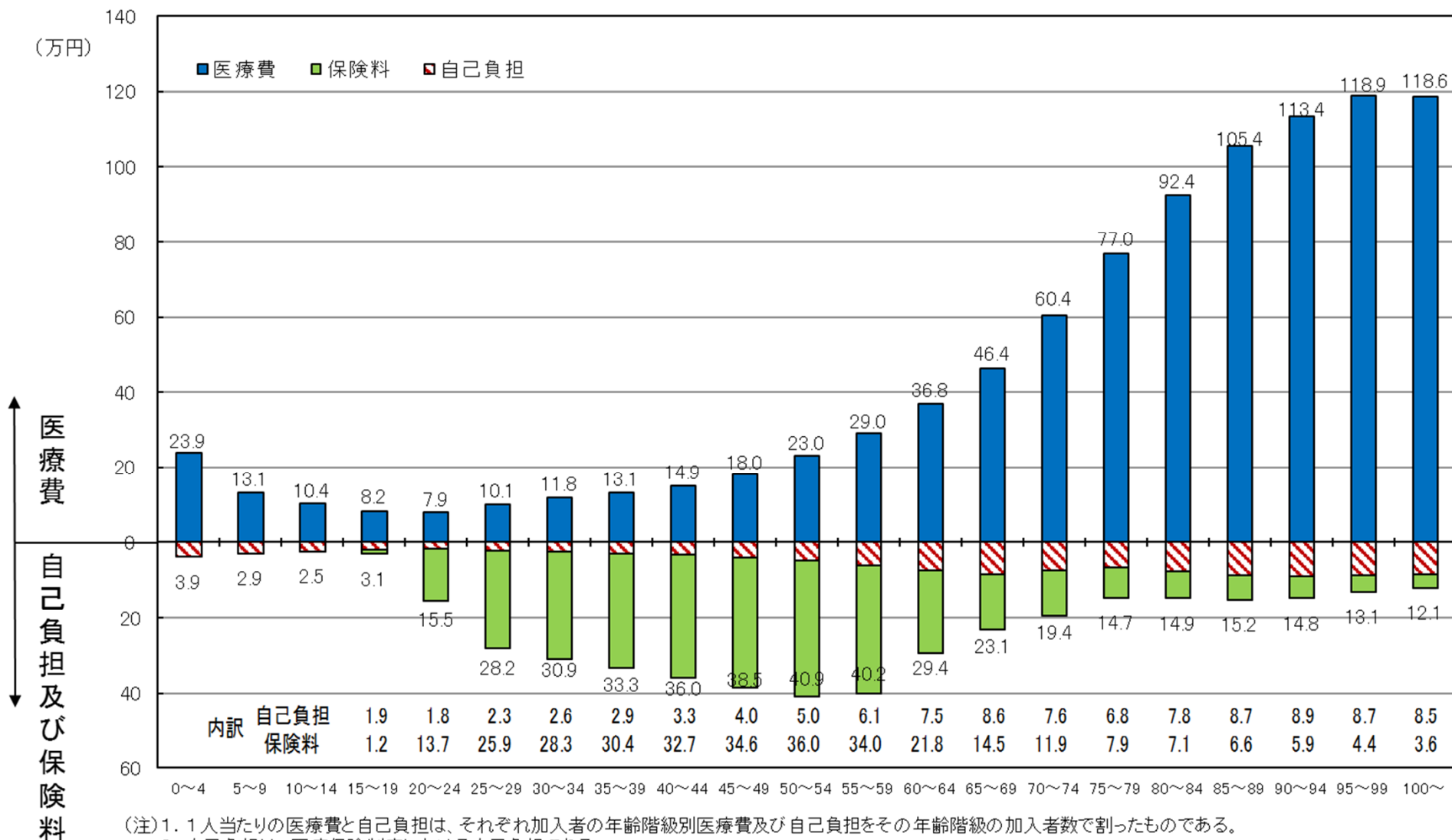
(参考) 制度別加入者数割合

| | | | | | | | | |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 被用者保険 | 58.0% | 58.1% | 58.3% | 58.7% | 59.3% | 60.1% | 61.0% | 61.5% |
| うち協会けんぽ | 27.5% | 27.6% | 28.0% | 28.5% | 29.2% | 29.9% | 30.6% | 31.2% |
| うち組合健保 | 23.3% | 23.2% | 23.1% | 23.1% | 23.1% | 23.2% | 23.4% | 23.5% |
| 国民健康保険 | 30.5% | 30.1% | 29.6% | 28.9% | 28.1% | 26.9% | 25.6% | 24.6% |
| 後期高齢者 | 11.4% | 11.8% | 12.1% | 12.3% | 12.7% | 13.1% | 13.5% | 13.9% |

※. 国民健康保険には、国保組合が含まれている。

年齢による医療費と負担額の違い

一般的に、年齢が高いほど平均的な医療費は高くなります。一方で、保険料の負担額は現役世代の間が比較的高くなります。



生涯医療費とは

生涯医療費は、その年に生まれた0歳の人が、平均で生涯にどのくらいの医療費が必要となるかを表したものです。

生涯医療費は、今後、年齢別の1人当たり医療費や死亡の状況が変化しないと仮定し、

「ある年齢の1人当たり医療費」×

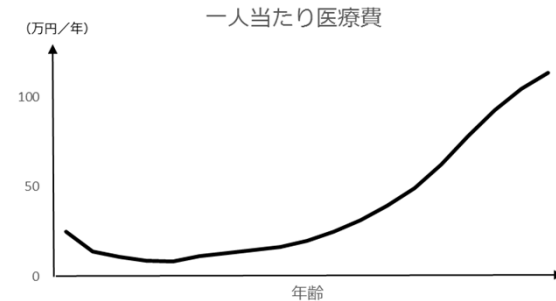
「0歳からその年齢までの生存割合」

を計算して、それを全ての年齢で足し上げることにより算出しています。

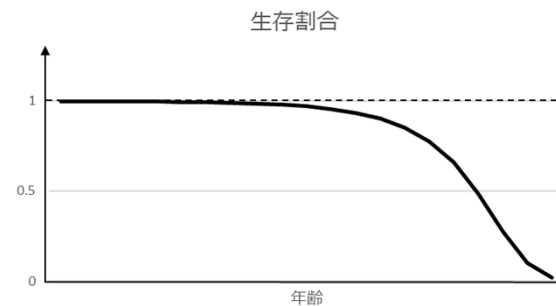
つまり、これは途中で死亡することも考慮した医療費と言えます。

このため、生涯医療費は、年齢ごとの1人当たり医療費を単純に足上げたものとは異なります。

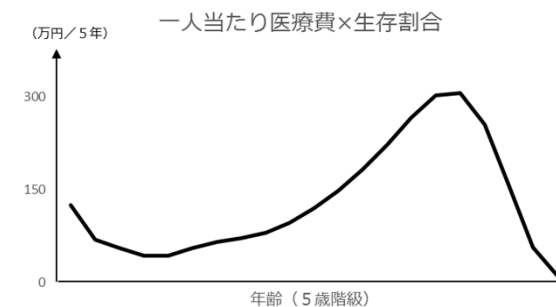
※ 実際の計算は、年齢を5歳階級ごとにまとめて行っています。



×

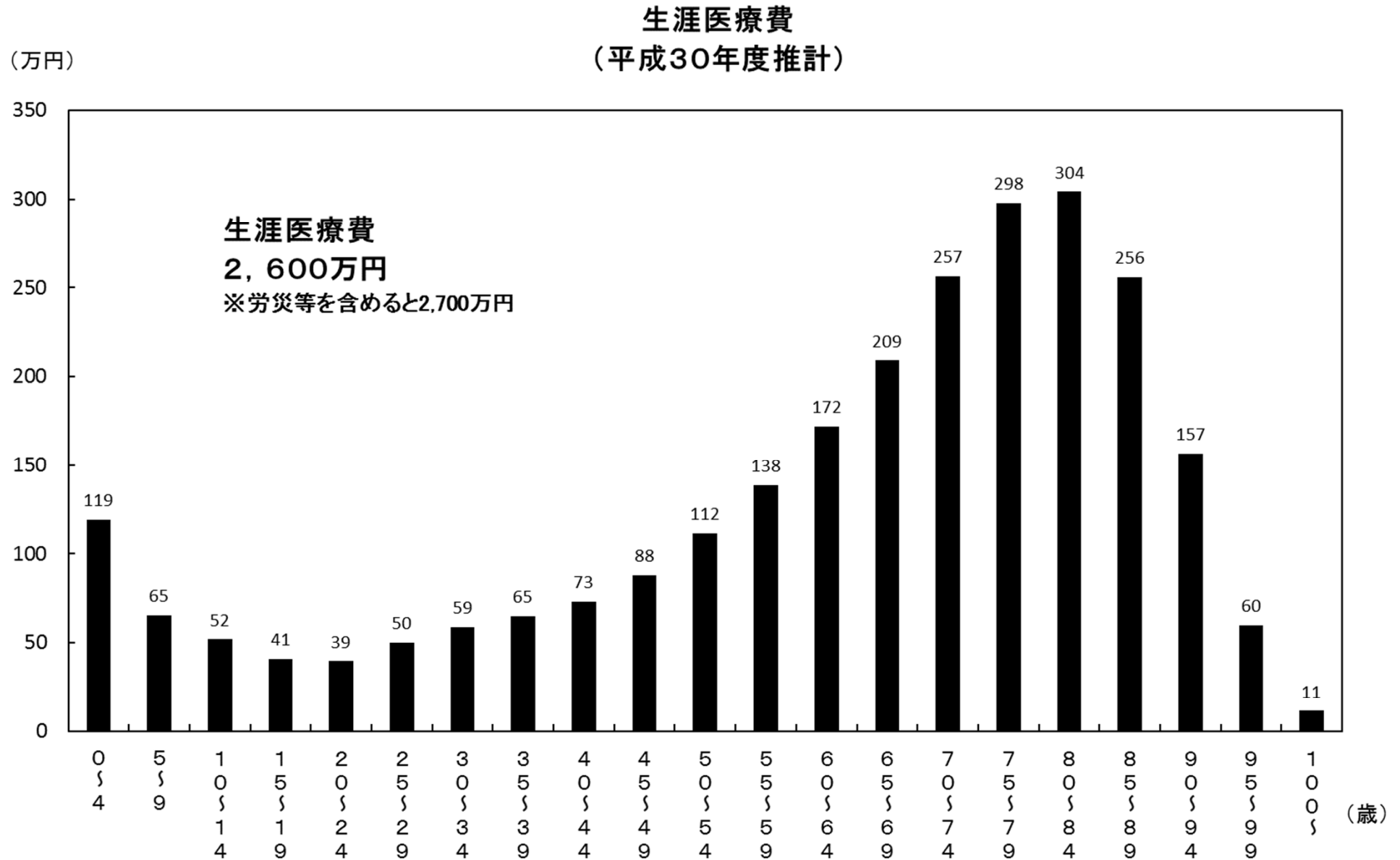


||



生涯医療費（平成30年度）

直近のデータを元に計算した生涯医療費は、約2,600万円となっています。



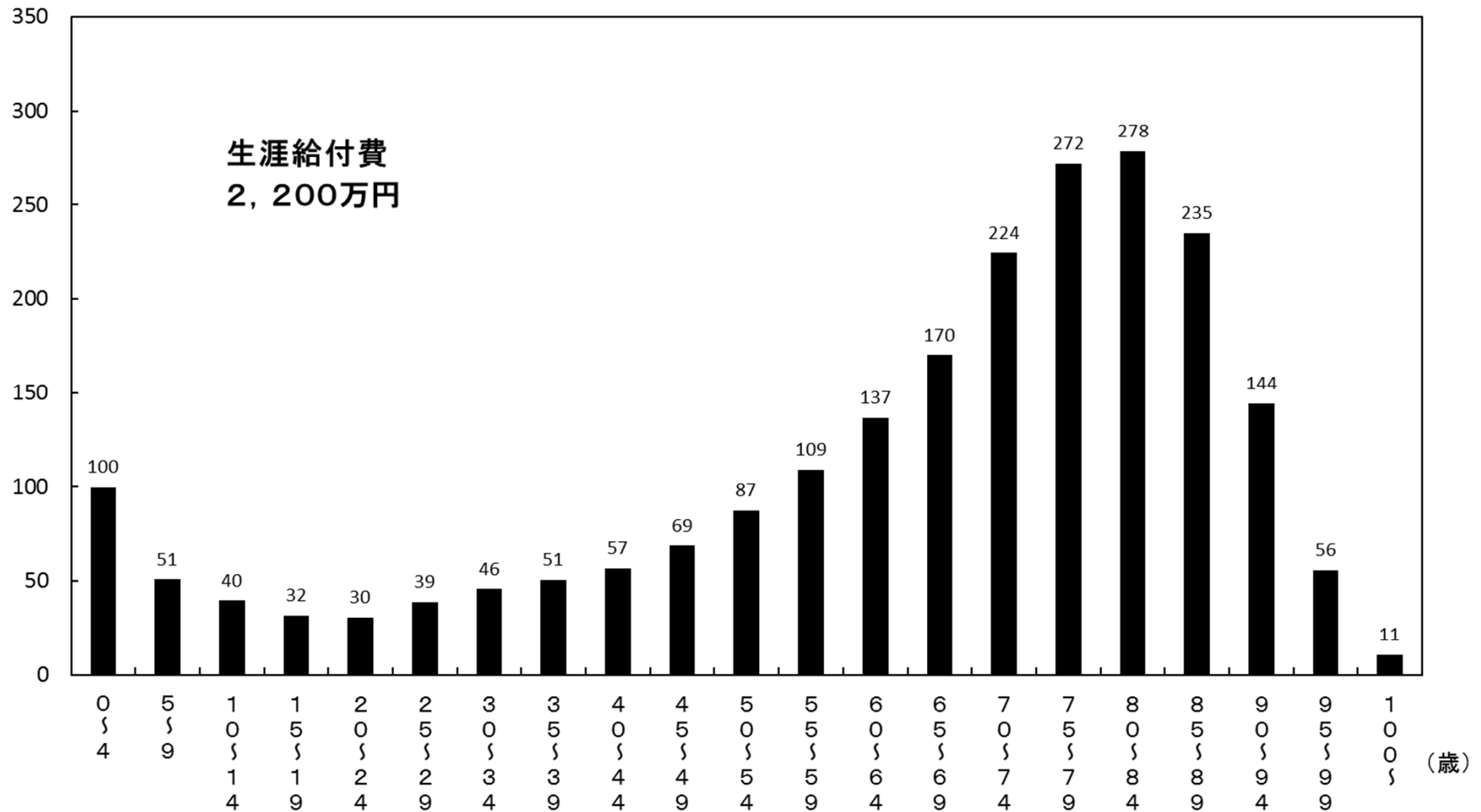
(注) 平成30年度の年齢階級別一人当たり医療費をもとに、平成30年簡易生命表による定常人口を適用して推計したものである。

生涯給付費（平成30年度）

生涯医療費2,600万円のうち医療保険給付で賄われる部分は、約2,200万円となり、医療費の約85%は医療保険から賄われることとなります。

生涯給付費
(平成30年度推計)

(万円)



(注) 平成30年度の年齢階級別一人当たり給付費をもとに、平成30年簡易生命表による定常人口を適用して推計したものである。

(参考) 医療保険部会における議論の整理 (令和2年12月23日)

(医療費について保険給付率と患者負担率のバランス等の定期的に見える化)

- 現在、医療費の動向、医療費の伸び率の要因分解、制度別の実効給付率等について定期的に公表しているほか、制度改正や診療報酬改定の財政影響について、その都度必要に応じ公表しているところである。
- 医療費について保険給付率と患者負担率のバランス等の定期的に見える化については、改革工程表において、「支え手の中核を担う勤労世代が減少しその負担能力が低下する中で、改革に関する国民的理解を形成する観点から保険給付率（保険料・公費負担）と患者負担率のバランス等を定期的に見える化しつつ、診療報酬とともに保険料・公費負担、患者負担について、（中略）総合的な対応を検討」とされている。
- これを踏まえ、当部会においては、
 - ① 医療保険の財源について、特に自己負担・保険料負担・公費負担の構造等をわかりやすい形で公表し、制度検討の議論に供することで、定期的に総合的な対応について検討していくこと
 - ② 国民に広く財源について理解してもらうことにより、医療保険制度をより信頼し、安心して利用してもらうような環境を形成すること等について議論を行った。
- ①医療保険の財源について、特に自己負担・保険料負担・公費負担の構造等をわかりやすい形で公表することについては、
 - ・ データのみならず、医療保険制度の仕組みを効果的に伝えることも重要ではないか
 - ・ 保険制度の利用に当たっての国民のコスト意識を喚起するような情報開示を進める必要があるのではないか
 - ・ 予防・健康づくりに要する費用にも着目すべきではないかなどの意見があった。
- ②国民に広く財源について理解してもらうことにより、医療保険制度をより信頼し、安心して利用してもらうような環境を形成することについては、
 - ・ 専門家だけではなく、国民が理解できるような形にすることが重要ではないか
 - ・ どのような媒体を使っていくかということが重要なのではないか、ホームページでの発信に限らず、他の手法も考えるべきではないか
 - ・ 「見える化」に加えてさらに積極的に教育するという視点も重要ではないかなどの意見があった。
- これらの意見を踏まえ、今後、医療費の財源構造、医療保険制度の比較、実効給付率の推移と要因分析、生涯医療費の分析内容について、年1回当部会において報告するとともにホームページ上で公表し、資料についてはわかりやすさを重視したものとすべきである。

令和2年度医療費の動向

令和2年度 医療費の動向

～概算医療費の年度集計結果～

* 概算医療費とは
医療費の動向を迅速に把握するために、医療機関からの診療報酬の請求（レセプト）に基づいて、医療保険・公費負担医療分の医療費を集計したもの。労災・全額自費等の費用を含まず、国民医療費の約98%に相当。

- 令和2年度の概算医療費は42.2兆円。対前年比▲3.2%、金額で▲1.4兆円の減少となり過去最大の減少。受診延日数は▲8.5%の減少、1日当たり医療費は+5.8%の増加。
- 診療種別では、歯科は減少幅が他の診療種別に比べ小さいが、いずれの診療科もマイナスとなった。
- 未就学者、医科診療所の小児科や耳鼻咽喉科の減少が大きい。都道府県間では、入院の影響が伸び率に寄与。

(参考)

入院 : 医療費は ▲3.4%、受診延日数は ▲5.8% の減少、1日当たり医療費は 2.6% の増加
入院外 : 医療費は ▲4.4%、受診延日数は ▲10.1% の減少、1日当たり医療費は 6.4% の増加
歯科 : 医療費は ▲0.8%、受診延日数は ▲6.9% の減少、1日当たり医療費は 6.6% の増加
調剤 : 医療費は ▲2.7%、処方箋枚数は ▲9.3% の減少、1枚当たり医療費は 7.3% の増加

令和2年度 医療費の動向 ～概算医療費の年度集計結果～ <概観>

- 令和2年度の概算医療費は42.2兆円。金額で▲1.4兆円、対前年同期比（伸び率）は▲3.2%の減少となり、過去最大の減少幅となった。（これまでの最大の下げ幅は介護保険制度発足した平成12年度の約▲0.6兆円（国民医療費ベース）の減少。）
- 受診延日数は▲8.5%と大きく減少し、1日当たり医療費は5.8%増加している。

（兆円、%）

| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|-------|------------------|
| 概算医療費 | 41.5 | 41.3 | 42.2 | 42.6 | 43.6 | <u>42.2</u> |
| 対前年増減額 | 1.5 | ▲0.2 | 0.9 | 0.3 | 1.0 | <u>▲1.4</u> |
| 伸び率 (①) | 3.8 | ▲0.4 | 2.3 | 0.8 | 2.4 | <u>▲3.2</u> |
| (休日数等補正後) | (3.6) | (▲0.4) | (2.3) | (0.9) | (2.9) | ※1 <u>(▲3.9)</u> |
| 受診延日数 | 0.2 | ▲0.7 | ▲0.1 | ▲0.5 | ▲0.8 | <u>▲8.5</u> |
| 1日当たり医療費 | 3.6 | 0.3 | 2.4 | 1.3 | 3.2 | <u>5.8</u> |

| | | | | | | |
|----------------------------------|------|-------|------|-------|-------|-----------------|
| 人口増の影響 (②) | ▲0.1 | ▲0.1 | ▲0.2 | ▲0.2 | ▲0.2 | <u>▲0.3</u> |
| 高齢化の影響 (③) | 1.0 | 1.0 | 1.2 | 1.1 | 1.0 | <u>1.1</u> |
| 診療報酬改定等 (④) | | ▲1.33 | | ▲1.19 | ▲0.07 | ※2 <u>▲0.46</u> |
| 上記の影響を除いた 概算医療費の伸び率 (①-②-③-④) | 2.9 | 0.0 | 1.3 | 1.1 | 1.6 | <u>▲3.6</u> |

※1 令和2年度の休日数等の対前年度差異は日曜・祭日等が4日少なく、休日でない木曜日が1日少なく、また、前年が閏年であったことから、伸び率に対する休日数等補正は▲0.7%。

※2 令和元年10月消費税引上げに伴う診療報酬改定に係る平年度効果分を含んでいる。

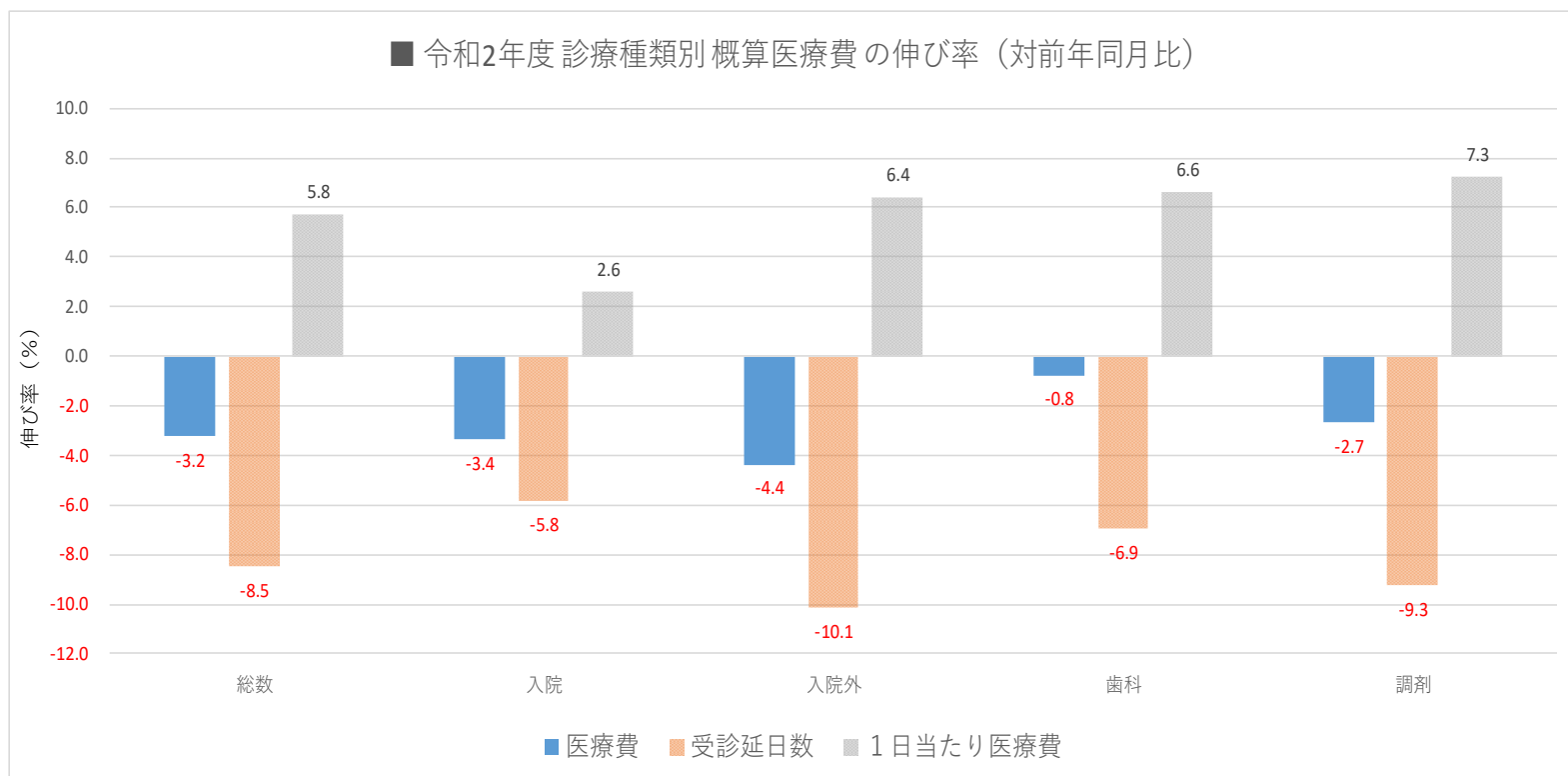
※3 主傷病がCOVID-19であるレセプト（電算処理分）を対象に医療費を集計すると、令和2年度年間で1,200億円程度。

令和2年度 医療費の動向 ～概算医療費の年度集計結果～ <診療種別>

- 令和2年度の医療費の伸び（対前年同期比、以下同じ）を診療種別に見ると、歯科の減少幅は▲0.8%程度に留まるも、他の診療種別は▲3～4%程度の減少となった。
- 受診延日数については、入院が▲5.8%に対して、入院外、調剤が ▲9～10%程度の減少と大きくなっている。
- 1日当たり医療費の伸びは、入院が+2.6%に留まる一方で、その他の診療種別は+6%～7%程度の増加を示している。

■ 令和2年度 診療種別別 概算医療費の伸び率（対前年同月比） （単位：％）

| | 総数 | 入院 | 入院外 | 歯科 | 調剤 |
|----------|------|------|-------|------|------|
| 医療費 | -3.2 | -3.4 | -4.4 | -0.8 | -2.7 |
| 受診延日数 ※ | -8.5 | -5.8 | -10.1 | -6.9 | -9.3 |
| 1日当たり医療費 | 5.8 | 2.6 | 6.4 | 6.6 | 7.3 |



※調剤の受診延日数は「処方せん枚数（受付回数）」を集計したもの

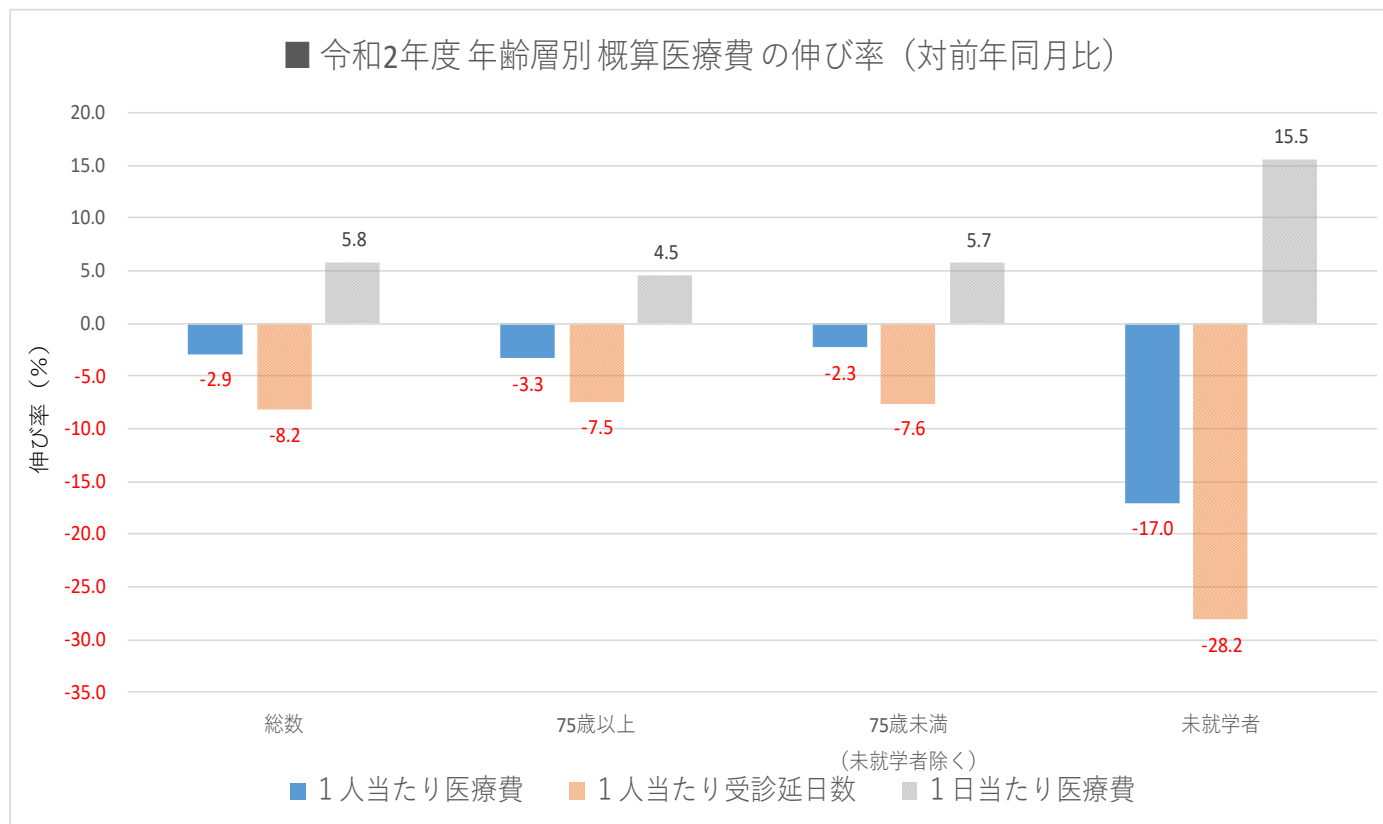
令和2年度 医療費の動向 ～概算医療費の年度集計結果～ <年齢層別>

- 年齢層別に見ると、未就学者の1人当たり医療費の減少幅が15%を超える大きな減少。
- とりわけ1人当たり受診延日数の減少が大きい。

■ 令和2年度 年齢層別 概算医療費の伸び率（対前年同月比）

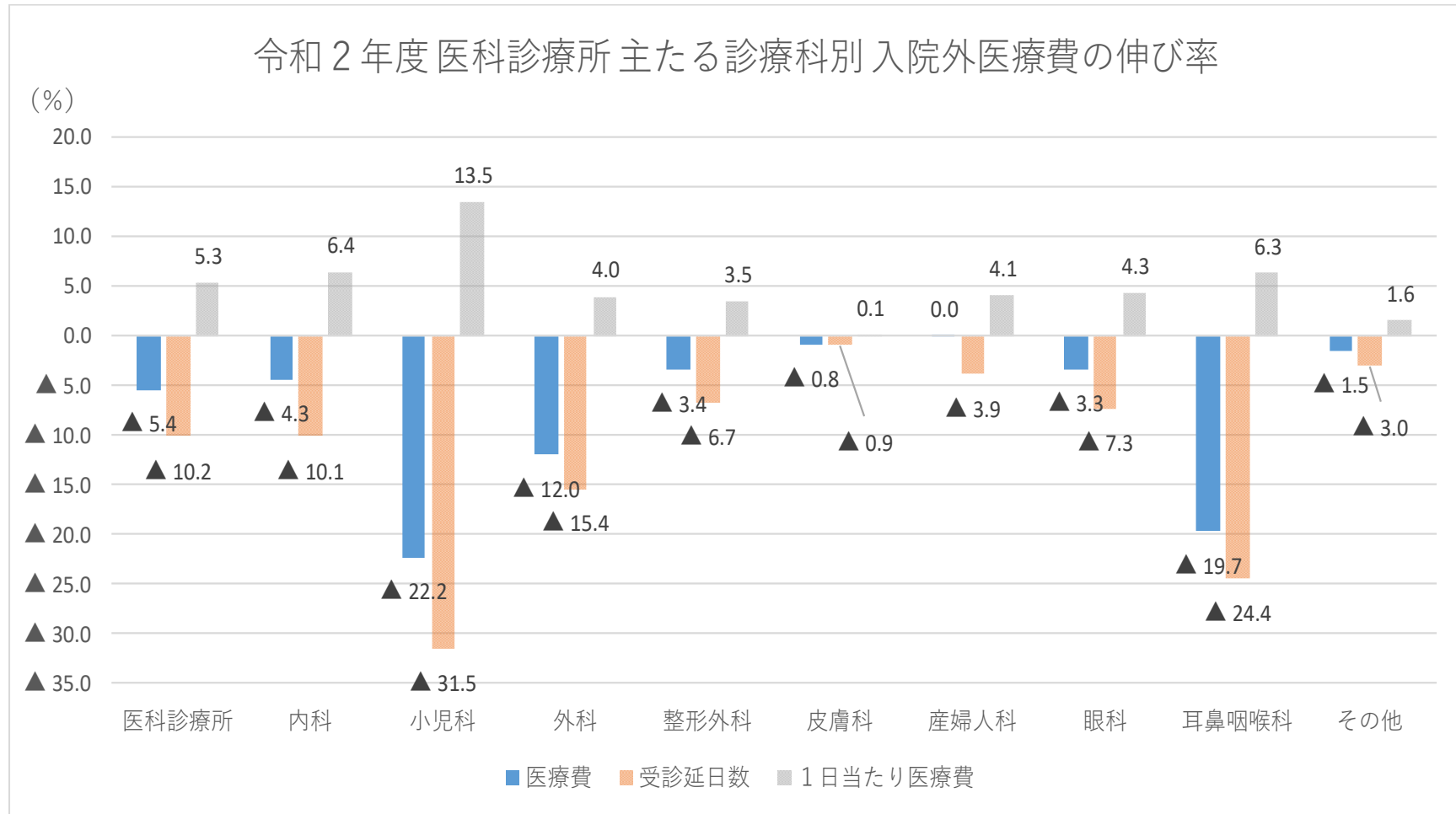
（単位：％）

| | 総数 | 75歳以上 | 75歳未満 (未就学者除く) | 未就学者 |
|------------|------|-------|-------------------|-------|
| 1人当たり医療費 | -2.9 | -3.3 | -2.3 | -17.0 |
| 1人当たり受診延日数 | -8.2 | -7.5 | -7.6 | -28.2 |
| 1日当たり医療費 | 5.8 | 4.5 | 5.7 | 15.5 |



令和2年度 医療費の動向 ～概算医療費の年度集計結果～ <医科診療所 主たる診療科別>

○ 入院外について、医科診療所の主たる診療科別の伸び率を見ると、小児科・耳鼻咽喉科の減少幅は、他の診療科に比べ大きい。



令和2年度 医療費の動向 ～概算医療費の年度集計結果～ <都道府県別>

- 都道府県別に減少幅を見ると、東京都（▲4.8%）、石川県（▲4.4%）、福井県（▲4.4%）などの減少幅が大きい。とりわけ東京都は入院外 以外の診療種別で最も減少幅が大きくなっている。
- データの散らばりの度合いを表す分散を見ると、入院、歯科で前年度よりも大きくなっている。

(単位：%)

| | 令和元年度 | | | | | 令和2年度 | | | | |
|------|-------|-----|-----|------|-----|-------|------|------|------|------|
| | 総計 | 入院 | 入院外 | 歯科 | 調剤 | 総計 | 入院 | 入院外 | 歯科 | 調剤 |
| | | | | | | | | | | |
| 総数 | 2.4 | 2.0 | 2.0 | 1.9 | 3.6 | ▲3.2 | ▲3.4 | ▲4.4 | ▲0.8 | ▲2.7 |
| 北海道 | 2.0 | 1.3 | 2.2 | 1.4 | 3.1 | ▲3.8 | ▲4.5 | ▲4.1 | ▲0.3 | ▲3.2 |
| 青森県 | 1.0 | 0.3 | 1.2 | 1.2 | 2.0 | ▲3.1 | ▲1.9 | ▲4.8 | 0.6 | ▲4.1 |
| 岩手県 | 1.0 | 0.1 | 0.9 | ▲0.7 | 2.9 | ▲2.1 | ▲1.6 | ▲3.8 | 2.1 | ▲2.0 |
| 宮城県 | 2.2 | 2.1 | 1.7 | 0.6 | 3.5 | ▲2.6 | ▲1.8 | ▲4.1 | 1.0 | ▲3.2 |
| 秋田県 | 1.3 | 0.9 | 1.2 | 1.7 | 2.2 | ▲2.7 | ▲1.9 | ▲4.1 | 0.2 | ▲3.4 |
| 山形県 | 1.2 | 0.4 | 0.8 | 1.4 | 3.1 | ▲3.8 | ▲3.9 | ▲5.0 | ▲0.0 | ▲3.2 |
| 福島県 | 1.3 | 1.4 | 0.9 | 1.0 | 1.9 | ▲3.9 | ▲4.4 | ▲4.6 | 1.1 | ▲3.7 |
| 茨城県 | 2.2 | 1.6 | 1.6 | 1.2 | 4.2 | ▲3.2 | ▲3.4 | ▲4.1 | ▲0.5 | ▲2.6 |
| 栃木県 | 2.6 | 2.9 | 2.5 | 1.3 | 2.4 | ▲2.1 | ▲1.5 | ▲5.4 | 0.9 | 2.1 |
| 群馬県 | 1.7 | 1.1 | 1.6 | 1.8 | 3.3 | ▲2.7 | ▲2.1 | ▲4.4 | ▲0.3 | ▲2.3 |
| 埼玉県 | 3.1 | 3.3 | 2.6 | 1.7 | 3.7 | ▲2.7 | ▲2.5 | ▲3.6 | ▲1.6 | ▲2.8 |
| 千葉県 | 2.6 | 2.6 | 2.2 | 1.4 | 3.3 | ▲2.2 | ▲0.8 | ▲3.8 | ▲1.6 | ▲3.2 |
| 東京都 | 2.8 | 2.6 | 2.9 | 1.5 | 3.4 | ▲4.8 | ▲6.1 | ▲4.7 | ▲3.3 | ▲4.5 |
| 神奈川県 | 3.0 | 2.8 | 2.4 | 2.3 | 4.3 | ▲3.1 | ▲3.8 | ▲3.8 | ▲1.1 | ▲2.2 |
| 新潟県 | 1.6 | 1.4 | 1.2 | 0.6 | 2.7 | ▲3.3 | ▲2.3 | ▲5.3 | ▲0.1 | ▲3.5 |
| 富山県 | 2.3 | 1.8 | 1.8 | 0.9 | 5.0 | ▲3.1 | ▲2.6 | ▲6.0 | ▲1.1 | 0.1 |
| 石川県 | 1.8 | 1.3 | 1.4 | 1.0 | 3.3 | ▲4.4 | ▲5.5 | ▲5.2 | ▲2.9 | ▲1.7 |
| 福井県 | 1.8 | 1.4 | 0.4 | 1.9 | 6.1 | ▲4.4 | ▲4.5 | ▲6.0 | ▲1.6 | ▲1.6 |
| 山梨県 | 1.4 | 0.9 | 2.1 | 1.5 | 1.2 | ▲2.8 | ▲2.7 | ▲3.6 | 1.4 | ▲3.7 |
| 長野県 | 2.2 | 1.8 | 1.9 | 2.0 | 3.3 | ▲2.2 | ▲1.9 | ▲3.8 | 2.5 | ▲1.9 |
| 岐阜県 | 1.4 | 0.2 | 1.2 | 3.2 | 3.1 | ▲3.5 | ▲3.4 | ▲4.9 | 0.1 | ▲3.5 |
| 静岡県 | 2.4 | 2.2 | 2.3 | 2.6 | 2.7 | ▲2.2 | ▲2.1 | ▲2.8 | 1.7 | ▲2.8 |
| 愛知県 | 2.9 | 2.4 | 2.5 | 2.5 | 3.8 | ▲2.6 | ▲2.6 | ▲3.7 | 0.4 | ▲2.8 |
| 三重県 | 2.3 | 2.1 | 1.2 | 2.0 | 4.8 | ▲3.5 | ▲4.0 | ▲5.1 | 0.5 | ▲1.1 |

(単位：%)

| | 令和元年度 | | | | | 令和2年度 | | | | |
|------|-------|-----|-----|------|-----|-------|------|------|------|------|
| | 総計 | 入院 | 入院外 | 歯科 | 調剤 | 総計 | 入院 | 入院外 | 歯科 | 調剤 |
| | | | | | | | | | | |
| 滋賀県 | 2.7 | 1.9 | 2.3 | 2.5 | 5.2 | ▲3.6 | ▲4.6 | ▲4.8 | ▲1.0 | ▲0.8 |
| 京都府 | 2.9 | 2.5 | 1.8 | 3.3 | 5.4 | ▲3.6 | ▲4.4 | ▲4.6 | ▲1.9 | ▲0.9 |
| 大阪府 | 2.9 | 2.7 | 2.1 | 2.7 | 4.3 | ▲3.3 | ▲3.8 | ▲4.6 | ▲2.1 | ▲1.8 |
| 兵庫県 | 2.3 | 1.5 | 2.1 | 2.7 | 4.0 | ▲3.7 | ▲4.2 | ▲4.7 | ▲1.3 | ▲2.8 |
| 奈良県 | 3.0 | 2.6 | 3.2 | 2.0 | 3.7 | ▲3.2 | ▲4.4 | ▲3.4 | ▲0.4 | ▲1.3 |
| 和歌山県 | 2.8 | 3.6 | 0.9 | 1.7 | 4.8 | ▲3.1 | ▲3.3 | ▲4.3 | ▲1.6 | ▲1.6 |
| 鳥取県 | 1.6 | 1.4 | 1.5 | ▲0.1 | 2.6 | ▲2.0 | ▲1.6 | ▲3.8 | 1.6 | ▲1.4 |
| 島根県 | 2.1 | 1.7 | 1.8 | 1.9 | 3.4 | ▲2.7 | ▲2.8 | ▲4.0 | 2.4 | ▲2.5 |
| 岡山県 | 2.4 | 1.9 | 2.1 | 2.8 | 4.2 | ▲3.2 | ▲3.5 | ▲4.3 | 1.6 | ▲2.9 |
| 広島県 | 2.0 | 1.7 | 1.7 | 2.1 | 3.1 | ▲3.0 | ▲2.2 | ▲4.6 | ▲1.4 | ▲2.8 |
| 山口県 | 1.1 | 0.6 | 0.6 | 1.0 | 3.3 | ▲2.8 | ▲2.3 | ▲4.7 | 2.4 | ▲3.3 |
| 徳島県 | 2.0 | 2.0 | 1.3 | 1.9 | 3.4 | ▲2.0 | ▲1.2 | ▲4.5 | 0.2 | ▲0.1 |
| 香川県 | 2.1 | 1.7 | 1.2 | 2.7 | 4.0 | ▲3.4 | ▲3.9 | ▲4.1 | ▲0.8 | ▲2.3 |
| 愛媛県 | 2.5 | 2.0 | 2.0 | 2.1 | 4.9 | ▲3.4 | ▲3.9 | ▲5.3 | 1.5 | ▲0.9 |
| 高知県 | 0.7 | 0.1 | 0.1 | 0.8 | 3.7 | ▲2.4 | ▲1.6 | ▲5.0 | ▲2.0 | ▲1.3 |
| 福岡県 | 2.2 | 1.7 | 1.7 | 2.1 | 4.0 | ▲3.7 | ▲3.9 | ▲5.2 | ▲1.6 | ▲2.5 |
| 佐賀県 | 1.6 | 0.9 | 2.5 | 1.6 | 1.9 | ▲2.0 | ▲1.4 | ▲3.1 | 2.2 | ▲3.9 |
| 長崎県 | 1.1 | 0.3 | 1.1 | 1.3 | 3.0 | ▲3.0 | ▲3.0 | ▲4.9 | 1.0 | ▲1.8 |
| 熊本県 | 1.9 | 1.6 | 1.0 | 2.3 | 4.2 | ▲2.3 | ▲1.3 | ▲5.5 | 3.2 | ▲1.3 |
| 大分県 | 1.8 | 1.7 | 1.0 | 1.5 | 3.6 | ▲3.0 | ▲2.5 | ▲4.3 | ▲0.7 | ▲3.0 |
| 宮崎県 | 1.9 | 1.1 | 2.0 | 2.3 | 3.3 | ▲3.0 | ▲3.6 | ▲3.6 | 1.1 | ▲2.8 |
| 鹿児島県 | 2.3 | 2.4 | 1.7 | 1.5 | 3.0 | ▲2.2 | ▲2.2 | ▲3.3 | 3.2 | ▲2.4 |
| 沖縄県 | 3.2 | 1.4 | 4.2 | 2.9 | 6.0 | ▲3.9 | ▲3.9 | ▲5.2 | ▲1.3 | ▲3.2 |

| | | | | | | | | | | |
|----|--------------|---------------|--------------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 最大 | 3.2 (沖縄県) | 3.6 (和歌山県) | 4.2 (沖縄県) | 3.3 (京都府) | 6.1 (福井県) | ▲2.0 (徳島県) | ▲0.8 (千葉県) | ▲2.8 (静岡県) | 3.2 (熊本県) | 2.1 (栃木県) |
| 最小 | 0.7 (高知県) | 0.1 (高知県) | 0.1 (高知県) | ▲0.7 (岩手県) | 1.2 (山梨県) | ▲4.8 (東京都) | ▲6.1 (東京都) | ▲6.0 (福井県) | ▲3.3 (東京都) | ▲4.5 (東京都) |
| 分散 | 0.40 | 0.69 | 0.58 | 0.65 | 1.10 | 0.48 | 1.49 | 0.54 | 2.60 | 1.52 |

▲ : 医療費の伸び率 上位5県 (減少幅が小さい)
▲ : 医療費の伸び率 下位5県 (減少幅が大きい)

※分散とは、データの散らばりの度合いを表す値

医科医療費(電算処理分)の動向

レセプト電算処理システムにより処理された診療報酬明細書(電子レセプト)のうち医科入院、医科入院外分を用いて集計、医療費の動向について詳細を分析。
ただし、電算化率の変動が医療費の伸び率に影響を与えること(電算化率は入院は95%程度、入院外は98%程度)に留意が必要。

- 年齢階級別では、入院・入院外ともに、「0歳以上 5歳未満」「5歳以上 10歳未満」層の減少幅が大きい。
- 疾病分類別では、入院・入院外ともに、「呼吸器系の疾患」がマイナス方向に大きく影響している。
- 診療内容別では、入院・入院外ともに「初診」の減少幅が大きく、伸び率に対する影響度で見ると、入院は「DPC包括分」「手術・麻酔」が、入院外は「初診」「検査・病理診断」のマイナスの影響が大きい。

※これまでは、集計システム上の制約等により医科入院外に1/100の抽出率でランダム抽出したデータを使用していたため試験的公表として取り扱ってきたが、システム上の対応が完了し、医科入院外についても電算処理分の全数データを用いることができるようになったため、今後は本格公表として取り扱う。

医科医療費（電算処理分）の動向 令和2年度の状況 <年齢階級別>

○ 入院・入院外ともに、「0歳以上 5歳未満」「5歳以上 10歳未満」層等の若年層の減少幅が大きい。

■ 入院 1人当たり医療費 伸び率 (単位：%)

| | 令和元年度 | 令和2年度 |
|--------------|-------|-------|
| 総数 | 2.5 | -3.3 |
| 0歳以上 5歳未満 | 0.8 | -14.7 |
| 5歳以上 10歳未満 | 3.4 | -18.3 |
| 10歳以上 15歳未満 | 2.8 | -5.9 |
| 15歳以上 20歳未満 | 4.3 | -6.8 |
| 20歳以上 25歳未満 | 0.7 | -5.6 |
| 25歳以上 30歳未満 | 0.3 | -5.2 |
| 30歳以上 35歳未満 | 0.6 | -4.2 |
| 35歳以上 40歳未満 | 0.7 | -3.6 |
| 40歳以上 45歳未満 | 1.7 | -4.7 |
| 45歳以上 50歳未満 | 0.9 | -4.6 |
| 50歳以上 55歳未満 | 0.3 | -3.1 |
| 55歳以上 60歳未満 | 1.3 | -4.6 |
| 60歳以上 65歳未満 | 1.2 | -4.0 |
| 65歳以上 70歳未満 | 1.2 | -4.4 |
| 70歳以上 75歳未満 | 0.9 | -4.0 |
| 75歳以上 80歳未満 | 1.1 | -4.3 |
| 80歳以上 85歳未満 | 1.1 | -4.7 |
| 85歳以上 90歳未満 | 0.8 | -4.3 |
| 90歳以上 95歳未満 | 1.0 | -4.8 |
| 95歳以上 100歳未満 | -1.0 | -6.9 |
| 100歳以上 | 3.6 | -6.2 |

■ 入院外 1人当たり医療費 伸び率 (単位：%)

| | 令和元年度 | 令和2年度 |
|--------------|-------|-------|
| 総数 | 2.4 | -4.0 |
| 0歳以上 5歳未満 | -1.5 | -23.8 |
| 5歳以上 10歳未満 | -0.9 | -19.0 |
| 10歳以上 15歳未満 | -0.4 | -11.5 |
| 15歳以上 20歳未満 | 2.0 | -3.9 |
| 20歳以上 25歳未満 | 0.4 | -0.9 |
| 25歳以上 30歳未満 | 0.6 | -3.3 |
| 30歳以上 35歳未満 | 1.9 | -4.2 |
| 35歳以上 40歳未満 | 1.5 | -4.4 |
| 40歳以上 45歳未満 | 2.7 | -4.0 |
| 45歳以上 50歳未満 | 2.2 | -3.2 |
| 50歳以上 55歳未満 | 2.1 | -3.1 |
| 55歳以上 60歳未満 | 2.8 | -3.2 |
| 60歳以上 65歳未満 | 2.2 | -3.3 |
| 65歳以上 70歳未満 | 2.3 | -3.7 |
| 70歳以上 75歳未満 | 1.5 | -3.4 |
| 75歳以上 80歳未満 | 1.3 | -4.2 |
| 80歳以上 85歳未満 | 1.7 | -4.2 |
| 85歳以上 90歳未満 | 1.3 | -3.7 |
| 90歳以上 95歳未満 | 1.3 | -2.8 |
| 95歳以上 100歳未満 | -0.5 | -2.1 |
| 100歳以上 | 6.1 | 1.3 |

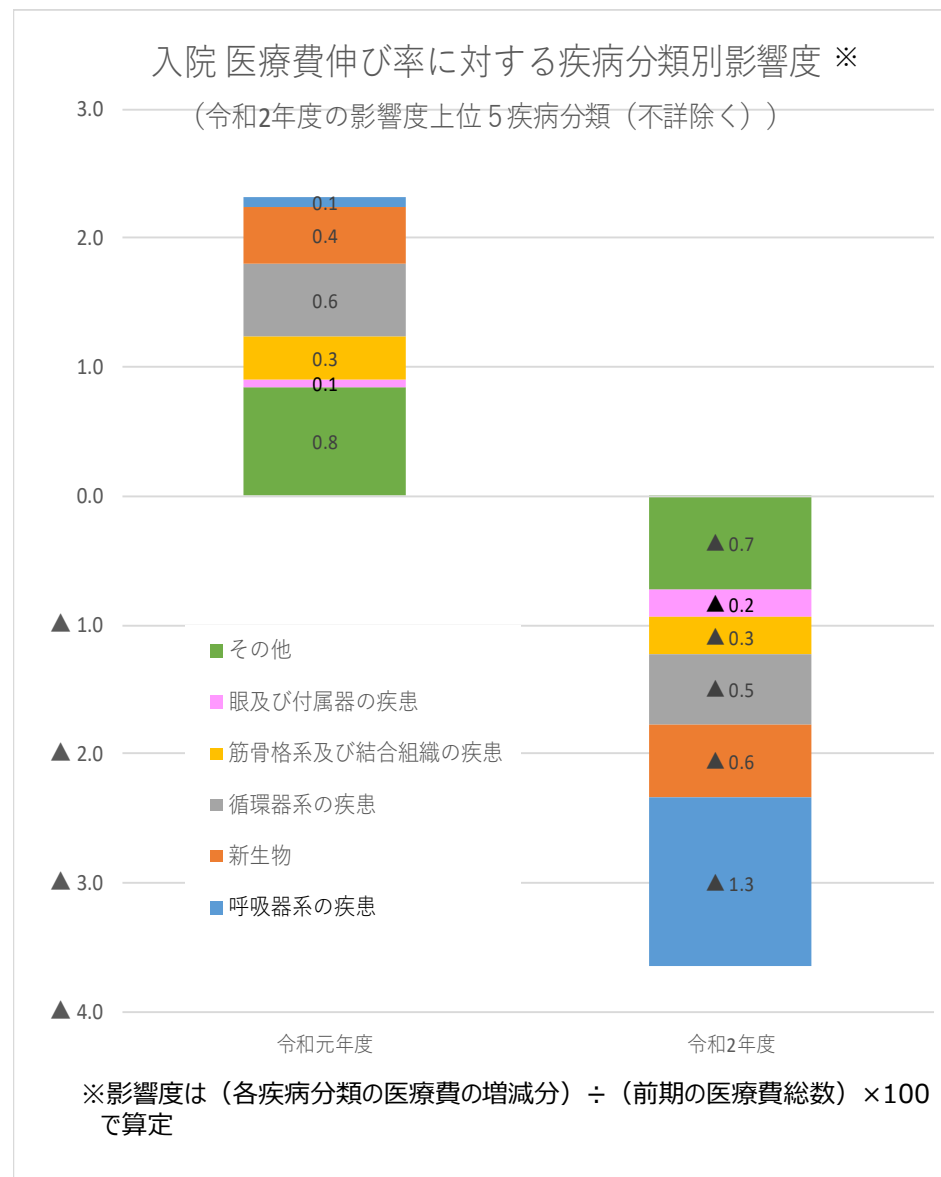
：伸び率の下位3階級（減少幅が大きい）

※ 1人当たり医療費の算出にあたり、各年齢階級毎の人数は総務省統計局「人口推計」における5歳階級別人口を用いた。

医科医療費（電算処理分）の動向 令和2年度の状況 <疾病分類別 入院>

- 疾病分類別の入院医療費の伸び率を見ると、「呼吸器系の疾患」「耳及び乳様突起の疾患」「眼及び付属器の疾患」の減少幅が大きい。
- 医療費全体の伸び率に対する影響度で見ると、「呼吸器系の疾患」「新生物」「循環器系の疾患」で過半を占める。

| ■ 入院 疾病分類別医療費の伸び率 | (単位：%) | | (単位：%) |
|---------------------------------|--------|--------|---------------|
| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和元年度医療費の構成割合 |
| 総数 | 2.3 | ▲ 3.7 | 100.0 |
| 感染症及び寄生虫症 | 1.2 | ▲ 4.1 | 1.4 |
| 新生物 | 2.7 | ▲ 3.4 | 16.4 |
| 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害 | 3.7 | ▲ 3.9 | 0.7 |
| 内分泌、栄養及び代謝疾患 | 2.4 | ▲ 3.9 | 2.7 |
| 精神及び行動の障害 | ▲ 0.4 | ▲ 1.7 | 8.6 |
| 神経系の疾患 | 4.0 | ▲ 0.6 | 6.5 |
| 眼及び付属器の疾患 | 3.4 | ▲ 14.5 | 1.5 |
| 耳及び乳様突起の疾患 | 0.4 | ▲ 15.9 | 0.3 |
| 循環器系の疾患 | 2.6 | ▲ 2.5 | 21.9 |
| 呼吸器系の疾患 | 1.1 | ▲ 20.8 | 6.3 |
| 消化器系の疾患 | 2.0 | ▲ 3.6 | 5.9 |
| 皮膚及び皮下組織の疾患 | 3.6 | ▲ 2.4 | 0.8 |
| 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 4.8 | ▲ 3.8 | 7.2 |
| 腎尿路生殖器系の疾患 | 4.4 | ▲ 1.5 | 4.2 |
| 妊娠、分娩及び産じょく | ▲ 1.7 | ▲ 4.2 | 1.1 |
| 周産期に発生した病態 | 0.4 | 1.1 | 0.9 |
| 先天奇形、変形及び染色体異常 | 1.2 | ▲ 6.2 | 0.8 |
| 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 2.3 | ▲ 6.3 | 0.9 |
| 損傷、中毒及びその他の外因の影響 | 3.7 | ▲ 0.9 | 10.2 |
| 不詳 | ▲ 11.4 | ▲ 15.6 | 1.5 |



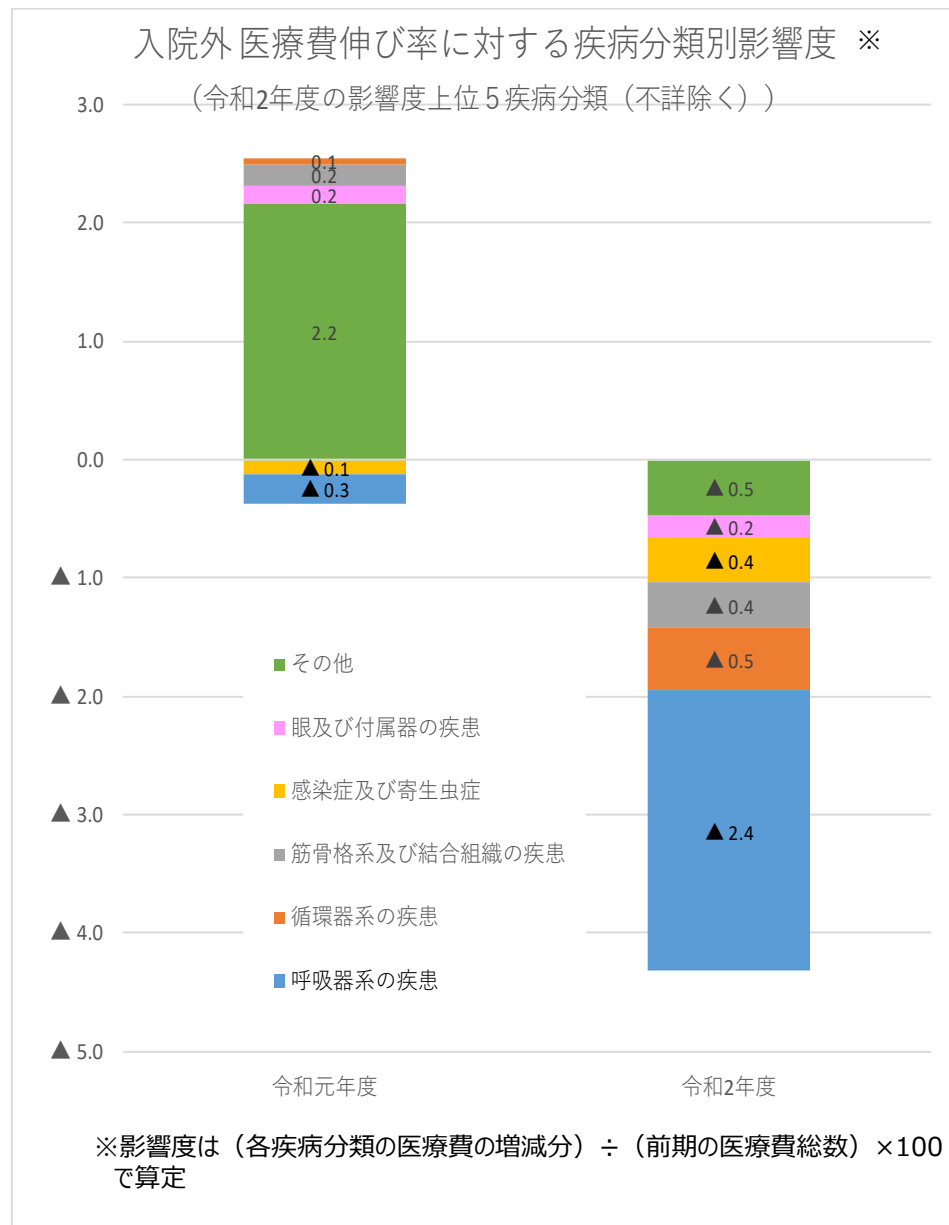
： 下位5疾病分類 (減少幅が大きい) ※不詳除く

： 上位5疾病分類

医科医療費（電算処理分）の動向 令和2年度の状況 <疾病分類別 入院外>

- 疾病分類別の入院外医療費の伸び率を見ると、特に「呼吸器系の疾患」の減少幅が大きい。
- 医療費全体の伸び率に対する影響度で見ても、「呼吸器系の疾患」が過半を占める。

| ■ 入院外 疾病分類別医療費の伸び率 | (単位：%) | | (単位：%) 令和元年度 医療費の 構成割合 |
|---------------------------------|--------|--------|---------------------------------|
| | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 総数 | 2.2 | ▲ 4.3 | 100.0 |
| 感染症及び寄生虫症 | ▲ 4.3 | ▲ 14.9 | 2.5 |
| 新生物 | 9.3 | 1.8 | 12.3 |
| 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 12.5 | 2.3 | 1.2 |
| 内分泌、栄養及び代謝疾患 | 2.2 | ▲ 1.1 | 10.6 |
| 精神及び行動の障害 | 1.8 | ▲ 2.0 | 4.0 |
| 神経系の疾患 | 4.7 | 1.5 | 3.3 |
| 眼及び付属器の疾患 | 2.7 | ▲ 3.3 | 6.0 |
| 耳及び乳様突起の疾患 | ▲ 0.5 | ▲ 12.0 | 0.9 |
| 循環器系の疾患 | 0.4 | ▲ 3.4 | 15.7 |
| 呼吸器系の疾患 | ▲ 3.0 | ▲ 29.3 | 8.1 |
| 消化器系の疾患 | 1.6 | ▲ 3.7 | 5.3 |
| 皮膚及び皮下組織の疾患 | 5.4 | 0.3 | 3.1 |
| 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 1.9 | ▲ 4.3 | 8.9 |
| 腎尿路生殖器系の疾患 | 2.9 | ▲ 1.4 | 10.9 |
| 妊娠、分娩及び産じょく | ▲ 5.1 | ▲ 3.6 | 0.1 |
| 周産期に発生した病態 | ▲ 1.0 | ▲ 3.0 | 0.2 |
| 先天奇形、変形及び染色体異常 | 3.2 | ▲ 1.1 | 0.4 |
| 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 4.0 | ▲ 2.9 | 1.8 |
| 損傷、中毒及びその他の外因の影響 | 1.6 | ▲ 4.5 | 2.7 |
| 不詳 | ▲ 7.9 | ▲ 11.2 | 2.0 |



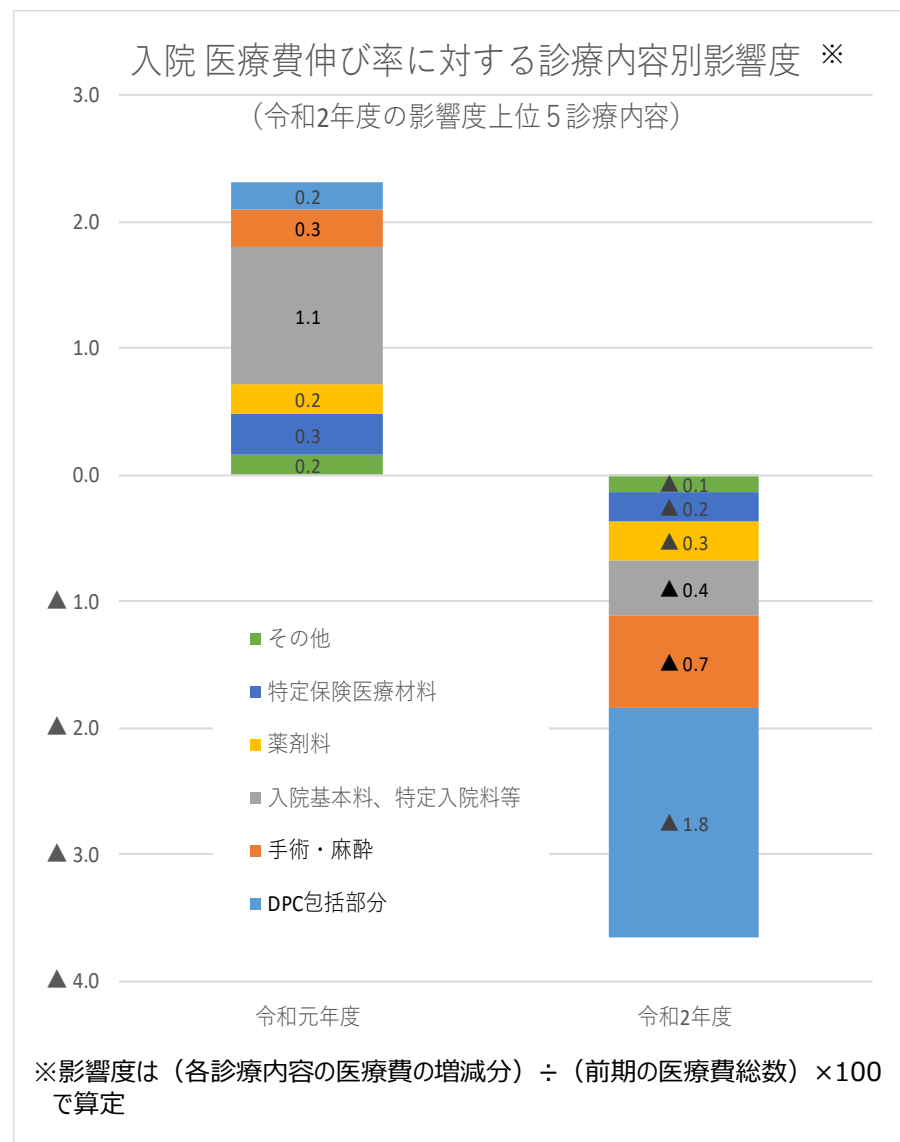
▲ : 下位5疾病分類 (減少幅が大きい) ※不詳除く

■ : 上位5疾病分類

医科医療費（電算処理分）の動向 令和2年度の状況 <診療内容別 入院>

- 診療内容別に入院医療費の伸び率を見ると、「初診」の減少幅がやや大きい。
- 医療費全体の伸び率に対する影響度で見ると、「DPC包括部分」に加え、「手術・麻酔」のマイナスの影響が大きい。

| | ■ 入院 診療内容別医療費の伸び率 (単位：%) | | 令和元年度 医療費の 構成割合 (単位：%) |
|--------------|--------------------------|--------|---------------------------------|
| | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 総数 | 2.3 | ▲ 3.7 | 100.0 |
| 初診 | 0.6 | ▲ 10.5 | 0.1 |
| 医学管理 | 0.2 | ▲ 2.2 | 0.7 |
| 在宅 | ▲ 0.1 | ▲ 5.1 | 0.1 |
| 投薬 | ▲ 2.0 | ▲ 6.1 | 0.1 |
| 注射 | ▲ 3.1 | ▲ 7.1 | 0.2 |
| 処置 | 2.5 | ▲ 3.4 | 1.4 |
| 手術・麻酔 | 2.5 | ▲ 6.1 | 11.9 |
| 検査・病理診断 | ▲ 1.2 | 3.8 | 1.3 |
| 画像診断 | ▲ 0.8 | ▲ 4.9 | 0.5 |
| リハビリテーション | 2.6 | 3.3 | 5.1 |
| 精神科専門療法 | 1.9 | 3.1 | 0.5 |
| 放射線治療 | 3.0 | ▲ 2.7 | 0.3 |
| 入院基本料、特定入院料等 | 3.1 | ▲ 1.3 | 35.1 |
| DPC包括部分 | 0.8 | ▲ 6.5 | 27.9 |
| 薬剤料 | 6.6 | ▲ 8.3 | 3.7 |
| 特定保険医療材料 | 5.2 | ▲ 3.6 | 6.4 |
| 入院時食事療養 | 0.1 | ▲ 5.7 | 3.7 |
| 生活療養食事療養 | ▲ 0.8 | ▲ 2.6 | 0.7 |
| 生活療養環境療養 | ▲ 0.2 | ▲ 2.7 | 0.2 |
| その他 | ▲ 0.4 | ▲ 5.8 | 0.0 |

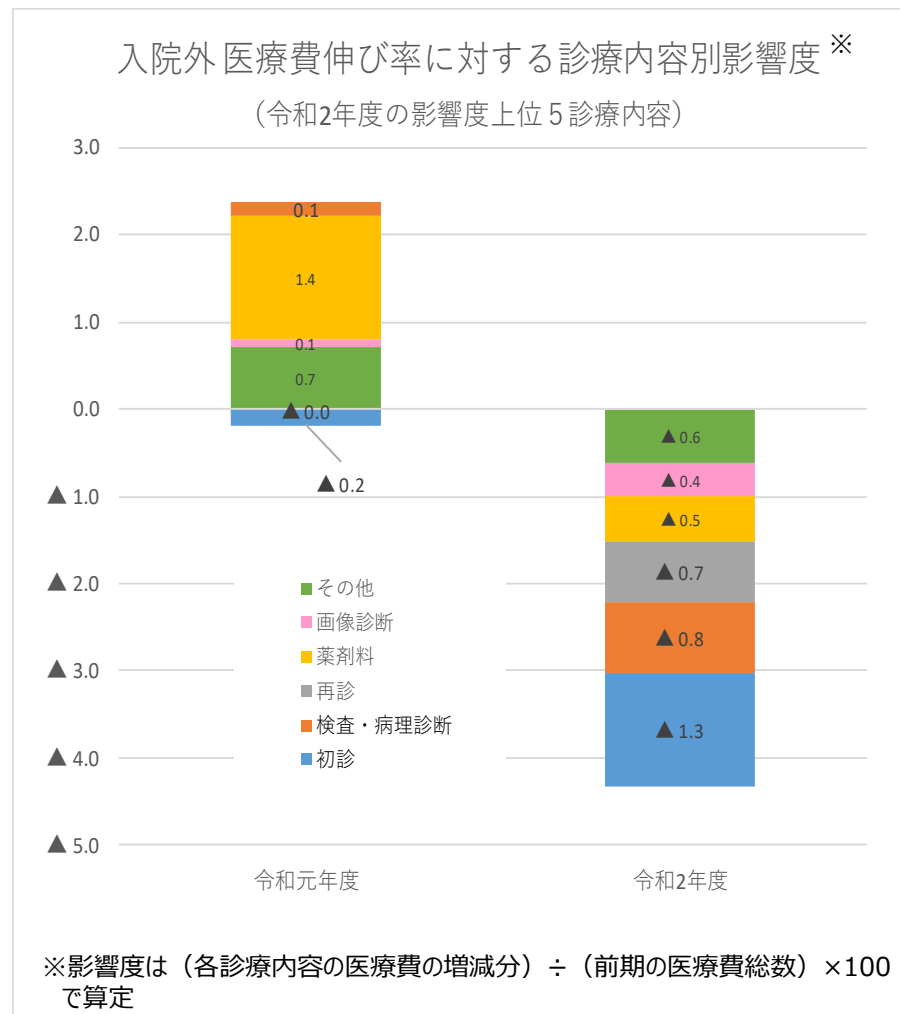


■ : 下位5診療内容 (減少幅が大きい) ※その他除く ■ : 上位5診療内容

医科医療費（電算処理分）の動向 令和2年度の状況 <診療内容別 入院外>

- 診療内容別に入院外医療費の伸び率を見ると、「初診」の減少幅が特に大きい。
- 医療費全体の伸び率に対する影響度で見ると、「初診」「検査・病理診断」のマイナスの影響が大きい。

| ■ 入院外 診療内容別医療費の伸び率 | (単位：%) | | (単位：%) 令和元年度 医療費の 構成割合 |
|--------------------|--------|--------|---------------------------------|
| | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 総数 | 2.2 | ▲ 4.3 | 100.0 |
| 初診 | ▲ 3.0 | ▲ 24.2 | 5.4 |
| 再診 | ▲ 0.2 | ▲ 8.0 | 8.7 |
| 医学管理 | 0.3 | ▲ 1.0 | 8.3 |
| 在宅 | 5.0 | 7.3 | 6.1 |
| 投薬 | ▲ 4.5 | ▲ 8.0 | 1.2 |
| 注射 | ▲ 0.8 | ▲ 6.5 | 0.7 |
| 処置 | 1.7 | ▲ 3.3 | 8.7 |
| 手術・麻酔 | 4.8 | ▲ 3.6 | 2.8 |
| 検査・病理診断 | 0.8 | ▲ 4.4 | 18.4 |
| 画像診断 | 1.2 | ▲ 5.6 | 6.9 |
| 処方箋料 | 0.6 | ▲ 7.5 | 4.8 |
| リハビリテーション | 1.4 | ▲ 2.9 | 1.5 |
| 精神科専門療法 | 1.3 | ▲ 4.1 | 2.2 |
| 放射線治療 | 8.7 | 3.5 | 0.6 |
| 薬剤料 | 6.5 | ▲ 2.3 | 22.7 |
| 特定保険医療材料 | 5.0 | 3.1 | 1.0 |
| その他 | 8.6 | ▲ 0.6 | 0.0 |



▲ : 下位5診療内容（減少幅が大きい）※その他除く ▲ : 上位5診療内容

調剤医療費(電算処理分)の動向

レセプト電算処理システムにより処理された調剤報酬明細書(電子レセプト)を用いて集計、調剤医療費の動向について詳細を分析。

- 調剤医療費のうち薬剤料の伸び率について、処方箋枚数の減少に対し、処方箋1枚当たり薬剤料が増加していることで結果として、▲1.8%となった。
- 薬剤料の伸び率を薬効分類別に見ると、「抗生物質製剤」「化学療法剤」「呼吸器官用薬」などの減少幅が大きい。
- 処方箋1枚当たり薬剤料の伸び率を薬効分類別で見ると、「抗生物質製剤」「呼吸器官用薬」など一部は減少しているものの、全体的には増加傾向にあり、影響度で見ると、「その他の代謝性医薬品」「腫瘍用薬」のプラスの影響が大きい。
- 後発医薬品割合(数量ベース)は令和2年度末(令和3年3月)時点で82.1%。

調剤医療費（電算処理分）の動向 令和2年度の状況 <調剤医療費・薬剤料の伸び率>

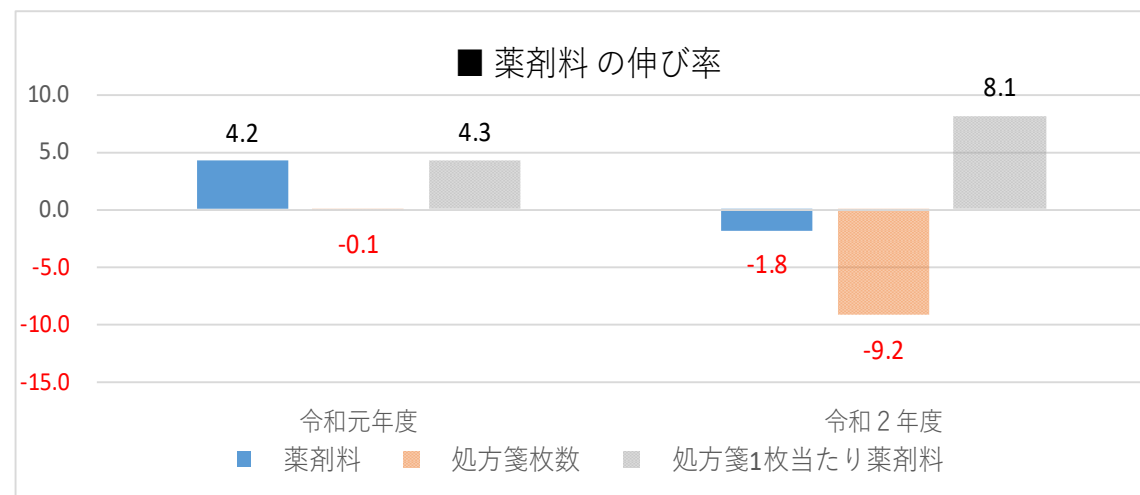
- 令和2年度の調剤医療費（電算処理分）の伸び率▲2.6%のうち、薬剤料のマイナスの影響が▲1.4%を占める。
- 薬剤料について、処方箋枚数の▲9.2%の減少に対し、処方箋1枚当たり薬剤料の伸び率が+8.1%となっており、結果として▲1.8%の減少となっている。

■ 調剤医療費（電算処理分）の伸び率 影響度 (単位：%)

| | 令和元年度 | 令和2年度 |
|--------------|-------|-------|
| 調剤医療費（電算処理分） | 3.7 | -2.6 |
| 技術料 | 0.6 | -1.3 |
| 薬剤料 | 3.1 | -1.4 |

■ 薬剤料の伸び率

| | | |
|-------------|------|------|
| 薬剤料 | 4.2 | -1.8 |
| 処方箋枚数 | -0.1 | -9.2 |
| 処方箋1枚当たり薬剤料 | 4.3 | 8.1 |

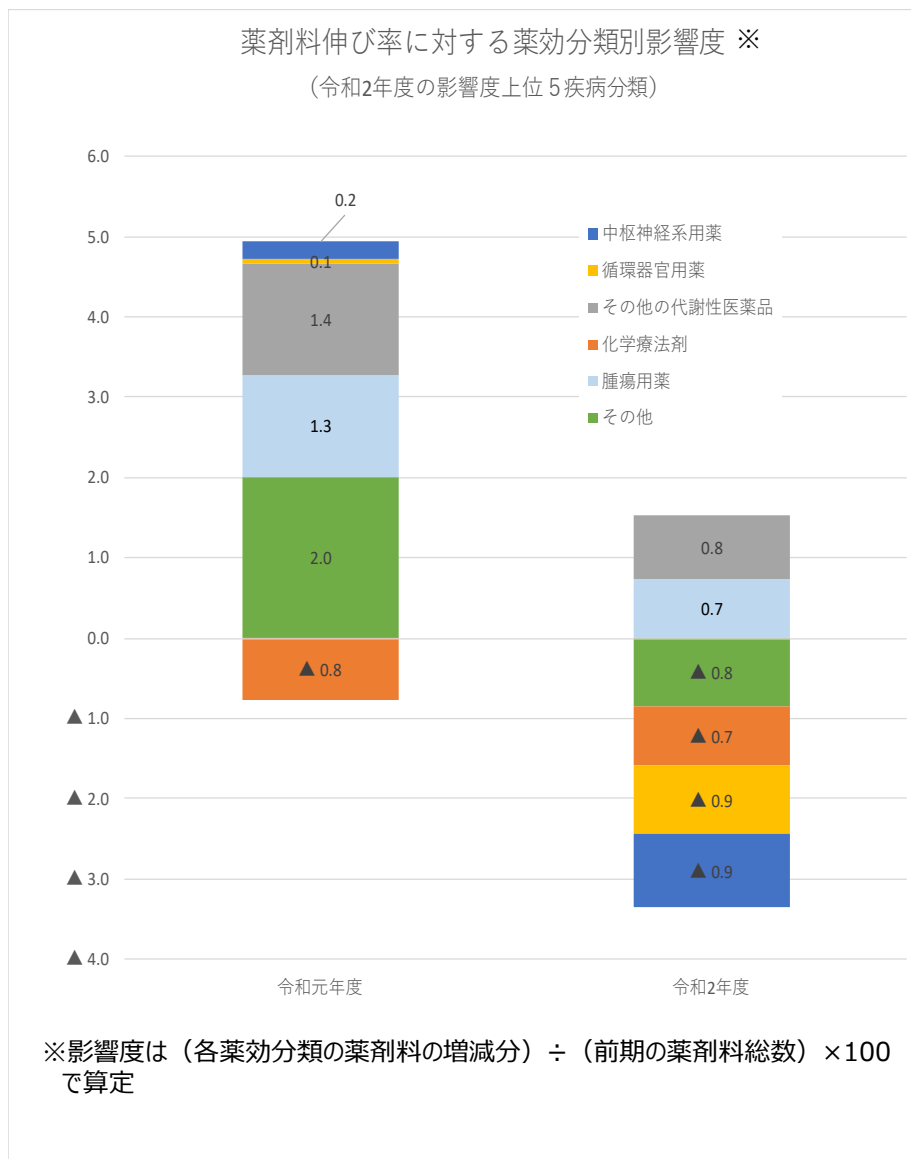


調剤医療費（電算処理分）の動向 令和2年度の状況 <薬効分類別 薬剤料>

- 「抗生物質製剤」「化学療法剤」「呼吸器官用薬」などが大きいマイナスを示す一方で、「腫瘍用薬」や「生物学的製剤」などプラスで推移する薬効分類もある。
- 伸び率への影響を見ると、「中枢神経用薬」「循環器官用薬」などがマイナスに影響している一方、「その他の代謝性医薬品」「腫瘍用薬」などはプラスに影響している。

| | (単位：%) (単位：%) | | 令和元年度 薬剤料の 構成割合* |
|------------------|---------------|--------|------------------------|
| | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 総数 | 4.2 | ▲ 1.8 | 100.0 |
| 中枢神経系用薬 | 1.4 | ▲ 6.2 | 14.8 |
| 感覚器官用薬 | ▲ 2.0 | 1.0 | 3.9 |
| 循環器官用薬 | 0.4 | ▲ 5.7 | 15.0 |
| 呼吸器官用薬 | 3.1 | ▲ 17.8 | 3.4 |
| 消化器官用薬 | 6.4 | 2.8 | 7.4 |
| ホルモン剤（抗ホルモン剤を含む） | 8.7 | 2.6 | 4.3 |
| 泌尿生殖器官および肛門用薬 | ▲ 3.7 | ▲ 5.0 | 2.3 |
| 外皮用薬 | 1.3 | ▲ 1.1 | 3.1 |
| ビタミン剤 | 5.2 | ▲ 16.3 | 1.8 |
| 滋養強壮薬 | 4.7 | 5.4 | 1.0 |
| 血液・体液用薬 | 6.0 | ▲ 3.4 | 7.3 |
| その他の代謝性医薬品 | 9.8 | 5.4 | 14.8 |
| 腫瘍用薬 | 19.5 | 9.8 | 7.5 |
| アレルギー用薬 | 2.7 | ▲ 5.3 | 3.9 |
| 漢方製剤 | 5.4 | 3.1 | 2.2 |
| 抗生物質製剤 | ▲ 6.4 | ▲ 27.3 | 1.0 |
| 化学療法剤 | ▲ 15.7 | ▲ 18.9 | 3.9 |
| 生物学的製剤 | 29.3 | 8.4 | 1.1 |

 : 下位5薬効分類（減少幅が大）
 : 上位5薬効分類



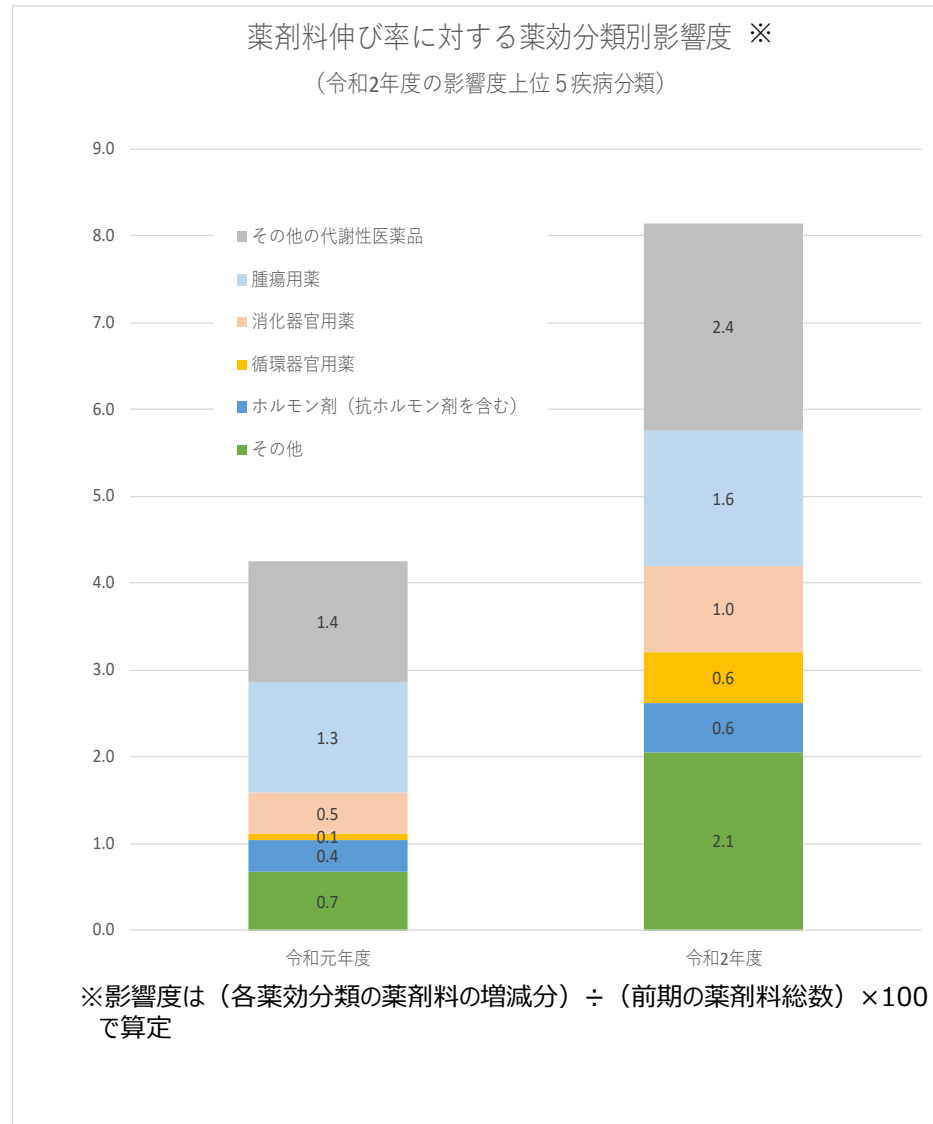
調剤医療費（電算処理分）の動向 令和2年度の状況 <薬効分類別 処方箋1枚当たり薬剤料>

- 処方箋1枚当たり薬剤料の伸びをみると、「抗生物質製剤」「呼吸器官用薬」などは減少しているものの、全体的には増加傾向にある。
- 薬効分類別の影響度を見ると、「その他の代謝性医薬品」「腫瘍用薬」のプラスの影響が大きい。

■ 薬効分類別処方箋1枚あたり薬剤料伸び率 (単位：%) (単位：%)

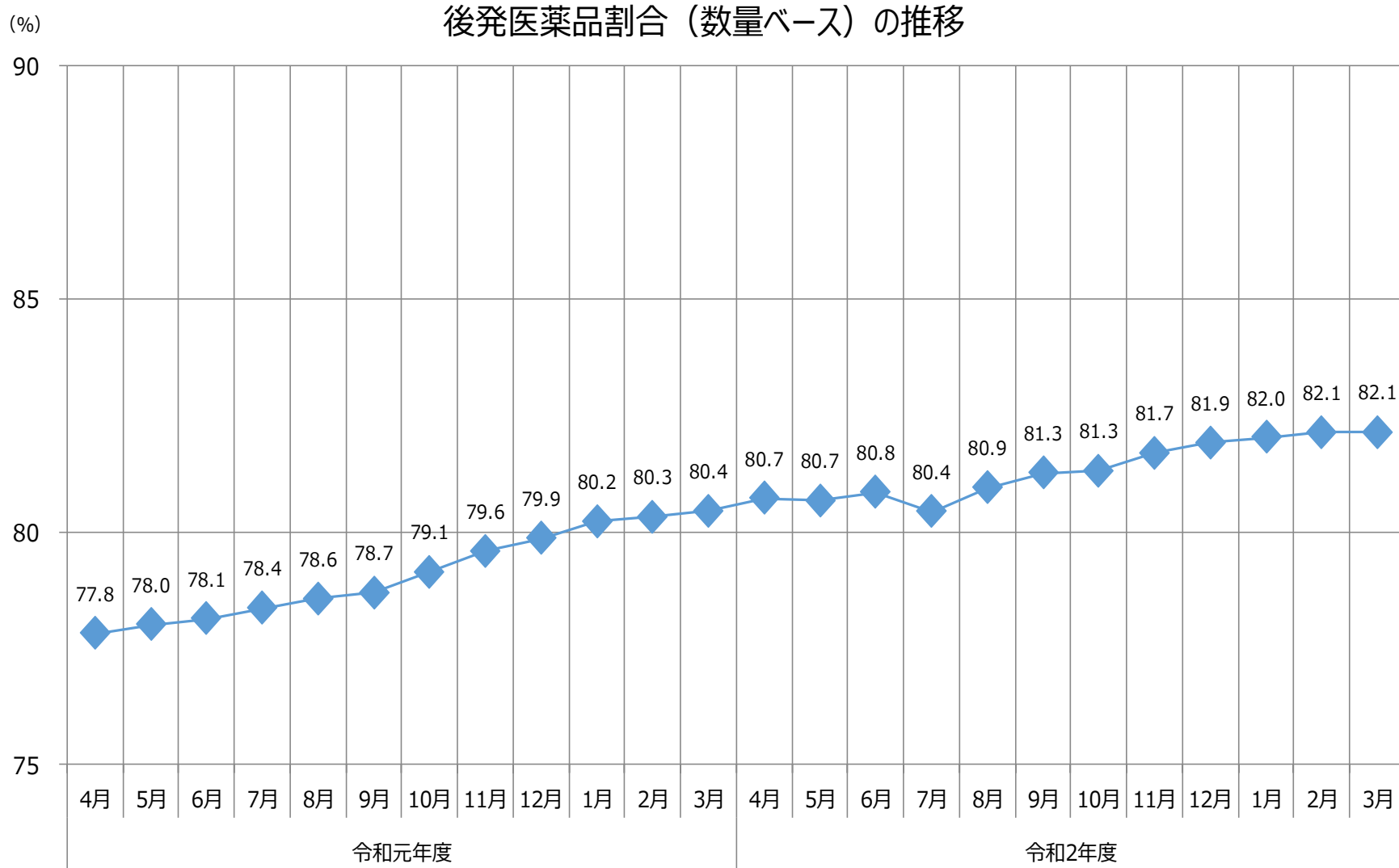
| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和元年度 薬剤料の 構成割合※ |
|------------------|--------|--------|------------------------|
| 総数 | 4.3 | 8.1 | 100.0 |
| 中枢神経系用薬 | 1.5 | 3.3 | 14.8 |
| 感覚器官用薬 | ▲ 2.0 | 11.2 | 3.9 |
| 循環器官用薬 | 0.5 | 3.9 | 15.0 |
| 呼吸器官用薬 | 3.2 | ▲ 9.4 | 3.4 |
| 消化器官用薬 | 6.5 | 13.2 | 7.4 |
| ホルモン剤（抗ホルモン剤を含む） | 8.8 | 13.0 | 4.3 |
| 泌尿生殖器官および肛門用薬 | ▲ 3.7 | 4.6 | 2.3 |
| 外用薬 | 1.3 | 8.9 | 3.1 |
| ビタミン剤 | 5.2 | ▲ 7.8 | 1.8 |
| 滋養強壯薬 | 4.8 | 16.1 | 1.0 |
| 血液・体液用薬 | 6.1 | 6.5 | 7.3 |
| その他の代謝性医薬品 | 9.9 | 16.1 | 14.8 |
| 腫瘍用薬 | 19.6 | 20.9 | 7.5 |
| アレルギー用薬 | 2.7 | 4.3 | 3.9 |
| 漢方製剤 | 5.5 | 13.6 | 2.2 |
| 抗生物質製剤 | ▲ 6.3 | ▲ 20.0 | 1.0 |
| 化学療法剤 | ▲ 15.7 | ▲ 10.7 | 3.9 |
| 生物学的製剤 | 29.4 | 19.5 | 1.1 |

 : 下位5薬効分類（減少幅が大）
 : 上位5薬効分類



調剤医療費（電算処理分）の動向 令和2年度の状況 <後発医薬品割合（数量ベース）の推移>

- 後発医薬品割合（数量ベース、新指標）は、令和2年度末（令和3年3月）時点で82.1%。
- 令和2年7月にわずかに下がっているが、後発医薬品の収載により「後発医薬品のある先発医薬品」が増えたことが要因と考えられる。



注1) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注2) 「後発医薬品割合(数量ベース)」は、 $\frac{[\text{後発医薬品の数量}]}{([\text{後発医薬品のある先発医薬品の数量}] + [\text{後発医薬品の数量}])}$ で算出している。

調剤医療費（電算処理分）の動向 令和2年度の状況 <都道府県別の後発医薬品割合（数量ベース）>

- 後発医薬品割合（数量ベース、新指標）を都道府県別に見ると、令和2年度3月時点では沖縄県が89.5%で最も大きく、徳島県が78.4%で最も小さい。
- 前年度からの差異を見ると、徳島県が4.1%で最大、富山県が0.7%で最小となった。

(単位：%)

| | 令和元年度 3月 | 令和2年度 3月 | 差異 |
|------|-------------|-------------|-----|
| 総数 | 80.4 | 82.1 | 1.7 |
| 北海道 | 81.9 | 83.5 | 1.6 |
| 青森県 | 80.8 | 82.3 | 1.5 |
| 岩手県 | 85.6 | 86.7 | 1.1 |
| 宮城県 | 83.5 | 84.8 | 1.3 |
| 秋田県 | 81.5 | 83.3 | 1.8 |
| 山形県 | 84.3 | 85.7 | 1.5 |
| 福島県 | 81.5 | 83.5 | 1.9 |
| 茨城県 | 79.9 | 81.8 | 1.9 |
| 栃木県 | 81.7 | 84.2 | 2.5 |
| 群馬県 | 83.2 | 84.8 | 1.6 |
| 埼玉県 | 81.3 | 82.9 | 1.6 |
| 千葉県 | 80.9 | 82.5 | 1.6 |
| 東京都 | 76.6 | 78.4 | 1.8 |
| 神奈川県 | 78.6 | 80.4 | 1.8 |
| 新潟県 | 82.7 | 84.2 | 1.6 |
| 富山県 | 83.4 | 84.1 | 0.7 |
| 石川県 | 81.8 | 83.0 | 1.2 |
| 福井県 | 83.1 | 84.1 | 1.0 |
| 山梨県 | 79.0 | 81.7 | 2.7 |
| 長野県 | 82.9 | 84.6 | 1.6 |
| 岐阜県 | 78.9 | 81.2 | 2.3 |
| 静岡県 | 81.6 | 83.5 | 1.8 |
| 愛知県 | 80.9 | 82.8 | 1.9 |
| 三重県 | 81.4 | 82.7 | 1.3 |

: 上位5県
 : 下位5県

(単位：%)

| | 令和元年度 3月 | 令和2年度 3月 | 差異 |
|------|-------------|-------------|-----|
| 滋賀県 | 81.0 | 82.7 | 1.6 |
| 京都府 | 78.3 | 79.9 | 1.6 |
| 大阪府 | 78.2 | 79.8 | 1.7 |
| 兵庫県 | 79.6 | 81.3 | 1.7 |
| 奈良県 | 78.3 | 79.4 | 1.2 |
| 和歌山県 | 78.5 | 80.4 | 1.9 |
| 鳥取県 | 83.4 | 85.1 | 1.7 |
| 島根県 | 84.4 | 85.8 | 1.3 |
| 岡山県 | 81.8 | 83.4 | 1.6 |
| 広島県 | 78.2 | 80.3 | 2.1 |
| 山口県 | 82.3 | 84.3 | 2.0 |
| 徳島県 | 74.3 | 78.4 | 4.1 |
| 香川県 | 78.3 | 80.0 | 1.7 |
| 愛媛県 | 81.4 | 83.1 | 1.7 |
| 高知県 | 77.1 | 79.2 | 2.1 |
| 福岡県 | 81.3 | 83.0 | 1.7 |
| 佐賀県 | 82.9 | 84.2 | 1.4 |
| 長崎県 | 82.0 | 83.4 | 1.4 |
| 熊本県 | 83.4 | 84.9 | 1.5 |
| 大分県 | 80.9 | 82.9 | 2.0 |
| 宮崎県 | 84.4 | 85.8 | 1.4 |
| 鹿児島県 | 86.0 | 87.4 | 1.3 |
| 沖縄県 | 88.7 | 89.5 | 0.8 |

| | | | |
|----|---------------|---------------|--------------|
| 最大 | 88.7 (沖縄県) | 89.5 (沖縄県) | 4.1 (徳島県) |
| 最小 | 74.3 (徳島県) | 78.4 (徳島県) | 0.7 (富山県) |

注1) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注2) 「後発医薬品割合(数量ベース)」は、〔後発医薬品の数量〕/〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕+〔後発医薬品の数量〕で算出している。

(参考) 概算医療費の減少の要素分解

■ 診療種別 要素分解

(単位：兆円、%)

| | 総計 | | | | | | |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|
| | 医科 | 歯科 | | 調剤 | 訪問看護 | | |
| | | 入院 | 入院外 | | | | |
| 令和元年度 | 43.6 | 32.5 | 17.6 | 14.9 | 3.0 | 7.7 | 0.3 |
| 令和2年度 | 42.2 | 31.3 | 17.0 | 14.2 | 3.0 | 7.5 | 0.4 |
| 減少額 | ▲ 1.41 | ▲ 1.24 | ▲ 0.60 | ▲ 0.65 | ▲ 0.02 | ▲ 0.21 | 0.06 |
| (伸び率) | (▲ 3.2) | (▲ 3.8) | (▲ 3.4) | (▲ 4.4) | (▲ 0.8) | (▲ 2.7) | (19.8) |

■ 医科医療費（電算処理分）による疾病分類別 要素分解

(単位：兆円、%)

| | 医科医療費（電算処理分） | | | | | | |
|-------|--------------|----------|------------|-----------|-----------|----------|---------|
| | 呼吸器系の疾患 | 循環器系の疾患 | 筋骨格系及び結合組織 | 眼及び付属器の疾患 | 感染症及び寄生虫症 | その他 | |
| | 令和元年度 | 31.3 | 2.2 | 6.0 | 2.5 | 1.1 | 0.6 |
| 令和2年度 | 30.1 | 1.7 | 5.8 | 2.4 | 1.1 | 0.5 | 18.6 |
| 減少額 | ▲ 1.24 | ▲ 0.57 | ▲ 0.17 | ▲ 0.10 | ▲ 0.07 | ▲ 0.06 | ▲ 0.27 |
| (伸び率) | (▲ 4.0) | (▲ 25.3) | (▲ 2.8) | (▲ 4.0) | (▲ 5.8) | (▲ 10.7) | (▲ 1.5) |

※減少額が大きい5疾病分類を表示

■ 年齢層別 要素分解

(単位：兆円、%)

| | 総計 | | | |
|-------|---------|-------------------|---------|----------|
| | 75歳以上 | 75歳未満 (未就学者除く) | | 未就学者 |
| | 令和元年度 | 43.6 | 17.0 | 23.0 |
| 令和2年度 | 42.2 | 16.6 | 22.3 | 1.1 |
| 減少額 | ▲ 1.41 | ▲ 0.41 | ▲ 0.64 | ▲ 0.27 |
| (伸び率) | (▲ 3.2) | (▲ 2.4) | (▲ 2.8) | (▲ 19.1) |

医療費の動向 令和2年度4月～3月

医療費の動向 令和2年度4月～3月

- 令和2年度4月～3月の医療費の伸び（対前年同月比、以下同じ）を見ると、4月に▲8.8%、5月に▲11.9%と10%程度の減少となり、6月以降はゆるやかな回復傾向であったが、1月、2月は減少幅が拡大。3月は5.5%とプラスになった。
- 診療種類別では、3月は全ての診療種類がプラス。入院外、歯科が10%程度の大きい伸び。
- これまで大きく減少していた未就学者、医科診療所の小児科や耳鼻咽喉科もプラスとなった。都道府県間のばらつきは2月と同程度。

（参考）診療種類別 医療費の伸び率（対前年同月比）

（単位：％）

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | (3月対前々年) |
|-----|-------|-------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|----------|
| 総計 | -8.8 | -11.9 | -2.4 | -4.5 | -3.5 | -0.3 | 1.5 | -3.8 | -1.9 | -4.7 | -4.4 | 5.5 | (4.3) |
| 入院 | -6.5 | -10.1 | -4.0 | -4.3 | -3.0 | -0.2 | 1.0 | -2.3 | -2.6 | -4.3 | -5.6 | 1.1 | (1.8) |
| 入院外 | -13.7 | -15.4 | -2.6 | -5.8 | -4.7 | -1.0 | 0.4 | -5.8 | -2.9 | -6.6 | -3.9 | 10.0 | (5.4) |
| 歯科 | -15.3 | -15.8 | -0.2 | -4.0 | 0.9 | 5.0 | 9.6 | -1.0 | 3.2 | -1.9 | -0.5 | 9.8 | (6.6) |
| 調剤 | -3.1 | -8.7 | 0.1 | -3.6 | -5.3 | -1.7 | 1.1 | -5.6 | -1.4 | -4.3 | -4.9 | 4.6 | (5.2) |

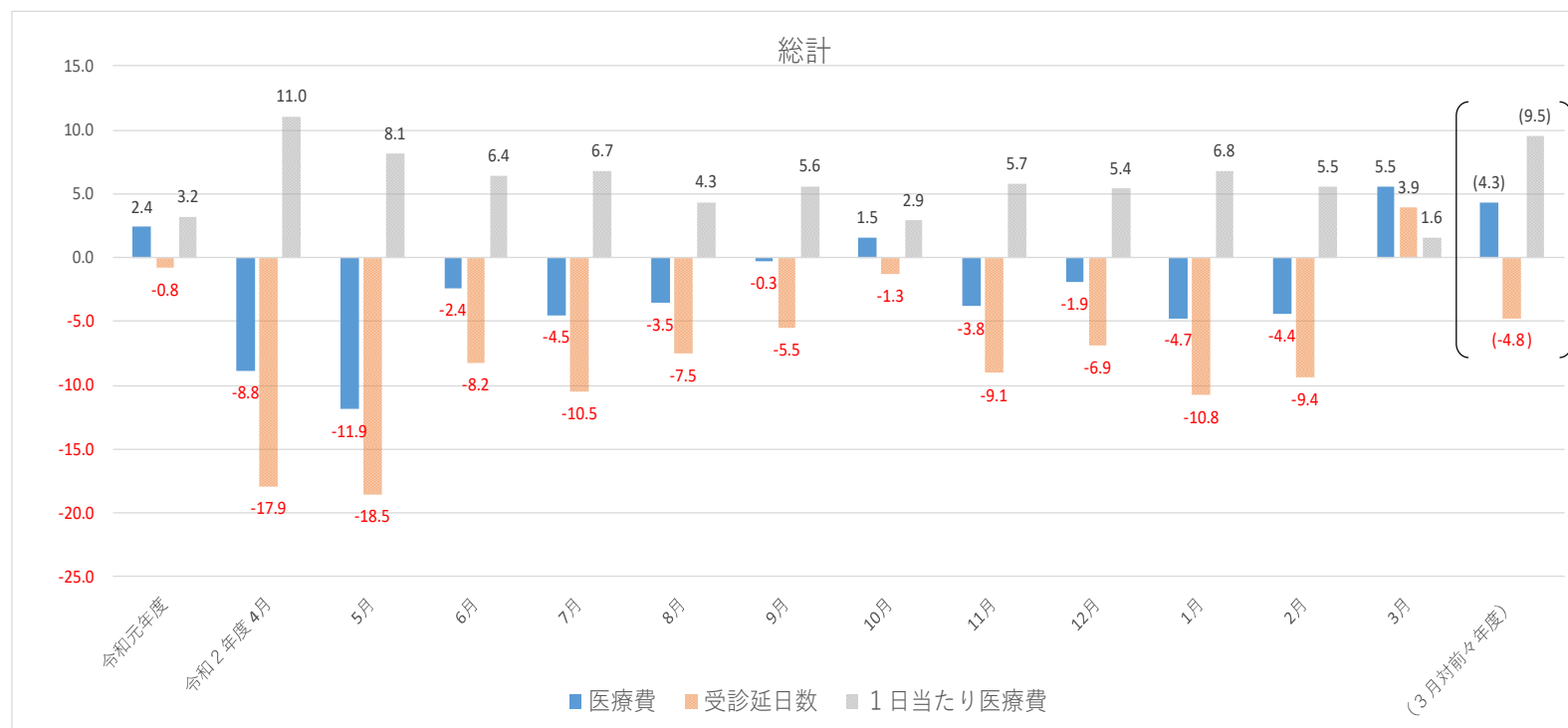
医療費の動向 令和2年度4月～3月 ①概算医療費

- 令和2年度4月～3月の医療費の伸び（対前年同月比、以下同じ）を見ると、4月に▲8.8%、5月に▲11.9%と10%程度の減少となったが、6月以降、緩やかな回復傾向であったが、1月、2月は減少幅が拡大。3月は5.5%とプラスとなった。
- 受診延日数の伸びは4月～5月は▲18～19%程度減少、6月～8月は▲7～10%で推移し、9月は▲5.5%、10月は▲1.3%と減少幅は小さくなったが、11月以降は▲6～▲11%で推移するも、3月は3.9%とプラスに転じた。（対前々年度で見ると、▲4.8%）
- 1日当たり医療費の伸びは4月～3月を通じてプラスで推移。3月は増加幅が小さくなった。（対前々年度で見ると、9.5%の増）

■ 総計の伸び率（対前年同月比）

（単位：％）

| | 令和元年度 | 令和2年度 | | | | | | | | | | | | (3月対前々年) |
|----------|-------|-------|-------|------|-------|------|------|------|------|------|-------|------|-----|----------|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 医療費 | 2.4 | -8.8 | -11.9 | -2.4 | -4.5 | -3.5 | -0.3 | 1.5 | -3.8 | -1.9 | -4.7 | -4.4 | 5.5 | (4.3) |
| 受診延日数 | -0.8 | -17.9 | -18.5 | -8.2 | -10.5 | -7.5 | -5.5 | -1.3 | -9.1 | -6.9 | -10.8 | -9.4 | 3.9 | (-4.8) |
| 1日当たり医療費 | 3.2 | 11.0 | 8.1 | 6.4 | 6.7 | 4.3 | 5.6 | 2.9 | 5.7 | 5.4 | 6.8 | 5.5 | 1.6 | (9.5) |



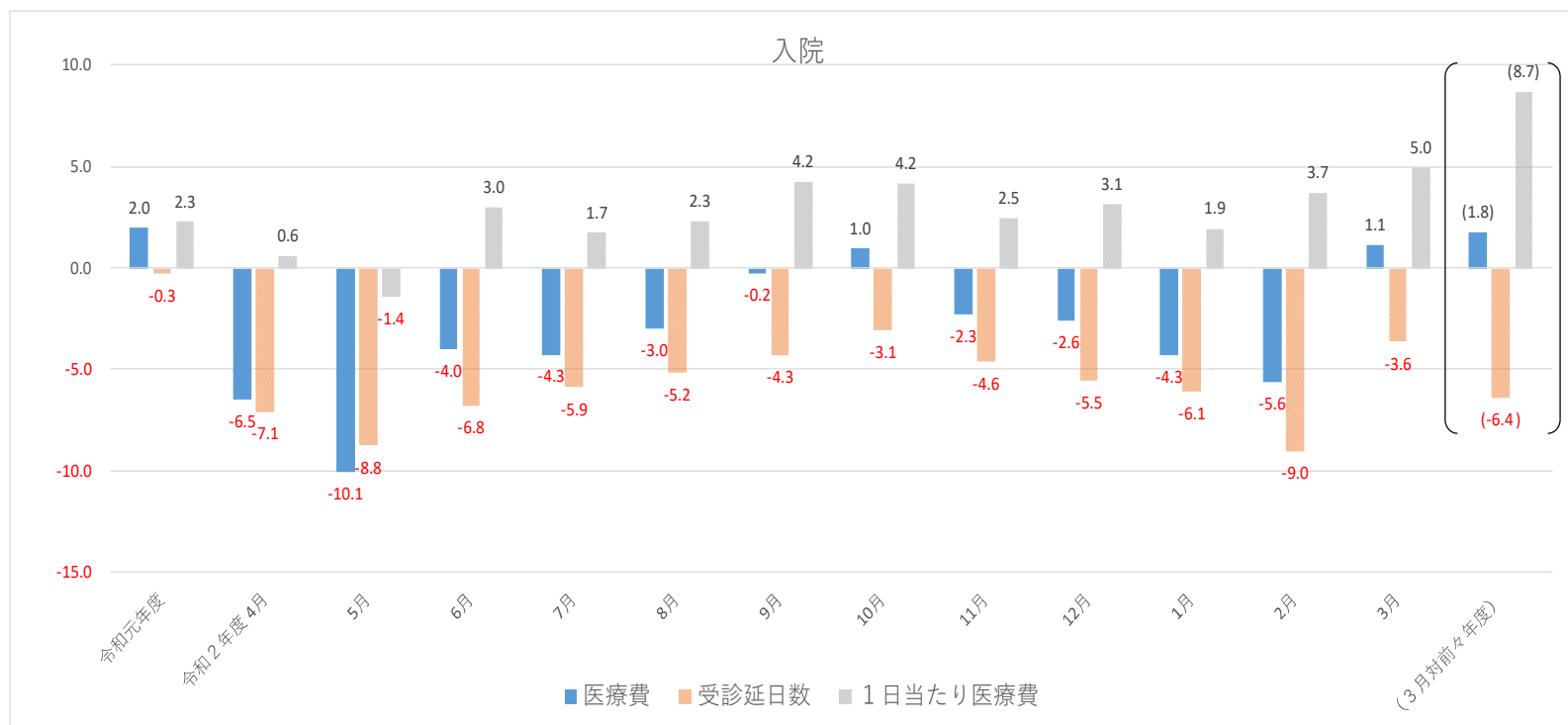
医療費の動向 令和2年度4月～3月 ②－1 診療種別（入院）

- 入院医療費の伸び率は、1月、2月は減少幅が大きくなり、▲4.3%、▲5.6%となったが、3月は1.1%とプラスに転じた。
- 受診延日数の伸びは7月以降は▲3～6%程度で推移していたが、2月に▲9.0%と大きく減少。3月は▲3.6%と減少幅は小さくなった。
- 1日当たり医療費は5月のみ減少し、その後は+2～5%程度で推移。

■ 入院の伸び率（対前年同月比）

（単位：％）

| | 令和元年度 | 令和2年度 | | | | | | | | | | | | (3月対前々年) |
|----------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|----------|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 医療費 | 2.0 | -6.5 | -10.1 | -4.0 | -4.3 | -3.0 | -0.2 | 1.0 | -2.3 | -2.6 | -4.3 | -5.6 | 1.1 | (1.8) |
| 受診延日数 | -0.3 | -7.1 | -8.8 | -6.8 | -5.9 | -5.2 | -4.3 | -3.1 | -4.6 | -5.5 | -6.1 | -9.0 | -3.6 | (-6.4) |
| 1日当たり医療費 | 2.3 | 0.6 | -1.4 | 3.0 | 1.7 | 2.3 | 4.2 | 4.2 | 2.5 | 3.1 | 1.9 | 3.7 | 5.0 | (8.7) |



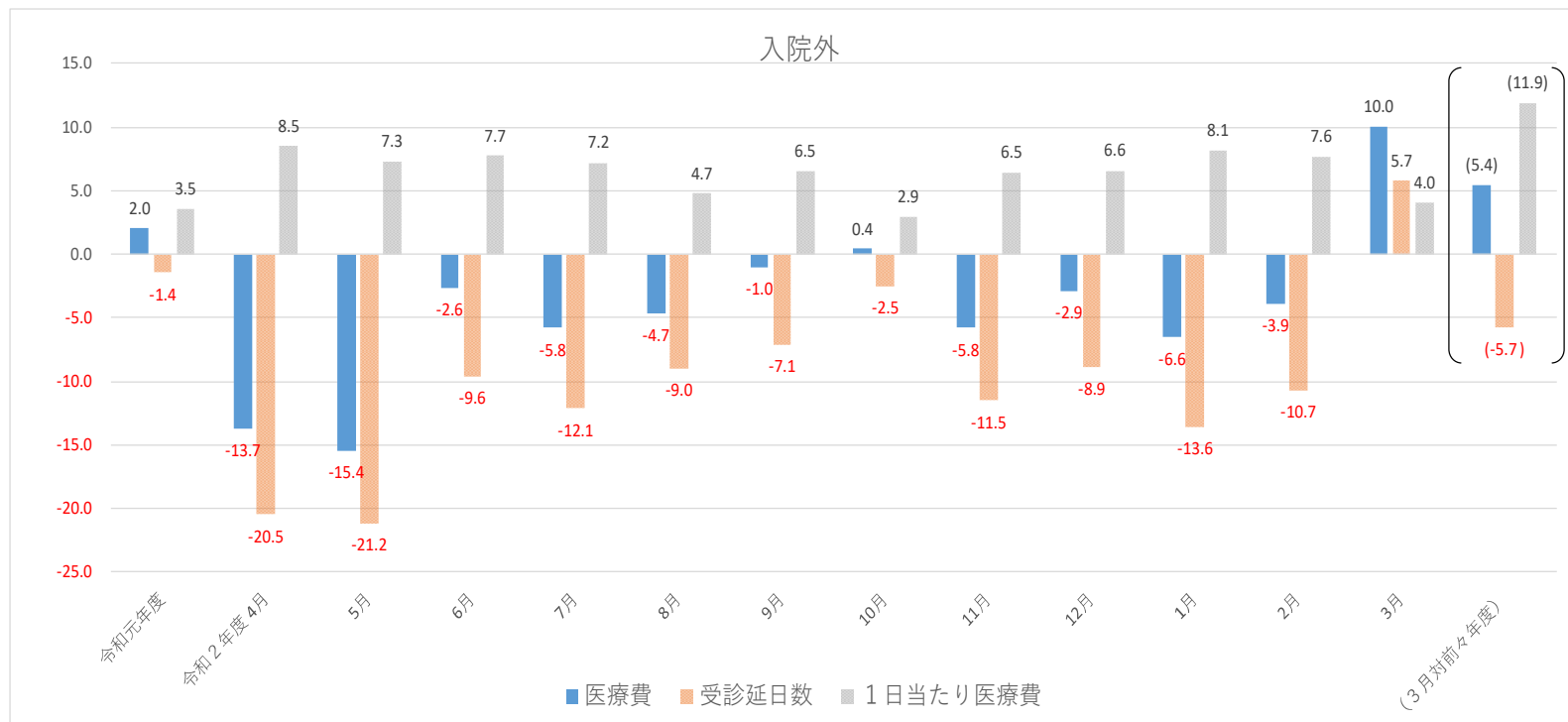
医療費の動向 令和2年度4月～3月 ②－2 診療種別（入院外）

- 入院外医療費の伸び率は、1月は▲6.6%と減少幅が拡大するも、2月には▲3.9%と減少幅は縮小し、3月には10%と大きくプラス。
- 受診延日数について、1月は▲13.6%と減少幅が拡大するも、2月には▲10.7%と減少幅は縮小し、3月には5.7%とプラスに転じた。（対前々年度では▲5.7%とマイナス。）
- 1日当たり医療費は4月～2月を通じてプラスで推移。

■ 入院外の伸び率（対前年同月比）

（単位：％）

| | 令和元年度 | 令和2年度 | | | | | | | | | | | | (3月対前々年) |
|----------|-------|-------|-------|------|-------|------|------|------|-------|------|-------|-------|------|----------|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 医療費 | 2.0 | -13.7 | -15.4 | -2.6 | -5.8 | -4.7 | -1.0 | 0.4 | -5.8 | -2.9 | -6.6 | -3.9 | 10.0 | (5.4) |
| 受診延日数 | -1.4 | -20.5 | -21.2 | -9.6 | -12.1 | -9.0 | -7.1 | -2.5 | -11.5 | -8.9 | -13.6 | -10.7 | 5.7 | (-5.7) |
| 1日当たり医療費 | 3.5 | 8.5 | 7.3 | 7.7 | 7.2 | 4.7 | 6.5 | 2.9 | 6.5 | 6.6 | 8.1 | 7.6 | 4.0 | (11.9) |



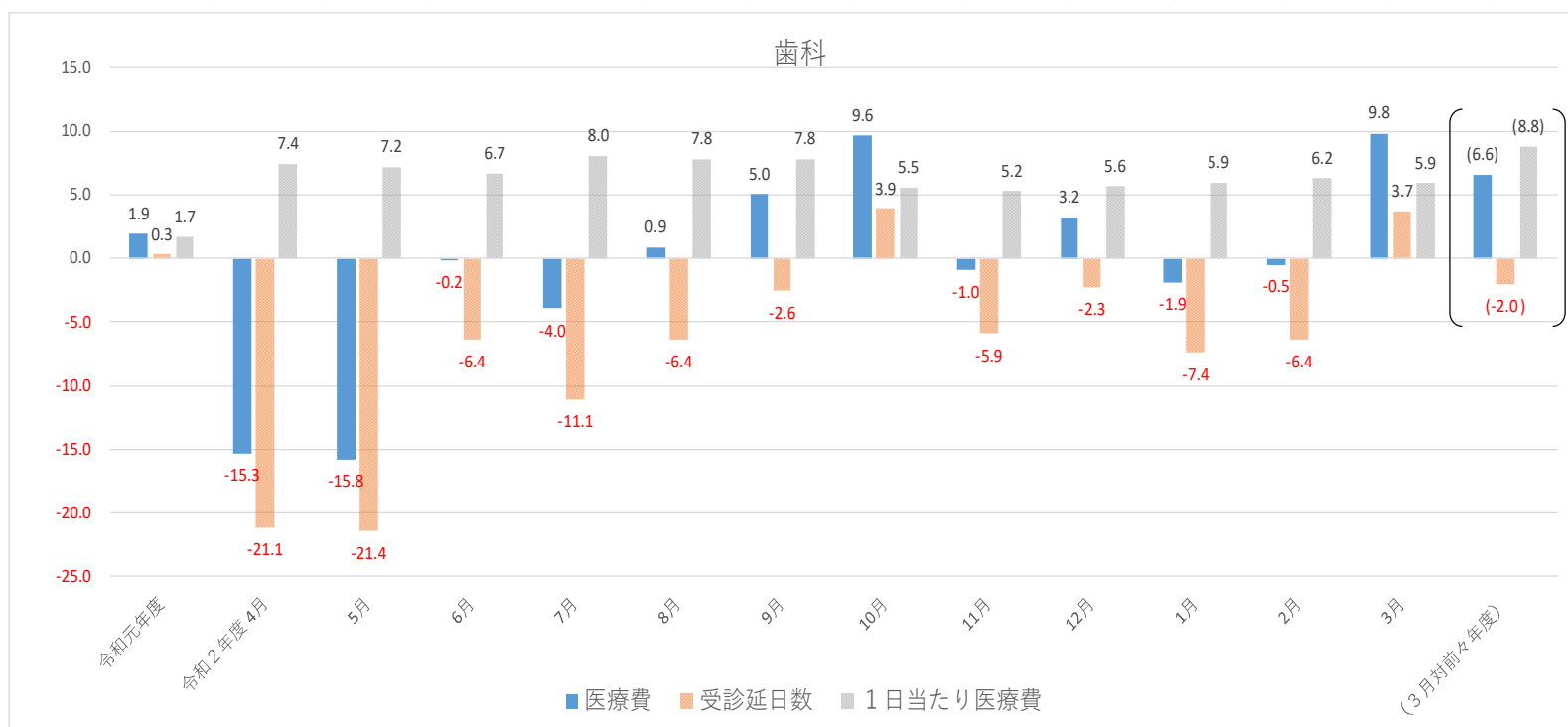
医療費の動向 令和2年度4月～3月 ②－3 診療種別（歯科）

- 歯科医療費の伸び率は、1月、2月はマイナスとなっていたが、3月には再びプラスとなった。
- 受診延日数は、10月を除きマイナスで推移していたが、3月にはプラスとなった。（対前々年度では▲2.0%のマイナス。）
- 1日当たり医療費は4月～3月を通じて+5～8%程度の増加。

■ 歯科の伸び率（対前年同月比）

（単位：％）

| | 令和元年度 | 令和2年度 | | | | | | | | | | | | (3月対前々年) |
|----------|-------|-------|-------|------|-------|------|------|-----|------|------|------|------|-----|----------|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 医療費 | 1.9 | -15.3 | -15.8 | -0.2 | -4.0 | 0.9 | 5.0 | 9.6 | -1.0 | 3.2 | -1.9 | -0.5 | 9.8 | (6.6) |
| 受診延日数 | 0.3 | -21.1 | -21.4 | -6.4 | -11.1 | -6.4 | -2.6 | 3.9 | -5.9 | -2.3 | -7.4 | -6.4 | 3.7 | (-2.0) |
| 1日当たり医療費 | 1.7 | 7.4 | 7.2 | 6.7 | 8.0 | 7.8 | 7.8 | 5.5 | 5.2 | 5.6 | 5.9 | 6.2 | 5.9 | (8.8) |



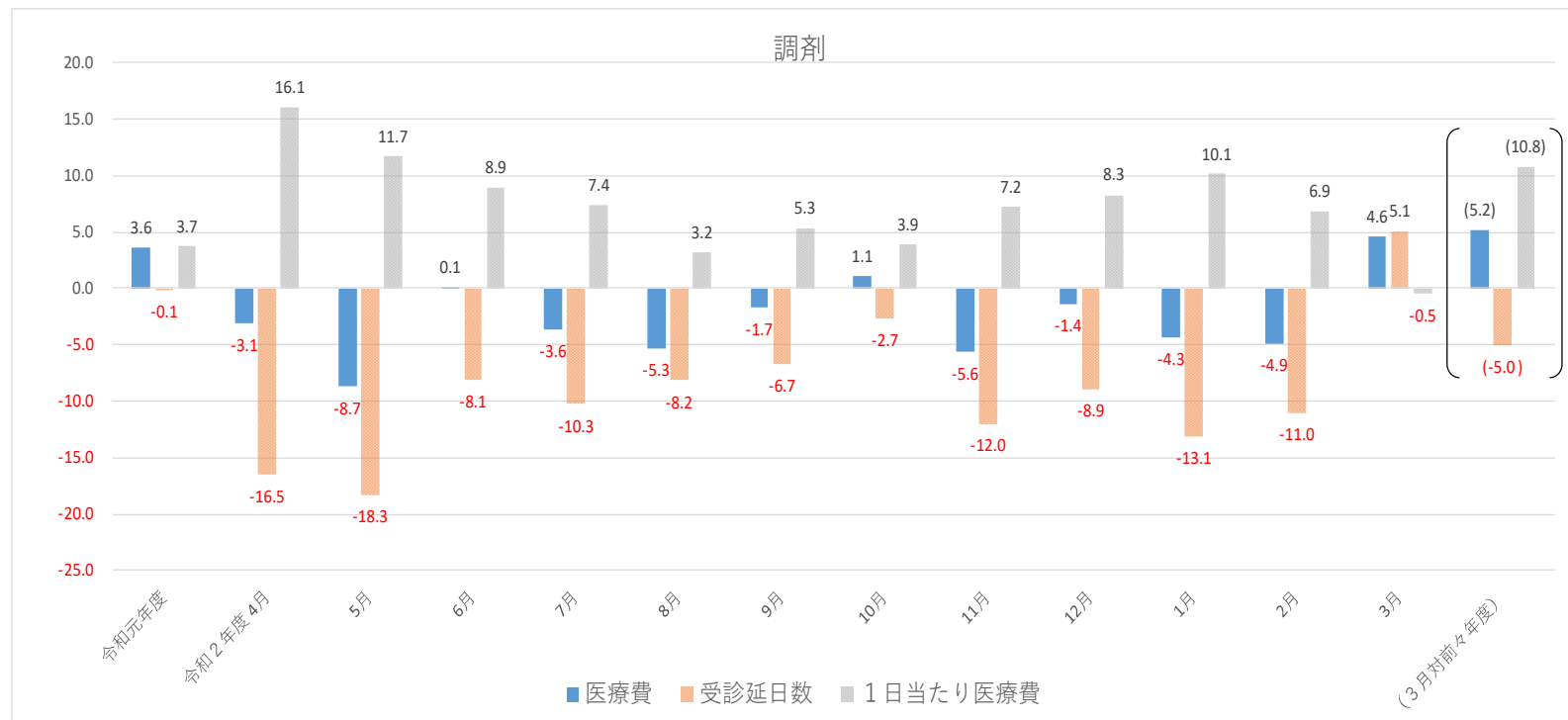
医療費の動向 令和2年度4月～3月 ②－4 診療種別（調剤）

- 調剤医療費の伸び率について、1月、2月は減少幅が大きくなったが、3月はプラスに転じた。
- 受診延日数は2月までマイナスで推移するも、3月にプラスとなった。（対前々年度では▲5.0%のマイナス。）
- 1日当たり医療費は4月に+16.1%と大きな伸びとなるなど、プラスで推移していたが、3月にはマイナスとなった。

■ 調剤の伸び率（対前年同月比）

（単位：％）

| | 令和元年度 | 令和2年度 | | | | | | | | | | | | (3月対前々年) |
|----------|-------|-------|-------|------|-------|------|------|------|-------|------|-------|-------|------|----------|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 医療費 | 3.6 | -3.1 | -8.7 | 0.1 | -3.6 | -5.3 | -1.7 | 1.1 | -5.6 | -1.4 | -4.3 | -4.9 | 4.6 | (5.2) |
| 受診延日数 ※ | -0.1 | -16.5 | -18.3 | -8.1 | -10.3 | -8.2 | -6.7 | -2.7 | -12.0 | -8.9 | -13.1 | -11.0 | 5.1 | (-5.0) |
| 1日当たり医療費 | 3.7 | 16.1 | 11.7 | 8.9 | 7.4 | 3.2 | 5.3 | 3.9 | 7.2 | 8.3 | 10.1 | 6.9 | -0.5 | (10.8) |



※受診延日数は「処方せん枚数（受付回数）」を集計したもの

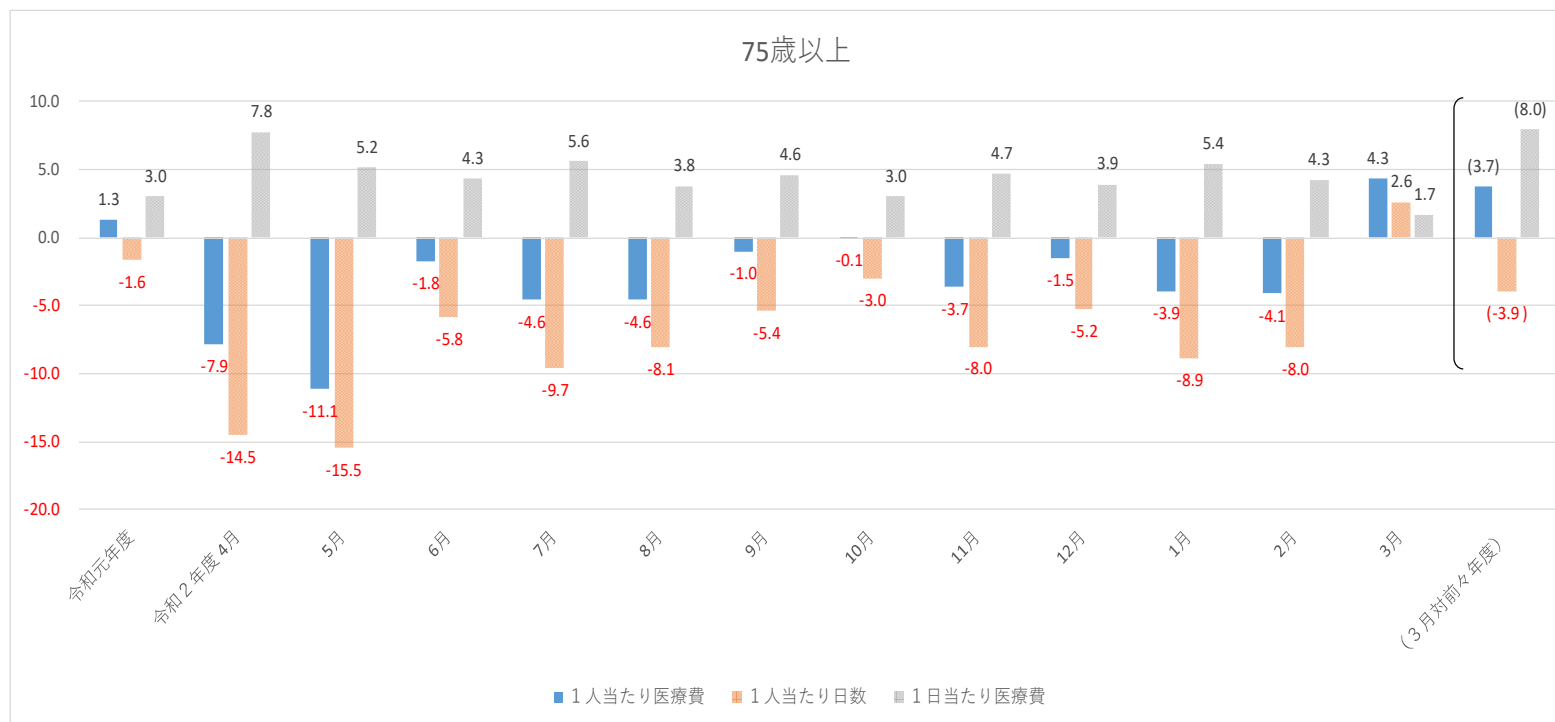
医療費の動向 令和2年度4月～3月 ③－1 75歳以上の状況

- 75歳以上について、1人当たり医療費、1人当たり日数は2月までマイナスで推移していたが、3月にプラスに転じた。
(対前々年度で見ると、1人当たり日数は▲3,9%のマイナス。)
- 1日当たり医療費の伸び率は小さくなった。

■ 75歳以上の医療費の伸び率（対前年同期比）

(単位：%)

| | 令和元年度 | 令和2年度 | | | | | | | | | | | | (3月対前々年度) |
|----------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|-----------|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 1人当たり医療費 | 1.3 | -7.9 | -11.1 | -1.8 | -4.6 | -4.6 | -1.0 | -0.1 | -3.7 | -1.5 | -3.9 | -4.1 | 4.3 | (3.7) |
| 1人当たり日数 | -1.6 | -14.5 | -15.5 | -5.8 | -9.7 | -8.1 | -5.4 | -3.0 | -8.0 | -5.2 | -8.9 | -8.0 | 2.6 | (-3.9) |
| 1日当たり医療費 | 3.0 | 7.8 | 5.2 | 4.3 | 5.6 | 3.8 | 4.6 | 3.0 | 4.7 | 3.9 | 5.4 | 4.3 | 1.7 | (8.0) |



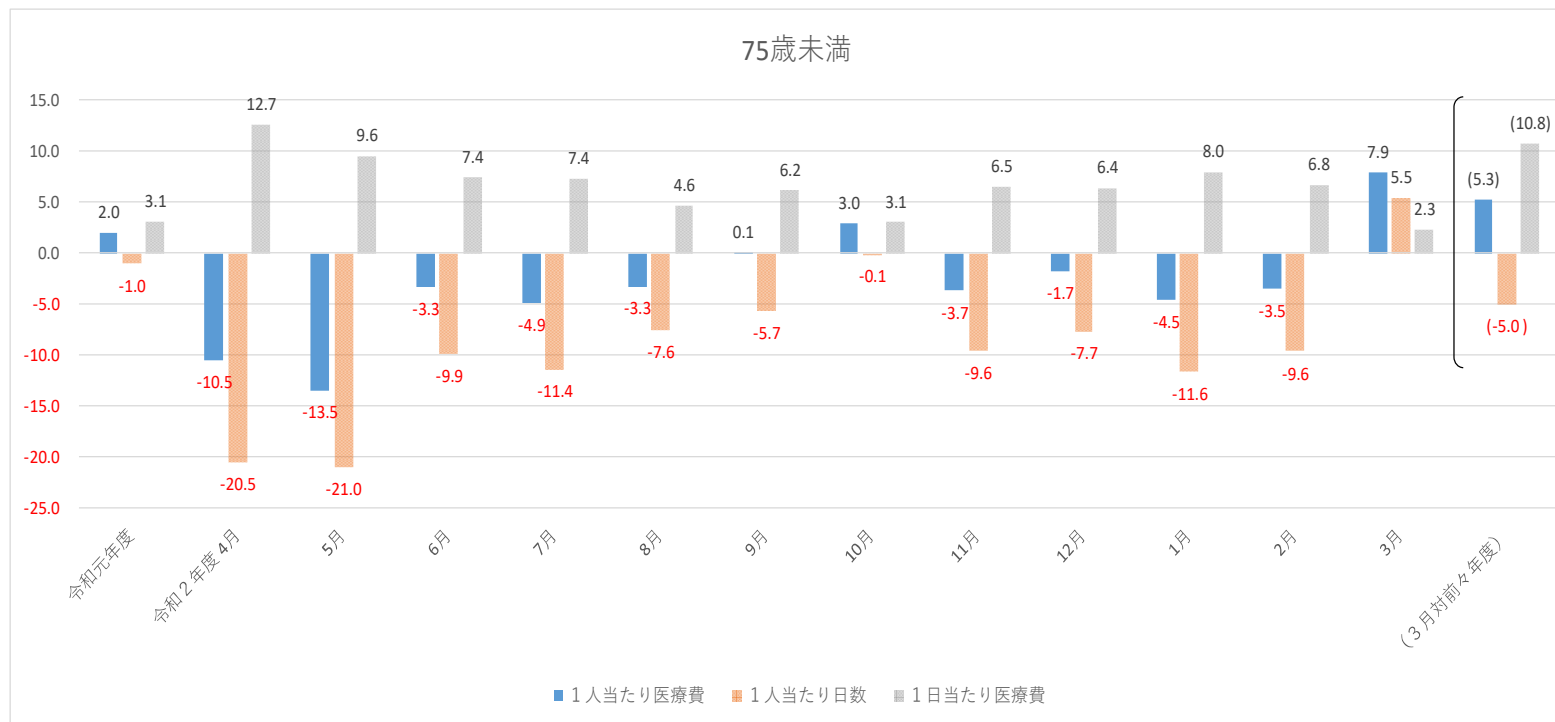
医療費の動向 令和2年度4月～3月 ③ - 2 75歳未満の状況

- 75歳未満について、3月は、1人当たり医療費、1人当たり日数、1日当たり医療費全ての項目でプラスとなった。
(対前々年度で見ると、1人当たり日数は▲5.0%のマイナス。)

■ 75歳未満の医療費の伸び率 (対前年同期比)

(単位：%)

| | 令和元年度 | 令和2年度 | | | | | | | | | | | | (3月対前々年度) |
|----------|-------|-------|-------|------|-------|------|------|------|------|------|-------|------|-----|-----------|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 1人当たり医療費 | 2.0 | -10.5 | -13.5 | -3.3 | -4.9 | -3.3 | 0.1 | 3.0 | -3.7 | -1.7 | -4.5 | -3.5 | 7.9 | (5.3) |
| 1人当たり日数 | -1.0 | -20.5 | -21.0 | -9.9 | -11.4 | -7.6 | -5.7 | -0.1 | -9.6 | -7.7 | -11.6 | -9.6 | 5.5 | (-5.0) |
| 1日当たり医療費 | 3.1 | 12.7 | 9.6 | 7.4 | 7.4 | 4.6 | 6.2 | 3.1 | 6.5 | 6.4 | 8.0 | 6.8 | 2.3 | (10.8) |



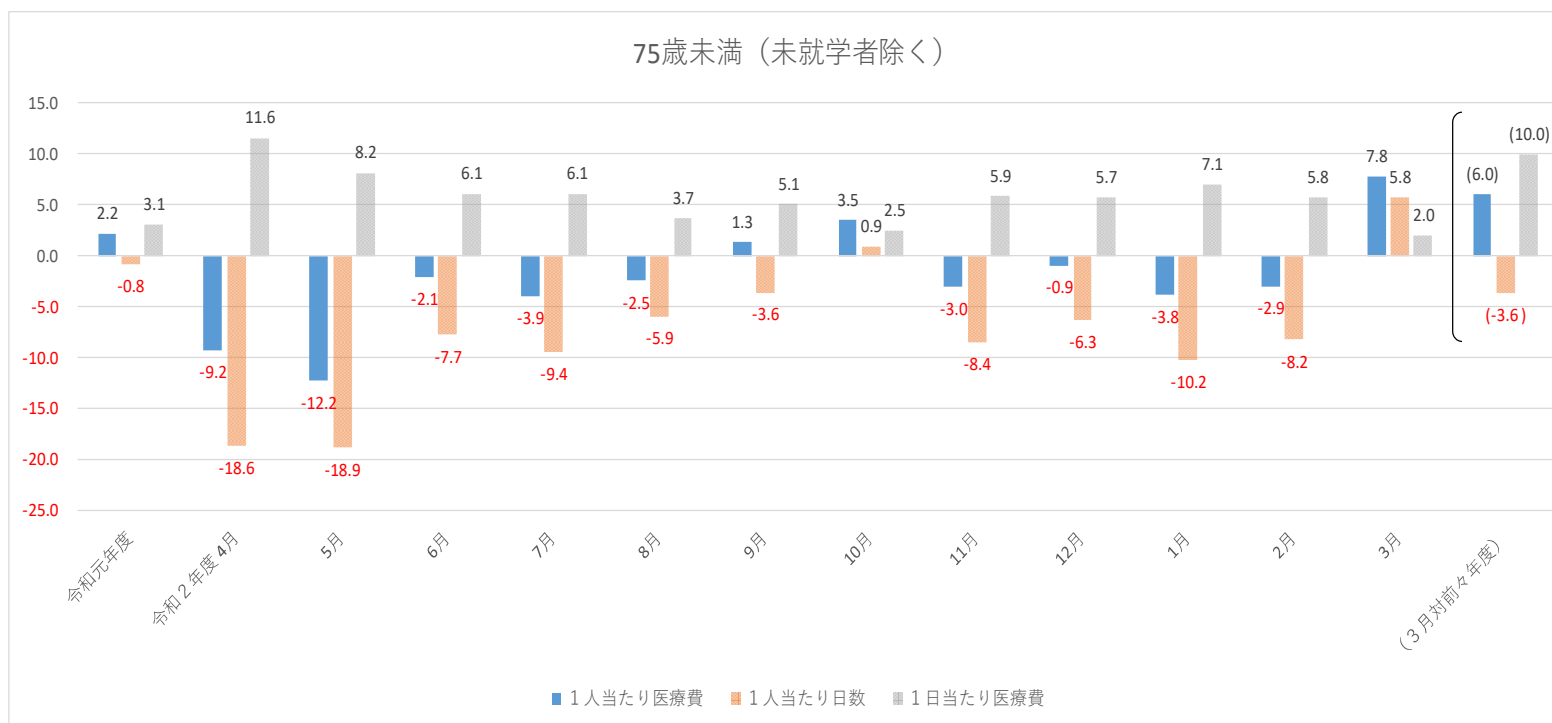
医療費の動向 令和2年度4月～3月 ③ - 3 75歳未満（未就学者除く）の状況

- 未就学者を除くと、1日当たり医療費の増加幅は微減。1人当たり日数の増加幅は微増し、結果として1人当たり医療費の増加幅はわずかに大きくなった。

■75歳未満（未就学者除く）の医療費の伸び率（対前年同期比）

（単位：％）

| | 令和元年度 | 令和2年度 | | | | | | | | | | | | (3月対前々年度) |
|----------|-------|-------|-------|------|------|------|------|-----|------|------|-------|------|-----|-----------|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 1人当たり医療費 | 2.2 | -9.2 | -12.2 | -2.1 | -3.9 | -2.5 | 1.3 | 3.5 | -3.0 | -0.9 | -3.8 | -2.9 | 7.8 | (6.0) |
| 1人当たり日数 | -0.8 | -18.6 | -18.9 | -7.7 | -9.4 | -5.9 | -3.6 | 0.9 | -8.4 | -6.3 | -10.2 | -8.2 | 5.8 | (-3.6) |
| 1日当たり医療費 | 3.1 | 11.6 | 8.2 | 6.1 | 6.1 | 3.7 | 5.1 | 2.5 | 5.9 | 5.7 | 7.1 | 5.8 | 2.0 | (10.0) |



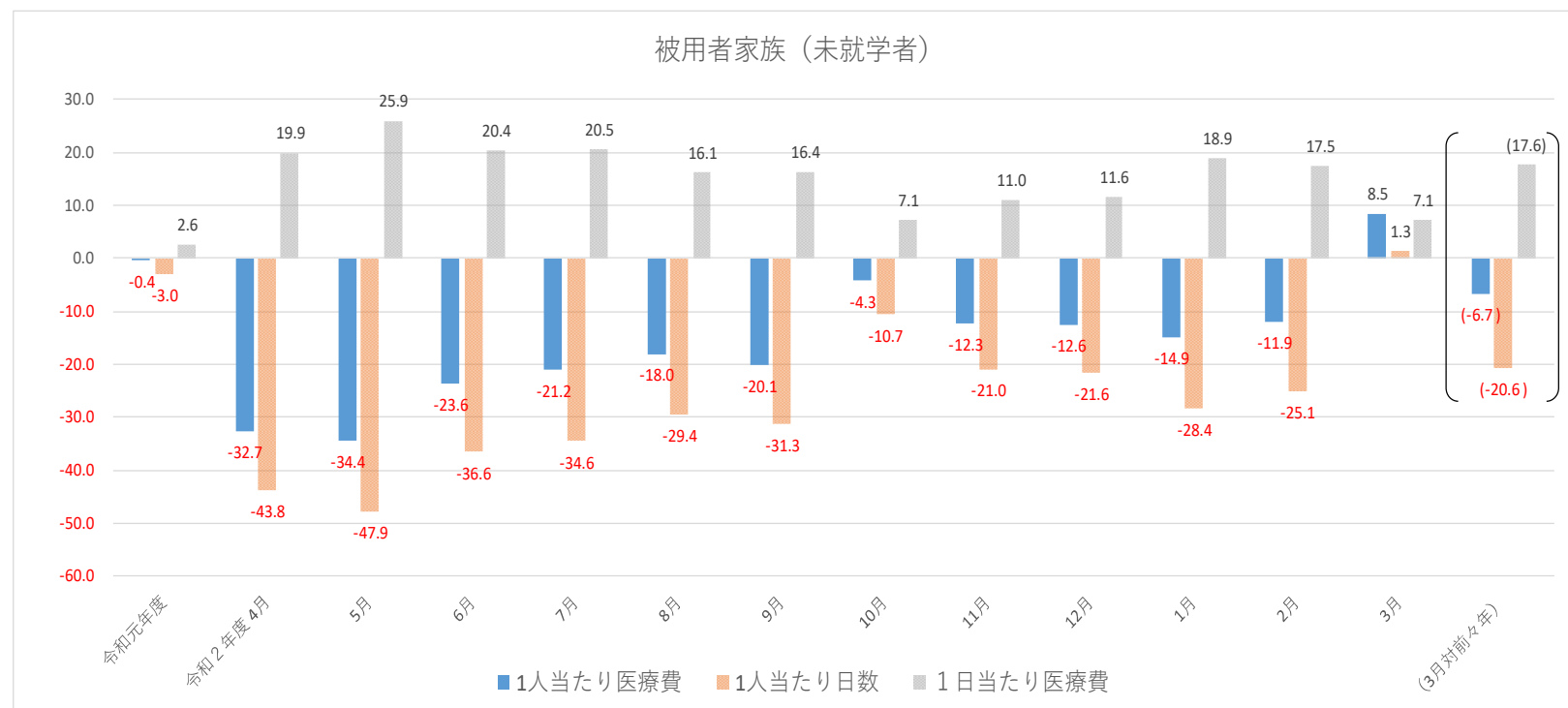
医療費の動向 令和2年度4月～3月 ③－4 未就学者の状況

- 未就学者について、1人当たり医療費はこれまで大きく減少していたが、3月にプラスに転じた。1人当たり日数もプラスに転じている。
(対前々年度で見ると、1人当たり日数は▲20.6%と大きなマイナスとなり、1人当たり医療費も▲6.7%のマイナス。)

■ 被用者家族（未就学者）の伸び率（対前年同月比）

(単位：%)

| | 令和元年度 | 令和2年度 | | | | | | | | | | | | (3月対前々年) |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|----------|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 1人当たり医療費 | -0.4 | -32.7 | -34.4 | -23.6 | -21.2 | -18.0 | -20.1 | -4.3 | -12.3 | -12.6 | -14.9 | -11.9 | 8.5 | (-6.7) |
| 1人当たり日数 | -3.0 | -43.8 | -47.9 | -36.6 | -34.6 | -29.4 | -31.3 | -10.7 | -21.0 | -21.6 | -28.4 | -25.1 | 1.3 | (-20.6) |
| 1日当たり医療費 | 2.6 | 19.9 | 25.9 | 20.4 | 20.5 | 16.1 | 16.4 | 7.1 | 11.0 | 11.6 | 18.9 | 17.5 | 7.1 | (17.6) |



医療費の動向 令和2年度4月～3月 ④診療科別の状況

- 入院外について、医科診療所の主たる診療科別の医療費の伸び率を見ると3月は外科以外の診療科はプラスとなった。これまで特に減少幅の大きかった、小児科・耳鼻咽喉科の増加幅が20%程度と大きい。
 (対前々年度で見ると、小児科、耳鼻咽喉科ともにマイナスとなる。)

■ 伸び率 (対前年同月比)

(単位：%)

| | | 令和元年度 | 令和2年度 | | | | | | | | | | | | (3月対前々年度) |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|
| | | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 医療費 | 医科診療所 | 0.8 | ▲16.3 | ▲15.7 | ▲4.2 | ▲6.8 | ▲4.2 | ▲2.8 | 1.3 | ▲7.3 | ▲4.7 | ▲8.2 | ▲5.1 | 10.0 | (1.2) |
| | 内科 | 0.4 | ▲11.6 | ▲12.1 | ▲2.4 | ▲4.9 | ▲3.6 | ▲1.4 | 0.2 | ▲6.6 | ▲4.9 | ▲7.6 | ▲4.6 | 8.0 | (2.0) |
| | 小児科 | 0.1 | ▲38.4 | ▲44.9 | ▲31.9 | ▲26.8 | ▲21.8 | ▲26.6 | ▲7.5 | ▲19.5 | ▲23.4 | ▲26.8 | ▲17.8 | 24.4 | (-3.4) |
| | 外科 | ▲1.3 | ▲18.5 | ▲17.2 | ▲7.7 | ▲12.3 | ▲11.5 | ▲10.5 | ▲7.5 | ▲15.0 | ▲11.8 | ▲15.7 | ▲14.2 | ▲1.8 | (-12.3) |
| | 整形外科 | 1.8 | ▲18.3 | ▲14.9 | ▲1.6 | ▲6.7 | ▲3.1 | ▲0.7 | 3.4 | ▲3.5 | 0.1 | ▲5.5 | ▲2.4 | 12.8 | (5.7) |
| | 皮膚科 | 1.9 | ▲15.2 | ▲6.0 | 6.2 | ▲5.4 | 2.5 | 0.5 | 8.4 | ▲4.0 | 3.9 | ▲2.8 | ▲3.1 | 5.1 | (2.4) |
| | 産婦人科 | 1.4 | ▲14.9 | ▲11.9 | ▲0.1 | ▲2.7 | 1.6 | 2.8 | 8.4 | ▲1.8 | 2.7 | ▲0.2 | 1.7 | 13.6 | (8.6) |
| | 眼科 | 2.3 | ▲19.7 | ▲21.4 | ▲2.0 | ▲4.9 | 0.3 | ▲0.0 | 7.7 | ▲4.9 | ▲0.3 | ▲5.3 | ▲3.0 | 14.5 | (5.7) |
| | 耳鼻咽喉科 | ▲2.7 | ▲42.6 | ▲40.1 | ▲28.5 | ▲21.9 | ▲17.2 | ▲18.2 | ▲6.1 | ▲23.1 | ▲18.6 | ▲23.1 | ▲12.8 | 17.9 | (-18.5) |
| その他 | 2.3 | ▲11.1 | ▲10.0 | 0.5 | ▲3.3 | ▲1.9 | 2.2 | 4.1 | ▲3.5 | 0.4 | ▲3.1 | ▲1.7 | 9.6 | (6.5) | |
| 受診延日数 | 医科診療所 | ▲1.3 | ▲21.0 | ▲20.4 | ▲10.0 | ▲12.3 | ▲8.0 | ▲7.5 | ▲1.5 | ▲11.9 | ▲9.3 | ▲13.9 | ▲11.1 | 5.9 | (-6.8) |
| | 内科 | ▲1.7 | ▲15.6 | ▲18.0 | ▲8.8 | ▲11.0 | ▲8.3 | ▲6.4 | ▲3.6 | ▲13.3 | ▲11.6 | ▲15.4 | ▲12.2 | 3.3 | (-6.3) |
| | 小児科 | ▲2.2 | ▲42.8 | ▲51.1 | ▲40.1 | ▲35.3 | ▲30.3 | ▲35.1 | ▲14.1 | ▲26.6 | ▲32.2 | ▲38.8 | ▲31.9 | 6.2 | (-21.1) |
| | 外科 | ▲4.6 | ▲21.3 | ▲20.3 | ▲11.6 | ▲16.6 | ▲13.7 | ▲13.4 | ▲9.4 | ▲18.6 | ▲15.4 | ▲20.6 | ▲18.7 | ▲4.7 | (-18.5) |
| | 整形外科 | ▲1.0 | ▲22.7 | ▲19.1 | ▲6.8 | ▲11.8 | ▲6.4 | ▲4.1 | 2.3 | ▲6.0 | ▲2.0 | ▲8.8 | ▲5.1 | 11.6 | (0.5) |
| | 皮膚科 | 1.2 | ▲14.2 | ▲5.1 | 5.6 | ▲5.7 | 2.4 | 0.3 | 8.6 | ▲3.4 | 4.1 | ▲2.9 | ▲4.2 | 3.2 | (0.7) |
| | 産婦人科 | 0.8 | ▲15.9 | ▲13.8 | ▲4.2 | ▲6.7 | ▲2.7 | ▲1.1 | 3.7 | ▲5.6 | ▲1.5 | ▲4.7 | ▲3.6 | 9.0 | (2.8) |
| | 眼科 | ▲1.3 | ▲25.8 | ▲24.0 | ▲7.5 | ▲7.0 | ▲3.2 | ▲5.6 | 5.5 | ▲7.4 | ▲4.5 | ▲8.1 | ▲7.0 | 8.4 | (-5.1) |
| | 耳鼻咽喉科 | ▲4.3 | ▲42.3 | ▲41.5 | ▲33.8 | ▲26.7 | ▲21.6 | ▲23.2 | ▲10.7 | ▲26.6 | ▲23.0 | ▲28.5 | ▲20.9 | 6.8 | (-26.0) |
| その他 | 1.4 | ▲11.2 | ▲10.5 | ▲1.8 | ▲5.5 | ▲3.2 | 0.5 | 3.2 | ▲5.6 | ▲1.3 | ▲4.8 | ▲3.9 | 8.0 | (3.5) | |
| 1日当たり医療費 | 医科診療所 | 2.1 | 6.0 | 5.9 | 6.4 | 6.2 | 4.2 | 5.1 | 2.8 | 5.3 | 5.2 | 6.6 | 6.7 | 3.9 | (8.6) |
| | 内科 | 2.1 | 4.8 | 7.1 | 7.0 | 6.9 | 5.0 | 5.3 | 4.0 | 7.8 | 7.6 | 9.1 | 8.6 | 4.5 | (9.0) |
| | 小児科 | 2.3 | 7.8 | 12.6 | 13.6 | 13.1 | 12.2 | 13.1 | 7.8 | 9.6 | 12.9 | 19.6 | 20.7 | 17.2 | (22.4) |
| | 外科 | 3.5 | 3.6 | 3.8 | 4.3 | 5.2 | 2.5 | 3.4 | 2.1 | 4.3 | 4.3 | 6.2 | 5.5 | 3.0 | (7.6) |
| | 整形外科 | 2.8 | 5.7 | 5.1 | 5.5 | 5.8 | 3.5 | 3.6 | 1.1 | 2.6 | 2.2 | 3.6 | 2.8 | 1.1 | (5.2) |
| | 皮膚科 | 0.6 | ▲1.2 | ▲1.0 | 0.6 | 0.3 | 0.1 | 0.1 | ▲0.2 | ▲0.6 | ▲0.2 | 0.0 | 1.1 | 1.8 | (1.7) |
| | 産婦人科 | 0.6 | 1.2 | 2.3 | 4.3 | 4.4 | 4.4 | 3.9 | 4.5 | 4.1 | 4.3 | 4.7 | 5.5 | 4.2 | (5.6) |
| | 眼科 | 3.6 | 8.1 | 3.4 | 5.9 | 2.2 | 3.6 | 5.9 | 2.1 | 2.7 | 4.4 | 3.1 | 4.3 | 5.6 | (11.5) |
| | 耳鼻咽喉科 | 1.7 | ▲0.6 | 2.4 | 8.0 | 6.5 | 5.7 | 6.4 | 5.2 | 4.8 | 5.7 | 7.5 | 10.3 | 10.3 | (10.1) |
| その他 | 0.8 | 0.1 | 0.5 | 2.3 | 2.3 | 1.3 | 1.6 | 0.9 | 2.3 | 1.8 | 1.8 | 2.3 | 1.5 | (2.9) | |

医療費の動向 令和2年度4月～3月 ⑤都道府県別の状況

- 都道府県別に入院外の医療費の伸び率を見ると、全ての都道府県でプラスとなり、データの散らばりの度合いを表す分散は3月には大きくなった。(対前々年度で見ると、分散は小さくなる。)

■ 入院外医療費の伸び率 (対前年同月比)

(単位：%)

| | 医療費 | | | | | | | | | | | | |
|------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|
| | 令和元年度 | 令和2年度 | | | | | | | | | | | |
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 全国 | 2.0 | -13.7 | -15.4 | -2.6 | -5.8 | -4.7 | -1.0 | 0.4 | -5.8 | -2.9 | -6.6 | -3.9 | 10.0 |
| 北海道 | 2.2 | -10.9 | -15.5 | -0.4 | -4.4 | -5.3 | 0.1 | -0.8 | -7.0 | -5.4 | -7.3 | -3.9 | 13.5 |
| 青森県 | 1.2 | -8.7 | -11.8 | 0.2 | -5.3 | -5.4 | -1.2 | -2.5 | -8.6 | -4.3 | -8.2 | -6.2 | 4.0 |
| 岩手県 | 0.9 | -6.5 | -10.9 | 0.2 | -6.1 | -4.2 | 1.1 | 0.3 | -7.1 | -4.5 | -8.1 | -5.1 | 5.7 |
| 宮城県 | 1.7 | -11.0 | -14.3 | -0.9 | -6.5 | -4.2 | -1.2 | 0.2 | -5.8 | -3.8 | -5.3 | -5.0 | 9.1 |
| 秋田県 | 1.2 | -8.5 | -10.7 | 1.1 | -5.5 | -4.7 | -0.4 | -0.7 | -5.5 | -3.3 | -11.1 | -7.0 | 6.5 |
| 山形県 | 0.8 | -12.5 | -15.3 | 0.1 | -6.7 | -5.0 | -0.4 | -0.7 | -6.7 | -4.3 | -7.7 | -6.1 | 4.6 |
| 福島県 | 0.9 | -9.6 | -14.8 | -2.6 | -6.2 | -5.2 | -2.1 | 0.8 | -6.5 | -3.2 | -6.2 | -6.2 | 6.6 |
| 茨城県 | 1.6 | -14.1 | -14.9 | -2.2 | -5.3 | -4.9 | -1.1 | 1.3 | -5.8 | -3.0 | -5.7 | -3.1 | 9.2 |
| 栃木県 | 2.5 | -10.8 | -14.4 | -3.2 | -6.8 | -6.2 | -3.1 | -1.2 | -7.9 | -4.2 | -8.1 | -6.3 | 7.7 |
| 群馬県 | 1.6 | -12.3 | -14.5 | -3.1 | -6.4 | -5.8 | -1.1 | -0.4 | -5.9 | -2.6 | -5.7 | -4.9 | 9.7 |
| 埼玉県 | 2.6 | -16.3 | -16.0 | -3.6 | -5.4 | -3.8 | 0.2 | 3.0 | -4.6 | -1.0 | -3.7 | -3.3 | 12.1 |
| 千葉県 | 2.2 | -15.5 | -16.6 | -4.3 | -5.5 | -4.3 | 0.9 | 2.4 | -4.5 | -1.7 | -5.0 | -3.4 | 11.9 |
| 東京都 | 2.9 | -20.9 | -19.5 | -5.0 | -6.3 | -4.4 | 0.0 | 1.9 | -4.7 | -1.7 | -4.5 | -3.5 | 12.9 |
| 神奈川県 | 2.4 | -16.9 | -17.5 | -5.0 | -6.1 | -4.1 | 0.1 | 1.9 | -4.8 | -1.6 | -3.4 | -2.2 | 13.8 |
| 新潟県 | 1.2 | -8.9 | -13.2 | 0.5 | -6.6 | -5.5 | -1.3 | -2.4 | -8.0 | -5.3 | -11.9 | -7.3 | 6.7 |
| 富山県 | 1.8 | -11.9 | -17.2 | -2.3 | -5.6 | -4.6 | -1.2 | -2.3 | -7.0 | -6.0 | -12.5 | -7.0 | 5.5 |
| 石川県 | 1.4 | -15.1 | -17.8 | -2.6 | -5.3 | -5.5 | -2.1 | 0.2 | -7.0 | -4.1 | -8.5 | -4.5 | 9.5 |
| 福井県 | 0.4 | -17.7 | -16.9 | -1.2 | -7.0 | -6.1 | -1.7 | -1.3 | -6.5 | -3.5 | -12.5 | -5.3 | 7.6 |
| 山梨県 | 2.1 | -13.0 | -13.4 | -1.3 | -5.0 | -5.1 | -1.7 | 0.4 | -5.7 | -2.6 | -4.4 | -3.5 | 12.4 |
| 長野県 | 1.9 | -10.3 | -13.9 | -0.1 | -4.7 | -4.0 | -0.1 | 0.6 | -5.9 | -3.5 | -7.8 | -4.5 | 8.3 |
| 岐阜県 | 1.2 | -14.4 | -14.3 | -2.1 | -5.6 | -5.1 | -1.3 | -0.3 | -6.9 | -4.4 | -8.1 | -4.9 | 8.7 |
| 静岡県 | 2.3 | -8.3 | -11.9 | -0.3 | -4.9 | -3.8 | 0.1 | 1.5 | -5.1 | -2.1 | -5.4 | -2.5 | 9.5 |
| 愛知県 | 2.5 | -12.2 | -13.1 | -1.3 | -5.4 | -4.4 | -1.1 | 0.8 | -5.8 | -2.5 | -6.8 | -3.4 | 10.9 |
| 三重県 | 1.2 | -12.3 | -14.4 | -2.0 | -6.4 | -6.0 | -1.8 | -0.4 | -6.8 | -4.3 | -8.2 | -4.7 | 6.4 |

(3月対前々年度)

(単位：%)

| | 医療費 | | | | | | | | | | | | |
|------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|
| | 令和元年度 | 令和2年度 | | | | | | | | | | | |
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 滋賀県 | 2.3 | -14.2 | -15.8 | -3.2 | -5.7 | -5.2 | -1.8 | 0.7 | -6.6 | -4.5 | -7.7 | -3.0 | 10.0 |
| 京都府 | 1.8 | -14.0 | -15.9 | -3.0 | -6.1 | -4.5 | -0.8 | -0.5 | -6.1 | -3.2 | -7.0 | -3.8 | 9.6 |
| 大阪府 | 2.1 | -14.5 | -15.9 | -3.3 | -5.9 | -4.2 | -1.3 | 0.0 | -6.0 | -3.2 | -7.1 | -3.9 | 10.2 |
| 兵庫県 | 2.1 | -15.6 | -16.7 | -3.2 | -6.1 | -4.0 | -0.9 | 0.0 | -5.9 | -3.1 | -7.3 | -3.8 | 11.2 |
| 奈良県 | 3.2 | -11.1 | -13.1 | -2.3 | -4.2 | -4.0 | 0.1 | 0.8 | -5.6 | -2.2 | -6.2 | -2.6 | 9.2 |
| 和歌山県 | 0.9 | -10.2 | -11.8 | -1.6 | -5.9 | -4.9 | -2.0 | -1.3 | -7.0 | -3.7 | -7.8 | -2.1 | 6.3 |
| 鳥取県 | 1.5 | -7.6 | -12.2 | -1.7 | -5.2 | -4.3 | -0.6 | 0.5 | -5.8 | -4.0 | -8.2 | -3.5 | 7.4 |
| 島根県 | 1.8 | -7.5 | -12.5 | 1.3 | -5.5 | -4.2 | -1.5 | -1.0 | -6.7 | -4.9 | -8.2 | -3.8 | 6.9 |
| 岡山県 | 2.1 | -8.7 | -14.2 | -0.9 | -5.5 | -4.9 | -1.5 | -0.9 | -5.9 | -2.9 | -8.5 | -4.7 | 7.5 |
| 広島県 | 1.7 | -10.8 | -14.8 | -1.8 | -6.1 | -3.8 | -1.1 | -0.7 | -6.8 | -4.0 | -8.5 | -4.5 | 7.3 |
| 山口県 | 0.6 | -10.8 | -14.2 | -2.3 | -6.1 | -3.9 | -1.8 | -0.8 | -7.5 | -4.4 | -7.9 | -4.4 | 7.7 |
| 徳島県 | 1.3 | -8.5 | -10.4 | -0.3 | -6.1 | -6.7 | -2.7 | -1.4 | -7.6 | -3.5 | -8.0 | -4.4 | 5.9 |
| 香川県 | 1.2 | -10.9 | -13.4 | -1.2 | -5.9 | -5.4 | -1.9 | -0.8 | -6.8 | -2.3 | -7.2 | -1.9 | 8.3 |
| 愛媛県 | 2.0 | -11.8 | -14.3 | -2.6 | -6.1 | -5.0 | -2.3 | -1.7 | -6.8 | -4.0 | -9.3 | -4.7 | 5.7 |
| 高知県 | 0.1 | -12.5 | -14.3 | -1.1 | -5.9 | -5.0 | -2.3 | -1.4 | -6.2 | -4.4 | -9.1 | -3.7 | 6.9 |
| 福岡県 | 1.7 | -16.0 | -17.1 | -4.6 | -6.3 | -4.5 | -3.5 | -0.3 | -5.9 | -3.0 | -7.2 | -3.4 | 9.3 |
| 佐賀県 | 2.5 | -10.0 | -12.5 | 0.6 | -4.3 | -1.0 | -1.9 | 0.7 | -4.8 | -2.3 | -6.7 | -2.6 | 8.4 |
| 長崎県 | 1.1 | -8.6 | -12.4 | -0.7 | -7.5 | -5.7 | -3.7 | -1.4 | -6.6 | -3.0 | -10.3 | -5.1 | 6.8 |
| 熊本県 | 1.0 | -11.8 | -14.4 | -3.9 | -7.1 | -6.0 | -5.2 | -2.2 | -7.8 | -4.3 | -8.1 | -3.9 | 9.0 |
| 大分県 | 1.0 | -12.2 | -12.8 | -0.5 | -5.4 | -8.7 | -0.6 | -1.4 | -5.7 | -3.2 | -6.9 | -4.0 | 9.9 |
| 宮崎県 | 2.0 | -7.5 | -9.5 | 1.2 | -3.1 | -6.4 | -3.1 | -0.9 | -4.5 | -2.9 | -9.6 | -3.8 | 6.9 |
| 鹿児島県 | 1.7 | -7.2 | -10.8 | -0.2 | -5.4 | -5.1 | -2.7 | -0.3 | -4.8 | -0.9 | -5.8 | -3.5 | 6.7 |
| 沖縄県 | 4.2 | -14.8 | -19.1 | -3.6 | -6.4 | -8.4 | -7.1 | 0.3 | -3.9 | 0.1 | -3.7 | -4.7 | 8.3 |
| 最大： | 4.2 | -6.5 | -9.5 | 1.3 | -3.1 | -1.0 | 1.1 | 3.0 | -3.9 | 0.1 | -3.4 | -1.9 | 13.8 |
| 最小： | 0.1 | -20.9 | -19.5 | -5.0 | -7.5 | -8.7 | -7.1 | -2.5 | -8.6 | -6.0 | -12.5 | -7.3 | 4.0 |
| 分散*： | 0.6 | 9.9 | 5.1 | 2.8 | 0.7 | 1.4 | 2.2 | 1.5 | 1.1 | 1.5 | 4.4 | 1.7 | 5.4 |

(3月対前々年度)

※分散とは、データの散らばりの度合いを表す値

- (青) : 医療費の伸び率 上位10県 (減少幅が小さい)
- (赤) : 医療費の伸び率 下位10県 (減少幅が大きい)

医療費の動向 令和2年度4月～3月 ⑥休日数等の調整後の医療費の伸び率

- 休日数等の調整後の医療費の伸び率は、7月以降、1月を除き、▲1～3%程度で推移していたが、3月に1.8%とプラスとなった。
(対前々年度で見ると、▲0.0%となる。)

■診療種別医療費の伸び率（休日数等の補正後・対前年同期比）

(単位：%)

| | 令和元年度 | 令和2年度 | | | | | | | | | | | |
|-----|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 総計 | 2.9 | -11.1 | -12.6 | -6.1 | -1.8 | -1.2 | -3.0 | -2.9 | -1.1 | -1.9 | -4.7 | -2.4 | 1.8 |
| 入院 | 2.1 | -7.5 | -9.7 | -6.0 | -3.1 | -2.0 | -1.4 | -0.6 | -1.1 | -2.6 | -4.3 | -3.2 | -0.9 |
| 入院外 | 2.8 | -16.6 | -16.9 | -7.1 | -2.3 | -1.8 | -4.5 | -5.6 | -2.3 | -2.9 | -6.6 | -2.1 | 5.5 |
| 歯科 | 2.8 | -17.5 | -17.3 | -4.7 | -0.5 | 3.1 | 1.5 | 3.6 | 2.5 | 3.2 | -1.9 | 0.6 | 5.3 |
| 調剤 | 4.6 | -7.1 | -10.5 | -5.3 | 0.6 | -1.3 | -5.9 | -6.1 | -1.4 | -1.4 | -4.3 | -2.9 | -0.8 |

(3月対前々年度)

(-0.0)

(-0.8)

(0.5)

(2.4)

(-1.2)

(単位：日)

| | 令和元年度 | 令和2年度 | | | | | | | | | | | | |
|---------|--------|-------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 前年同期差 | 日曜・祭日等 | +3 | -1 | -1 | -1 | +1 | +1 | -1 | -2 | +1 | 0 | 0 | 0 | -1 |
| | 土曜 | +2 | 0 | +2 | -1 | 0 | 0 | +1 | 0 | 0 | 0 | -1 | -1 | |
| 休日でない木曜 | +1 | -1 | 0 | 0 | 0 | -1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | -1 | 0 | |

(3月対前々年度)

(-1)

(-2)

(1)

※令和2年度2月は前年が閏月のため、上記の補正に加え▲3.4%の補正を行っている。

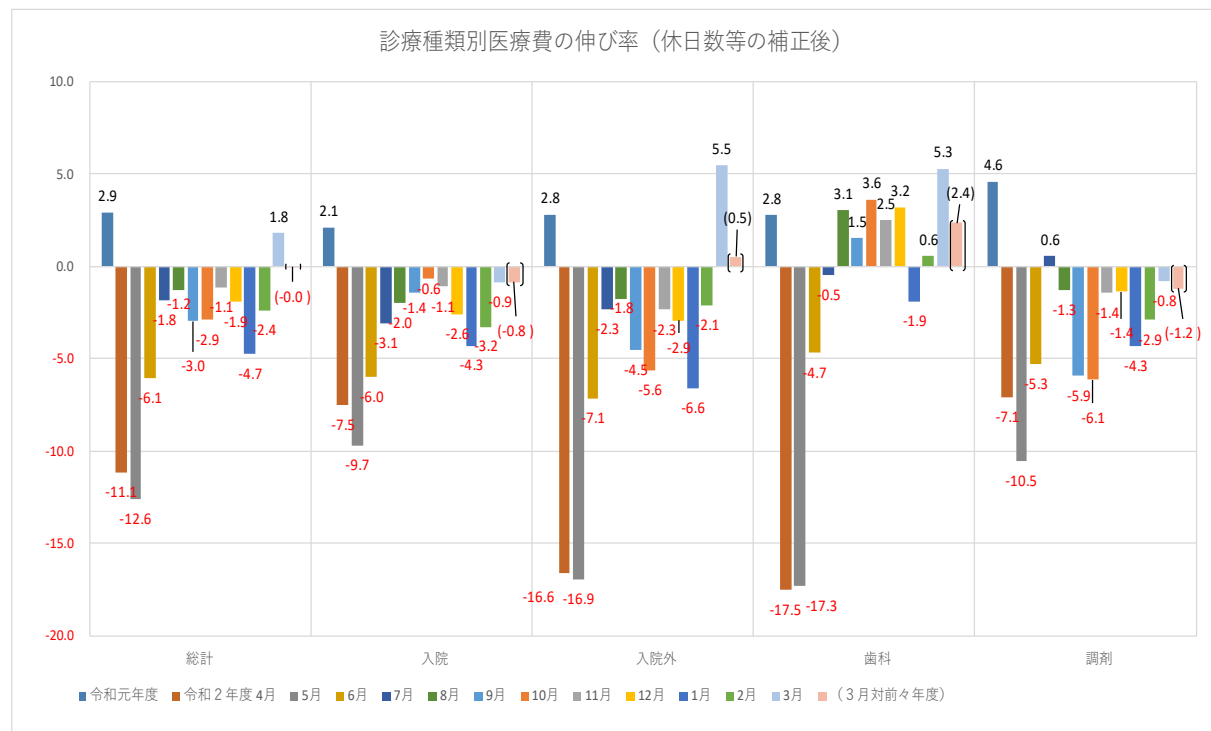
(参考) 医療費の伸び率（対前年同月比）に対する休日数等の対前年同月差の影響補正係数（平成22年度～）

| | 日曜・祭日等 | 土曜 | 休日でない木曜 |
|-----|--------|------|---------|
| 総計 | -2.7 | -1.0 | -0.4 |
| 入院 | -1.2 | -0.8 | -0.2 |
| 入院外 | -3.5 | -1.0 | -0.6 |
| 歯科 | -3.5 | -1.0 | -1.3 |
| 調剤 | -4.2 | -1.2 | -0.2 |

注。

休日数等の影響を補正した医療費の伸び率は、平成16～21年度の各月の制度別等の1人当たり医療費の伸び率（診療報酬改定等及び閏日の影響を除く）を、日曜・祭日等（年末年始については、12月29日～1月3日を日曜として扱っている）の数、土曜日の数、休日でない木曜日の数、1定点当たりインフルエンザ報告数（国立感染症研究所感染症情報センター「サーベイランス」）、花粉症の影響を表すデータ（環境省花粉観測システムの観測地点・観測時別データの単純平均）の対前年同月差を説明変数として重回帰分析した結果を用いて補正したものである。

なお、総計及び公費については、医療保険計について重回帰分析した結果を用いて補正している。



電子レセプトを用いた医科(入院・入院外)医療費の分析 ＜令和2年度4月～3月＞

レセプト電算処理システムにより処理された診療報酬明細書(電子レセプト)のうち医科入院、医科入院外分を用いて集計、医療費の動向について詳細を分析。
ただし、以下の点について留意が必要。
・電算化率の変動が医療費の伸び率に影響を与えること(電算化率は入院は95%程度、入院外は98%程度)

- 年齢階級別では、入院・入院外ともに、いずれの年齢層もプラスになった。
- 疾病分類別では、入院は「呼吸器系の疾患」がマイナスとなるも、他の疾患の影響で全体はプラスとなっている。入院外は「循環器系の疾患」のプラスの影響が大きい。
- 診療内容別では、入院・入院外ともに「検査・病理診断」の増加幅が大きく、入院外では伸び率への影響も大きくなっている。

※これまでは、集計システム上の制約等により医科入院外に1/100の抽出率でランダム抽出したデータを使用していたため試験的公表として取り扱ってきたが、システム上の対応が完了し、医科入院外についても電算処理分の全数データを用いることができるようになったため、今後は本格公表として取り扱う。

電子レセプトを用いた医科医療費の分析 令和2年度4月～3月 ①年齢階級別

○ 入院・入院外ともに、いずれの年齢層もプラスとなっている。特に、入院外の20歳以下の層の伸びが大きい。
(対前々年度で見ると、20歳以下層はマイナスとなる。)

■ 入院 1人当たり医療費 伸び率

(単位：%)

| | 令和元年度 | 令和2年度 | | | | | | | | | | | | (3月対 前々年度) |
|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 総数 | 2.5 | -6.1 | -10.7 | -4.1 | -4.4 | -3.4 | -0.6 | 0.8 | -2.1 | -2.2 | -3.7 | -5.4 | 1.7 | (3.0) |
| 0歳以上 5歳未満 | 0.8 | -19.3 | -21.1 | -15.8 | -17.4 | -15.1 | -15.5 | -9.7 | -10.8 | -13.8 | -12.6 | -15.0 | -7.6 | (-8.3) |
| 5歳以上 10歳未満 | 3.4 | -24.2 | -27.4 | -17.8 | -20.4 | -16.5 | -10.3 | -9.5 | -16.8 | -23.8 | -21.7 | -23.3 | -10.9 | (-15.1) |
| 10歳以上 15歳未満 | 2.8 | -12.2 | -15.6 | -4.6 | -14.6 | -6.6 | 4.0 | 4.6 | -0.4 | -12.5 | -6.4 | -4.5 | 0.4 | (3.0) |
| 15歳以上 20歳未満 | 4.3 | -13.5 | -16.3 | -11.0 | -20.9 | -13.2 | 1.4 | 5.5 | -1.5 | -3.4 | -4.9 | -5.9 | 1.8 | (3.7) |
| 20歳以上 25歳未満 | 0.7 | -10.3 | -16.7 | -8.1 | -4.5 | -9.5 | -2.8 | 2.7 | -4.6 | -3.2 | -5.1 | -8.3 | -0.9 | (-2.4) |
| 25歳以上 30歳未満 | 0.3 | -9.5 | -12.6 | -8.4 | -6.9 | -4.6 | -1.2 | 0.0 | -3.3 | -3.8 | -8.1 | -5.9 | 0.4 | (-0.7) |
| 30歳以上 35歳未満 | 0.6 | -7.1 | -11.2 | -4.2 | -4.7 | -2.5 | 0.0 | -1.3 | -2.7 | -3.0 | -7.2 | -5.7 | -0.8 | (0.5) |
| 35歳以上 40歳未満 | 0.7 | -7.2 | -12.0 | -4.4 | -2.6 | -3.4 | 0.9 | 1.1 | -3.2 | -3.2 | -5.1 | -5.8 | 0.0 | (1.2) |
| 40歳以上 45歳未満 | 1.7 | -6.0 | -11.5 | -6.0 | -6.1 | -4.6 | -0.9 | 1.1 | -4.9 | -4.4 | -6.2 | -6.2 | 0.1 | (1.7) |
| 45歳以上 50歳未満 | 0.9 | -7.6 | -12.4 | -5.8 | -6.1 | -5.2 | -0.3 | -0.4 | -3.7 | -2.9 | -5.7 | -6.0 | -0.6 | (0.2) |
| 50歳以上 55歳未満 | 0.3 | -6.7 | -11.2 | -5.3 | -5.1 | -4.4 | 1.2 | 0.9 | -2.6 | -1.6 | -2.8 | -2.8 | 1.2 | (2.1) |
| 55歳以上 60歳未満 | 1.3 | -5.4 | -11.1 | -5.1 | -5.4 | -5.0 | -1.0 | -0.4 | -4.0 | -2.7 | -6.0 | -7.0 | -0.2 | (0.5) |
| 60歳以上 65歳未満 | 1.2 | -5.0 | -11.3 | -6.1 | -5.5 | -3.2 | -1.4 | 0.4 | -2.4 | -3.1 | -4.7 | -6.7 | 0.2 | (1.9) |
| 65歳以上 70歳未満 | 1.2 | -5.7 | -12.0 | -5.7 | -5.2 | -3.4 | -1.7 | 0.7 | -2.8 | -2.8 | -5.2 | -6.8 | 0.2 | (1.3) |
| 70歳以上 75歳未満 | 0.9 | -7.1 | -13.2 | -5.4 | -5.5 | -3.6 | -1.9 | 0.0 | -3.0 | -2.5 | -4.0 | -5.7 | 1.7 | (2.0) |
| 75歳以上 80歳未満 | 1.1 | -7.2 | -13.0 | -4.9 | -5.1 | -3.9 | -1.3 | 0.0 | -3.1 | -3.2 | -5.7 | -7.5 | 0.9 | (0.9) |
| 80歳以上 85歳未満 | 1.1 | -7.7 | -11.4 | -4.5 | -5.0 | -5.0 | -2.2 | -0.9 | -3.7 | -3.3 | -4.6 | -6.1 | 0.7 | (-0.3) |
| 85歳以上 90歳未満 | 0.8 | -7.8 | -9.9 | -4.1 | -4.9 | -4.6 | -2.0 | -1.5 | -3.3 | -4.1 | -4.7 | -6.6 | 0.3 | (-1.1) |
| 90歳以上 95歳未満 | 1.0 | -7.4 | -9.4 | -4.5 | -5.5 | -5.3 | -3.7 | -3.0 | -4.0 | -4.1 | -3.6 | -6.9 | -0.2 | (-2.0) |
| 95歳以上 100歳未満 | -1.0 | -8.4 | -10.7 | -6.0 | -6.8 | -8.5 | -5.2 | -4.8 | -7.0 | -6.1 | -5.6 | -8.7 | -3.6 | (-6.4) |
| 100歳以上 | 3.6 | -7.6 | -8.5 | -5.9 | -4.2 | -5.4 | -1.8 | -3.6 | -4.9 | -3.7 | -3.2 | -6.5 | 0.9 | (0.1) |

■ 入院外 1人当たり医療費 伸び率

| | 令和元年度 | 令和2年度 | | | | | | | | | | | | (3月対 前々年度) |
|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|------|---------------|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 総数 | 2.4 | -13.3 | -15.5 | -2.2 | -5.4 | -4.4 | -0.6 | 0.8 | -5.5 | -2.5 | -6.3 | -3.6 | 10.5 | (6.4) |
| 0歳以上 5歳未満 | -1.5 | -44.8 | -51.7 | -36.3 | -31.8 | -28.0 | -28.3 | -9.8 | -18.2 | -15.6 | -19.5 | -13.3 | 19.9 | (-7.8) |
| 5歳以上 10歳未満 | -0.9 | -38.2 | -39.2 | -24.1 | -11.6 | -9.6 | -15.3 | -1.9 | -20.1 | -28.9 | -30.4 | -20.4 | 17.9 | (-9.9) |
| 10歳以上 15歳未満 | -0.4 | -38.4 | -38.7 | -18.9 | -9.2 | 5.5 | -1.8 | 4.4 | -8.5 | -17.9 | -21.2 | -13.8 | 30.7 | (-5.3) |
| 15歳以上 20歳未満 | 2.0 | -31.1 | -29.1 | -12.4 | -9.0 | 5.4 | 4.9 | 8.4 | 0.5 | -1.2 | -7.7 | -4.4 | 23.4 | (6.6) |
| 20歳以上 25歳未満 | 0.4 | -18.5 | -19.1 | -3.1 | -1.4 | 3.3 | 3.6 | 7.4 | -0.7 | 0.8 | -3.7 | -0.2 | 16.0 | (7.7) |
| 25歳以上 30歳未満 | 0.6 | -17.1 | -17.5 | -4.6 | -3.8 | 0.4 | 1.6 | 4.3 | -4.4 | -2.9 | -6.2 | -3.8 | 12.3 | (3.7) |
| 30歳以上 35歳未満 | 1.9 | -16.4 | -18.4 | -4.8 | -4.9 | -1.3 | 0.4 | 3.6 | -4.6 | -4.9 | -6.7 | -4.8 | 12.2 | (4.6) |
| 35歳以上 40歳未満 | 1.5 | -15.2 | -18.2 | -4.4 | -4.9 | -2.3 | 0.3 | 2.3 | -5.9 | -4.9 | -7.6 | -4.6 | 11.1 | (3.5) |
| 40歳以上 45歳未満 | 2.7 | -13.5 | -15.4 | -3.3 | -4.8 | -1.6 | 0.9 | 2.3 | -5.9 | -4.4 | -7.1 | -4.4 | 10.8 | (5.0) |
| 45歳以上 50歳未満 | 2.2 | -11.9 | -13.7 | -2.2 | -4.8 | -3.2 | 0.8 | 2.1 | -5.7 | -2.7 | -6.0 | -3.0 | 10.1 | (5.5) |
| 50歳以上 55歳未満 | 2.1 | -11.5 | -13.3 | -1.7 | -5.3 | -4.1 | 0.1 | 1.5 | -5.8 | -2.1 | -4.7 | -2.4 | 9.4 | (5.8) |
| 55歳以上 60歳未満 | 2.8 | -10.4 | -12.4 | -0.9 | -4.7 | -4.3 | 0.7 | 1.7 | -5.4 | -1.1 | -5.2 | -3.1 | 8.1 | (6.1) |
| 60歳以上 65歳未満 | 2.2 | -10.2 | -13.4 | -0.5 | -4.8 | -5.0 | 0.3 | 0.2 | -5.3 | -1.6 | -5.1 | -3.3 | 8.2 | (6.6) |
| 65歳以上 70歳未満 | 2.3 | -10.4 | -13.6 | 0.0 | -4.8 | -5.1 | 0.0 | -0.1 | -5.4 | -1.2 | -5.9 | -3.0 | 8.6 | (7.7) |
| 70歳以上 75歳未満 | 1.5 | -11.1 | -14.1 | -0.1 | -5.3 | -5.8 | -0.4 | -0.7 | -5.4 | -1.0 | -5.3 | -2.5 | 8.8 | (7.4) |
| 75歳以上 80歳未満 | 1.3 | -11.7 | -14.2 | -0.6 | -5.8 | -6.1 | -1.1 | -1.3 | -6.2 | -2.0 | -6.6 | -4.2 | 7.5 | (5.6) |
| 80歳以上 85歳未満 | 1.7 | -12.0 | -13.2 | -0.1 | -5.6 | -5.9 | -1.4 | -1.0 | -6.0 | -1.4 | -5.8 | -3.2 | 8.3 | (6.1) |
| 85歳以上 90歳未満 | 1.3 | -11.8 | -11.8 | 0.0 | -5.3 | -5.5 | -1.2 | -1.0 | -5.7 | -1.5 | -5.5 | -3.7 | 7.4 | (4.6) |
| 90歳以上 95歳未満 | 1.3 | -10.8 | -10.2 | 0.9 | -3.9 | -4.4 | -0.6 | -0.5 | -4.5 | -1.0 | -3.8 | -2.3 | 7.7 | (4.5) |
| 95歳以上 100歳未満 | -0.5 | -9.2 | -8.0 | 1.6 | -3.0 | -3.4 | -0.8 | -1.0 | -4.1 | -0.1 | -2.8 | -0.6 | 7.2 | (3.6) |
| 100歳以上 | 6.1 | -5.3 | -3.2 | 5.2 | 1.9 | 2.5 | 5.3 | 2.9 | 1.6 | 4.0 | 4.6 | 3.7 | 13.6 | (14.1) |

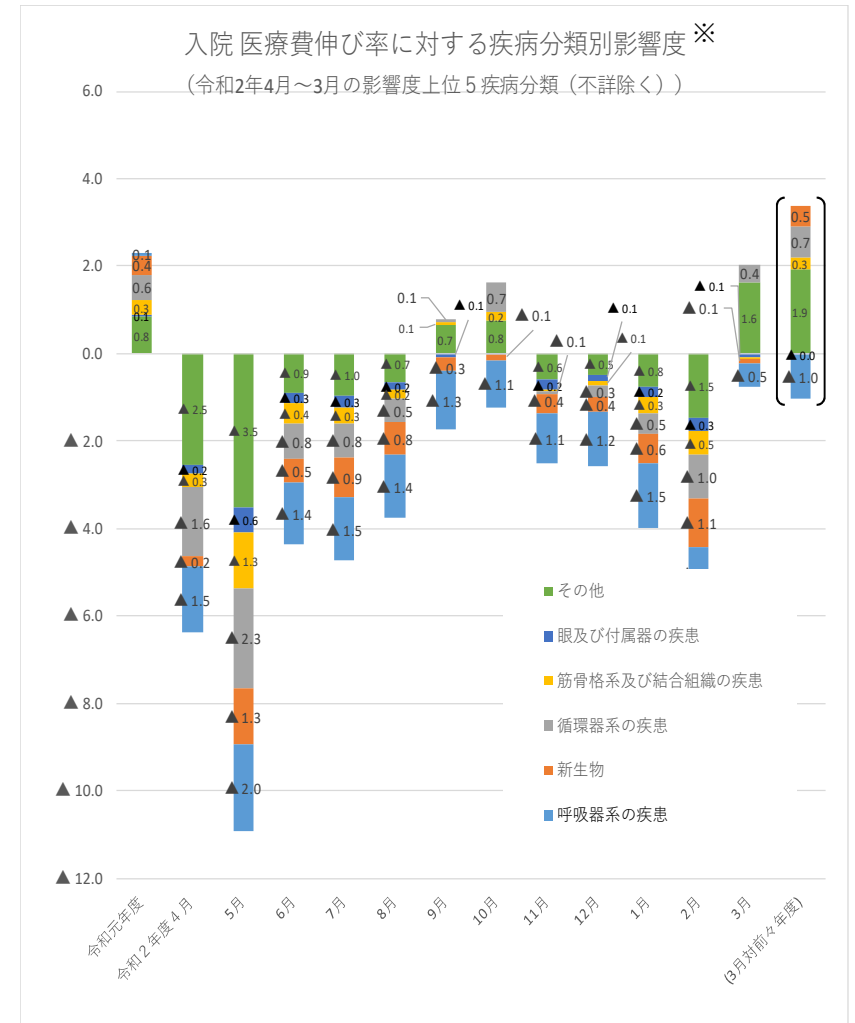
：伸び率の下位3階級（減少幅が大きい）

※ 1人当たり医療費の算出にあたり、各年齢階級毎の人数は総務省統計局「人口推計」における5歳階級別人口を用いた。

電子レセプトを用いた医科医療費の分析 令和2年度4月～3月 ②-1 疾病分類別 入院

- 疾病分類別の医療費の伸び率を見ると、依然、「呼吸器系の疾患」の減少幅が大きいものの、影響度で見ると、他の疾病のプラスにより結果として全体としてはプラスとなっている。
(対前々年度で見ると、「呼吸器系の疾患」の減少幅は▲15.9%と大きくなる。)

| ■ 入院 疾病分類別医療費の伸び率 | (単位：%) | | | | | | | | | | | | | (3月対前々年度) | (単位：%) |
|---------------------------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|--------|
| | 令和元年度 | 令和2年度 | | | | | | | | | | | | | |
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | | |
| 総数 | 2.3 | ▲6.4 | ▲10.9 | ▲4.4 | ▲4.7 | ▲3.8 | ▲0.9 | 0.4 | ▲2.5 | ▲2.6 | ▲4.0 | ▲5.7 | 1.3 | (2.4) | 100.0 |
| 感染症及び寄生虫症 | 1.2 | ▲16.2 | ▲14.8 | ▲7.4 | ▲4.1 | ▲2.2 | 0.9 | 1.1 | ▲0.7 | ▲2.7 | ▲5.4 | ▲4.9 | 7.5 | (▲0.7) | 1.4 |
| 新生物 | 2.7 | ▲1.5 | ▲8.1 | ▲3.2 | ▲5.5 | ▲4.7 | ▲1.7 | ▲0.6 | ▲2.6 | ▲2.2 | ▲4.1 | ▲6.7 | ▲0.8 | (3.0) | 16.4 |
| 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害 | 3.7 | ▲6.4 | ▲7.5 | ▲4.9 | ▲3.2 | ▲4.3 | ▲1.4 | ▲4.7 | ▲3.3 | ▲4.9 | ▲4.1 | ▲3.2 | 0.4 | (▲0.3) | 0.7 |
| 内分泌、栄養及び代謝疾患 | 2.4 | ▲8.3 | ▲9.9 | ▲4.0 | ▲3.4 | ▲3.4 | 2.3 | 0.3 | ▲2.7 | ▲4.3 | ▲6.3 | ▲7.9 | 0.6 | (▲0.7) | 2.7 |
| 精神及び行動の障害 | ▲0.4 | ▲1.9 | ▲2.6 | ▲1.2 | ▲1.0 | ▲1.1 | ▲0.6 | ▲0.2 | ▲1.5 | ▲1.3 | ▲2.3 | ▲5.2 | ▲1.3 | (▲1.9) | 8.6 |
| 神経系の疾患 | 4.0 | ▲1.5 | ▲3.9 | ▲0.2 | ▲0.1 | ▲0.0 | 1.7 | 2.6 | ▲0.1 | ▲0.3 | ▲1.3 | ▲4.8 | 0.7 | (3.2) | 6.5 |
| 眼及び付属器の疾患 | 3.4 | ▲13.9 | ▲38.8 | ▲16.9 | ▲17.1 | ▲12.2 | ▲7.0 | ▲2.1 | ▲14.7 | ▲8.7 | ▲16.7 | ▲20.1 | ▲6.3 | (▲1.8) | 1.5 |
| 耳及び乳様突起の疾患 | 0.4 | ▲30.5 | ▲33.8 | ▲19.3 | ▲13.3 | ▲14.9 | ▲6.5 | ▲6.1 | ▲12.0 | ▲13.4 | ▲18.2 | ▲19.4 | ▲6.2 | (▲8.0) | 0.3 |
| 循環器系の疾患 | 2.6 | ▲7.0 | ▲10.3 | ▲3.7 | ▲3.6 | ▲2.5 | 0.4 | 3.2 | ▲0.3 | ▲1.2 | ▲2.2 | ▲4.5 | 1.8 | (3.1) | 21.9 |
| 呼吸器系の疾患 | 1.1 | ▲23.2 | ▲29.6 | ▲23.3 | ▲23.5 | ▲22.2 | ▲20.7 | ▲17.4 | ▲18.2 | ▲19.3 | ▲22.0 | ▲20.1 | ▲8.9 | (▲15.9) | 6.3 |
| 消化器系の疾患 | 2.0 | ▲10.0 | ▲13.0 | ▲3.2 | ▲1.8 | ▲1.9 | 1.1 | 1.6 | ▲3.5 | ▲2.2 | ▲6.2 | ▲7.3 | 2.5 | (1.9) | 5.9 |
| 皮膚及び皮下組織の疾患 | 3.6 | ▲5.6 | ▲7.7 | ▲0.5 | 0.4 | ▲0.8 | 0.8 | 0.2 | ▲1.5 | ▲1.7 | ▲5.8 | ▲8.2 | 0.3 | (3.2) | 0.8 |
| 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 4.8 | ▲4.5 | ▲18.4 | ▲6.0 | ▲4.5 | ▲2.8 | 0.7 | 2.5 | ▲0.3 | ▲1.5 | ▲5.0 | ▲7.2 | ▲0.2 | (3.9) | 7.2 |
| 腎尿路生殖器系の疾患 | 4.4 | ▲4.6 | ▲7.9 | ▲0.9 | ▲1.9 | ▲0.4 | 2.9 | 2.5 | ▲0.2 | ▲0.1 | ▲2.9 | ▲6.5 | 1.3 | (4.2) | 4.2 |
| 妊娠、分娩及び産じょく | ▲1.7 | ▲2.4 | ▲6.3 | 0.0 | ▲3.0 | ▲1.8 | 0.3 | ▲1.9 | ▲6.8 | ▲8.6 | ▲9.9 | ▲9.4 | ▲0.7 | (0.2) | 1.1 |
| 周産期に発生した病態 | 0.4 | 4.2 | 6.4 | 11.6 | 0.1 | 5.0 | 2.1 | 7.5 | ▲2.0 | ▲1.1 | ▲4.7 | ▲6.5 | ▲7.6 | (3.4) | 0.9 |
| 先天奇形、変形及び染色体異常 | 1.2 | ▲11.1 | ▲18.7 | ▲7.3 | ▲9.3 | ▲6.2 | 3.9 | 3.6 | ▲4.0 | ▲10.1 | ▲1.9 | ▲11.0 | ▲2.6 | (▲0.9) | 0.8 |
| 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 2.3 | ▲9.0 | ▲10.7 | ▲5.6 | ▲8.2 | ▲8.5 | ▲5.5 | ▲5.7 | ▲6.8 | ▲5.5 | ▲7.1 | ▲5.5 | 3.2 | (0.9) | 0.9 |
| 損傷、中毒及びその他の外因の影響 | 3.7 | ▲5.3 | ▲8.5 | ▲0.4 | ▲1.2 | ▲0.8 | 2.7 | 3.3 | ▲0.2 | ▲0.4 | ▲0.6 | ▲3.6 | 3.4 | (6.0) | 10.2 |
| 不詳 | ▲11.4 | ▲14.0 | ▲17.4 | ▲19.4 | ▲17.2 | ▲16.8 | ▲15.2 | ▲16.2 | ▲18.0 | ▲15.2 | ▲13.4 | ▲14.1 | ▲10.0 | (▲19.2) | 1.5 |



下位5疾病分類 (減少幅が大きい) ※不詳除く 上位5疾病分類

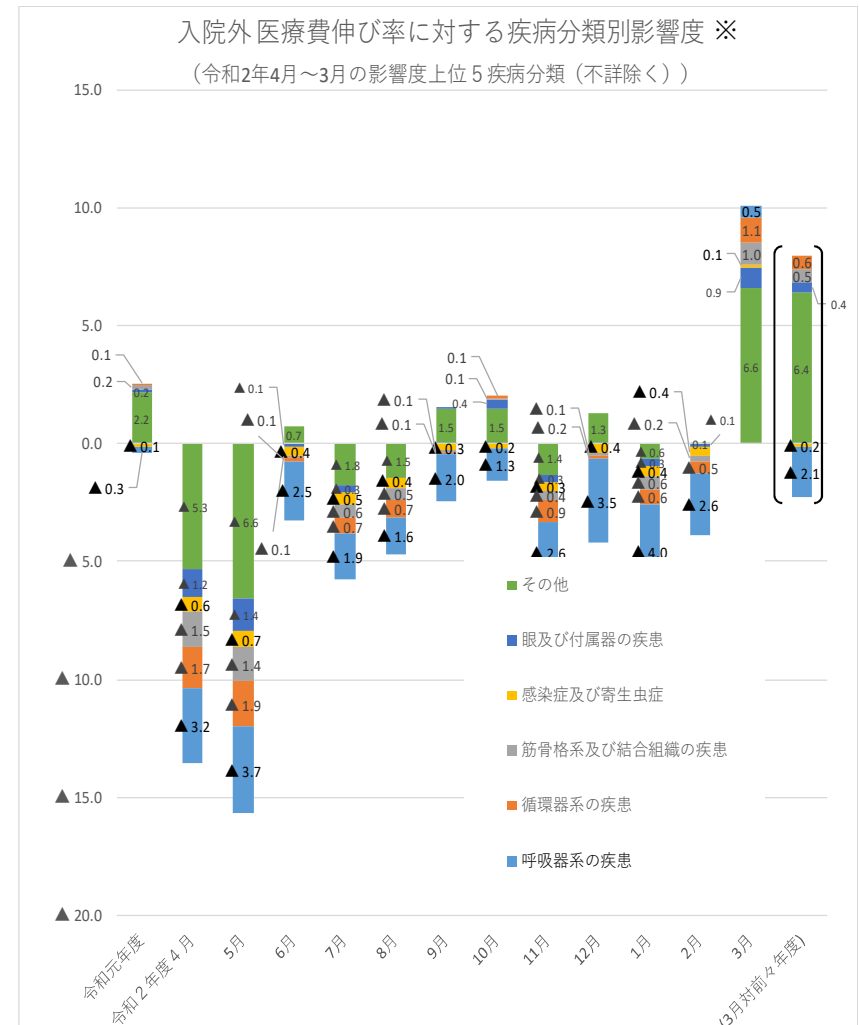
※影響度は (各疾病分類の医療費の増減分) ÷ (前期の医療費総数) ×100 で算定

電子レセプトを用いた医科医療費の分析 令和2年度4月～3月 ②-2 疾病分類別 入院外

- 疾病分類別の医療費の伸び率を見ると、3月はこれまで大きく減少していた「呼吸器系の疾患」がプラスとなり、マイナスの疾患は少なくなった。
- 医療費全体の伸び率に対する影響度では、「循環器系の疾患」のプラスの影響が大きい。
(対前々年度で見ると、「呼吸器系の疾患」は▲21.2%と大きなマイナスとなる。)

| ■ 入院外 疾病分類別医療費の伸び率 | (単位：%) | | | | | | | | | | | | | (3月対前々年度) | (単位：%) |
|---------------------------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|--------|
| | 令和元年度 | 令和2年度 | | | | | | | | | | | | | |
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | | |
| 総数 | 2.2 | ▲13.6 | ▲15.7 | ▲2.5 | ▲5.7 | ▲4.7 | ▲0.9 | 0.5 | ▲5.9 | ▲2.9 | ▲6.6 | ▲3.8 | 10.1 | (5.7) | 100.0 |
| 感染症及び寄生虫症 | ▲4.3 | ▲23.7 | ▲26.7 | ▲14.4 | ▲17.8 | ▲14.7 | ▲11.2 | ▲9.4 | ▲14.3 | ▲14.7 | ▲17.3 | ▲15.7 | 2.8 | (▲6.8) | 2.5 |
| 新生物 | 9.3 | ▲2.5 | ▲9.2 | 5.9 | ▲0.3 | ▲2.1 | 5.9 | 2.0 | ▲0.3 | 4.4 | 0.1 | 3.3 | 13.7 | (23.4) | 12.3 |
| 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 12.5 | 4.5 | 2.6 | 4.9 | 4.8 | ▲1.5 | 8.3 | ▲0.5 | 0.5 | 0.1 | 1.6 | ▲6.7 | 9.0 | (25.2) | 1.2 |
| 内分泌、栄養及び代謝疾患 | 2.2 | ▲7.7 | ▲9.6 | 1.1 | ▲2.5 | ▲2.5 | 1.6 | 2.9 | ▲3.6 | 1.3 | ▲2.3 | ▲1.0 | 8.5 | (7.8) | 10.6 |
| 精神及び行動の障害 | 1.8 | ▲9.7 | ▲10.9 | ▲0.1 | ▲4.6 | ▲3.4 | 1.9 | 2.6 | ▲3.7 | 0.9 | ▲3.2 | ▲2.6 | 8.1 | (7.2) | 4.0 |
| 神経系の疾患 | 4.7 | ▲6.9 | ▲7.5 | 3.4 | ▲0.3 | ▲0.0 | 4.7 | 4.5 | 0.4 | 3.8 | 0.8 | 2.7 | 12.1 | (13.5) | 3.3 |
| 眼及び付属器の疾患 | 2.7 | ▲19.6 | ▲22.2 | ▲1.8 | ▲5.0 | ▲0.3 | 0.8 | 7.2 | ▲4.9 | ▲0.3 | ▲5.4 | ▲2.3 | 15.3 | (7.1) | 6.0 |
| 耳及び乳様突起の疾患 | ▲0.5 | ▲33.8 | ▲29.7 | ▲16.0 | ▲14.5 | ▲11.1 | ▲7.1 | 0.0 | ▲11.2 | ▲9.4 | ▲13.5 | ▲6.5 | 13.3 | (▲4.9) | 0.9 |
| 循環器系の疾患 | 0.4 | ▲10.6 | ▲12.3 | ▲0.9 | ▲4.3 | ▲4.6 | ▲0.6 | 0.4 | ▲5.8 | ▲1.0 | ▲4.1 | ▲3.2 | 6.7 | (3.7) | 15.7 |
| 呼吸器系の疾患 | ▲3.0 | ▲38.1 | ▲46.5 | ▲34.1 | ▲27.0 | ▲24.6 | ▲27.8 | ▲17.2 | ▲29.8 | ▲36.4 | ▲41.8 | ▲27.6 | 7.3 | (▲21.2) | 8.1 |
| 消化器系の疾患 | 1.6 | ▲17.6 | ▲18.7 | ▲4.7 | ▲6.9 | ▲4.7 | 1.1 | 4.6 | ▲3.8 | ▲0.6 | ▲4.2 | ▲1.1 | 12.4 | (6.4) | 5.3 |
| 皮膚及び皮下組織の疾患 | 5.4 | ▲14.6 | ▲9.3 | 6.1 | ▲4.6 | 1.7 | 1.9 | 8.1 | ▲2.4 | 5.3 | ▲0.8 | 1.0 | 11.3 | (10.5) | 3.1 |
| 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 1.9 | ▲16.9 | ▲15.7 | ▲0.9 | ▲6.5 | ▲5.7 | ▲1.0 | 0.8 | ▲4.8 | ▲1.4 | ▲6.6 | ▲2.7 | 10.8 | (6.2) | 8.9 |
| 腎尿路生殖器系の疾患 | 2.9 | ▲4.5 | ▲7.3 | 2.9 | ▲1.8 | ▲3.1 | 1.5 | ▲0.1 | ▲3.4 | 0.8 | ▲3.8 | ▲2.8 | 5.1 | (6.5) | 10.9 |
| 妊娠、分娩及び産じょく | ▲5.1 | ▲10.0 | ▲10.5 | ▲3.7 | ▲6.6 | ▲6.1 | ▲0.9 | ▲1.9 | ▲5.9 | ▲1.8 | ▲2.1 | ▲1.4 | 8.6 | (4.9) | 0.1 |
| 周産期に発生した病態 | ▲1.0 | ▲20.8 | ▲8.9 | 8.2 | 9.9 | ▲0.3 | 2.8 | 1.2 | ▲0.9 | ▲1.8 | ▲1.4 | ▲7.8 | ▲14.8 | (▲32.3) | 0.2 |
| 先天奇形、変形及び染色体異常 | 3.2 | ▲17.0 | ▲14.2 | 3.5 | ▲1.2 | ▲0.6 | 3.0 | 4.3 | ▲1.8 | 0.6 | ▲0.6 | ▲1.9 | 7.8 | (2.0) | 0.4 |
| 症状、徴候及び異常臨床所見：異常検査所見で他に分類されないもの | 4.0 | ▲20.7 | ▲20.9 | ▲5.3 | ▲7.7 | ▲3.7 | 1.0 | 4.2 | ▲2.0 | ▲0.3 | ▲1.8 | 2.2 | 21.4 | (13.8) | 1.8 |
| 損傷、中毒及びその他の外因の影響 | 1.6 | ▲22.8 | ▲22.3 | ▲5.0 | ▲7.6 | ▲2.3 | ▲1.2 | 1.9 | ▲2.7 | 0.4 | ▲4.4 | ▲3.1 | 17.0 | (7.3) | 2.7 |
| 不詳 | ▲7.9 | ▲22.3 | ▲22.1 | ▲9.3 | ▲12.9 | ▲10.8 | ▲8.3 | ▲7.4 | ▲12.8 | ▲8.8 | ▲11.2 | ▲9.0 | 2.7 | (▲10.2) | 2.0 |

： 下位5疾病分類（減少幅が大きい）※不詳除く ： 上位5疾病分類

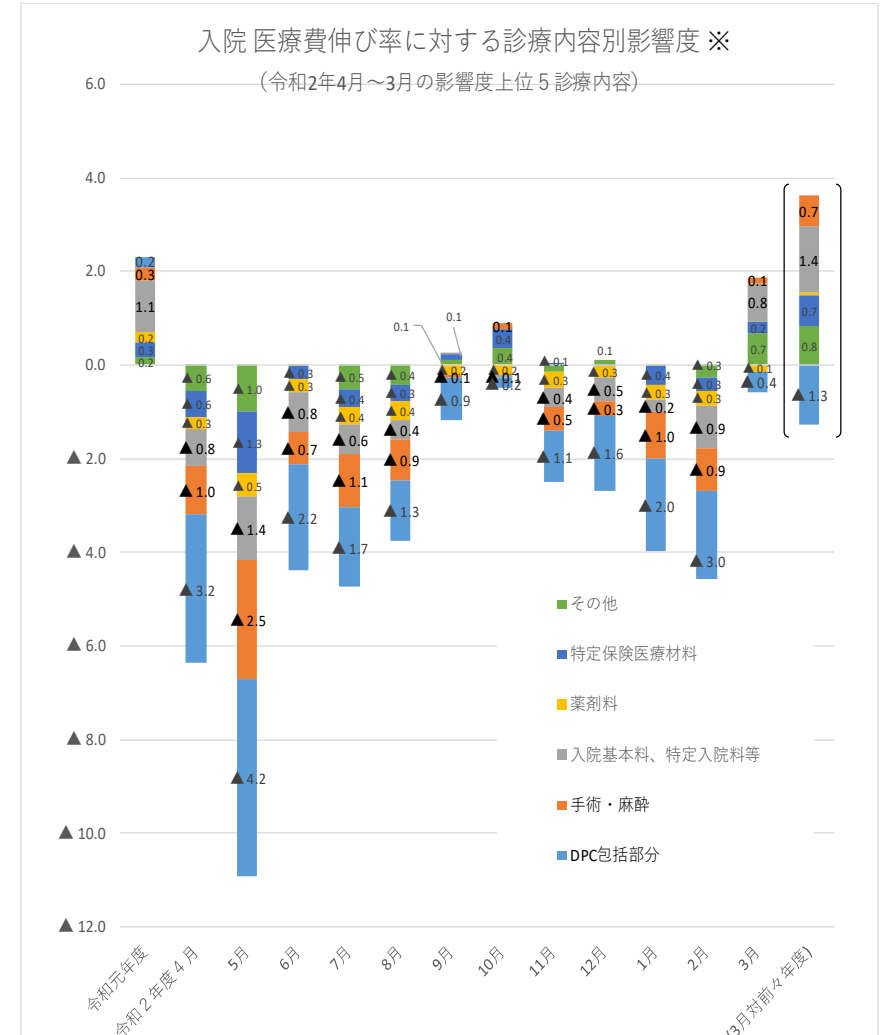


※影響度は（各疾病分類の医療費の増減分）÷（前期の医療費総数）×100で算定

電子レセプトを用いた医科医療費の分析 令和2年度4月～3月 ③-1 診療内容別 入院

- 診療内容別に医療費の伸び率を見ると、3月は「検査・病理診断」が大きく増加している。(対前々年度で見ても大きくプラス。)
- 医療費全体の伸び率に対する影響度で見ると、「入院基本料、特定入院料等」のプラスの影響が大きい。

| ■ 入院 診療内容別医療費の伸び率 (単位: %) | 令和元年度 | 令和2年度 | | | | | | | | | | | | (3月対前々年度) | 令和元年度医療費の構成割合 |
|---------------------------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|-------|-----------|---------------|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | |
| 総数 | 2.3 | ▲ 6.4 | ▲ 10.9 | ▲ 4.4 | ▲ 4.7 | ▲ 3.8 | ▲ 0.9 | 0.4 | ▲ 2.5 | ▲ 2.6 | ▲ 4.0 | ▲ 5.7 | 1.3 | (2.4) | 100.0 |
| 初診 | 0.6 | ▲ 22.3 | ▲ 18.3 | ▲ 8.7 | ▲ 12.0 | ▲ 8.7 | ▲ 8.5 | ▲ 7.0 | ▲ 9.7 | ▲ 11.5 | ▲ 11.8 | ▲ 9.1 | 2.7 | (▲ 4.1) | 0.1 |
| 医学管理 | 0.2 | ▲ 9.5 | ▲ 14.6 | ▲ 0.8 | ▲ 5.6 | ▲ 3.1 | 1.5 | 4.1 | ▲ 0.8 | 0.6 | ▲ 2.7 | ▲ 2.9 | 6.4 | (6.8) | 0.7 |
| 在宅 | ▲ 0.1 | ▲ 11.8 | ▲ 12.8 | ▲ 9.2 | ▲ 6.0 | ▲ 4.2 | ▲ 0.4 | 2.7 | ▲ 5.4 | ▲ 4.2 | ▲ 3.6 | ▲ 7.3 | 2.1 | (▲ 2.0) | 0.1 |
| 投薬 | ▲ 2.0 | ▲ 5.7 | ▲ 7.0 | ▲ 7.1 | ▲ 6.8 | ▲ 6.6 | ▲ 6.2 | ▲ 5.1 | ▲ 6.2 | ▲ 6.2 | ▲ 5.7 | ▲ 7.4 | ▲ 3.8 | (▲ 7.1) | 0.1 |
| 注射 | ▲ 3.1 | ▲ 8.2 | ▲ 9.4 | ▲ 7.2 | ▲ 9.6 | ▲ 9.6 | ▲ 7.1 | ▲ 6.0 | ▲ 7.5 | ▲ 6.4 | ▲ 6.4 | ▲ 6.0 | ▲ 1.1 | (▲ 5.4) | 0.2 |
| 処置 | 2.5 | ▲ 3.2 | ▲ 5.1 | ▲ 1.6 | ▲ 4.1 | ▲ 4.6 | ▲ 1.4 | ▲ 0.8 | ▲ 4.5 | ▲ 2.9 | ▲ 4.7 | ▲ 7.1 | ▲ 1.0 | (▲ 0.3) | 1.4 |
| 手術・麻酔 | 2.5 | ▲ 8.8 | ▲ 22.0 | ▲ 5.9 | ▲ 9.0 | ▲ 7.4 | ▲ 0.5 | 1.2 | ▲ 4.2 | ▲ 2.7 | ▲ 8.5 | ▲ 7.6 | 1.0 | (5.8) | 11.9 |
| 検査・病理診断 | ▲ 1.2 | ▲ 15.2 | ▲ 19.1 | ▲ 6.7 | ▲ 11.4 | ▲ 8.9 | ▲ 2.7 | 5.2 | 5.9 | 14.9 | 21.0 | 25.6 | 38.7 | (35.3) | 1.3 |
| 画像診断 | ▲ 0.8 | ▲ 10.3 | ▲ 13.1 | ▲ 1.0 | ▲ 9.1 | ▲ 6.9 | ▲ 2.4 | ▲ 1.4 | ▲ 6.4 | ▲ 3.8 | ▲ 6.5 | ▲ 2.7 | 5.3 | (3.5) | 0.5 |
| リハビリテーション | 2.6 | 2.6 | ▲ 0.3 | 6.7 | 1.5 | 1.5 | 6.8 | 7.6 | 2.2 | 3.9 | 2.2 | ▲ 0.0 | 5.1 | (10.2) | 5.1 |
| 精神科専門療法 | 1.9 | 1.2 | ▲ 3.9 | 10.1 | ▲ 0.6 | 1.2 | 7.0 | 7.8 | 1.4 | 5.9 | 0.8 | 0.2 | 6.1 | (12.5) | 0.5 |
| 放射線治療 | 3.0 | 2.2 | ▲ 12.1 | 3.6 | ▲ 6.9 | ▲ 3.7 | 0.9 | 0.0 | ▲ 6.4 | ▲ 2.1 | ▲ 5.5 | ▲ 7.0 | 4.0 | (10.2) | 0.3 |
| 入院基本料、特定入院料等 | 3.1 | ▲ 2.3 | ▲ 3.8 | ▲ 2.4 | ▲ 1.9 | ▲ 1.1 | 0.0 | ▲ 0.2 | ▲ 1.2 | ▲ 1.4 | ▲ 0.7 | ▲ 2.6 | 2.3 | (4.0) | 35.1 |
| DPC包括部分 | 0.8 | ▲ 11.4 | ▲ 15.0 | ▲ 8.0 | ▲ 6.2 | ▲ 4.6 | ▲ 3.2 | ▲ 0.8 | ▲ 3.9 | ▲ 5.7 | ▲ 7.1 | ▲ 10.6 | ▲ 1.6 | (▲ 4.5) | 27.9 |
| 薬剤料 | 6.6 | ▲ 6.9 | ▲ 13.6 | ▲ 8.5 | ▲ 10.0 | ▲ 11.6 | ▲ 5.9 | ▲ 5.6 | ▲ 9.3 | ▲ 6.7 | ▲ 9.2 | ▲ 8.8 | ▲ 3.6 | (1.3) | 3.7 |
| 特定保険医療材料 | 5.2 | ▲ 8.7 | ▲ 21.3 | ▲ 4.0 | ▲ 6.0 | ▲ 5.4 | 1.9 | 6.1 | 0.1 | ▲ 0.2 | ▲ 6.3 | ▲ 4.4 | 3.6 | (10.6) | 6.4 |
| 入院時食事療養 | 0.1 | ▲ 6.8 | ▲ 9.1 | ▲ 7.1 | ▲ 5.7 | ▲ 5.1 | ▲ 4.4 | ▲ 3.0 | ▲ 4.2 | ▲ 5.2 | ▲ 5.4 | ▲ 9.1 | ▲ 3.8 | (▲ 6.1) | 3.7 |
| 生活療養食事療養 | ▲ 0.8 | ▲ 1.9 | ▲ 2.6 | ▲ 3.0 | ▲ 2.8 | ▲ 2.9 | ▲ 2.4 | ▲ 2.1 | ▲ 2.0 | ▲ 2.3 | ▲ 1.9 | ▲ 5.5 | ▲ 2.2 | (▲ 3.3) | 0.7 |
| 生活療養環境療養 | ▲ 0.2 | ▲ 1.8 | ▲ 2.5 | ▲ 2.9 | ▲ 2.8 | ▲ 2.9 | ▲ 2.5 | ▲ 2.3 | ▲ 2.2 | ▲ 2.4 | ▲ 2.2 | ▲ 5.5 | ▲ 2.1 | (▲ 2.9) | 0.2 |
| その他 | ▲ 0.4 | ▲ 5.5 | 20.7 | 12.5 | ▲ 21.3 | 54.0 | ▲ 7.6 | 94.0 | ▲ 5.6 | ▲ 7.9 | ▲ 6.7 | ▲ 8.8 | ▲ 2.1 | (▲ 5.1) | 0.0 |



※影響度は (各診療内容の医療費の増減分) ÷ (前期の医療費総数) × 100 で算定

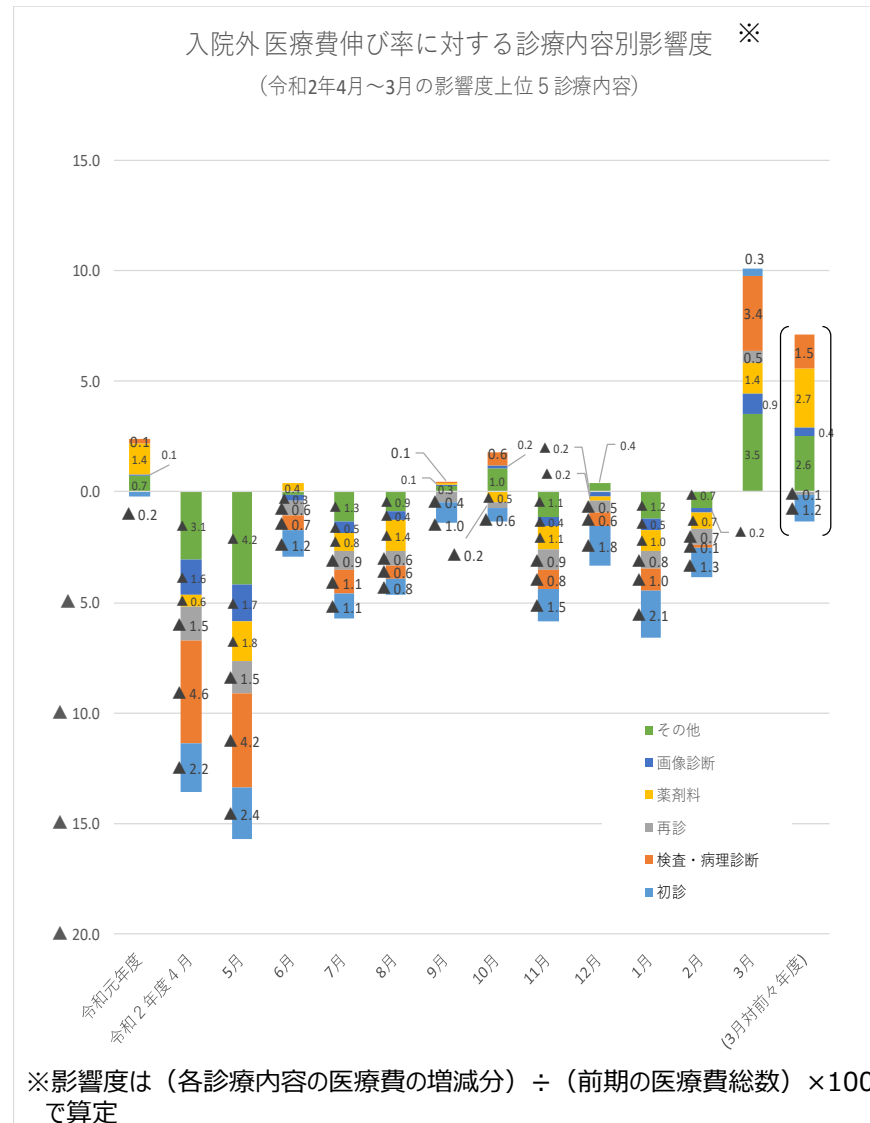
■ : 下位5診療内容 (減少幅が大きい) ※その他除 ■ : 上位5診療内容

電子レセプトを用いた医科医療費の分析 令和2年度4月～3月 ③-2 診療内容別 入院外

- 診療内容別に医療費の伸び率を見ると、3月はいずれの診療内容もプラスとなり、特に「検査・病理診断」の伸びが大きい。
(対前々年度で見ると、「初診」「再診」は微減。)
- 医療費全体の伸び率に対する影響度で見ても、「検査・病理診断」の影響が大きくなっている。

| | 令和元年度 | 令和2年度 (単位：%) | | | | | | | | | | | | (3月対前々年度) | 令和元年度医療費の構成割合 |
|-----------|-------|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-----------|---------------|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | |
| 総数 | 2.2 | ▲13.6 | ▲15.7 | ▲2.5 | ▲5.7 | ▲4.7 | ▲0.9 | 0.5 | ▲5.9 | ▲2.9 | ▲6.6 | ▲3.8 | 10.1 | (5.7) | 100.0 |
| 初診 | ▲3.0 | ▲42.5 | ▲41.3 | ▲21.1 | ▲21.3 | ▲15.6 | ▲18.8 | ▲12.2 | ▲26.5 | ▲31.0 | ▲36.1 | ▲22.9 | 7.2 | (▲1.2) | 5.4 |
| 再診 | ▲0.2 | ▲16.9 | ▲17.5 | ▲7.4 | ▲10.1 | ▲7.6 | ▲5.1 | ▲2.4 | ▲10.7 | ▲6.1 | ▲9.6 | ▲8.6 | 5.8 | (▲0.1) | 8.7 |
| 医学管理 | 0.3 | ▲12.1 | ▲15.5 | ▲4.2 | ▲4.4 | ▲3.0 | ▲0.9 | 6.6 | ▲0.8 | 3.9 | ▲0.1 | 2.1 | 17.8 | (0.8) | 8.3 |
| 在宅 | 5.0 | 4.3 | 4.0 | 9.1 | 7.0 | 7.0 | 8.5 | 7.6 | 6.3 | 8.1 | 7.2 | 7.7 | 10.1 | (1.0) | 6.1 |
| 投薬 | ▲4.5 | ▲13.2 | ▲15.0 | ▲5.5 | ▲7.9 | ▲6.4 | ▲5.2 | ▲2.7 | ▲10.8 | ▲8.6 | ▲13.1 | ▲10.0 | 3.1 | (▲0.1) | 1.2 |
| 注射 | ▲0.8 | ▲14.2 | ▲14.7 | ▲2.1 | ▲9.1 | ▲8.5 | ▲2.5 | ▲4.5 | ▲8.2 | ▲5.0 | ▲10.1 | ▲5.7 | 7.9 | (0.0) | 0.7 |
| 処置 | 1.7 | ▲6.9 | ▲8.9 | 0.7 | ▲3.0 | ▲4.3 | 0.1 | ▲1.8 | ▲5.6 | ▲0.7 | ▲6.4 | ▲5.7 | 3.8 | (0.2) | 8.7 |
| 手術・麻酔 | 4.8 | ▲10.7 | ▲23.2 | ▲3.8 | ▲10.0 | ▲3.2 | 0.0 | 5.4 | ▲4.2 | 2.3 | ▲4.6 | ▲3.6 | 11.2 | (0.4) | 2.8 |
| 検査・病理診断 | 0.8 | ▲24.9 | ▲22.8 | ▲3.7 | ▲5.8 | ▲3.3 | 0.5 | 3.2 | ▲4.7 | ▲3.2 | ▲5.4 | ▲0.7 | 19.1 | (1.5) | 18.4 |
| 画像診断 | 1.2 | ▲22.7 | ▲23.4 | ▲3.5 | ▲7.6 | ▲5.5 | 0.4 | 2.4 | ▲5.4 | ▲3.1 | ▲7.8 | ▲3.8 | 14.0 | (0.4) | 6.9 |
| 処方箋料 | 0.6 | ▲13.4 | ▲15.7 | ▲5.8 | ▲8.2 | ▲6.3 | ▲5.0 | ▲2.1 | ▲10.6 | ▲7.5 | ▲10.9 | ▲9.4 | 4.8 | (▲0.1) | 4.8 |
| リハビリテーション | 1.4 | ▲19.1 | ▲21.4 | ▲3.7 | ▲7.7 | ▲3.7 | 1.4 | 6.1 | ▲0.9 | 2.6 | ▲4.0 | ▲0.4 | 15.1 | (0.1) | 1.5 |
| 精神科専門療法 | 1.3 | ▲12.0 | ▲14.2 | ▲1.5 | ▲6.8 | ▲5.5 | ▲0.2 | 1.2 | ▲5.4 | ▲0.7 | ▲5.9 | ▲5.2 | 6.6 | (0.1) | 2.2 |
| 放射線治療 | 8.7 | 11.0 | ▲4.4 | 10.5 | ▲0.9 | 5.0 | 13.1 | 7.2 | ▲0.2 | 6.3 | ▲1.3 | ▲5.8 | 2.2 | (0.1) | 0.6 |
| 薬剤料 | 6.5 | ▲2.6 | ▲8.0 | 1.8 | ▲3.5 | ▲6.1 | 0.3 | ▲2.2 | ▲4.9 | ▲0.9 | ▲4.2 | ▲3.0 | 5.8 | (2.7) | 22.7 |
| 特定保険医療材料 | 5.0 | 1.0 | ▲1.8 | 8.8 | 2.7 | 0.9 | 6.1 | 4.2 | 0.3 | 5.5 | 0.5 | 0.3 | 8.5 | (0.1) | 1.0 |
| その他 | 8.6 | ▲3.3 | ▲23.7 | ▲1.1 | ▲5.9 | 5.1 | 6.2 | 10.2 | ▲3.3 | ▲1.0 | ▲6.2 | ▲3.2 | 17.2 | (0.0) | 0.0 |

 : 下位5診療内容 (減少幅が大きい) ※その他除く
 : 上位5診療内容



電子レセプトを用いた調剤医療費の分析 ＜令和2年度4月～3月＞

レセプト電算処理システムにより処理された調剤報酬明細書（電子レセプト）を用いて集計、調剤医療費の動向について詳細を分析。

- 薬剤料の伸び率について、3月は薬剤料、処方箋枚数はプラスに、処方箋1回当たり薬剤料はマイナスに転じた。
- 薬剤料の伸び率を薬効分類別に見ると、「化学療法剤」「ビタミン剤」「抗生物質製剤」などの減少幅が大きい。
- 処方箋1枚当たり薬剤料の伸び率を薬効分類別で見ると、「ビタミン剤」「抗生物質製剤」など一部は減少しているものの、全体的には増加傾向にあり、影響度で見ると、「腫瘍用薬」「その他の代謝性医薬品」のプラスの影響が大きい。
- 後発医薬品割合（数量ベース）は令和3年2月時点で 82.1%。

電子レセプトを用いた調剤医療費の分析 令和2年度4月～3月 ① 調剤医療費・薬剤料の伸び率の推移

- 3月の調剤医療費（電算処理分）の伸び率4.6%のうち、薬剤料のプラスの影響が2.8%と過半を占める。
- 薬剤料の伸び率について、薬剤料、処方箋枚数はプラスに、処方箋1枚当たり薬剤料はマイナスに転じた。
（対前々年度で見ると、これまでの傾向と同様、処方箋枚数はマイナスに、処方箋1枚当たり薬剤料はプラスとなる。）

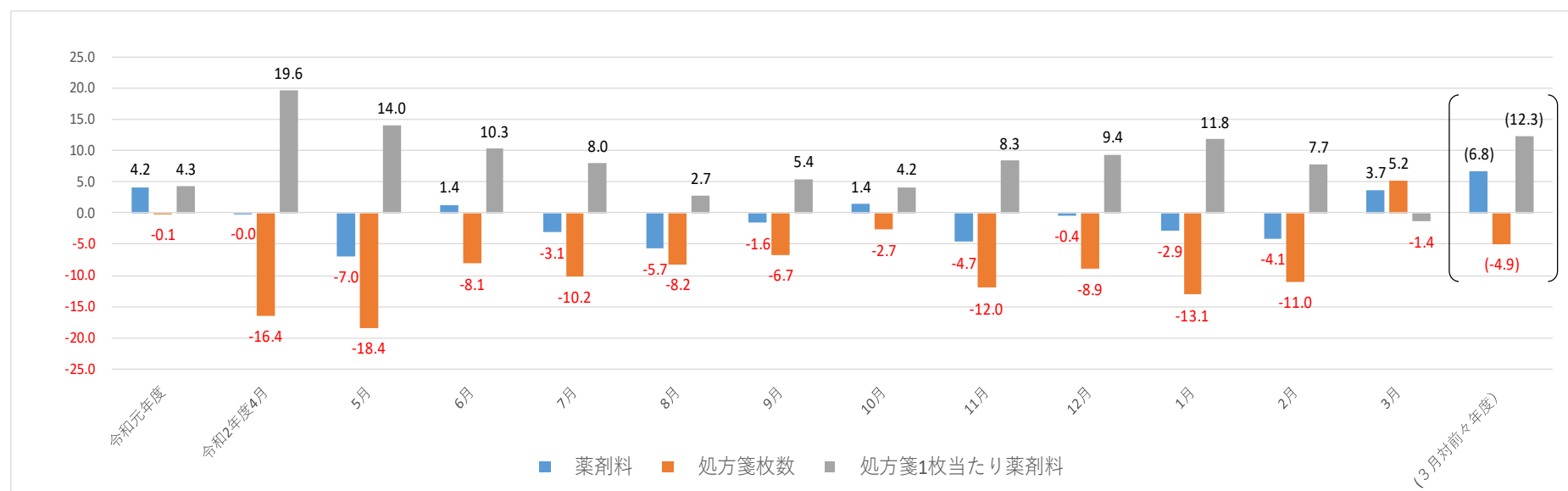
■ 調剤医療費（電算処理分）の伸び率 影響度

（単位：％）

| | 令和元年度 | 令和2年度 | | | | | | | | | | | | (3月対前々年度) |
|--------------|-------|-------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|-----|-----------|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 調剤医療費（電算処理分） | 3.7 | -2.9 | -8.8 | 0.1 | -3.6 | -5.3 | -1.7 | 1.1 | -5.6 | -1.3 | -4.3 | -4.9 | 4.6 | (5.3) |
| 技術料 | 0.6 | -2.9 | -3.6 | -0.9 | -1.4 | -1.1 | -0.5 | 0.1 | -2.2 | -1.0 | -2.1 | -1.9 | 1.8 | (0.4) |
| 薬剤料 | 3.1 | -0.0 | -5.2 | 1.0 | -2.3 | -4.2 | -1.2 | 1.0 | -3.4 | -0.3 | -2.2 | -3.0 | 2.8 | (4.9) |

■ 薬剤料の伸び率

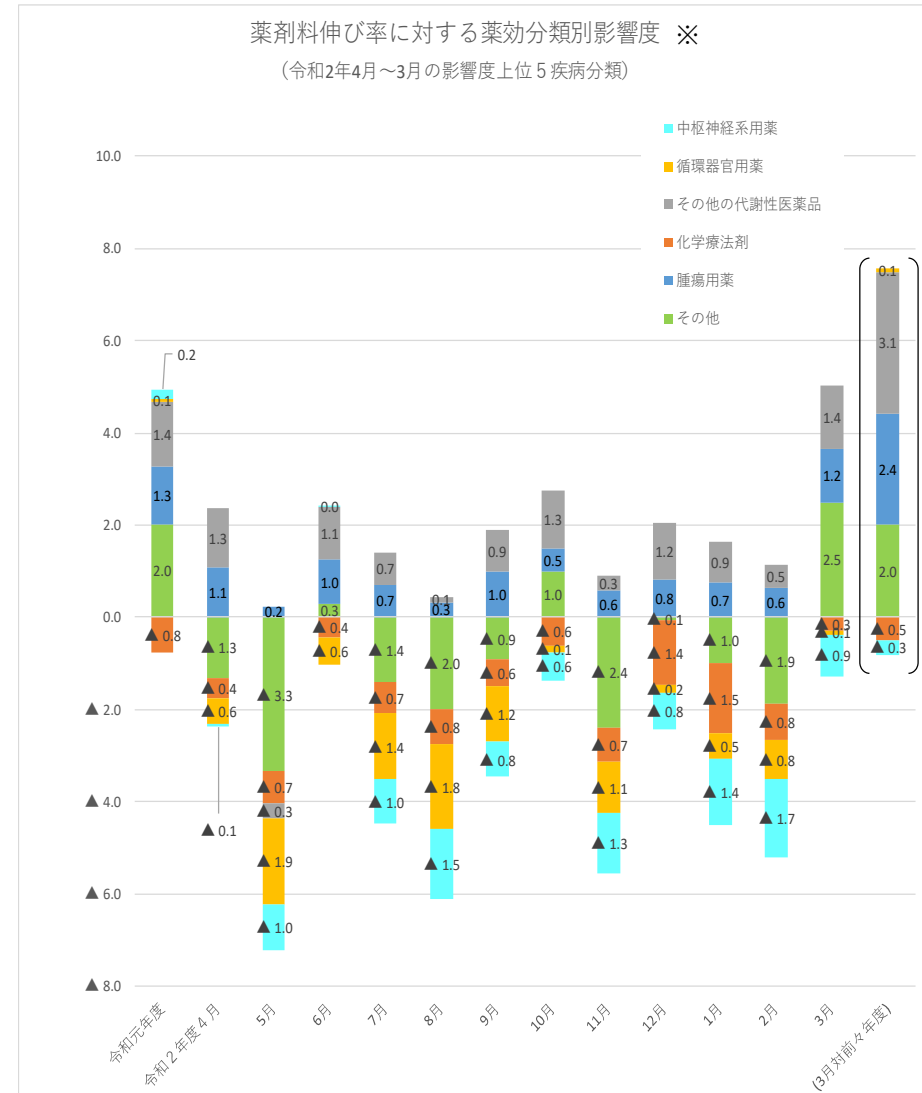
| | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|------|-------|-------|------|-------|------|------|------|-------|------|-------|-------|------|--------|
| 薬剤料 | 4.2 | -0.0 | -7.0 | 1.4 | -3.1 | -5.7 | -1.6 | 1.4 | -4.7 | -0.4 | -2.9 | -4.1 | 3.7 | (6.8) |
| 処方箋枚数 | -0.1 | -16.4 | -18.4 | -8.1 | -10.2 | -8.2 | -6.7 | -2.7 | -12.0 | -8.9 | -13.1 | -11.0 | 5.2 | (-4.9) |
| 処方箋1枚当たり薬剤料 | 4.3 | 19.6 | 14.0 | 10.3 | 8.0 | 2.7 | 5.4 | 4.2 | 8.3 | 9.4 | 11.8 | 7.7 | -1.4 | (12.3) |



電子レセプトを用いた調剤医療費の分析 令和2年度4月～3月 ② 薬効分類別 薬剤料

- これまで大きく減少していた「化学療法剤」「ビタミン剤」「抗生物質製剤」などは引き続き、マイナスを示す一方で、「感覚器官用薬」や「腫瘍用薬」など大きなプラスを示す薬効分類もある。
- 伸び率への影響としては、「化学療法剤」「中枢神経系用薬」などは引き続き、マイナスに影響している一方、「その他の代謝性医薬品」「腫瘍用薬」などはプラスに影響している。

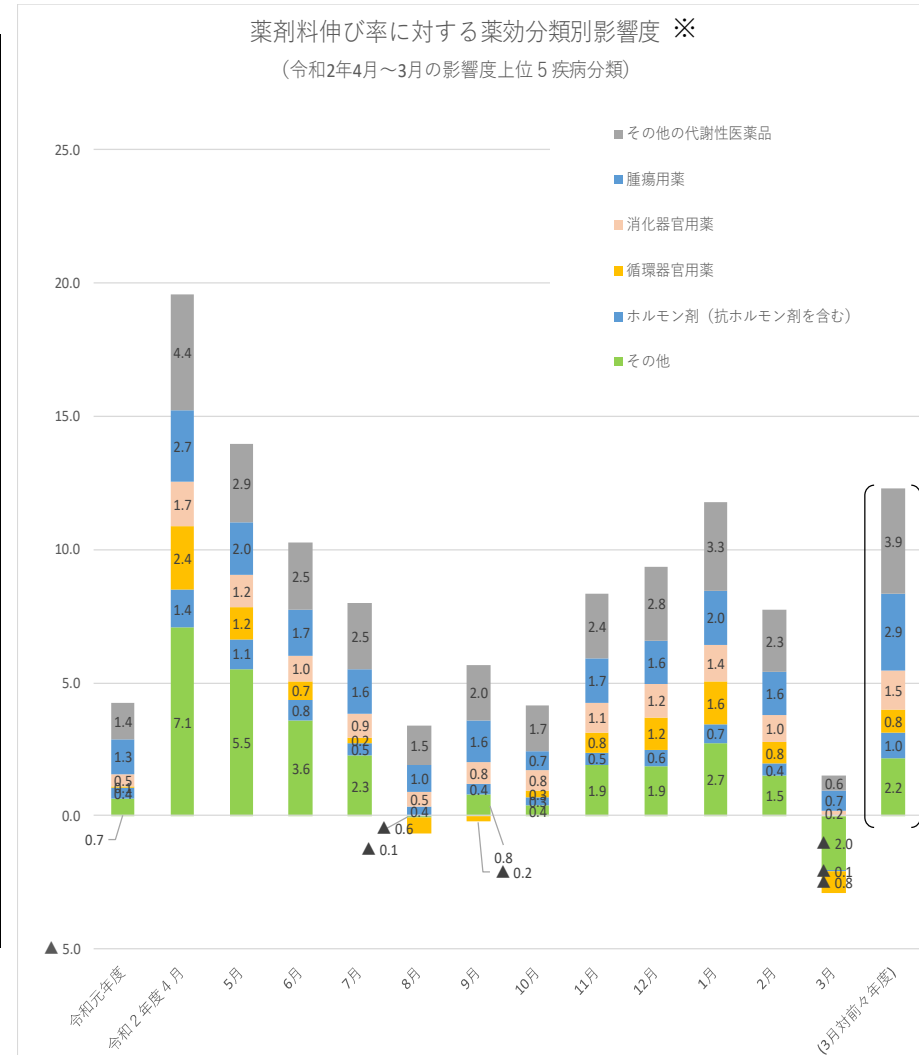
| ■ 薬効分類別薬剤料伸び率 | (単位：%) | | | | | | | | | | | | | (3月対前々年度) | 令和元年度薬剤料の構成割合* |
|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----------|----------------|
| | 令和元年度 | 令和2年度 | | | | | | | | | | | | | |
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | | |
| 総数 | 4.2 | ▲ 0.0 | ▲ 7.0 | 1.4 | ▲ 3.1 | ▲ 5.7 | ▲ 1.6 | 1.4 | ▲ 4.7 | ▲ 0.4 | ▲ 2.9 | ▲ 4.1 | 3.7 | (6.8) | 100.0 |
| 中枢神経系用薬 | 1.4 | ▲ 0.4 | ▲ 6.6 | 0.1 | ▲ 6.4 | ▲ 9.9 | ▲ 5.1 | ▲ 4.1 | ▲ 8.8 | ▲ 5.3 | ▲ 9.9 | ▲ 12.1 | ▲ 6.4 | (▲ 2.3) | 14.8 |
| 感覚器官用薬 | ▲ 2.0 | ▲ 14.4 | ▲ 9.3 | 0.2 | ▲ 4.3 | ▲ 2.9 | ▲ 1.4 | 1.5 | 6.9 | 1.5 | ▲ 0.1 | 4.7 | 24.3 | (▲ 3.4) | 3.9 |
| 循環器官用薬 | 0.4 | ▲ 3.6 | ▲ 12.0 | ▲ 3.9 | ▲ 9.2 | ▲ 11.8 | ▲ 7.9 | ▲ 0.9 | ▲ 7.5 | ▲ 1.2 | ▲ 3.7 | ▲ 5.8 | ▲ 0.6 | (0.6) | 15.0 |
| 呼吸器官用薬 | 3.1 | ▲ 10.9 | ▲ 23.8 | ▲ 17.9 | ▲ 17.4 | ▲ 17.4 | ▲ 16.5 | ▲ 13.0 | ▲ 22.9 | ▲ 18.0 | ▲ 20.4 | ▲ 22.1 | ▲ 13.5 | (▲ 13.7) | 3.4 |
| 消化器官用薬 | 6.4 | 2.8 | ▲ 5.2 | 3.9 | 0.9 | ▲ 1.6 | 3.5 | 7.6 | 0.9 | 6.3 | 3.3 | 1.8 | 8.4 | (15.2) | 7.4 |
| ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む) | 8.7 | 12.5 | 3.2 | 7.8 | ▲ 0.4 | ▲ 0.7 | 2.1 | 3.9 | ▲ 2.2 | 3.0 | 1.1 | ▲ 2.0 | 3.2 | (17.7) | 4.3 |
| 泌尿生殖器官および肛門用薬 | ▲ 3.7 | ▲ 5.3 | ▲ 11.0 | ▲ 1.4 | ▲ 7.8 | ▲ 10.8 | ▲ 5.9 | 0.7 | ▲ 4.5 | ▲ 2.4 | ▲ 4.9 | ▲ 6.6 | ▲ 0.2 | (▲ 3.7) | 2.3 |
| 外皮用薬 | 1.3 | ▲ 8.2 | ▲ 9.1 | 1.0 | ▲ 4.7 | ▲ 2.6 | ▲ 2.9 | 4.7 | ▲ 2.2 | 4.3 | ▲ 0.1 | ▲ 0.7 | 7.1 | (7.2) | 3.1 |
| ビタミン剤 | 5.2 | 1.1 | ▲ 3.6 | 6.0 | 0.9 | ▲ 18.8 | ▲ 21.9 | ▲ 23.1 | ▲ 28.7 | ▲ 25.2 | ▲ 28.4 | ▲ 29.4 | ▲ 25.1 | (▲ 20.7) | 1.8 |
| 滋養強壮薬 | 4.7 | 6.9 | 0.7 | 8.9 | 4.0 | 0.9 | 8.8 | 5.5 | 3.1 | 7.2 | 5.6 | 4.2 | 8.9 | (18.9) | 1.0 |
| 血液・体液用薬 | 6.0 | ▲ 2.9 | ▲ 10.8 | ▲ 1.7 | ▲ 5.5 | ▲ 7.4 | ▲ 3.5 | 1.5 | ▲ 5.9 | 1.0 | ▲ 2.2 | ▲ 4.6 | 0.9 | (7.1) | 7.3 |
| その他の代謝性医薬品 | 9.8 | 9.0 | ▲ 2.2 | 7.7 | 4.7 | 0.8 | 6.0 | 8.5 | 2.2 | 8.4 | 5.9 | 3.5 | 9.2 | (22.6) | 14.8 |
| 腫瘍用薬 | 19.5 | 15.2 | 3.2 | 13.5 | 9.6 | 4.2 | 13.1 | 6.0 | 7.8 | 10.9 | 9.6 | 8.6 | 15.2 | (36.9) | 7.5 |
| アレルギー用薬 | 2.7 | ▲ 17.6 | ▲ 11.1 | ▲ 4.6 | ▲ 8.2 | ▲ 6.9 | ▲ 9.6 | 4.2 | ▲ 8.5 | ▲ 1.9 | ▲ 2.1 | ▲ 7.7 | 8.7 | (▲ 12.3) | 3.9 |
| 漢方製剤 | 5.4 | 1.9 | ▲ 3.8 | 5.1 | 1.8 | 2.0 | 5.5 | 7.6 | ▲ 0.9 | 5.1 | 2.4 | 0.0 | 9.8 | (13.1) | 2.2 |
| 抗生物質製剤 | ▲ 6.4 | ▲ 33.0 | ▲ 42.4 | ▲ 32.3 | ▲ 27.2 | ▲ 26.3 | ▲ 25.9 | ▲ 19.2 | ▲ 28.9 | ▲ 24.4 | ▲ 28.0 | ▲ 29.8 | ▲ 8.1 | (▲ 27.7) | 1.0 |
| 化学療法剤 | ▲ 15.7 | ▲ 12.1 | ▲ 18.3 | ▲ 11.2 | ▲ 17.0 | ▲ 19.6 | ▲ 14.3 | ▲ 15.5 | ▲ 19.4 | ▲ 30.6 | ▲ 33.4 | ▲ 21.5 | ▲ 8.2 | (▲ 13.1) | 3.9 |
| 生物学的製剤 | 29.3 | 30.4 | 10.8 | 14.0 | 6.2 | 8.0 | 12.2 | 2.7 | 5.3 | 2.5 | 7.9 | ▲ 0.1 | 8.0 | (51.1) | 1.1 |



電子レセプトを用いた調剤医療費の分析 令和2年度4月～3月 ③ 薬効分類別 処方箋1枚当たり薬剤料

- 処方箋1枚当たり薬剤料の伸びをみると、「ビタミン剤」「抗生物質製剤」などに加え、「循環器官用薬」や「泌尿生殖器官および肛門用薬」などマイナスとなった薬効分類もある。
- 薬効分類別の影響度を見ると、「循環器官用薬」のマイナスが伸び率に影響している。

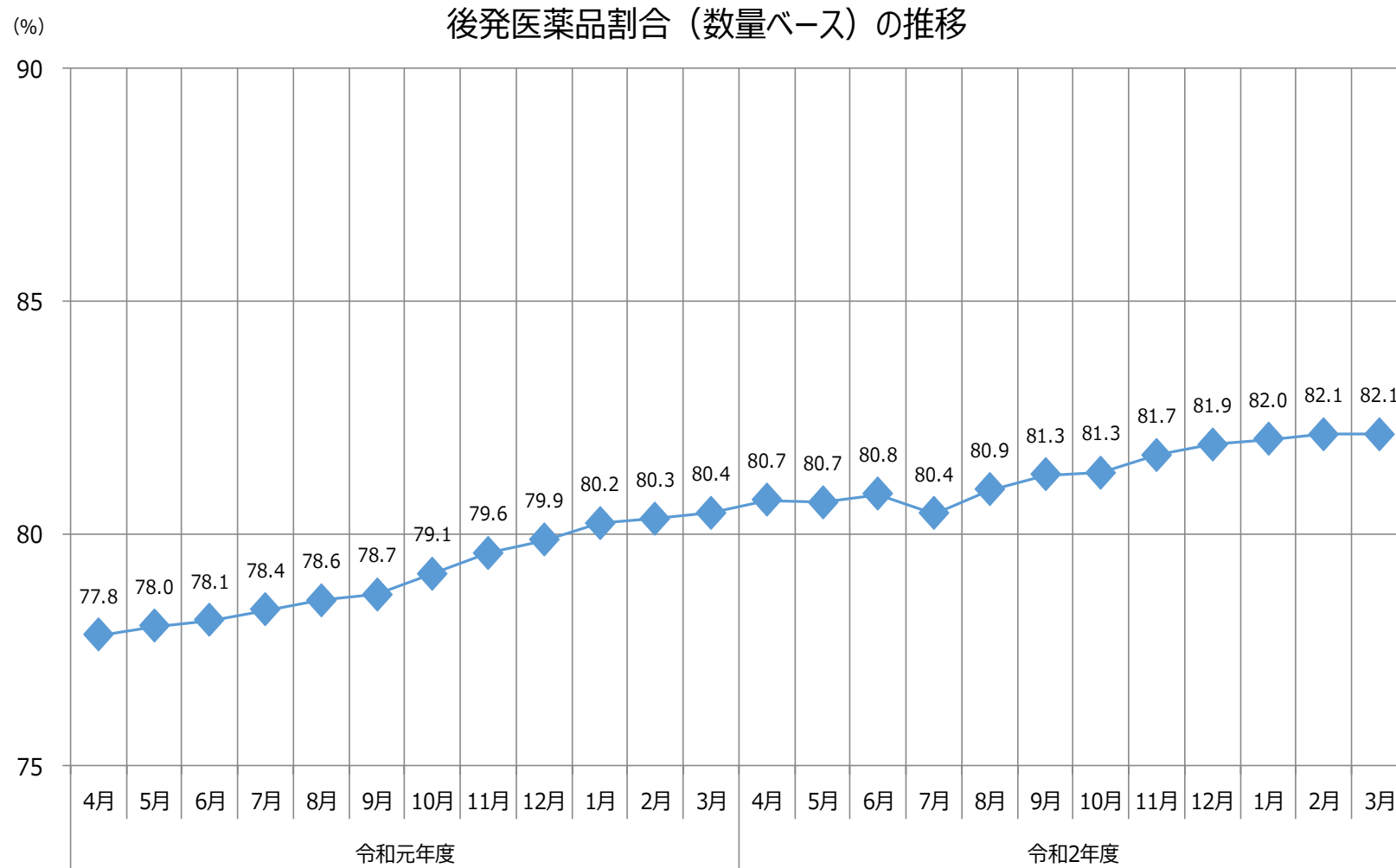
| | 令和元年度 | | 令和2年度 | | | | | | | | | | | | 令和2年度 (3月対前々 年度) | 令和元年度 薬剤料の 構成割合※ | |
|------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------------------|------------------------|-------|
| | 3月 | 4月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | | |
| 総数 | 13.8 | 4.3 | 19.6 | 14.0 | 10.3 | 8.0 | 2.7 | 5.4 | 4.2 | 8.3 | 9.4 | 11.8 | 7.7 | ▲1.4 | 8.1 | (12.3) | 100.0 |
| 中枢神経系用薬 | 15.5 | 1.5 | 19.1 | 14.4 | 8.9 | 4.3 | ▲1.9 | 1.7 | ▲1.4 | 3.6 | 4.0 | 3.7 | ▲1.3 | ▲11.0 | 3.3 | (2.8) | 14.8 |
| 感覚器官用薬 | ▲14.1 | ▲2.0 | 2.4 | 11.1 | 9.0 | 6.6 | 5.8 | 5.7 | 9.5 | 9.9 | 11.5 | 15.0 | 17.6 | 18.2 | 11.2 | (1.6) | 3.9 |
| 循環器官用薬 | 11.9 | 0.5 | 15.3 | 7.8 | 4.6 | 1.2 | ▲4.0 | ▲1.3 | 1.8 | 5.1 | 8.4 | 10.8 | 5.8 | ▲5.5 | 3.9 | (5.8) | 15.0 |
| 呼吸器用薬 | 10.3 | 3.2 | 6.5 | ▲6.7 | ▲10.7 | ▲8.0 | ▲10.1 | ▲10.6 | ▲10.6 | ▲12.4 | ▲10.0 | ▲8.4 | ▲12.6 | ▲17.8 | ▲9.4 | (▲9.3) | 3.4 |
| 消化器用薬 | 17.6 | 6.5 | 22.9 | 16.2 | 13.1 | 12.4 | 7.2 | 10.8 | 10.5 | 14.7 | 16.7 | 18.8 | 14.4 | 3.1 | 13.2 | (21.2) | 7.4 |
| ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む) | 26.1 | 8.8 | 34.5 | 26.5 | 17.2 | 11.0 | 8.1 | 9.4 | 6.8 | 11.1 | 13.0 | 16.3 | 10.1 | ▲1.8 | 13.0 | (23.8) | 4.3 |
| 泌尿生殖器官および肛門用薬 | 6.7 | ▲3.7 | 13.2 | 9.1 | 7.2 | 2.7 | ▲2.9 | 0.8 | 3.4 | 8.5 | 7.2 | 9.5 | 5.0 | ▲5.1 | 4.6 | (1.3) | 2.3 |
| 外皮用薬 | 10.7 | 1.3 | 9.8 | 11.4 | 9.9 | 6.2 | 6.0 | 4.0 | 7.6 | 11.1 | 14.5 | 14.9 | 11.6 | 1.9 | 8.9 | (12.8) | 3.1 |
| ビタミン剤 | 17.0 | 5.2 | 20.9 | 18.1 | 15.4 | 12.4 | ▲11.5 | ▲16.3 | ▲21.0 | ▲19.0 | ▲17.9 | ▲17.6 | ▲20.7 | ▲28.8 | ▲7.8 | (▲16.6) | 1.8 |
| 滋養強壮薬 | 20.7 | 4.8 | 27.8 | 23.4 | 18.5 | 15.9 | 9.8 | 16.5 | 8.4 | 17.1 | 17.6 | 21.5 | 17.0 | 3.6 | 16.1 | (25.1) | 1.0 |
| 血液・体液用薬 | 17.4 | 6.1 | 16.1 | 9.3 | 7.0 | 5.3 | 0.8 | 3.3 | 4.3 | 6.9 | 10.9 | 12.5 | 7.1 | ▲4.0 | 6.5 | (12.6) | 7.3 |
| その他の代謝性医薬品 | 24.1 | 9.9 | 30.4 | 19.8 | 17.2 | 16.6 | 9.7 | 13.6 | 11.5 | 16.1 | 19.0 | 21.9 | 16.2 | 3.9 | 16.1 | (28.9) | 14.8 |
| 腫瘍用薬 | 31.5 | 19.6 | 37.8 | 26.4 | 23.5 | 22.1 | 13.5 | 21.1 | 8.9 | 22.4 | 21.8 | 26.1 | 22.0 | 9.6 | 20.9 | (44.0) | 7.5 |
| アレルギー用薬 | ▲10.7 | 2.7 | ▲1.5 | 8.9 | 3.8 | 2.3 | 1.4 | ▲3.1 | 7.1 | 3.9 | 7.7 | 12.6 | 3.7 | 3.4 | 4.3 | (▲7.7) | 3.9 |
| 漢方製剤 | 13.9 | 5.5 | 21.8 | 17.8 | 14.3 | 13.4 | 11.1 | 13.0 | 10.5 | 12.5 | 15.4 | 17.8 | 12.4 | 4.4 | 13.6 | (19.0) | 2.2 |
| 抗生物質製剤 | ▲12.9 | ▲6.3 | ▲19.9 | ▲29.5 | ▲26.4 | ▲18.9 | ▲19.7 | ▲20.6 | ▲16.9 | ▲19.2 | ▲17.0 | ▲17.1 | ▲21.1 | ▲12.6 | ▲20.0 | (▲23.9) | 1.0 |
| 化学療法剤 | 4.7 | ▲15.7 | 5.1 | 0.1 | ▲3.4 | ▲7.6 | ▲12.5 | ▲8.2 | ▲13.2 | ▲8.4 | ▲23.8 | ▲23.3 | ▲11.9 | ▲12.7 | ▲10.7 | (▲8.6) | 3.9 |
| 生物学的製剤 | 54.7 | 29.4 | 56.0 | 35.7 | 24.0 | 18.3 | 17.6 | 20.2 | 5.5 | 19.7 | 12.5 | 24.1 | 12.2 | 2.7 | 19.5 | (58.9) | 1.1 |



※影響度は(各薬効分類の薬剤料の増減分) ÷ (前期の薬剤料総数) × 100で算定

電子レセプトを用いた調剤医療費の分析 令和2年度4月～3月 ④後発医薬品割合（数量ベース）の推移

- 後発医薬品割合（数量ベース、新指標）は、令和3年3月時点で82.1%。
- 令和2年7月にわずかに下がっているが、後発医薬品の収載により「後発医薬品のある先発医薬品」が増えたことが要因と考えられる。



注1) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注2) 「後発医薬品割合（数量ベース）」は、 $\frac{[\text{後発医薬品の数量}]}{([\text{後発医薬品のある先発医薬品の数量}] + [\text{後発医薬品の数量}])}$ で算出している。

医療費の動向 令和3年度4月～5月 ＜暫定版＞

医療費の動向 令和3年度4月～5月 ①総計

- 令和3年度4月～5月の概算医療費の対前年同月比を見ると、4月は10.6%、5月は11.5%と大きく増加しているが、対前々年同月比を見ると、4月は0.8%、5月は▲1.8%となり、令和元年度の3.2%の伸びに比べると小さい伸びとなっている。
- 受診延日数についても、対前年同月比は4月は15.0%、5月は12.8%と高い伸びとなっているが、対前々年同月比で見ると、4月は▲5.6%、5月は▲8.1%と令和2年度からの減少傾向が継続。
- 1日当たり医療費は、対前々年同月比で見ると、増加幅は小さくなるも増加傾向が継続。

■ 総計の伸び率（対前年同期比）

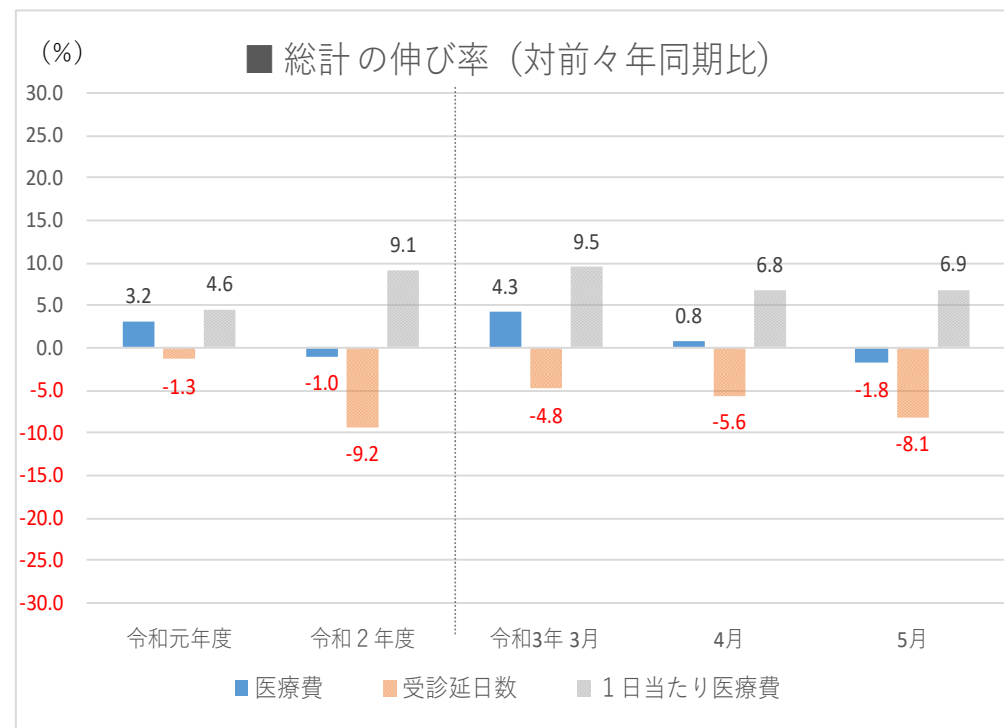
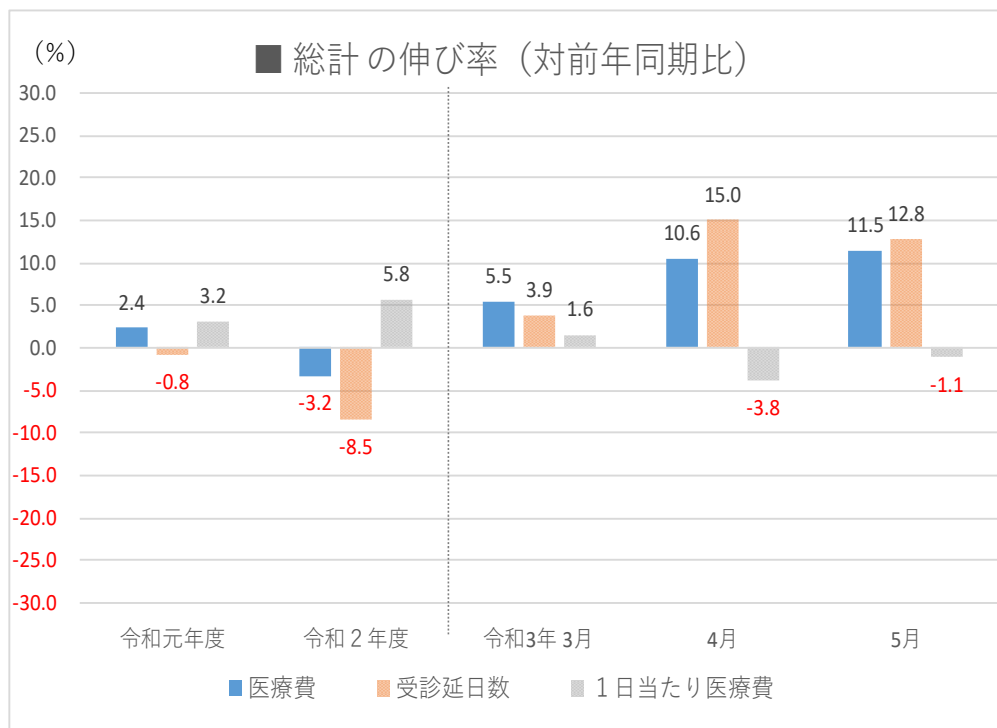
（単位：％）

| | 令和元年度 | 令和2年度 | | 令和3年度 | |
|----------|-------|-------|-----|-------|------|
| | | | 3月 | 4月 | 5月 |
| 医療費 | 2.4 | -3.2 | 5.5 | 10.6 | 11.5 |
| 受診延日数 | -0.8 | -8.5 | 3.9 | 15.0 | 12.8 |
| 1日当たり医療費 | 3.2 | 5.8 | 1.6 | -3.8 | -1.1 |

■ 総計の伸び率（対前々年同期比）

（単位：％）

| | 令和元年度 | 令和2年度 | | 令和3年度 | |
|----------|-------|-------|------|-------|------|
| | | | 3月 | 4月 | 5月 |
| 医療費 | 3.2 | -1.0 | 4.3 | 0.8 | -1.8 |
| 受診延日数 | -1.3 | -9.2 | -4.8 | -5.6 | -8.1 |
| 1日当たり医療費 | 4.6 | 9.1 | 9.5 | 6.8 | 6.9 |



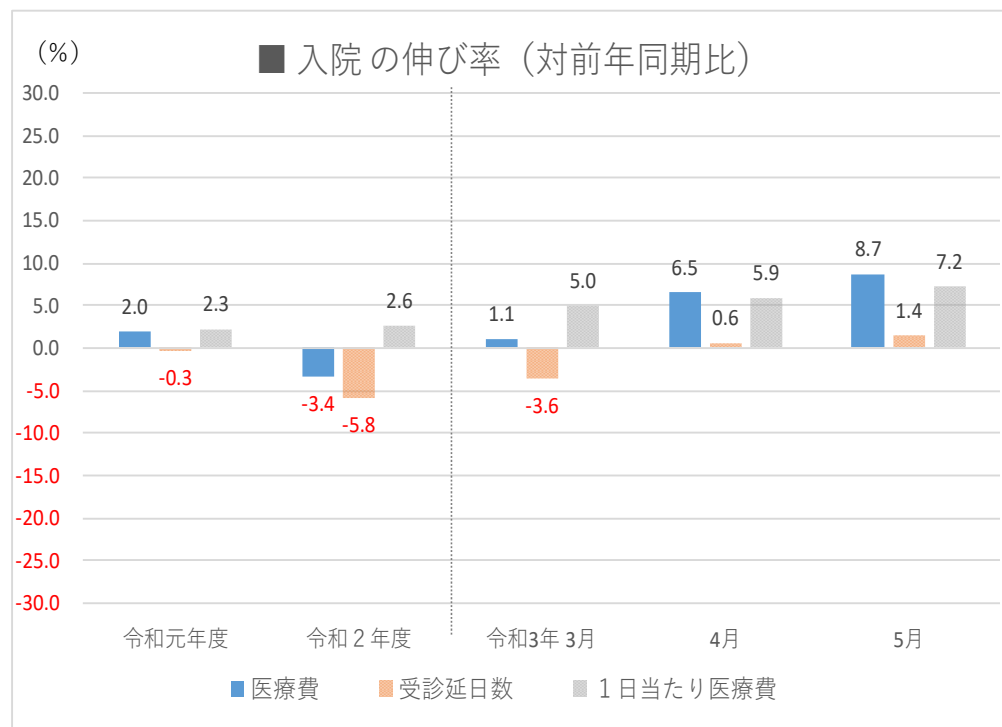
医療費の動向 令和3年度4月～5月 ②-1 診療種別（入院）

- 入院医療費は、対前年同月比は4月・5月ともに増加するも、対前々年同月比ではともに減少している。
- 受診延日数は、対前年同月比で微増となっているが、対前々年同月比で見ると、4月、5月ともに▲6～7%程度と令和2年度と同程度の減少。
- 1日当たり医療費は、5～7%程度で推移。

■ 入院の伸び率（対前年同期比）

（単位：％）

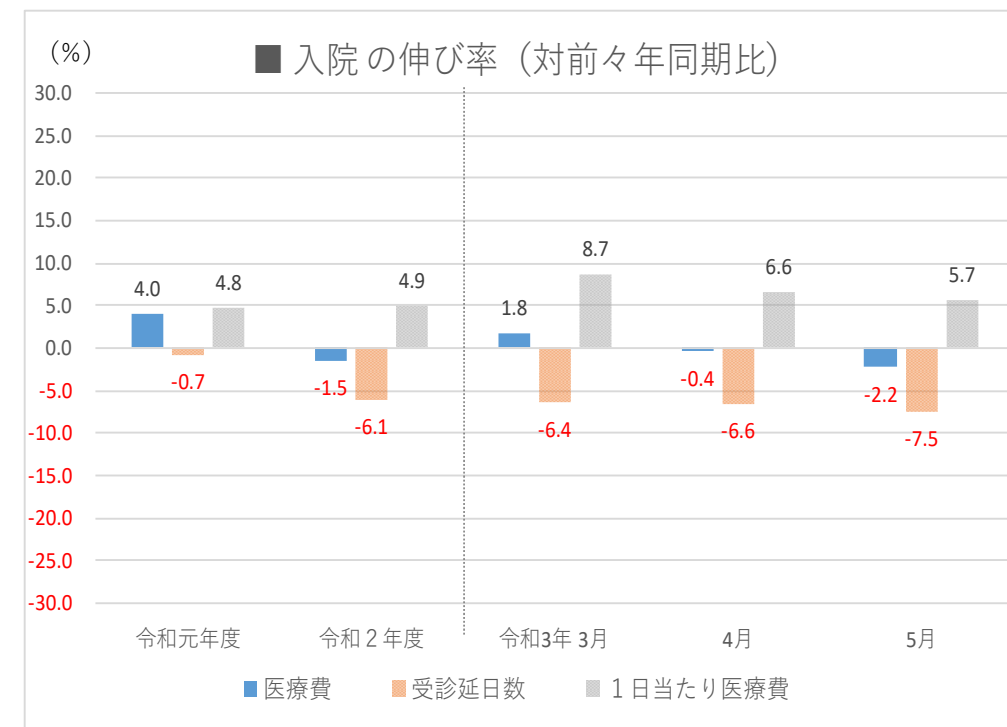
| | 令和元年度 | 令和2年度 | | | 令和3年度 | |
|----------|-------|-------|------|-----|-------|--|
| | | | 3月 | 4月 | 5月 | |
| 医療費 | 2.0 | -3.4 | 1.1 | 6.5 | 8.7 | |
| 受診延日数 | -0.3 | -5.8 | -3.6 | 0.6 | 1.4 | |
| 1日当たり医療費 | 2.3 | 2.6 | 5.0 | 5.9 | 7.2 | |



■ 入院の伸び率（対前々年同期比）

（単位：％）

| | 令和元年度 | 令和2年度 | | 令和3年度 | |
|----------|-------|-------|------|-------|------|
| | | | 3月 | 4月 | 5月 |
| 医療費 | 4.0 | -1.5 | 1.8 | -0.4 | -2.2 |
| 受診延日数 | -0.7 | -6.1 | -6.4 | -6.6 | -7.5 |
| 1日当たり医療費 | 4.8 | 4.9 | 8.7 | 6.6 | 5.7 |

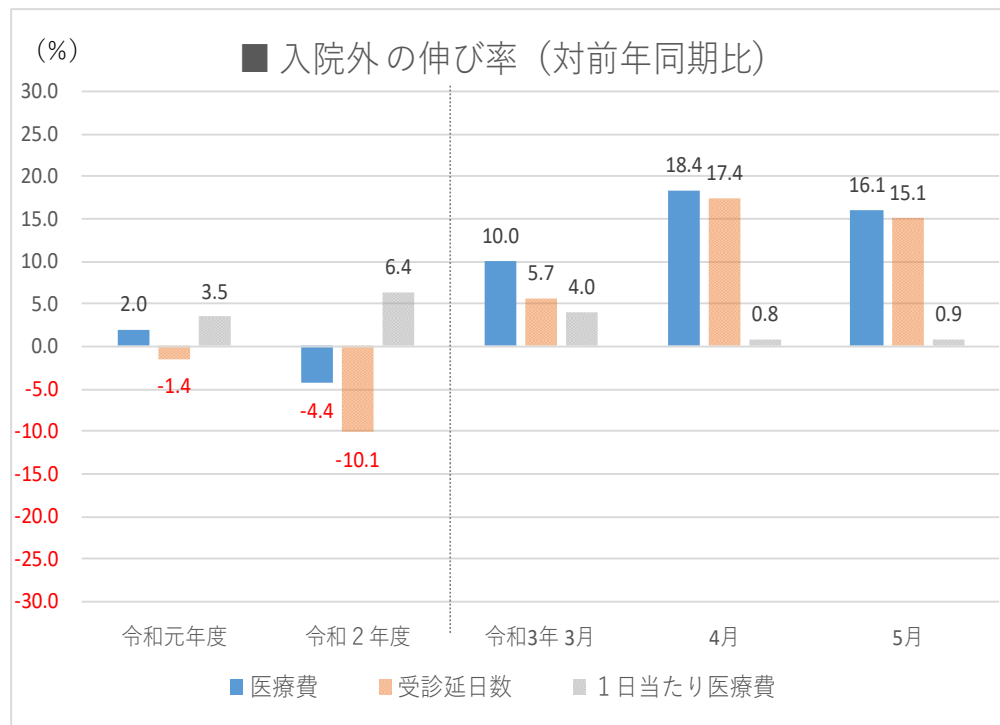


医療費の動向 令和3年度4月～5月 ②-2 診療種別（入院外）

- 入院外医療費は、対前年同月比で4月は18.4%、5月は16.1%の増加となるも、対前々年度同月比では4月は2.2%、5月は▲1.8%と令和元年度の伸び比べ、小さい伸びとなっている。
- 受診延日数についても、対前年同月比は大きく増加するも、対前々年同月比では▲6～9%程度と減少傾向が続いている。
- 1日当たり医療費は、対前々年同月比では8～9%で推移。

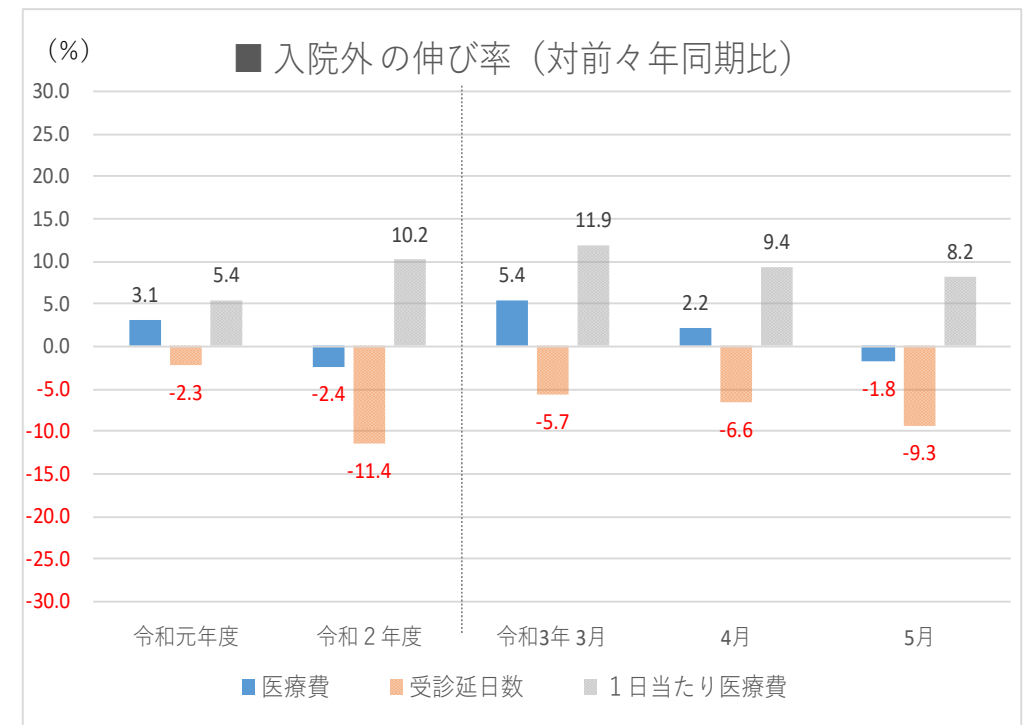
■ 入院外の伸び率（対前年同期比） (単位：%)

| | 令和元年度 | 令和2年度 | | 令和3年度 | |
|----------|-------|-------|------|-------|------|
| | | | 3月 | 4月 | 5月 |
| 医療費 | 2.0 | -4.4 | 10.0 | 18.4 | 16.1 |
| 受診延日数 | -1.4 | -10.1 | 5.7 | 17.4 | 15.1 |
| 1日当たり医療費 | 3.5 | 6.4 | 4.0 | 0.8 | 0.9 |



■ 入院外の伸び率（対前々年同期比） (単位：%)

| | 令和元年度 | 令和2年度 | | 令和3年度 | |
|----------|-------|-------|------|-------|------|
| | | | 3月 | 4月 | 5月 |
| 医療費 | 3.1 | -2.4 | 5.4 | 2.2 | -1.8 |
| 受診延日数 | -2.3 | -11.4 | -5.7 | -6.6 | -9.3 |
| 1日当たり医療費 | 5.4 | 10.2 | 11.9 | 9.4 | 8.2 |



医療費の動向 令和3年度4月～5月 ③休日数等の調整

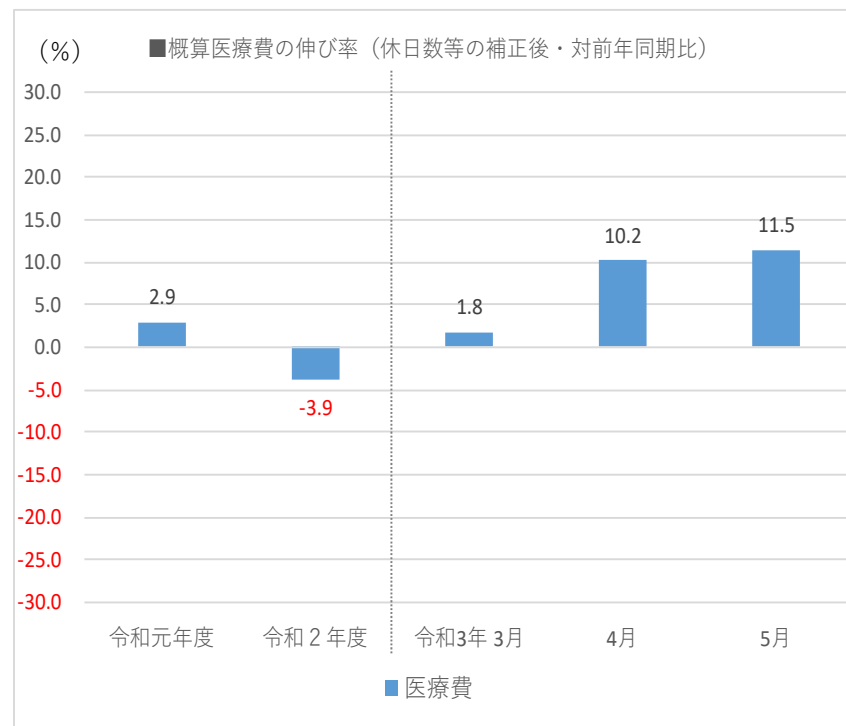
- 休日数等の調整後の概算医療費の伸び率は、対前年同月比は4月が10.2%、5月が11.5%の増加となるが、対前々年同月比では、4月が▲1.9%、5月が▲2.5%と減少に転じる。

■概算医療費の伸び率（休日数等の補正後・対前年同期比） (単位：%)

| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | | |
|----|-------|-------|-------|------|------|
| | | | 3月 | 4月 | 5月 |
| 総計 | 2.9 | -3.9 | 1.8 | 10.2 | 11.5 |

<前年同期差>

| | | | | | |
|---------|----|----|----|----|----|
| 日曜・祭日等 | +3 | -4 | -1 | +0 | +0 |
| 土曜 | +2 | +0 | -1 | +0 | +0 |
| 休日でない木曜 | +1 | -1 | +0 | -1 | +0 |

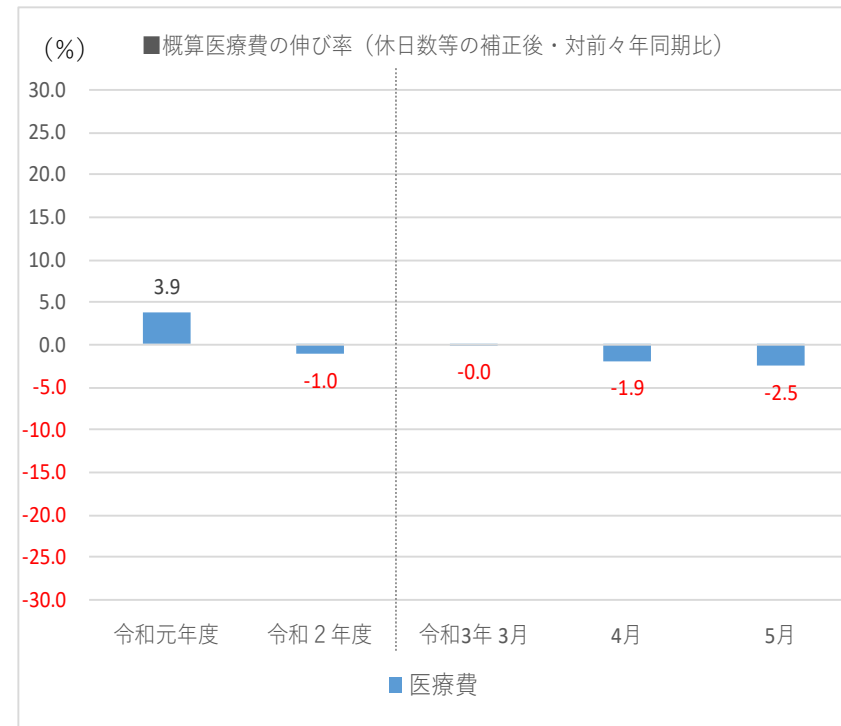


■概算医療費の伸び率（休日数等の補正後・対前々年同期比） (単位：%)

| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | | |
|----|-------|-------|-------|------|------|
| | | | 3月 | 4月 | 5月 |
| 総計 | 3.9 | -1.0 | -0.0 | -1.9 | -2.5 |

<前々年同期差>

| | | | | | |
|---------|----|----|----|----|----|
| 日曜・祭日等 | +4 | -1 | -1 | -1 | -1 |
| 土曜 | +1 | +2 | -2 | +0 | +2 |
| 休日でない木曜 | +0 | +0 | +1 | +0 | +0 |



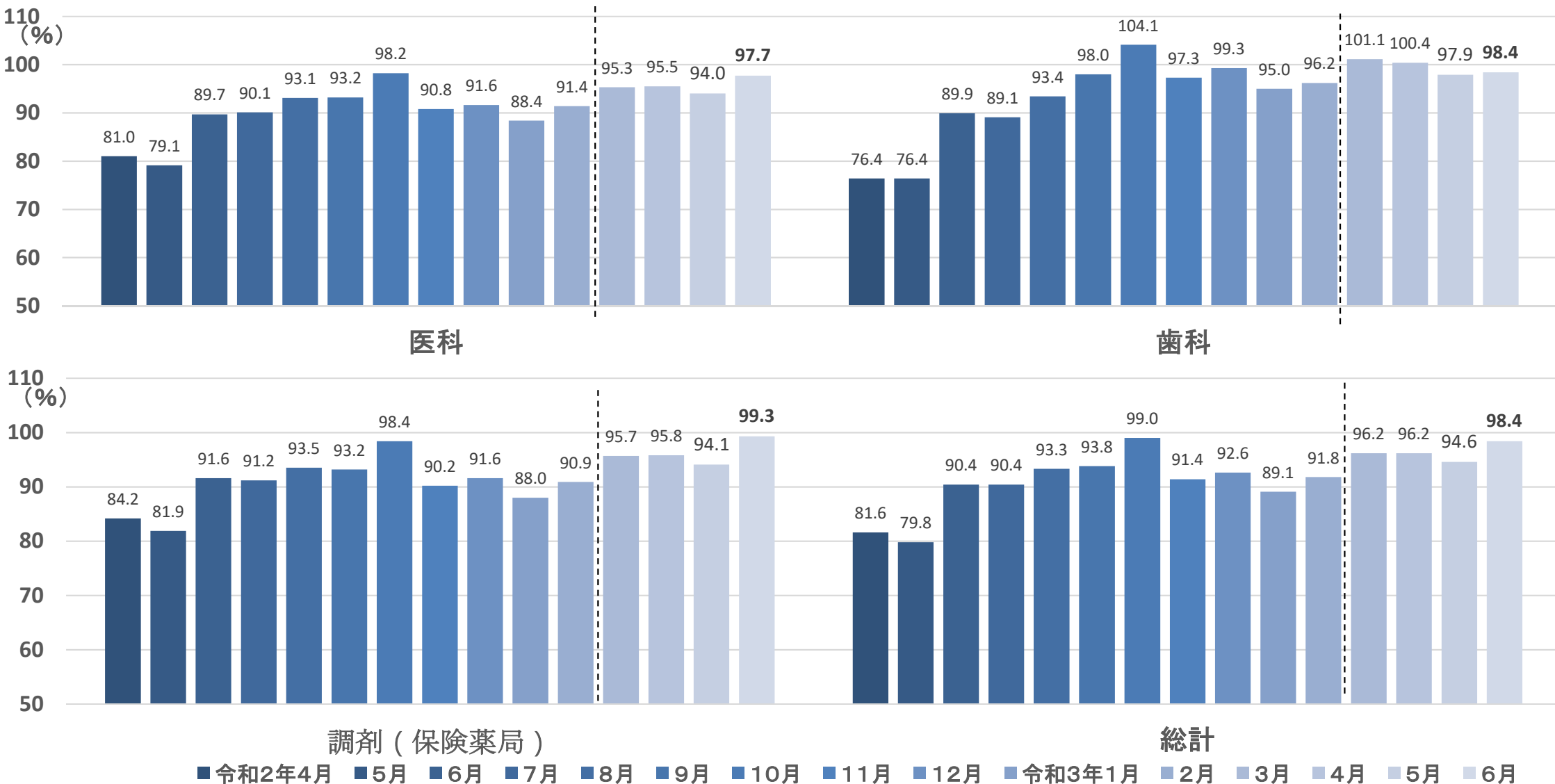
※令和元年度、令和2年度は閏月の補正（月ベースで+3.6%、▲3.4%）を行っている。

レセプト件数・点数に関する調査

新型コロナウイルス感染症による医療機関の患者数の変化①（診療種別別）

診療種別別レセプト件数(支払基金・国保連合会分)の前年同月比

(注) 令和3年3月分以降は、前々年同月比を記載



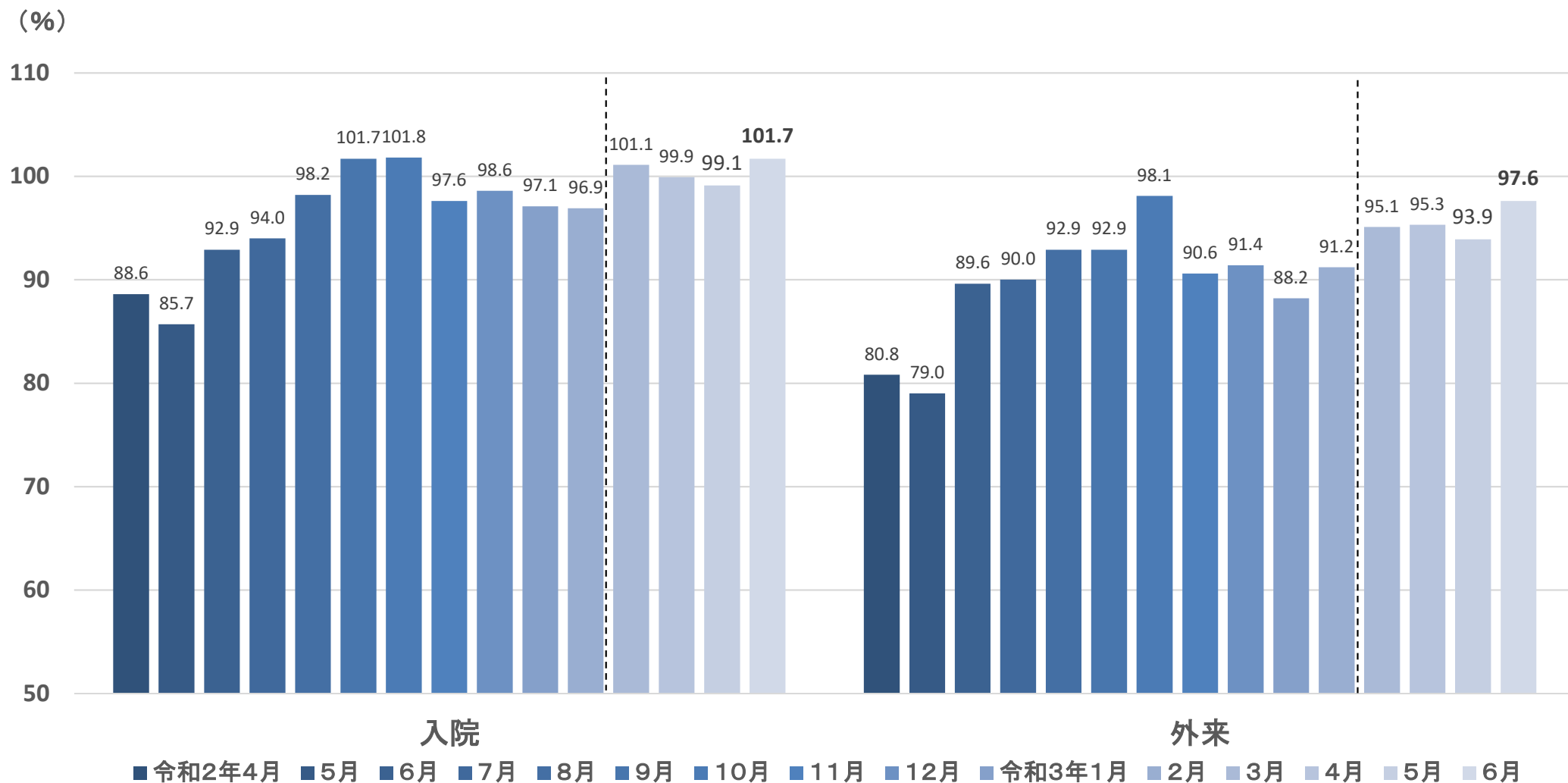
※1 社会保険診療報酬支払基金ホームページの統計月報及び国民健康保険中央会ホームページの国保連合会審査支払業務統計によるレセプトの確定件数を基に、厚生労働省で前年同月比及び前々年同月比を機械的に算出。

※2 総計には、訪問看護療養費が含まれる。

新型コロナウイルス感染症による医療機関の患者数の変化②（医科のうち入院・外来別）

医科のうち入院・外来別レセプト件数(支払基金・国保連合会分)の前年同月比

(注)令和3年3月分以降は、前々年同月比を記載

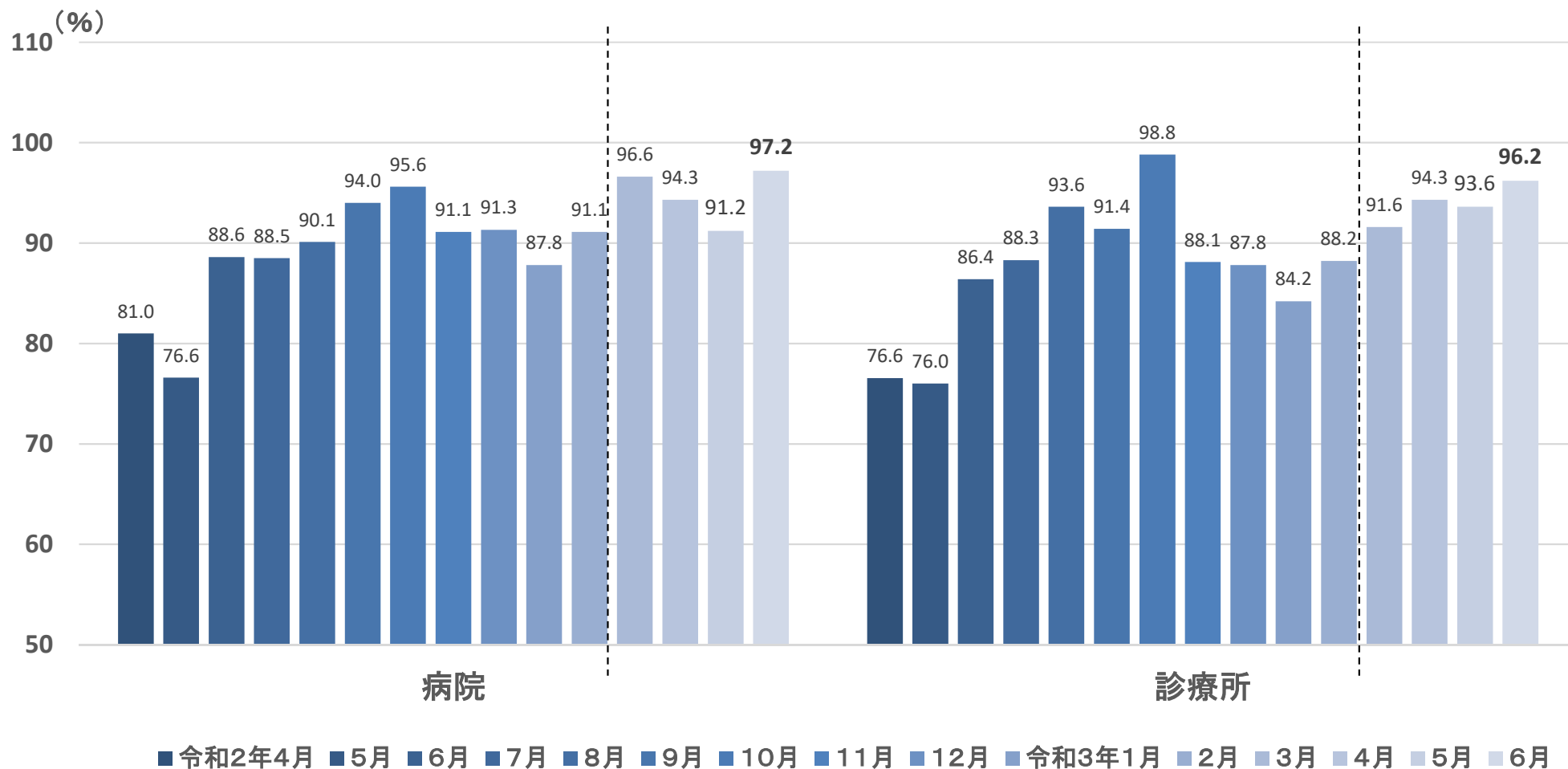


※1 社会保険診療報酬支払基金ホームページの統計月報及び国民健康保険中央会ホームページの国保連合会審査支払業務統計によるレセプトの確定件数を基に、厚生労働省で前年同月比及び前々年同月比を機械的に算出。

新型コロナウイルス感染症による医療機関の患者数の変化③（医科のうち病院・診療所別）

医科のうち病院・診療所別レセプト件数(支払基金分)の前年同月比

(注)令和3年3月分以降は、前々年同月比を記載

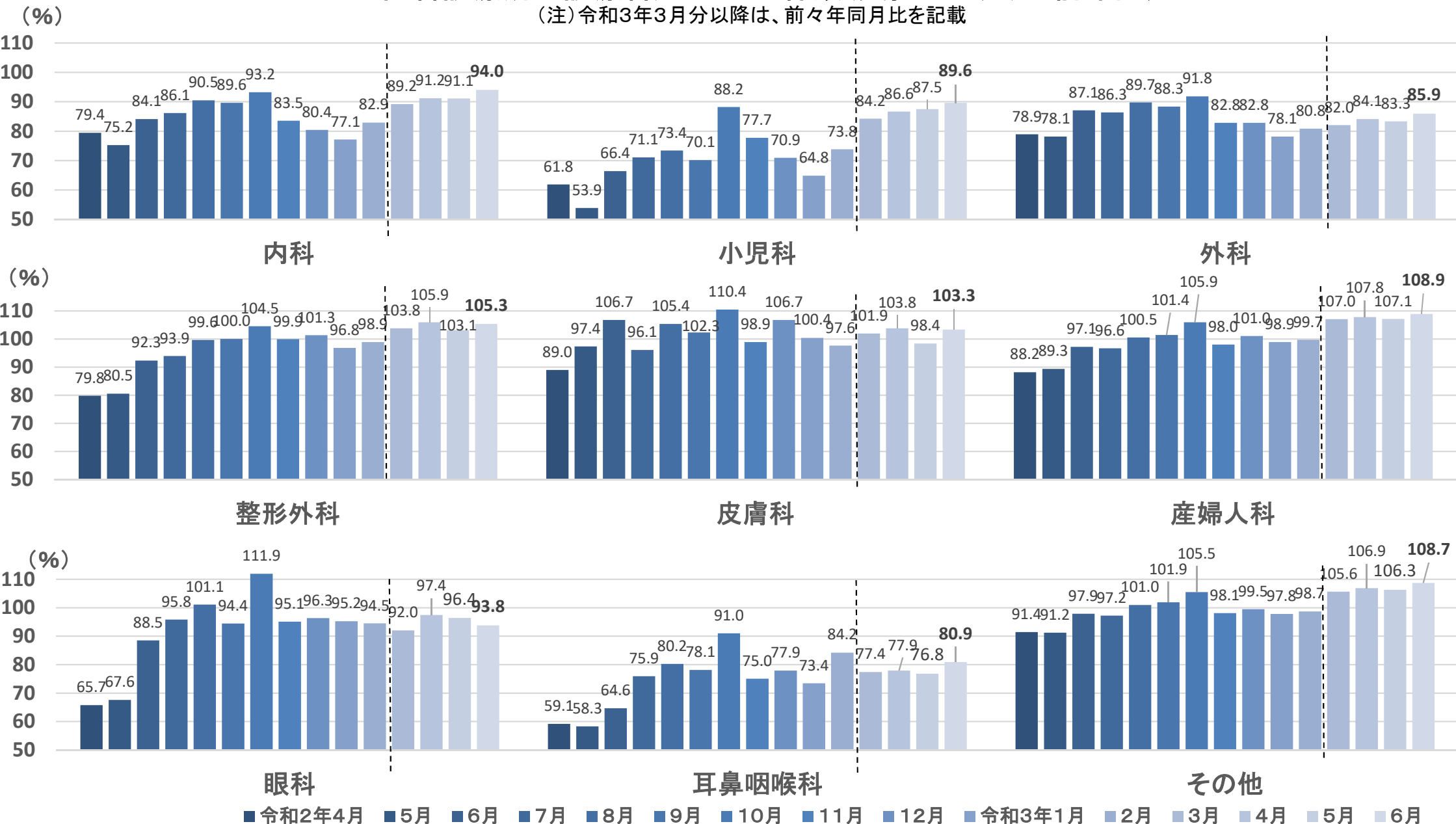


- ※1 社会保険診療報酬支払基金ホームページの統計月報によるレセプト件数を基に、厚生労働省で前年同月比及び前々年同月比を機械的に算出。
- ※2 再審査等の調整前の数値。

新型コロナウイルス感染症による医療機関の患者数の変化④（医科診療所の診療科別）

医科診療所の診療科別レセプト件数(支払基金分)の前年同月比

(注)令和3年3月分以降は、前々年同月比を記載



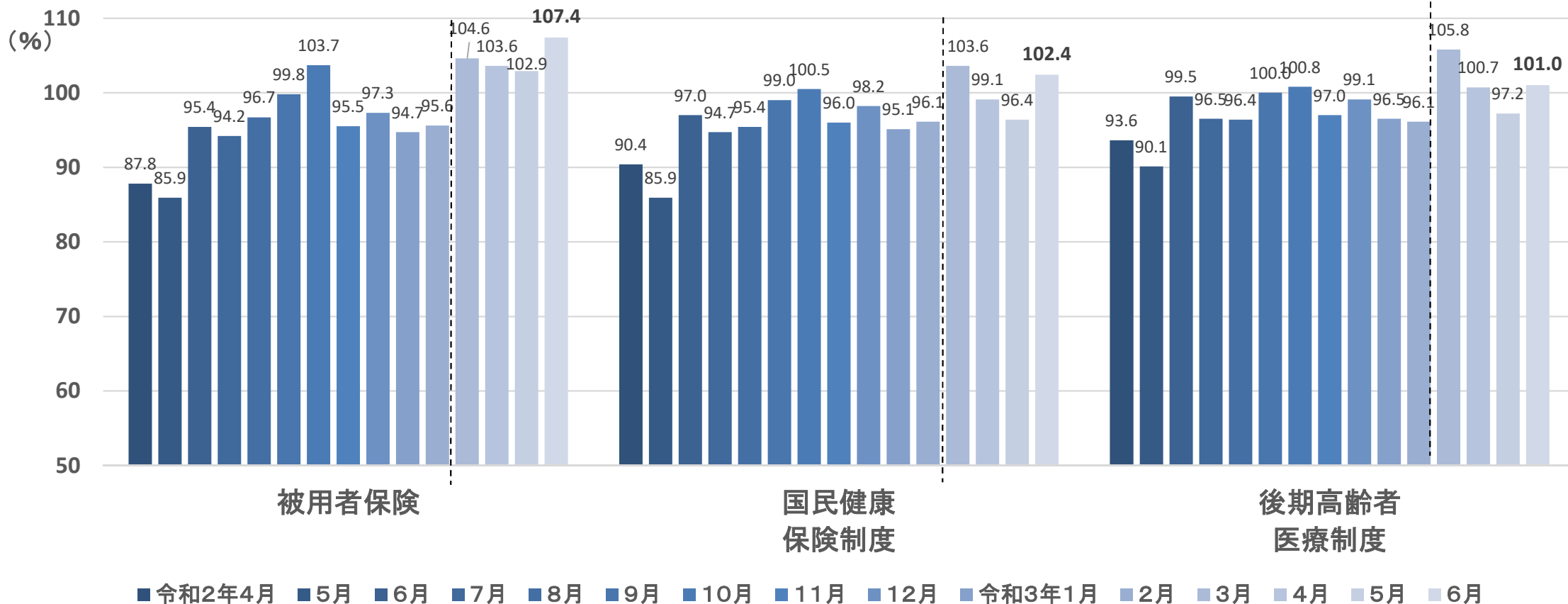
※1 社会保険診療報酬支払基金ホームページの統計月報によるレセプト件数を基に、厚生労働省で前年同月比及び前々年同月比を機械的に算出。

※2 再審査等の調整前の数値。

新型コロナウイルス感染症による医療機関の収入の変化①（制度別）

制度別レセプト総点数の前年同月比

（注）令和3年3月分以降は、前々年同月比を記載

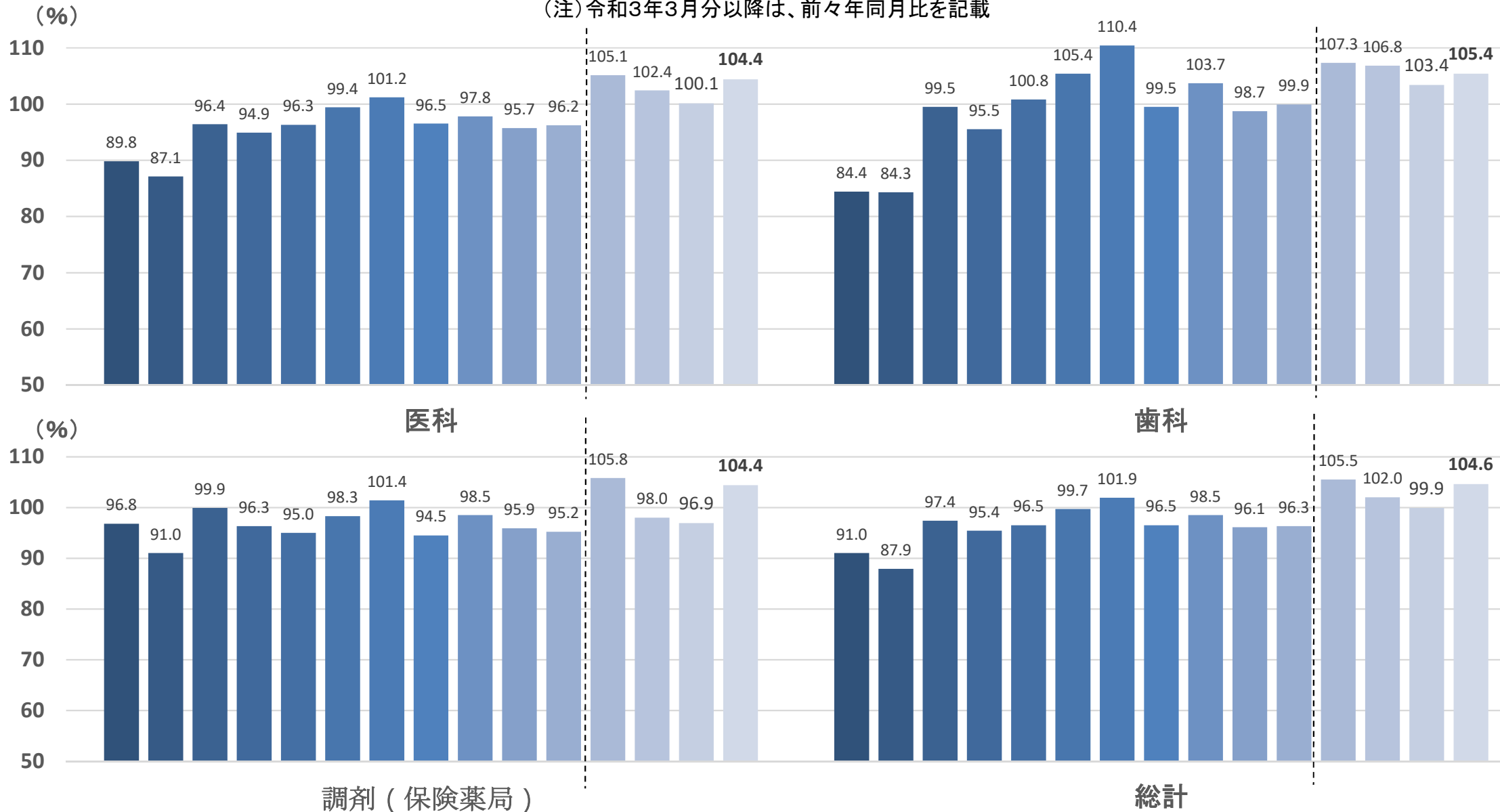


※1 社会保険診療報酬支払基金ホームページの統計月報及び国民健康保険中央会ホームページの国保連合会審査支払業務統計によるレセプトの確定点数を基に、厚生労働省で前年同月比及び前々年同月比を機械的に算出。

新型コロナウイルス感染症による医療機関の収入の変化② (診療種別)

診療種別総点数(支払基金・国保連合会分)の前年同月比

(注)令和3年3月分以降は、前々年同月比を記載



■ 令和2年4月 ■ 5月 ■ 6月 ■ 7月 ■ 8月 ■ 9月 ■ 10月 ■ 11月 ■ 12月 ■ 令和3年1月 ■ 2月 ■ 3月 ■ 4月 ■ 5月 ■ 6月

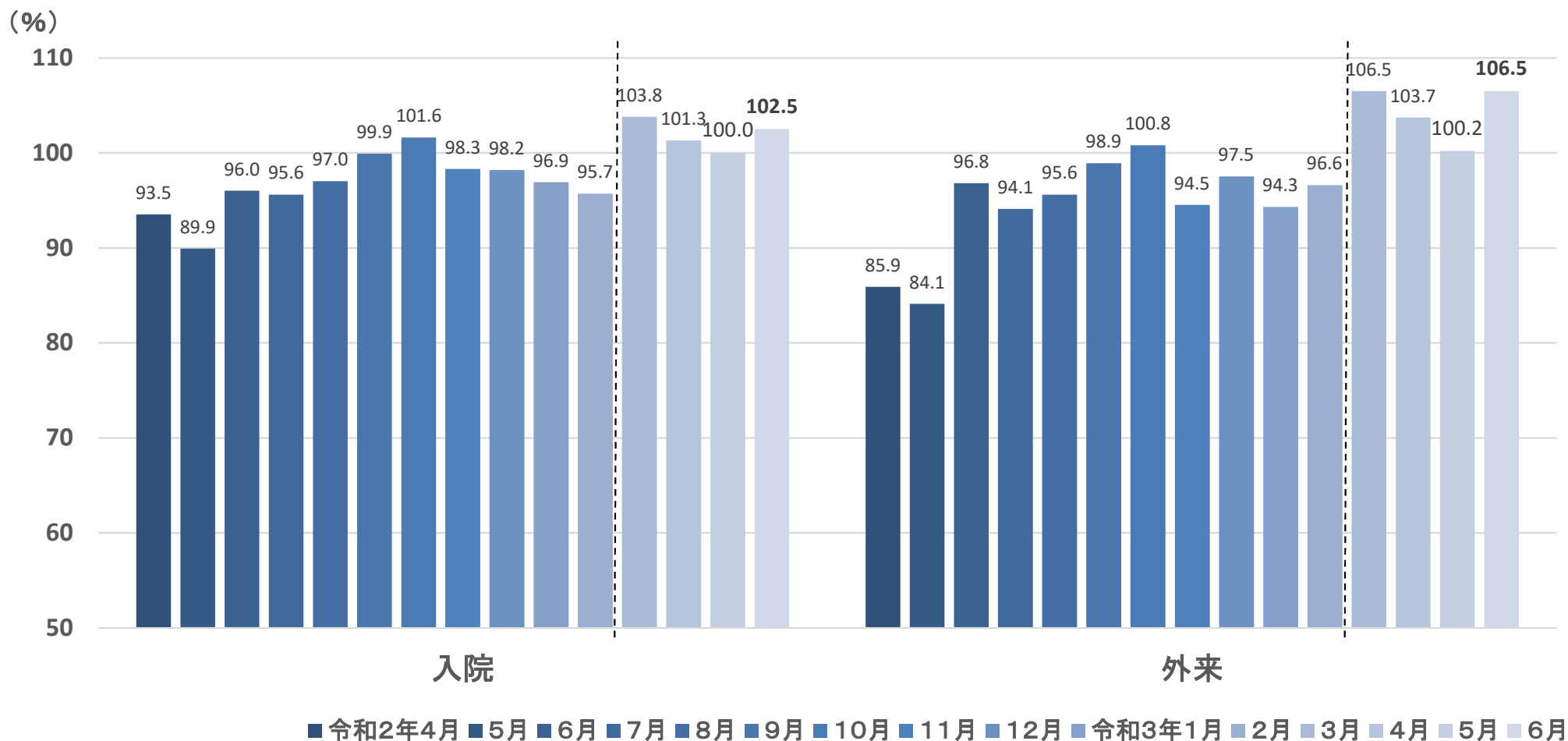
※1 社会保険診療報酬支払基金ホームページの統計月報及び国民健康保険中央会ホームページの国保連合会審査支払業務統計によるレセプトの確定点数を基に、厚生労働省で前年同月比及び前々年同月比を機械的に算出。

※2 総計には、食事・生活療養費、訪問看護療養費が含まれる。

新型コロナウイルス感染症による医療機関の収入の変化③（医科のうち入院・外来別）

医科のうち入院・外来別点数(支払基金・国保連合会分)の前年同月比

(注)令和3年3月分以降は、前々年同月比を記載

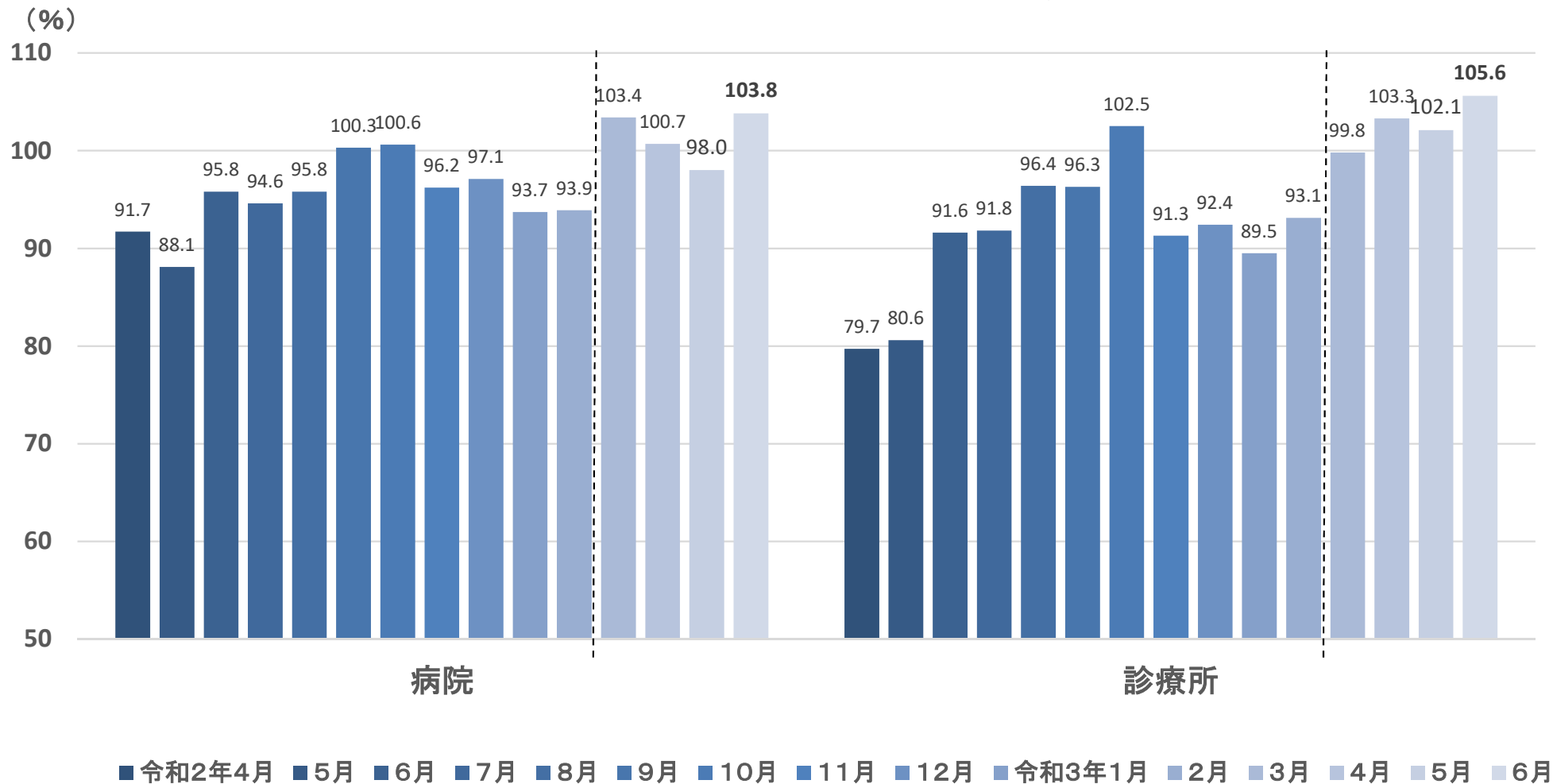


※1 社会保険診療報酬支払基金ホームページの統計月報及び国民健康保険中央会ホームページの国保連合会審査支払業務統計によるレセプトの確定点数を基に、厚生労働省で前年同月比及び前々年同月比を機械的に算出。

新型コロナウイルス感染症による医療機関の収入の変化④（医科のうち病院・診療科別）

医科のうち病院・診療所別点数（支払基金分）の前年同月比

（注）令和3年3月分以降は、前々年同月比を記載

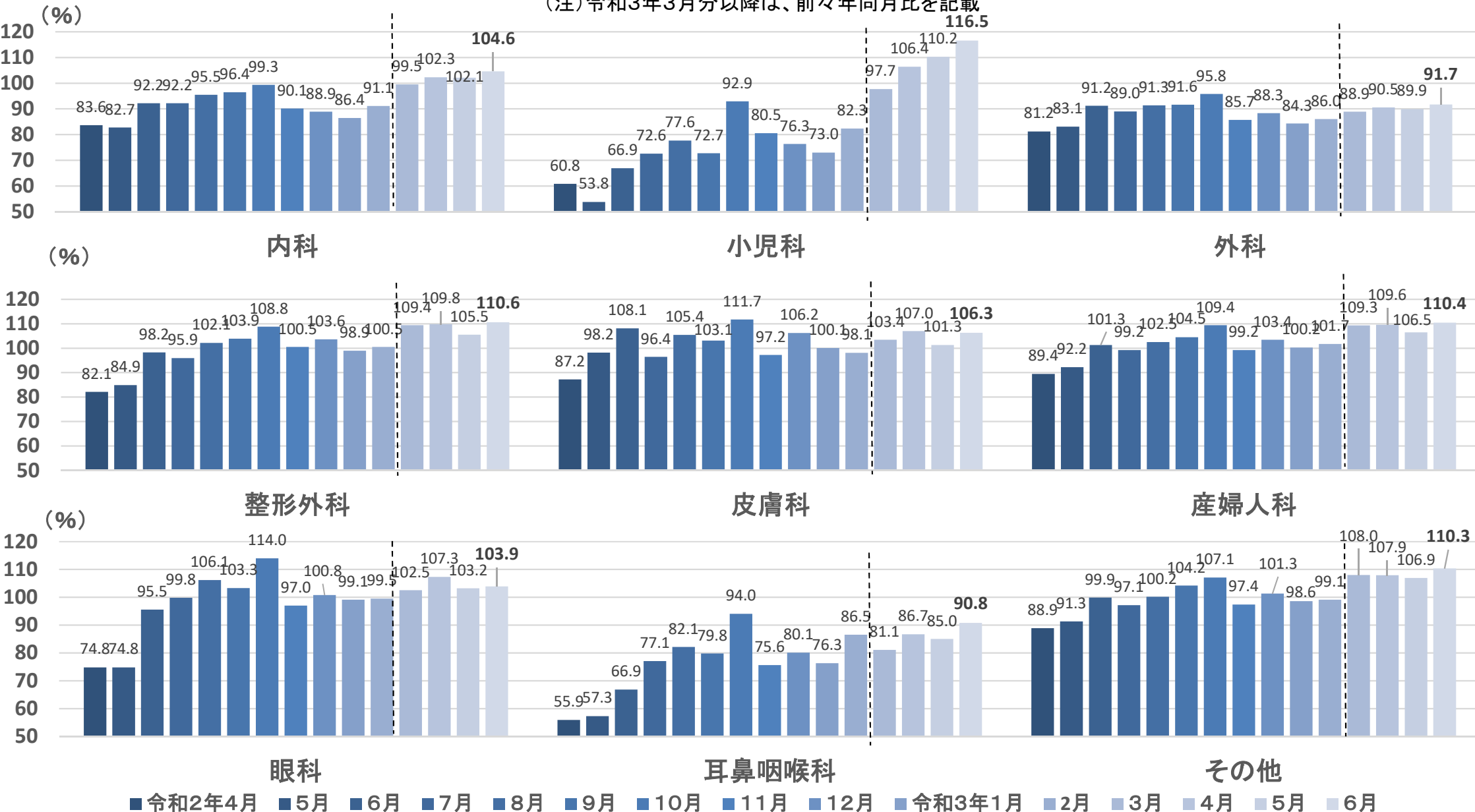


- ※1 社会保険診療報酬支払基金ホームページの統計月報による点数を基に、厚生労働省で前年同月比及び前々年同月比を機械的に算出。
- ※2 再審査等の調整前の数値。

新型コロナウイルス感染症による医療機関の収入の変化⑤ (医科診療所の診療科別)

医科診療所の診療科別レセプト点数(支払基金分)の前年同月比

(注)令和3年3月分以降は、前々年同月比を記載



※1 社会保険診療報酬支払基金ホームページの統計月報による点数を基に、厚生労働省で前年同月比及び前々年同月比を機械的に算出。
 ※2 再審査等の調整前の数値。

令和4年度予算概算要求（保険局関係）の主な事項

令和4年度予算概算要求(保険局関係)の主な事項

※()内は令和3年度予算額

地域包括ケアシステムの構築等に向けた安心で質の高い医療・介護サービスの提供

安定的で持続可能な医療保険制度の運営確保

○ 各医療保険制度などに関する医療費国庫負担 10兆1,788億円(9兆8,533億円)

各医療保険制度などに関する医療費国庫負担に要する経費を確保し、その円滑な実施を図る。

○ 国民健康保険への財政支援 3,104億円(3,104億円)

保険料の軽減対象となる低所得者数に応じた保険者への財政支援の拡充や保険者努力支援制度等を引き続き実施するために必要な経費を確保する。

○ 被用者保険への財政支援 825億円*(820億円)【一部推進枠】

拠出金負担の重い被用者保険者の負担の軽減及び短時間労働者の適用拡大に係る財政支援に必要な経費を確保する。

※ コロナ対策のうち事項要求のものについては、今後の感染状況を踏まえ、予算編成過程で検討する。

※ 診療報酬・薬価改定への対応については、予算編成過程で検討する。

※ 不妊治療の保険適用への対応については、予算編成過程で検討する。

※ 子どもに係る国民健康保険料等の均等割額の減額措置は、令和4年度から実施予定。

※ 消費税率引上げとあわせ行う社会保障の充実及び「新しい経済政策パッケージ」で示された「教育負担の軽減・子育て層支援・介護人材の確保」については、消費税込、地方消費税込並びに重点化及び効率化の動向を踏まえ、予算編成過程において検討する。

医療分野等におけるデータ利活用の推進等

○ 医療等分野におけるICTの利活用の促進等

① 医療保険分野における番号制度の利活用推進 13億円(108億円)【推進枠】

医療保険のオンライン資格確認等システム等の改修及びオンライン資格確認等システム導入の周知広報等に関する必要な経費を確保する。

② データヘルス分析関連サービスの構築に向けた整備 2.5億円(3.7億円)

レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)や介護保険総合データベースなど健康・医療・介護情報を連結・解析する環境を整備・拡充し、研究者や民間事業者など幅広い主体への提供等を行う。

③ 統合的かつ効率的な審査支払機能の運用に向けたシステム整備の支援 54億円【推進枠】【新規】

国民健康保険団体連合会が診療報酬の審査支払等を行うための国保総合システムについて、社会保険診療報酬支払基金との審査基準の統一化や審査システムの統合的かつ効率的な運用を実現するため、令和3年3月に策定した「審査支払機能に関する改革工程表」に基づき、令和6年度の次期更改に向け、システム整備の支援を行う。

④ 訪問看護レセプト請求の電子化に向けたシステム整備の支援 25億円【推進枠】【新規】

2024年度に本格運用を予定している訪問看護療養費のレセプト請求電子化に向け、訪問看護事業者からの請求の受付・審査等のための審査支払機関におけるレセプト電算処理システムの整備等を行う。

健康で安全な生活の確保

健康増進対策や予防・健康管理の推進

○ 健康寿命の延伸に向けた予防・重症化予防・健康づくり

① 保険者のインセンティブ強化(国保・保険者努力支援制度) 1,412億円(1,412億円)

公的保険制度における疾病予防・重症化予防の取組を強化するため、保険者努力支援制度(国民健康保険)について、引き続き、配点のメリハリを強化するなどの適切な指標の見直しにより、予防・重症化予防・健康づくり等に関する取組を強力に推進する。

② データヘルス(医療保険者によるデータ分析に基づく保健事業)の効果的な実施の推進

ア レセプト・健診情報等の分析に基づいた保健事業等の推進 8.6億円(7.4億円)【一部推進枠】

医療保険者による第2期データヘルス計画に基づく予防・健康づくりの取組を推進するため、加入者への意識づけや、予防・健康づくりへのインセンティブの取組、生活習慣病の重症化予防等を推進するとともに、保険者による先進的なデータヘルスの実施を支援し、全国展開を図る。

イ 保険者協議会における保健事業の効果的な実施への支援 80百万円(80百万円)

住民の健康増進と医療費適正化について、都道府県単位で医療保険者等が共通認識を持って取組を進めるよう、都道府県単位で設置される保険者協議会に対して、都道府県内の医療費の調査分析など保険者のデータヘルス事業等の効果的な取組を広げるための支援を行う。

ウ 40歳未満の事業主健診情報の活用に向けたシステム改修の支援 6.3億円(40百万円)【推進枠】

特定健康診査の対象者以外の者(40歳未満の者)の事業主健診の情報について、マイナポータル等を通じて自らの保健医療情報として閲覧可能とするとともに、データヘルスの推進を図るため、当該情報を保険者に集約し、保険者から支払基金に登録するためのシステム改修を行う。

③ 先進事業等の好事例の横展開等

ア 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の全国的な横展開等の推進 1.4億円(1.9億円)

令和2年度より開始された高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について、広域連合・市町村向けの研修会の開催や国保データベース(KDB)システムの活用ツールの充実等により広域連合・市町村の取組を支援し、効果的な横展開を図る。

イ 糖尿病性腎症患者等の重症化予防の取組への支援 52百万円(50百万円)【推進枠】

糖尿病性腎症の患者等であって、生活習慣の改善により重症化の予防が期待される者に対して医療保険者が実施する、医療機関と連携した保健指導等を支援する。

ウ 健康寿命の延伸に向けた歯科口腔保健の推進等 7.0億円(7.0億円)【推進枠】

後期高齢者医療広域連合が実施する高齢者の特性を踏まえた歯科健診の実施について支援を行う。

④ 保険者の予防・健康インセンティブの取組への支援 69百万円 (77百万円)

健康長寿社会の実現や医療費の適正化を図るため、経済団体、保険者、自治体、医療関係団体等で構成される「日本健康会議」における、先進的な予防・健康づくりのインセンティブを推進する者を増やす支援を行う。

⑤ 健康増進効果等に関する実証事業の実施 4.3億円 (4.5億円)【推進枠】

データ等を活用した予防・健康づくりの健康増進効果等に関するエビデンスを確認・蓄積するための大規模実証事業を、統計学的な正確性を確保した上で実施する。

⑥ 保険者とかかりつけ医等の共働による加入者の予防健康づくりの実施 1.2億円(1.0億円)

かかりつけ医等と医療保険者が協働し、加入者の健康面や社会生活面の課題について情報共有しながら、加入者の重症化予防に必要な栄養指導等の保健指導や地域社会で行っている相談援助等の活用を推進する。

地域共生社会の実現に向けた地域づくりと暮らしの安全確保

生活困窮者自立支援、ひきこもり支援、自殺総合対策、孤独・孤立対策

○ 保険者とかかりつけ医等の共働による加入者の予防健康づくりの実施 1.2億円(1.0億円)※再掲

かかりつけ医等と医療保険者が協働し、加入者の健康面や社会生活面の課題について情報共有しながら、加入者の重症化予防に必要な栄養指導等の保健指導や地域社会で行っている相談援助等の活用を推進する。

東日本大震災や熊本地震をはじめとした災害からの復旧・復興への支援

被災者・被災施設の支援

「東日本大震災復興特別会計」計上項目

○ 避難指示区域等での医療保険制度の特別措置(復興) 38億円(38億円)

東京電力福島第一原発の事故により設定された帰還困難区域及び上位所得層を除く旧避難指示区域等・旧避難指示解除準備区域等の住民について、医療保険の一部負担金や保険料の免除等の措置を延長する場合には、引き続き保険者等の負担を軽減するための財政支援を行う。

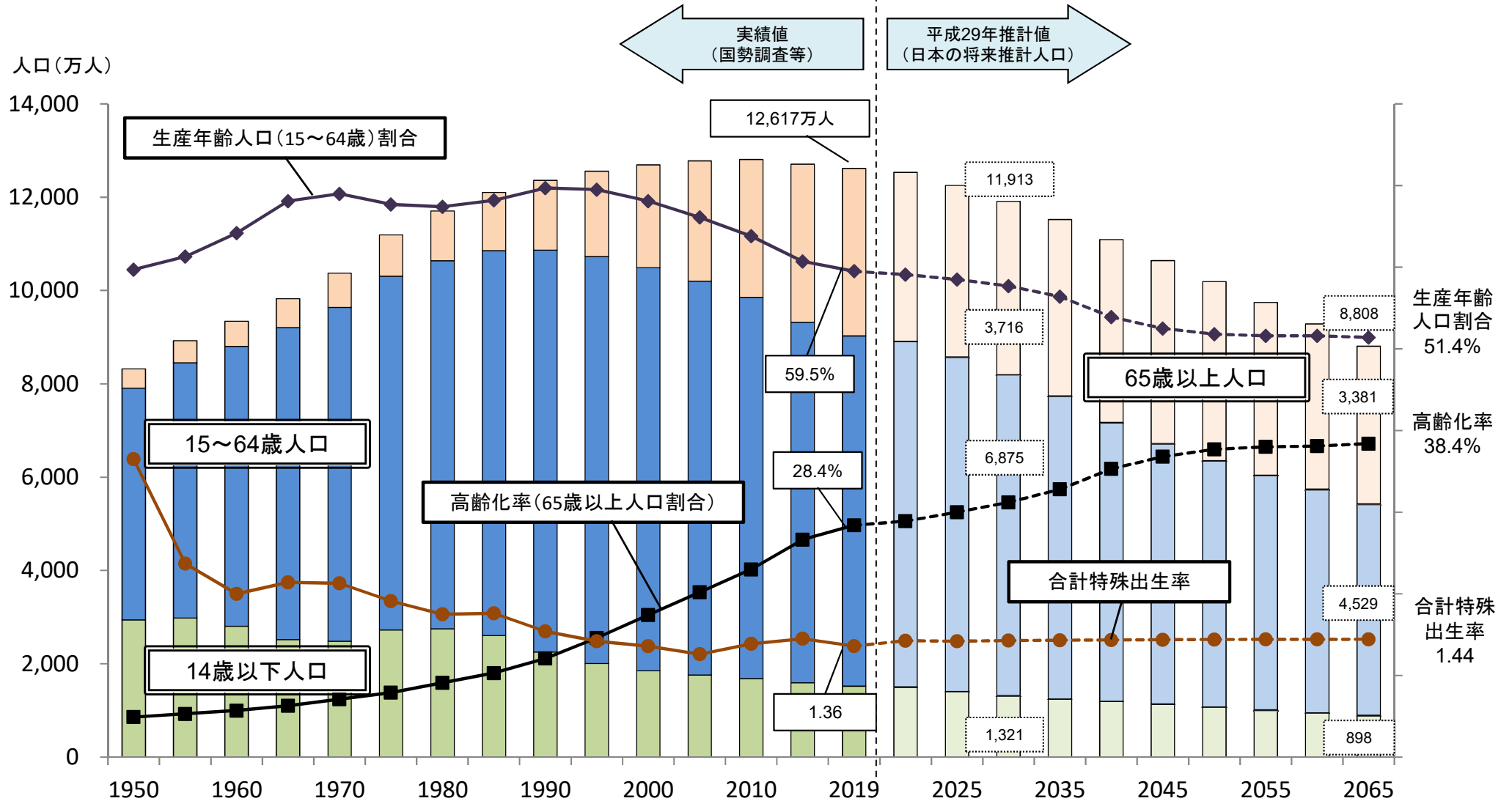
※ 『「第2期復興・創生期間」以降における東日本大震災からの復興の基本方針』(令和3年3月9日閣議決定)において、「被保険者間の公平性等の観点から、避難指示解除の状況も踏まえ、適切な周知期間を設けつつ、激変緩和措置を講じながら、適切な見直しを行う」こととされており、これを踏まえ、見直しの内容等について検討する。

診療報酬改定の基本方針 参考資料

医療を取り巻く状況

日本の人口の推移

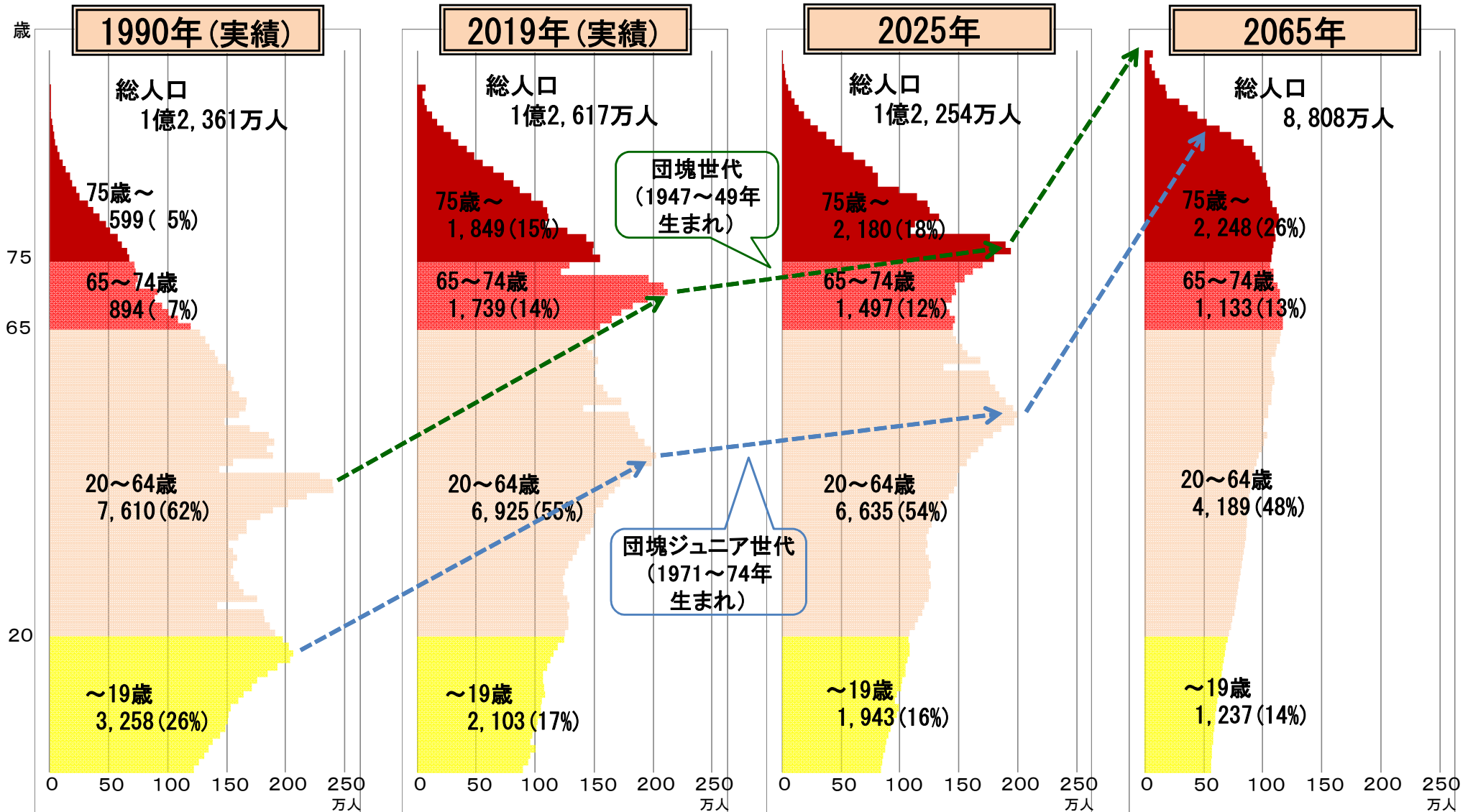
○ 日本の人口は近年減少局面を迎えている。2065年には総人口が9,000万人を割り込み、高齢化率は38%台の水準になると推計されている。



(出所) 2019年までの人口は総務省「人口推計」(各年10月1日現在)、高齢化率および生産年齢人口割合は、2019年は総務省「人口推計」、それ以外は総務省「国勢調査」
 2019年までの合計特殊出生率は厚生労働省「人口動態統計」、
 2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計):出生中位・死亡中位推計」

日本の人口ピラミッドの変化

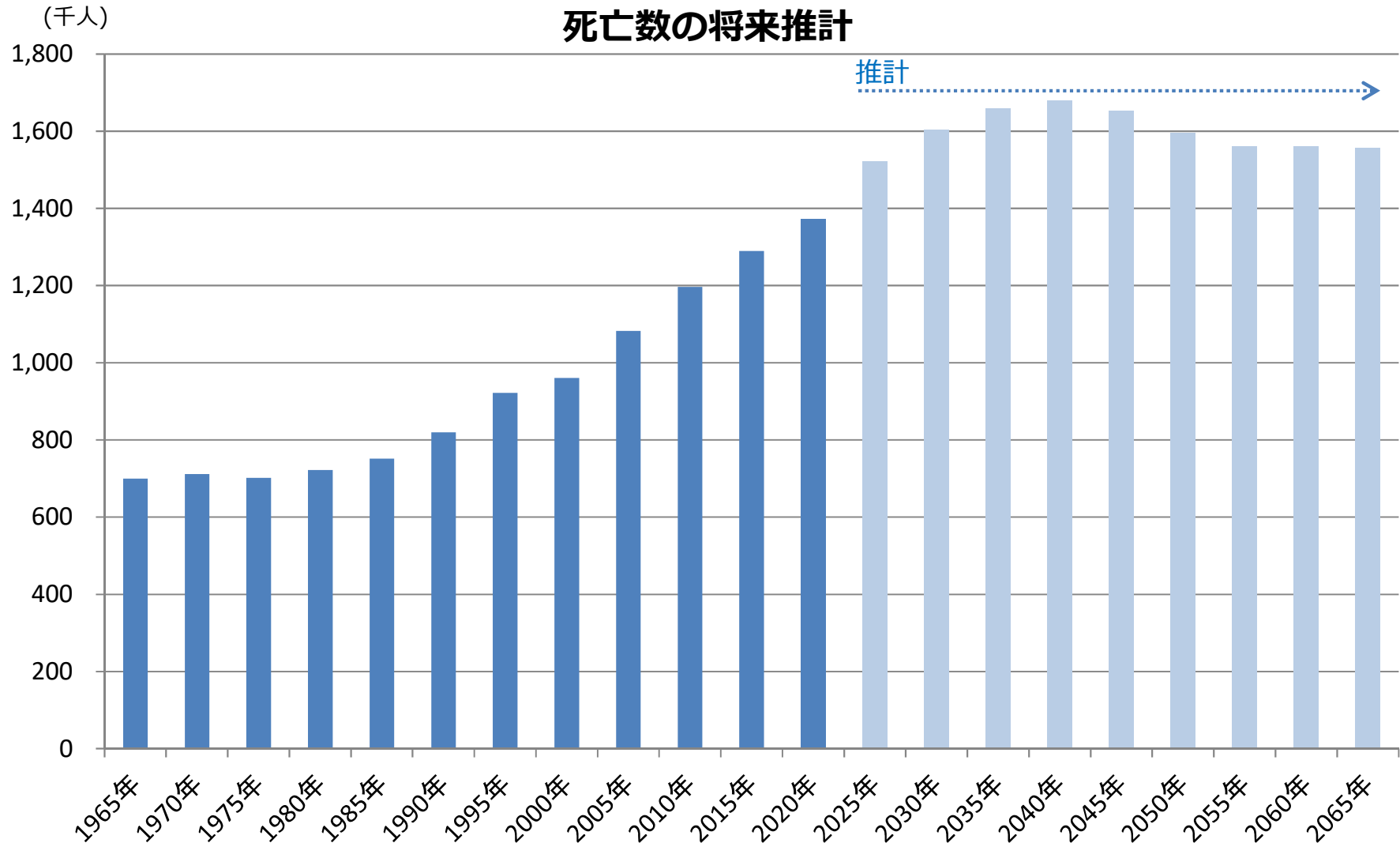
- 団塊の世代が全て75歳となる2025年には、75歳以上が全人口の18%となる。
- 2065年には、人口は8,808万人にまで減少するが、一方で、65歳以上は全人口の約38%となる。



(出所) 総務省「国勢調査(年齢不詳をあん分した人口)」及び「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計):出生中位・死亡中位推計」

死亡数の将来推計

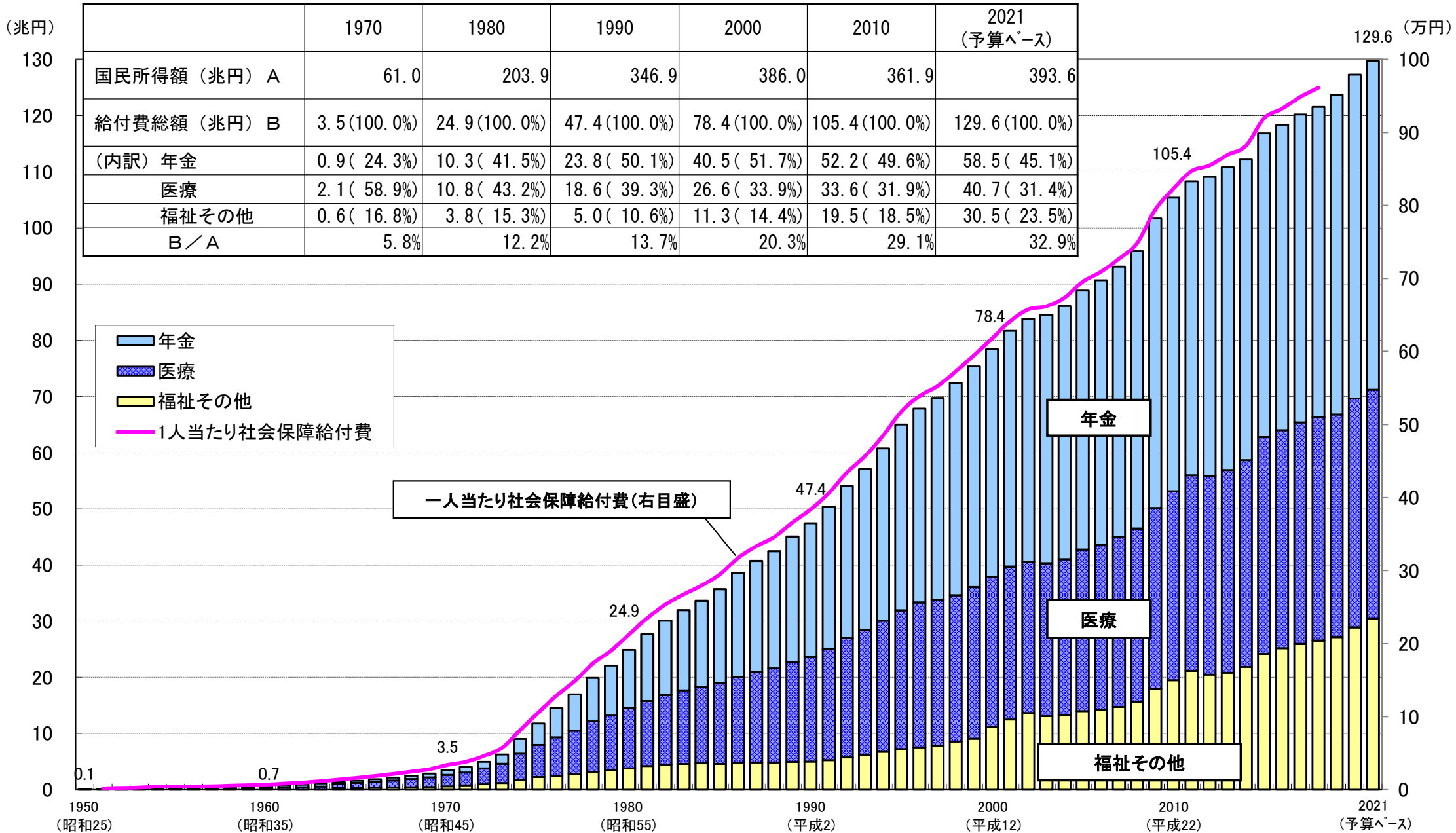
○ 今後も、年間の死亡数は増加傾向を示すことが予想され、最も年間死亡数の多い2040年と2015年では約39万人/年の差が推計されている。



出典：2020年以前は厚生労働省「人口動態統計」による死亡数（日本人）

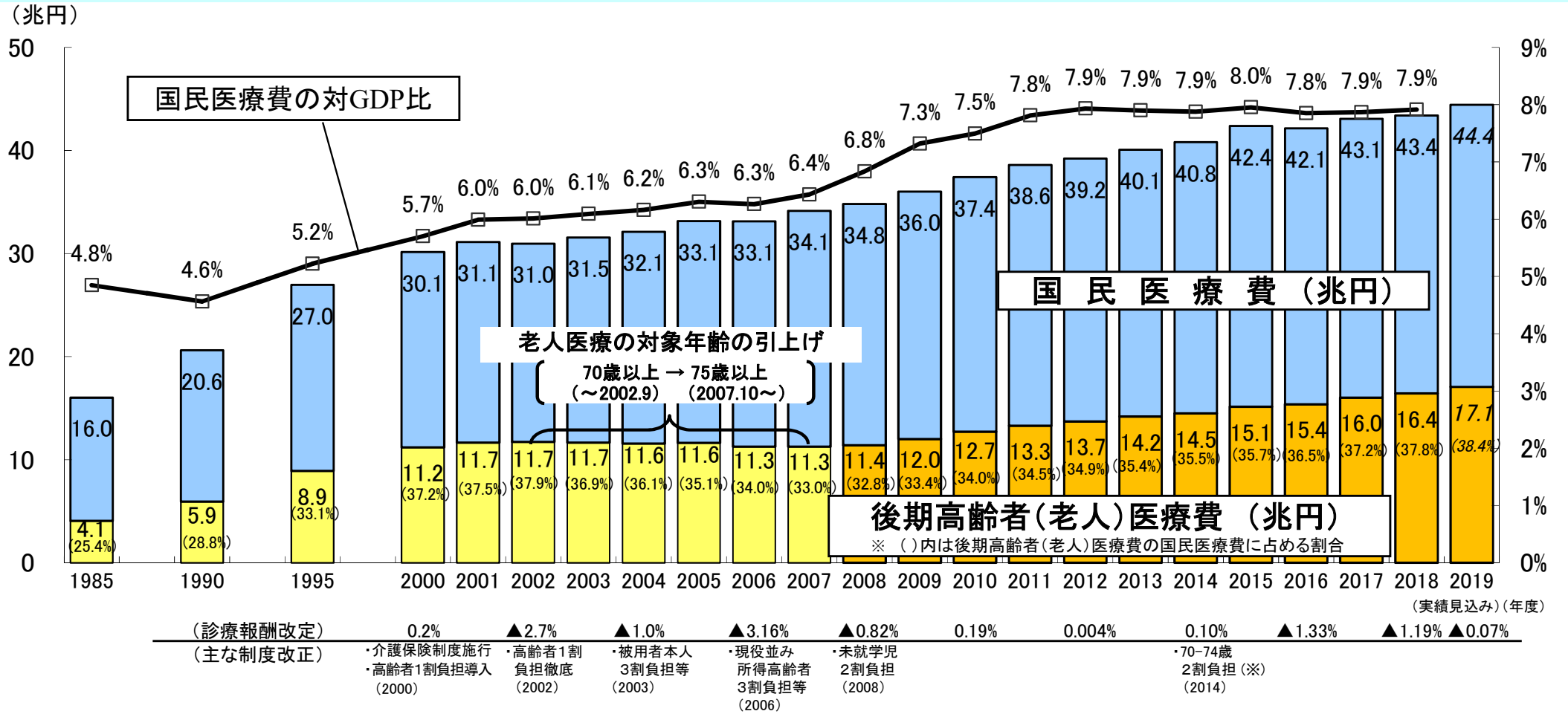
2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年4月推計）」の死亡中位仮定による推計結果

社会保障給付費の推移



資料：国立社会保障・人口問題研究所「平成30年度社会保障費用統計」、2019～2021年度(予算ベース)は厚生労働省推計、
 2021年度の国民所得額は「令和3年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度(令和3年1月18日閣議決定)」
 (注) 図中の数値は、1950,1960,1970,1980,1990,2000及び2010並びに2021年度(予算ベース)の社会保障給付費(兆円)である。

医療費の動向



<対前年度伸び率>

| | 1985 | 1990 | 1995 | 2000 | 2001 | 2002 | 2003 | 2004 | 2005 | 2006 | 2007 | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 |
|--------------|-------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| | (S60) | (H2) | (H7) | (H12) | (H13) | (H14) | (H15) | (H16) | (H17) | (H18) | (H19) | (H20) | (H21) | (H22) | (H23) | (H24) | (H25) | (H26) | (H27) | (H28) | (H29) | (H30) | (R1) |
| 国民医療費 | 6.1 | 4.5 | 4.5 | ▲1.8 | 3.2 | ▲0.5 | 1.9 | 1.8 | 3.2 | ▲0.0 | 3.0 | 2.0 | 3.4 | 3.9 | 3.1 | 1.6 | 2.2 | 1.9 | 3.8 | ▲0.5 | 2.2 | 0.8 | 2.4 |
| 後期高齢者(老人)医療費 | 12.7 | 6.6 | 9.3 | ▲5.1 | 4.1 | 0.6 | ▲0.7 | ▲0.7 | 0.6 | ▲3.3 | 0.1 | 1.2 | 5.2 | 5.9 | 4.5 | 3.0 | 3.6 | 2.1 | 4.4 | 1.6 | 4.2 | 2.5 | 3.9 |
| GDP | 7.2 | 8.6 | 2.7 | 1.2 | ▲1.8 | ▲0.8 | 0.6 | 0.7 | 0.8 | 0.6 | 0.4 | ▲4.0 | ▲3.4 | 1.5 | ▲1.1 | 0.1 | 2.6 | 2.2 | 2.8 | 0.8 | 2.0 | 0.1 | — |

注1 GDPは内閣府発表の国民経済計算による。

注2 2019年度の国民医療費(及び後期高齢者医療費。以下同じ。)は実績見込みである。2019年度分は、2018年度の国民医療費に2019年度の概算医療費の伸び率(上表の斜字体)を乗じることによって推計している。

(※)70-74歳の者の一部負担金割合の予算凍結措置解除(1割→2割)。2014年4月以降新たに70歳に達した者から2割とし、同年3月までに70歳に達した者は1割に据え置く。

令和2年度診療報酬改定まで

平成26年度診療報酬改定の基本方針のポイント

平成25年12月6日

社会保障審議会医療保険部会

社会保障審議会医療部会

基本認識

- 入院医療・外来医療を含めた医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実等に取り組み、医療提供体制の再構築、地域包括ケアシステムの構築を図る。

重点課題

- 医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実等
入院医療・外来医療を含めた医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実 等

改定の視点

- 充実が求められる分野を適切に評価していく視点
がん医療の推進、精神疾患に対する医療の推進 等
- 患者等から見て分かりやすく納得でき、安心・安全で質の高い医療を実現する視点
医療安全対策の推進等、患者データの提出 等
- 医療従事者の負担を軽減する視点
医療従事者の負担軽減の取組、救急外来の機能分化の推進、 等
- 効率化余地がある分野を適正化する視点
後発医薬品の使用促進 等

将来に向けた課題

超少子高齢社会の医療ニーズに合わせた医療提供体制の再構築、地域包括ケアシステムの構築については、直ちに完成するものではなく、平成26年度診療報酬改定以降も、引き続き、2025(平成37)年に向けて、質の高い医療が提供される診療報酬体系の在り方の検討も含め、医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実等に取り組んでいく必要がある。

平成26年度診療報酬改定の重点課題と対応

重点課題

社会保障審議会の「基本方針」

・医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実等



重点課題への対応

重点課題 医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実等

1. 入院医療について

- ① 高度急性期と一般急性期を担う病床の機能の明確化とそれらの機能に合わせた評価
- ② 長期療養患者の受け皿の確保、急性期病床と長期療養を担う病床の機能分化
- ③ 急性期後・回復期の病床の充実と機能に応じた評価
- ④ 地域の実情に配慮した評価
- ⑤ 有床診療所における入院医療の評価

2. 外来医療の機能分化・連携の推進について

- ① 主治医機能の評価
- ② 紹介率・逆紹介率の低い大病院における処方料等の適正化

3. 在宅医療を担う医療機関の確保と質の高い在宅医療の推進について

4. 医療機関相互の連携や医療・介護の連携の評価について

28年度診療報酬改定の基本的考え方

- 26年度診療報酬改定の結果、「病床の機能分化・連携」は進展。今後、さらに推進を図る必要。「外来医療・在宅医療」については、「かかりつけ医機能」の一層の強化を図ることが必要。
- また、後発医薬品については、格段の使用促進や価格適正化に取り組むことが必要。
- こうした26年度改定の結果検証を踏まえ、28年度診療報酬改定について、以下の基本的視点をもって臨む。

改定の基本的視点

**「病床の機能分化・連携」や「かかりつけ医機能」等の充実を図りつつ、「イノベーション」、「アウトカム」等を重視。
⇒ 地域で暮らす国民を中心とした、質が高く効率的な医療を実現。**

視点1

「地域包括ケアシステム」の推進と、「病床の機能分化・連携」を含む医療機能の分化・強化・連携を一層進めること

- 「病床の機能分化・連携」の促進
- 多職種の活用による「チーム医療の評価」、「勤務環境の改善」
- 質の高い「在宅医療・訪問看護」の確保 等

視点2

「かかりつけ医等」のさらなる推進など、患者にとって安心・安全な医療を実現すること

- かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師・薬局の評価 等

視点3

重点的な対応が求められる医療分野を充実すること

- 緩和ケアを含む質の高いがん医療の評価
- 認知症患者への適切な医療の評価
- イノベーションや医療技術の評価 等

視点4

効率化・適正化を通じて制度の持続可能性を高めること

- 後発医薬品の価格算定ルールの見直し
- 大型門前薬局の評価の適正化
- 費用対効果評価(アウトカム評価)の試行導入 等

平成28年度診療報酬改定の概要

I 地域包括ケアシステムの推進と医療機能の分化・強化、連携に関する視点

- 医療機能に応じた入院医療の評価(p.6)
- チーム医療の推進、勤務環境の改善、業務効率化の取組等を通じた医療従事者の負担軽減・人材確保(p.28)
- 地域包括ケアシステム推進のための取組の強化(p.39)
- 質の高い在宅医療・訪問看護の確保(p.54)
- 医療保険制度改革法も踏まえた外来医療の機能分化(p.74)

II 患者にとって安心・安全で納得できる効果的・効率的で質が高い医療を実現する視点

- かかりつけ医の評価、かかりつけ歯科医の評価、かかりつけ薬剤師・薬局の評価
- 情報通信技術(ICT)を活用した医療連携や医療に関するデータの収集・利活用の推進(p.76)
- 質の高いリハビリテーションの評価等、患者の早期の機能回復の推進(p.81)
- 明細書無料発行の推進(p.95)

III 重点的な対応が求められる医療分野を充実する視点

- 緩和ケアを含む質の高いがん医療の評価(p.97)
- 「認知症施策推進総合戦略」を踏まえた認知症患者への適切な医療の評価(p.101)
- 地域移行・地域生活支援の充実を含めた質の高い精神医療の評価(p.106)
- 難病法の施行を踏まえた難病患者への適切な医療の評価(p.116)
- 小児医療、周産期医療の充実、高齢者の増加を踏まえた救急医療の充実(p.119)
- 口腔疾患の重症化予防・口腔機能低下への対応、生活の質に配慮した医療の推進
- かかりつけ薬剤師・薬局による薬学管理や在宅医療等への貢献度による評価・適正化
- 医薬品、医療機器、検査等におけるイノベーションや医療技術の適切な評価(p.126)
- DPCに基づく急性期医療の適切な評価(p.171)

IV 効率化・適正化を通じて制度の持続可能性を高める視点

- 後発医薬品の使用促進・価格適正化、長期収載品の評価の仕組みの検討(p.153)
- 退院支援等の取組による在宅復帰の推進
- 残薬や重複投薬、不適切な多剤投薬・長期投薬を減らすための取組など医薬品の適正使用の推進(p.157)
- 患者本位の医薬分業を実現するための調剤報酬の見直し
- 重症化予防の取組の推進(p.161)
- 医薬品、医療機器、検査等の適正な評価(p.165)

平成30年度診療報酬改定の基本方針(概要)

改定に当たっての基本認識

➤ 人生100年時代を見据えた社会の実現

- ・我が国は世界最高水準の平均寿命を達成。人口の高齢化が急速に進展する中、活力ある社会の実現が必要。
- ・あらゆる世代の国民一人一人が状態に応じた安心・安全で質が高く効果的・効率的な医療を受けられるようにする必要。

➤ どこに住んでいても適切な医療・介護を安心して受けられる社会の実現（地域包括ケアシステムの構築）

- ・地域の実情に応じて、可能な限り住み慣れた地域で日常生活を営むことができるよう、地域包括ケアシステムを構築する必要。
- ・平成30年度は6年に1度の介護報酬との同時改定。医療機能の分化・強化、連携や、医療と介護の役割分担と連携を着実に進める必要。

➤ 制度の安定性・持続可能性の確保と医療・介護現場の新たな働き方の推進

- ・制度の安定性・持続可能性を確保しつつ国民皆保険を堅持するためには、国民の制度の理解を深めることが不可欠。無駄の排除、医療資源の効率的な配分、医療分野のイノベーションの評価等を通じた経済成長への貢献を図ることが必要。
- ・今後の医療ニーズの変化や生産年齢人口の減少、医療技術の進歩等を踏まえ、医療現場の人材確保や働き方改革の推進が重要。

改定の基本的視点

1 地域包括ケアシステムの構築と医療機能の分化・強化、連携の推進

- 患者の状態等に応じて質の高い医療が適切に受けられるとともに、必要に応じて介護サービスと連携・協働する等、切れ目のない医療・介護提供体制が確保されることが重要。
- 医療機能の分化・強化、連携を進め、効果的・効率的で質の高い医療提供体制を構築するとともに、地域包括ケアシステムを構築していくことが必要。

2 新しいニーズにも対応でき、安心・安全で納得できる質の高い医療の実現・充実

- 国民の安心・安全を確保する観点から、今後の医療技術の進展や疾病構造の変化等を踏まえ、第三者による評価やアウトカム評価など客観的な評価を進めながら、適切な情報に基づき患者自身が納得して主体的に医療を選択できるようにすることが重要。
- また、新たなニーズにも対応できる医療を実現するとともに、我が国の医療の中で重点的な対応が求められる分野の適切な評価が重要。

3 医療従事者の負担軽減、働き方改革の推進

- 医療従事者の厳しい勤務環境が指摘されている中、医療の安全の確保や地域医療の確保にも留意しつつ、医療従事者の負担の軽減を図り、あわせて、各々の専門性を発揮でき、柔軟な働き方ができるよう、環境の整備、働き方改革を推進することが必要。

4 効率化・適正化を通じた制度の安定性・持続可能性の向上

- 国民皆保険を維持するためには、制度の安定性・持続可能性を高める不断の取組が求められ、医療関係者が共同して、医療サービスの維持・向上と同時に、医療の効率化・適正化を図ることが必要。

令和2年度診療報酬改定の基本方針（概要）

改定に当たっての基本認識

- ▶ 健康寿命の延伸、人生100年時代に向けた「全世代型社会保障」の実現
- ▶ 患者・国民に身近な医療の実現
- ▶ どこに住んでいても適切な医療を安心して受けられる社会の実現、医師等の働き方改革の推進
- ▶ 社会保障制度の安定性・持続可能性の確保、経済・財政との調和

改定の基本的視点と具体的方向性

1 医療従事者の負担軽減、医師等の働き方改革の推進【重点課題】

【具体的方向性の例】

- ・ 医師等の長時間労働などの厳しい勤務環境を改善する取組の評価
- ・ 地域医療の確保を図る観点から早急に対応が必要な救急医療体制等の評価
- ・ 業務の効率化に資するICTの利活用の推進

3 医療機能の分化・強化、連携と地域包括ケアシステムの推進

【具体的方向性の例】

- ・ 医療機能や患者の状態に応じた入院医療の評価
- ・ 外来医療の機能分化
- ・ 質の高い在宅医療・訪問看護の確保
- ・ 地域包括ケアシステムの推進のための取組

2 患者・国民にとって身近であって、安心・安全で質の高い医療の実現

【具体的方向性の例】

- ・ かかりつけ機能の評価
- ・ 患者にとって必要な情報提供や相談支援、重症化予防の取組、治療と仕事の両立に資する取組等の推進
- ・ アウトカムにも着目した評価の推進
- ・ 重点的な対応が求められる分野の適切な評価
- ・ 口腔疾患の重症化予防、口腔機能低下への対応の充実、生活の質に配慮した歯科医療の推進
- ・ 薬局の対物業務から対人業務への構造的な転換を推進するための所要の評価の重点化と適正化、院内薬剤師業務の評価
- ・ 医療におけるICTの利活用

4 効率化・適正化を通じた制度の安定性・持続可能性の向上

【具体的方向性の例】

- ・ 後発医薬品やバイオ後続品の使用促進
- ・ 費用対効果評価制度の活用
- ・ 市場実勢価格を踏まえた適正な評価等
- ・ 医療機能や患者の状態に応じた入院医療の評価（再掲）
- ・ 外来医療の機能分化、重症化予防の取組の推進（再掲）
- ・ 医師・院内薬剤師と薬局薬剤師の協働の取組による医薬品の適正使用の推進

令和2年度診療報酬改定に係る答申書附帯意見

(全般的事項)

1 近年、診療報酬体系が複雑化していることを踏まえ、患者をはじめとする関係者にとって分かりやすいものとなるよう検討すること。

(働き方改革)

2 医師・医療従事者の働き方改革を推進し、地域医療を確保するための取組に係る今回改定での対応について、その効果等を検証・調査するとともに、適切な評価の在り方について引き続き検討すること。

(入院医療)

- 3 一般病棟入院基本料、療養病棟入院基本料等の入院基本料や、特定集中治療室管理料、地域包括ケア病棟入院料、回復期リハビリテーション病棟入院料等の特定入院料に係る、入院患者のより適切な評価指標や測定方法等について、引き続き検討すること。
- 4 救急医療管理加算の見直しの影響を調査・検証し、患者の重症度等に応じた救急医療の適切な評価の在り方について引き続き検討すること。

(DPC/PDPS)

5 急性期の医療の標準化をすすめるため、病院ごとの診療実態を把握するとともに、医療資源投入量等の指標とその活用方法について引き続き検討すること。

(かかりつけ機能、精神医療、生活習慣病等)

- 6 かかりつけ医機能を有する医療機関との連携の評価の新設等の影響を調査・検証すること。また、かかりつけ医機能を有する医療機関と専門医療機関との機能分化・連携強化に資する評価の在り方について引き続き検討すること。
- 7 地域における質の高い在宅医療と訪問看護の提供体制の確保に資する評価の在り方について、引き続き検討すること。
- 8 妊産婦に対する診療の適切な評価について引き続き検討すること。
- 9 地域移行・地域生活支援の充実を含む質の高い精神医療の評価について引き続き検討すること。
- 10 依存症に対する管理料等の評価の見直しの影響を調査・検証し、適切な評価の在り方について引き続き検討すること。
- 11 オンライン診療料の見直しや、オンライン服薬指導の評価の新設に係る影響を調査・検証し、ICTを活用した診療や薬学的管理等の評価の在り方について引き続き検討すること。

令和2年度診療報酬改定に係る答申書附帯意見

(医薬品の適正使用)

- 12 重複投薬、ポリファーマシー及び残薬等への対応に関して、影響を調査・検証し、引き続き検討すること。
- 13 AMRアクションプランの進捗状況及び抗微生物薬適正使用の手引きの見直し状況等を踏まえ、外来における抗菌薬の処方状況等について把握・分析し、抗菌薬の適正使用のための新たな方策を講ずる等抗菌薬の使用量の更なる削減を推進すること。
- 14 病院内における医学的妥当性や経済性の視点も踏まえた処方の取組について、院内における実施体制や実施方法等の実態把握や分析等を進めること。

(歯科診療報酬)

- 15 院内感染防止対策に係る初診料・再診料の見直しの影響を把握し、院内感染防止対策の推進に資する評価の在り方について引き続き検討すること。
- 16 口腔疾患の長期的な管理を含めた継続的管理の実施状況等を調査・検証するとともに、診診連携及び病診連携の在り方等について引き続き検討すること。

(調剤報酬)

- 17 調剤基本料、調剤料及び薬学管理料の評価の見直しによる影響や、かかりつけ薬剤師・薬局の取組状況を調査・検証し、薬局の地域におけるかかりつけ機能に応じた適切な評価、対物業務から対人業務への構造的な転換を推進するための調剤報酬の在り方について引き続き検討すること。

(後発医薬品の使用促進)

- 18 バイオ後続品を含む後発医薬品使用の更なる推進のために、医療機関や薬局における使用状況を調査・検証し、薬価の在り方や診療報酬における更なる使用促進策について引き続き検討すること。

(医療技術の評価)

- 19 医療技術の高度化や専門化に対応して、費用対効果の観点を踏まえつつ、イノベーションの評価等がより適切となるよう引き続き検討すること。

(その他)

- 20 医療機関と関係機関との連携の下で提供される医療について、その実態に応じた報酬の在り方について引き続き検討すること。

○ 次期診療報酬改定に向けては、中医協総会において令和3年7月より「次期改定の論点等」として議論を進める予定としているところ、以下のテーマごとに論点整理を進め、9月を目途に「意見の整理」をまとめていくこととしたい。

【主なテーマ（予定）】

- コロナ・感染症対応（その1）
- 外来（その1）
- 入院（その1）
- 在宅（その1）
- 歯科（その1）
- 調剤（その1）
- 個別事項（その1）
 - 働き方改革の推進
 - 不妊治療の保険適用
 - 医薬品の適切な使用の推進
 - 歯科用貴金属の随時改定

令和3年度 閣議決定

経済財政運営と改革の基本方針2021(令和3年6月18日 閣議決定) (主な箇所抜粋)①

第1章 新型コロナウイルス感染症の克服とポストコロナの経済社会のビジョン

4. 感染症の克服と経済の好循環に向けた取組

(1) 感染症に対し強靱で安心できる経済社会の構築

感染症への対応に当たっては、社会経済活動を継続しつつ感染拡大を防止し、重症者・死亡者の発生を可能な限り抑制することを基本に対策を徹底する。感染症対応の医療提供体制を強化し、相談・受診・検査～療養先調整・移送～転退院・解除まで一連の対応が目詰まりなく行われ、病床・宿泊療養施設が最大限活用される流れを確保する。

緊急時対応をより強力な体制と司令塔の下で推進する。今後、感染が短期間で急増するような事態が生じた場合、昨冬の2倍程度等を想定した患者数に対応可能な体制に緊急的に切り替える。また、感染症患者を受け入れる医療機関に対し、減収への対応を含めた経営上の支援や病床確保・設備整備等のための支援について、診療報酬や補助金・交付金による今後の対応の在り方を検討し、引き続き実施する。都道府県の要請に基づき、公立・公的、民間病院の病床を活用できる仕組みや都道府県を超えて患者に対応できる仕組みを構築する。

各地域の病床の効率的な運用を促すため、医療機能※1に応じた役割分担の徹底や補助も活用した医師等派遣、地域の実情に応じた転院支援等を進める。G-MIS※2により、重症度別の空床状況や人工呼吸器等の保有・稼働状況、人材募集状況等を一元的に把握し、迅速な患者の受入調整等に活用するほか、地域別や機能別、開設種別の病床稼働率など医療提供体制の進捗管理・見える化を徹底する。

※1重症、中等症、回復患者、宿泊療養・自宅療養 ※2医療機関等情報支援システム

第2章 次なる時代をリードする新たな成長の源泉～4つの原動力と基盤づくり～

4. 少子化の克服、子供を産み育てやすい社会の実現

(1) 結婚・出産の希望を叶え子育てしやすい社会の実現

賃上げや正規・非正規の格差是正など少子化の背景として指摘される雇用環境の改善に取り組むとともに、社会全体で男性が育児休業を取得しやすい環境の整備を進める。結婚支援、不妊治療への保険適用、出産費用の実態を踏まえた出産育児一時金の増額に向けた検討、産後ケア事業の推進、「新子育て安心プラン」及び「新・放課後子ども総合プラン」の着実な実施、病児保育サービスの推進、地域での子育て相互援助の推進、子育てサービスの多様化の推進・情報の一元的提供、虐待や貧困など様々な課題に対応する包括的な子育て家庭支援体制、ひとり親世帯など困難を抱えた世帯に対する支援、育児休業の取得の促進を含めた改正育児介護休業法の円滑な施行、児童手当法等改正法附則に基づく児童手当の在り方の検討などに取り組む。

第2章 次なる時代をリードする新たな成長の源泉～4つの原動力と基盤づくり～

5. 4つの原動力を支える基盤づくり

(4) セーフティネット強化、孤独・孤立対策等

孤独・孤立対策については、電話・SNS相談の24時間対応の推進や人材育成等の支援、居場所の確保、アウトリーチ型支援体制の構築、支援情報が網羅されたポータルサイトの構築、タイムリーな情報発信、いわゆる「社会的処方」※の活用、支援を求める声を上げやすい社会の構築、孤独・孤立の実態把握の全国調査とPDCAの取組を推進する。これらを含め、関連する分野・施策との連携に留意しつつ、孤独・孤立対策の重点計画を年内に取りまとめ、安定的・継続的に支援する。

※かかりつけ医等が患者の社会生活面の課題にも目を向け、地域資源と連携する取組。

第3章 感染症で顕在化した課題等を克服する経済・財政一体改革

2. 社会保障改革

今般の感染症対応での経験を踏まえ、国内で患者数が次に大幅に増えたときに備えるため、また、新たな新興感染症の拡大にも対応するため、平時と緊急時で医療提供体制を迅速かつ柔軟に切り替える仕組みの構築が不可欠である。このため、症状に応じた感染症患者の受入医療機関の選定、感染症対応とそれ以外の医療の地域における役割分担の明確化、医療専門職人材の確保・集約などについて、できるだけ早期に対応する。

あわせて、今般の感染症対応の検証や救急医療・高度医療の確保の観点も踏まえつつ、地域医療連携推進法人制度の活用等による病院の連携強化や機能強化・集約化の促進などを通じた将来の医療需要に沿った病床機能の分化・連携などにより地域医療構想を推進するとともに、かかりつけ医機能の強化・普及等による医療機関の機能分化・連携の推進、更なる包括払いの在り方の検討も含めた医療提供体制の改革につながる診療報酬の見直し、診療所も含む外来機能の明確化・分化の推進、実効的なタスク・シフティングや看護師登録制の実効性確保並びに潜在看護師の復職に係る課題分析及び解消、医学部などの大学における医療人材養成課程の見直しや医師偏在対策の推進などにより、質が高く効率的で持続可能な医療提供体制の整備を進める。オンライン診療を幅広く適正に活用するため、初診からの実施は原則かかりつけ医によるとしつつ、事前に患者の状態が把握できる場合にも認める方向で具体案を検討する。

経済財政運営と改革の基本方針2021(令和3年6月18日 閣議決定) (主な箇所抜粋)③

(1) 感染症を機に進める新たな仕組みの構築 の続き

また、引き続き、地域の産科医療施設の存続など安心・安全な産科医療の確保及び移植医療を推進するとともに、希少疾病である難病の対策を充実する。

加えて、現在限られたがん種において保険適用とされている粒子線治療の推進については、有効性・安全性などのエビデンスを踏まえた検討を進めるとともに、装置の小型化・低コスト化の潮流を踏まえ、病院の特徴や規模など、地域の状況に十分配慮した上で、診療の質や患者のアクセスの向上を図るため、具体的な対応策を検討する。

コロナ禍で新たな健康課題が生じていることを踏まえ、重症化予防のため「上手な医療のかかり方」の普及啓発を引き続き行うほか、保険者努力支援制度等に基づく予防・重症化予防・健康づくりへの支援を推進する。また、がん、循環器病及び腎臓病について、感染拡大による診療や受療行動の変化の実態を把握するとともに、健診・検診の受診控え等に関する調査の結果を踏まえ、新しい生活様式に対応した予防・重症化予防・健康づくりを検討する。

予防・重症化予防・健康づくりサービスの産業化に向けて、包括的な民間委託の活用や新たな血液検査等の新技術の積極的な効果検証等が推進されるよう、保険者が策定するデータヘルス計画の手引の改定等を検討する。また、同計画の標準化の進展にあたり、アウトカムベースでの適切なKPIの設定を推進する。革新的な医薬品におけるイノベーションの評価の観点及びそれ以外の長期収載品等の医薬品について評価の適正化を行う観点から薬価算定基準の見直しを透明性・予見性の確保にも留意しつつ図るとともに、OTC類似医薬品等の既収載の医薬品の保険給付範囲について引き続き見直しを図る。感染症を踏まえた診療報酬上の特例措置の効果を検証するとともに、感染症患者を受け入れる医療機関に対し、減収への対応を含めた経営上の支援や病床確保・設備整備等のための支援について、診療報酬や補助金・交付金による今後の対応の在り方を検討し、引き続き実施する。後発医薬品の品質及び安定供給の信頼性の確保、新目標についての検証、保険者の適正化の取組にも資する医療機関等の別の使用割合を含む実施状況の見える化を早期に実施し、バイオシミラーの医療費適正化効果を踏まえた目標設定の検討、新目標との関係を踏まえた後発医薬品調剤体制加算等の見直しの検討、フォーミュラリ※の活用等、更なる使用促進を図る。かかりつけ薬剤師・薬局の普及を進めるとともに、多剤・重複投薬への取組を強化する。症状が安定している患者について、医師及び薬剤師の適切な連携により、医療機関に行かずとも、一定期間内に処方箋を反復利用できる方策を検討し、患者の通院負担を軽減する。

サプライチェーンの実態を把握し、平時からの備えと非常時の買い上げの導入など、緊急時の医薬品等の供給体制の確立を図る。緊急時の薬事承認の在り方について検討する。

※一般的に、「医療機関等において医学的妥当性や経済性等を踏まえて作成された医薬品の使用方針（複数の治療薬がある慢性疾患において後発品を第一優先とする等）」を意味する。

経済財政運営と改革の基本方針2021(令和3年6月18日 閣議決定) (主な箇所抜粋)④

(1) 感染症を機に進める新たな仕組みの構築 の続き

医療・特定健診等の情報を全国の医療機関等で確認できる仕組みや民間PHRサービスの利活用も含めた自身で閲覧・活用できる仕組みについて、2022年度までに、集中的な取り組みを進めることや、医療機関・介護事業所における情報共有とそのための電子カルテ情報や介護情報の標準化の推進、医療情報の保護と利活用に関する法制度の在り方の検討、画像・検査情報、介護情報を含めた自身の保健医療情報を閲覧できる仕組みの整備、科学的介護・栄養の取り組みの推進、今般の感染症の自宅療養者に確実に医療が全員に提供されるよう医療情報を保健所と医療機関等との間で共有する仕組みの構築（必要な法改正を含め検討）、審査支払機関改革※の着実な推進など、データヘルス改革に関する工程表に則り、改革を着実に推進する。

※「審査支払機能に関する改革工程表」（2021年3月31日厚生労働省・社会保険診療報酬支払基金・国民健康保険中央会）等に基づく審査支払機関の改革。

日米首脳共同声明に基づく取組も視野に入れつつ、全ゲノム解析等実行計画及びロードマップ2021を患者起点・患者還元原則の下、着実に推進し、これまで治療法がなかった患者に新たな個別化医療を提供するとともに、産官学の関係者が幅広く分析・活用できる体制整備を進める。プログラム医療機器の開発・実用化を促進する。患者の治験情報アクセス向上のためデータベースの充実を推進する。

医療法人の事業報告書等をアップロードで届出・公表する全国的な電子開示システムを早急に整え、感染症による医療機関への影響等を早期に分析できる体制を構築する。同様に、介護サービス事業者についても、事業報告書等のアップロードによる取扱いも含めた届出・公表を義務化し、分析できる体制を構築する。レセプトシステム（NDB）の充実、G-MISの今般の感染症対策以外の長期的な活用、COCOAの安定的な運営等について、デジタル庁の統括・監理の下、デジタル化による効率化、利便性の向上を図る。あわせて、医療・介護データとの連携や迅速な分析の環境の整備を図る。

全身との関連性を含む口腔の健康の重要性に係るエビデンスの国民への適切な情報提供、生涯を通じた切れ目のない歯科健診、オーラルフレイル対策・疾病の重症化予防にもつながる歯科医師、歯科衛生士による歯科口腔保健の充実、歯科医療専門職間、医科歯科、介護、障害福祉機関等との連携を推進し、歯科衛生士・歯科技工士の人材確保、飛沫感染等の防止を含め歯科保健医療提供体制の構築と強化に取り組む。今後、要介護高齢者等の受診困難者の増加を視野に入れた歯科におけるICTの活用を推進する。

また、感染症による不安やうつ等も含めたメンタルヘルスへの対応を推進する。

第3章 感染症で顕在化した課題等を克服する経済・財政一体改革

2. 社会保障改革

(2) 団塊の世代の後期高齢者入りを見据えた基盤強化・全世代型社会保障改革

骨太方針2020等の内容に沿って、社会保障制度の基盤強化を着実に進め、人生100年時代に対応した社会保障制度を構築し、世界に冠たる国民皆保険・皆年金の維持、そして持続可能なものとして次世代への継承を目指す。

2022年度から団塊の世代が75歳以上に入り始めることを見据え、全ての世代の方々が安心できる持続可能な全世代型社会保障の実現に向けた取組について、その実施状況の検証を行うとともに、その取組を引き続き進める。その際、全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築する観点から、給付と負担のバランスや現役世代の負担上昇の抑制を図りつつ、保険料賦課限度額の引上げなど能力に応じた負担の在り方なども含め、医療、介護、年金、少子化対策を始めとする社会保障全般の総合的な検討を進める。こうした対応について速やかに着手する。

効率的な医療提供体制の構築や一人当たり医療費の地域差半減に向けて、地域医療構想のPDCAサイクルの強化や医療費適正化計画の在り方の見直しを行う。具体的には、前者について、地域医療構想調整会議における協議を促進するため、関係行政機関に資料・データ提供等の協力を求めるなど環境整備を行うとともに、都道府県における提供体制整備の達成状況の公表や未達成の場合の都道府県の責務の明確化を行う。また、後者について、都道府県が策定する都道府県医療費適正化計画（以下「都道府県計画」という。）における医療に要する費用の見込み（以下「医療費の見込み」という。）については、定期改訂や制度別区分などの精緻化を図りつつ、各制度における保険料率設定の医療費見通しや財政運営の見通しとの整合性の法制的担保を行い、医療費の見込みを医療費が著しく上回る場合の対応の在り方など都道府県の役割や責務の明確化を行う。

第3章 感染症で顕在化した課題等を克服する経済・財政一体改革 2. 社会保障改革

(2) 団塊の世代の後期高齢者入りを見据えた基盤強化・全世代型社会保障改革 の続き
また、医療費の見込みについて、取組指標を踏まえた医療費を目標として代替可能であることを明確化するとともに、適正な医療を地域に広げるために適切な課題把握と取組指標の設定や、取組指標を踏まえた医療費の目標設定を行っている先進的な都道府県の優良事例についての横展開を図る。都道府県計画において「医療の効率的な提供の推進」に係る目標及び「病床の機能の分化及び連携の推進」を必須事項とするとともに、都道府県国保運営方針においても「医療費適正化の取組に関する事項」を必須事項とすることにより、医療費適正化を推進する。あわせて保険者協議会を必置とするとともに、都道府県計画への関与を強化し、国による運営支援を行う。審査支払機関の業務運営の基本理念や目的等へ医療費適正化を明記する。これらの医療費適正化計画の在り方の見直し等について、2024年度から始まる第4期医療費適正化計画期間に対応する都道府県計画の策定に間に合うよう、必要な法制上の措置を講ずる。国保財政を健全化する観点から、法定外繰入等の早期解消を促すとともに、普通調整交付金の配分の在り方について、引き続き地方団体等と議論を継続する。中長期的課題として、都道府県のガバナンスを強化する観点から、現在広域連合による事務処理が行われている後期高齢者医療制度の在り方、生活保護受給者の国保及び後期高齢者医療制度への加入を含めた医療扶助の在り方の検討を深める。

成長戦略実行計画

第13章 重要分野における取組 2. 医薬品産業の成長戦略

(略)

革新的新薬を創出する製薬企業が成長できるイノベーション環境を整備するため、研究開発支援の強化、創薬ベンチャーの支援、国際共同治験の推進、国内バイオ医薬品産業の強化、全ゲノム解析等実行計画及びこれに基づくロードマップの推進と産官学の関係者が幅広く分析・活用できる体制の構築、医療情報を利活用しやすい環境整備、薬価制度における新薬のイノベーションの評価や長期収載品等の評価の在り方の検討、感染症に対するデータバンクの整備、臨床研究法に基づく研究手続の合理化等に向けた法改正を含めた検討、製薬企業の集約化の支援等を進める。

医療上必要不可欠であり、幅広く使用され、安定確保について特に配慮が必要である医薬品のうち優先度の高いものについては、継続的な安定供給を国民全体で支える観点から、薬価の設定や抗菌薬等の安定確保が必要な医薬品の原料等の国内での製造支援、備蓄制度、非常時の買い上げの導入などを検討する。

(略)

バイオシミラー（国内で承認されたバイオ医薬品と同等の品質等を有する医薬品）の開発・利用を促進するため、今後の政府目標について速やかに結論を得る。バイオシミラーの利用を促進するための具体的な方策について検討する。

(略)

コロナ禍で新たな健康課題が生じていることを踏まえ、保険者努力支援制度や介護保険の保険者機能強化推進交付金等に基づく予防・重症化予防・健康づくりへの支援を推進する。

予防・重症化予防・健康づくりの健康増進効果等に関するエビデンスを確認・蓄積するための実証事業の結果を踏まえて、特定健診・特定保健指導の見直しなど、保険者や地方公共団体等の予防健康事業における活用につなげる。

データヘルス改革を推進し、個人の健康医療情報の利活用に向けた環境整備等を進める。また、レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）の充実や研究利用の際の利便性の向上を図る。

規制改革実施計画（令和3年6月18日 閣議決定）（主な箇所抜粋①）

Ⅱ 分野別実施事項 2. デジタル時代に向けた規制の見直し

(16)最先端の医療機器の開発・導入の促進

| No. | 事項名 | 規制改革の内容 | 実施時期 |
|-----|-------------------|---|-----------------|
| 30 | 最先端の医療機器の開発・導入の促進 | <p>a～f（略）</p> <p>g 診療報酬上の技術料等の算定におけるプログラム医療機器の評価については、医療従事者の働き方改革等の視点を含めて、当該プログラム医療機器を活用して患者に対して提供される医療の質の確保・向上に係る評価の考え方を明確化する。</p> <p>h プログラム医療機器を使用した医療技術について、先進医療として保険外併用療養費制度の活用が可能であることを周知するとともに、選定療養の枠組みの適用についても検討する。</p> <p>i～k（略）</p> | g,h: 令和3年度検討・結論 |

規制改革実施計画（令和3年6月18日 閣議決定）（主な箇所抜粋②）

II 分野別実施事項 2. デジタル時代に向けた規制の見直し

(18)オンライン診療・オンライン服薬指導の特例措置の恒久化

(19)健康保険証の直接交付

| No. | 事項名 | 規制改革の内容 | 実施時期 |
|-----|----------------------------|--|--|
| 34 | オンライン診療・オンライン服薬指導の特例措置の恒久化 | <p>a オンライン診療・服薬指導については、新型コロナウイルス感染症が収束するまでの間、現在の時限的措置を着実に実施する。</p> <p>b 医療提供体制におけるオンライン診療の果たす役割を明確にし、オンライン診療の適正な実施、国民の医療へのアクセスの向上等を図るとともに、国民、医療関係者双方のオンライン診療への理解が進み、地域において、オンライン診療が幅広く適正に実施されるよう、オンライン診療の更なる活用に向けた基本方針を策定し、地域の医療関係者や関係学会の協力を得て、オンライン診療活用の好事例の展開を進める。</p> <p>c 情報通信機器を用いたオンライン診療については、初診からの実施は原則、かかりつけ医による実施（かかりつけ医以外の医師が、あらかじめ診療録、診療情報提供書、地域医療ネットワーク、健康診断結果等の情報により患者の状態が把握できる場合を含む。）とする。 健康な勤労世代等かかりつけ医がいない患者や、かかりつけ医がオンライン診療を行わない患者で上記の情報を有さない患者については、医師が、初回のオンライン診療に先立って、別に設定した患者本人とのオンラインでのやりとりの中でこれまでの患者の医療履歴や基礎疾患、現在の状況等につき、適切な情報が把握でき、医師・患者双方がオンラインでの診療が可能であると判断し、相互に合意した場合にはオンライン診療を認める方向で一定の要件を含む具体案を検討する。その上で、対面診療との関係を考慮し、診療報酬上の取扱いも含めて実施に向けた取組を進める。</p> <p>d オンライン服薬指導については、患者がオンライン診療又は訪問診療を受診した場合に限定しない。また、薬剤師の判断により初回からオンライン服薬指導することも可能とする。介護施設等に居住する患者への実施に係る制約は撤廃する。これらを踏まえ、オンライン服薬指導の診療報酬について検討する。</p> <p>e オンライン資格確認等システムを基盤とした電子処方箋システムの運用を開始するとともに、薬剤の配送における品質保持等に係る考え方を明らかにし、一貫通貫のオンライン医療の実現に向けて取り組む。</p> | <p>a: 新型コロナウイルス感染症が収束するまでの間、継続的に措置</p> <p>b～e: 令和3年度から検討開始、令和4年度から順次実施（電子処方箋システムの運用については令和4年夏目途措置）</p> |
| No. | 事項名 | 規制改革の内容 | 実施時期 |
| 35 | 健康保険証の直接交付 | <p>保険者が支障がないと認めた場合には、健康保険証を保険者から被保険者（従業員）へ直接交付することが可能となるよう、省令改正を行う。</p> | 令和3年度措置 |

全世代型社会保障改革の方針（令和2年12月15日閣議決定） ※受診時定額負担関係

第3章 医療

3. 大病院への患者集中を防ぎかかりつけ医機能の強化を図るための定額負担の拡大

第1次中間報告では、「外来受診時定額負担については、医療のあるべき姿として、病院・診療所における外来機能の明確化と地域におけるかかりつけ医機能の強化等について検討を進め、平成14年の健康保険法改正法附則第2条を堅持しつつ、大病院と中小病院・診療所の外来における機能分化、かかりつけ医の普及を推進する観点から、まずは、選定療養である現行の他の医療機関からの文書による紹介がない患者の大病院外来初診・再診時の定額負担の仕組みを大幅に拡充する」とする方向性を示したところである。

現在、特定機能病院及び一般病床200床以上の地域医療支援病院について、紹介状なしで外来受診した場合に定額負担（初診5,000円）を求めているが、医療提供体制の改革において、地域の実情に応じて明確化される「紹介患者への外来を基本とする医療機関」のうち一般病床200床以上の病院にも対象範囲を拡大する。

また、より外来機能の分化の実効性が上がるよう、保険給付の範囲から一定額（例：初診の場合、2,000円程度）を控除し、それと同額以上の定額負担を追加的に求めるよう仕組みを拡充する。

<対象範囲拡大のイメージ>

| 一般病床数 | 特定機能病院／地域医療支援病院 | その他 |
|--------|----------------------------------|-------------------------------------|
| 200床以上 | 現在の定額負担（義務）対象病院 666 (7.9%) | 紹介患者への外来を基本とする医療機関 688 (8.2%) |
| 200床未満 | 27 (0.3%) | 7,031 (83.6%) |

第4章 終わりに

現役世代への給付が少なく、給付は高齢者中心、負担は現役世代中心というこれまでの社会保障の構造を見直し、切れ目なく全ての世代を対象とするとともに、全ての世代が公平に支え合う「全世代型社会保障」の考え方は、今後とも社会保障改革の基本であるべきである。本方針を速やかに実施するとともに、今後そのフォローアップを行いつつ、持続可能な社会保障制度の確立を図るため、総合的な検討を進め、更なる改革を推進する。

不妊治療の保険適用に係る政府方針

少子化社会対策大綱（令和2年5月29日閣議決定）（抄）

（不妊治療等への支援）

○ 不妊治療に係る経済的負担の軽減等

- 不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、高額の医療費がかかる不妊治療（体外受精、顕微授精）に要する費用に対する助成を行うとともに、**適応症と効果が明らかな治療には広く医療保険の適用を検討**し、支援を拡充する。そのため、まずは2020年度に調査研究等を通じて不妊治療に関する実態把握を行うとともに、**効果的な治療に対する医療保険の適用の在り方を含め、不妊治療の経済的負担の軽減を図る方策等についての検討のための調査研究を行う**。あわせて、不妊治療における安全管理のための体制の確保が図られるようにする。

※ 全世代型社会保障検討会議 第2次中間報告（令和2年6月25日 全世代型社会保障検討会議決定）においても同様の記載あり

菅内閣の基本方針（令和2年9月16日閣議決定）（抄）

4. 少子化に対処し安心の社会保障を構築

喫緊の課題である少子化に対処し、誰もが安心できる社会保障制度を構築するため改革に取り組む。そのため、**不妊治療への保険適用を実現**し、保育サービスの拡充により、待機児童問題を終わらせて、安心して子どもを産み育てられる環境をつくる。さらに、制度の不公平・非効率を是正し、次世代に制度を引き継いでいく。

全世代型社会保障改革の方針（令和2年12月15日閣議決定）（抄）

子供を持ちたいという方々の気持ちに寄り添い、不妊治療への保険適用を早急を実現する。具体的には、令和3年度（2021年度）中に詳細を決定し、令和4年度（2022年度）当初から保険適用を実施することとし、工程表に基づき、保険適用までの作業を進める。保険適用までの間、現行の不妊治療の助成制度について、所得制限の撤廃や助成額の増額（1回30万円）等、対象拡大を前提に大幅な拡充を行い、経済的負担の軽減を図る。また、不育症の検査やがん治療に伴う不妊についても、新たな支援を行う。

<工程表>

| | 2020(R2)年度 | | | | 2021(R3)年度 | | | | 2022(R4)年度～ |
|------|-----------------------------|-------------------|---|------------------------|---------------|-----------------|-------|------------------|-------------|
| | 12 | 1 | 2 | 3 | 4～6 | 7～9 | 10～12 | 1～3 | |
| 助成金 | 現行制度 | | | | 助成金拡充 | | | | |
| 保険適用 | 12/14 ● ガイドライン検討 工程提示 | 3月末 ● 実態調査最終報告 | | 夏頃 ● 学会ガイドライン完成(予定) | | 年明け ● 中医協で議論 | | 準備期間 ● 保険適用決定 | 保険適用(R4.4～) |
| | ※厚生労働科学研究費により助成 | | | | 保険外併用の仕組みの手続き | | | | |

新型コロナウイルス感染症をはじめとする 新興感染症等に対応できる医療提供体制を 構築する視点

| 〔一次補正以降〕 (R2.4/18～) | 〔二次補正以降〕 (R2.5/26～) | 〔令和2年9月15日予備費以降〕 (R2.9/15～) | 〔令和3年8月27日予備費以降〕 (R3.8/27～) |
|--|---|--|---|
| 重症患者 特定集中治療室管理料等を 2倍 (8,448～28,422点) | 重症患者 (専用病床の確保) 特定集中治療室管理料等を 3倍 (12,672～42,633点) | 重症患者 (同左) | 重症患者 (同左) |
| 中等症患者 救急医療管理加算を 2倍 (1,900点) | 中等症患者 (専用病床の確保) 救急医療管理加算を 3倍 (2,850点) | 中等症患者 中等症Ⅱ以上 の患者は 救急医療管理加算を 5倍 (4,750点) | 中等症患者 救急医療管理加算を、 入院加療の必要な患者は 4倍 (3,800点) 中等症Ⅱ以上 の患者は 6倍 (5,700点) |

(令和2年4月8日～)

- 新型コロナへの感染を疑う患者に、必要な感染予防策を講じた上で実施される外来診療で、院内トリアージ実施料(300点/回)を算定できることとした。
- 入院を要する新型コロナ患者について、救急医療管理加算(950点/日)、及び二類感染症入院診療加算(250点/日)を算定できることとした。

(令和2年4月18日～)

- 医療従事者の感染リスクを伴う診療を評価し、人員配置に応じ、二類感染症患者入院診療加算に相当する加算を2～4倍算定できることとした。

(令和2年12月15日～)

- 6歳未満の乳幼児に対し、感染予防策を講じた上で外来診療等を実施した場合、医科100点、歯科55点、調剤12点を算定できることとした。
- 新型コロナから回復した後、引き続き入院管理が必要な患者を受け入れた医療機関において、必要な感染予防策を講じた上で入院診療を行った場合の評価を3倍に引き上げた。※これまでの臨時特例二類感染症患者入院診療加算(1倍)250点→今回の見直し(3倍)750点

(令和3年1月22日～)

- 新型コロナから回復した後、引き続き入院管理が必要な患者について、救急医療管理加算(950点)を最大90日間算定できることとした。

(令和3年2月26日～)

- 自宅・宿泊療養中の新型コロナ患者に往診・訪問看護を緊急に実施した場合に、それぞれ、緊急往診加算(325～850点)、緊急訪問看護加算(2,650円)を算定できることとした。

(令和3年4月1日～)

- 「新型コロナウイルス感染症診療の手引き・第4版」等を参考に感染予防策を講じることについて、初診・再診(医科・歯科)等1回当たり5点入院1日当たり10点、調剤1回当たり4点、訪問看護1回当たり50円に相当する点数を算定できることとする。
- 上記のほか、新型コロナ患者への歯科治療を延期が困難で実施した場合については、298点を算定できることとする。

(令和3年5月11日～)

- 新型コロナ感染症から回復した後、引き続き入院管理が必要な患者に対して、個室で入院医療を行った場合に、個室加算(300点)を算定できることとする。

(令和3年7月30日～)

- 自宅・宿泊療養中の新型コロナ患者に対して往診・訪問診療又は訪問看護を実施した場合、それぞれ、救急医療管理加算(950点)、長時間訪問看護加算(5,200円)を算定できることとした。

(令和3年8月16日～)

- 自宅・宿泊療養中の新型コロナ患者に対して電話等を用いた初診・再診を行った場合に二類感染症患者入院診療加算(250点)を算定できることとした。

(令和3年8月27日～)

- 新型コロナに感染した妊産婦について、ハイリスク妊産婦管理加算を21日目以降、ハイリスク分娩管理加算を9日目以降も算定できることとした。

陰圧室の適正な評価

- 二類感染症患者療養環境特別加算(陰圧室加算)について、陰圧室の明確な基準がなく、圧の状態を毎日点検していない施設があることを踏まえ、要件を明確化し、適切な感染症対策を推進する。

(改) 陰圧室加算 200点

[算定要件]

加算を算定する日にあっては、煙管または差圧計等で陰圧の状況を確認すること。

無菌治療室管理加算の見直し

- 無菌治療室について、要件を見直した上で届出を行うこととする。

(改) 無菌治療室管理加算1 3,000点 (1日につき)

(新) 2 2,000点 (1日につき)

無菌治療室加算1(新たな要件のみ)

- ① 個室であること。
- ② 室内の空気清浄度が、患者に対し無菌治療室管理を行っている際に、常時ISOクラス6以上であること。
- ③ 当該治療室の空調設備が垂直層流方式、水平層流方式又はその双方を併用した方式であること。

無菌治療室加算2

従前の無菌治療室管理加算と同様

[経過措置]

平成24年3月31日に無菌治療室管理加算を算定することができる無菌治療室で、平成24年4月1日以降に無菌治療室管理加算2の届出を行っている無菌治療室については、平成25年3月31日までの間、無菌治療室加算1を算定できる。

感染症対策の推進③

院内における感染防止対策の評価

➤ 院内における感染防止対策の評価を充実させ、院内感染対策に関する取組を推進する。

(新) **感染防止対策加算1** 400点(入院初日)

(新) **2** 100点(入院初日)

注: 感染防止対策加算の新設に伴い、医療安全対策加算における感染防止対策加算は廃止する。

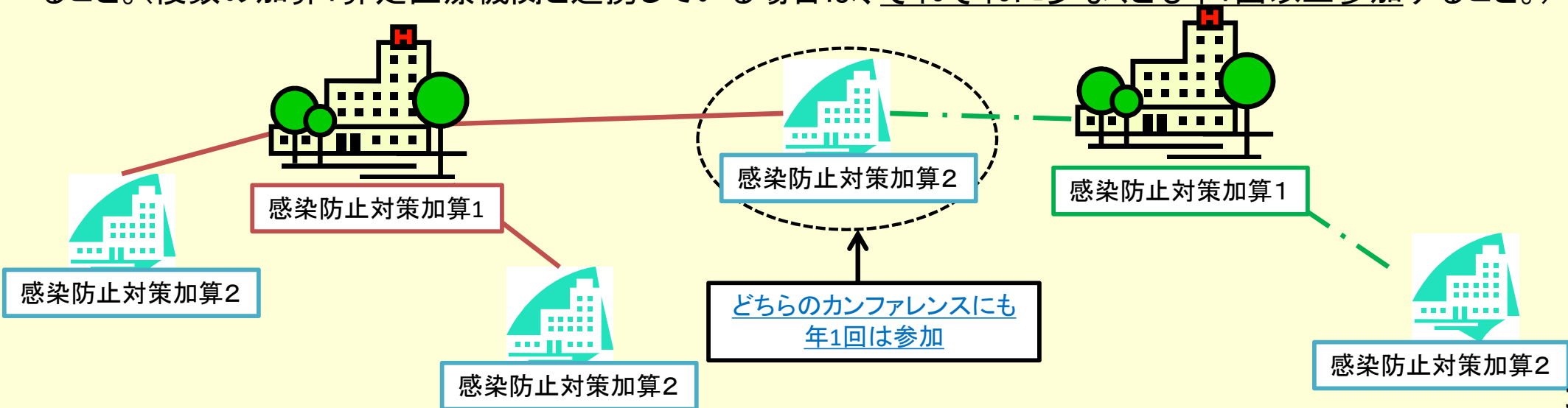
[施設基準]

感染防止対策加算1(従前の医療安全対策加算における感染防止対策加算からの変更点のみ)

○ 感染防止対策加算1を算定している医療機関を中心に、加算2を算定する医療機関と年4回以上合同カンファレンスを開催していること。

感染防止対策加算2

- ① 感染防止対策加算1に必要な感染制御チームから、研修要件及び専従要件を緩和したチームを作り、感染防止対策に係る業務を行う(業務内容は感染防止対策加算1と同様)。
- ② 加算2を算定する医療機関は、加算1を算定する医療機関の開催するカンファレンスに年4回以上参加すること。(複数の加算1算定医療機関と連携している場合は、それぞれに少なくとも年1回以上参加すること。)



感染症対策の推進④

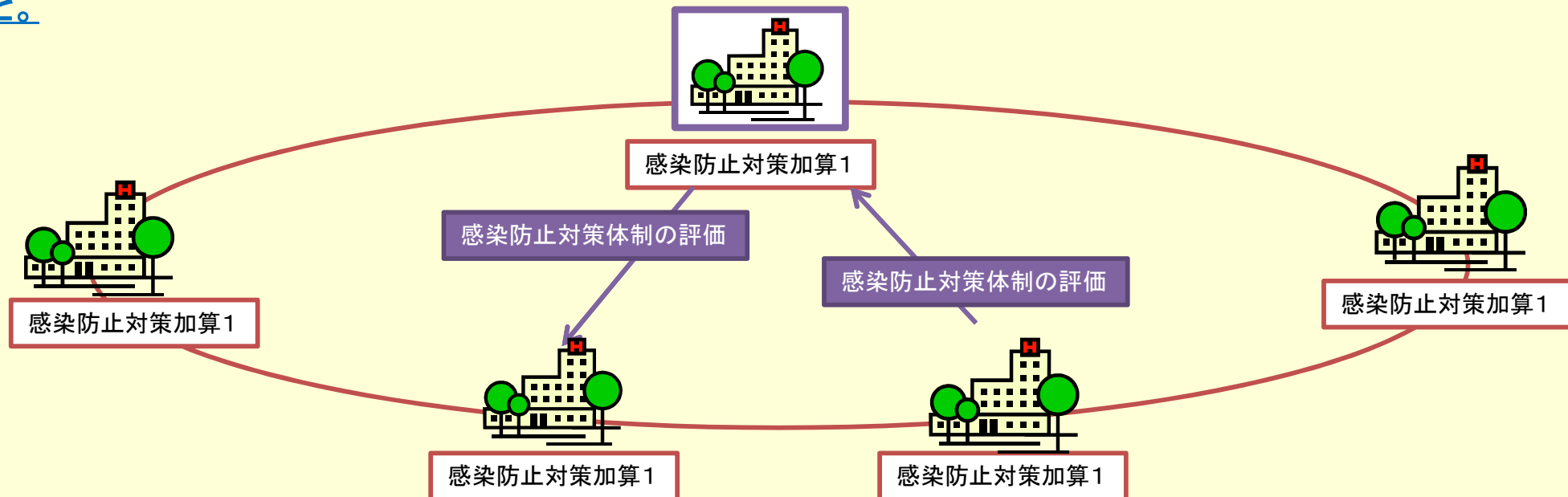
感染防止対策の相互評価について

- 感染防止対策加算1を算定する医療機関同士が年1回以上、互いの医療機関に赴いて相互に感染防止に関する評価を行った場合の加算を新設し、院内感染防止対策のより一層の推進を図る。

(新) 感染防止対策地域連携加算 100点(入院初日)

[算定要件]

- ① 感染防止対策加算1を算定する医療機関同士で連携していること。
- ② 年に1回以上、連携しているいずれかの医療機関に赴いて感染防止対策の体制を評価すること。
- ③ また、年に1回以上連携しているいずれかの医療機関から直接、感染防止対策の体制に関する評価を受けること。



新興感染症等の感染拡大時における医療提供体制の確保に関する事項の医療計画への位置付け

<改正の背景>

- 新興感染症等の感染拡大時には、広く一般の医療提供体制にも大きな影響（一般病床の活用等）
- 機動的に対策を講じられるよう、基本的な事項について、あらかじめ地域の行政・医療関係者の間で議論・準備を行う必要

<改正の概要>

都道府県が作成する「医療計画」の記載事項に「新興感染症等の感染拡大時における医療」を追加

- 詳細（発生時期、感染力等）の予測が困難な中、速やかに対応できるよう予め準備を進めておく点が、災害医療と類似
⇒ **いわゆる「5事業」に追加して「6事業」に**
※ 5事業：救急医療、災害時における医療、へき地の医療、周産期医療、小児医療（小児救急医療を含む）
- 今後、厚生労働省において、計画の記載内容（施策・取組や数値目標など）について詳細な検討を行い、「基本方針」（大臣告示）や「医療計画作成指針」（局長通知）等の見直しを行った上で、各都道府県で計画策定作業を実施
⇒ **第8次医療計画（2024年度～2029年度）から追加**

◎具体的な記載項目（イメージ）

【平時からの取組】

- 感染拡大に対応可能な医療機関・病床等の確保
（感染拡大時に活用しやすい病床や転用しやすいスペースの整備）
- 感染拡大時を想定した専門人材の確保等
（感染管理の専門性を有する人材、重症患者に対応可能な人材等）
- 医療機関における感染防護具等の備蓄
- 院内感染対策の徹底
クラスター発生時の対応方針の共有 など

【感染拡大時の取組】

- 受入候補医療機関
- 場所・人材等の確保に向けた考え方
- 医療機関の間での連携・役割分担 など
（感染症対応と一般対応の役割分担、医療機関間の応援職員派遣）

※ 引き続き、厚生科学審議会感染症部会等における議論の状況も踏まえつつ、記載項目や、施策の進捗状況を確認するための数値目標等について、具体化に向け検討。

- 現行の医療計画における課題等を踏まえ、特に集中的な検討が必要な項目があることから、本検討会の下に、以下の3つのワーキンググループを立ち上げ、議論することとしてはどうか。（構成員は、座長と相談の上、別途定める）
- 新興感染症等への対応に関し、感染症対策（予防計画）に関する検討の場と密に連携する観点から、双方の検討会・検討の場の構成員が合同で議論を行う機会を設けることとしてはどうか。

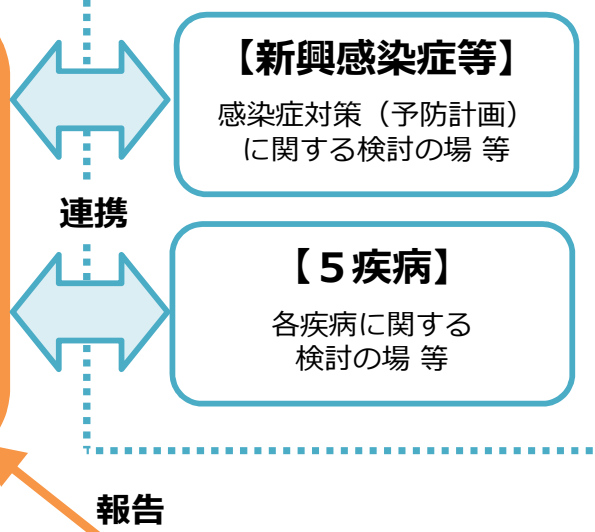
第8次医療計画等に関する検討会

- 医療計画の作成指針（新興感染症等への対応を含む5疾病6事業・在宅医療等）
- 医師確保計画、外来医療計画、地域医療構想 等

※具体的には以下について検討する

- ・医療計画の総論（医療圏、基準病床数等）について検討
- ・各検討の場、WGの検討を踏まえ、5疾病6事業・在宅医療等について総合的に検討
- ・各WGの検討を踏まえ、地域医療構想、医師確保計画、外来医療計画について総合的に検討

※医師確保計画及び外来医療計画については、現在「医師需給分科会」で議論。
次期計画の策定に向けた議論については、本検討会で議論。



地域医療構想及び医師確保計画に関するワーキンググループ（仮称）

- 以下に関する詳細な検討
- ・医師の適正配置の観点を含めた医療機能の分化・連携に関する推進方針
- ・地域医療構想ガイドライン
- ・医師確保計画ガイドライン 等

外来機能報告等に関するワーキンググループ（仮称）※

- 以下に関する詳細な検討
- ・医療資源を重点的に活用する外来
- ・外来機能報告
- ・地域における協議の場
- ・医療資源を重点的に活用する外来を地域で基幹的に担う医療機関 等

在宅医療及び医療・介護連携に関するワーキンググループ（仮称）

- 以下に関する詳細な検討
- ・在宅医療の推進
- ・医療・介護連携の推進 等

報告

* 第7次医療計画の策定に当たり、5事業については、それぞれ、以下の場で検討した上で、「医療計画の見直し等に関する検討会」に報告し、協議。第8次医療計画の策定に向けた検討も、同様に進める予定。

- ・救急医療、災害医療
救急・災害医療提供体制等の在り方に関する検討会
- ・へき地医療
厚生労働科学研究の研究班
- ・周産期医療、小児医療
有識者の意見交換

※検討事項の取りまとめ後、外来医療計画ガイドラインに関する検討の場として改組を予定。

第8次医療計画に向けた取組（全体イメージ）【案】

第1回第8次医療計画等に関する検討会
令和3年6月18日

資料
2

| | | 医療計画 | 新興感染症 | 地域医療構想 | 医師確保計画 | 外来医療計画 |
|--------------|-----------|--|-----------------------|------------|------------------------|---------------------|
| R3 [2021] | 4～6月 | 医療部会（6/3） | | | | 外来機能報告等に関するWG開催 |
| | 7～9月 | 第8次医療計画等に関する検討会 開催 | | | 地域医療構想及び医師確保計画に関するWG開催 | |
| | 10～12月 | | | | | 外来機能報告等に関する取りまとめ |
| | 1～3月 | <ul style="list-style-type: none"> 総論（医療圏、基準病床数等） 各論（5疾病、6事業、在宅等） について各検討会等での議論の報告 | 感染症対策に関する検討の場と連携しつつ議論 | 地域医療構想の推進 | ガイドライン改正に向けた検討 | ガイドライン改正に向けた検討 |
| | 4～6月 | | | | | |
| R4 [2022] | 7～9月 | | | | | |
| | 10～12月 | 報告書取りまとめ（基本方針改正、医療計画作成指針等の改正等） | | | 報告書取りまとめ（ガイドライン改正等） | 報告書取りまとめ（ガイドライン改正等） |
| | 1～3月 | 基本方針改正（告示） 医療計画作成指針等の改正（通知） | | | ガイドライン改正（通知） | ガイドライン改正（通知） |
| | 4～6月 | 第8次医療計画策定 | | | 次期医師確保計画策定 | 次期外来医療計画策定 |
| R5 [2023] | 第8次医療計画開始 | | | 次期医師確保計画開始 | 次期外来医療計画開始 | |
| R6 [2024] | | | | | | |
| R7 [2025] | | | | | | |

国

都道府県

医療従事者の負担を軽減し、
医師等の働き方改革を推進する視点

良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律の概要

(令和3年2月2日 法案閣議決定、令和3年5月28日 公布)

改正の趣旨

良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進する観点から、医師の働き方改革、各医療関係職種の専門性の活用、地域の実情に応じた医療提供体制の確保を進めるため、長時間労働の医師に対し医療機関が講ずべき健康確保措置等の整備や地域医療構想の実現に向けた医療機関の取組に対する支援の強化等の措置を講ずる。

改正の概要

< I. 医師の働き方改革 >

長時間労働の医師の労働時間短縮及び健康確保のための措置の整備等 (医療法)【令和6年4月1日に向け段階的に施行】

医師に対する時間外労働の上限規制の適用開始(令和6年4月1日)に向け、次の措置を講じる。

- ・勤務する医師が長時間労働となる医療機関における医師労働時間短縮計画の作成
- ・地域医療の確保や集中的な研修実施の観点から、やむを得ず高い上限時間を適用する医療機関を都道府県知事が指定する制度の創設
- ・当該医療機関における健康確保措置(面接指導、連続勤務時間制限、勤務間インターバル規制等)の実施 等

< II. 各医療関係職種の専門性の活用 >

1. 医療関係職種の業務範囲の見直し (診療放射線技師法、臨床検査技師等に関する法律、臨床工学技士法、救急救命士法)【令和3年10月1日施行】

タスクシフト/シェアを推進し、医師の負担を軽減しつつ、医療関係職種がより専門性を活かせるよう、各職種の業務範囲の拡大等を行う。

2. 医師養成課程の見直し (医師法、歯科医師法)【①は令和7年4月1日/②は令和5年4月1日施行等】※歯科医師も同様の措置

①共用試験合格を医師国家試験の受験資格要件とし、②同試験に合格した医学生が臨床実習として医業を行うことができる旨を明確化。

< III. 地域の実情に応じた医療提供体制の確保 >

1. 新興感染症等の感染拡大時における医療提供体制の確保に関する事項の医療計画への位置付け (医療法)【令和6年4月1日施行】

医療計画の記載事項に新興感染症等への対応に関する事項を追加する。

2. 地域医療構想の実現に向けた医療機関の取組の支援(地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律)【公布日施行】

令和2年度に創設した「病床機能再編支援事業」を地域医療介護総合確保基金に位置付け、当該事業については国が全額を負担することとするほか、再編を行う医療機関に対する税制優遇措置を講じる。

3. 外来医療の機能の明確化・連携 (医療法)【令和4年4月1日施行】

医療機関に対し、医療資源を重点的に活用する外来等について報告を求める外来機能報告制度の創設等を行う。

< IV. その他 > 持ち分の定めのない医療法人への移行計画認定制度の延長【公布日施行】

医師の時間外労働規制について

一般則

- (例外)
- ・年720時間
 - ・複数月平均80時間(休日労働含む)
 - ・月100時間未満(休日労働含む)
- 年間6か月まで

【時間外労働の上限】

(原則)
1か月45時間
1年360時間

2024年4月～

年1,860時間／月100時間未満(例外あり)
※いずれも休日労働含む
⇒将来に向けて縮減方向

年960時間／月100時間未満(例外あり)
※いずれも休日労働含む

A : 診療従事勤務医に2024年度以降適用される水準

連携B
例水準
(医療機関を指定)

B
地域医療確保暫定特

C-1
集中的技能向上水準
(医療機関を指定)

C-2

C-1 : 臨床研修医・専攻医が、研修プログラムに沿って基礎的な技能や能力を修得する際に適用
※本人がプログラムを選択
C-2 : 医籍登録後の臨床従事6年日以降の者が、高度技能の育成が公益上必要な分野について、指定された医療機関で診療に従事する際に適用
※本人の発意により計画を作成し、医療機関が審査組織に承認申請

年960時間／月100時間(例外あり)
※いずれも休日労働含む

A

C-1

C-2

将来に向けて縮減方向

将来
(暫定特例水準の解消
(=2035年度末を目標)
後)

※この(原則)については医師も同様。

※連携Bの場合は、個々の医療機関における時間外・休日労働の上限は年960時間以下。

月の上限を超える場合の面接指導と就業上の措置

【追加的健康確保措置】

連続勤務時間制限28時間・勤務間インターバル9時間の確保・代償休息のセット(努力義務)

※実際に定める36協定の上限時間数が一般則を超えない場合を除く。

連続勤務時間制限28時間・勤務間インターバル9時間の確保・代償休息のセット(義務)

連続勤務時間制限28時間・勤務間インターバル9時間の確保・代償休息のセット(義務)

※臨床研修医については連続勤務時間制限を強化して徹底

連続勤務時間制限28時間・勤務間インターバル9時間の確保・代償休息のセット(努力義務)

※実際に定める36協定の上限時間数が一般則を超えない場合を除く。

連続勤務時間制限28時間・勤務間インターバル9時間の確保・代償休息のセット(義務)

※あわせて月155時間を超える場合には労働時間短縮の具体的措置を講ずる。

診療報酬における働き方改革に向けたこれまでの取組について

○ 診療報酬における働き方改革に関連した主な改定項目を以下のとおり類型化した。

| | 1) 医師の働き方改革に対する評価 | | | | 2) タスクシフト、タスクシェアに対する評価 | 3) 医療従事者の負担軽減等に対する評価 | 4) その他(地域全体での取組み等)の評価 | |
|-------|-------------------|----------------------------|---|---|--|--------------------------------------|--|--------------------------|
| | ① 地域医療体制確保加算の新設 | ② 勤務環境に特に配慮を要する領域への対応 | ③ 働き方改革に係る環境整備等の推進 | ④ 多様な勤務形態の推進 | | | | |
| H18年度 | | ハイリスク分娩管理加算の新設 | | | | | | |
| H20年度 | | 重点的な対応が求められる領域について評価の充実・拡大 | 入院時医学管理加算(現総合入院体制加算)等において病院勤務医の負担軽減等の体制整備を評価(3つの診療報酬項目) | | 医師事務作業補助体制加算の新設 | | 診療所における夜間、早朝等における診療の評価を新設 | |
| H22年度 | | | | | 看護補助者の配置の評価を新設 栄養サポートチーム加算等を新設 | | | |
| H24年度 | | | | | 病棟薬剤業務実施加算を新設 | | 二次救急医療機関の救急外来の評価の新設、院内トリアージの評価の新設 | |
| H26年度 | | 手術・処置の休日・時間外・深夜加算の見直し | 評価対象となる項目を拡大 | | 対象病棟の充実、評価の充実、対象病院の拡大 | | | |
| H28年度 | | | | 産休・育休等に係る常勤要件の緩和 脳卒中ケアユニットの夜間の医師の勤務体制の緩和 | | 産休・育休等に係る常勤要件の緩和 | | 紹介状なしで大病院を受診する場合の定額負担の導入 |
| H30年度 | | | | 総合入院体制加算において 効果のある負担軽減策を計画に含むことを要件化 評価の対象となる項目を整理 | | 特定行為研修の評価を導入 | 重症度、医療・看護必要度の測定に係る負担の軽減(必要度Ⅱの導入) 業務の効率化・合理化 | |
| R2年度 | 地域医療体制確保加算新設 | | | | 総合入院体制確保加算において、効果のある負担軽減策を計画に含むことを要件化 評価の対象となる項目を整理 | 重症度、医療・看護必要度の測定に係る負担の軽減(B項目評価方法の見直し) | 対象病院の拡大 評価の充実 | |

地域の救急医療体制において重要な機能を担う医療機関に対する評価

- 地域医療の確保を図る観点から、過酷な勤務環境となっている、地域の救急医療体制において一定の実績を有する医療機関について、適切な労務管理等を実施することを前提として、入院医療の提供に係る評価を新設する。

(新) 地域医療体制確保加算 520点(入院初日に限る)

※ 消費税財源を活用した救急病院における勤務医の働き方改革への特例的な対応として新設(改定率0.08%、公費126億円分を充当)。



[算定要件]

救急医療を提供する体制、病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に対する体制その他の事項につき別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関に入院している患者(第1節の入院基本料(特別入院基本料等を除く。))又は第3節の特定入院料のうち、地域医療体制確保加算を算定できるものを現に算定している患者に限る。)について、当該基準に係る区分に従い、入院初日に限り所定点数に加算する。

[施設基準]

【救急医療に係る実績】

- 救急用の自動車又は救急医療用ヘリコプターによる搬送件数が、**年間で2,000件以上**である(※1)こと。

【病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する体制】

- 病院勤務医の勤務状況の把握とその改善の必要性等について提言するための責任者の配置
- 病院勤務医の勤務時間及び当直を含めた夜間の勤務状況の把握
- 多職種からなる役割分担推進のための委員会又は会議の設置
- **「病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画」**(※2)の作成、定期的な評価及び見直し
- 病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に関する取組事項の公開(当該保険医療機関内に掲示する等)

※1 診療報酬の対象とならない医療機関(B水準相当)を対象として、地域医療介護総合確保基金において、地域医療に特別な役割があり、かつ過酷な勤務環境となっている医療機関について、医師の労働時間短縮のための体制整備に関する支援を行う。

※2 「病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画」の作成に当たっては、**以下ア～キの項目を踏まえ検討し、必要な事項を記載すること。**

- ア 医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担の具体的内容
- イ 勤務計画上、**連続当直を行わない勤務体制の実施**
- ウ **勤務間インターバルの確保**
- エ **予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮**
- オ **当直翌日の業務内容に対する配慮**
- カ **交替勤務制・複数主治医制の実施**
- キ **短時間正規雇用医師の活用**



勤務医の労働時間短縮の推進（地域医療介護総合確保基金区分Ⅵ）

令和3年度予算額：9,533百万円（公費143億円）
（令和2年度予算額9,533百万円（公費143億円））
※地域医療介護総合確保基金（医療分）796億円の内数

勤務医の働き方改革を推進するため、地域医療介護総合確保基金を活用し、以下の財政的支援を行う。
⇒**地域医療の確保を目的として都道府県が医療機関向け補助を実施**

地域医療勤務環境改善体制整備事業

補助の対象となる医療機関

地域医療において特別な役割があり、かつ過酷な勤務環境となっていると都道府県知事が認める医療機関。
（補助に当たっては客観的要件を設定）



連続勤務時間制限・勤務間インターバル、面接指導などに取り組み、かつ、時短計画を定めるなどを条件に交付する。



医師の労働時間短縮に向けた総合的な取組の実施

医療機関において医師の労働時間短縮のための計画を策定し、勤務環境改善のための体制整備として次のような取組を総合的に実施

- ・勤務間インターバルや連続勤務時間制限の適切な設定
- ・当直明けの勤務負担の緩和
- ・複数主治医制の導入
- ・女性医師等に対する短時間勤務等多様で柔軟な働き方を推進
- ・タスク・シフティング、タスク・シェアリングの推進
- ・これらに類する医師の業務見直しによる労働時間短縮に向けた取組



支援



補助対象経費

上記の総合的な取組に要する経費をパッケージとして補助する。

地域医療介護総合確保基金

【地域医療介護総合確保基金管理運営要領】(抜粋)

別記3 勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備に関する事業

2 対象事業

○地域医療勤務環境改善体制整備事業

地域医療において特別な役割があり、かつ過酷な勤務環境となっていると都道府県知事が認める(1)に掲げる医療機関が行う(2)の事業を対象とする。

(1)対象医療機関

次のいずれかを満たす医療機関であって「4 交付要件」を満たすもの。ただし、診療報酬により令和2年度改定で新設された地域医療体制確保加算を取得している場合は対象としない。

- ①救急医療に係る実績として、救急用の自動車又は救急医療用ヘリコプターによる搬送件数が、年間で1000件以上2000件未満であり、地域医療に特別な役割がある医療機関
- ②救急医療に係る実績として、救急用の自動車又は救急医療用ヘリコプターによる搬送件数が、年間で1000件未満の医療機関のうち、次のいずれかに当てはまる医療機関
 - ア 夜間・休日・時間外入院件数が、年間で500件以上であり、地域医療に特別な役割がある医療機関
 - イ 離島、へき地等で、同一医療圏に他に救急対応可能な医療機関が存在しないなど、特別な理由の存在する医療機関
- ③地域医療の確保に必要な医療機関であって、次のいずれかに当てはまる医療機関
 - ア 周産期医療、小児救急医療機関、精神科救急等、公共性と不確実性が強く働く医療を提供している場合
 - イ 脳卒中や心筋梗塞等の心血管疾患の急性期医療を担う医療機関であって一定の実績と役割がある場合など、5疾病5事業で重要な医療を提供している場合
- ④その他在宅医療において特に積極的な役割を担う医療機関

(2)対象事業

医師の労働時間短縮に向けた取組として、4の(3)における医療機関が作成した「勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画」に基づく取組を総合的に実施する事業。

勤務環境に特に配慮を要する領域への対応

○ 当直等の負担軽減を図る観点から、勤務環境に特に配慮を要する領域への対応として、ハイリスク分娩管理加算の新設(平成18年度改定)や、手術・処置の休日・時間外・深夜加算の要件等の見直し(平成26年度改定)を実施した。

(例)

ハイリスク分娩管理加算

1日につき 3,200点

- 合併症を有する妊産婦に対する入院中のハイリスク分娩管理を評価。
- 分娩を伴う入院中にハイリスク分娩管理を行った場合に、1入院に限り8日を限度として加算する。

(対象患者)

保険診療の対象となる合併症を有している次に掲げる疾患等の妊産婦

ア～ツ (略)

(主な施設基準)

- 当該保険医療機関内に、専ら産婦人科又は産科に従事する常勤の医師が、**3名以上配置**されていること。
- 当該保険医療機関内に、**常勤の助産師が3名以上配置**されていること。
- 1年間の分娩件数が120件以上 (略)

ハイリスク分娩管理加算算定医療機関数



手術・処置の休日・時間外・深夜加算

(1)休日加算1 所定点数の100分の160に相当する点数

(2)～(4) (略)

- 勤務医負担軽減等の実施に係る施設基準に適合しているものとして届け出た保険医療機関にて、緊急のための休日等における対象患者に対する手術等を評価。

(対象患者)

次に掲げる入院中の患者以外の患者に対する手術。ただし、手術が保険医療機関等の都合により休日等に行われた場合は算定できない。

ア～イ (略)

(主な施設基準)

1～3 (略)

4 **医師の負担軽減及び処遇の改善に資する体制として次の体制を整備**していること。

(1)当該保険医療機関内に医師の負担軽減等に関して提言するための責任者が配置されていること。(2)～(6) (略)

5 **静脈採血、静脈注射及び留置針によるルート確保について次のいずれも実施**していること。(1)～(2) (略)

6 当該加算を算定している全ての診療科において、**予定手術前日における医師の当直や夜勤に対する配慮**として、次のいずれも実施していること。(1)～(7) (略)

7 当該加算を算定する全ての診療科において、**次のいずれか**を実施していること。

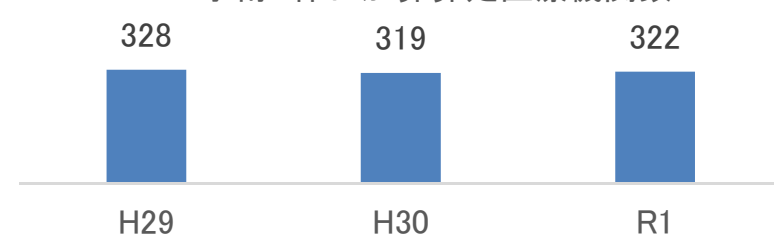
(1)**交替勤務制を導入**しており、以下のアからキまでのいずれも実施していること。

ア～キ (略)

(2)～(3) (略)

8～9 (略)

手術 休日加算算定医療機関数



総合入院体制加算の概要②

○ 施設基準に含まれる、医療従事者の勤務環境改善の取組に関する要件は、以下のとおり。

| (1日につき/14日以内) | 総合入院体制加算1 240点 | 総合入院体制加算2 180点 | 総合入院体制加算3 120点 |
|---------------------------------------|--|-------------------|-------------------|
| <p>共通の施設基準 (医療従事者の勤務環境改善の取組等)</p> | <p>病院の医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善に資する体制として、次の体制を整備していること。(中略)</p> <p>ア 当該保険医療機関内に、医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善に関し、当該病院に勤務する医療従事者の勤務状況を把握し、その改善の必要性等について提言するための責任者を配置すること。</p> <p>イ 当該保険医療機関内に、多職種からなる役割分担推進のための委員会又は会議(以下この項において「委員会等」という。)を設置し、「医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画」を作成すること。当該委員会等は、当該計画の達成状況の評価を行う際、その他適宜必要に応じて開催していること。また、当該委員会等において、当該保険医療機関の管理者が年1回以上出席すること。なお、当該委員会等は、当該保険医療機関における労働安全衛生法(昭和47年法律第57号)第19条に規定する安全衛生委員会等、既存の委員会を活用することで差し支えない。</p> <p>ウ イの計画は、医療従事者の現状の勤務状況等を把握し、問題点を抽出した上で、具体的な取組み内容と目標達成年次等を含めた医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画とすること。また、当該計画を職員に対して周知徹底していること。</p> <p>エ イの計画には次に掲げる項目のうち少なくとも3項目以上を含んでいること。</p> <p>(イ) 外来診療時間の短縮、地域の他の保険医療機関との連携などの外来縮小の取組(許可病床数が400床以上の病院では、必ず本項目を計画に含むこと。)</p> <p>(ロ) 院内保育所の設置(夜間帯の保育や病児保育の実施が含まれることが望ましい。)</p> <p>(ハ) 医師事務作業補助者の配置による医師の事務作業の負担軽減</p> <p>(ニ) 医師の時間外・休日・深夜の対応についての負担軽減及び処遇改善</p> <p>(ホ) 保健師助産師看護師法(昭和23年法律第203号)第37条の2第2項第5号の規定による指定研修機関において行われる研修を修了した看護師の複数名の配置及び活用による医師の負担軽減</p> <p>(ヘ) 院内助産又は助産師外来の開設による医師の負担軽減</p> <p>(ト) 看護補助者の配置による看護職員の負担軽減</p> <p>オ 医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善に関する取組事項を当該保険医療機関内に掲示する等の方法で公開すること。</p> | | |

多様な勤務形態の推進

- 医師等の医療従事者の柔軟な働き方に対応する観点から、常勤配置に係る要件及び専従要件の緩和等を実施してきているほか、脳卒中ケアユニット入院管理料においては医師配置要件の見直し(平成28年度改定)を実施した。

常勤換算の見直し

週3日以上かつ週24時間以上の勤務を行っている複数の非常勤職員を組み合わせた常勤換算でも配置可能としている項目について、**週3日以上かつ週22時間以上**の勤務を行っている複数の非常勤職員を組み合わせた常勤換算で配置可能としている。

産前産後休業取得時等の対応

施設基準上求められる常勤の従事者が、産前・産後休業及び育児・介護休業を取得した場合に、同等の資質を有する複数の非常勤従事者を常勤換算することで施設基準を満たすことを原則認めている。

育児休業後等の従事者が短時間勤務制度を利用し、正職員として勤務する場合、育児・介護休業法で定める期間は週30時間以上の勤務で常勤扱いとしている。

脳卒中ケアユニット入院医療管理料

- (1)当該保険医療機関内に、神経内科又は脳神経外科の経験を5年以上有する専任の医師が常時1名以上いること。ただし、夜間又は休日において、神経内科又は脳神経外科の経験を5年以上有する医師が、当該保険医療機関の外にいる場合であって、当該医師に対して常時連絡することや、頭部の精細な画像や検査結果を含め診療上必要な情報を直ちに送受信することが可能であり、かつ、当該医師が迅速に判断を行い、必要な場合には当該保険医療機関に赴くことが可能である体制が確保されている時間に限り、当該保険医療機関内に、神経内科又は脳神経外科の経験を3年以上有する専任の医師が常時1名以上いればよいこととする。なお、患者の個人情報を含む医療情報の送受信に当たっては、端末の管理や情報機器の設定等を含め、厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」を遵守し、安全な通信環境を確保すること。

(2)~(10) (略)

医師の配置について

下線太字は令和2年改定事項

医師については、複数の非常勤職員を組み合わせた**常勤換算でも配置可能とする項目を拡大**している。

(対象となる項目)

緩和ケア診療加算、栄養サポートチーム加算、感染防止対策加算 等

専従要件について

専従要件について、専従を求められる業務を実施していない勤務時間において、**他の業務に従事できる項目を拡大**している。

(対象となる項目)

ウイルス疾患指導料(注2)、障害児(者)リハビリテーション料、がん患者リハビリテーション料

看護師の配置について

看護師については、**外来化学療法加算について、非常勤職員でも配置可能**としている。

病院勤務医の事務負担の軽減

医師事務作業補助体制加算(平成20年度改定において新設)

- 勤務医負担軽減計画を策定し、医師の事務作業を補助する専従職員(医師事務作業補助者)を配置している等、病院勤務医の事務作業を軽減する取組を評価。
- 病院勤務医等の負担軽減策として効果があるものについて、複数項目の取組を計画に盛り込む(※)ことが要件となっている。

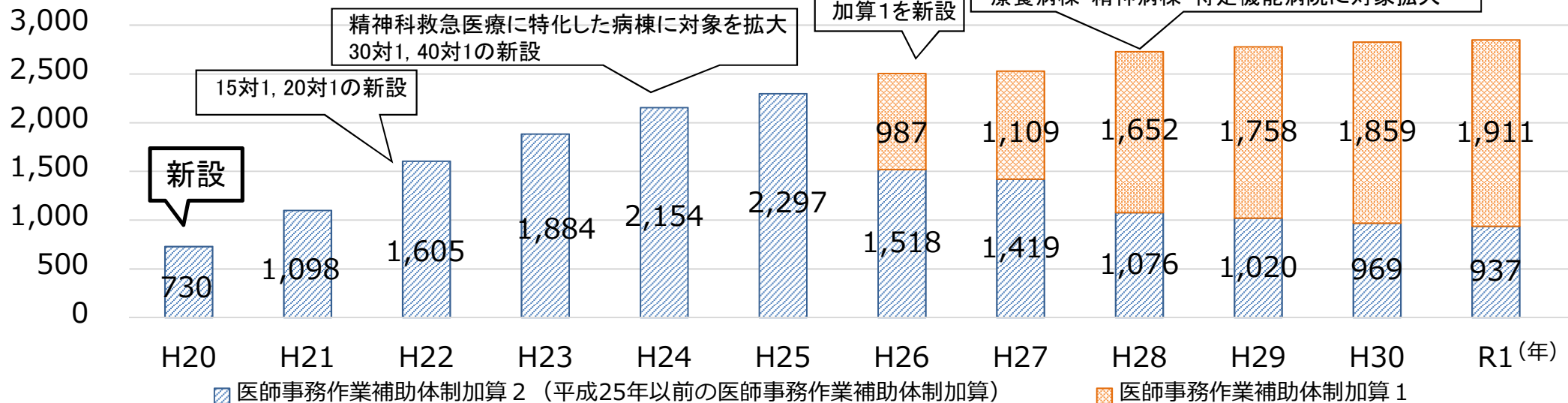
※ ①(必須)及び②～⑦のうち少なくとも2項目以上

- ① 医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担の具体的内容(必須)
- ② 勤務計画上、連続当直を行わない勤務体制の実施
- ③ 前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間の一定時間の休息時間の確保(勤務間インターバル)
- ④ 予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮
- ⑤ 当直翌日の業務内容に対する配慮
- ⑥ 交替勤務制・複数主治医制の実施
- ⑦ 短時間正規雇用医師の活用

| 医師事務作業補助者の配置 | 点数(加算1/加算2) |
|--------------|-------------|
| 15対1 | 970点/910点 |
| 20対1 | 758点/710点 |
| 25対1 | 630点/590点 |
| 30対1 | 545点/510点 |
| 40対1 | 455点/430点 |
| 50対1 | 375点/355点 |
| 75対1 | 295点/280点 |
| 100対1 | 248点/238点 |

医師事務作業補助体制加算の届出医療機関数の推移

(医療機関数)



看護職員の負担軽減策の全体像

○ 看護職員の負担軽減を図るため、診療報酬では、主に夜間の看護体制を充実することに対して評価が行われている。

| | | 急性期 | 慢性期 |
|----------------|------------------------------|---|--|
| 看護補助者との役割分担の推進 | | 【急性期看護補助体制加算】 <ul style="list-style-type: none"> 急性期一般入院基本料 特定機能病院入院基本料（一般病棟） 専門病院入院基本料（7対1、10対1） | 【看護補助加算】 <ul style="list-style-type: none"> 地域一般入院基本料 13対1、15対1、18対1、20対1※ 障害者施設等入院基本料（7対1、10対1）の注加算 特定一般病棟入院料 【看護補助者配置加算】 <ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケア病棟入院料の注加算 |
| 夜間の看護体制関係 | 看護職員の手厚い夜間配置 | 【看護職員夜間配置加算】 <ul style="list-style-type: none"> 急性期一般入院基本料 特定機能病院入院基本料（一般病棟） 専門病院入院基本料（7対1、10対1） | 【夜間看護加算】 <ul style="list-style-type: none"> 療養病棟入院基本料の注加算 【看護職員夜間配置加算】 <ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケア病棟入院料の注加算 精神科救急入院料の注加算 精神科救急・合併症入院料の注加算 |
| | 看護補助者の夜間配置 | 【夜間急性期看護補助体制加算】 <ul style="list-style-type: none"> 急性期看護補助体制加算の注加算 | 【夜間75対1看護補助加算】 <ul style="list-style-type: none"> 看護補助加算の注加算（地域一般入院料1又は2、13対1※のみ） |
| | 負担軽減に資する勤務編成（シフト）や、部署間支援等の推進 | 【夜間看護体制加算】 <ul style="list-style-type: none"> 急性期看護補助体制加算の注加算（夜間急性期看護補助体制加算を算定している場合のみ） | 【夜間看護体制加算】 <ul style="list-style-type: none"> 看護補助加算の注加算 障害者施設等入院基本料の注加算 |
| | 小規模病院（100床未満）の救急外来体制の確保 | 【夜間看護体制特定日減算】 <ul style="list-style-type: none"> 一般病棟入院基本料 結核病棟入院基本料 精神病棟入院基本料 専門病院入院基本料 障害者施設等入院基本料 地域包括ケア病棟入院料 | |
| | 適切な夜勤時間の管理 | 【月平均夜勤時間が72時間以下であること】 <ul style="list-style-type: none"> 病院の入院基本料等の施設基準 | |

※ 結核病棟入院基本料、精神病棟入院基本料、障害者施設等入院基本料、特定機能病院入院基本料（結核病棟、精神病棟）、専門病院入院基本料

薬剤師の病棟業務の評価

病棟薬剤業務実施加算 120点(週1回)/100点(1日につき)

- 薬剤師が病棟等において**病院勤務医等の負担軽減及び薬物療法の有効性、安全性の向上に資する薬剤関連業務(病棟薬剤業務)**を実施していることを評価するもの。

- ※ 病棟専任の薬剤師が病棟薬剤業務を1病棟又は治療室1週間につき20時間相当以上実施
病棟薬剤業務実施加算1: 一般病棟入院料、療養病棟入院料等を算定する病棟が対象
病棟薬剤業務実施加算2: 救命救急入院料、特定集中室管理料等を算定する高度急性期医療に係る治療室が対象

薬剤管理指導料 380点/325点(週1回)

- 医師の同意を得て薬剤管理指導記録に基づき、**直接服薬指導、服薬支援その他の薬学的管理指導**を行ったことを評価するもの。

- ※ 薬剤管理指導料1: 特に安全管理が必要な医薬品が投薬又は注射されている患者の場合
薬剤管理指導料2: 1の患者以外の患者の場合

薬剤総合評価調整加算/薬剤調整加算 100点/150点(退院時1回)

- 入院時のポリファーマシーに対する取組みを評価するもの。

- ※ 薬剤総合評価調整加算: 処方 of 総合的な評価及び変更の取組を評価
調整加算: 減薬に至った場合を評価

退院時薬剤情報管理指導料・連携加算 90点/60点(退院時1回)

- 退院時に**直接服薬指導等**を行い、**地域における継続的な薬学的指導を支援するための情報を提供すること**を評価するもの。

- ※ 退院時薬剤情報管理指導料: 入院時に、必要に応じ保険薬局に照会するなどして薬剤服用歴や患者が持参した医薬品等を確認するとともに、入院中に使用した主な薬剤の名称等について、患者の薬剤服用歴が経時的に管理できる手帳に記載した上で、患者の退院に際して当該患者又はその家族等に対して、退院後の薬剤の服用等に関する必要な指導を行った場合
連携加算: 入院前の内服薬の変更又は中止について、保険薬局に対して、その理由や変更又は中止後の患者の状況を文書により提供した場合

診療報酬(平成30年度改定)における特定行為研修の評価

| 評価項目 | 特定行為研修において該当する区分 |
|---|--|
| <p>■ B001 糖尿病合併症管理料 糖尿病足病変ハイリスク要因を有する入院中の患者以外の患者であって、医師が糖尿病足病変に関する指導の必要性があると認めた場合で医師又は医師の指示に基づき看護師が当該指導を行った場合に、月に1回に限り算定する。 糖尿病合併症管理料の要件である「適切な研修」</p> | 以下の2区分とも修了した場合 <input type="radio"/> 創傷管理関連 <input type="radio"/> 血糖コントロールに係る薬剤投与関連 |
| <p>■ B001 糖尿病透析予防指導管理料 糖尿病の患者であって、医師が透析予防に関する指導の必要性があると認めた入院中の患者以外の患者に対して、当該保険医療機関の医師、看護師又は保健師及び管理栄養士等が共同して必要な指導を行った場合に、月1回に限り算定する。 糖尿病透析予防指導管理料の看護師の要件である「適切な研修」</p> | <input type="radio"/> 血糖コントロールに係る薬剤投与関連 |
| <p>■ C013 在宅患者訪問褥瘡管理指導料 重点的な褥瘡管理を行う必要が認められる患者（在宅での療養を行っているものに限る。）に対して、患者の同意を得て、当該保険医療機関の保険医、管理栄養士、看護師又は連携する他の保険医療機関等の看護師が共同して、褥瘡管理に関する計画的な指導管理を行った場合には、初回のカンファレンスから起算して6月以内に限り、当該患者1人につき2回に限り所定点数を算定する。 在宅患者訪問褥瘡管理指導料の要件である「所定の研修」</p> | <input type="radio"/> 創傷管理関連 |
| <p>■ A301 特定集中治療室管理料1及び2 1回の入院について、当該治療室に入院させた連続する期間1回に限り算定できる。対象となる患者は、次に掲げる状態にあつて、医師が特定集中治療室管理が必要であると認めた者。 ア 意識障害又は昏睡 イ 急性呼吸不全又は慢性呼吸不全の急性増悪 ウ 急性心不全（心筋梗塞含む） エ 急性薬物中毒 オ ショック カ 重篤な代謝障害 キ 広範囲熱傷 ク 大手術後 ケ 救急蘇生後 コ その他外傷、破傷風等で重篤な状態 特定集中治療室管理料1及び2の施設基準で求める「集中治療を必要とする患者の看護に係る適切な研修」</p> | 以下の8区分をすべて修了した場合 <input type="radio"/> 呼吸器（気道確保に係るもの）関連 <input type="radio"/> 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 <input type="radio"/> 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 <input type="radio"/> 血糖コントロールに係る薬剤投与関連 <input type="radio"/> 循環動態に係る薬剤投与関連 <input type="radio"/> 術後疼痛関連 <input type="radio"/> 循環器関連 <input type="radio"/> 精神及び神経症状にかかる薬剤投与関連 |

診療報酬(令和2年度改定)における特定行為研修の評価

| 評価項目 | 特定行為研修において該当する区分 |
|--|--|
| <p>■ A200 総合入院体制加算 病院の医療従事者の負担軽減及び処遇の改善に資する体制として、次の体制を整備していること ア～ウ、オ(略)エ「医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画」には次に挙げる項目のうち少なくとも3項目以上を含んでいること。(イ)～(ニ)、(ハ)、(ト)(略) (ホ) 特定行為研修修了者である看護師の複数名配置及び活用による医師の負担軽減 医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善に関する計画の項目の1つ</p> | <p>○特定行為研修修了者である看護師 特定行為に係る看護師の研修制度により厚生労働大臣が指定する指定研修機関において行われる研修のうち、いずれの区分であっても該当する。また、領域別パッケージ研修も該当する。</p> |
| <p>■ L010 麻酔管理料Ⅱ 担当医師が実施する一部の行為を、麻酔中の患者の看護に係る適切な研修を修了した常勤看護師が実施しても差し支えないものとする。また、この場合において、麻酔前後の診察を行った担当医師又は麻酔科標榜医は、当該診察の内容を当該看護師に共有すること。 麻酔管理料Ⅱの要件である「適切な研修」</p> | <p>以下のいずれかの研修を修了した看護師 ①術中麻酔管理領域(パッケージ研修) ②以下の6区分をすべて修了した場合 ・呼吸器(気道確保に係るもの)関連 ・呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連 ・動脈血液ガス分析関連 ・栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ・術後疼痛管理関連 ・循環動態に係る薬剤投与関連</p> |
| <p>■ C300 特定保険医療材料 在宅における特定保険医療材料の追加 在宅医療において、患者の診療を担う保険医の指示に基づき、当該保険医の診療日以外の日(訪問看護ステーション等の看護師等が当該患者に対し点滴又は処置等を実施した場合は、使用した薬剤の費用については薬剤料、特定保険医療材料の費用については特定保険医療材料により、当該保険医療機関において算定する。 011 膀胱瘻用カテーテル 012 交換用胃瘻カテーテル (1) 胃留置型①バンパー型 ア ガイドワイヤーあり ガイドワイヤーなし ②バルーン型 (2) 小腸留置 ①バンパー型 ②一般型 013 局所陰圧閉鎖処置用材料 014 陰圧創傷治療用カートリッジ</p> | <p>特定保険医療材料の算定に関連する特定行為 ①ろう孔管理関連 ・胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換 ・膀胱ろうカテーテルの交換 ②創傷管理関連区分のうち ・創傷に対する陰圧閉鎖療法</p> |

情報通信機器を用いたカンファレンス等の推進

情報通信機器を用いたカンファレンス等に係る要件の見直し

- 情報通信機器を用いたカンファレンスや共同指導について、日常的に活用しやすいものとなるよう、実施要件を見直す。



【対象となる項目】

- ・ 感染防止対策加算
- ・ 入退院支援加算1
- ・ 退院時共同指導料1・2 注1
- ・ 退院時共同指導料2 注3
- ・ 介護支援等連携指導料
- ・ 在宅患者訪問看護・指導料 注9
- ・ 同一建物居住者訪問看護・指導料 注4
- ・ 在宅患者緊急時等カンファレンス料
- ・ 在宅患者訪問褥瘡管理指導料

(訪問看護療養費における在宅患者緊急時等カンファレンス加算及び退院時共同指導加算も同様)

現行

原則、対面で実施



やむを得ない場合に限り、ICT活用可

改定後

原則、対面で実施



必要な場合、ICT活用可

医療機関における業務の効率化・合理化

➤ 医療機関における業務の効率化・合理化を促進する観点から、以下のような見直しを行う。

会議や研修の効率化・合理化

- 会議 ➡ ・安全管理の責任者等で構成される会議等について、安全管理の責任者が必ずしも対面でなくてよいと判断した場合には、ICTを活用する等の対面によらない方法でも開催可能とする。
- 院内研修 ➡ ・**抗菌薬適正使用支援加算に係る院内研修**を院内感染対策に係る研修と併せて実施してよいことを明確化。
・急性期看護補助体制加算等の**看護補助者に係る院内研修**の要件を見直す。
- 院外研修 ➡ ・一般病棟用の重症度、医療・看護必要度の**院内研修の指導者に係る要件**を見直す。



記録の効率化・合理化

- 診療録 ➡ ・栄養サポートチーム加算注2等について、**栄養治療実施計画の写しを診療録に添付すれば良い**こととし、診療録への記載を、算定に当たっての留意事項として求めないこととする。
・在宅療養指導料等について、**医師が他の職種への指示内容を診療録に記載**することを、算定に当たっての留意事項として求めないこととする。
- レセプト
摘要欄 ➡ ・画像診断の撮影部位や算定日等について**選択式記載**とする。

事務の効率化・合理化

- 施設基準の届出について、**様式の簡素化や添付資料の低減**等を行う。
- **文書による患者の同意**を要件としているものについて、**電磁的記録によるものでもよいことを明確化**する。



働き方改革に関連した地域全体での取り組み等

夜間・早朝等加算 50点

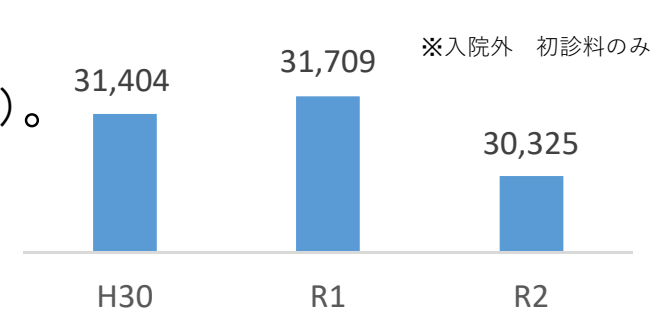
出典：NDBデータ

- 病院勤務医の負担の軽減を図るため、軽症の救急患者を地域の身近な診療所において受け止めることが進むよう、診療所の夜間・早朝等の時間帯における診療を評価するもの（平成20年度改定新設）。

【主な施設基準】

1週間当たりの表示診療時間の合計が30時間以上の診療所 等

算定医療機関数（各年7月時点）¹⁾



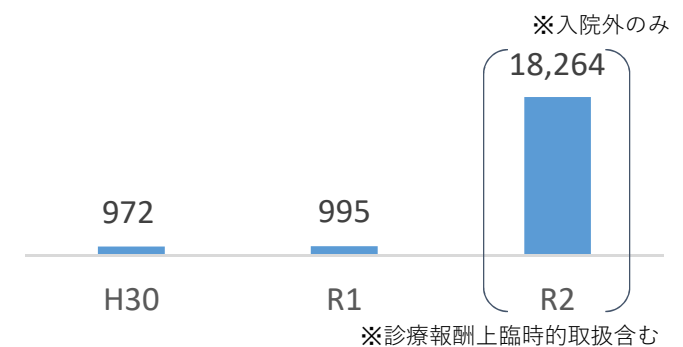
院内トリアージ実施料 300点

- 救命救急センターに患者が集中しない仕組みを推進するために、夜間、深夜、休日の救急外来受診患者に対し、患者の来院後速やかに院内トリアージを実施することを評価するもの（平成24年度改定新設）。

【主な施設基準】

院内トリアージを行うにつき十分な体制が整備されていること 等

算定医療機関数（各年7月時点）¹⁾



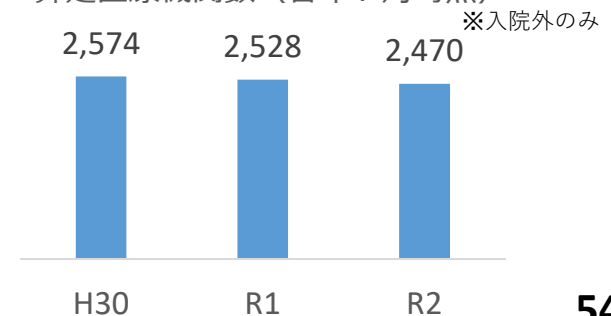
夜間休日救急搬送医学管理料 600点

- 二次救急医療機関における深夜、時間外、休日の救急搬送患者に対する外来での初期診療を評価するもの（平成24年度改定新設）。

【主な施設基準】

休日又は夜間における救急医療の確保のために診療を行っていると思われる第二次救急医療施設として必要な診療機能、専用病床、重症救急患者の受け入れに対応できる重症救急患者の受け入れに対応できる医療従事者の確保 等

算定医療機関数（各年7月時点）¹⁾



医療機能の分化・強化、連携と 地域包括ケアシステムの推進に関する視点

診療報酬における機能に応じた病床の分類（イメージ）

医療法の
位置付け

一般病床

(R元.6末医療施設動態・病院報告)

病床数 888,920床
病床利用率 76.5%
平均在院日数 16.0日

療養病床

(R元.6末医療施設動態・病院報告)

病床数 310,621床
病床利用率 87.3%
平均在院日数 135.9日

DPC/PDPS

1,727施設 483,747床※2
(▲6,202床)
※2 H31.4.1現在

特定機能病院 入院基本料

86施設
58,570床※1
(+190床)
※1 一般病棟に限る

専門病院入院基本料
20施設 6,315床 (▲304床)

救命救急入院料
374施設 6,360床 (▲51床)

特定集中治療室管理料
624施設 5,235床 (▲24床)

ハイケアユニット入院医療管理料
管理料1 562施設 5,440床
管理料2 30施設 316床
合計 592施設 5,756床 (+344床)

脳卒中ケアユニット入院医療管理料
173施設 1,400床 (+82床)

小児特定集中治療室管理料
9施設 108床 (+14床)

新生児特定集中治療室管理料
233施設 1,652床 (+26床)

総合周産期特定集中治療室管理料
127施設 母児・胎児 815床 (+12床)
新生児 1,653床 (+14床)

新生児治療回復室入院医療管理料
200施設 2,840床 (+76床)

一類感染症患者入院医療管理料
32施設 103床 (±0床)

| | | | | | |
|-------|----------------|----------------|---------------|----------------|-------|
| | 管理料1 | 管理料2 | 管理料3 | 管理料4 | 管理料5 |
| 小児入院 | 76施設 | 133施設 | 97施設 | 372施設 | 151施設 |
| 医療管理料 | 5,363床 (+126床) | 6,272床 (▲292床) | 2,271床 (+31床) | 7,971床 (▲125床) | - |

一般病棟入院基本料

592,340床 (▲12,569床)

回復期リハビリテーション病棟入院料

| 入院料1 | 入院料2 | 入院料3 | 入院料4 | 入院料5 | 入院料6 | 計 |
|-----------------------------|---------------------------|--------------------------|--------------------------|------------------------|------------------------|------------------------------|
| 732施設 48,551床 (+12,735床) | 180施設 9,691床 (▲6,338床) | 440施設 20,336床 (+123床) | 85施設 3,720床 (▲4,139床) | 54施設 2,272床 (+329床) | 59施設 2,684床 (▲374床) | 1,550施設 87,254床 (+2,336床) |

地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

| 入院料1 | 入院料2 | 入院料3 | 入院料4 | 計 |
|----------------------------|-----------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------------|
| 998施設 31,449床 (+12,620) | 1,372施設 45,367床 (▲5,460) | 51施設 1,398床 (+826) | 97施設 2,291床 (+151) | 2,518施設 80,505床 (+8,137) |

障害者施設等入院基本料

888施設
70,304床 (+1,883床)

特定一般病棟入院料

入院料1 3施設 138床
入院料2 2施設 79床
合計 5施設 217床 (▲6床)

特殊疾患

| 病棟入院料1 | 病棟入院料2 | 入院管理料 |
|-------------------------|-------------------------|---------------------|
| 106施設 5,609床 (▲172床) | 102施設 7,211床 (+116床) | 32施設 447床 (+16床) |

緩和ケア病棟入院料

入院料1 306施設 5,998床
入院料2 130施設 2,648床
合計436施設 8,646床 (+283)

療養病棟入院基本料

215,480床 (▲4,779床)

介護療養 病床

33,331床
※R元.6末病院報告

施設基準届出
令和元年7月1日現在
(かつこ内は前年比較)

有床診療所（一般） 4,938施設 66,506床 (▲2,462床)

有床診療所（療養） 426施設 4,062床 (▲13床)

精神科救急入院料

入院料1 156施設 9,877床 (+352床)
入院料2 5施設 221床 (+5床)

精神科急性期治療病棟入院料

入院料1 353施設 16,020床 (▲134床)
入院料2 18施設 851床 (+105床)

精神病棟 1,190施設 146,886床 (▲2,838床)

精神科救急・合併症入院料
11施設 374床 (▲50床)

児童・思春期精神科入院
44施設 1,408床 (+140床)

精神療養病棟入院料

825施設 91,209床 (▲763床)
地域移行機能強化病棟入院料
39施設 1,377床 (▲289床)

認知症治療病棟入院料

入院料1 521施設 36,518床 (+1,234床)
入院料2 7施設 660床 (±0床)

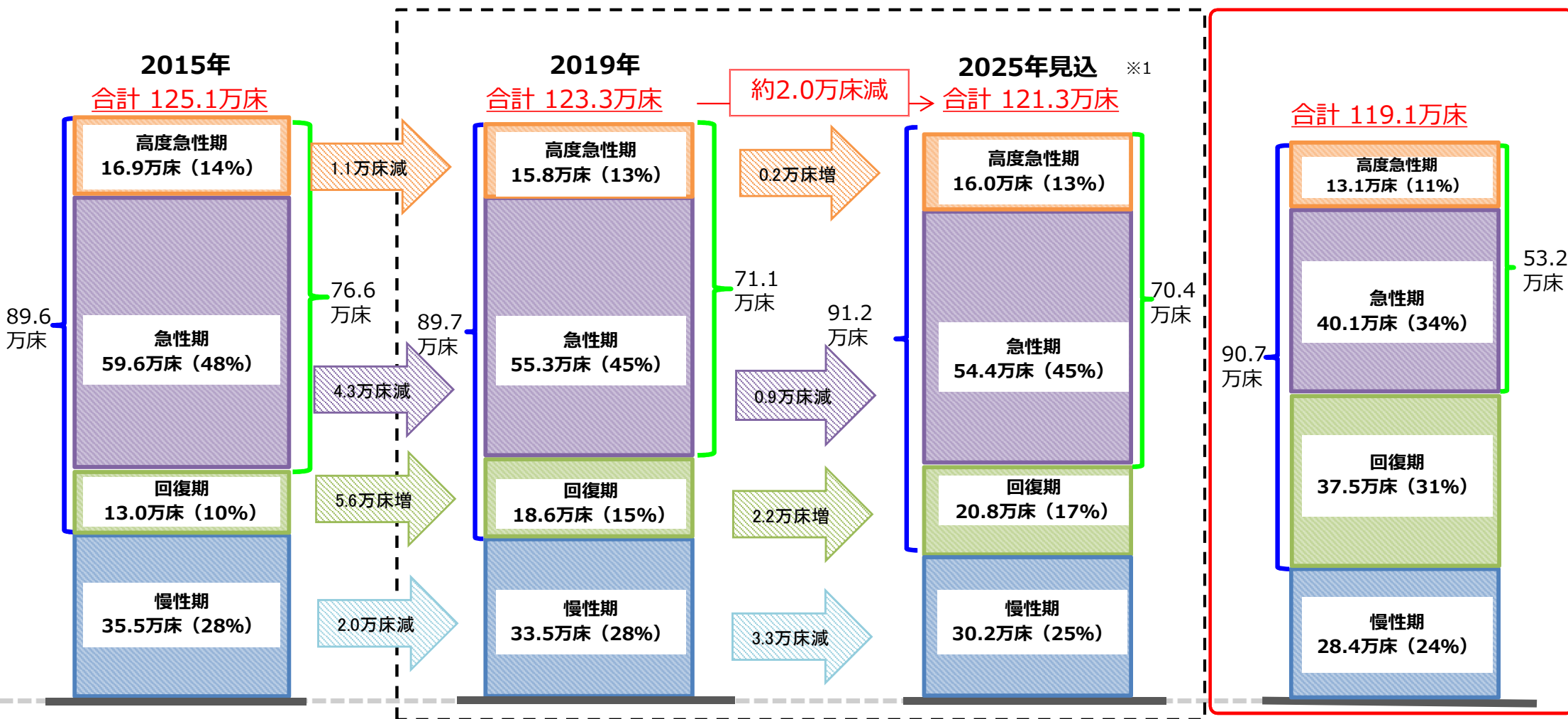
結核病棟 165施設 3,900床 (▲181)

2019年度病床機能報告について

地域医療構想における ※4
2025年の病床の必要量
(平成28年度末時点の推計)

2015年度病床機能報告

2019年度病床機能報告



出典: 2019年度病床機能報告

※1: 2019年度病床機能報告において、「2025年7月1日時点における病床の機能の予定」として報告された病床数

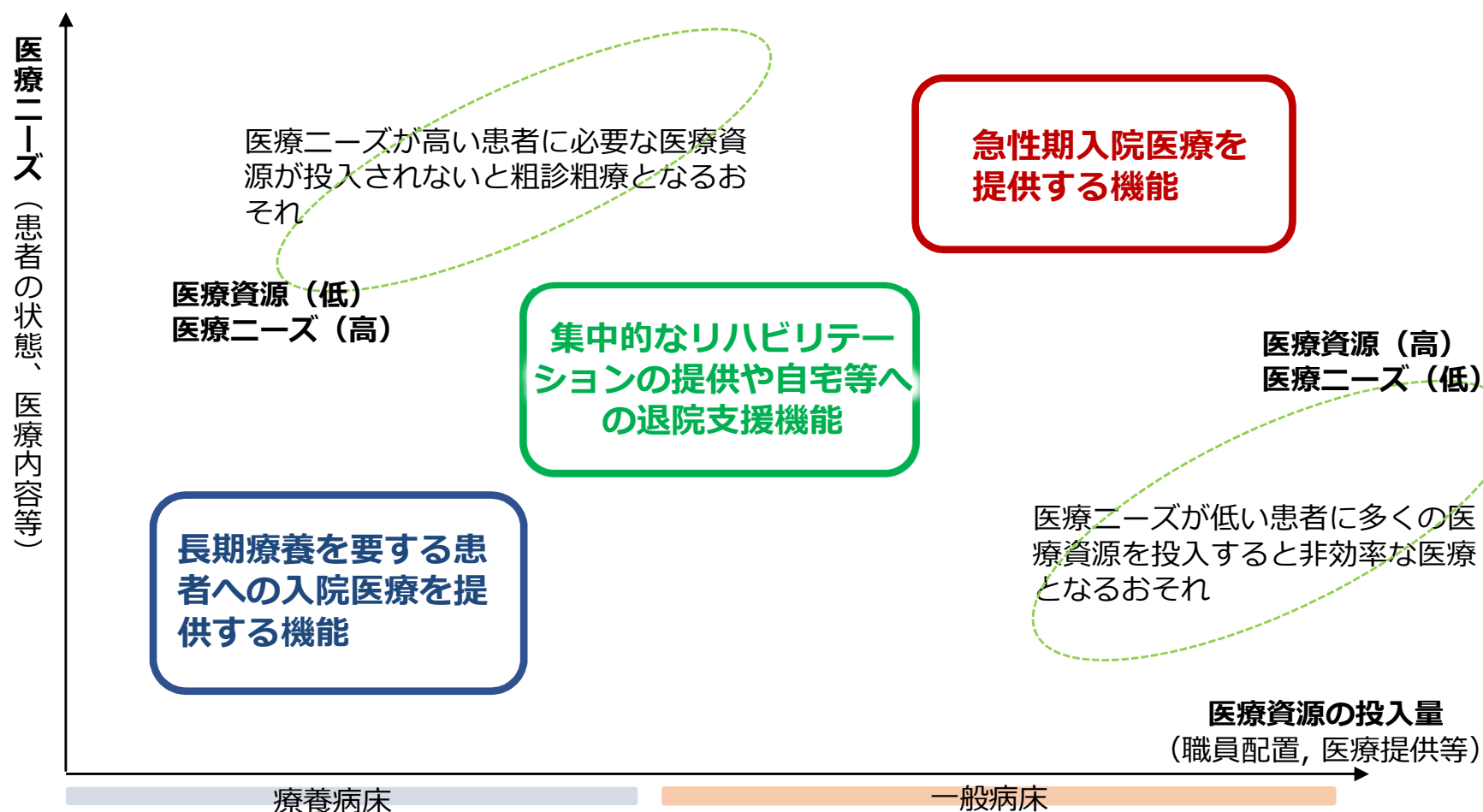
※2: 対象医療機関数及び報告率が異なることから、年度間比較を行う際は留意が必要

※3: 小数点以下を四捨五入しているため合計しても100%にならない場合がある

※4: 平成25年度(2013年度)のNDBのレセプトデータ及びDPCデータ、国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口(平成25年(2013年)3月中位推計)』等を用いて推計

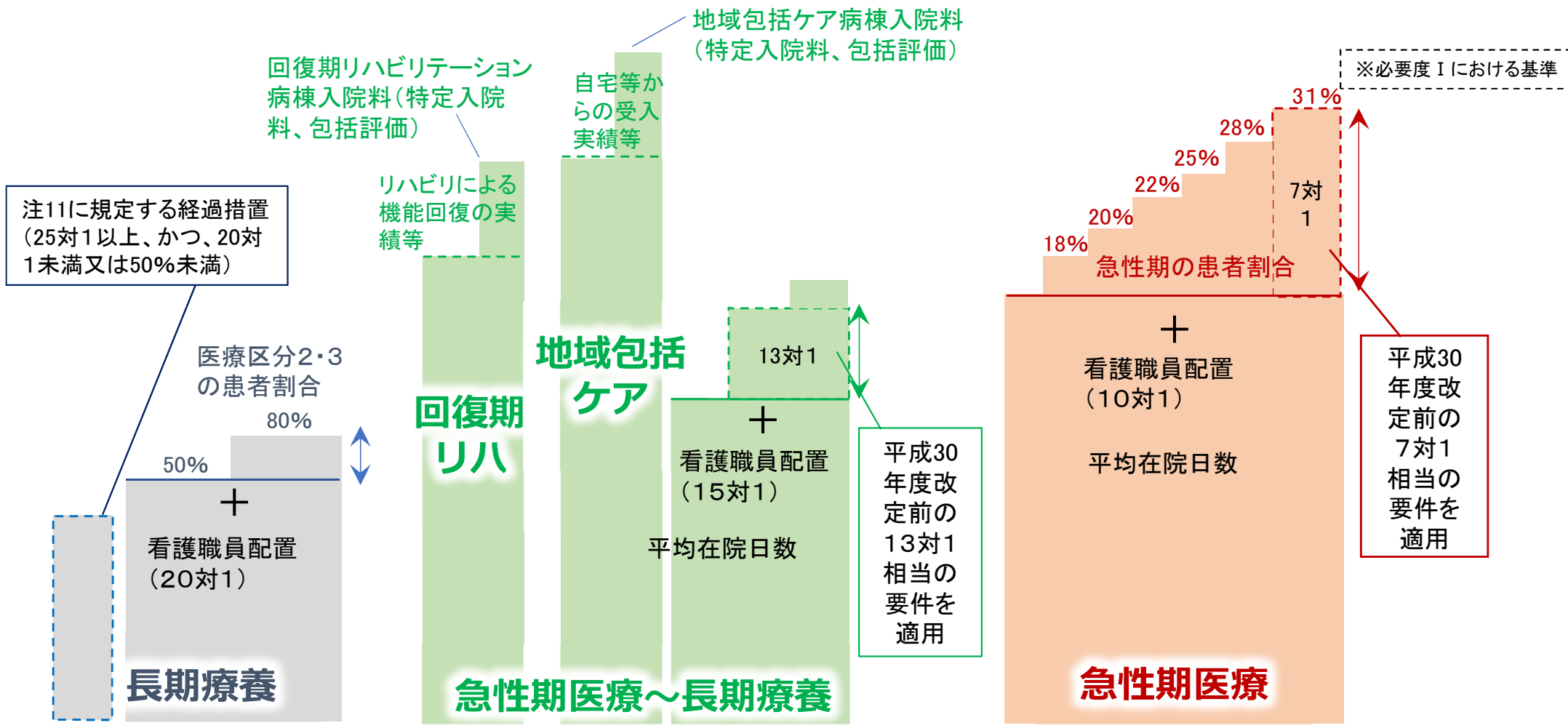
入院医療の評価の基本的な考え方（イメージ）

- 入院医療の評価の基本的な考え方としては、個々の患者の状態に応じて、適切に医療資源が投入され、より効果的・効率的に質の高い入院医療が提供されることが望ましい。
- 患者の状態や医療内容に応じた医療資源の投入がなされないと、非効率な医療となるおそれや、粗診粗療となるおそれがある。



入院医療の評価体系(イメージ)

○ 入院医療評価体系については、平成30年度改定において基本的な医療の評価部分と診療実績に応じた段階的な評価部分との二つの評価を組み合わせた新たな評価体系に再編・統合した。評価体系となる入院料は、急性期医療、急性期医療～長期療養、長期療養の機能に大別される。



療養病棟入院基本料 (20対1、25対1) を再編・統合

一般病棟入院基本料 (13対1、15対1) 等を再編・統合

一般病棟入院基本料 (7対1、10対1) を再編・統合

※ 特定機能病院、専門病院、精神病棟、結核病棟、障害者施設等、その他の特定入院料等については、特定の機能や対象患者を想定した入院料のため、上記には含めていない。

急性期一般入院料1～7の内容

- 平成30年度改定において、一般病棟入院基本料(7対1、10対1)について、入院患者の医療の必要性に応じた適切な評価を選択できるよう、実績に応じた評価体系を導入し、将来の入院医療ニーズの変化にも弾力的に対応可能とするため、急性期一般入院料1～7に再編した。

| | | 入院料7 | 入院料6 | 入院料5 | 入院料4 | 入院料3 | 入院料2 | 入院料1 |
|------------------|--------------------------|----------------------|--------|--------|--------------------|--|--------------------|-------------------------------|
| 看護職員 | | 10対1以上 (7割以上が看護師) | | | | | | 7対1以上 (7割以上が 看護師) |
| 患者割合 | 重症度、 医療・看護 必要度Ⅰ | 測定していること | 18%以上 | 20%以上 | 22%以上 [20%以上]※3 | 25%以上 [23%以上]※2 | 28%以上 [26%以上]※1 | 31%以上 |
| | []内は 200床未満の 経過措置 | 測定していること | 15%以上 | 18%以上 | 20%以上 [18%以上]※3 | 23%以上 [21%以上]※2 | 26%以上 [24%以上]※1 | 29%以上 |
| 平均在院日数 | | 21日以内 | | | | | | 18日以内 |
| 在宅復帰・ 病床機能連携率 | | — | | | | | | 8割以上 |
| その他 | | — | | | | ・入院医療等に関する調査への 適切な参加 ・届出にあたり入院料1の届出実績 が必要 | | 医師の員数が入 院患者数の100 分の10以上 |
| データ提出加算 | | ○(要件) | | | | | | |
| 点数 | | 1,382点 | 1,408点 | 1,429点 | 1,440点 | 1,545点 | 1,619点 | 1,650点 |

【経過措置】

<全体>

令和2年3月31日時点で施設基準の届出あり

⇒令和3年9月30日まで基準を満たしているものとする

<200床未満>

許可病床数200床未満の病院

⇒令和4年3月31日まで割合の基準値を緩和する。

※[]内は許可病床数200床未満の病院の経過措置

- ※1現に急性期1又は2を届け出ている病棟に限る。
 ※2現に急性期1、2又は3を届け出ている病棟に限る。
 ※3現に急性期4を届け出ている病棟に限る。

地域一般入院料1～3の内容

平成30年度改定において、一般病棟入院基本料(13対1、15対1)について再編・統合し、新たに、地域一般入院基本料とした。

| | 入院料3 | 入院料2 | 入院料1 |
|-------------------------|----------------------|----------------------|--------|
| 看護職員 | 15対1以上 (4割以上が看護師) | 13対1以上 (7割以上が看護師) | |
| 平均在院日数 | 60日以内 | 24日以内 | |
| 重症度、医療・ 看護必要度の 測定 | — | ○ | |
| データ提出加算 | —(要件なし) | | |
| 点数 | 988点 | 1,153点 | 1,159点 |

救命救急入院料等の主な施設基準①

| | | 点数 | 医療機関数 病床数 | 主な施設基準 | 看護配置 | 必要度 | その他 |
|-------------------------------|--|----------------------------------|---|--|------------|----------------------|---|
| 救命救急入院料 | 入院料1 | ～3日 10,223点 | 187 3,578床 | ・専任の医師が常時勤務 ・手術に必要な麻酔科医等との連絡体制 | 4対1 | ICU用 測定評価 | 救命救急 センターを 有している こと ※「イ」は 救命救急 入院料 「ロ」は広 範囲熱傷 特定集中 治療管理 料を指す |
| | | ～7日 9,250点 | | | | | |
| | | ～14日 7,897点 | | | | | |
| | 入院料2 | ～3日 11,802点 | 28 234床 | ・救命救急入院料1の基準を満たす ・特定集中治療室管理料1又は3の基準を満たす | 2対1 | ICU用 8割 | |
| | | ～7日 10,686点 | | | | | |
| | | ～14日 9,371点 | | | | | |
| | 入院料3 | イ・ロ:～3日 10,223点 | 77 1,663床 | ・救命救急入院料1の基準を満たす ・広範囲熱傷特定集中治療を行うにふさわしい設備・医師 | 4対1 | ICU用 測定評価 | |
| | | イ・ロ:～7日 9,250点 | | | | | |
| イ:～14日 7,897点 | | | | | | | |
| ロ:～60日 8,318点 | | | | | | | |
| 入院料4 | イ・ロ:～3日 11,802点 | 82 1,081床 | ・救命救急入院料2の基準を満たす ・広範囲熱傷特定集中治療を行うにふさわしい設備・医師 | 2対1 | ICU用 8割 | | |
| | イ・ロ:～7日 10,686点 | | | | | | |
| | イ・ロ:～14日 9,371点 | | | | | | |
| | ロ:～60日 8,318点 | | | | | | |
| 特定集中治療室 管理料 (ICU) | 管理料1 | ～7日 14,211点 | 133 1,482床 | ・専任の医師が常時勤務(うち2人がICU経験5年以上) ・専任の専門性の高い常勤看護師が治療室内に週20時間以上 ・専任の臨床工学技士が常時院内に勤務 ・バイオクリーンルームであること | 2対1 | ICU用 8割 | |
| | | ～14日 12,633点 | | | | | |
| | 管理料2 | イ・ロ:～7日 14,211点 | 66 755床 | ・特定集中治療室管理料1の基準を満たす ・広範囲熱傷特定集中治療を行うにふさわしい設備・医師 | | ICU用 7割 | |
| | | イ:～14日 12,633点 ロ:～60日 12,833点 | | | | | |
| 管理料3 | ～7日 9,697点 ～14日 8,118点 | 361 2,839床 | ・専任の医師が常時勤務 ・バイオクリーンルームであること | | | | |
| 管理料4 | イ・ロ:～7日 9,697点 イ:～14日 8,118点 ロ:～60日 8,318点 | 72 762床 | ・特定集中治療室管理料3の基準を満たす ・広範囲熱傷特定集中治療を行うにふさわしい設備・医師 | | | | |
| ハイケアユニット 入院医療管理料 (HCU) | 管理料1 | 6,855点 | 574 5,388床 | ・専任の常勤医師が常時勤務 ・病床数30床以下 | 4対1 | HCU用 8割 | |
| | 管理料2 | 4,224点 | 34 339床 | | 5対1 | HCU用 6割 | |
| 脳卒中ケアユニット 入院医療管理料 (SCU) | | 6,013点 | 185 1,719床 | ・神経内科・脳外科5年以上の専任の医師が常時勤務 ・所定要件を満たした場合、神経内科・脳外科の経験を3年以上有する専任の医師が常時勤務すれば可 ・専任の常勤理学療法士又は常勤作業療法士が配置 ・病床数30床以下 | 3対1 | 一般病棟 用(I) 測定評価 | 脳梗塞、 脳出血、く も膜下出 血が8割以 上 |

※医療機関数及び病床数は令和2年9月16日中医協総会のデータを精査し集計し直したものの。

救命救急入院料等の主な施設基準②

| | | 点数 | 医療機関数 病床数 | 概要 | 主な施設基準 | 看護 配置 | その他 |
|------------------------------|------|----------------|---------------|--|--|----------|-----------------------|
| 小児特定集中治療室 管理料 (PICU) | | ～7日 16,317点 | 11 226床 | 15歳未満(小児慢性特定疾病医療支援の対象であれば20歳未満)であって、定められた状態にあり、医師が必要と認めたものが対象。 算定は14日(急性血液浄化、心臓手術ハイリスク群、左心低形成症候群、急性呼吸窮迫症候群又は心筋炎・心筋症の児は21日、ECMOを必要とする状態の患者にあつては35日)を限度とする。 | ・専任の医師が常時当該治療室内に勤務(専任の医師にはPICU勤務経験を5年以上有する医師を2名以上) ・8床以上設置 ・以下のいずれかを満たしていること ア:他の医療機関から転院してきた急性期治療中の患者が直近1年間20名以上 イ:他の医療機関から転院してきた患者が直近1年間で50名以上(そのうち、入院後24時間以内に人工呼吸を実施した患者が30名以上) | 2対1 | 小児入院医療管理料1の医療機関であること |
| | | 8日～ 14,211点 | | | | | |
| 新生児特定集中治療室 管理料 (NICU) | 管理料1 | 10,539点 | 79 779床 | 定められた状態にあり、医師が必要と認めた患者が対象。 算定は通算して21日(出生体重1500g以上で厚生労働大臣が定める疾患で入院している児は35日、出生時体重1000g未満の児は90日、出生体重1000～1500gの児は60日)を限度とする。 | ・専任の医師が常時、当該治療室内に勤務 ・以下のいずれかを満たしていること ア:直近1年間の出生体重1000g未満の患者が4件以上 イ:直近1年間の開胸/開腹手術が6件以上 ・専任の医師が常時、医療機関内に勤務 ・直近1年間の出生体重2500g未満の患者が30件以上 | 3対1 | / |
| | | 管理料2 | 8,434点 | | | | |
| 総合周産期特定集中治療室管理料 (MFICU) | 管理料1 | 7,381点 | 123 830床 | 疾病のため母体又は胎児に対するリスクの高い妊娠と認められる妊産婦であって、定められた状態にあり、医師が必要であると認めた者に対して算定する。算定は14日を限度とする。 | ・専任の医師が常時当該治療室内に勤務 ・帝王切開が必要な場合、30分以内に児の娩出が可能となるよう医療機関内に各職員を配置 ・3床以上設置 | 3対1 | 総合/地域周産期母子医療センターであること |
| | | 管理料2 | 10,539点 | 112 1,618床 | 定められた状態にあり、医師が必要と認めた患者が対象。 通算して21日(出生体重1500g以上で厚生労働大臣が定める疾患で入院している児は35日、出生時体重1000g未満の児は90日、出生体重1000～1500gの児は60日)を限度とする。 | | |
| 新生児治療回復室 入院医療管理料 (GCU) | | 5,697点 | 199 2,882床 | 定められた状態にあり、医師が必要と認めた患者が対象。算定は30日(出生時体重が1500g以上で厚生労働大臣が定める疾患で入院している児は50日、出生体重が1000g未満の児は120日、出生体重が1000～1500gの児は90日)を限度とする。 | ・医療機関内に専任の小児科の常勤医師又は週3日以上を常態として勤務しており、かつ、所定労働時間が22時間以上の勤務を行っている専任の小児科の非常勤医師が常時1名以上配置 | 6対1 | / |

地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料の施設基準

| | 入院料1 | | 管理料1 | | 入院料2 | | 管理料2 | | 入院料3 | | 管理料3 | | 入院料4 | | 管理料4 | | | |
|------------------|---|--|--|--|----------------|--|------|--|---------------------------------|--|--|--|----------------|--|------|--|--|--|
| 看護職員 | 13対1以上 (7割以上が看護師) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 重症患者割合 | 重症度、医療・看護必要度Ⅰ <u>14%</u> 以上 又は 重症度、医療・看護必要度Ⅱ <u>11%</u> 以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 入退院支援部門 | <u>入退院支援及び地域連携業務を担う部門</u> が設置されていること | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| リハビリ専門職 | 病棟又は病室を有する病棟に常勤の理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士を1名以上配置 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| リハビリテーション実施 | <u>患者の入棟時に測定したADLスコア等を参考にリハビリテーションの必要性を判断・説明・記録すること</u> リハビリテーションを提供する患者については1日平均2単位以上提供していること | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 意思決定支援の指針 | <u>適切な意思決定支援に係る指針</u> を定めていること | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 在宅復帰率 | 7割以上 | | | | | | | | - | | | | | | | | | |
| 一般病棟から転棟した患者割合※1 | - | | <u>6割未満</u> (許可病床数400床以上の場合) | | - | | - | | <u>6割未満</u> (許可病床数400床以上の場合) | | - | | - | | - | | | |
| 実績部分 | 自宅等から入棟した患者割合 | | 1割 <u>5分</u> 以上 (管理料の場合、10床未満は3月で <u>6人</u> 以上) | | | | - | | | | 1割 <u>5分</u> 以上 (管理料の場合、10床未満は3月で <u>6人</u> 以上) | | | | - | | | |
| | 自宅等からの緊急患者の受入 | | 3月で <u>6人</u> 以上 | | | | - | | | | 3月で <u>6人</u> 以上 | | | | - | | | |
| | 地域包括ケアの実績※2 | | ○ | | | | - | | | | ○ | | | | - | | | |
| 届出単位 | 病棟 | | 病室 | | 病棟 | | 病室 | | 病棟 | | 病室 | | 病棟 | | 病室 | | | |
| 許可病床数200床未満のみが対象 | ○ | | - | | ○ | | - | | ○ | | - | | ○ | | - | | | |
| 点数(生活療養) | 2,809点(2,794点) | | | | 2,620点(2,605点) | | | | 2,285点(2,270点) | | | | 2,076点(2,060点) | | | | | |

※2 以下の①～⑥のうち少なくとも2つを満たしていること

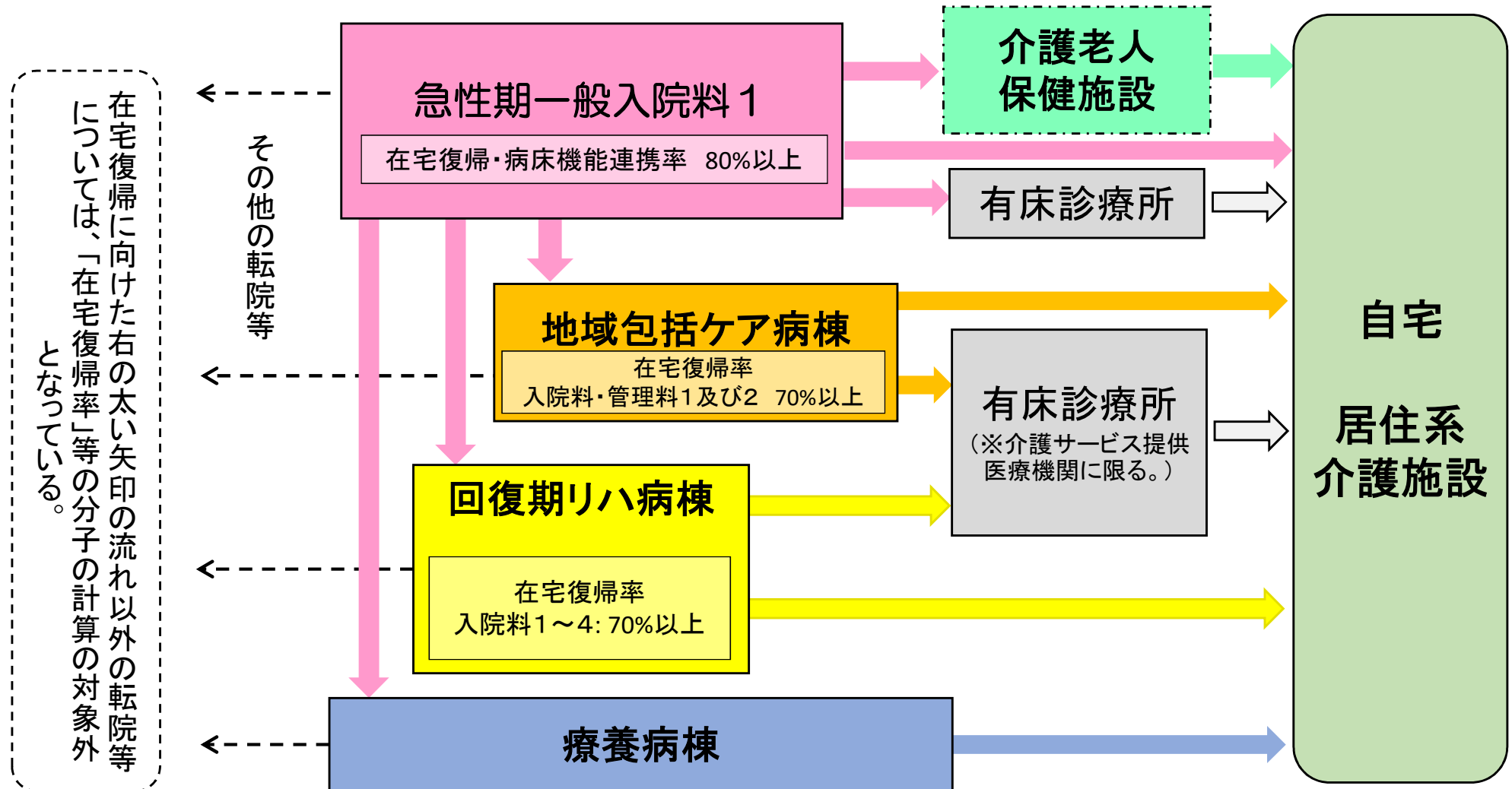
※1 満たせないものとして届け出た場合は入院料の所定点数の100分の90に相当する点数を算定

- ①当該保険医療機関において在宅患者訪問診療料(Ⅰ)及び(Ⅱ)の算定回数が直近3か月間で30回以上であること。
- ②当該保険医療機関において在宅患者訪問看護・指導料、同一建物居住者訪問看護・指導料又は精神科訪問看護・指導料Ⅰの算定回数が直近3か月間で60回以上であること。
- ③同一敷地内又は隣接する敷地内に位置する訪問看護ステーションにおいて訪問看護基本療養費又は精神科訪問看護基本療養費の算定回数が直近3か月間で300回以上であること。
- ④当該保険医療機関において在宅患者訪問リハビリテーション指導管理料の算定回数が直近3か月間で30回以上であること。
- ⑤同一敷地内又は隣接する敷地内に位置する事業所が、訪問介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、介護予防訪問看護又は介護予防訪問リハビリテーションの提供実績を有していること。
- ⑥当該保険医療機関において退院時共同指導料2の算定回数が直近3か月間で6回以上であること。

「在宅復帰率」の設定により想定される在宅復帰の流れ(イメージ図)

- 急性期一般入院料1における「在宅復帰・病床機能連携率」や、地域包括ケア病棟・療養病棟における「在宅復帰率」の基準において、自宅だけでなく、在宅復帰率等の基準の設定された病棟への転院等を、分子として算入できることとしている。
- これにより、各地域における、在宅復帰に向けた流れに沿った連携等の取り組みを促している。

各病棟ごとの在宅復帰率の算出にあたって、**在宅復帰に含まれる退院・転院を、太い矢印(➡)で示す**



※ 転棟患者(自院内の転棟)は除く。
 ※ 在宅復帰機能強化加算に係る記載は省略。

回復期リハビリテーション病棟入院料の施設基準等について

➤ 回復期リハビリテーション病棟入院料の施設基準について、以下のとおり見直す。

- 入院料1及び入院料3におけるリハビリテーション実績指数の見直し
- 管理栄養士の配置に係る要件の見直し 等

| | 入院料1 | 入院料2 | 入院料3 | 入院料4 | 入院料5 | 入院料6 |
|---|-------------------------------|------------------------------------|-------------------------------|---------------------|--------------------|--------------------|
| 医師 | 専任常勤1名以上 | | | | | |
| 看護職員 | 13対1以上(7割以上が看護師) | 15対1以上(4割以上が看護師) | | | | |
| 看護補助者 | 30対1以上 | | | | | |
| リハビリ専門職 | 専従常勤のPT3名以上、 OT2名以上、ST1名以上 | | 専従常勤の PT2名以上、OT1名以上 | | | |
| 社会福祉士 | 専任常勤1名以上 | | — | | | |
| 管理栄養士 | <u>専任常勤1名</u> | <u>専任常勤1名の配置が望ましい</u> | | | | |
| リハビリ計画書の栄養項目記載 | 必須 | <u>管理栄養士が配置されている場合:実施することが望ましい</u> | | | | |
| リハビリテーション実績指数等の 院内掲示等による公開 | ○ | | | | | |
| データ提出加算の届出 | ○ | | | ○(<u>※経過措置あり</u>) | | |
| 休日リハビリテーション | ○ | | — <u>※休日リハビリテーション提供体制加算あり</u> | | | |
| 「重症者」(<u>*1</u>)の割合 | 3割以上 | | 2割以上 | | — | |
| 重症者における 退院時の日常生活機能評価 <u>※()内はFIM総得点</u> | 3割以上が4点(<u>16点</u>)以上改善 | | 3割以上が3点(<u>12点</u>)以上改善 | | — | |
| 自宅等に退院する割合 | 7割以上 | | | | — | |
| リハビリテーション実績指数 | <u>40以上</u> | — | <u>35以上</u> | — | 30以上 | — |
| 点数 <u>※()内は生活療養を受ける場合</u> | 2,129点 (2,115点) | 2,066点 (2,051点) | 1,899点 (1,884点) | 1,841点 (1,827点) | 1,736点 (1,721点) | 1,678点 (1,664点) |

*1 日常生活機能評価10点以上又はFIM総得点55点以下

療養病棟入院基本料の概要

| | 療養病棟入院料1 | 療養病棟入院料2 | 経過措置 (療養病棟入院基本料「注11」に規定される点数) |
|-------------------|--|--|----------------------------------|
| 看護職員 | 20対1以上 (医療法上の4:1) | | 25対1以上 |
| 看護補助者 | 20対1以上 (医療法上の4:1) | | 25対1以上 |
| 医療区分2・3 該当患者割合 | 8割以上 | 5割以上 | |
| データ提出 | 必須 (経過措置あり) | | |
| 点数(*) | 医療区分1 815点～968点 医療区分2 1,232点～1,414点 医療区分3 1,471点～1,813点 | 医療区分1 751点～903点 医療区分2 1,167点～1,349点 医療区分3 1,406点～1,748点 | 療養病棟入院料2の 85/100を算定 |

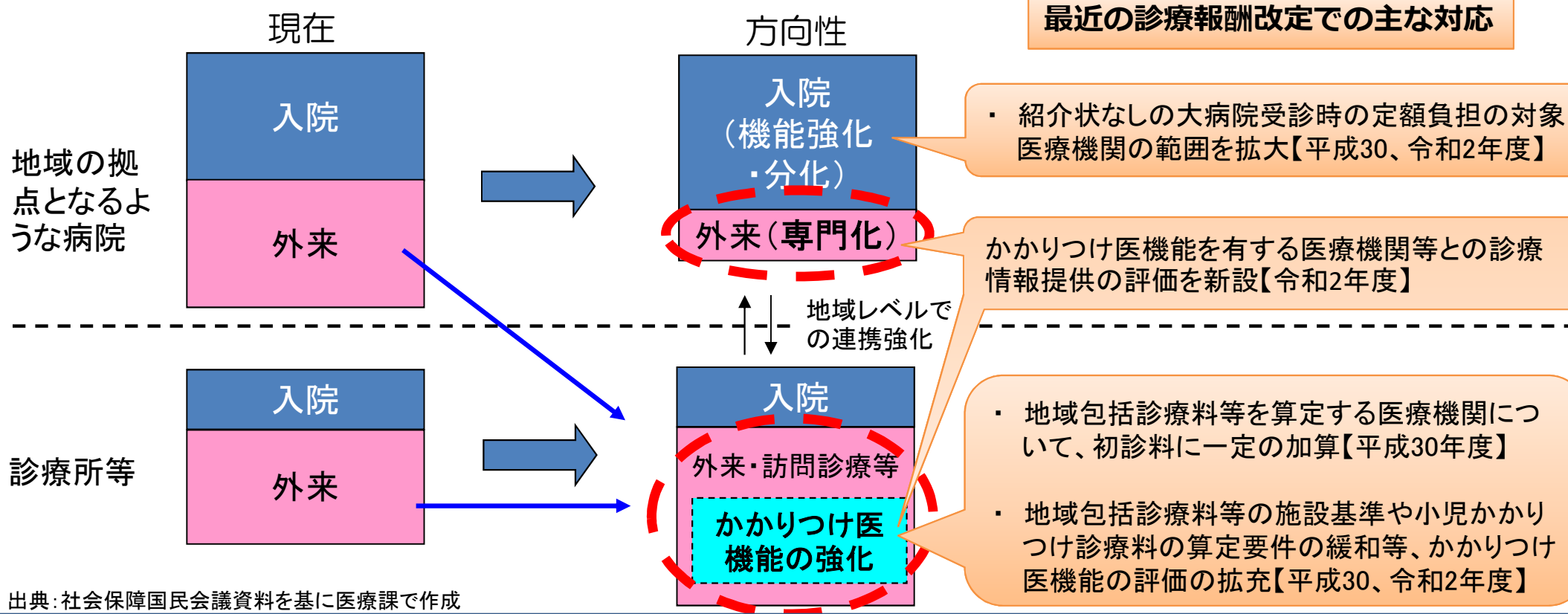
* :生活療養を受ける場合の点数は除く。

外来医療の今後の方向性(イメージ)

社会保障制度改革国民会議報告書(H25年8月6日)抜粋

- 新しい提供体制は、利用者である患者が大病院、重装備病院への選好を今の形で続けたままでは機能しない
- フリーアクセスの基本は守りつつ、限りある医療資源を効率的に活用するという医療提供体制改革に即した観点からは、医療機関間の適切な役割分担を図るため、「緩やかなゲートキーパー機能」の導入は必要
- 大病院の外来は紹介患者を中心とし、一般的な外来受診は「かかりつけ医」に相談することを基本とするシステムの普及、定着は必須
- 医療の提供を受ける患者の側に、大病院にすぐに行かなくとも、気軽に相談できるという安心感を与える医療体制の方が望ましい

外来医療の役割分担のイメージ



出典: 社会保障国民会議資料を基に医療課で作成

1. 外来機能の明確化・連携

令和3年2月8日

第78回社会保障審議会医療部会

参考資料1

〔現状及び課題〕

- 中長期的に、地域の医療提供体制は人口減少や高齢化等に直面。外来医療の高度化も進展。このような地域の状況の変化に対応して、質の高い外来医療の提供体制を確保・調整していくことが課題。
- 高齢化の進展により、複数の慢性疾患を抱える高齢者が増加する中で、かかりつけ医機能を強化していくことが課題。
- 患者の医療機関の選択に当たり、外来機能の情報が十分得られている状況とは言えない。患者にいわゆる大病院志向がある中で、再診患者の逆紹介が十分に進んでいないこと等により一定の医療機関の外来患者が多くなり、患者の待ち時間や勤務医の外来負担等の課題。
- 外来機能の明確化・連携は、これまで医療関係者の自主的な取組が進められてきたものの、地域によっては取組が進んでいないところもあり、これをさらに進めていくことが重要。

〔具体的方策・取組〕

(1) 全体の枠組み

- 紹介患者を基本とする外来として、「医療資源を重点的に活用する外来」(仮称)に着目して、地域における外来機能の明確化・連携を図るとともに、かかりつけ医機能の強化を議論することは、外来医療全体の在り方の議論のために必要な第一歩。
- 各医療機関から都道府県に「医療資源を重点的に活用する外来」(仮称)に関する医療機能を報告し、その報告を踏まえ、地域における協議の場において、各医療機関の自主的な取組等の進捗状況を共有し、また、地域における必要な調整。
- 患者の分かりやすさや地域の協議を進めやすくする観点から、「医療資源を重点的に活用する外来」(仮称)を地域で基幹的に担う医療機関を明確化。地域の患者の流れがより円滑になり、病院の待ち時間の短縮や勤務医の外来負担の軽減、医師働き方改革に資すると期待。

(2) 「医療資源を重点的に活用する外来」(仮称)

- 「医療資源を重点的に活用する外来」(仮称)として、基本的に次の機能が考えられるが、具体的な内容は、今後さらに検討。(※)
 - ① 医療資源を重点的に活用する入院の前後の外来
 - ② 高額等の医療機器・設備を必要とする外来
 - ③ 特定の領域に特化した機能を有する外来（紹介患者に対する外来等）
- ※ (2)～(4)において、「今後さらに検討」とした事項は、地域医療の担い手も参画するとともに、患者の立場も考慮した専門的な検討の場において検討。
- 「医療資源を重点的に活用する外来」(仮称)の呼称は、患者の立場からみた呼称として、紹介状の必要な外来や紹介を基本とする外来などの意見。今般の趣旨を適切に表すことに留意しつつ、国民の理解が得られるよう、国民の分かりやすさの観点から、今後さらに検討。

外来機能の明確化・連携、かかりつけ医機能の強化等に関する報告書（概要）②

令和2年12月11日 医療計画の見直し等に関する検討会

令和3年2月8日

第78回社会保障審議会医療部会

参考資料1

(3) 外来機能報告（仮称）

- 病床機能報告を参考に、各医療機関から都道府県に、外来機能のうち、「医療資源を重点的に活用する外来」(仮称)に関する医療機能の報告（外来機能報告（仮称））を行う。
- 外来機能報告（仮称）を行う医療機関は、まずは、併せて報告する病床機能報告と同様、一般病床又は療養病床を有する医療機関を基本とし、無床診療所については、任意で外来機能報告（仮称）を行うことができる。
- 外来機能報告（仮称）の具体的な報告事項は、今後さらに検討。

(4) 地域における協議の仕組み

- 都道府県の外来医療計画において、外来機能の明確化・連携を位置付ける。外来機能報告（仮称）を踏まえ、地域における協議の場において、各医療機関の自主的な取組等の進捗状況を共有し、また、地域における必要な調整を行う。
- 「医療資源を重点的に活用する外来」(仮称)を地域で基幹的に担う医療機関を明確化する仕組みを設け、その方法として、外来機能報告（仮称）の中で報告する。紹介患者への外来を基本とする医療機関であることが患者に分かるよう、広告可能とする。
- 「医療資源を重点的に活用する外来」(仮称)を地域で基幹的に担う医療機関の報告に当たっては、(2)①～③の割合等の国の示す基準を参考にして、地域の協議の場で確認することにより、地域の実情を踏まえることができる仕組みとする。
- 「医療資源を重点的に活用する外来」(仮称)を地域で基幹的に担う医療機関の呼称や、国の示す基準は、今後さらに検討。
- 診療科ごとの外来医療の分析、紹介・逆紹介の状況の分析等は、今後さらに検討。再診患者の逆紹介が適切に進むように配慮。

2. かかりつけ医機能の強化、外来医療における多職種の役割、外来医療のかかり方に関する国民の理解の促進

(1) かかりつけ医機能の強化

- かかりつけ医機能について、日本医師会・四病院団体協議会合同提言（平成25年8月）、地域の実践事例等を踏まえ、予防や生活全般の視点、介護や地域との連携、休日・夜間の連携を含め、地域における役割の整理が求められている。かかりつけ医機能を発揮している事例等を調査・研究し、かかりつけ医機能に係る好事例の横展開を図る。
- 医療関係団体による研修等の内容や研修等を受けた医師の実践事例等を国民に周知し、かかりつけ医機能に係る国民の理解を深める。
- 医療機能情報提供制度について統一的で分かりやすい検索システムを検討するとともに、医療機能情報提供制度を周知。

(2) 外来医療における多職種の役割

- 外来医療において、多職種が連携して、それぞれの専門性を発揮しており、チームとしての役割・連携を推進。

(3) 外来医療のかかり方に関する国民の理解の推進

- 上手な外来医療のかかり方のポイント、かかりつけ医をもつことのメリット等を整理し、関係機関・団体が周知・啓発に活用できるツールを作成するとともに、展開方法を共有。国においても、医療関係団体等の協力の下、国民・患者に対して積極的に周知・啓発。

「かかりつけ医」と「かかりつけ医機能」

日本医師会・四病院団体協議会合同提言（平成25年8月8日）より抜粋

「かかりつけ医」とは(定義)

なんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要なときには専門医、専門医療機関を紹介でき、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力を有する医師。

「かかりつけ医機能」

- かかりつけ医は、日常行う診療においては、患者の生活背景を把握し、適切な診療及び保健指導を行い、自己の専門性を超えて診療や指導を行えない場合には、地域の医師、医療機関等と協力して解決策を提供する。
- かかりつけ医は、自己の診療時間外も患者にとって最善の医療が継続されるよう、地域の医師、医療機関等と必要な情報を共有し、お互いに協力して休日や夜間も患者に対応できる体制を構築する。
- かかりつけ医は、日常行う診療のほかに、地域住民との信頼関係を構築し、健康相談、健診・がん検診、母子保健、学校保健、産業保健、地域保健等の地域における医療を取り巻く社会的活動、行政活動に積極的に参加するとともに保健・介護・福祉関係者との連携を行う。また、地域の高齢者が少しでも長く地域で生活できるよう在宅医療を推進する。
- 患者や家族に対して、医療に関する適切かつわかりやすい情報の提供を行う。

かかりつけ医機能に係る評価の経緯

| 改定年度 | 項目 | 概要 |
|--------|--|---|
| 平成26年度 | 地域包括診療料 地域包括診療加算 | (新設) 複数の慢性疾患を有する患者に対し、継続的かつ全人的な医療を行うことについての評価を新設。 |
| 平成28年度 | 地域包括診療料 地域包括診療加算 | (施設基準の緩和) 病院の場合「2次救急指定病院または救急告示病院」である必要があったところを削除。診療所における医師の配置基準を緩和。 |
| | 認知症地域包括診療料 認知症地域包括診療加算 | (新設) 複数疾患を有する認知症患者に対し、継続的かつ全人的な医療を行うことについての評価を新設。 |
| | 小児かかりつけ診療料 | (新設) 3歳未満の小児に対する、継続的かつ全人的な医療を行うことについての評価を新設。 |
| 平成30年度 | 機能強化加算 | (新設) かかりつけ医機能に係る診療報酬を届け出ている医療機関において、専門医療機関への受診の可否の判断等を含めた、初診時における診療機能を評価する加算を新設。 |
| | 地域包括診療料 地域包括診療加算 認知症地域包括診療料 認知症地域包括診療加算 | (医師配置基準の緩和・在宅への移行実績を評価) ・診療所における医師の配置基準を緩和。患者の受診医療機関・処方薬の把握を看護師等も実施可能であることを明確化。 ・在宅への移行実績を評価する診療料1・加算1を設定。 ・加算について、24時間対応の要件を緩和。 |
| 令和2年度 | 地域包括診療加算 | (施設基準の緩和) 時間外の対応に係る要件を緩和。 |
| | 小児かかりつけ診療料 小児外来診療料 | (要件緩和等) 算定対象となる患者を3歳未満から6歳未満に拡大。院内処方を行わない場合の取扱いの見直し。 |
| | 機能強化加算 | (要件見直し) 院内の掲示等の情報提供に係る要件について、必要に応じて専門医又は専門医療機関への紹介を行っている等を追加。また当該内容を持ち帰れる形で置くことを追加。 |
| | 診療情報提供料(Ⅲ) | (新設) かかりつけ医機能を有する医療機関等から紹介された患者に対して継続的な診療を行っている場合に、紹介元の医療機関等からの求めに応じて、診療情報の提供を行った場合の評価を新設。 |

かかりつけ歯科医について

■かかりつけ歯科医とは

かかりつけ歯科医とは、安全・安心な歯科医療の提供のみならず医療・介護に係る幅広い知識と見識を備え、地域住民の生涯に亘る口腔機能の維持・向上をめざし、地域医療の一翼を担う者としてその責任を果たすことができる歯科医師をいう。

■かかりつけ歯科医が担う役割

患者の乳幼児期から高齢期までのライフステージに応じた継続管理や重症化予防のための適切な歯科医療の提供および保健指導を行い、口腔や全身の健康の維持増進に寄与すること。

また、地域の中では、住民のために行政や関係する各団体と共に歯科健診などの保健活動等を通じ口腔保健向上の役割を担い、地域の関係機関や他職種と連携し、通院が困難な患者にさまざまな療養の場で切れ目のない在宅歯科医療や介護サービスを提供するとともに、地域包括ケアに参画することなどがかかりつけ歯科医の役割である。

かかりつけ歯科医機能評価の充実

- かかりつけ歯科医機能をより一層推進する観点から、かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所の見直しや、かかりつけ医との情報共有・連携の評価を行う。

- ・ う蝕・歯周病の継続管理の算定実績の明確化



- ・ 在宅療養支援歯科診療所との連携を評価



- ・ 在宅医療、介護に関する連携等を評価
- ・ 多職種連携の評価 等



連携

連携

歯科訪問診療への移行



- ・ 外来から歯科訪問診療に移行した場合を評価



- ・ 学校歯科医等の実績

- ・ 歯科疾患の継続管理
- ・ 小児の口腔機能管理
- ・ 高齢者の口腔機能管理
- ・ 緊急時の対応

- ・ 研修内容

かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所

○ 平成30年度診療報酬改定において、う蝕や歯周病の重症化予防に関する継続的な管理実績を要件として追加する等の要件の見直しを行った。

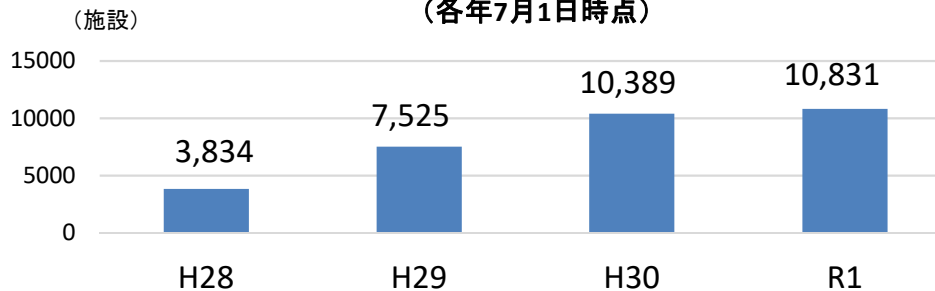
【施設基準】

- 過去1年間に歯周病安定期治療（Ⅰ）又は（Ⅱ）を合計30回以上算定実績。
- 過去1年間にフッ化物歯面塗布処置又は歯科疾患管理料のエナメル質初期う蝕管理加算を合計10回以上算定実績。
- クラウン・ブリッジ維持管理料を算定する旨の届出。
- 歯科初診料の注1に規定する施設基準の届出。
- 過去1年間に歯科訪問診療1若しくは2の算定回数又は連携する在宅療養支援歯科診療所1若しくは2に依頼した歯科訪問診療の回数が合計5回以上であること。
- 過去1年間に診療情報提供料又は診療情報連携共有料を合計5回以上算定している実績があること。
- 当該医療機関に、歯科疾患の重症化予防に資する継続管理に関する研修（口腔機能の管理を含む）、高齢者の心身の特性及び緊急時対応等の適切な研修を修了した歯科医師が1名以上在籍していること。
- 以下のうちの3つ以上に該当していること。
 - ・過去1年間に、居宅療養管理指導の提供実績。
 - ・地域ケア会議に年1回以上出席。
 - ・介護認定審査会の委員の経験。
 - ・在宅医療に関するサービス担当者会議、病院・介護保険施設等で実施される多職種連携会議等に参加。
 - ・栄養サポートチーム等連携加算1又は2の算定実績。
 - ・在宅医療・介護等に関する研修を受講。
 - ・過去1年間に、退院時共同指導料1、退院前在宅療養指導管理料、在宅患者連携指導料又は在宅患者緊急時等カンファレンス料の算定実績。
 - ・認知症対応力向上研修等、認知症に関する研修を受講。
 - ・自治体等が実施する事業に協力。
 - ・学校歯科医等に就任。
 - ・歯科診療特別対応加算又は初診時歯科診療導入加算の算定実績。

＜かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所の診療報酬上の評価＞

| 区分 | かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所 | その他 |
|--------------------------|---|---|
| エナメル質初期う蝕管理加算 | 260点 | — |
| 長期管理加算 | 120点 | 100点 |
| 歯科訪問診療補助加算 | 同一建物居住者以外の場合 115点、 同一建物居住者の場合50点 | 同一建物居住者以外の場合 90点、 同一建物居住者の場合30点 |
| 歯科訪問診療移行加算 | 150点 | 100点 |
| 在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料 | 右記 +75点 | 10歯未満 350点 10歯以上20歯未満 450点 20歯以上 550点 |
| 小児在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料 | 右記 +75点 | 450点 |
| 歯周病安定期治療（Ⅱ） | 10歯未満 380点 10歯以上20歯未満 550点 20歯以上 830点 | — |

かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所の届出医療機関数
(各年7月1日時点)



出典：保険局医療課調べ

かかりつけ薬剤師

日頃から患者と継続的に関わることで信頼関係を構築し、薬に関していつでも気軽に相談できる薬剤師

<かかりつけ薬剤師・薬局に求められること>

- 地域における必要な医薬品（要指導医薬品等を含む。）の供給拠点であること
- 医薬品、薬物治療等に関して、安心して相談できる身近な存在であること
- 患者からの選択に応えられるよう、かかりつけ医との連携の上で、在宅医療も含め、患者に安全で安心な薬物療法を提供すること
- 地域における総合的な医療・介護サービス（地域包括ケア）を提供する一員として、患者ごとに最適な薬学的管理・指導を行うこと

かかりつけ薬剤師・薬局が必要となる患者像

「患者のための薬局ビジョン」から抜粋・要約

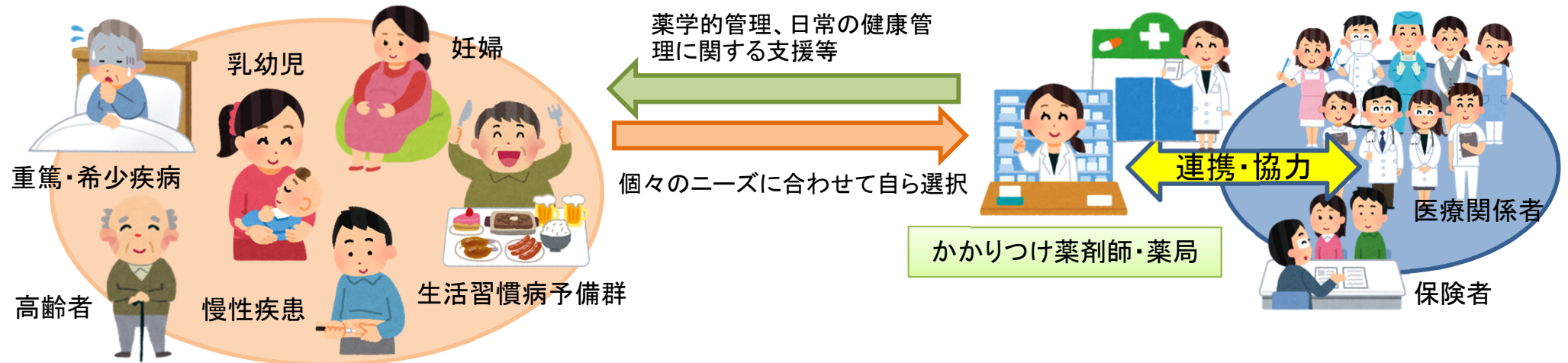
(1) 特にかかりつけ薬剤師・薬局が重要な場合

以下のような服薬情報の一元的・継続的な把握の必要性が高い患者

- ① 高齢者
- ② 生活習慣病などの慢性疾患を有する患者
- ③ 重篤あるいは希少な疾患等の患者
- ④ 妊婦
- ⑤ 乳幼児 など

(2) かかりつけ薬剤師・薬局を選ぶことが望ましい場合（日頃からの健康管理に関する支援等として）

- ① 生活習慣病の予備群
- ② 日常の健康管理が求められる層



服薬情報の一元的・継続的な把握の必要性が高い患者、
日常の健康管理が求められる層

かかりつけ薬剤師について(令和2年度改定後)

かかりつけ薬剤師の評価

- 患者が選択した「かかりつけ薬剤師」が、処方医と連携して患者の服薬状況を一元的・継続的に把握した上で患者に対して服薬指導等を行う業務を薬学管理料として評価する。

かかりつけ薬剤師指導料 76点(1回につき)

※ 薬剤服用歴管理指導料、かかりつけ薬剤師包括管理料又は在宅患者訪問薬剤管理指導料(当該患者の薬学的管理指導計画に係る疾病と別の疾病又は負傷に係る臨時の投薬が行われた場合を除く。)と同時に算定できない。

[かかりつけ薬剤師の主な業務]

- ・薬の一元的・継続的な把握
- ・薬の飲み合わせなどのチェック
- ・薬に関する丁寧な説明
- ・時間外の電話相談
- ・他の医療関係者との連携
- ・飲み残した場合の薬の整理
- ・調剤後のフォロー
- ・在宅療養が必要になった場合の対応
- ・血液・生化学検査結果等をもとにした説明

[施設基準]

以下の要件を全て満たす保険薬剤師を配置していること。

(1) 以下の経験等を全て満たしていること。

ア 施設基準の届出時点において、保険薬剤師として3年以上の薬局勤務経験があること。

イ 当該保険薬局に週32時間以上(32時間以上勤務する他の保険薬剤師を届け出た保険薬局において、育児・介護休業法の規定により労働時間が短縮された場合にあつては、週24時間以上かつ週4日以上である場合を含む。)勤務していること。

ウ 施設基準の届出時点において、当該保険薬局に1年以上在籍していること。

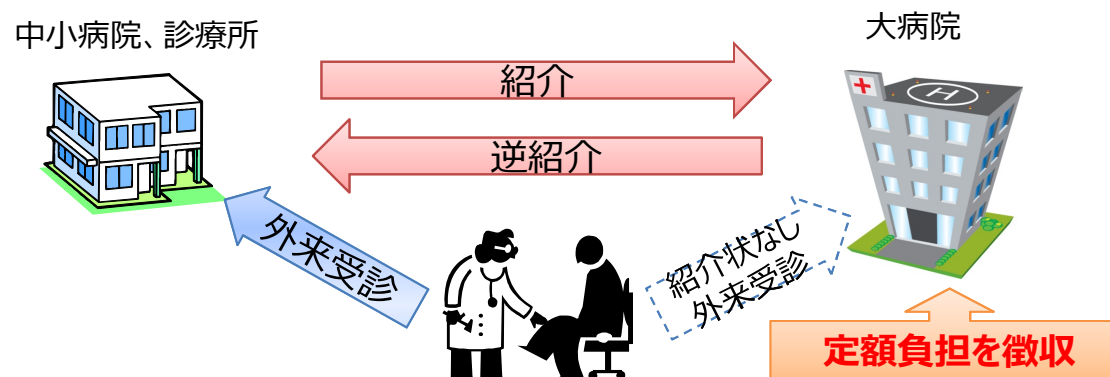
(2) 薬剤師認定制度認証機構が認証している研修認定制度等の研修認定を取得していること。

(3) 医療に係る地域活動の取組に参画していること。

(4) 患者との会話のやり取りが他の患者に聞こえないようパーティション等で区切られた独立したカウンターを有するなど、患者のプライバシーに配慮していること

紹介状なしで受診する場合等の定額負担（現行）

- 保険医療機関相互間の機能の分担及び業務の連携の更なる推進のため、平成28年度から一定規模以上の保険医療機関について、定額の徴収を求めているところ。
- ① 特定機能病院及び一般病床200床以上の地域医療支援病院については、現行の選定療養の下で、定額の徴収を責務とする。
 - ② 定額負担は、徴収する金額の最低金額として設定するとともに、初診については5,000円（歯科は3,000円）、再診については2,500円（歯科は1,500円）とする。
 - ③ 現行制度と同様に、緊急その他やむを得ない事情がある場合については、定額負担を求めないこととする。その他、定額負担を求めなくても良い場合を定める。
 - [緊急その他やむを得ない事情がある場合]
救急の患者、公費負担医療の対象患者、無料低額診療事業の対象患者、HIV感染者
 - [その他、定額負担を求めなくて良い場合]
 - a. 自施設の他の診療科を受診中の患者
 - b. 医科と歯科の間で院内紹介した患者
 - c. 特定健診、がん検診等の結果により精密検査の指示があった患者 等
- なお、一般病床200床以上の病院については、緊急その他やむを得ない事情がある場合を除き、選定療養として特別の料金を徴収することができることとされている。



徴収を認められない患者及び徴収を求めないことができる患者

選定療養(平成8年度～)

紹介状なしで病院を受診した患者については、初再診料とは別に、特別の料金を徴収することができる。(一般病床200床以上の病院が対象)

対象除外

- ① 緊急の患者
- ② 国の公費負担医療制度の受給対象者
- ③ 地方単独の公費負担医療の受給対象者(事業の趣旨が特定の障害、特定の疾病等に着眼しているものに限る)
- ④ 無料低額診療事業実施医療機関における当該制度の対象者
- ⑤ エイズ拠点病院におけるHIV感染者

大病院受診時定額負担(平成28年度～)

紹介状なしで病院を受診した患者については、初再診料とは別に、特別の料金を徴収することが義務付けられている。(特定機能病院又は一般病床200床以上の地域医療支援病院が対象)

対象除外

- ① 救急の患者
- ② 国の公費負担医療制度の受給対象者
- ③ 地方単独の公費負担医療の受給対象者(事業の趣旨が特定の障害、特定の疾病等に着眼しているものに限る)
- ④ 無料低額診療事業実施医療機関における当該制度の対象者
- ⑤ エイズ拠点病院におけるHIV感染者
- ⑥ 自施設の他の診療科を受診している患者
- ⑦ 医科と歯科との間で院内紹介された患者
- ⑧ 特定健康診査、がん検診等の結果により精密検査受診の指示を受けた患者
- ⑨ 救急医療事業、周産期事業等における休日夜間受診患者
- ⑩ 外来受診から継続して入院した患者
- ⑪ 地域に他に当該診療科を標榜する保険医療機関がなく、当該保険医療機関が外来診療を実質的に担っているような診療科を受診する患者
- ⑫ 治験協力者である患者
- ⑬ 災害により被害を受けた患者
- ⑭ 労働災害、公務災害、交通事故、自費診療の患者
- ⑮ その他、保険医療機関が当該保険医療機関を直接受診する必要性を特に認めた患者

対象除外にできる

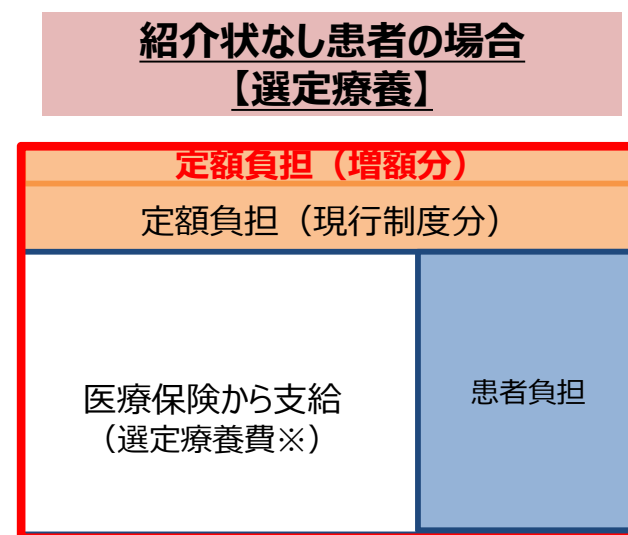
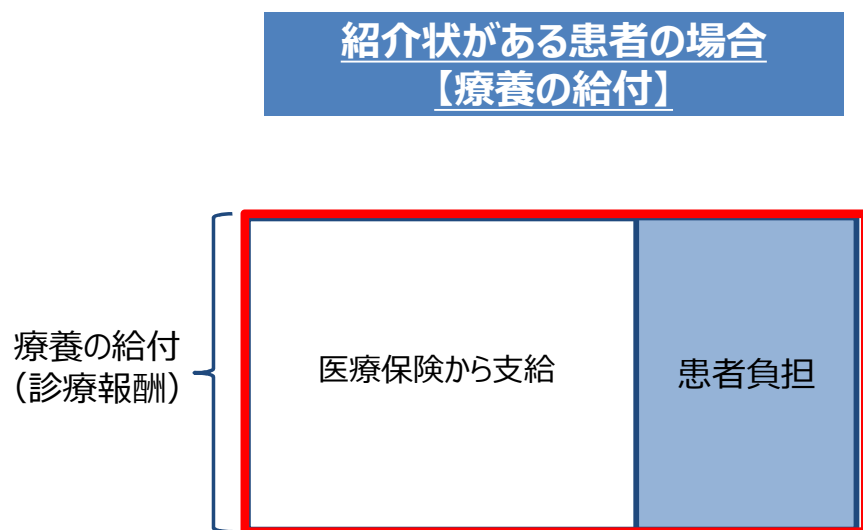
大病院への患者集中を防ぎかかりつけ医機能の強化を図るための定額負担の拡充について

見直し案

- 患者が安心して必要な医療機関を受診できる環境を作り、診察の待ち時間を減らすためには、患者自身が医療機関の選択等を適切に理解して医療にかかること（上手な医療のかかり方）が必要。
- **日常行う診療はかかりつけ医機能を担う身近な医療機関で受け、必要に応じて紹介を受けて、患者自身の状態にあった他の医療機関を受診し、さらに逆紹介によって身近な医療機関に戻るという流れをより円滑にするため、現行の紹介状なしで大病院を受診する場合の定額負担（選定療養）を以下のように見直してはどうか。**
 - ① **新たに設けられる「紹介患者への外来を基本とする医療機関」にも、対象医療機関を拡大**する。
※一般病床200床以上のみ
 - ② **かかりつけ医機能を担う地域の医療機関を受診せず、あえて紹介状なしで大病院を受診する患者の初・再診については、一定額を保険給付範囲から控除し、同額以上に定額負担の額を増額する。（例外的・限定的な取扱）**
※一定額の例：初診の場合、少なくとも生じる程度の額として2,000円
※外来初診患者数全体に占める定額負担徴収患者の比率は、定額負担5,000～7,000円の場合は10.9%であるが、7,000円～10,000円の場合は5.3%
 - ③ さらに、**大病院からかかりつけ医機能を担う地域の医療機関への逆紹介を推進するとともに、再診を続ける患者への定額負担を中心に、除外要件の見直し等**を行う。

外来機能分化に沿った受診

例外的・限定的な取扱



※ 現行の算定額から一定額を控除した額を基準として選定療養費を支給

特定機能病院等における紹介率・逆紹介率について

| | 特定機能病院 | 地域医療支援病院 (一般病床200床未満を除く) | 許可病床400床以上 |
|--------------|--|---|----------------------------|
| 【医療法】要件 | 紹介率50%以上・逆紹介率40%以上となるよう努めること。(※1) | 次のいずれかに該当すること。(※2) ア. 紹介率80%以上 イ. 紹介率60%以上かつ逆紹介率30%以上 ウ. 紹介率40%以上かつ逆紹介率60%以上 | |
| 【報酬】初診料の減算規定 | 紹介率50%未満 (逆紹介率50%以上を除く) | | 紹介率40%未満 (逆紹介率30%以上を除く) |
| 紹介率＝ | (紹介患者数＋救急搬送者数) ÷ 初診患者数 | 【医療法】 紹介患者数 ÷ 初診患者数 【報酬】 (紹介患者数＋救急搬送者数) ÷ 初診患者数 | (紹介患者数＋救急搬送者数) ÷ 初診患者数 |
| 逆紹介率＝ | 逆紹介患者数 ÷ 初診患者数 | | |
| 紹介患者の数 | 他の病院又は診療所から紹介状により紹介された者の数(初診に限る)。 以下を含む。 ・ 紹介元からの電話情報により、特定機能病院の医師が紹介状に転記する場合 ・ 他の医療機関における検診の結果により精密検診のための受診で紹介状又は検査票等に、紹介目的、検査結果等についての記載がされている | | |
| 逆紹介患者の数 | 紹介状により他の病院又は診療所に紹介した患者の数。 以下を含む。 ・ 電話情報により他の病院等に紹介し、その旨を診療録に記載した患者 ・ 紹介元に返書により紹介した患者 | 他の病院又は診療所に紹介した者の数。具体的には、 ・ 診療状況を示す文書を添えて紹介(診療情報提供料を算定)した患者 ・ 地域連携診療計画料を算定した患者のうち診療情報提供料算定の要件を満たす者 | |
| 初診患者の数 | 医学的に初診といわれる診療行為があった患者の数。 以下を除く。 ・ 休日又は夜間に受診した患者 ・ 自院の健康診断で疾患が発見された患者 | 医学的に初診といわれる診療行為があった患者の数。 以下を除く。 ・ 救急搬送者 ・ 休日又は夜間に受診した患者 ・ 自院の健康診断で疾患が発見された患者 | |
| 救急搬送者の数 | 地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された初診の患者の数。 | | |

※1 医療法の一部を改正する法律の一部の施行について(平成5年2月18日) (健政発第19号)
 ※2 医療法の一部を改正する法律の一部の施行について(平成10年5月19日) (健政発第639号)

大病院の紹介率・逆紹介率を高める取り組み

紹介率・逆紹介率の低い病院に対する初再診料等減算

- 特定機能病院及び地域医療支援病院(一般病床200床未満を除く。)であって、紹介率・逆紹介率の低い病院における初診料及び外来診療料について適正な評価を行うことで、外来機能の分化及び病院勤務医の負担軽減を図る。
(平成24年度診療報酬改定において新設)

①初診料 214点 (紹介のない場合)

②外来診療料 55点 (他医療機関へ文書による紹介を行う旨の申出を行ったにもかかわらず、当該病院を受診した場合)

※ 本来の初診料又は外来診療料保険外併用療養費(選定療養)を利用可能

[対象病院]

- ・ 特定機能病院と地域医療支援病院(一般病床200床未満の病院を除く。)のうち、紹介率50%未満かつ逆紹介率50%未満の施設
- ・ 許可病床数が400床以上の全ての病院(特定機能病院、地域医療支援病院及び一般病床が200床未満の病院を除く。)のうち、紹介率40%未満かつ逆紹介率30%未満の施設

※ 紹介率及び逆紹介率の実績の算定期間は、報告年度の前年度1年間とし、毎年10月に地方厚生(支)局長に報告する。(ただし、前年度1年間の実績が基準に満たなかった保険医療機関については、報告年度の連続する6ヶ月間で実績の基準を満たした場合は翌年の4月1日までに報告する。)

[算定要件]

- ① 初診料: 他の病院又は診療所等からの文書による紹介がない患者(緊急その他やむを得ない事情があるものを除く。)に対して初診を行った場合。
- ② 外来診療料: 他の病院(許可病床数が200床未満のものに限る。)又は診療所に対して文書による紹介を行う旨の申出を行っている患者(緊急その他やむを得ない事情があるものを除く。)に対して再診を行った場合。

在宅医療の体制について

- 在宅医療の体制については、都道府県が策定する医療計画に、地域の実情を踏まえた課題や施策等を記載。
- 国は「在宅医療の体制構築に係る指針」を提示し、都道府県が確保すべき機能等を示している。

～ 「在宅医療の体制構築に係る指針」による在宅医療提供体制のイメージ ～

在宅医療の提供体制に求められる医療機能

①退院支援

- 入院医療機関と在宅医療に係る機関との協働による退院支援の実施

②日常の療養支援

- 多職種協働による患者や家族の生活を支える観点からの医療の提供
- 緩和ケアの提供
- 家族への支援

④看取り

- 住み慣れた自宅や介護施設等、患者が望む場所での看取りの実施

③急変時の対応

- 在宅療養者の病状の急変時における往診や訪問看護の体制及び入院病床の確保

医療計画には、各機能を担う医療機関等の名称を記載

- ・病院、診療所（歯科含む） ・薬局
- ・訪問看護事業所 ・居宅介護支援事業所
- ・地域包括支援センター
- ・短期入所サービス提供施設
- ・相談支援事業所 等

圏域は、二次医療圏にこだわらず、市町村単位や保健所圏域など、地域の資源の状況に応じて弾力的に設定

多職種連携を図りつつ、24時間体制で在宅医療を提供

在宅医療において積極的役割を担う医療機関

- ①～④の機能の確保にむけ、積極的役割を担う
 - ・自ら24時間対応体制の在宅医療を提供
 - ・他医療機関の支援
 - ・医療、介護、障害福祉の現場での多職種連携の支援

- ・在宅療養支援診療所
- ・在宅療養支援病院 等

在宅医療に必要な連携を担う拠点

- ①～④の機能の確保にむけ、必要な連携を担う役割
 - ・地域の関係者による協議の場の開催
 - ・包括的かつ継続的な支援にむけた関係機関の調整
 - ・関係機関の連携体制の構築 等

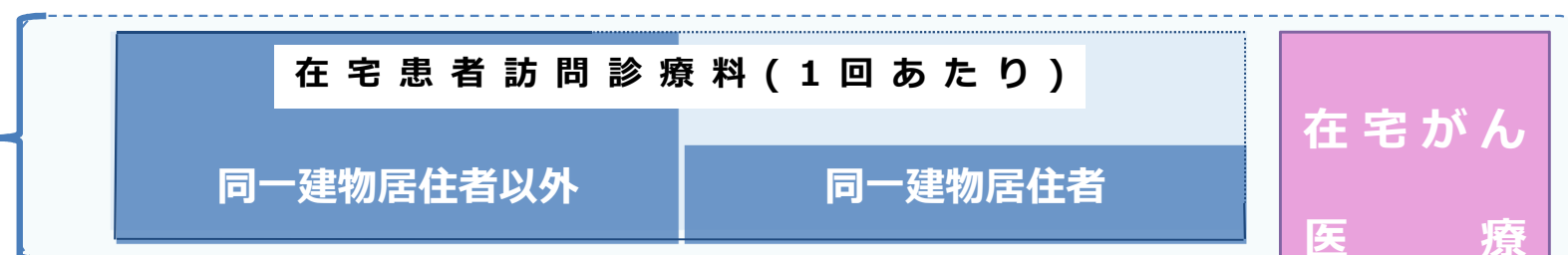
- ・医師会等関係団体
- ・保健所 ・市町村 等

在宅医療における診療報酬上の評価構造（イメージ）

- 在宅医療に対する診療報酬上の評価は、①訪問して診療を行ったことに対する評価、②総合的な医学的管理に対する評価、③人工呼吸器その他の特別な指導管理等に対する評価の、大きく3種類の評価の組み合わせで行われている。

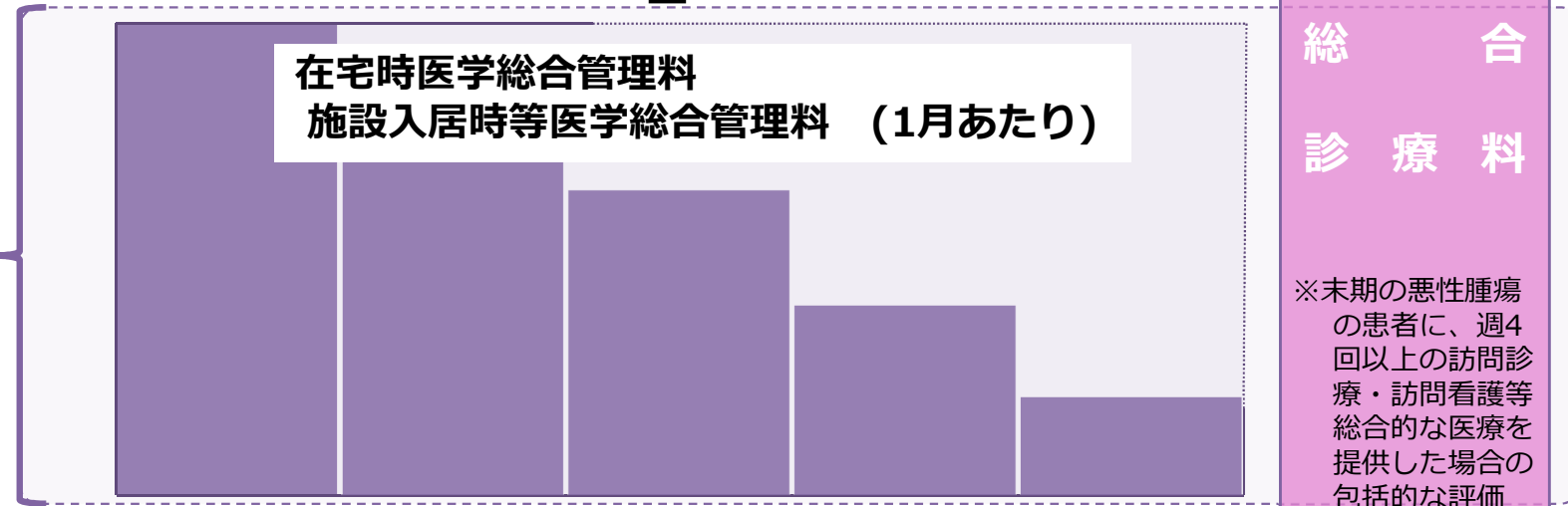
①定期的に訪問して診療を行った場合の評価

- 居住場所により段階的に評価
- 乳幼児等の診療、看取り等については、加算により評価
- 原則として週3回の算定を限度とするが、末期の悪性腫瘍等一部の疾患については例外を規定

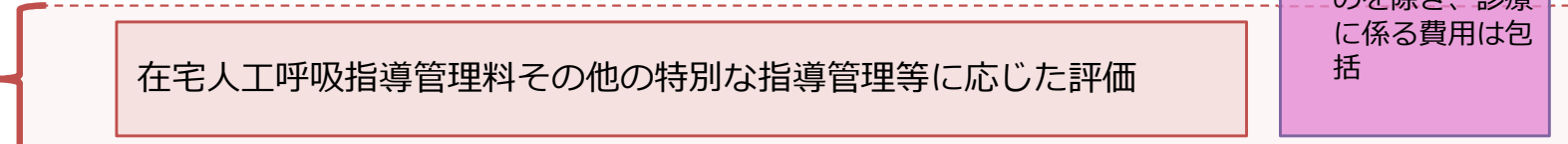


②総合的な医学的管理等を行った場合の評価

- 単一建物診療患者数、重症度及び月の訪問回数により段階的に評価
- 特別な指導管理を必要とし、頻回の診療を行った場合等は加算により評価



③指導管理等に対する評価



在宅がん
医療

総合
診療料

※末期の悪性腫瘍の患者に、週4回以上の訪問診療・訪問看護等総合的な医療を提供した場合の包括的な評価

※特に規定するものを除き、診療に係る費用は包括

※上記に加え、検査、処置その他診療に当たって実施した医療行為等については、特段の規定がない場合、出来高にて算定することができる。

主な診療報酬の比較

| 主な診療報酬 ※ 在宅療養支援診療所: 在宅診 在宅療養支援病院: 在宅病 | | 機能強化型在宅診・ 在宅病(病床あり) | | | 機能強化型在宅診・ 在宅病(病床なし) | | | 在宅診・在宅病 | | | その他 | | |
|---|--------------------|------------------------|-------|-------|------------------------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 往診料の加算等 | | | | | | | | | | | | | |
| 緊急往診加算 | | 850点 | | | 750点 | | | 650点 | | | 325点 | | |
| 夜間休日加算 | | 1700点 | | | 1500点 | | | 1300点 | | | 650点 | | |
| 深夜加算 | | 2700点 | | | 2500点 | | | 2300点 | | | 1300点 | | |
| 在宅患者訪問診療料(Ⅰ) | | | | | | | | | | | | | |
| 在宅ターミナルケア加算 | | 6500点 | | | 5500点 | | | 4500点 | | | 3500点 | | |
| 在宅時 医学総合管理料 | | 1人 | 2~9人 | 10人~ | 1人 | 2~9人 | 10人~ | 1人 | 2~9人 | 10人~ | 1人 | 2~9人 | 10人~ |
| | ①月2回以上訪問 (重症患者) | 5400点 | 4500点 | 2880点 | 5000点 | 4140点 | 2640点 | 4600点 | 3780点 | 2400点 | 3450点 | 2835点 | 1800点 |
| | ②月2回訪問 | 4500点 | 2400点 | 1200点 | 4100点 | 2200点 | 1100点 | 3700点 | 2000点 | 1000点 | 2750点 | 1475点 | 750点 |
| | ③月1回訪問 | 2760点 | 1500点 | 780点 | 2520点 | 1380点 | 720点 | 2300点 | 1280点 | 680点 | 1760点 | 995点 | 560点 |
| 施設入居時等 医学総合管理料 | | 1人 | 2~9人 | 10人~ | 1人 | 2~9人 | 10人~ | 1人 | 2~9人 | 10人~ | 1人 | 2~9人 | 10人~ |
| | ①月2回以上訪問 (重症患者) | 3900点 | 3240点 | 2880点 | 3600点 | 2970点 | 2640点 | 3300点 | 2700点 | 2400点 | 2450点 | 2025点 | 1800点 |
| | ②月2回訪問 | 3200点 | 1700点 | 1200点 | 2900点 | 1550点 | 1100点 | 2600点 | 1400点 | 1000点 | 1950点 | 1025点 | 750点 |
| | ③月1回訪問 | 1980点 | 1080点 | 780点 | 1800点 | 990点 | 720点 | 1640点 | 920点 | 680点 | 1280点 | 725点 | 560点 |
| 在宅がん医療 総合診療料 | 院外処方 | 1800点 | | | 1650点 | | | 1495点 | | | — | | |
| | 院内処方 | 2000点 | | | 1850点 | | | 1685点 | | | — | | |

訪問看護提供体制の充実

機能強化型訪問看護ステーションに係る人員配置要件の見直し

- 機能強化型訪問看護管理療養費の人員配置基準について、より手厚い訪問看護の提供体制を推進するとともに、訪問看護ステーションにおける医療従事者の働き方の観点から、看護職員の割合を要件に加え、一部の看護職員については常勤換算による算入を可能とする。



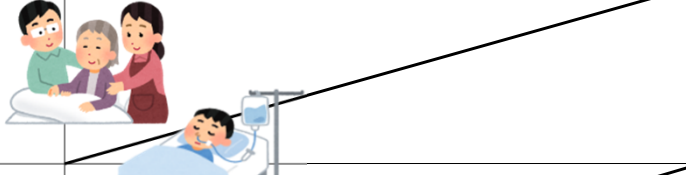



| 現行 | 改定後 |
|---|---|
| <p>【機能強化型訪問看護管理療養費】 [施設基準]</p> <p>機能強化型1</p> <ul style="list-style-type: none"> 常勤の看護職員 7人以上 <p>機能強化型2</p> <ul style="list-style-type: none"> 常勤の看護職員 5人以上 <p>機能強化型3</p> <ul style="list-style-type: none"> 常勤の看護職員 4人以上 | <p>【機能強化型訪問看護管理療養費】 [施設基準]</p> <p>機能強化型1</p> <ul style="list-style-type: none"> 常勤の看護職員 7人以上 <u>(うち1人については、非常勤職員を常勤換算することが可能)</u> <u>看護職員 6割以上</u>※ <p>機能強化型2</p> <ul style="list-style-type: none"> 常勤の看護職員 5人以上 <u>(うち1人については、非常勤職員を常勤換算することが可能)</u> <u>看護職員 6割以上</u>※ <p>機能強化型3</p> <ul style="list-style-type: none"> 常勤の看護職員 4人以上 <u>看護職員 6割以上</u>※ <p>[経過措置] (看護職員割合の要件について) 令和2年3月31日において現に機能強化型訪問看護管理療養費1、2又は3を届け出ているものについては、令和3年3月31日までの間に限り、当該基準を満たすものとみなす。</p> |



※ 看護職員(保健師、助産師、看護師、准看護師)の割合は、看護師等(看護職員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)に占める看護職員の割合を指す。 (人員配置に係る基準のみ抜粋)

訪問看護提供体制の充実

(参考)機能強化型訪問看護ステーションの要件等

| | 機能強化型 1 | 機能強化型 2 | 機能強化型 3 |
|----------------------|---|--|--|
| | ターミナルケアの実施や、重症児の受入れ等を積極的に行う手厚い体制を評価 | | 地域の訪問看護の人材育成等の役割を評価 |
| 月の初日の額※1 | 12,530円 | 9,500円 | 8,470円 |
| 看護職員の数・割合※2 | 常勤7人以上（ 1人は常勤換算可 ）、 6割以上 | 5人以上（ 1人は常勤換算可 ）、 6割以上 | 4人以上、 6割以上 |
| 24時間対応 |  24時間対応体制加算の届出 + 休日、祝日等も含めた計画的な訪問看護の実施  | | |
| 重症度の高い利用者の受入れ | 別表7の利用者 月10人以上 | 別表7の利用者 月7人以上 | 別表7・8の利用者、精神科重症患者 or 複数の訪看STが共同して訪問する利用者 月10人以上 |
| ターミナルケアの実施、重症児の受入れ※3 | 以下のいずれか ・ターミナル 前年度 20件以上 ・ターミナル 前年度 15件以上 + 重症児 常時4人以上 ・重症児 常時6人以上 | 以下のいずれか ・ターミナル 前年度 15件以上 ・ターミナル 前年度 10件以上 + 重症児 常時3人以上 ・重症児 常時5人以上 |  |
| 介護・障害サービスの計画作成 | 以下のいずれか ・居宅介護支援事業所を同一敷地内に設置 + 特に医療的な管理が必要な利用者の1割程度について、介護サービス等計画を作成 ・特定相談支援事業所 or 障害児相談支援事業所を同一敷地内に設置 + サービス等利用計画 or 障害児支援利用計画の作成が必要な利用者の1割程度について、計画を作成 |  | |
| 地域における人材育成等 | 地域住民等に対する情報提供や相談、人材育成のための研修の実施（望ましい） |  | 以下のいずれも満たす ・地域の医療機関や訪看STを対象とした研修 年2回 ・地域の訪看STや住民等への情報提供・相談の実績 ・地域の医療機関の看護職員の一定期間の勤務実績 |
| 医療機関との共同 | |  | 以下のいずれも満たす ・退院時共同指導の実績 ・併設医療機関以外の医師を主治医とする利用者が1割以上 |

※1 機能強化型訪問看護管理療養費を届け出していない場合は、7,440円。

※2 看護職員（保健師、助産師、看護師、准看護師）の割合は、看護員等（看護職員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）に占める看護職員の割合。令和3年3月末までの経過措置あり。

※3 重症児の受入れ数は、15歳未満の超重症児及び準超重症児の利用者数を合計した数。

専門性の高い看護師による同行訪問の充実

人工肛門・人工膀胱の合併症を有する利用者を対象に追加

- 利用者のニーズに合わせた質の高い訪問看護の提供を推進するため、専門性の高い看護師による同行訪問について、人工肛門・人工膀胱の皮膚障害を伴わない合併症を対象に含める。

現行

【訪問看護基本療養費(Ⅰ)】

[算定要件]

訪問看護基本療養費(Ⅰ)のハについては、

- ・悪性腫瘍の鎮痛療法若しくは化学療法を行っている利用者、
- ・真皮を越える褥瘡の状態にある利用者
- ・人工肛門若しくは人工膀胱周囲の皮膚にびらん等の皮膚障害が継続又は反復して生じている状態にある利用者

に対して、それらの者の主治医から交付を受けた訪問看護指示書及び訪問看護計画書に基づき、

- ・緩和ケア ・褥瘡ケア ・人工肛門ケア及び人工膀胱ケア

に係る専門の研修を受けた看護師が、他の訪問看護ステーションの看護師若しくは准看護師又は当該利用者の在宅療養を担う保険医療機関の看護師若しくは准看護師と共同して指定訪問看護を行った場合に月に1回を限度として算定。

改定後

【訪問看護基本療養費(Ⅰ)】

[算定要件]

訪問看護基本療養費(Ⅰ)のハについては、

- ・悪性腫瘍の鎮痛療法若しくは化学療法を行っている利用者、
- ・真皮を越える褥瘡の状態にある利用者
- ・人工肛門若しくは人工膀胱周囲の皮膚にびらん等の皮膚障害が継続又は反復して生じている状態にある利用者
- ・人工肛門若しくは人工膀胱のその他の合併症を有する利用者

に対して、それらの者の主治医から交付を受けた訪問看護指示書及び訪問看護計画書に基づき、

- ・緩和ケア ・褥瘡ケア ・人工肛門ケア及び人工膀胱ケア

に係る専門の研修を受けた看護師が、他の訪問看護ステーションの看護師若しくは准看護師又は当該利用者の在宅療養を担う保険医療機関の看護師若しくは准看護師と共同して指定訪問看護を行った場合に月に1回を限度として算定。



※ 訪問看護基本療養費(Ⅱ)のハ、在宅患者訪問看護・指導料3、同一建物居住者訪問看護・指導料3についても同様

ストーマ陥凹の例

凸面型装具に固定ベルトを併用して、安定した密着を得られるよう調整。姿勢の変化により深くぼみができるため、用手形成皮膚保護剤で調整し、便のもぐり込みを予防した。



【出典】消化管ストーマ関連合併症の予防と治療・ケアの手引き (日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会、日本大腸肛門病学会編、金原出版、2018)

在宅療養支援歯科診療所の見直し(主要内容)

在宅療養支援歯科診療所の役割を明確化するとともに機能に応じた評価となるよう見直しを行う。

- 在宅医療、介護に関する連携等
- 多職種連携 等



在宅療養支援歯科診療所



【在宅療養支援歯科診療所1】
(従来より連携機能を強化)



【在宅療養支援歯科診療所2】
(従来の在宅療養支援歯科診療所に相当)

連携

口腔機能管理の
推進

連携

研修内容の見直し

- ・高齢者の心身の特性
- ・認知症高齢者の特徴
- ・高齢者の口腔機能管理
- ・緊急時対応

- 多職種連携による口腔機能管理

- 他の保険医療機関、地域包括支援センター、訪問看護ステーション等との連携

- 認知症に関する研修の追加

在宅歯科医療の推進

歯科疾患在宅療養管理料の評価の見直し

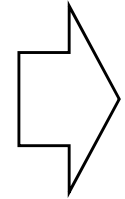


➤ 歯科疾患在宅療養管理料について、評価を充実する。

現行

【歯科疾患在宅療養管理料】

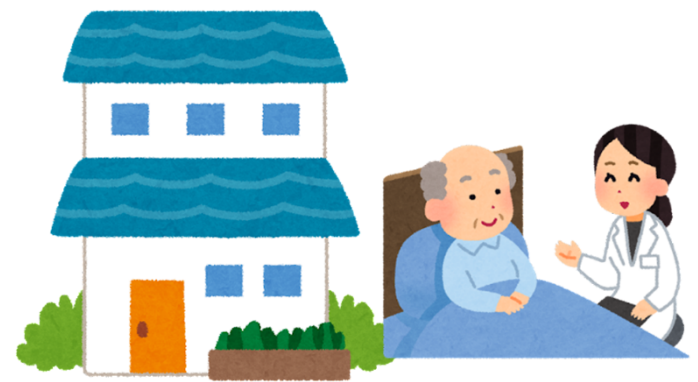
- 1 在宅療養支援歯科診療所1の場合 320点
- 2 在宅療養支援歯科診療所2の場合 250点
- 3 1及び2以外の場合 190点



改定後

【歯科疾患在宅療養管理料】

- 1 在宅療養支援歯科診療所1の場合 320点
- 2 在宅療養支援歯科診療所2の場合 250点
- 3 1及び2以外の場合 200点



在宅歯科医療の推進

栄養サポートチーム等連携加算の対象拡大

- 多職種連携を推進する観点から、小児在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料において栄養サポートチーム等連携加算を設定する。

現行

【小児在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料】
450点

注1～注5 略



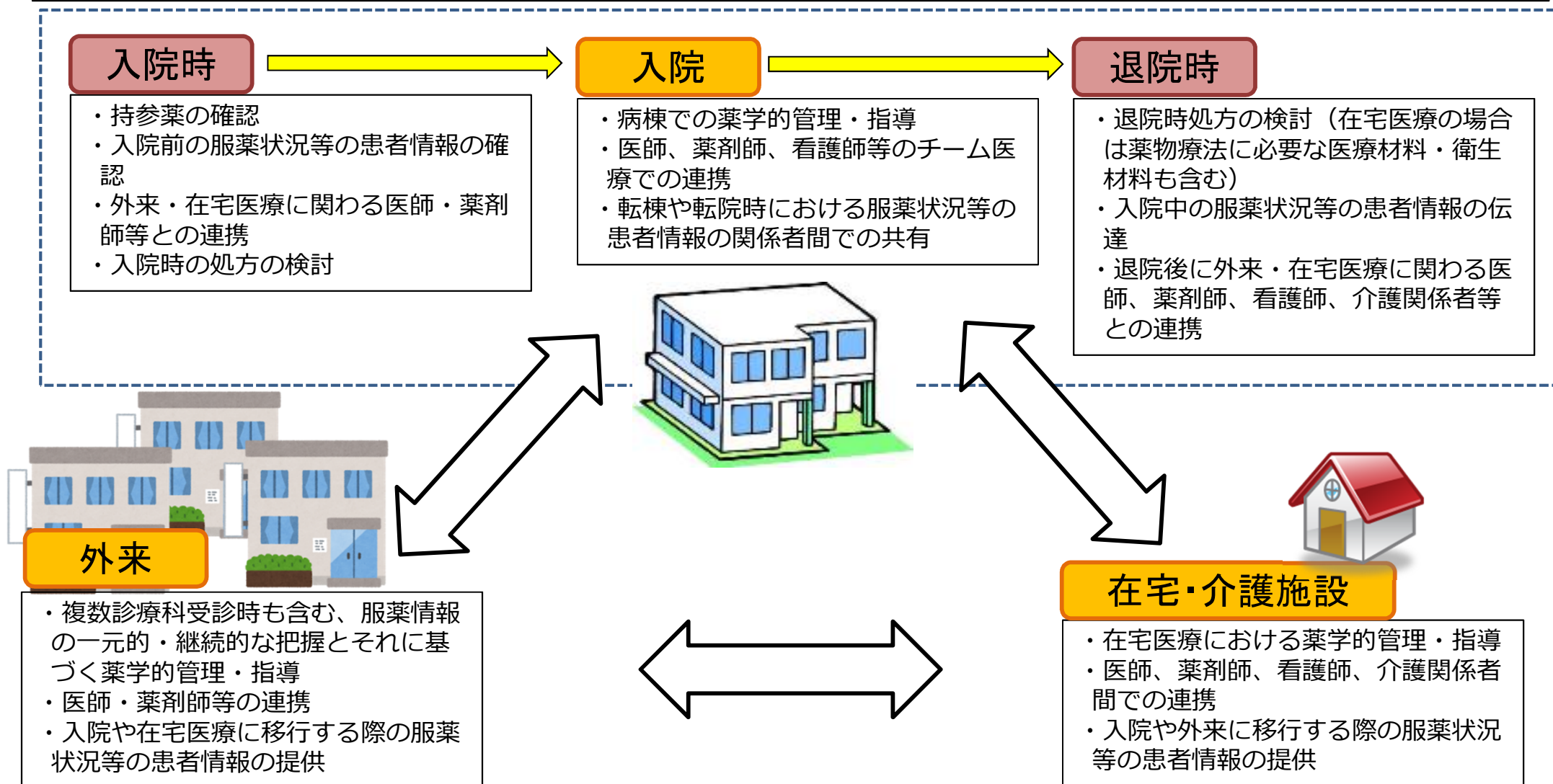
改定後

【小児在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料】
450点

(新)注6 当該保険医療機関の歯科医師が、他の保険医療機関に入院している患者に対して、当該患者の入院している他の保険医療機関の栄養サポートチーム等の構成員として診療を行い、その結果を踏まえて注1に規定する口腔機能評価に基づく管理を行った場合は、小児栄養サポートチーム等連携加算1として、80点を所定点数に加算する。

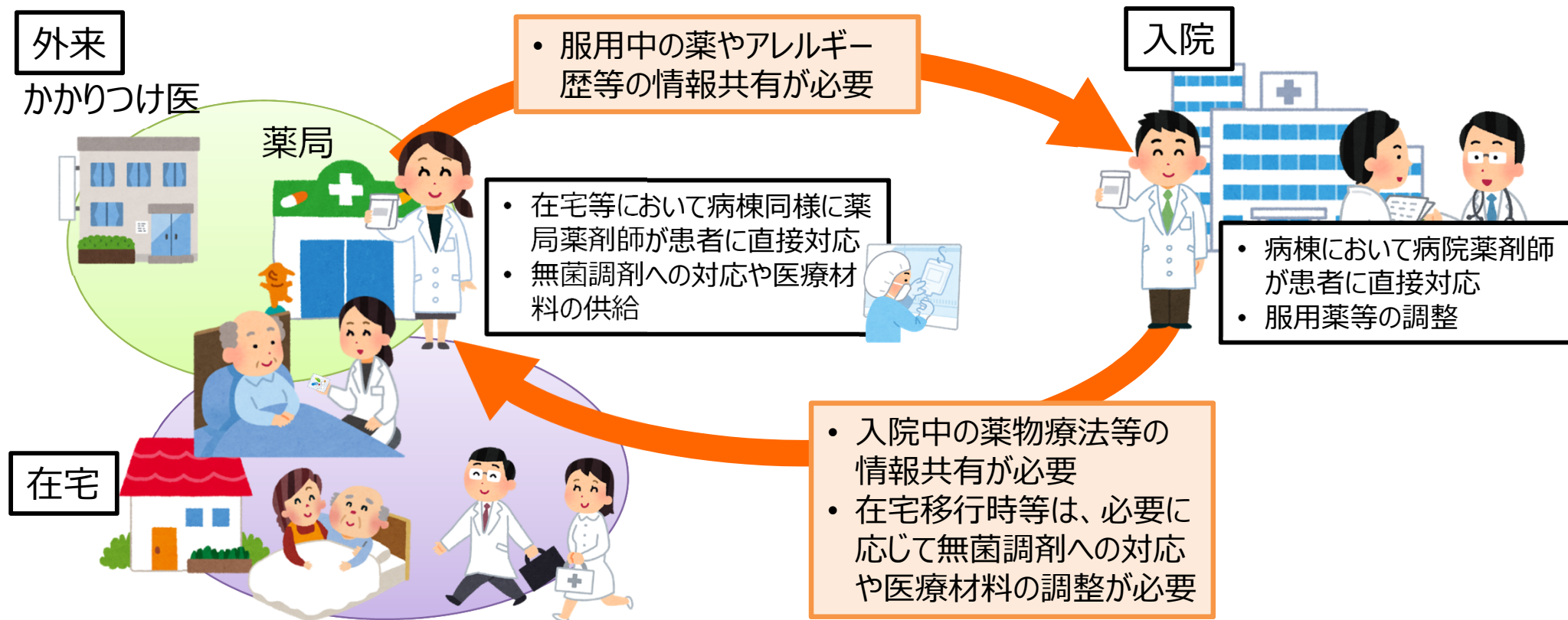
注7 当該保険医療機関の歯科医師が、児童福祉法第42条に規定する障害児入所施設等に入所している患者に対して、当該患者の入所している施設で行われる食事観察等に参加し、その結果を踏まえて注1に規定する口腔機能評価に基づく管理を行った場合は、小児栄養サポートチーム等連携加算2として、80点を所定点数に加算する。

- 安心・安全で質が高く効果的・効率的な医療・介護サービスを提供する上で、患者の薬物療法に関しても、有効で安全な薬物療法を切れ目なく継続的に受けられるようにすることが必要。
- このため、薬物療法に関わる関係者が、患者の服薬状況等の情報を共有しながら、最適な薬学的管理やそれに基づく指導を実施することが求められる。



病院薬剤師と薬局薬剤師のシームレスな連携の必要性

- 入院医療だけでは完結しない → 地域包括ケアシステムでの対応
- 入退院時における患者の薬物療法に関する情報共有、処方薬の調整等をどのように対応するか
- 薬局薬剤師（かかりつけ薬剤師）、病院薬剤師ともに、地域包括ケアシステムの下で何をすべきか考える必要がある
(薬剤師同士だけではなく、多職種との連携 = 地域のチーム医療)



薬局における訪問薬剤管理指導業務(診療報酬)

| 項目 | 内容 | 点数 | |
|--|---|--|--------------------------------------|
| ○在宅患者訪問薬剤管理指導料 ・単一建物診療患者が1人の場合 ・単一建物診療患者が2～9人の場合 ・単一建物診療患者が10人以上の場合 (+麻薬管理指導加算) (+乳幼児加算) | 医師の指示に基づき、薬剤師が薬学的管理指導計画を策定し、患家を訪問して、薬学的管理及び指導を行った場合に算定 | 650点 320点 290点 (+100点) (+100点) | 薬剤師1人週 40回まで 患者1人につき 月4回まで※ |
| ○在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料 1 計画的な訪問薬剤管理指導に係る疾患の急変に伴うものの場合 2 1以外の場合 (+麻薬管理指導加算) (+乳幼児加算) | 急変等に伴い、医師の求めにより、緊急に患家を訪問して必要な薬学的管理及び指導を行った場合に算定 | 1:500点 2:200点 (+100点) (+100点) | 月4回まで |
| ○在宅患者緊急時等共同指導料 (+麻薬管理指導加算) (+乳幼児加算) | 急変等に伴い、医師の求めにより、医師等と共同でカンファレンスを行い、緊急に患家を訪問して必要な薬学的管理及び指導を行った場合に算定 | 700点 (+100点) (+100点) | 月2回まで |
| ○在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料 ・残薬調整に係るもの以外 ・残薬調整に係るもの | 重複投薬、相互作用の防止等の目的で、処方医に対して照会を行い、処方に変更が行われた場合に算定 | 40点 30点 | |
| ○(調剤料)在宅患者調剤加算 | 基準を満たした薬局において、在宅患者の処方箋1枚につき加算 | 15点 | |

※末期の悪性腫瘍の患者等の場合は週2回かつ月8回まで

(参考) 介護報酬

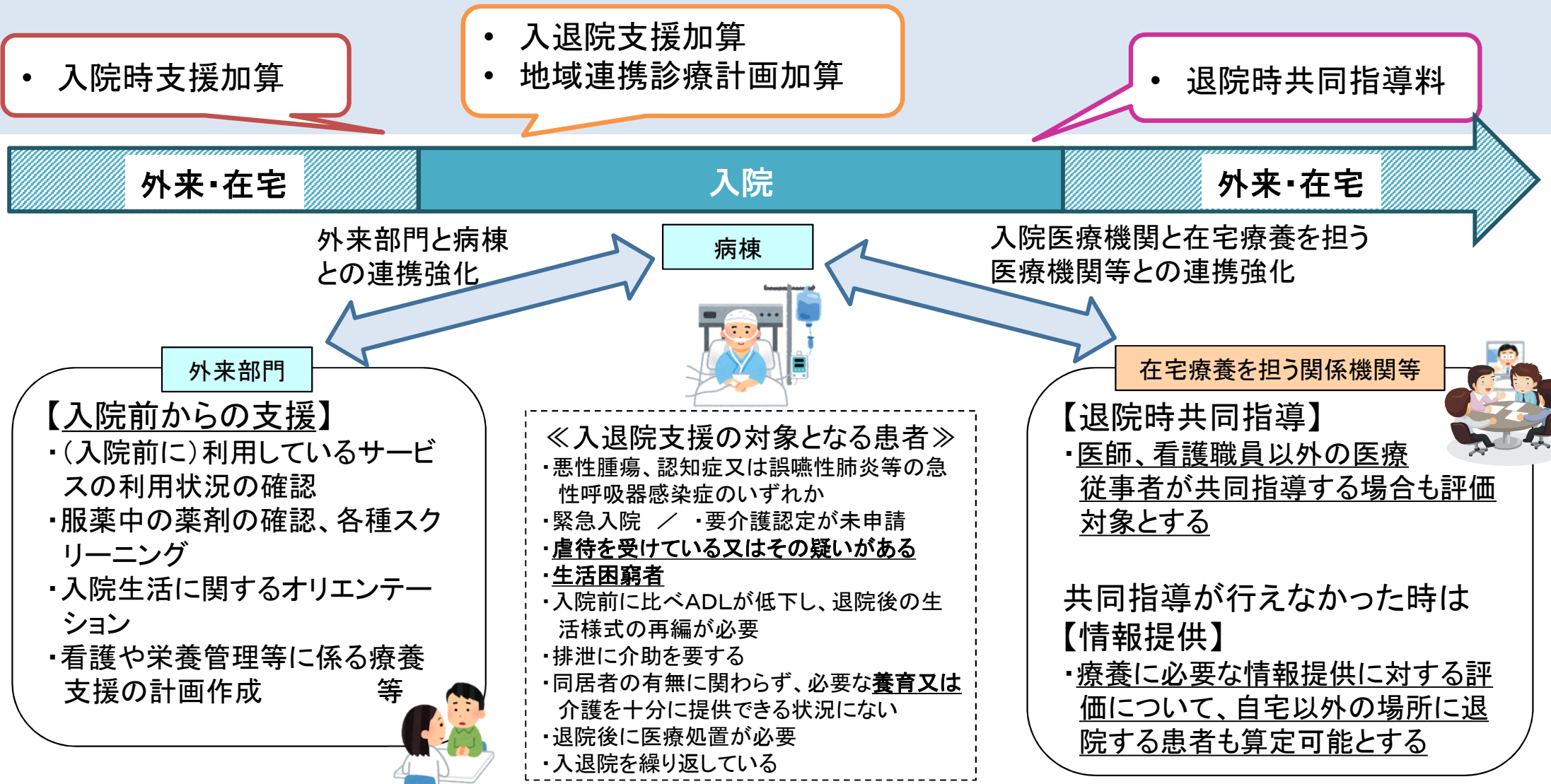
○ 居宅療養管理指導費(薬局の薬剤師が行う場合)

- ・単一建物居住者が1人の場合 517単位 (麻薬指導加算 +100単位)
- ・単一建物居住者が2～9人の場合 378単位 (麻薬指導加算 +100単位)
- ・単一建物居住者が10人以上の場合 341単位 (麻薬指導加算 +100単位)

患者・国民にとって身近であって、
安心・安全で質の高い医療を実現する視点

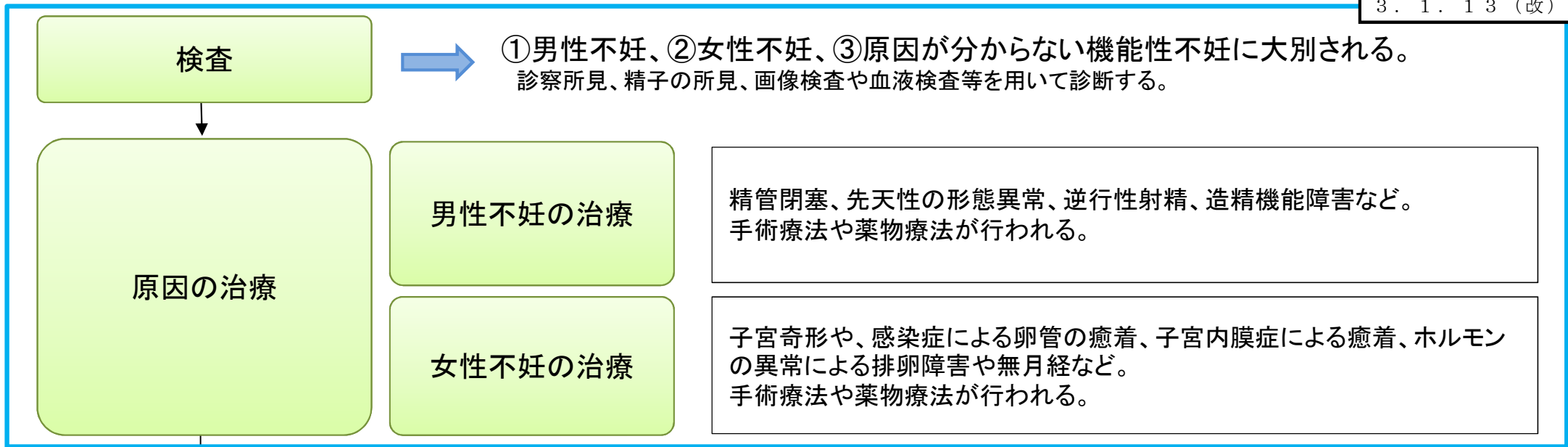
入退院支援の評価（イメージ）

- 病気になり入院しても、住み慣れた地域で継続して生活できるよう、また、入院前から関係者との連携を推進するために、入院前や入院早期からの支援の強化や退院時の地域の関係者との連携を評価。

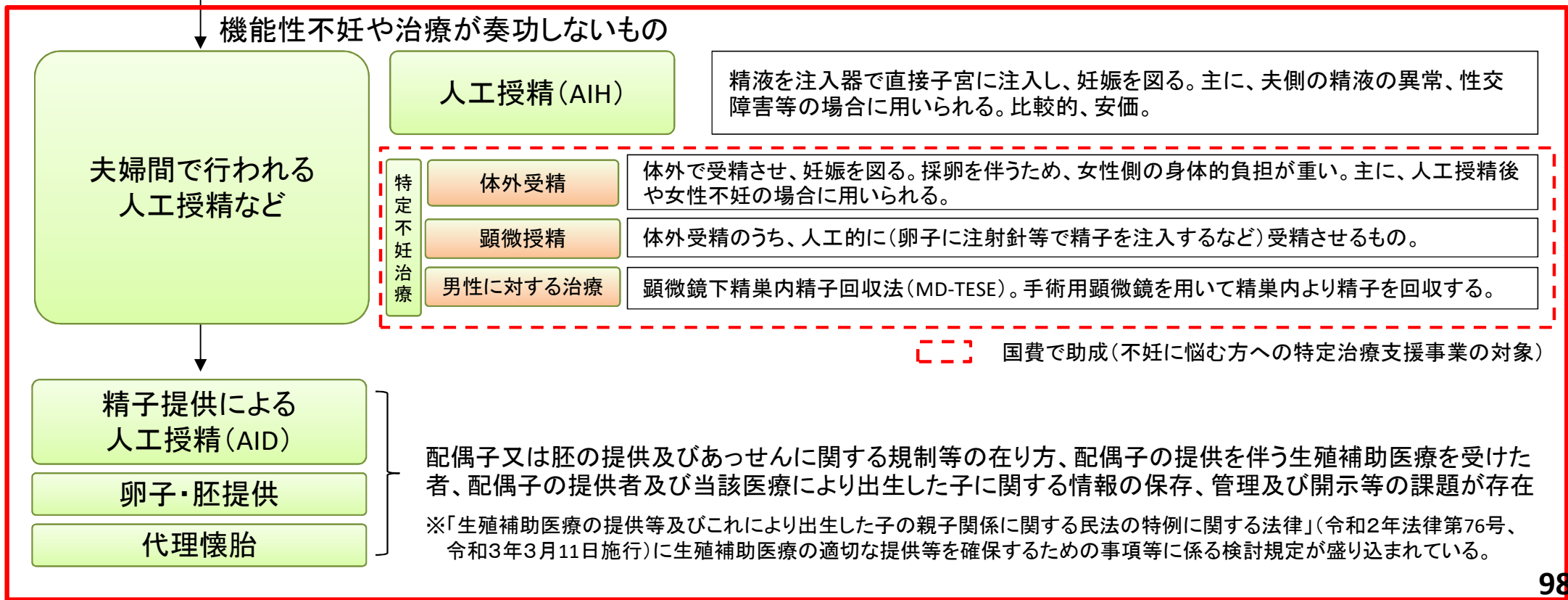


不妊治療の流れ(概略図)

保険適用



保険適用外



不妊に悩む方への特定治療支援事業について

1. 事業の概要

- 要旨 不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、高額な医療費がかかる配偶者間の不妊治療に要する費用の一部を助成
- 対象治療法 体外受精及び顕微授精（以下「特定不妊治療」という。）
- 対象者 特定不妊治療以外の治療法によっては妊娠の見込みがないか、又は極めて少ないと医師に診断された夫婦（治療期間の初日における妻の年齢が43歳未満である夫婦）
- 給付の内容
 - ① 1回30万円
 - ※凍結胚移植（採卵を伴わないもの）及び採卵したが卵が得られない等のため中止したものについては、1回10万円
 - 通算回数は、初めて助成を受けた際の治療期間初日における妻の年齢が、40歳未満であるときは通算6回まで、40歳以上43歳未満であるときは通算3回まで助成（1子ごと）
 - ② 男性不妊治療を行った場合は30万円 ※精子を精巣又は精巣上体から採取するための手術
- 所得制限 なし
- 指定医療機関 事業実施主体において医療機関を指定
- 実施主体 都道府県、指定都市、中核市
- 補助率等 1/2（負担割合：国1/2、都道府県・指定都市・中核市1/2）、安心こども基金を活用
- 予算額 令和2年度第三次補正予算 370億円

2. 沿革

| | |
|----------|---|
| 平成16年度創設 | 1年度あたり給付額10万円、通算助成期間2年間として制度開始 |
| 平成18年度 | 通算助成期間を2年間→5年間に延長 |
| 平成19年度 | 給付額を1年度あたり1回10万円・2回に拡充、所得制限を650万円→730万円に引き上げ |
| 平成21年度補正 | 給付額1回10万円→15万円に拡充 |
| 平成23年度 | 1年度目を年2回→3回に拡充、通算10回まで助成 |
| 平成25年度 | 凍結胚移植(採卵を伴わないもの)等の給付額を見直し(15万円→7.5万円) |
| 平成25年度補正 | 安心こども基金により実施 |
| 平成26年度 | 妻の年齢が40歳未満の新規助成対象者の場合は、通算6回まで助成 (年間助成回数・通算助成期間の制限廃止) ※平成25年度の有識者検討会の報告書 における医学的知見等を踏まえた見直し(完全施行は平成28年度) |
| 平成27年度 | 安心こども基金による実施を廃止し、当初予算に計上 |
| 平成27年度補正 | 初回治療の助成額を15万→30万円に拡充 男性不妊治療を行った場合、15万円を助成 |
| 平成28年度 | 妻の年齢が43歳以上の場合は、助成対象外。妻の年齢が40歳未満の場合は通算6回まで、40歳以上43歳未満の場合は通算3回まで助成(年間助成回数・通算助成期間の制限廃止) |
| 令和元年度 | 男性不妊治療にかかる初回の助成額を15万→30万円に拡充 |
| 令和2年度補正 | 所得制限の撤廃、妻の年齢が40歳未満の場合は1子あたり6回まで、40歳以上43歳未満の場合は1子あたり3回まで助成(通算助成上限回数の制限廃止)、男女とも2回目以降の治療の助成額を15万→30万円に拡充、一部の事実婚も助成対象へ。 |

3. 支給実績

| | |
|--------|----------|
| 平成16年度 | 17,657件 |
| 平成17年度 | 25,987件 |
| 平成18年度 | 31,048件 |
| 平成19年度 | 60,536件 |
| 平成20年度 | 72,029件 |
| 平成21年度 | 84,395件 |
| 平成22年度 | 96,458件 |
| 平成23年度 | 112,642件 |
| 平成24年度 | 134,943件 |
| 平成25年度 | 148,659件 |
| 平成26年度 | 152,320件 |
| 平成27年度 | 160,733件 |
| 平成28年度 | 141,890件 |
| 平成29年度 | 139,752件 |
| 平成30年度 | 137,928件 |
| 令和元年度 | 135,529件 |

不妊治療のガイドライン策定について

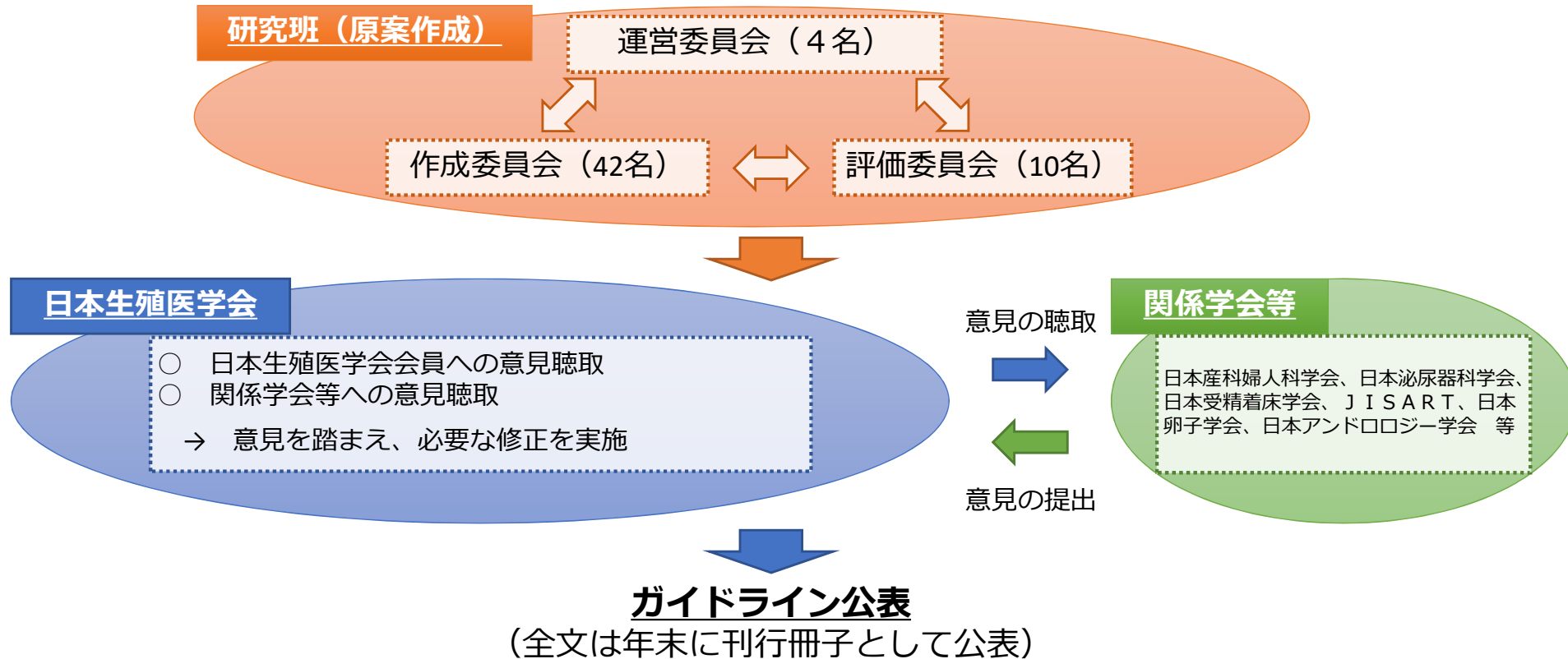
【ガイドラインの策定までの経緯】

- 厚生労働科学研究費補助金に係る研究班(※1)においてガイドラインの原案を作成(令和3年3月)。
- 日本生殖医学会においては、研究班作成のガイドライン原案を元に、学会会員や関係学会等からの意見も踏まえ、ガイドラインを作成・公表(※2)。
- 具体的な工程は以下のとおり。
 - ・ 2021年4月～ 原案作成後、日本生殖医学会へ提供
関係学会等への意見聴取及び必要な修正を実施
 - ・ 2021年6月 日本生殖医学会総会において承認(6/11)、公表(6/23)

成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(健やか次世代育成総合研究事業)

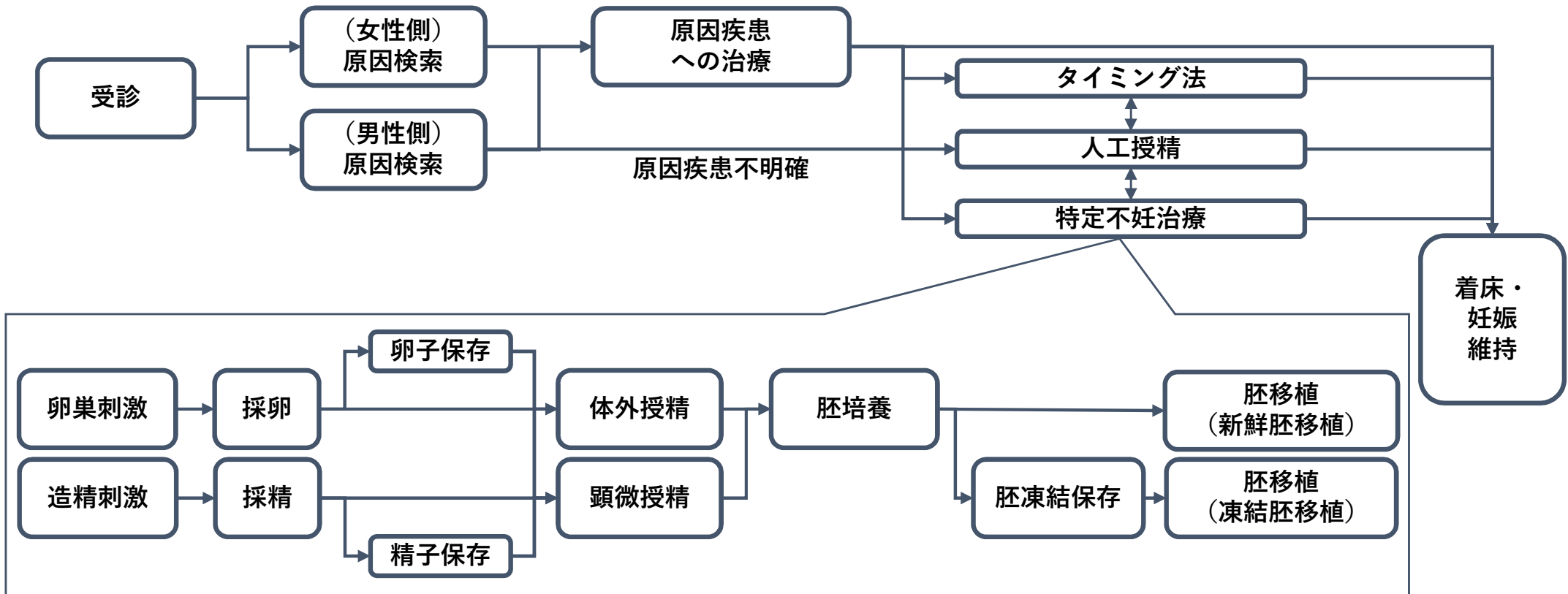
※1「配偶子凍結および胚凍結を利用する生殖医療技術の安全性と情報提供体制の拡充に関する研究」(研究代表者 苛原 稔、平成30年度-令和2年度)

※2「生殖医療ガイドラインの適切な運用と今後の改良に向けた研究」(研究代表者 大須賀 穰、令和3年度-令和4年度)



不妊治療における診療の流れ（イメージ）

【診療の流れ(イメージ)】



厚生労働科学研究費補助金 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(健やか次世代育成総合研究事業)
「配偶子凍結および胚凍結を利用する生殖医療技術の安全性と情報提供体制の拡充に関する研究」
(研究代表者 苛原 稔、平成30年度-令和2年度)において作成。

今後整理及び検討が必要な事項について

- 不妊治療の保険適用に向けて、現時点で考えられる、今後整理及び検討が必要な事項、スケジュールは、以下のとおり。

1. 保険適用に係る検討について

- 不妊治療の保険適用に係る検討に向けては、有効性・安全性等の整理及び確認が必要となるが、
 - ① 医療技術、医薬品、医療機器等
 - ② 具体的な算定要件や施設基準等について、ガイドラインの記載事項等を参考とした個別の検討が必要となる。

2. 薬機法上の承認の観点からの整理及び検討について

- 医薬品等については、有効性・安全性等の確認、薬機法上の承認の可否等について、薬事・食品衛生審議会、医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議における検討が行われる。

3. 今後エビデンスの収集が必要な医療技術等の取扱いについて

- 有効性、安全性等の確認の結果、保険適用とならない医療技術等については、今後の保険適用を目指したデータ収集を進めるなどの取組みを進める観点から、先進医療の実施等が考えられる。
 - ※ なお、先進医療について、保険医療機関から申請があった場合には、申請を受け付けた上で、先進医療会議において技術的な審議を進めておくことにより、効率的な実施準備が可能となる。

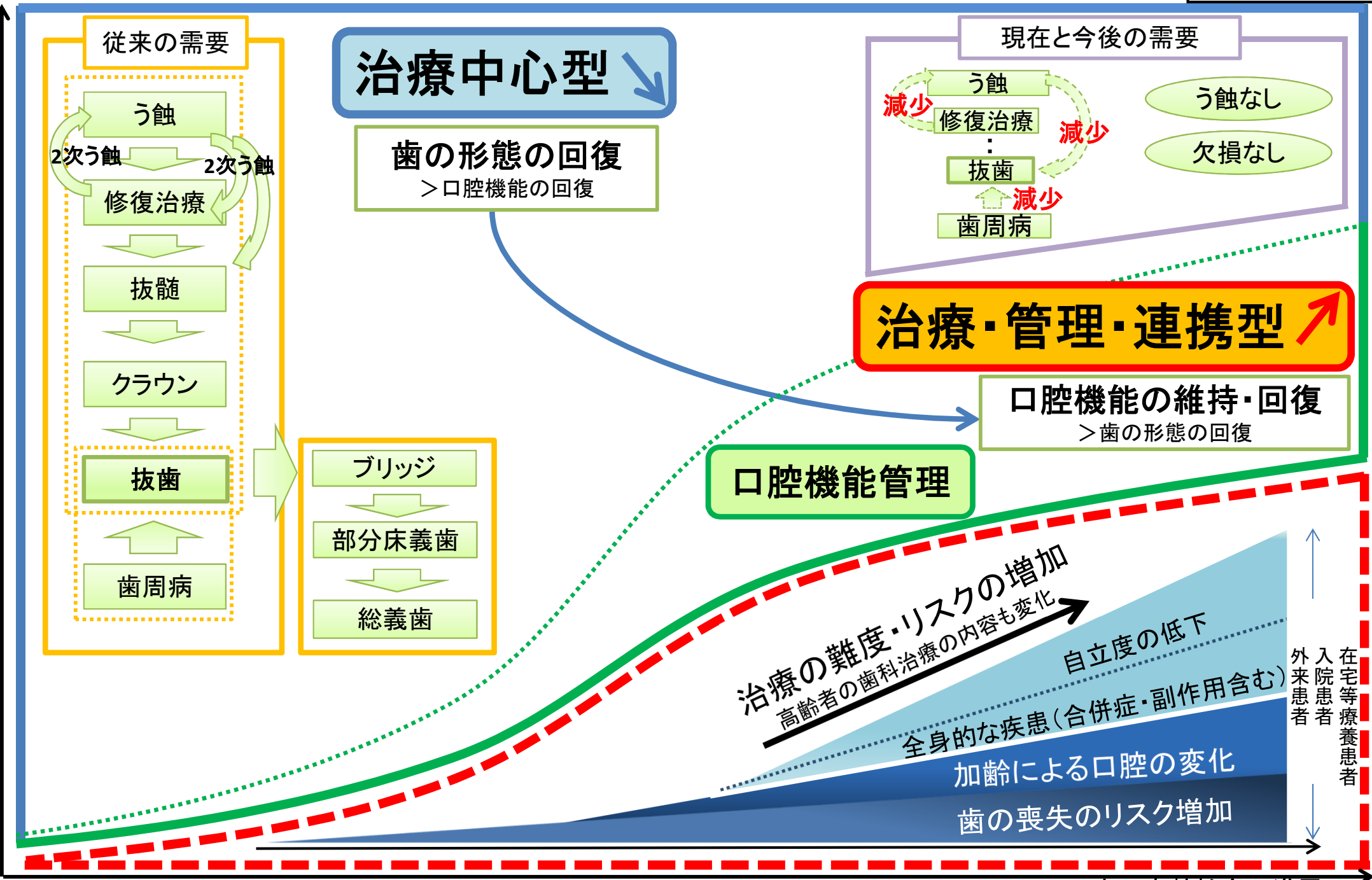
4. 今後、考えられるスケジュール（イメージ）

- 7月21日（本日）
 - ・ 個別事項（その1）内で議論
- 8月以降随時
 - ・ 薬食審、未承認薬検討会議における議論
 - ・ 先進医療会議における議論
 - ・ 中医協総会において引き続き議論

歯科治療の需要の将来予想（イメージ）

中医協 総-4
29.12.6

歯科治療の需要



歯周病安定期治療【SPT : Supportive Periodontal Therapy】

<歯周病安定期治療>

- 歯科疾患管理料または歯科疾患在宅療養管理料を算定している患者であって、4ミリメートル以上の歯周ポケットを有する者に対して、一連の歯周基本治療等の終了後に、一時的に病状が安定した状態にある患者に対する処置を評価したもの。
- プラークコントロール、機械的歯面清掃、スケーリング、スケーリング・ルートプレーニング、咬合調整、機械的歯面清掃等を主体とした包括的な治療。



写真:和泉雄一名誉教授(東京医科歯科大学)提供

<診療報酬上の取扱い>

歯周病安定期治療(Ⅰ)

| | |
|------------|------|
| 1歯以上10歯未満 | 200点 |
| 10歯以上20歯未満 | 250点 |
| 20歯以上 | 350点 |

歯周病安定期治療(Ⅱ) ※かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所

| | |
|------------|------|
| 1歯以上10歯未満 | 380点 |
| 10歯以上20歯未満 | 550点 |
| 20歯以上 | 830点 |

- 1口腔につき月1回を限度として算定。
- 2回目以降の歯周病安定期治療(Ⅰ)の算定は、前回実施した月の翌月から2月を経過した日以降に行う。
- 歯周病安定期治療を開始後、病状の変化により歯周外科手術を実施した場合は、歯周精密検査により再び病状が安定し継続的な治療が必要であると判断されるまでの間は、歯周病安定期治療は算定できない。
- 歯周病安定期治療を開始した日以降に歯周外科手術を実施した場合は、所定点数の100分の50に相当する点数により算定する。
- 管理計画書(歯周病検査の結果の要点、歯周病安定期治療の治療方針等)を作成し、文書により患者等に提供。
- 歯周病安定期治療(Ⅱ)では、かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所において、プラークコントロール、機械的歯面清掃等に加え、口腔内カラー写真撮影及び歯周病検査を行う場合の治療を包括的に評価。

届出医療機関数及び算定回数

| 算定回数 | 届出医療機関数 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------------|------------------------------|---------|---------|---------|---------|
| 歯周病安定期治療(Ⅰ) | (届出不要) | 281,328 | 324,974 | 382,614 | 360,255 |
| 歯周病安定期治療(Ⅱ) | かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所 10,831 | 191,694 | 341,016 | 494,459 | 506,396 |

(出典)
算定回数:社会医療診療行為別統計(6月審査分)
届出医療機関数:医療課調べ(令和元年7月1日時点)

歯周病重症化予防の推進

歯周病重症化予防治療の新設

➤ 歯周病安定期治療の対象となっていない歯周病を有する患者に対する継続的な治療について新たな評価を行う。

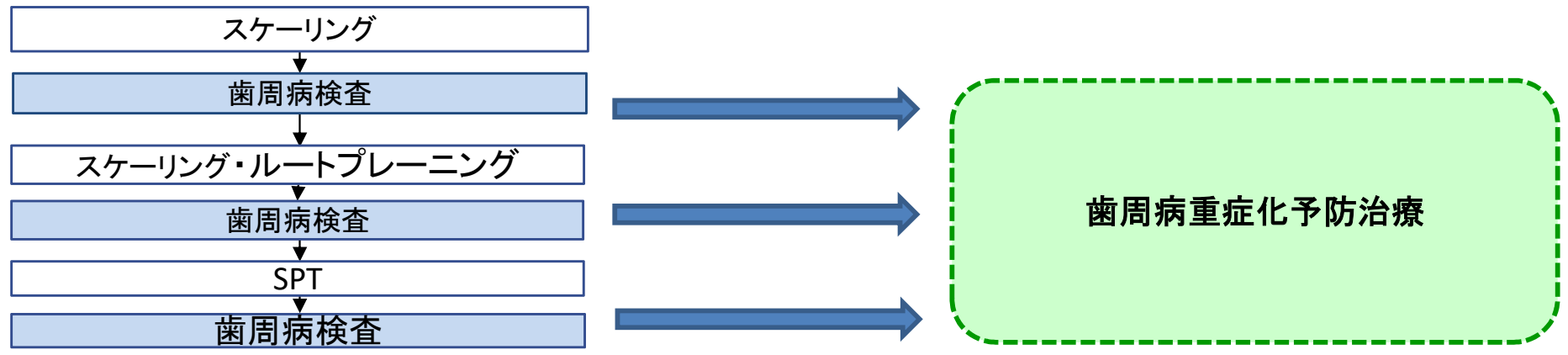
| | | |
|----------------|--------------|------|
| (新) 歯周病重症化予防治療 | 1 1歯以上10歯未満 | 150点 |
| | 2 10歯以上20歯未満 | 200点 |
| | 3 20歯以上 | 300点 |

[対象患者]

- (1) 歯科疾患管理料又は歯科疾患在宅療養管理料を算定している患者であって、2回目以降の歯周病検査終了後に、歯周ポケットが4ミリメートル未満の患者
- (2) 部分的な歯肉の炎症又はプロービング時の出血が認められる状態

[算定要件]

- (1) 2回目以降の区分番号D002に掲げる歯周病検査終了後、一時的に病状が改善傾向にある患者に対し、重症化予防を目的として、スケーリング、機械的歯面清掃等の継続的な治療を開始した場合は、それぞれの区分に従い月1回に限り算定する。
- (2) 2回目以降の歯周病重症化予防治療の算定は、前回実施月の翌月の初日から起算して2月を経過した日以降に行う。
- (3) 歯周病安定期治療(I)又は歯周病安定期治療(II)を算定した月は算定できない。



届出医療機関数及び算定回数
 (出典)
 算定回数: 社会医療診療行為別統計(6月審査分)

| | |
|------------|--------|
| 算定回数 | 令和2年度 |
| 歯周病重症化予防治療 | 67,014 |

小児口腔機能管理料

- 平成30年度診療報酬改定において、口腔機能の発達不全を認める小児のうち、特に継続的な管理が必要な患者に対する評価として小児口腔機能管理加算を新設。
- 令和2年度診療報酬改定において、歯の萌出していない患者への管理も対象に加えた。また、歯科疾患の継続管理を行っている患者に対する診療実態と合わせて小児口腔機能管理料とした。

B000-4-2 小児口腔機能管理料 100点

[対象患者] **15歳未満**の口腔機能の発達不全を認める患者のうち、以下に該当する者

[算定要件]

- ・口腔機能の評価及び一連の**口腔機能の管理計画**を策定し、当該管理計画に係る情報を文書により提供
- ・口腔内等の状況変化の確認を目的として、**患者の状態に応じて口腔外又は口腔内カラー写真撮影**を行う。(初回算定日には必ず実施) など

| 離乳完了前 食べる機能のC項目において1項目以上、食べる機能・話す機能のC項目において2項目以上を含む3項目以上該当 | | |
|---|--------|----------------------------|
| A機能 | B分類 | C項目 |
| 食べる | 哺乳 | 先天性歯がある |
| | | 口唇、歯槽携帯に異常がある |
| | | 舌小帯に異常がある |
| | | 乳首をしっかり口にふくむことができない |
| | | 授乳時間が長すぎる、短すぎる |
| | | 哺乳量・授乳回数が多すぎたり少なすぎたりムラがある等 |
| 話す | 構音機能 | 開始しているが首の据わりが確認できない |
| | | スプーンを舌で押し出す状態がみられる |
| その他 | 栄養(体格) | やせ、または肥満である(カウプ指数で評価) |
| | その他 | 口腔周囲に過敏がある |
| | | 上記以外の問題点 |

| 離乳完了後(18ヵ月以降) 咀嚼機能のC項目において1項目以上、食べる機能・話す機能のC項目において2項目以上を含む3項目以上に該当 | | |
|---|--------|-------------------------------|
| A機能 | B分類 | C項目 |
| 食べる | 咀嚼機能 | 歯の萌出に遅れがある |
| | | 機能的因子による歯列・咬合の異常がある |
| | | 咀嚼に影響するう蝕がある |
| 話す | 構音機能 | 強く咬みしめられない |
| | | 咀嚼時間が長すぎる、短すぎる |
| その他 | 嚥下機能 | 偏咀嚼がある |
| | 食行動 | 舌の突出(乳児嚥下の残存)がみられる(離乳完了後) |
| | 栄養(体格) | 哺乳量・食べる量、回数が多すぎたり少なすぎたりムラがある等 |
| | | 構音に障害がある |
| | | 口唇の閉鎖不全がある |
| | その他 | その他 |
| 舌小帯に異常がある | | |
| やせ、または肥満である(カウプ指数、ローレル指数で評価) | | |
| 口呼吸がある | | |
| その他 | その他 | 口蓋扁桃等に肥大がある |
| | | 睡眠時のいびきがある |
| | | 上記以外の問題点 |

届出医療機関数及び算定回数

(出典) 算定回数: 社会医療診療行為別統計(6月審査分)

| 算定回数 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|--------------------------|---------|---------|--------|
| 小児口腔機能管理料 ※小児口腔機能管理加算 | 23,066※ | 34,551※ | 48,083 |

口腔機能管理料

- 平成30年度診療報酬改定において、歯の喪失や加齢等により、口腔機能の低下を認める患者のうち、特に継続的な管理が必要な患者に対する評価として口腔機能管理加算を新設。
- 令和2年度診療報酬改定において、歯科疾患の継続管理を行っている患者に対する診療実態と合わせて口腔機能管理料とした。

B000-4-3 口腔機能管理加料 100点

[対象患者]

65歳以上の口腔機能の低下を認める患者のうち、次の評価項目(下位症状)のうち、**3項目以上(咀嚼機能低下(D011-2に掲げる咀嚼能力検査を算定した患者に限る。)、咬合力低下(D011-3に掲げる咬合圧検査を算定した患者に限る。))又は低舌圧(D012に掲げる舌圧検査を算定した患者に限る。))のいずれかの項目を含む。)に該当するもの**

| 下位症状 | 検査項目 | 該当基準 |
|-----------|---------|--|
| ①口腔衛生状態不良 | 舌苔の付着程度 | 50%以上 |
| | 口腔粘膜湿潤度 | 27未満 |
| ②口腔乾燥 | 唾液量 | 2g/2分以下 |
| | 咬合力検査 | 200N未満(プレスケール)、500N未満(プレスケールII・フィルタなし)350N未満、(プレスケールII・フィルタあり) |
| ③咬合力低下 | 残存歯数 | 20本未満 |

| 下位症状 | 検査項目 | 該当基準 |
|------------|---------------------|--------------------------------|
| ④舌口唇運動機能低下 | オーラルディアドコキネシス | Pa/ta/ka いずれか1つでも 6回/秒未満 |
| | 咀嚼機能低下 | 咀嚼能力検査 咀嚼能率スコア法 |
| ⑤低舌圧 | 舌圧検査 | 30kPa未満 |
| ⑦嚥下機能低下 | 嚥下スクリーニング検査(EAT-10) | 3点以上 |
| | 自記式質問票(聖隷式嚥下質問紙) | Aが1項目以上該当 |



[算定要件]

- ・口腔機能の評価及び一連の口腔機能の管理計画を策定し、患者等に対し当該管理計画に係る情報を文書により提供し、提供した文書の写しを診療録に添付する。
- ・当該管理を行った場合は、指導・管理内容を診療録に記載又は指導・管理に係る記録を文書により作成している場合においては、当該記録又はその写しを診療録に添付すること。

届出医療機関数及び算定回数

(出典)
算定回数: 社会医療診療行為別統計(6月審査分)

| | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|----------------------|--------|---------|--------|
| 口腔機能管理料 ※口腔機能管理加算 | 5,766※ | 22,373※ | 27,114 |

医薬分業が目指すもの

- 医薬分業とは、医師が患者に処方箋を交付し、薬剤師がその処方箋に基づき調剤を行い、医師と薬剤師がそれぞれの専門分野で業務を分担することによって、医療の質の向上を図ることを目指すもの

医師と薬剤師が相互に専門性を発揮することによる効果

- 薬剤師が、薬剤服用歴（服薬状況、副作用やアレルギー歴などの状況、相談内容等）の確認などにより、患者の服薬情報を一元的・継続的に把握した上で、薬剤師の持つ薬理学、薬物動態学、製剤学などの薬学的知見に基づいて薬学的管理・指導が行われることにより、複数診療科受診による重複投薬、相互作用の有無の確認などが可能となること。
- 薬剤師が、処方した医師・歯科医師と連携して、薬の効果、副作用、用法などについて患者に説明（服薬指導）することにより、患者の薬に対する理解が深まり、調剤された薬を適切に服用することが期待できること。



薬物療法の有効性、安全性の向上



医療の質の向上

医薬分業に対する厚生労働省の基本的な考え方

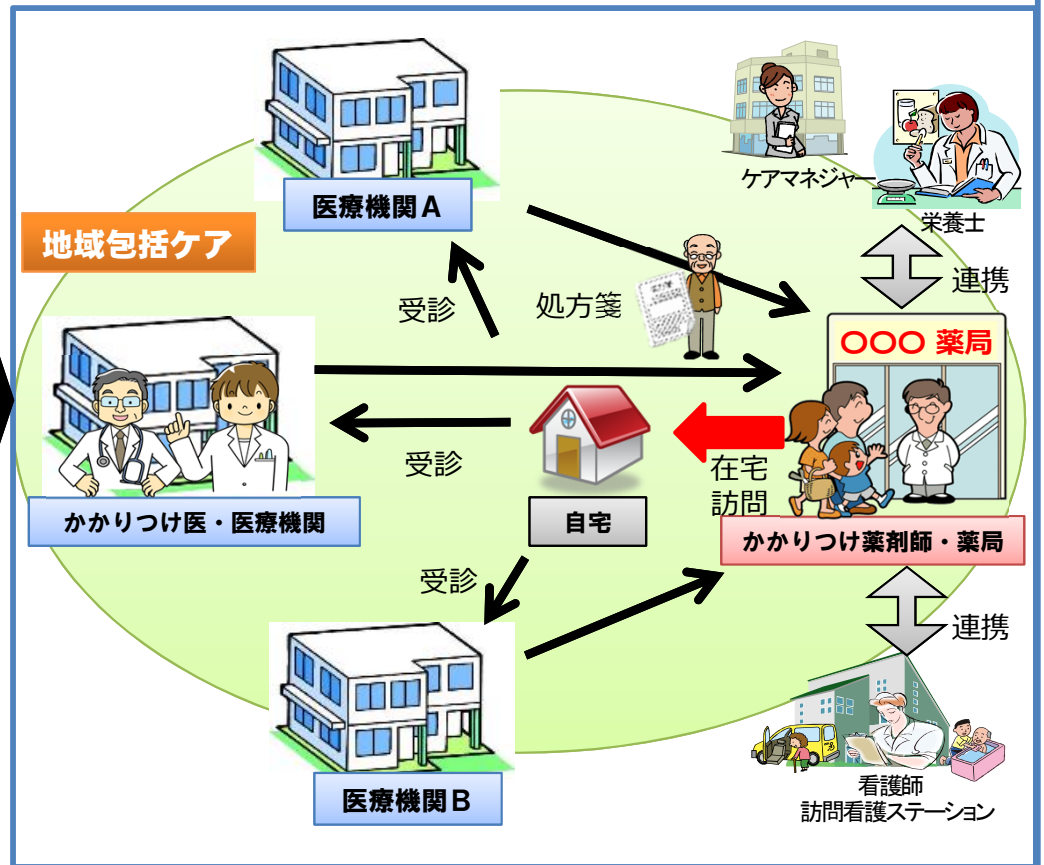
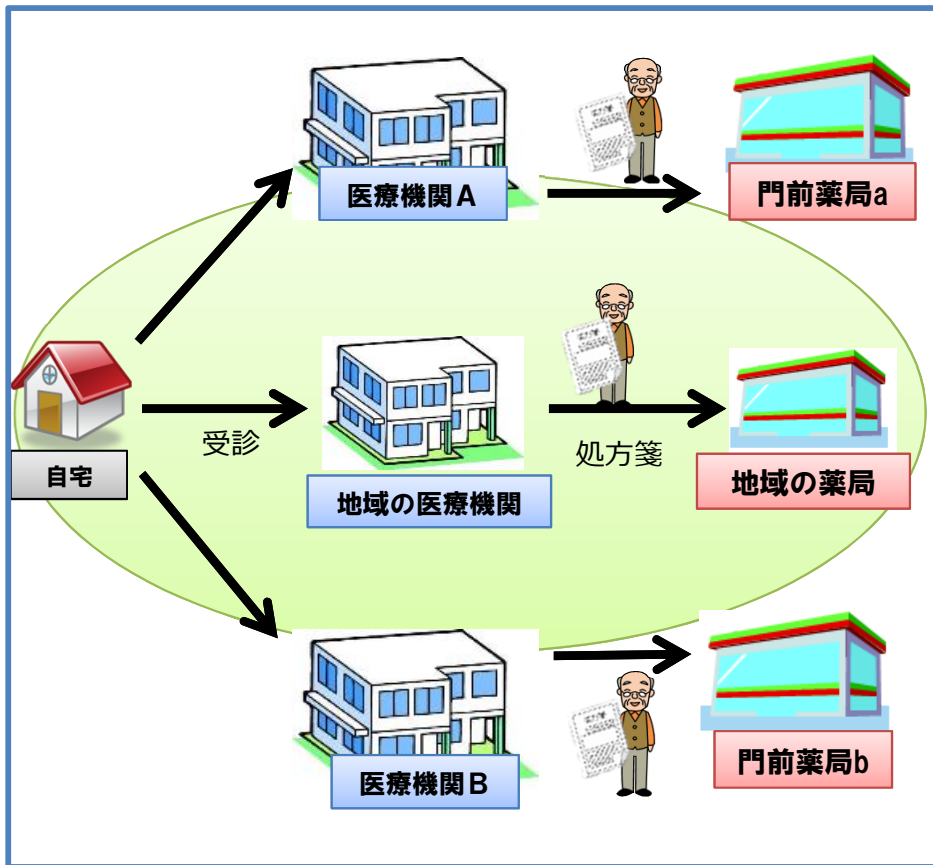
平成27年5月21日規制改革会議健康・医療WG 厚生労働省提出資料(改)

- 薬局の薬剤師が専門性を発揮して、患者の服用薬について一元的な薬学的管理を実施。
- これにより、多剤・重複投薬の防止や残薬解消なども可能となり、**患者の薬物療法の安全性・有効性が向上**するほか、**医療費の適正化**にもつながる。

今後の薬局の在り方(イメージ)

現状 多くの患者が門前薬局で薬を受け取っている。

今後 患者はどの医療機関を受診しても、身近なところにあるかかりつけ薬局に行く。



「患者のための薬局ビジョン」 ～「門前」から「かかりつけ」、そして「地域」へ～

平成27年10月23日公表

健康サポート薬局

健康サポート機能

- ☆ 国民の**病気の予防**や**健康サポート**に貢献
 - ・ 要指導医薬品等を適切に選択できるような供給機能や助言の体制
 - ・ 健康相談受付、受診勧奨・関係機関紹介 等

高度薬学管理機能

- ☆ **高度な薬学的管理ニーズ**への対応
 - ・ 専門機関と連携し抗がん剤の副作用対応や抗HIV薬の選択などを支援 等

かかりつけ薬剤師・薬局

服薬情報の一元的・継続的把握とそれに基づく薬学的管理・指導

- ☆ **副作用や効果**の継続的な確認
- ☆ **多剤・重複投薬や相互作用の防止**
 - ICT（電子版お薬手帳等）を活用し、
 - ・ 患者がかかる**全ての医療機関の処方情報を把握**
 - ・ 一般用医薬品等を含めた服薬情報を一元的・継続的に把握し、薬学的管理・指導

24時間対応・在宅対応

- ☆ **夜間・休日、在宅医療**への対応
 - ・ **24時間**の対応
 - ・ **在宅患者**への薬学的管理・服薬指導
- ※ 地域の薬局・地区薬剤師会との連携のほか、へき地等では、相談受付等に当たり地域包括支援センター等との連携も可能

医療機関等との連携

- ☆ 処方内容の照会・処方提案
- ☆ 副作用・服薬状況のフィードバック
- ☆ 医療情報連携ネットワークでの情報共有
- ☆ 医薬品等に関する相談や健康相談への対応
- ☆ 医療機関への受診勧奨

「患者のための薬局ビジョン」 ～「門前」から「かかりつけ」、そして「地域」へ～

○かかりつけ薬剤師としての役割の発揮に向けて

～対物業務から対人業務へ～

患者中心の業務

患者中心の業務

薬中心の業務

- ・ 処方箋受取・保管
- ・ 調製(秤量、混合、分割)
- ・ 薬袋の作成
- ・ 報酬算定
- ・ 薬剤監査・交付
- ・ 在庫管理

- ・ 処方内容チェック
(重複投薬、飲み合わせ)
- ・ 医師への疑義照会
- ・ 丁寧な服薬指導
- ・ 在宅訪問での薬学管理
- ・ 副作用・服薬状況の
フィードバック
- ・ 処方提案
- ・ 残薬解消

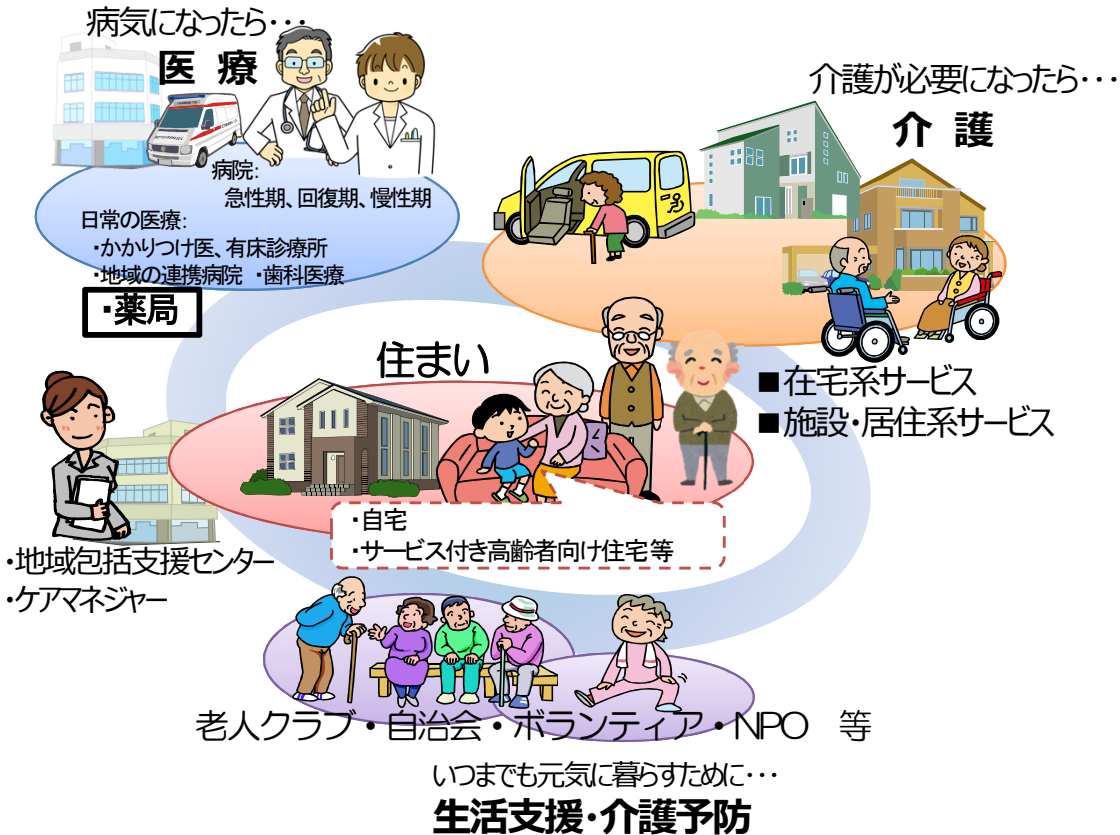
- 医薬関係団体・学会等で、
専門性を向上するための
研修の機会の提供
- 医療機関と薬局との間で、
患者の同意の下、検査値や
疾患名等の患者情報を共有
- 医薬品の安全性情報等の
最新情報の収集

専門性+コミュニケーション
能力の向上

薬中心の業務

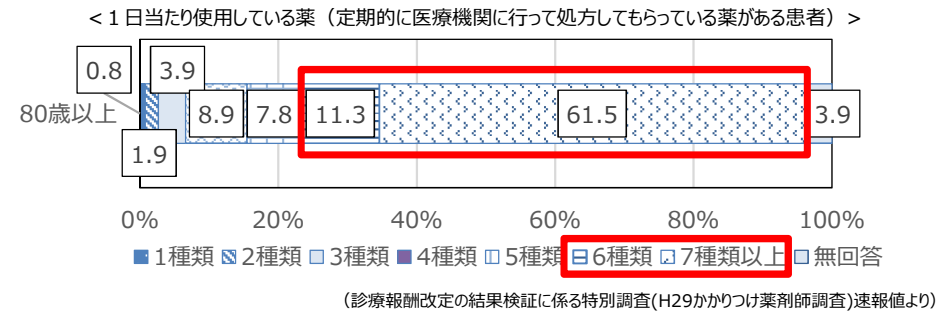
- 近年、高齢化が進展し、新薬等の開発が進む中、多剤投与による副作用の懸念の高まり、薬物療法において特に副作用に注意を要する疾病（がん、糖尿病等）を有する患者の外来治療へのシフトなどが見られる。
- 医療機関の機能分化、在宅医療や施設・居住系介護サービスの需要増等が進展する中で、患者が地域で様々な療養環境（入院、外来、在宅医療、介護施設など）を移行するケースが増加している。
- 薬剤師・薬局は、このような状況の変化に対応し、地域包括ケアシステムを担う一員として、医療機関等の関係機関と連携しつつ、その専門性を発揮し、患者に安全かつ有効な薬物療法を切れ目なく提供する役割を果たすことが求められている。

地域包括ケアシステムの姿



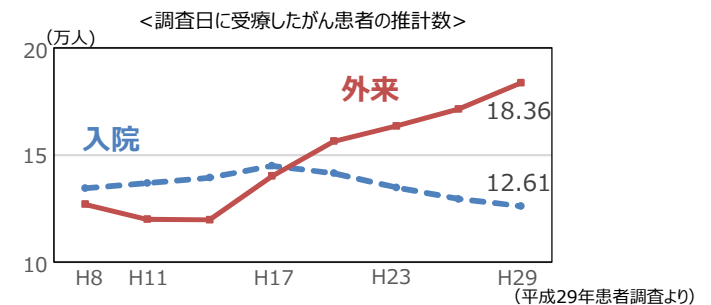
多剤投与の実態

・80歳以上の患者の7割超が、6種類以上の薬を服用。



外来で治療を受けるがん患者数の増加

・外来で治療を受けるがん患者は、入院で治療を受けるがん患者の約1.5倍。



主な対人業務

処方内容のチェック（重複投与・飲み合わせ）、処方提案

調剤時の情報提供、服薬指導

調剤後の継続的な服薬指導、服薬状況等の把握

服薬状況等の処方医等へのフィードバック

在宅訪問での薬学的管理



➡ **調剤時に加えて、調剤後の服薬指導、継続的な服薬状況等の把握も義務として規定**

➡ **努力義務として規定**
(医療法においても、医師から薬剤師等に対して同様の規定あり)

主な対物業務

処方箋受取・保存

調製(秤量、混合、一包化)

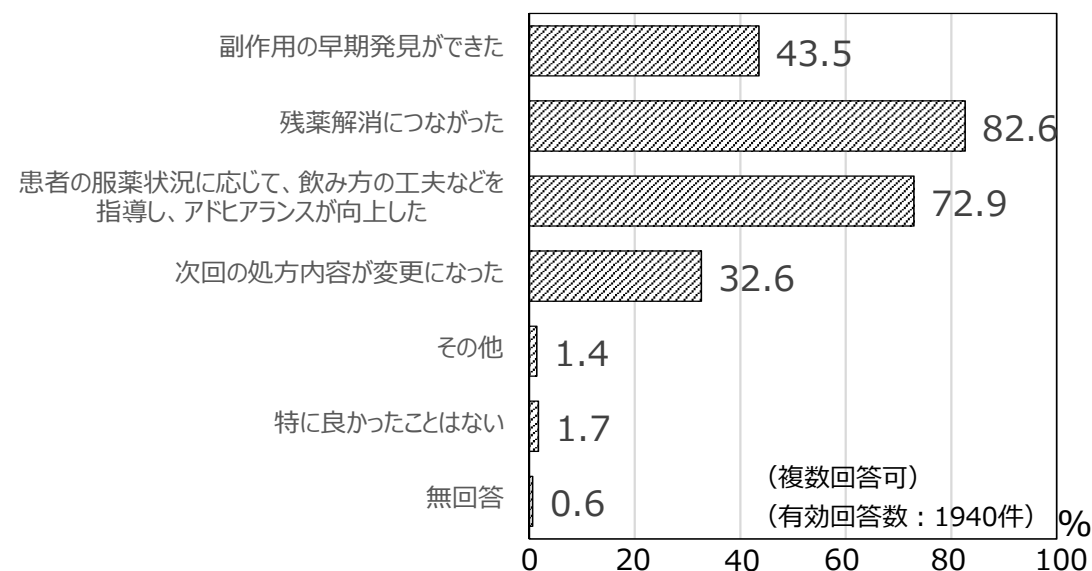
薬袋の作成

監査（交付する薬剤の最終チェック）

薬剤交付

在庫管理

● 調剤後に患者情報を継続的に把握する取組を行っていて良かったこと



(平成30年度「かかりつけ薬剤師・薬局に関する調査」の薬局調査より)

特定の機能を有する薬局の認定（令和3年8月1日施行）

○ 薬剤師・薬局を取り巻く状況が変化する中、患者が自身に適した薬局を選択できるよう、以下の機能を有すると認められる薬局について、都道府県の認定により名称表示を可能とする。

・入退院時の医療機関等との情報連携や、在宅医療等に地域の薬局と連携しながら一元的・継続的に対応できる薬局（**地域連携薬局**）

・がん等の専門的な薬学管理に関係機関と連携して対応できる薬局（**専門医療機関連携薬局**）

患者のための薬局ビジョンの「かかりつけ薬剤師・薬局機能」に対応

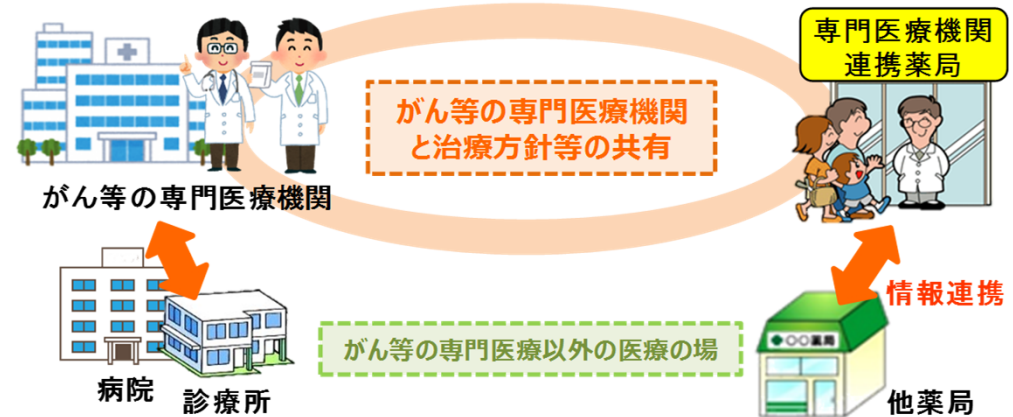
患者のための薬局ビジョンの「高度薬学管理機能」に対応

地域連携薬局



専門医療機関連携薬局

※傷病の区分ごとに認定
(現在規定している区分は「がん」)



〔主な要件〕

- ・関係機関との情報共有（入院時の持参薬情報の医療機関への提供、退院時カンファレンスへの参加等）
- ・夜間・休日の対応を含めた地域の調剤応需体制の構築・参画
- ・地域包括ケアに関する研修を受けた薬剤師の配置
- ・在宅医療への対応（麻薬調剤の対応等）

等

〔主な要件〕

- ・関係機関との情報共有（専門医療機関との治療方針等の共有、患者が利用する地域連携薬局等との服薬情報の共有等）
 - ・学会認定等の専門性が高い薬剤師の配置
- ＜専門性の認定を行う団体＞
- 日本医療薬学会（地域薬学ケア専門薬剤師（がん））
 - 日本臨床腫瘍薬学会（外来がん治療専門薬剤師）

薬局における対人業務の主な評価

基本的な服薬指導

◆ 薬剤服用歴管理指導料（43点又は57点/1回につき）

○ 薬剤の基本的な説明

薬歴を踏まえ、薬剤情報提供文書により、薬剤の服用に関する基本的な説明（薬剤の名称、形状、用法・用量、効能・効果、副作用・相互作用、服用及び保管上の注意事項等）を行う。

○ 患者への必要な指導

患者の服薬状況や服薬期間中の体調の変化、残薬の状況等を踏まえ、投与される薬剤の適正使用のために必要な服薬指導を行う。（手帳を用いる場合は、調剤を行った薬剤について、①調剤日、②当該薬剤の名称、③用法・用量等を記載する。）

○ 薬歴への記録

①患者の基礎情報、②処方・調剤内容等、③患者の体質・生活像・後発医薬品使用に関する意向、④疾患に関する情報、⑤併用薬に関する状況、⑥服薬状況（残薬を含む）、⑦服薬中の体調の変化等を記載する。

◆ 乳幼児（6歳未満）に対する服薬指導

乳幼児服薬指導加算（12点/1回につき）

乳幼児等に対し、服用に関して必要な指導を行い、かつ、当該内容を手帳に記載

◆ ハイリスク薬に対する管理指導

特定薬剤管理指導加算1（10点/1回につき）

ハイリスク薬の服用状況、副作用の有無等を確認し、薬学的管理・指導

◆ 麻薬に対する管理指導

麻薬管理指導加算（22点/1回につき）

麻薬の服用及び保管の状況、副作用の有無等を確認し、薬学的管理・指導

◆ 吸入薬に対する管理指導

吸入薬指導加算（30点/3月に1回まで）

喘息等の患者に対し吸入薬の吸入指導等を行い、その結果等を医療機関へ情報提供

特定薬剤管理指導加算2（100点/月1回まで）

薬局が患者のレジメン（治療内容）等を把握した上で、抗がん剤を注射された悪性腫瘍の患者に対し、必要な薬学的管理指導を行い、その結果等を保険医療機関に文書により情報提供した場合に算定

処方箋受付時にその場で対応

◆ 処方内容の疑義照会

重複投薬・相互作用等防止加算（残薬調整以外：40点・残薬調整：30点/1回につき）

処方医に対して照会を行い、処方変更が行われた場合に算定

上記以外（時間をかけて対応）

◆ 医療機関への情報提供

服薬情報等提供料（20又は30点/月1回まで）

保険医療機関等の求めがあった場合に、必要な情報を文書により提供等した場合に算定

◆ 残薬への対応

外来服薬支援料（185点/月1回まで）

- ①自己による服薬管理が困難な患者に対し、一包化や服薬カレンダー等を用いて薬剤を整理
- ②患者が保険薬局に持参した服用薬の整理等の服薬管理を実施（ブラウンバッグ運動）し、保険医療機関に情報提供した場合に算定

◆ ポリファーマシー対策

服用薬剤調整支援料1（125点/月1回まで）

保険薬剤師が処方医に減薬の提案を行い、処方薬が2種類以上減少した場合に算定

服用薬剤調整支援料2（100点/3月に1回まで）

保険薬剤師が処方医に減薬等の提案を行った場合に算定

調剤後のフォローアップの評価

調剤後薬剤管理指導加算（30点/月1回まで）

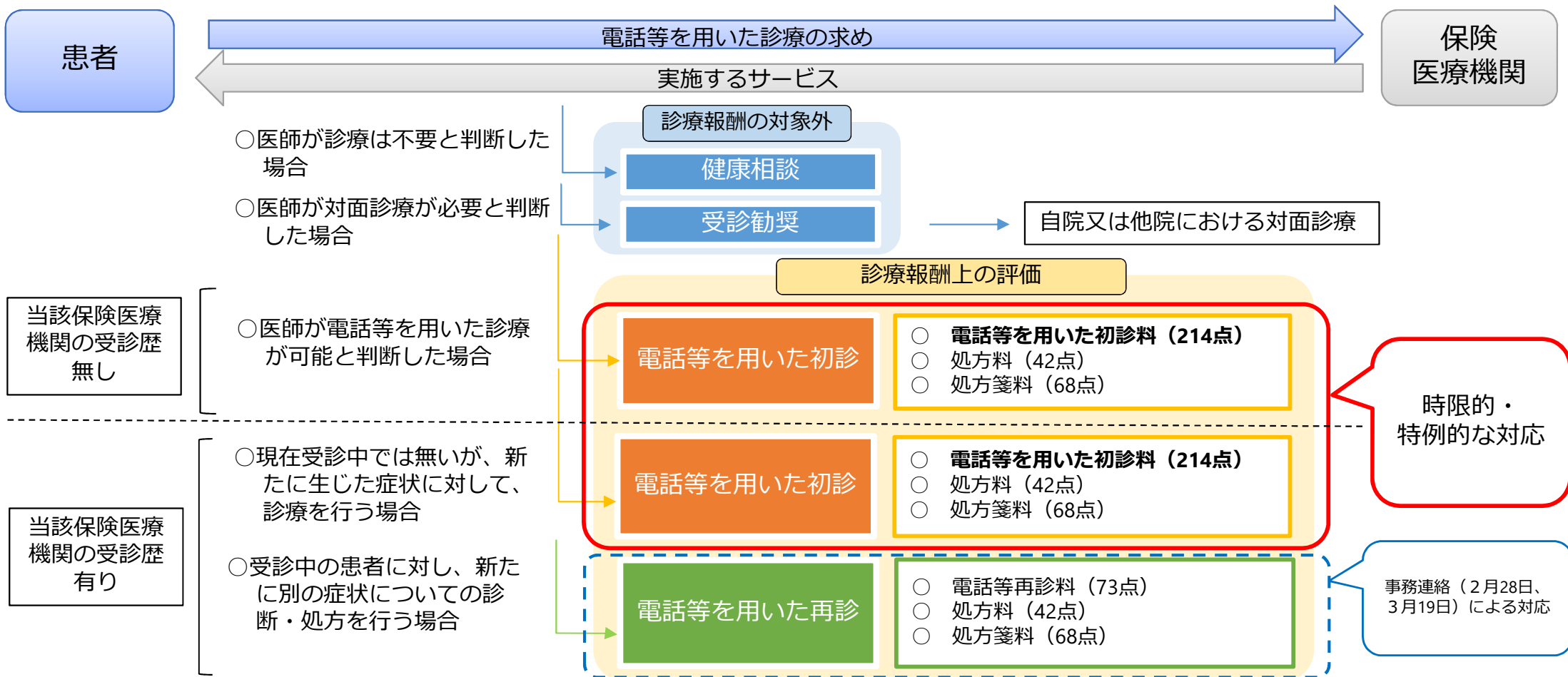
インスリン製剤等が処方等された患者に対し、必要な薬学的管理指導を行い、その結果等を保険医療機関に文書により情報提供した場合に算定

オンライン診療にかかる評価の経緯

| | オンライン診療（遠隔診療）の取扱い | 診療報酬上の対応 |
|--------------------------|---|---------------------------------|
| 平成9年 | 平成9年12月（医政局長通知） 「離島、へき地の場合」などの遠隔診療を認める | — |
| 平成27年 | 平成27年8月（事務連絡） 「離島、へき地」については例示であることを明確化 | — |
| 平成30年 | 平成30年3月（医政局長通知） 「オンライン診療の適切な実施に関する指針」を発出 | 平成30年度診療報酬改定 「オンライン診療料」等を新設 |
| 令和元年 | 令和元年7月 「オンライン診療の適切な実施に関する指針」改訂 | — |
| 令和2年 令和3年 (現在) | <div data-bbox="539 847 1906 922" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う対応（主なもの） </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>【初診】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 初診から電話やオンラインで診療可能 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【再診】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 慢性疾患を抱える定期受診患者について、症状に変化が生じた場合においても、電話やオンライン診療を実施した場合の処方可能 ○ 事前の計画作成は不要 </div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>【初診】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 電話や情報通信機器を用いた診療を実施した場合、初診料を算定可能 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【再診】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 慢性疾患を有する定期受診患者に対して、電話等再診料等を算定可能 ○ 電話や情報通信機器を用いた診療を実施した場合、管理料を算定可能 </div> </div> | 令和2年度診療報酬改定 「オンライン診療料」等の見直し等 |

新型コロナウイルス感染症患者の増加に際しての電話等を用いた診療に対する診療報酬上の臨時的な取扱い

- 新型コロナウイルスの感染が拡大し、医療機関の受診が困難になりつつあることに鑑み、時限的・特例的な対応として、「新型コロナウイルスの感染拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取扱いについて」（令和2年4月10日厚生労働省医政局医事課、医薬・生活衛生局総務課事務連絡）が発出されたことを踏まえ、当該事務連絡に関連する診療報酬の取扱いについて、以下の対応とする。（令和2年4月10日付事務連絡）



- 新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から、慢性疾患を有する定期受診患者に対して、電話等を用いた診療及び処方を行う場合であって、電話等を用いた診療を行う以前より、「情報通信機器を用いた場合」が注に規定されている管理料等を算定していた患者に対して、電話等を用いた診療においても当該計画等に基づく管理を行う場合は、147点（※）を算定することとする。
- 薬局で医療機関から送付された処方箋情報に基づき調剤を行い、電話等による服薬指導を行った場合でも調剤技術料、薬剤料、特定保険医療材料及び薬剤服用歴管理指導料等を算定できることとする。
- オンライン診療料の施設基準のうち、「一月あたりの再診料等及びオンライン診療料の算定回数に占めるオンライン診療料の割合が1割以下であること。」については、時限的・特例的な対応として、新型コロナウイルスの感染が拡大している間、適用しないこととする。

新型コロナウイルス感染症患者の増加に際しての 電話等を用いた診療に関する診療報酬上の臨時的対応に係る整理

| | | 初診 | | 再診 | | 慢性疾患等を有する 定期受診患者等に対する 医学管理を実施した場合 | |
|------------------------|-----------|---|------|-------------------------------------|---|--|---------------------|
| 平時 | 対面診療 | 【A000】初診料 | 288点 | 【A001】再診料 【A002】外来診療料 | 73点 74点 | 【B】疾患等に応じた医学管理料 | (※1) |
| | オンライン診療 | × | | 【A003】 オンライン診療料 (※2) | 71点 | 【B】対象となる医学管理料 (※3)の注に規定する 「情報通信機器を用いた場合」 | 100点 |
| | 電話等を用いた診療 | × | | 【A001】電話等再診料 (やむを得ない場合) | 73点 | × | |
| 新型コロナウイルス感染症に係る臨時的な取扱い | 対面診療 | 平時と同様の取扱い | | | | | |
| | オンライン診療 | × | | 【A003】 オンライン診療料 (※調剤料等2) (※7) | 71点 | 【B】対象となる医学管理料 (※3)の注に規定する 「情報通信機器を用いた場合」 | 100点 |
| | 電話等を用いた診療 | <div style="border: 1px solid orange; padding: 2px; text-align: center;"> 時限的・特例的な取扱い (令和2年4月10日～) </div> 【A000】電話等を用いた場合の初診料を算定可能(※4) (※調剤料等1) | | 214点 | 【A001】電話等再診料 (慢性疾患等を有する定期受診患者等に対して全例で可能) (※調剤料等1) (※調剤料等2) | 73点 | 要件(※5)を満たせば管理料を算定可能 |

再診等(※6)の患者に対して、要件を満たした上で医学管理を実施した場合に、医学管理料を算定可能

- ※1 各医学管理料の点数による。
- ※2 オンライン診療料は、慢性疾患等の定期受診患者に対して、対面診療と、ビデオ通話が可能な情報通信機器を活用した診療(オンライン診療)を組み合わせた計画に基づき、オンライン診療を行った場合に算定できる。なお、当該計画に基づかない他の傷病に対する診療は、対面診療で行うことが原則であり、オンライン診療料は算定できない。
- ※3 特定疾患療養管理料、小児科療養指導料、てんかん指導料、難病外来指導管理料、糖尿病透析予防指導管理料、地域包括診療料、認知症地域包括診療料、生活習慣病管理料をいう。
- ※4 「新型コロナウイルスの感染拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取扱いについて」(令和2年4月10日厚生労働省医政局医事課、医薬・生活衛生局総務課事務連絡)における留意点等を踏まえて診療を行った場合に算定する。
- ※5 以前より対面診療において対象となる医学管理料(※3)を算定していた患者に対して、電話や情報通信機器を用いた診療においても当該計画等に基づく管理を行うこと。
- ※6 医学管理料の種類による。※7 「一月あたりの再診料等及びオンライン診療料の算定回数に占めるオンライン診療料の割合が1割以下であること」とする要件は適用しない。

<調剤料等に係る臨時的取扱い>

※調剤料等1 調剤料、処方料、処方箋料、調剤技術基本料又は薬剤料を算定する。

※調剤料等2 原疾患により発症が容易に予測される症状の変化に対して処方を行った場合にも、調剤料等を算定可能とする。

今後の方針(案)

○ 前回の意見や規制改革実施計画を踏まえて、以下の点について今後検討してはどうか。

1. 初診からのオンライン診療の取扱いについて

- 初診からのオンライン診療に必要な医学的情報の詳細
- 規制改革実施計画における「オンラインでのやりとり」の取扱いの詳細や実際の運用
- 初診からのオンライン診療に適さない症状・医薬品等

2. オンライン診療の推進について

- 医療提供体制におけるオンライン診療の役割について
- 規制改革実施計画における「オンライン診療の更なる活用に向けた基本方針の策定」について

3. その他、オンライン診療の安全性・信頼性に関する事項

- 初診・再診問わず、医師・患者の同意や、不適切な事例への対応等、安全性・信頼性の担保に関するその他の論点

通常の取扱いと新型コロナ時限的・特例的な取扱いの主な比較

| | 改正薬機法によるオンライン服薬指導（9/1施行） | R2.4.10事務連絡の取扱い |
|--------|--|---|
| 実施方法 | <ul style="list-style-type: none"> ✓初回は対面（オンライン服薬指導不可） ✓（継続して処方される場合）オンラインと対面を組み合わせて実施 | <ul style="list-style-type: none"> ✓初回でも、薬剤師の判断により、電話・オンライン服薬指導の実施が可能 |
| 通信方法 | <ul style="list-style-type: none"> ✓映像及び音声による対応（音声のみは不可） | <ul style="list-style-type: none"> ✓電話（音声のみ）でも可 |
| 薬剤師 | <ul style="list-style-type: none"> ✓原則として同一の薬剤師がオンライン服薬指導を実施 | <ul style="list-style-type: none"> ✓かかりつけ薬剤師・薬局や、患者の居住地にある薬局により行われることが望ましい |
| 処方箋 | <ul style="list-style-type: none"> ✓オンライン診療又は訪問診療を行った際に交付した処方箋 | <ul style="list-style-type: none"> ✓どの診療の処方箋でも可能（オンライン診療又は訪問診療を行った際に交付した処方箋に限られない） |
| 薬剤の種類 | <ul style="list-style-type: none"> ✓これまで処方されていた薬剤又はこれに準じる薬剤（後発品への切り替え等を含む。） | <ul style="list-style-type: none"> ✓原則として全ての薬剤（手技が必要な薬剤については、薬剤師が適切と判断した場合に限る。） |
| 調剤の取扱い | <ul style="list-style-type: none"> ✓処方箋原本に基づく調剤（処方箋原本の到着が必要。） | <ul style="list-style-type: none"> ✓医療機関からファクシミリ等で送付された処方箋情報により調剤可能（処方箋原本は医療機関から薬局に事後送付） |

今後のオンライン服薬指導

(今後のオンライン服薬指導の考え方)

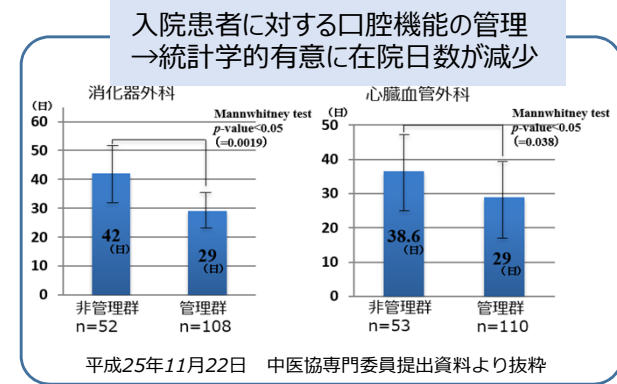
- ◆ オンライン服薬指導については、オンライン診療の検討と同様に、新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての時限的・特例的措置の実績を踏まえ、改正薬機法(本年9/1施行)に基づくルールの見直しを検討する。

(今後の対応方針)

- ◆ 本年度の厚生労働科学特別研究事業「オンライン服薬指導を実施する薬剤師に必要な研修プログラムに関する研究」(研究代表者:亀井美和子 帝京平成大学薬学部教授)において、オンライン服薬指導の時限的・特例的な取扱いに関する効果や課題等の検証に当たり、実施状況を把握するため、10月から実態調査を実施予定。
- ◆ その結果を踏まえ、患者が安心してオンライン服薬指導を受けられるよう、安全性や信頼性を担保するためのルールの見直しの検討を進めていく。

背景・目的

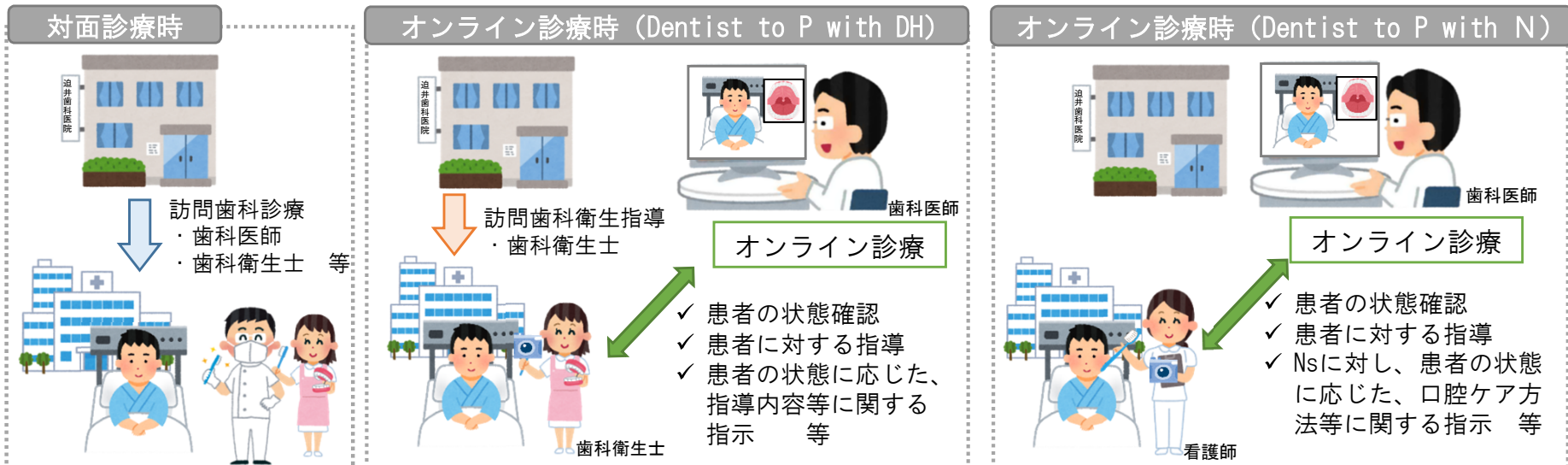
- 入院患者等に対する **歯科医師による口腔機能管理**
→ **在院日数の減少**や肺炎の発症率の低下などの効果が報告
- 歯科標榜のある病院は、病院全体の約2割
→ 歯科標榜のない病院において、**歯科専門職（歯科医師・歯科衛生士）**の介入による口腔機能管理を推進する必要
- 歯科標榜がない病院や介護施設等、**歯科医師がいない施設**では、地域の歯科診療所からの訪問歯科診療により対応しているが、訪問歯科診療を実施している医療機関は歯科診療所全体の約2割
→ 効果的・効率的な**歯科専門職の介入**が必要



歯科医師がいない病院等において、ICTを活用した歯科医師の介入による口腔機能管理を推進 → 医師の負担軽減

事業概要（イメージ）

- 歯科標榜のない病院や介護施設において、オンライン診療を活用した口腔機能管理等に関するモデル事業を実施し、効果的・効率的な**歯科専門職の介入方法**について検証
- 地域の状況に応じたオンライン診療（Dentist to P with DH/Ns）を実施することで、適切な運用・活用方法等を検証



効率化・適正化を通じて、
制度の安定性・持続可能性を高める視点

後発医薬品の使用促進に関わる診療報酬上の対応

○ 後発医薬品の使用促進のために、診療報酬上の様々な取組が実施されている。

| | | 個々の処方・調剤に対する評価 | 施設体制に対する評価 |
|------|----|---|---|
| 医療機関 | 入院 | 薬剤の費用が包括されている入院料等については、間接的に後発医薬品を使用することのインセンティブとなる | 後発医薬品使用体制加算（入院初日）注） <ul style="list-style-type: none"> 加算1（85%以上使用）：47点 加算2（80%以上使用）：42点 加算3（70%以上使用）：37点 |
| | 外来 | | 外来後発医薬品使用体制加算（1処方につき） <ul style="list-style-type: none"> 加算1（85%以上使用）：5点 加算2（75%以上使用）：4点 加算3（70%以上使用）：2点 |
| | 処方 | 一般名処方加算※） <ul style="list-style-type: none"> 加算1（全品目を一般名処方）：7点 加算2（1品目以上を一般名処方）：5点 | |
| 薬局 | | 薬剤服用歴管理指導料 <ul style="list-style-type: none"> ○薬剤情報提供文書により、後発医薬品の有無や自局での備蓄状況を情報提供 ○一般名処方された医薬品について、後発品を調剤しない場合、明細書の摘要欄に理由を記載 | 後発医薬品調剤体制加算（処方箋の受付1回につき） <ul style="list-style-type: none"> 加算1（75%以上）：15点 加算2（80%以上）：22点 加算3（85%以上）：28点 |

※）一般名処方加算の対象は厚生労働省が管理する一般名処方マスタに掲載されている医薬品であるが、注射薬は掲載されていない。このため、インスリン等の自己注射薬は一般名処方マスタには掲載されておらず、一般名処方加算の対象とはならない。

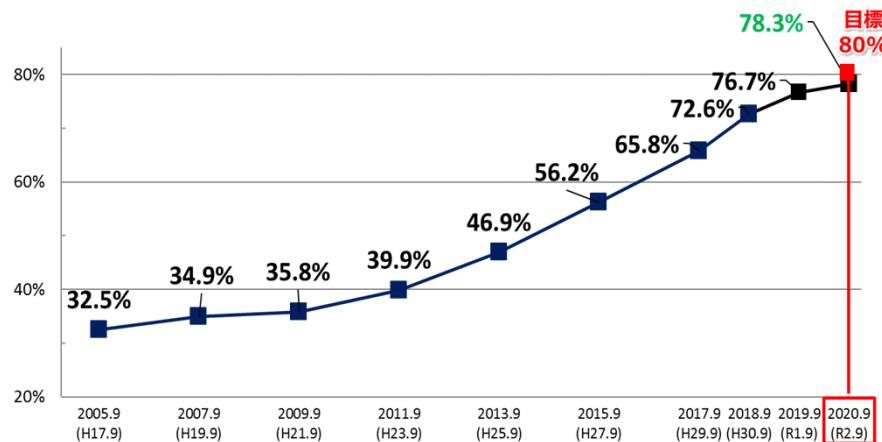
注）病院の外来患者への後発医薬品の使用に対する直接の評価はない。しかしながら、入院時の後発医薬品使用体制加算の算定の実績に、外来患者への後発医薬品の使用実績が含まれており、間接的に評価されていると言える。

【現状】

「経済財政運営と改革の基本方針2017」（平成29年6月9日閣議決定）（抄）

⑦薬価制度の抜本改革、患者本位の医薬分業の実現に向けた調剤報酬の見直し、薬剤の適正使用等

2020年（平成32年）9月までに、後発医薬品の使用割合を80%とし、できる限り早期に達成できるよう、更なる使用促進策を検討する。



**80%目標に対し、実績78.3%※
⇒目標には届かず**

※令和2年9月薬価調査

注) 「使用割合とは、後発医薬品のある先発医薬品」及び「後発医薬品」を分母とした「後発医薬品」の使用割合をいう。

厚生労働省調べ

➤後発医薬品メーカーの不祥事により、後発医薬品への信頼低下

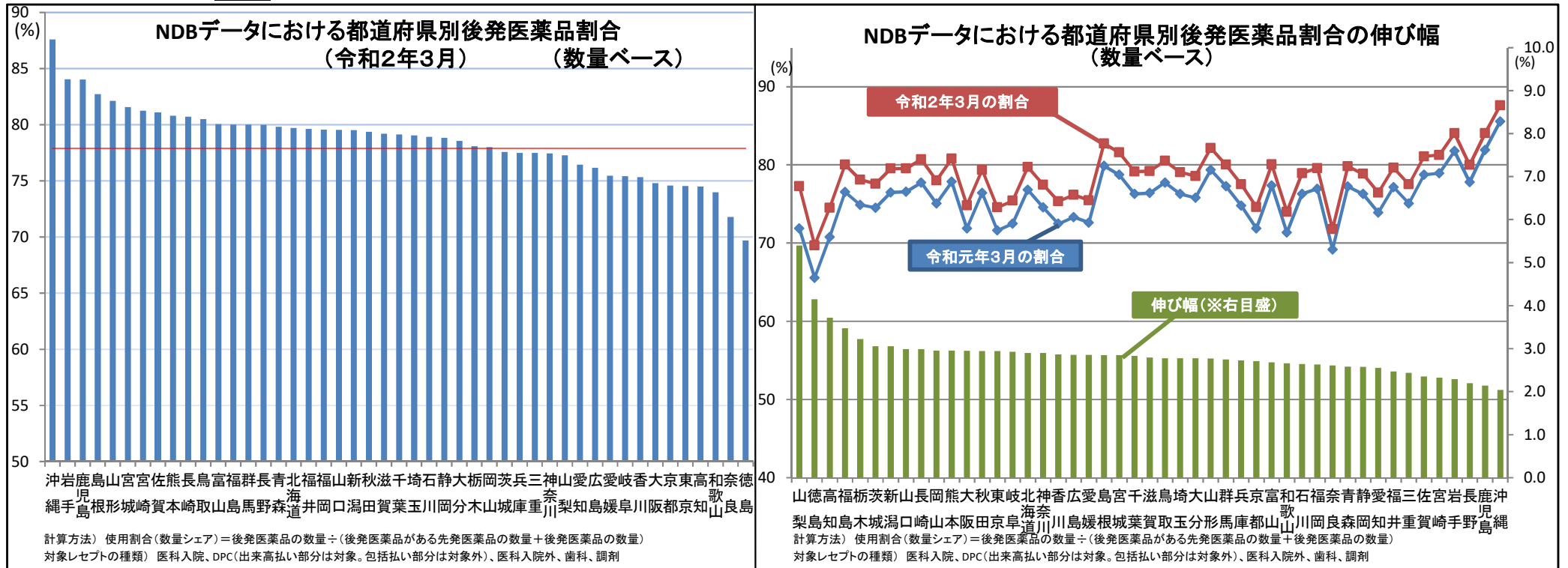
- 令和2年12月、小林化工(株)が製造販売する抗真菌剤に、睡眠導入剤の混入事案が発生
- 令和2年2月、日医工(株)富山第一工場に対し、県及び(独)医薬品医療機器総合機構の合同による無通告査察を実施したところ、GMP違反の疑いが判明

後発医薬品の使用促進について

【課題】

▶ 都道府県別に見るとばらつきが存在 <令和2年3月NDBデータ>

使用割合が**高い** 1位：沖縄、2位：岩手、3位：鹿児島
 使用割合が**低い** 1位：徳島、2位：奈良、3位：和歌山



▶ 後発医薬品の信頼回復に向けた取組の推進

- GMP立入検査の強化 (無通告立入検査回数の増、立入検査手法の質の向上等)
- 製造業者における原薬管理の徹底
- 製造販売業者としての管理体制強化 (製造所の監督等の厳格化、安全対策の強化や製造量等に見合った体制確保等)
- 安定供給確保の措置

(参考) 医療機関等への調査結果においては、後発医薬品選定の際に品切れが発生しないことを重視する傾向が示されている

品切れが発生しないことを重視する 病院93.5%、診療所33.3%、保険薬局：82.8% <令和元年度 後発医薬品使用促進ロードマップに関する調査報告書>

【今後の対応】

- ✓ 後発医薬品メーカーの不祥事による後発医薬品使用割合の変化・傾向を注視
 - ✓ 後発医薬品使用割合の見える化を地域や医療機関等の別に着目して拡大することを2021年度中に実施に向けて検討
- NDBを活用し、都道府県、二次医療圏、年齢、薬効分類、医療機関等の別の後発医薬品使用割合の見える化を検討し(2021年度中)、早期に実施
分析結果を都道府県に提供することにより、都道府県は後発医薬品安心使用促進協議会や保険者協議会等の場において使用促進策に活用し、全体の底上げを図る

<新たな目標>

- ・後発医薬品の品質及び安定供給の信頼性の確保を柱とし、官民一体で、製造管理体制強化や製造所への監督の厳格化、市場流通品の品質確認検査などの取組を進める
- ・後発医薬品の数量シェアを、2023年度末までに全ての都道府県で80%※以上とする

※NDBデータにおける後発医薬品割合

<参考:2020年3月後発医薬品数量割合 77.9%>

※バイオシミラーに係る新たな目標について、バイオシミラーの特性や医療費適正化効果を踏まえて引き続き検討

バイオ後続品に係る情報提供の評価

- ▶ 在宅自己注射指導管理料について、バイオ後続品に関する情報を患者に提供した上で、当該患者の同意を得て、バイオ後続品を導入した場合の評価を新設する。

在宅自己注射指導管理料

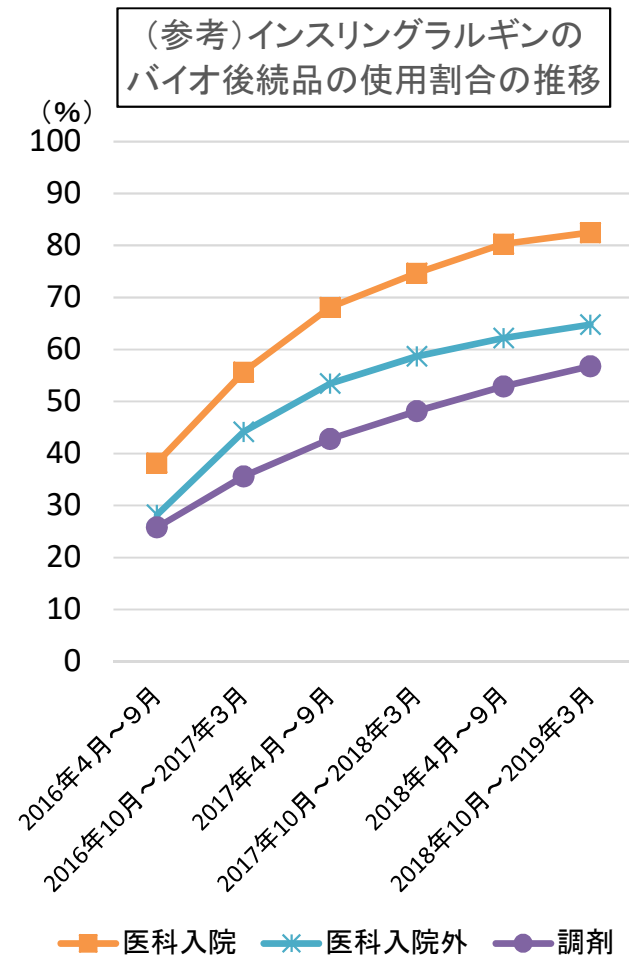
(新) バイオ後続品導入初期加算 150点(月1回)

[算定要件]

バイオ後続品に係る説明を行い、バイオ後続品を処方した場合には、バイオ後続品導入初期加算として、当該バイオ後続品の初回の処方日の属する月から起算して3月を限度として、150点を所定点数に加算する。

[在宅自己注射指導管理料の対象となる注射薬のうち、バイオ後続品が薬価収載されているもの]

インスリン製剤、ヒト成長ホルモン剤、エタネルセプト製剤、テリパラチド製剤、アダリムマブ製剤



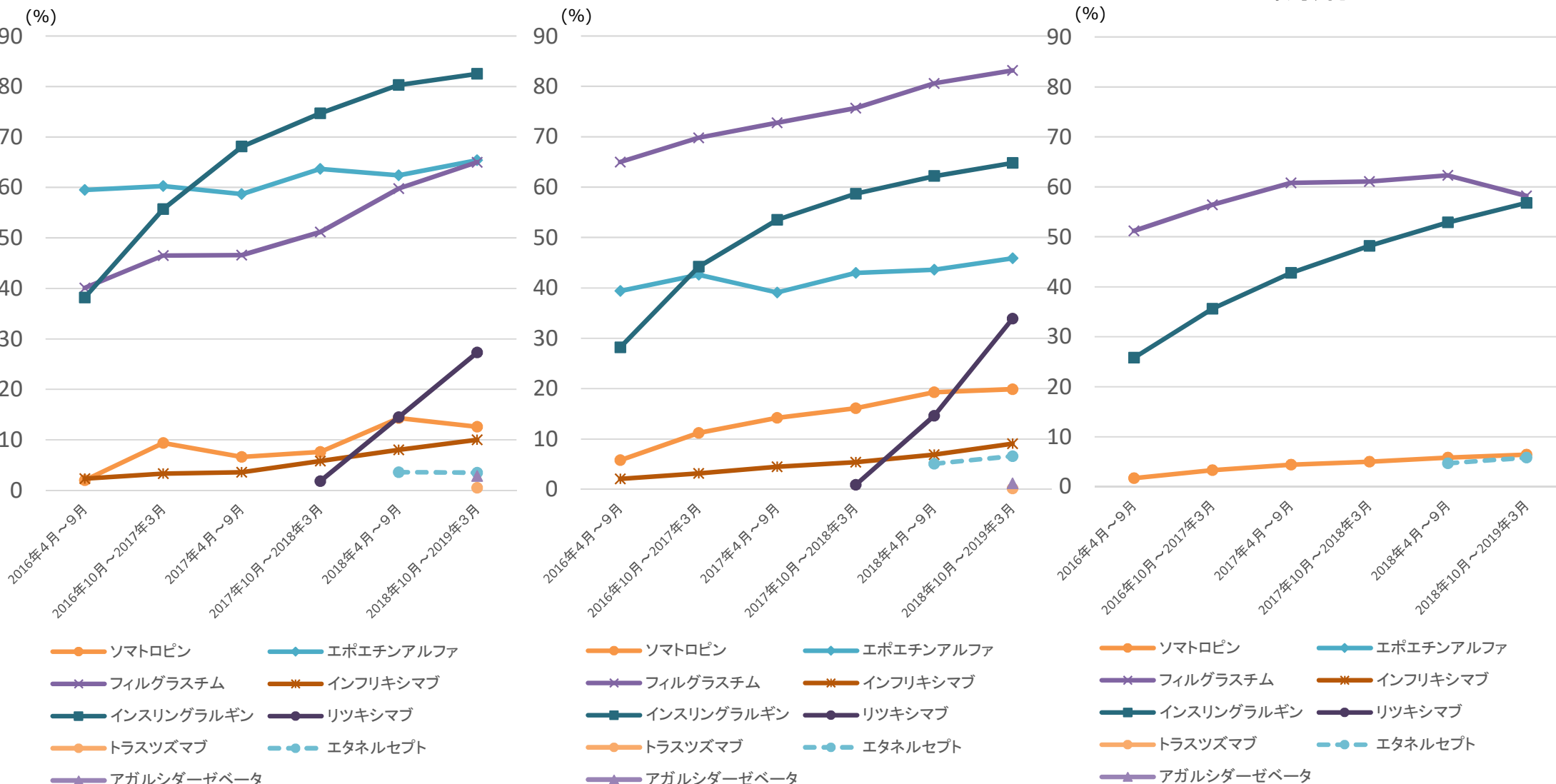
バイオ後続品の使用割合の推移

- バイオ後続品の使用割合は、製剤によってばらつきがあるが、増加傾向にある。
- 入院ではインスリンラルギンの後続品の使用割合が約80%で最も高かった。入院外ではフィルグラスチムの後続品の使用割合が約80%で最も高く、調剤ではフィルグラスチム及びインスリンラルギンの後続品の使用割合が約80%で最も高かった。

医科入院

医科入院外

調剤



出典：NDBデータ（入院料や処置等に包括されている薬剤については含んでいない。）

我が国でのフォーミュラリの厳密な定義はないが、一般的には、「医療機関等において医学的妥当性や経済性等を踏まえて作成された医薬品の使用方針」を意味するものとして用いられている。

(米国病院薬剤師会におけるフォーミュラリの定義等)

Continually updated list of medications and related information, representing the clinical judgment of physicians, pharmacists, and other experts in the diagnosis, prophylaxis, or treatment of disease and promotion of health.

疾患の診断、予防、治療や健康増進に対して、医師を始めとする薬剤師・他の医療従事者による臨床的な判断を表すために必要な、継続的にアップデートされる薬のリストと関連情報

Am J Health-Syst Pharm. 2008; 65:1272-83

■ 院内フォーミュラリ及び地域フォーミュラリについて

| | 院内フォーミュラリ | 地域フォーミュラリ |
|---------------------|--------------------------|---------------------------------|
| 作成者 | 院内の医師や薬剤師 | 地域の医師(会)、薬剤師(会)、中核病院 |
| ステークホルダー (意思決定者) | 少ない (理事長・オーナー、薬剤部長など) | 多い (診療所、薬局、中核病院、地域保険者、自治体など) |
| 管理運営 | 病院薬剤部 | 薬剤師会 (医師会) |
| 難易度 | 易 | 難 |
| 地域の医療経済への影響度 | 小さい | 大きい |

※ 過去の中医協の資料や診療報酬改定の結果検証に係る特別調査等において「フォーミュラリー」と記載していたものについては、本資料においては「フォーミュラリ」と表記している。

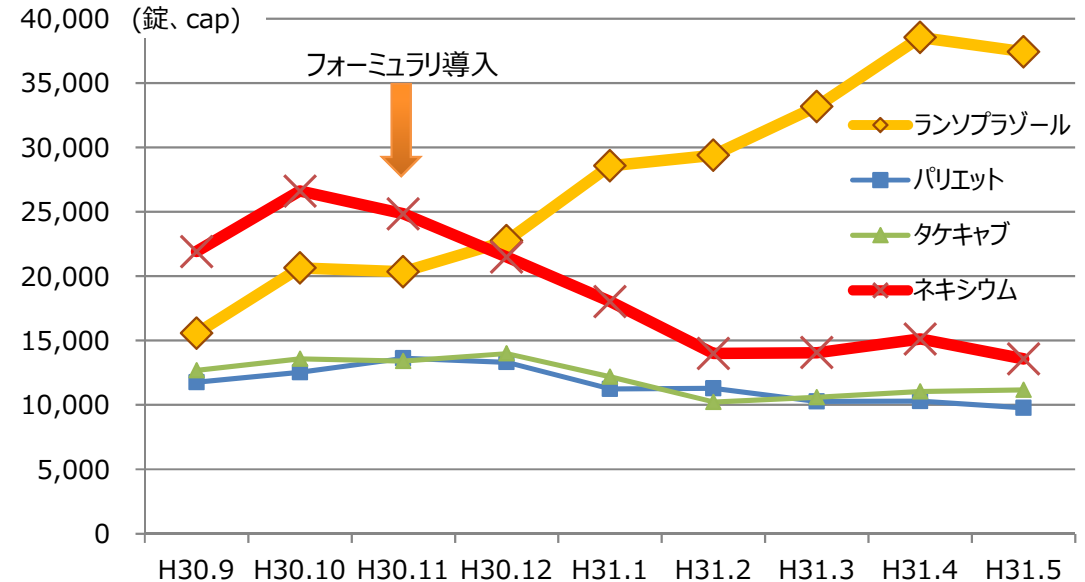
日本海ヘルスケアネットでの地域フォーミュラリについて（実績等）

- プロトンポンプ阻害薬（PPI）等の薬効群で地域における推奨薬剤リストが作成されている。
- 日本海総合病院においては、一定の導入効果が出ている。

■ 地域フォーミュラリ対象薬効群の推奨薬剤リスト

| 対象薬効群 | 薬剤名 |
|-----------------|----------------|
| プロトンポンプ阻害薬 | ランソプラゾール |
| | ラベプラゾール |
| | オメプラゾール |
| αグルコシダーゼ阻害薬 | ボグリボース |
| | ミグリトール |
| アンギオテンシンⅡ受容体拮抗薬 | テルミサルタン（第一推奨薬） |
| | オルメサルタン（第二推奨薬） |
| | カンデサルタン（第三推奨薬） |
| HMG-CoA還元酵素阻害薬 | ロスバスタチン |
| | ピタバスタチン |
| バイオシミラー製剤 | インフリキシマブ |
| ビスフォスフォネート製剤 | アレンドロン酸ナトリウム |
| | リセドロン酸ナトリウム |

■ 地域フォーミュラリ導入の効果（日本海総合病院の事例）



■ 非推奨薬選択時のアラート表示（日本海総合病院の事例）

この薬剤は地域フォーミュラリ推奨薬ではありません。

詳細を押すと

採用薬でのフォーミュラリ推奨薬が表示される。

ポリファーマシーに対する取組に係る診療報酬上の評価

1. 医療機関における減薬等の評価

○入院患者に対するポリファーマシー解消の取組の評価

- 入院時にポリファーマシー状態にある患者に対して、内服薬の総合的な評価及び変更の取組の評価と、減薬に至った場合を評価

【入院時】
6種類以上の内服薬

薬剤総合評価調整加算

【退院時】
→100点

更に

薬剤調整加算

【退院時】
2種類以上減少
→150点

- 多職種でカンファレンスを実施し、内服薬の変更、中止を行う
- 患者に対して処方変更に伴う注意点を説明し、病状の変化等について多職種で確認する

○外来患者に対する減薬の評価

- 多剤服薬を行っている患者に対して、受診時に内服薬が減少した場合を評価

【受診前】
6種類以上の内服薬

薬剤総合評価調整管理料

【受診後】
2種類以上減少
→250点

医療機関

連携管理加算

薬局と連携
→50点

薬局

※ポリファーマシーとは、単に服用する薬剤数が多いことではなく、それに関連して薬物有害事象のリスク増加、服薬過誤、服薬アドヒアランス低下等の問題につながる状態を指す（多剤服用の中でも害をなすものをポリファーマシー）

2. 薬局における減薬等の評価

○薬局の減薬の取組の評価

- 薬局が医師に減薬の提案を行い、その結果処方される内服薬が減少した場合の評価

【提案前】
6種類以上の内服薬

患者

処方箋

薬局

調剤・
服薬指導

①文書で提案

②処方に反映

服用薬剤調製支援料 1

【提案後】
2種類以上減少が4週間継続
→125点

医療機関

○薬局の重複投薬解消の提案の評価

- 薬局が医師に服用薬の一覧表を作成し、重複投薬等の解消の提案した場合の評価

【提案前】
6種類以上の内服薬

患者

処方箋

薬局

調剤・
服薬指導

報告書の送付

服用薬剤調製支援料 2

・服用薬の一元的把握
・重複投薬等の解消に係る提案
→100点

医療機関

○外来患者の重複投薬等に関する疑義照会に関する評価

- 薬局から医師へ重複投薬等に関する疑義照会を行い、処方内容が変更された場合の評価

重複投薬・相互作用等防止加算

→40点

医薬品の有効・安全な使用に関する診療報酬上の主な取組（概要）

- 重複投薬、ポリファーマシー、残薬への対応、後発医薬品の使用促進等の医薬品の適切な使用について、診療報酬上の様々な対応を進めてきた。

| 改定年度 | 重複投薬、ポリファーマシー、残薬への対応 | 後発医薬品の使用促進 | 向精神薬への対応 | その他 |
|--------|--|---|--|--|
| 平成26年度 | | 後発医薬品体制加算の見直し ＜医・調＞ | 向精神薬の処方適正化 （処方箋料及び処方料の減算等）＜医＞ | |
| 平成28年度 | <p>【重複投薬、ポリファーマシー】入院患者・外来患者の減薬の評価（薬剤総合評価調整管理料、薬剤総合評価調整加算）＜医＞</p> <p>【残薬】処方箋様式の変更（残薬を確認した場合の対応の記載欄を追加）＜医＞</p> <p>【残薬】節薬バッグの活用等による残薬解消の評価（外来服薬支援料の拡充）＜調＞</p> | <p>一般名処方加算の評価の拡充 ＜医＞</p> <p>後発医薬品体制加算の見直し ＜医・調＞</p> | 向精神薬の処方適正化 （減算対象の拡大等）＜医＞ | 長期処方時の取扱いの明確化 |
| 平成30年度 | 【重複投薬、ポリファーマシー】薬局の減薬の提案の評価（服用薬剤調整支援料）＜調＞ | <p>一般名処方加算の評価の拡充 ＜医＞</p> <p>後発医薬品体制加算の見直し ＜医・調＞</p> | 向精神薬の処方適正化 （ベンゾジアゼピン系抗不安薬等の長期処方の適正化（処方箋料・処方料の減算）等）＜医＞ | 薬剤耐性対策の評価 （抗菌薬適正使用支援チーム、小児外来診療）＜医＞ |
| 令和2年度 | <p>【重複投薬、ポリファーマシー】入院患者の減薬の評価の拡充（薬剤総合評価調整加算を段階的な評価に変更）＜医＞</p> <p>【重複投薬、ポリファーマシー】薬局の減薬の提案の評価の拡充（服用薬剤調整支援料2）＜調＞</p> <p>【残薬】医療機関・薬局間の情報提供の推進（退院時薬剤情報連携加算の新設等）＜医・調＞</p> | <p>一般名処方加算の評価の拡充 ＜医＞</p> <p>後発医薬品体制加算の見直し ＜医・調＞</p> | | <p>感染防止対策加算1における、抗菌薬適正使用支援チームの役割の拡充＜医＞</p> <p>小児抗菌薬適正使用支援加算の見直し＜医＞</p> |

長期投薬の取扱いの明確化【医科】

- 30日を超える長期の投薬については、予見することができる必要期間に従った投薬量が適切に処方されるよう、取扱いの明確化を図る。

医師が処方する投薬量については、予見することができる必要期間に従ったものでなければならず、30日を超える長期の投薬を行うに当たっては、長期の投薬が可能な程度に病状が安定し、服薬管理が可能である旨を医師が確認するとともに、病状が変化した際の対応方法及び当該保険医療機関の連絡先を患者に周知する。

なお、上記の要件を満たさない場合は、原則として次に掲げるいずれかの対応を行うこと。

ア 30日以内に再診を行う。

イ 200床以上の保険医療機関にあっては、患者に対して他の保険医療機関(200床未満の病院又は診療所に限る。)に文書による紹介を行う旨の申出を行う。

ウ 患者の病状は安定しているものの服薬管理が難しい場合には、**分割指示に係る処方箋を交付する。**

薬局における分割調剤

- 長期保存が困難な場合や後発医薬品を初めて使用する場合以外であっても、患者の服薬管理が困難である等の理由により、**医師が処方時に指示した場合には、薬局で分割調剤を実施する。その際、処方医は、処方箋の備考欄に分割日数及び分割回数を記載する。**2回目以降の調剤時は患者の服薬状況等を確認し、処方医に対して情報提供を行う。

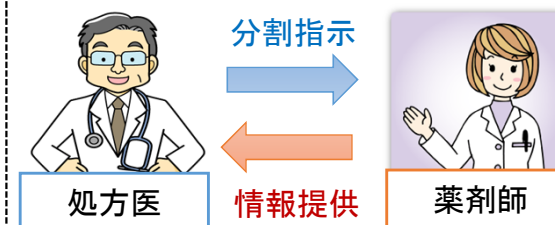
〈上記分割調剤の算定例〉 ※90日分の処方を30日ごとに3回分割調剤を指示

○ **調剤基本料、調剤料、薬学管理料***

分割調剤しない場合(90日分調剤した場合)の点数 A点 ⇒ 分割調剤ごとに**A/3点**

※2回の分割指示の場合は分割調剤ごとにA/2点、3回以上の分割指示の場合は分割調剤ごとにA/3点

○ **薬剤料** ⇒ 分割調剤ごとに**30日分の薬剤料**



最適使用推進ガイドライン（患者、施設・医師要件の設定等）

- 昨今、革新的かつ高額な医薬品（市場規模が大きいものを含む）や再生医療等製品が登場、以下のように、その使用の最適化を図っている。
 - 革新的な新規作用機序を有する医薬品は、薬理作用や安全性プロファイルが既存の医薬品と明らかに異なることがあるため、対象患者及び使用する医療機関の施設要件・医師要件を示した「**最適使用推進ガイドライン**」を作成。当該ガイドラインを踏まえた内容を保険適用上の留意事項として通知
 - これにより、有効性及び安全性に関する情報が十分蓄積するまでの間、①**当該医薬品の恩恵を強く受けることが期待される患者に対して使用**するとともに、②**副作用が発現した際に必要な対応を迅速にとることが可能な一定の要件を満たす医療機関**で使用

＜これまで作成された最適使用推進ガイドライン＞

| | 合計 | 医薬品 | | 再生医療等製品 | |
|-------|----|-----|----|---------|----|
| | | 新規 | 改正 | 新規 | 改正 |
| H28年度 | 3 | 3 | | | |
| H29年度 | 7 | 2 | 5 | | |
| H30年度 | 12 | 4 | 7 | 1 | |
| R元年度 | 12 | 3 | 8 | 1 | |
| R2年度 | 11 | 2 | 8 | | 1 |
| R3年度 | 6 | 1 | 2 | 2 | 1 |

＜最適使用推進ガイドラインの例＞

キムリア点滴静注

- 再発・難治性の白血病等の治療に用いる再生医療等製品。患者から採取したリンパ球に遺伝子組換えを行った上で、患者に静脈投与する。1患者当たり約3,400万円（令和元年5月22日保険適用）
- 関係8学会・医会の協力の下、薬事審査と並行して最適使用推進ガイドラインを検討・作成し、医療機関・医師の要件、投与対象となる患者等を規定。（平成31年3月26日承認、令和元年5月21日ガイドライン発出）

＜承認から保険収載までの手順＞



＜これまで最適使用推進ガイドラインが作成された医薬品・再生医療等製品＞

| 医薬品 | 効能・効果 |
|--------------------------|--|
| ニボルマブ (オプジーブ点滴静注) | <ul style="list-style-type: none"> 悪性黒色腫 腎細胞癌 頭頸部癌 悪性胸膜中皮腫 MSI-Highを有する結腸・直腸癌 |
| ペムブロリズマブ (キイトルーダ点滴静注) | <ul style="list-style-type: none"> 悪性黒色腫 古典的ホジキンリンパ腫 MSI-Highを有する固形癌 腎細胞癌 |
| アベルマブ (パベンチオ点滴静注) | <ul style="list-style-type: none"> メルケル細胞癌 尿路上皮癌 |
| デュルバルマブ (イミフィンジ点滴静注) | <ul style="list-style-type: none"> 非小細胞肺癌 小細胞肺癌 |
| アテゾリズマブ (テセントリク点滴静注) | <ul style="list-style-type: none"> 非小細胞肺癌 小細胞肺癌 |

| 医薬品 | 効能・効果 |
|------------------------|---|
| アリロクマブ (ブラレント皮下注) | <ul style="list-style-type: none"> 家族性高コレステロール血症、高コレステロール血症 |
| エボロクマブ (レバサ皮下注) | <ul style="list-style-type: none"> 家族性高コレステロール血症、高コレステロール血症 |
| デュピルマブ (デュピセント皮下注) | <ul style="list-style-type: none"> アトピー性皮膚炎 気管支喘息 慢性副鼻腔炎 |
| オマリズマブ (ゾレア皮下注) | <ul style="list-style-type: none"> 季節性アレルギー性鼻炎 |
| バリシチニブ (オルミント錠) | <ul style="list-style-type: none"> アトピー性皮膚炎 |
| ガルカネズマブ (エムガルティ皮下注) | <ul style="list-style-type: none"> 片頭痛発作の発症抑制 |

| 再生医療等製品 | 効能・効果又は性能 |
|----------------------------------|--|
| ヒト（自己）骨髄由来間葉系幹細胞（ステミラック注） | <ul style="list-style-type: none"> 脊髄損傷に伴う神経症候及び機能障害の改善 |
| チサゲンレクルユーセル (キムリア点滴静注) | <ul style="list-style-type: none"> B細胞性急性リンパ芽球性白血病 びまん性大細胞型B細胞リンパ腫 |
| アキシカブタゲン シロルユーセル (イエスカルタ点滴静注) | <ul style="list-style-type: none"> 大細胞型B細胞リンパ腫 |
| リソカブタゲン マラルユーセル (プレヤンジ静注) | <ul style="list-style-type: none"> 大細胞型B細胞リンパ腫 濾胞性リンパ腫 |

ビタミン剤・うがい薬・湿布薬に関する診療報酬改定での対応

- 医療費適正化の観点から、「ビタミン剤の単なる栄養補給目的の投与」、「治療目的でない場合のうがい薬だけの処方」、「湿布薬の適正給付」及び「治療目的でない場合の保湿剤の処方」について、対応を行っている。

H24年度診療報酬改定

- すべてのビタミン剤について単なる栄養補給目的での投与は医療保険の対象外とした。

ビタミン剤については、

- ① 当該患者の疾患又は症状の原因がビタミンの欠乏又は代謝異常であることが明らかであり、かつ、
 - ② 必要なビタミンを食事により摂取することが困難である場合その他これに準ずる場合であって、
 - ③ 医師が当該ビタミン剤の投与が有効であると判断したとき
- を除き、これを算定しない。

H26年度診療報酬改定

- 治療目的でない場合のうがい薬だけの処方については、医療保険の対象外とした。

入院中の患者以外の患者に対して、うがい薬（治療目的のものを除く）のみを投与された場合については、当該うがい薬に係る処方料、調剤料、薬剤料、処方せん料、調剤技術基本料を算定しない。

H28年度診療報酬改定

- 湿布薬について1処方につき原則70枚の処方制限を行うこととした。

入院中の患者以外の患者に対して、1処方につき70枚を超えて湿布薬を投薬した場合は、当該超過分に係る薬剤料を算定しない。ただし、医師が疾患の特性等により必要性があると判断し、やむを得ず70枚を超えて投薬する場合には、その理由を処方せん及び診療報酬明細書に記載することで算定可能とする。

H30年度診療報酬改定

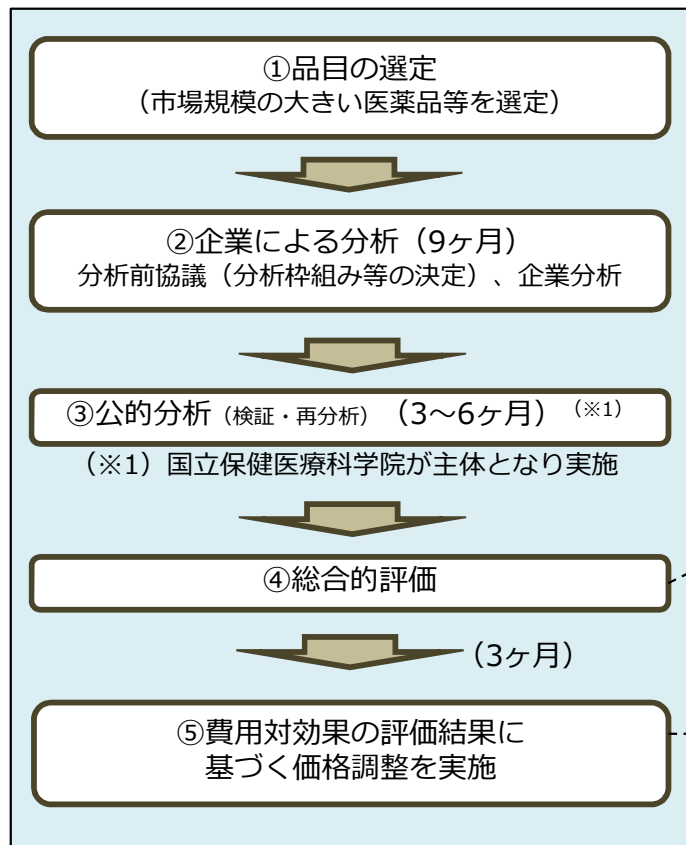
- 保湿剤（ヘパリンナトリウム・ヘパリン類似物質）について、疾病の治療以外を目的としたものについては、保険給付の対象外である旨を明確化した。

入院中の患者以外の患者に対して、血行促進・皮膚保湿剤（ヘパリンナトリウム又はヘパリン類似物質に限る。）を処方された場合で、疾病の治療を目的としたものであり、かつ、医師が当該保湿剤の使用が有効であると判断した場合を除き、これを算定しない。

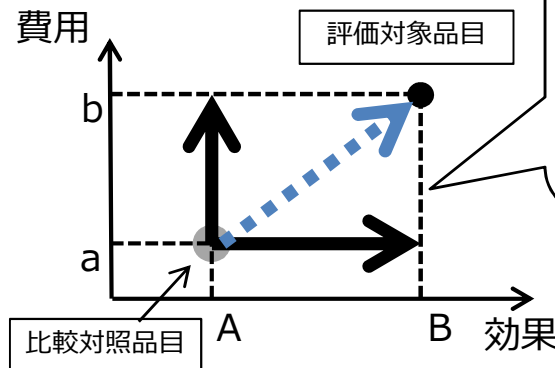
費用対効果評価制度について（概要）

- 費用対効果評価制度については、中央社会保険医療協議会での議論を踏まえ、2019年4月から運用を開始。
- 市場規模が大きい、又は著しく単価が高い医薬品・医療機器を評価の対象とする。ただし、治療方法が十分に存在しない稀少疾患（指定難病等）や小児のみに用いられる品目は対象外とする。
- 評価結果は保険償還の可否の判断に用いるのではなく、いったん保険収載したうえで価格調整に用いる。
- 今後、体制の充実を図るとともに事例を集積し、制度のあり方や活用方法について検討する。

【費用対効果評価の手順】



(注) カッコ内の期間は、標準的な期間



評価対象品目が、既存の比較対照品目と比較して、費用、効果がどれだけ増加するかを分析。

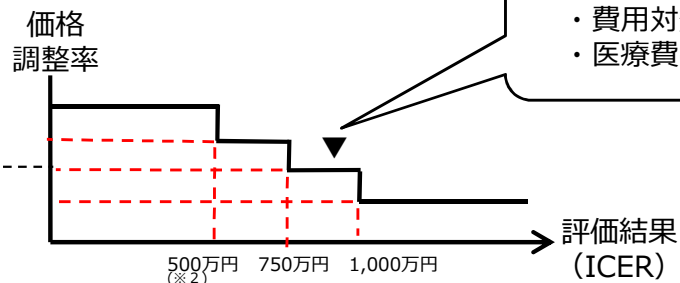
$$\text{増分費用効果比 (ICER)} = \frac{b-a \text{ (費用がどのくらい増加するか)}}{B-A \text{ (効果がどのくらい増加するか)}}$$

健康な状態での1年間の生存を延長するために必要な費用を算出。

総合的評価にあたっては、希少な疾患や小児、抗がん剤等の、配慮が必要な要素も考慮(※2)

評価結果に応じて対象品目の価格を調整(※3)

- ・費用対効果の悪い品目は価格を引下げ
- ・医療費の減少につながる品目等は価格を引上げ



(※2) 抗がん剤等については、通常よりも高い基準 (750万円/QALY) を用いる。
(※3) 価格調整範囲は有用性系加算等

次期薬価改定に向けた主な課題（案）

（1）令和2年度及び令和3年度薬価改定の骨子に記載されている事項

- 新規後発品の薬価算定
- 基礎的医薬品の薬価改定
- 診療報酬改定がない年の薬価改定の在り方

（2）これまでに問題提起された事項等

- 原価計算方式の在り方（開示を高める方法）
- イノベーションの適切な評価
- 改革工程表2020の記載事項（参考参照）

（3）その他

- 関係業界からの提起事項
- 薬価算定組織からの提起事項 など

今後の議論の進め方（案）

- 薬価専門部会において、今後、関係業界や薬価算定組織からの意見聴取も行いつつ、検討項目を整理した上で、議論を深めることとしてはどうか。



政府統計

報道関係者 各位

令和3年8月31日

【照会先】

保険局 調査課

課長 西岡 隆 (内線3291)

医療費解析官 八郷 秀之 (内線3375)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3595)2579

「令和2年度 医療費の動向」を公表します ～概算医療費の年度集計結果～

厚生労働省では、毎月、医療費の動向を迅速に把握するため、医療機関からの診療報酬の請求（レセプト）に基づいて、医療保険・公費負担医療分の医療費を集計した「医療費の動向」を公表しています。このたび、令和2年度の集計結果がまとまりましたので公表します。

本資料における医療費は、速報値であり、労災・全額自費等の費用を含まないことから概算医療費と呼称しています。概算医療費は、医療機関などを受診し傷病の治療に要した費用全体の推計値である国民医療費の約98%に相当しています。

本調査は、審査支払機関（社会保険診療報酬支払基金及び国民健康保険団体連合会）から診療報酬に関する審査支払業務において集まる医療費情報の提供を受け、これらを集約することで、医療費の動向を迅速に把握し、医療保険行政のための基礎資料を得ることを目的としたものです。

【調査結果のポイント】

- 令和2年度の医療費は42.2兆円となり、前年度に比べて約1.4兆円の減少となった。（表1-1）
- 医療費の内訳を診療種類別にみると、入院17.0兆円（構成割合40.4%）、入院外14.2兆円（33.7%）、歯科3.0兆円（7.1%）、調剤7.5兆円（17.9%）となっている。（表3-1）
- 医療費の伸び率は▲3.2%。診療種類別にみると、入院▲3.4%、入院外▲4.4%、歯科▲0.8%、調剤▲2.7%となっている。（表3-2）
- 医療機関を受診した延患者数に相当する受診延日数の伸び率は▲8.5%。診療種類別にみると、入院▲5.8%、入院外▲10.1%、歯科▲6.9%となっている。（表4-2）
- 1日当たり医療費の伸び率は+5.8%。診療種類別にみると、入院+2.6%、入院外+6.4%、歯科+6.6%、調剤+7.3%となっている。（表5-2）

【医療費の動向】

| | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 | 2年度 |
|-----------------|------|------|------|------|------|
| 医療費（兆円） | 41.3 | 42.2 | 42.6 | 43.6 | 42.2 |
| 医療費の伸び率（%） | ▲0.4 | 2.3 | 0.8 | 2.4 | ▲3.2 |
| 受診延日数の伸び率（%） | ▲0.7 | ▲0.1 | ▲0.5 | ▲0.8 | ▲8.5 |
| 1日当たり医療費の伸び率（%） | 0.3 | 2.4 | 1.3 | 3.2 | 5.8 |

「令和2年度 医療費の動向」は、厚生労働省のホームページにも掲載しています。
ホームページアドレス(<http://www.mhlw.go.jp/bunya/iryuhoken/database/>)

【調査概要】

- 調査方法 審査支払機関（社会保険診療報酬支払基金及び国民健康保険団体連合会）より、制度別、医療機関種類別の医療費(点数)、件数、受診延日数、加入者数データの提供を受け、集計・分析を行う。
- 調査対象 審査支払機関において処理された令和2年度の診療報酬明細書情報 約 18.5 億件分

-令和2年度 医療費の動向-



MEDIAS

Medical Information Analysis System

厚生労働省保険局調査課

目次

I 制度別の概算医療費

表1-1： 医療費の推移

表1-2： 医療費の伸び率（対前年度比）

表2-1： 1人当たり医療費の推移

表2-2： 1人当たり医療費の伸び率（対前年度比）

II 診療種類別の概算医療費

表3-1： 医療費の推移

表3-2： 医療費の伸び率（対前年度比）

表4-1： 受診延日数の推移

表4-2： 受診延日数の伸び率（対前年度比）

表5-1： 1日当たり医療費の推移

表5-2： 1日当たり医療費の伸び率（対前年度比）

参考1： 制度別の医療費の補正後の伸び率（対前年度比）

参考2： 診療種類別の医療費の補正後の伸び率（対前年度比）

III 医療機関種類別の概算医療費

表6-1： 医療費の推移

表6-2： 医療費の伸び率（対前年度比）

表7-1： 主たる診療科別医科診療所医療費の推移

表7-2： 主たる診療科別医科診療所医療費の伸び率（対前年度比）

表8-1： 受診延日数の推移

表8-2： 受診延日数の伸び率（対前年度比）

表9-1： 主たる診療科別 医科診療所受診延日数の推移

表9-2： 主たる診療科別 医科診療所受診延日数の伸び率（対前年度比）

表10-1： 1施設当たり医療費の推移

表10-2： 1施設当たり医療費の伸び率（対前年度比）

表11-1： 主たる診療科別 医科診療所 1施設当たり医療費の推移

表11-2： 主たる診療科別 医科診療所 1施設当たり医療費の伸び率（対前年度比）

表12-1： 1施設当たり受診延日数の推移

表12-2： 1施設当たり受診延日数の伸び率（対前年度比）

表13-1： 主たる診療科別 医科診療所 1施設当たり受診延日数の推移

表13-2： 主たる診療科別 医科診療所 1施設当たり受診延日数の伸び率（対前年度比）

表14-1： 入院 医療費の推移

表14-2： 入院 医療費の伸び率（対前年度比）

表15-1： 入院 受診延日数の推移

表15-2： 入院 受診延日数の伸び率（対前年度比）

表16-1： 入院 1日当たり医療費の推移

表16-2： 入院 1日当たり医療費の伸び率（対前年度比）

表17-1： 入院 1施設当たり医療費の推移

表17-2： 入院 1施設当たり医療費の伸び率（対前年度比）

表18-1： 入院 1施設当たり受診延日数の推移

表18-2： 入院 1施設当たり受診延日数の伸び率（対前年度比）

【参考】 推計新規入院件数、推計平均在院日数及び推計1入院当たり医療費

表19-1： 入院外 医療費の推移

表19-2： 入院外 医療費の伸び率（対前年度比）

表20-1： 主たる診療科別 医科診療所 入院外 医療費の推移

表20-2： 主たる診療科別 医科診療所 入院外 医療費の伸び率（対前年度比）

表21-1： 入院外 受診延日数の推移

表21-2： 入院外 受診延日数の伸び率（対前年度比）

表22-1： 主たる診療科別 医科診療所 入院外 受診延日数の推移

表22-2： 主たる診療科別 医科診療所 入院外 受診延日数の伸び率（対前年度比）

表23-1： 入院外 1日当たり医療費の推移

表23-2： 入院外 1日当たり医療費の伸び率（対前年度比）

表24-1： 主たる診療科別 医科診療所 入院外 1日当たり医療費の推移

表24-2： 主たる診療科別 医科診療所 入院外 1日当たり医療費の伸び率（対前年度比）

表25-1： 入院外 1施設当たり医療費の推移

表25-2： 入院外 1施設当たり医療費の伸び率（対前年度比）

表26-1： 入院外 主たる診療科別 医科診療所 1施設当たり医療費の推移

表26-2： 入院外 主たる診療科別 医科診療所 1施設当たり医療費の伸び率（対前年度比）

表27-1： 入院外 1施設当たり受診延日数の推移

表27-2： 入院外 1施設当たり受診延日数の伸び率（対前年度比）

表28-1： 入院外 主たる診療科別 医科診療所 1施設当たり受診延日数の推移

表28-2： 入院外 主たる診療科別 医科診療所 1施設当たり受診延日数の伸び率（対前年度比）

IV 都道府県別の概算医療費

表29-1： 医療費総額

表29-2： 医療費総額の伸び率（対前年同期比）

表30-1： 受診延日数

表30-2： 都道府県別受診延日数の伸び率（対前年同期比）

表31-1： 1日当たり医療費

表31-2： 1日当たり医療費の伸び率（対前年同期比）

【参考】 推計平均在院日数等

令和2年度 医療費の動向

I 制度別の概算医療費

表1-1 医療費の推移

(単位：兆円)

| | 総計 | 医療保険適用 | | | | | | | 公費 |
|--------|--------|-----------|---------|---------|------------|--------------|--------|---------|--------|
| | | 75歳未満 | | | | | 75歳以上 | | |
| | | 被用者 保険 | 本人 | 家族 | 国民健康 保険 | (再掲) 未就学者 | | | |
| 平成28年度 | 41.3 | 23.9 | 12.3 | 6.5 | 5.2 | 11.5 | 1.4 | 15.3 | 2.1 |
| 平成29年度 | 42.2 | 24.1 | 12.8 | 6.9 | 5.3 | 11.3 | 1.4 | 16.0 | 2.1 |
| 平成30年度 | 42.6 | 24.0 | 13.1 | 7.1 | 5.3 | 10.9 | 1.4 | 16.4 | 2.1 |
| (構成割合) | (100%) | (56.5%) | (30.8%) | (16.6%) | (12.4%) | (25.7%) | (3.4%) | (38.5%) | (5.0%) |
| 令和元年度① | 43.6 | 24.4 | 13.5 | 7.4 | 5.3 | 10.9 | 1.4 | 17.0 | 2.2 |
| (構成割合) | (100%) | (55.9%) | (31.0%) | (17.0%) | (12.2%) | (24.9%) | (3.2%) | (39.1%) | (5.0%) |
| 令和2年度② | 42.2 | 23.5 | 13.0 | 7.3 | 4.8 | 10.5 | 1.1 | 16.6 | 2.1 |
| (構成割合) | (100%) | (55.7%) | (30.9%) | (17.4%) | (11.4%) | (24.8%) | (2.7%) | (39.4%) | (4.9%) |
| ②-① | ▲1.41 | ▲0.90 | ▲0.49 | ▲0.06 | ▲0.48 | ▲0.41 | ▲0.27 | ▲0.41 | ▲0.10 |

- 注1. 審査支払機関（社会保険診療報酬支払基金及び国民健康保険団体連合会）で審査される診療報酬明細書のデータ（算定ベース：点数、費用額、件数及び日数）を集計している。点数を10倍したものを医療費として評価している。
医療保険及び公費負担医療で支給の対象となる患者負担分を含めた医療費についての集計である。現物給付でない分（はり・きゅう、全額自費による支払い分等）等は含まれていない。
- 注2. 「医療保険適用」「75歳未満」の「被用者保険」は、70歳未満の者及び高齢受給者に係るデータであり、「本人」及び「家族」は、高齢受給者を除く70歳未満の者に係るデータである。
- 注3. 「医療保険適用」の「75歳以上」は後期高齢者医療の対象となる者に係るデータである。
「公費」は医療保険適用との併用分を除く、生活保護などの公費負担のみのデータである。なお、当該データは診療報酬明細書において、「公費負担者番号①」欄に記載される公費負担医療（第1公費）のデータを集計したものである。

表1-2 医療費の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

| | 総計 | 医療保険適用 | | | | | | | 公費 |
|--------|------|-----------|------|------|------------|--------------|-------|------|------|
| | | 75歳未満 | | | | | 75歳以上 | | |
| | | 被用者 保険 | 本人 | 家族 | 国民健康 保険 | (再掲) 未就学者 | | | |
| 平成28年度 | ▲0.4 | ▲1.4 | 1.3 | 2.8 | 0.0 | ▲4.2 | ▲0.9 | 1.2 | ▲0.9 |
| 平成29年度 | 2.3 | 1.0 | 3.9 | 5.3 | 1.4 | ▲2.2 | ▲0.1 | 4.4 | 1.8 |
| 平成30年度 | 0.8 | ▲0.2 | 2.1 | 2.7 | 0.0 | ▲2.7 | ▲0.8 | 2.4 | 0.1 |
| 令和元年度 | 2.4 | 1.4 | 3.1 | 4.4 | 0.1 | ▲0.8 | ▲2.7 | 3.9 | 1.8 |
| 令和2年度 | ▲3.2 | ▲3.7 | ▲3.6 | ▲0.8 | ▲9.0 | ▲3.8 | ▲19.1 | ▲2.4 | ▲4.7 |

表2-1 1人当たり医療費の推移

(単位：万円)

| | 総計 | 医療保険適用 | | | | | | |
|--------|------|--------|-------|------|------|--------|--------------|-------|
| | | 75歳未満 | 被用者保険 | | | 国民健康保険 | (再掲) 未就学者 | 75歳以上 |
| | | | 本人 | 家族 | | | | |
| 平成28年度 | 32.5 | 21.7 | 16.3 | 15.4 | 16.1 | 33.9 | 21.3 | 93.0 |
| 平成29年度 | 33.3 | 22.1 | 16.7 | 15.8 | 16.4 | 34.9 | 21.6 | 94.2 |
| 平成30年度 | 33.7 | 22.2 | 16.9 | 16.0 | 16.6 | 35.3 | 21.9 | 93.9 |
| 令和元年度 | 34.5 | 22.6 | 17.3 | 16.5 | 16.8 | 36.4 | 21.8 | 95.2 |
| 令和2年度 | 33.5 | 21.9 | 16.7 | 16.2 | 15.5 | 35.8 | 18.1 | 92.0 |

注. 1人当たり医療費は医療費の総額を加入者数で除して得た値である。加入者数が未確定の制度もあり、数値が置き換わる場合がある。

表2-2 1人当たり医療費の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

| | 総計 | 医療保険適用 | | | | | | |
|--------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|--------------|-------|
| | | 75歳未満 | 被用者保険 | | | 国民健康保険 | (再掲) 未就学者 | 75歳以上 |
| | | | 本人 | 家族 | | | | |
| 平成28年度 | ▲ 0.4 | ▲ 0.9 | 0.1 | 0.2 | 0.4 | 0.1 | 0.2 | ▲ 2.0 |
| 平成29年度 | 2.5 | 1.6 | 2.5 | 2.6 | 2.0 | 3.0 | 1.4 | 1.4 |
| 平成30年度 | 1.0 | 0.5 | 1.3 | 1.1 | 1.0 | 1.3 | 1.1 | ▲ 0.3 |
| 令和元年度 | 2.6 | 2.0 | 2.6 | 2.9 | 1.4 | 3.0 | ▲ 0.4 | 1.3 |
| 令和2年度 | ▲ 2.9 | ▲ 3.1 | ▲ 3.6 | ▲ 1.5 | ▲ 7.7 | ▲ 1.7 | ▲ 17.0 | ▲ 3.3 |

II 診療種類別の概算医療費

表3-1 医療費の推移

(単位：兆円)

| | 総計 | 計 | 診療費 | | | | 調剤 | 訪問看護療養 | (参考) 入院外+調剤 |
|--------|--------|---------|---------|---------|---------|--------|---------|--------|----------------|
| | | | 医科 | | | 歯科 | | | |
| | | | 計 | 入院 | 入院外 | | | | |
| 平成28年度 | 41.3 | 33.6 | 30.7 | 16.5 | 14.2 | 2.9 | 7.5 | 0.19 | 21.7 |
| 平成29年度 | 42.2 | 34.3 | 31.4 | 17.0 | 14.4 | 2.9 | 7.7 | 0.22 | 22.1 |
| 平成30年度 | 42.6 | 34.8 | 31.9 | 17.3 | 14.6 | 3.0 | 7.5 | 0.26 | 22.0 |
| (構成割合) | (100%) | (81.8%) | (74.8%) | (40.6%) | (34.2%) | (7.0%) | (17.6%) | (0.6%) | (51.8%) |
| 令和元年度① | 43.6 | 35.5 | 32.5 | 17.6 | 14.9 | 3.0 | 7.7 | 0.30 | 22.6 |
| (構成割合) | (100%) | (81.5%) | (74.6%) | (40.5%) | (34.1%) | (6.9%) | (17.8%) | (0.7%) | (51.9%) |
| 令和2年度② | 42.2 | 34.3 | 31.3 | 17.0 | 14.2 | 3.0 | 7.5 | 0.36 | 21.7 |
| (構成割合) | (100%) | (81.3%) | (74.1%) | (40.4%) | (33.7%) | (7.1%) | (17.9%) | (0.9%) | (51.6%) |
| ②-① | ▲1.41 | ▲1.27 | ▲1.24 | ▲0.60 | ▲0.65 | ▲0.02 | ▲0.21 | 0.06 | ▲0.85 |

注1. 入院時食事療養の費用額及び入院時生活療養の費用額が含まれる。医科分は医科入院へ、歯科分は歯科へ含めている。

注2. 総計には、訪問看護療養の費用額を含む。

表3-2 医療費の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

| | 総計 | 計 | 診療費 | | | | 調剤 | 訪問看護療養 | (参考) 入院外+調剤 |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|--------|----------------|
| | | | 医科 | | | 歯科 | | | |
| | | | 計 | 入院 | 入院外 | | | | |
| 平成28年度 | ▲0.4 | 0.5 | 0.4 | 1.1 | ▲0.4 | 1.5 | ▲4.8 | 17.3 | ▲2.0 |
| 平成29年度 | 2.3 | 2.1 | 2.1 | 2.6 | 1.6 | 1.4 | 2.9 | 16.4 | 2.1 |
| 平成30年度 | 0.8 | 1.6 | 1.5 | 2.0 | 1.0 | 1.9 | ▲3.1 | 17.0 | ▲0.4 |
| 令和元年度 | 2.4 | 2.0 | 2.0 | 2.0 | 2.0 | 1.9 | 3.6 | 15.9 | 2.6 |
| 令和2年度 | ▲3.2 | ▲3.6 | ▲3.8 | ▲3.4 | ▲4.4 | ▲0.8 | ▲2.7 | 19.8 | ▲3.8 |

表4-1 受診延日数の推移

(単位：億日)

| | 総計 | 診療費 | | | | 調剤 |
|------------------|--------|---------|---------|---------|---------|-------|
| | | 計 | | | 歯科 | |
| | | | 入院 | 入院外 | | |
| 平成28年度 | 25.6 | 25.4 | 4.7 | 16.6 | 4.2 | 8.3 |
| 平成29年度 | 25.6 | 25.4 | 4.7 | 16.5 | 4.2 | 8.4 |
| 平成30年度 (構成割合) | (100%) | (99.1%) | (18.4%) | (64.3%) | (16.4%) | |
| 令和元年度① (構成割合) | (100%) | (98.9%) | (18.5%) | (63.9%) | (16.6%) | |
| 令和2年度② (構成割合) | (100%) | (98.6%) | (19.0%) | (62.8%) | (16.9%) | |
| ②－① | ▲2.15 | ▲2.20 | ▲0.27 | ▲1.64 | ▲0.29 | ▲0.78 |

注1. 診療実日数を取りまとめている。調剤については、処方せん枚数（受付回数）を取りまとめている。

注2. 総計には、訪問看護療養の実日数を含み、調剤の処方せん枚数（受付回数）を含めずに計上している。

表4-2 受診延日数の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

| | 総計 | 診療費 | | | | 調剤 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 計 | | | 歯科 | |
| | | | 入院 | 入院外 | | |
| 平成28年度 | ▲ 0.7 | ▲ 0.8 | ▲ 0.2 | ▲ 1.0 | ▲ 0.5 | 0.8 |
| 平成29年度 | ▲ 0.1 | ▲ 0.2 | 0.5 | ▲ 0.5 | 0.1 | 1.1 |
| 平成30年度 | ▲ 0.5 | ▲ 0.6 | ▲ 0.4 | ▲ 0.8 | ▲ 0.1 | 0.6 |
| 令和元年度 | ▲ 0.8 | ▲ 0.9 | ▲ 0.3 | ▲ 1.4 | 0.3 | ▲ 0.1 |
| 令和2年度 | ▲ 8.5 | ▲ 8.8 | ▲ 5.8 | ▲10.1 | ▲ 6.9 | ▲ 9.3 |

表5-1 1日当たり医療費の推移

(単位：千円)

| | 総計 | 計 | 診療費 | | | 調剤 | 訪問看護療養 | (参考) 入院外+調剤 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------|
| | | | 医科 | | 歯科 | | | |
| | | | 入院 | 入院外 | | | | |
| 平成28年度 | 16.1 | 13.2 | 35.5 | 8.5 | 6.9 | 9.0 | 11.1 | 13.1 |
| 平成29年度 | 16.5 | 13.5 | 36.2 | 8.7 | 7.0 | 9.2 | 11.1 | 13.4 |
| 平成30年度 | 16.7 | 13.8 | 37.1 | 8.9 | 7.1 | 8.9 | 11.3 | 13.5 |
| (総計=1) | (1.00) | (0.83) | (2.21) | (0.53) | (0.43) | (0.53) | (0.68) | (0.80) |
| 令和元年度① | 17.3 | 14.2 | 37.9 | 9.2 | 7.2 | 9.2 | 11.4 | 14.0 |
| (総計=1) | (1.00) | (0.82) | (2.19) | (0.53) | (0.42) | (0.53) | (0.66) | (0.81) |
| 令和2年度② | 18.3 | 15.0 | 38.9 | 9.8 | 7.7 | 9.9 | 11.5 | 15.0 |
| (総計=1) | (1.00) | (0.82) | (2.13) | (0.54) | (0.42) | (0.54) | (0.63) | (0.82) |
| ②-① | 1.0 | 0.8 | 1.0 | 0.6 | 0.5 | 0.7 | 0.1 | 1.0 |

注1. 1日当たり医療費とは、診療実日数当たりの医療費。
調剤では、処方せん1枚当たりの医療費。「(参考)入院外+調剤」では、入院外及び調剤の医療費を受診日数で除して得た値を計上する。

注2. 入院時食事療養の費用額及び入院時生活療養の費用額が含まれる。医科分は医科入院へ、歯科分は歯科へ含めている。

表5-2 1日当たり医療費の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

| | 総計 | 計 | 診療費 | | | 調剤 | 訪問看護療養 | (参考) 入院外+調剤 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|--------|----------------|
| | | | 医科 | | 歯科 | | | |
| | | | 入院 | 入院外 | | | | |
| 平成28年度 | 0.3 | 1.3 | 1.3 | 0.7 | 2.0 | ▲ 5.5 | 0.6 | ▲ 0.9 |
| 平成29年度 | 2.4 | 2.3 | 2.0 | 2.1 | 1.3 | 1.8 | 0.4 | 2.6 |
| 平成30年度 | 1.3 | 2.2 | 2.4 | 1.9 | 2.1 | ▲ 3.6 | 1.7 | 0.4 |
| 令和元年度 | 3.2 | 3.0 | 2.3 | 3.5 | 1.7 | 3.7 | 1.1 | 4.1 |
| 令和2年度 | 5.8 | 5.7 | 2.6 | 6.4 | 6.6 | 7.3 | 0.6 | 7.1 |

(参考) 休日数等の影響を補正した医療費総額の伸び率

参考1 制度別の医療費の補正後の伸び率

(単位：%)

| | 総計 | 医療保険適用 | | | | | | 公費 | 対前年同期差(日) | | | |
|--------|-------|-----------|-------|-------|------------|-------|-------|-------|-----------|-----|----------|-----|
| | | 75歳未満 | | | 75歳以上 | | | | 日祭日 | 土曜日 | 休日でない木曜日 | 間日 |
| | | 被用者 保険 | 本人 | 家族 | 国民健康 保険 | | | | | | | |
| 平成28年度 | ▲ 0.4 | ▲ 1.3 | 1.4 | 2.9 | 0.1 | ▲ 4.1 | 1.3 | ▲ 0.8 | 0 | - 1 | - 4 | - 1 |
| 平成29年度 | 2.3 | 1.0 | 4.0 | 5.4 | 1.5 | ▲ 2.2 | 4.4 | 1.8 | 0 | - 1 | + 3 | 0 |
| 平成30年度 | 0.9 | ▲ 0.0 | 2.3 | 2.9 | 0.2 | ▲ 2.6 | 2.4 | 0.2 | + 1 | - 1 | - 1 | 0 |
| 令和元年度 | 2.9 | 1.9 | 3.7 | 5.0 | 0.7 | ▲ 0.2 | 4.4 | 2.4 | + 3 | + 2 | + 1 | + 1 |
| 令和2年度 | ▲ 3.9 | ▲ 4.4 | ▲ 4.4 | ▲ 1.6 | ▲ 9.9 | ▲ 4.4 | ▲ 2.9 | ▲ 5.4 | - 4 | 0 | - 1 | - 1 |

注. 「医療保険適用」「75歳未満」の「被用者保険」は、70歳未満の者及び高齢受給者に係るデータであり、「本人」及び「家族」は、高齢受給者を除く70歳未満の者に係るデータである。

医療費の伸び率(対前年同月比)に対する休日数等の対前年同月差の影響補正係数(平成22年度～)

| | ▲ 2.7 | ▲ 2.9 | ▲ 3.1 | ▲ 3.1 | ▲ 3.2 | ▲ 2.6 | ▲ 2.3 | ▲ 2.7 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 日曜・祭日等 | ▲ 2.7 | ▲ 2.9 | ▲ 3.1 | ▲ 3.1 | ▲ 3.2 | ▲ 2.6 | ▲ 2.3 | ▲ 2.7 |
| 土曜日 | ▲ 1.0 | ▲ 0.7 | ▲ 0.4 | ▲ 0.2 | ▲ 0.6 | ▲ 1.1 | ▲ 1.2 | ▲ 1.0 |
| 休日でない木曜日 | ▲ 0.4 | ▲ 0.4 | ▲ 0.5 | ▲ 0.5 | ▲ 0.5 | ▲ 0.2 | ▲ 0.3 | ▲ 0.4 |

注1. 医療保険医療費の平成16～21年度各月の制度別1人当たり医療費の伸び率を、日曜・祭日等(年末については、12月29日～1月3日を日曜として扱っている)の数の対前年同月差、土曜日の対前年同月差、木曜日の対前年同月差、感染症サーベイランス調査の1地点当たりインフルエンザ報告数対前年同月差、花粉症の影響を表すデータとしては環境省花粉観測システムの観測地点・観測時刻データを単純平均したものの対前年同月差を説明変数として回帰分析した結果を用いて補正したものである。

なお、総計及び公費については、医療保険計について回帰分析した結果を用いている。

注2. 間日に係る影響補正係数は、当月が間日の場合3.6%、前年同月が間日の場合▲3.4%とした。

注3. 入院時食事療養の費用額及び入院時生活療養の費用額が含まれる。医科分は医科入院へ、歯科分は歯科へ含めている。

注4. 改元に伴い、令和元年度限りの休日が設定されたが、この休日による4～5月の休日数等の影響補正についても、機械的に上記の補正方法を当てはめている。

参考2 診療種類別の医療費の補正後の伸び率(対前年度比)

(単位：%)

| | 総計 | 医科 | | | | 調剤 | 対前年同期差(日) | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-----------|-----|----------|----|
| | | 入院 | | 歯科 | 調剤 | | 日曜・祭日等 | 土曜日 | 休日でない木曜日 | 間日 |
| | | 入院 | 入院外 | | | | | | | |
| 平成28年度 | ▲ 0.4 | 1.3 | ▲ 0.4 | 1.2 | ▲ 4.7 | 0 | - 1 | - 4 | - 1 | |
| 平成29年度 | 2.3 | 2.5 | 1.7 | 1.7 | 2.9 | 0 | - 1 | + 3 | 0 | |
| 平成30年度 | 0.9 | 2.0 | 1.2 | 2.0 | ▲ 2.9 | + 1 | - 1 | - 1 | 0 | |
| 令和元年度 | 2.9 | 2.1 | 2.8 | 2.8 | 4.6 | + 3 | + 2 | + 1 | + 1 | |
| 令和2年度 | ▲ 3.9 | ▲ 3.5 | ▲ 5.3 | ▲ 1.8 | ▲ 3.8 | - 4 | 0 | - 1 | - 1 | |

医療費の伸び率(対前年同月比)に対する休日数等1日当たりの影響補正係数(平成22年度～)

| | ▲ 2.7 | ▲ 1.2 | ▲ 3.5 | ▲ 3.5 | ▲ 4.2 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 日曜・祭日等 | ▲ 2.7 | ▲ 1.2 | ▲ 3.5 | ▲ 3.5 | ▲ 4.2 |
| 土曜日 | ▲ 1.0 | ▲ 0.8 | ▲ 1.0 | ▲ 1.0 | ▲ 1.2 |
| 休日でない木曜日 | ▲ 0.4 | ▲ 0.2 | ▲ 0.6 | ▲ 1.3 | ▲ 0.2 |

注1. 医療保険医療費の平成16～21年度各月の制度別1人当たり医療費の伸び率を、日曜・祭日等(年末については、12月29日～1月3日を日曜として扱っている)の数の対前年同月差、土曜日の対前年同月差、木曜日の対前年同月差、感染症サーベイランス調査の1地点当たりインフルエンザ報告数対前年同月差、花粉症の影響を表すデータとしては環境省花粉観測システムの観測地点・観測時刻データを単純平均したものの対前年同月差を説明変数として回帰分析した結果を用いて補正したものである。

なお、総計及び公費については、医療保険計について回帰分析した結果を用いている。

注2. 間日に係る影響補正係数は、当月が間日の場合3.6%、前年同月が間日の場合▲3.4%とした。

注3. 入院時食事療養の費用額及び入院時生活療養の費用額が含まれる。医科分は医科入院へ、歯科分は歯科へ含めている。

注4. 改元に伴い、令和元年度限りの休日が設定されたが、この休日による4～5月の休日数等の影響補正についても、機械的に上記の補正方法を当てはめている。

Ⅲ 医療機関種類別の概算医療費

(1) 入院・入院外計

表6-1 医療費の推移

(単位：兆円)

| | 総計 | 医科 | | | | | | | 診療所 | 歯科 | | 保険薬局 | |
|--------|--------|---------|---------|--------|---------|---------|--------|---------|--------|--------|--------|---------|-----|
| | | 病院 | 大学 | | | | 公的 | 法人 | | 個人 | 病院 | | 診療所 |
| | | | 大学 | 公的 | 法人 | 個人 | | | | | | | |
| 平成28年度 | 41.3 | 30.7 | 22.2 | 2.83 | 8.03 | 11.12 | 0.18 | 8.6 | 2.87 | 0.15 | 2.72 | 7.50 | |
| 平成29年度 | 42.2 | 31.4 | 22.7 | 2.91 | 8.25 | 11.40 | 0.16 | 8.7 | 2.92 | 0.16 | 2.76 | 7.71 | |
| 平成30年度 | 42.6 | 31.9 | 23.2 | 3.01 | 8.43 | 11.62 | 0.14 | 8.7 | 2.97 | 0.17 | 2.81 | 7.47 | |
| (構成割合) | (100%) | (74.8%) | (54.5%) | (7.1%) | (19.8%) | (27.3%) | (0.3%) | (20.4%) | (7.0%) | (0.4%) | (6.6%) | (17.6%) | |
| 令和元年度① | 43.6 | 32.5 | 23.8 | 3.14 | 8.64 | 11.87 | 0.12 | 8.7 | 3.03 | 0.17 | 2.85 | 7.75 | |
| (構成割合) | (100%) | (74.6%) | (54.6%) | (7.2%) | (19.8%) | (27.2%) | (0.3%) | (20.0%) | (6.9%) | (0.4%) | (6.6%) | (17.8%) | |
| 令和2年度② | 42.2 | 31.3 | 23.0 | 3.03 | 8.22 | 11.63 | 0.11 | 8.3 | 3.01 | 0.16 | 2.84 | 7.54 | |
| (構成割合) | (100%) | (74.1%) | (54.5%) | (7.2%) | (19.5%) | (27.6%) | (0.3%) | (19.6%) | (7.1%) | (0.4%) | (6.7%) | (17.9%) | |
| ②-① | ▲1.41 | ▲1.24 | ▲0.78 | ▲0.11 | ▲0.42 | ▲0.24 | ▲0.01 | ▲0.46 | ▲0.02 | ▲0.01 | ▲0.01 | ▲0.21 | |

注1. 医科病院は、経営主体別に分類している。

注2. 「大学病院」には、病院のうち、医育機関である医療機関を分類している。

注3. 「公的病院」には、病院のうち、国（独立行政法人を含む）の開設する医療機関、公的医療機関（都道府県、市町村等）及び社会保険関係団体（全国社会保険協会連合会等）の開設する医療機関を分類している。但し、医育機関を除く。

注4. 医療費には、入院時食事療養の費用額及び入院時生活療養の費用額が含まれる。

表6-2 医療費の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

| | 総計 | 医科 | | | | | | | 診療所 | 歯科 | | 保険薬局 | |
|--------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|------|-----|
| | | 病院 | 大学 | | | | 公的 | 法人 | | 個人 | 病院 | | 診療所 |
| | | | 大学 | 公的 | 法人 | 個人 | | | | | | | |
| 平成28年度 | ▲0.4 | 0.4 | 0.9 | 2.6 | 0.7 | 0.9 | ▲11.0 | ▲0.9 | 1.5 | 3.4 | 1.4 | ▲4.8 | |
| 平成29年度 | 2.3 | 2.1 | 2.5 | 3.0 | 2.8 | 2.5 | ▲13.0 | 1.1 | 1.4 | 2.7 | 1.3 | 2.9 | |
| 平成30年度 | 0.8 | 1.5 | 2.1 | 3.4 | 2.1 | 1.9 | ▲14.8 | 0.2 | 1.9 | 4.7 | 1.8 | ▲3.1 | |
| 令和元年度 | 2.4 | 2.0 | 2.5 | 4.1 | 2.5 | 2.2 | ▲9.5 | 0.7 | 1.9 | 5.0 | 1.8 | 3.6 | |
| 令和2年度 | ▲3.2 | ▲3.8 | ▲3.3 | ▲3.3 | ▲4.9 | ▲2.0 | ▲10.7 | ▲5.3 | ▲0.8 | ▲6.1 | ▲0.4 | ▲2.7 | |

表7-1 主たる診療科別 医科診療所 医療費の推移

(単位：億円)

| | 医科診療所 | 診療科 | | | | | | | | |
|--------|--------|---------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|---------|
| | | 内科 | 小児科 | 外科 | 整形外科 | 皮膚科 | 産婦人科 | 眼科 | 耳鼻咽喉科 | その他 |
| 平成28年度 | 85,581 | 40,934 | 3,469 | 4,340 | 9,185 | 3,259 | 2,454 | 7,453 | 4,177 | 10,309 |
| 平成29年度 | 86,531 | 41,284 | 3,474 | 4,176 | 9,448 | 3,299 | 2,449 | 7,679 | 4,258 | 10,462 |
| 平成30年度 | 86,689 | 41,222 | 3,435 | 3,986 | 9,493 | 3,314 | 2,435 | 7,896 | 4,324 | 10,584 |
| (構成割合) | (100%) | (47.6%) | (4.0%) | (4.6%) | (11.0%) | (3.8%) | (2.8%) | (9.1%) | (5.0%) | (12.2%) |
| 令和元年度① | 87,260 | 41,353 | 3,437 | 3,917 | 9,641 | 3,377 | 2,451 | 8,069 | 4,210 | 10,805 |
| (構成割合) | (100%) | (47.4%) | (3.9%) | (4.5%) | (11.0%) | (3.9%) | (2.8%) | (9.2%) | (4.8%) | (12.4%) |
| 令和2年度② | 82,642 | 39,576 | 2,673 | 3,468 | 9,323 | 3,349 | 2,454 | 7,789 | 3,390 | 10,620 |
| (構成割合) | (100%) | (47.9%) | (3.2%) | (4.2%) | (11.3%) | (4.1%) | (3.0%) | (9.4%) | (4.1%) | (12.9%) |
| ②-① | ▲4,618 | ▲1,777 | ▲764 | ▲449 | ▲318 | ▲28 | 3 | ▲280 | ▲820 | ▲185 |

注. 医科診療所ごとの主たる診療科別に医科診療所を分類して、医療費を集計している。

表7-2 主たる診療科別 医科診療所 医療費の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

| | 医科診療所 | 診療科 | | | | | | | | |
|--------|-------|------|-------|-------|------|------|------|------|-------|------|
| | | 内科 | 小児科 | 外科 | 整形外科 | 皮膚科 | 産婦人科 | 眼科 | 耳鼻咽喉科 | その他 |
| 平成28年度 | ▲0.9 | ▲1.0 | ▲0.7 | ▲3.9 | 0.5 | 0.7 | ▲1.2 | 0.1 | ▲1.1 | ▲1.0 |
| 平成29年度 | 1.1 | 0.9 | 0.1 | ▲3.8 | 2.9 | 1.2 | ▲0.2 | 3.0 | 2.0 | 1.5 |
| 平成30年度 | 0.2 | ▲0.2 | ▲1.1 | ▲4.6 | 0.5 | 0.4 | ▲0.6 | 2.8 | 1.5 | 1.2 |
| 令和元年度 | 0.7 | 0.3 | 0.0 | ▲1.7 | 1.6 | 1.9 | 0.7 | 2.2 | ▲2.6 | 2.1 |
| 令和2年度 | ▲5.3 | ▲4.3 | ▲22.2 | ▲11.5 | ▲3.3 | ▲0.8 | 0.1 | ▲3.5 | ▲19.5 | ▲1.7 |

表8-1 受診延日数の推移

(単位：億日)

| | 総計 | 医科 | | | | | | | 歯科 | | | 保険薬局 |
|------------------|----------------|-----------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|----------------|-----------------|-----------------|----------------|-----------------|-------|
| | | 病院 | 診療所 | | | | 病院 | 診療所 | | | | |
| | | | 大学 | 公的 | 法人 | 個人 | | | | | | |
| 平成28年度 | 25.6 | 21.3 | 8.6 | 0.68 | 2.54 | 5.29 | 0.12 | 12.6 | 4.17 | 0.17 | 4.00 | 8.30 |
| 平成29年度 | 25.6 | 21.2 | 8.6 | 0.68 | 2.54 | 5.30 | 0.10 | 12.6 | 4.18 | 0.17 | 4.01 | 8.39 |
| 平成30年度 (構成割合) | 25.4 (100%) | 21.0 (82.7%) | 8.6 (33.6%) | 0.68 (2.7%) | 2.52 (9.9%) | 5.28 (20.7%) | 0.08 (0.3%) | 12.5 (49.1%) | 4.17 (16.4%) | 0.17 (0.7%) | 4.00 (15.7%) | 8.44 |
| 令和元年度① (構成割合) | 25.2 (100%) | 20.8 (82.4%) | 8.5 (33.6%) | 0.68 (2.7%) | 2.49 (9.9%) | 5.24 (20.7%) | 0.08 (0.3%) | 12.3 (48.8%) | 4.18 (16.6%) | 0.18 (0.7%) | 4.01 (15.9%) | 8.43 |
| 令和2年度② (構成割合) | 23.1 (100%) | 18.9 (81.8%) | 7.8 (33.9%) | 0.61 (2.6%) | 2.24 (9.7%) | 4.91 (21.3%) | 0.07 (0.3%) | 11.1 (47.9%) | 3.89 (16.9%) | 0.16 (0.7%) | 3.74 (16.2%) | 7.65 |
| ②-① | ▲2.15 | ▲1.91 | ▲0.66 | ▲0.07 | ▲0.25 | ▲0.32 | ▲0.01 | ▲1.25 | ▲0.29 | ▲0.02 | ▲0.27 | ▲0.78 |

注1. 診療実日数を取りまとめている。保険薬局については、処方せん枚数(受付回数)を取りまとめている。
注2. 総計には、訪問看護ステーションの実日数を含み、保険薬局の処方せん枚数(受付回数)を含めずに計上している。

表8-2 受診延日数の伸び率(対前年度比)

(単位：%)

| | 総計 | 医科 | | | | | | | 歯科 | | | 保険薬局 |
|--------|------|------|------|-------|-------|------|-------|-------|------|-------|------|------|
| | | 病院 | 診療所 | | | | 病院 | 診療所 | | | | |
| | | | 大学 | 公的 | 法人 | 個人 | | | | | | |
| 平成28年度 | ▲0.7 | ▲0.9 | ▲0.9 | ▲0.7 | ▲1.6 | ▲0.3 | ▲9.5 | ▲0.8 | ▲0.5 | 0.2 | ▲0.6 | 0.8 |
| 平成29年度 | ▲0.1 | ▲0.3 | ▲0.2 | ▲0.5 | ▲0.1 | 0.1 | ▲13.4 | ▲0.3 | 0.1 | 1.0 | 0.1 | 1.1 |
| 平成30年度 | ▲0.5 | ▲0.7 | ▲0.7 | ▲0.2 | ▲0.9 | ▲0.4 | ▲16.8 | ▲0.7 | ▲0.1 | 0.3 | ▲0.2 | 0.6 |
| 令和元年度 | ▲0.8 | ▲1.2 | ▲0.9 | ▲0.1 | ▲1.1 | ▲0.8 | ▲10.7 | ▲1.4 | 0.3 | 2.1 | 0.2 | ▲0.1 |
| 令和2年度 | ▲8.5 | ▲9.2 | ▲7.7 | ▲10.3 | ▲10.2 | ▲6.2 | ▲13.3 | ▲10.2 | ▲6.9 | ▲11.8 | ▲6.7 | ▲9.3 |

表9-1 主たる診療科別 医科診療所 受診延日数の推移

(単位：万日)

| | 医科診療所 | 診療科 | | | | | | | | |
|------------------|-------------------|-------------------|-----------------|-----------------|-------------------|-----------------|-----------------|------------------|-----------------|-------------------|
| | | 内科 | 小児科 | 外科 | 整形外科 | 皮膚科 | 産婦人科 | 眼科 | 耳鼻咽喉科 | その他 |
| 平成28年度 | 126,205 | 48,319 | 6,554 | 6,201 | 21,629 | 8,321 | 3,379 | 10,124 | 9,603 | 12,074 |
| 平成29年度 | 125,791 | 48,031 | 6,466 | 5,837 | 21,750 | 8,437 | 3,350 | 10,189 | 9,595 | 12,136 |
| 平成30年度 (構成割合) | 124,865 (100%) | 47,600 (38.1%) | 6,317 (5.1%) | 5,503 (4.4%) | 21,611 (17.3%) | 8,478 (6.8%) | 3,310 (2.7%) | 10,208 (8.2%) | 9,597 (7.7%) | 12,240 (9.8%) |
| 令和元年度① (構成割合) | 123,159 (100%) | 46,783 (38.0%) | 6,179 (5.0%) | 5,240 (4.3%) | 21,390 (17.4%) | 8,584 (7.0%) | 3,323 (2.7%) | 10,073 (8.2%) | 9,182 (7.5%) | 12,404 (10.1%) |
| 令和2年度② (構成割合) | 110,654 (100%) | 42,051 (38.0%) | 4,234 (3.8%) | 4,431 (4.0%) | 19,952 (18.0%) | 8,504 (7.7%) | 3,193 (2.9%) | 9,333 (8.4%) | 6,938 (6.3%) | 12,018 (10.9%) |
| ②-① | ▲12,504 | ▲4,732 | ▲1,946 | ▲809 | ▲1,438 | ▲80 | ▲131 | ▲740 | ▲2,244 | ▲386 |

表9-2 主たる診療科別 医科診療所 受診延日数の伸び率(対前年度比)

(単位：%)

| | 医科診療所 | 診療科 | | | | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|-------|------|
| | | 内科 | 小児科 | 外科 | 整形外科 | 皮膚科 | 産婦人科 | 眼科 | 耳鼻咽喉科 | その他 |
| 平成28年度 | ▲0.8 | ▲0.9 | ▲0.9 | ▲4.9 | ▲0.1 | 1.4 | ▲1.7 | ▲1.0 | ▲2.0 | ▲0.0 |
| 平成29年度 | ▲0.3 | ▲0.6 | ▲1.3 | ▲5.9 | 0.6 | 1.4 | ▲0.9 | 0.6 | ▲0.1 | 0.5 |
| 平成30年度 | ▲0.7 | ▲0.9 | ▲2.3 | ▲5.7 | ▲0.6 | 0.5 | ▲1.2 | 0.2 | 0.0 | 0.9 |
| 令和元年度 | ▲1.4 | ▲1.7 | ▲2.2 | ▲4.8 | ▲1.0 | 1.2 | 0.4 | ▲1.3 | ▲4.3 | 1.3 |
| 令和2年度 | ▲10.2 | ▲10.1 | ▲31.5 | ▲15.4 | ▲6.7 | ▲0.9 | ▲3.9 | ▲7.3 | ▲24.4 | ▲3.1 |

表10-1 1施設当たり医療費の推移

(単位：万円)

| | 医 科 | | | | | 診療所 | 歯 科 | | 保険薬局 |
|--------|---------|-----------|---------|---------|---------|--------|-------|-------|--------|
| | 病 院 | | | | | | 病 院 | 診療所 | |
| | | 大 学 | 公 的 | 法 人 | 個 人 | | | | |
| 平成28年度 | 262,273 | 1,767,467 | 525,198 | 170,516 | 76,476 | 10,074 | 8,765 | 4,028 | 13,207 |
| 平成29年度 | 269,691 | 1,812,859 | 540,389 | 174,689 | 74,641 | 10,160 | 8,992 | 4,086 | 13,479 |
| 平成30年度 | 277,384 | 1,888,457 | 555,446 | 178,816 | 71,687 | 10,165 | 9,341 | 4,174 | 12,895 |
| 令和元年度① | 286,677 | 1,968,859 | 574,164 | 183,781 | 72,115 | 10,207 | 9,763 | 4,264 | 13,251 |
| 令和2年度② | 278,873 | 1,906,907 | 547,328 | 180,922 | 70,203 | 9,663 | 9,173 | 4,272 | 12,776 |
| ②-① | ▲ 7,804 | ▲61,952 | ▲26,836 | ▲ 2,859 | ▲ 1,912 | ▲ 544 | ▲ 590 | 8 | ▲ 475 |

注. 1施設当たり医療費は医療費の総額を審査支払機関に審査支払請求を行った施設数で除して得た値である。

表10-2 1施設当たり医療費の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

| | 医 科 | | | | | 診療所 | 歯 科 | | 保険薬局 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|
| | 病 院 | | | | | | 病 院 | 診療所 | |
| | | 大 学 | 公 的 | 法 人 | 個 人 | | | | |
| 平成28年度 | 1.1 | 2.0 | 1.4 | 0.6 | ▲ 0.9 | ▲ 1.1 | 2.5 | 1.2 | ▲ 6.0 |
| 平成29年度 | 2.8 | 2.6 | 2.9 | 2.4 | ▲ 2.4 | 0.8 | 2.6 | 1.4 | 2.1 |
| 平成30年度 | 2.9 | 4.2 | 2.8 | 2.4 | ▲ 4.0 | 0.1 | 3.9 | 2.2 | ▲ 4.3 |
| 令和元年度 | 3.4 | 4.3 | 3.4 | 2.8 | 0.6 | 0.4 | 4.5 | 2.2 | 2.8 |
| 令和2年度 | ▲ 2.7 | ▲ 3.1 | ▲ 4.7 | ▲ 1.6 | ▲ 2.7 | ▲ 5.3 | ▲ 6.0 | 0.2 | ▲ 3.6 |

表11-1 主たる診療科別 医科診療所 1施設当たり医療費の推移

(単位：万円)

| | 医科 診療所 | | | | | | | | | |
|--------|-----------|--------|---------|--------|--------|-------|-------|--------|-----------|--------|
| | | 内科 | 小児科 | 外科 | 整形外科 | 皮膚科 | 産婦人科 | 眼科 | 耳鼻 咽喉科 | その他 |
| 平成28年度 | 10,074 | 10,304 | 6,872 | 10,446 | 12,951 | 7,553 | 7,077 | 10,942 | 8,312 | 11,078 |
| 平成29年度 | 10,160 | 10,373 | 6,863 | 10,451 | 13,179 | 7,536 | 7,125 | 11,186 | 8,472 | 11,086 |
| 平成30年度 | 10,165 | 10,340 | 6,753 | 10,323 | 13,177 | 7,536 | 7,178 | 11,459 | 8,626 | 11,060 |
| 令和元年度① | 10,207 | 10,375 | 6,692 | 10,416 | 13,322 | 7,620 | 7,262 | 11,641 | 8,378 | 11,099 |
| 令和2年度② | 9,663 | 9,873 | 5,282 | 10,033 | 12,859 | 7,525 | 7,417 | 11,165 | 6,774 | 10,694 |
| ②-① | ▲ 544 | ▲ 502 | ▲ 1,410 | ▲ 383 | ▲ 463 | ▲ 95 | 155 | ▲ 476 | ▲ 1,605 | ▲ 405 |

表11-2 主たる診療科別 医科診療所 1施設当たり医療費の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

| | 医科 診療所 | | | | | | | | | |
|--------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|-------|
| | | 内科 | 小児科 | 外科 | 整形外科 | 皮膚科 | 産婦人科 | 眼科 | 耳鼻 咽喉科 | その他 |
| 平成28年度 | ▲ 1.1 | ▲ 1.2 | ▲ 1.1 | ▲ 0.7 | ▲ 0.6 | ▲ 0.3 | ▲ 0.3 | ▲ 0.8 | ▲ 1.1 | ▲ 2.5 |
| 平成29年度 | 0.8 | 0.7 | ▲ 0.1 | 0.0 | 1.8 | ▲ 0.2 | 0.7 | 2.2 | 1.9 | 0.1 |
| 平成30年度 | 0.1 | ▲ 0.3 | ▲ 1.6 | ▲ 1.2 | ▲ 0.0 | 0.0 | 0.7 | 2.4 | 1.8 | ▲ 0.2 |
| 令和元年度 | 0.4 | 0.3 | ▲ 0.9 | 0.9 | 1.1 | 1.1 | 1.2 | 1.6 | ▲ 2.9 | 0.4 |
| 令和2年度 | ▲ 5.3 | ▲ 4.8 | ▲21.1 | ▲ 3.7 | ▲ 3.5 | ▲ 1.2 | 2.1 | ▲ 4.1 | ▲19.2 | ▲ 3.7 |

表12-1 1施設当たり受診延日数の推移

(単位：万日)

| | 医 科 | | | | | 歯 科 | | 保険薬局 | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|
| | 病 院 | 診 療 所 | | | | 病 院 | 診 療 所 | | |
| | | 大 学 | 公 的 | 法 人 | 個 人 | | | | |
| 平成28年度 | 10.2 | 42.5 | 16.6 | 8.1 | 4.9 | 1.49 | 0.97 | 0.59 | 1.46 |
| 平成29年度 | 10.2 | 42.1 | 16.6 | 8.1 | 4.8 | 1.48 | 0.98 | 0.59 | 1.47 |
| 平成30年度 | 10.2 | 42.4 | 16.6 | 8.1 | 4.5 | 1.46 | 0.98 | 0.59 | 1.46 |
| 令和元年度① | 10.2 | 42.3 | 16.5 | 8.1 | 4.5 | 1.44 | 0.99 | 0.60 | 1.44 |
| 令和2年度② | 9.5 | 38.0 | 14.9 | 7.6 | 4.2 | 1.29 | 0.88 | 0.56 | 1.30 |
| ②-① | ▲ 0.7 | ▲ 4.3 | ▲ 1.7 | ▲ 0.5 | ▲ 0.2 | ▲ 0.15 | ▲ 0.12 | ▲ 0.04 | ▲ 0.15 |

注. 1施設当たり受診延日数は受診延日数を審査支払機関に審査支払請求を行った施設数で除して得た値である。

表12-2 1施設当たり受診延日数の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

| | 医 科 | | | | | 歯 科 | | 保険薬局 | |
|--------|-------|--------|--------|-------|-------|--------|--------|-------|--------|
| | 病 院 | 診 療 所 | | | | 病 院 | 診 療 所 | | |
| | | 大 学 | 公 的 | 法 人 | 個 人 | | | | |
| 平成28年度 | ▲ 0.7 | ▲ 1.2 | ▲ 0.9 | ▲ 0.7 | 0.7 | ▲ 1.1 | ▲ 0.6 | ▲ 0.7 | ▲ 0.5 |
| 平成29年度 | 0.1 | ▲ 1.0 | 0.1 | 0.1 | ▲ 2.8 | ▲ 0.6 | 0.9 | 0.2 | 0.2 |
| 平成30年度 | 0.0 | 0.5 | ▲ 0.3 | 0.0 | ▲ 6.2 | ▲ 0.9 | ▲ 0.5 | 0.2 | ▲ 0.7 |
| 令和元年度 | ▲ 0.1 | ▲ 0.0 | ▲ 0.3 | ▲ 0.2 | ▲ 0.7 | ▲ 1.6 | 1.6 | 0.6 | ▲ 0.9 |
| 令和2年度 | ▲ 7.2 | ▲ 10.2 | ▲ 10.0 | ▲ 5.7 | ▲ 5.5 | ▲ 10.2 | ▲ 11.7 | ▲ 6.1 | ▲ 10.1 |

表13-1 主たる診療科別 医科診療所 1施設当たり受診延日数の推移

(単位：日)

| | 医科診療所 | 診療科 | | | | | | | | |
|--------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|-------|---------|---------|--------|
| | | 内科 | 小児科 | 外科 | 整形外科 | 皮膚科 | 産婦人科 | 眼科 | 耳鼻咽喉科 | その他 |
| 平成28年度 | 14,857 | 12,163 | 12,982 | 14,924 | 30,499 | 19,282 | 9,745 | 14,863 | 19,111 | 12,975 |
| 平成29年度 | 14,769 | 12,068 | 12,775 | 14,606 | 30,339 | 19,268 | 9,746 | 14,842 | 19,090 | 12,860 |
| 平成30年度 | 14,641 | 11,940 | 12,418 | 14,253 | 30,000 | 19,277 | 9,755 | 14,814 | 19,146 | 12,791 |
| 令和元年度① | 14,406 | 11,737 | 12,032 | 13,934 | 29,556 | 19,370 | 9,846 | 14,533 | 18,273 | 12,741 |
| 令和2年度② | 12,938 | 10,490 | 8,367 | 12,819 | 27,519 | 19,110 | 9,650 | 13,378 | 13,863 | 12,101 |
| ②-① | ▲ 1,468 | ▲ 1,247 | ▲ 3,665 | ▲ 1,116 | ▲ 2,038 | ▲ 260 | ▲ 196 | ▲ 1,155 | ▲ 4,410 | ▲ 640 |

表13-2 主たる診療科別 医科診療所 1施設当たり受診延日数の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

| | 医科診療所 | 診療科 | | | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | | 内科 | 小児科 | 外科 | 整形外科 | 皮膚科 | 産婦人科 | 眼科 | 耳鼻咽喉科 | その他 |
| 平成28年度 | ▲ 1.1 | ▲ 1.0 | ▲ 1.3 | ▲ 1.7 | ▲ 1.2 | 0.4 | ▲ 0.8 | ▲ 1.9 | ▲ 2.0 | ▲ 1.5 |
| 平成29年度 | ▲ 0.6 | ▲ 0.8 | ▲ 1.6 | ▲ 2.1 | ▲ 0.5 | ▲ 0.1 | 0.0 | ▲ 0.1 | ▲ 0.1 | ▲ 0.9 |
| 平成30年度 | ▲ 0.9 | ▲ 1.1 | ▲ 2.8 | ▲ 2.4 | ▲ 1.1 | 0.0 | 0.1 | ▲ 0.2 | 0.3 | ▲ 0.5 |
| 令和元年度 | ▲ 1.6 | ▲ 1.7 | ▲ 3.1 | ▲ 2.2 | ▲ 1.5 | 0.5 | 0.9 | ▲ 1.9 | ▲ 4.6 | ▲ 0.4 |
| 令和2年度 | ▲ 10.2 | ▲ 10.6 | ▲ 30.5 | ▲ 8.0 | ▲ 6.9 | ▲ 1.3 | ▲ 2.0 | ▲ 7.9 | ▲ 24.1 | ▲ 5.0 |

(2) 入院

表14-1 入院 医療費の推移

(単位：兆円)

| | 医 科 | 病 院 | | | | | | | 診療所 | 歯 科 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|
| | | 大 学 | 公 的 | 法 人 | 個 人 | 200床未満 | 200床以上 | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 平成28年度 | 16.5 | 16.2 | 1.9 | 5.7 | 8.5 | 0.1 | 4.7 | 11.5 | 0.33 | 0.056 |
| 平成29年度 | 17.0 | 16.6 | 2.0 | 5.8 | 8.7 | 0.1 | 4.8 | 11.8 | 0.33 | 0.058 |
| 平成30年度 | 17.3 | 17.0 | 2.0 | 5.9 | 8.9 | 0.1 | 5.0 | 12.0 | 0.32 | 0.062 |
| 令和元年度① | 17.6 | 17.3 | 2.1 | 6.0 | 9.1 | 0.1 | 5.1 | 12.2 | 0.31 | 0.066 |
| 令和2年度② | 17.0 | 16.7 | 2.0 | 5.7 | 9.0 | 0.1 | 5.1 | 11.7 | 0.30 | 0.061 |
| ②-① | ▲0.60 | ▲0.59 | ▲0.10 | ▲0.34 | ▲0.14 | ▲0.01 | ▲0.05 | ▲0.54 | ▲0.01 | ▲0.00 |

注. 入院時食事療養の費用額及び入院時生活療養の費用額が含まれる。医科分は医科入院へ、歯科分は歯科へ含めている。

表14-2 入院 医療費の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

| | 医 科 | 病 院 | | | | | | | 診療所 | 歯 科 |
|--------|------|------|------|------|------|--------|--------|------|------|------|
| | | 大 学 | 公 的 | 法 人 | 個 人 | 200床未満 | 200床以上 | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 平成28年度 | 1.1 | 1.2 | 2.2 | 1.0 | 1.4 | ▲10.9 | 0.6 | 1.5 | ▲2.6 | 5.5 |
| 平成29年度 | 2.6 | 2.7 | 2.5 | 2.8 | 2.9 | ▲14.5 | 3.1 | 2.5 | ▲2.0 | 3.0 |
| 平成30年度 | 2.0 | 2.1 | 2.5 | 2.0 | 2.2 | ▲13.6 | 3.0 | 1.7 | ▲2.6 | 7.1 |
| 令和元年度① | 2.0 | 2.1 | 2.5 | 1.7 | 2.3 | ▲8.6 | 3.2 | 1.6 | ▲2.5 | 5.4 |
| 令和2年度 | ▲3.4 | ▲3.4 | ▲4.9 | ▲5.7 | ▲1.5 | ▲9.5 | ▲1.0 | ▲4.4 | ▲2.9 | ▲7.6 |

表15-1 入院 受診延日数の推移

(単位：億日)

| | 医 科 | 病 院 | | | | | | | 診療所 | 歯 科 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|
| | | 大 学 | 公 的 | 法 人 | 個 人 | 200床未満 | 200床以上 | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 平成28年度 | 4.7 | 4.5 | 0.28 | 1.15 | 3.02 | 0.07 | 1.68 | 2.83 | 0.15 | 0.011 |
| 平成29年度 | 4.7 | 4.5 | 0.28 | 1.16 | 3.05 | 0.06 | 1.70 | 2.84 | 0.15 | 0.011 |
| 平成30年度 | 4.7 | 4.5 | 0.28 | 1.15 | 3.06 | 0.05 | 1.72 | 2.81 | 0.14 | 0.011 |
| 令和元年度① | 4.7 | 4.5 | 0.28 | 1.14 | 3.06 | 0.04 | 1.75 | 2.78 | 0.13 | 0.011 |
| 令和2年度② | 4.4 | 4.3 | 0.25 | 1.03 | 2.95 | 0.04 | 1.69 | 2.58 | 0.12 | 0.010 |
| ②-① | ▲0.27 | ▲0.26 | ▲0.03 | ▲0.12 | ▲0.11 | ▲0.00 | ▲0.05 | ▲0.20 | ▲0.01 | ▲0.00 |

表15-2 入院 受診延日数の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

| | 医 科 | 病 院 | | | | | | | 診療所 | 歯 科 |
|--------|------|------|-------|-------|------|--------|--------|------|------|-------|
| | | 大 学 | 公 的 | 法 人 | 個 人 | 200床未満 | 200床以上 | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 平成28年度 | ▲0.2 | ▲0.0 | ▲0.0 | ▲0.5 | 0.4 | ▲9.0 | 0.1 | ▲0.1 | ▲4.8 | 1.8 |
| 平成29年度 | 0.5 | 0.7 | 0.2 | 0.7 | 1.1 | ▲15.4 | 1.5 | 0.2 | ▲4.5 | 1.4 |
| 平成30年度 | ▲0.4 | ▲0.3 | ▲0.4 | ▲0.8 | 0.2 | ▲14.1 | 1.0 | ▲1.1 | ▲5.3 | 2.2 |
| 令和元年度① | ▲0.3 | ▲0.1 | ▲0.1 | ▲0.5 | 0.2 | ▲8.8 | 1.4 | ▲1.0 | ▲5.9 | 1.7 |
| 令和2年度 | ▲5.8 | ▲5.7 | ▲10.2 | ▲10.1 | ▲3.6 | ▲10.2 | ▲3.1 | ▲7.4 | ▲9.2 | ▲14.1 |

表16-1 入院 1日当たり医療費の推移

(単位：円)

| | 医 科 | 病 院 | | | | | | | 診療所 | 歯 科 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 大 学 | 公 的 | 法 人 | 個 人 | 200床未満 | 200床以上 | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 平成28年度 | 35,456 | 35,909 | 69,274 | 49,120 | 28,139 | 20,398 | 27,782 | 40,720 | 21,992 | 53,105 |
| 平成29年度 | 36,169 | 36,603 | 70,928 | 50,109 | 28,635 | 20,611 | 28,221 | 41,626 | 22,562 | 53,921 |
| 平成30年度 | 37,052 | 37,472 | 72,988 | 51,545 | 29,223 | 20,736 | 28,765 | 42,805 | 23,202 | 56,556 |
| 令和元年度① | 37,890 | 38,285 | 74,894 | 52,685 | 29,848 | 20,792 | 29,286 | 43,928 | 24,049 | 58,641 |
| 令和2年度② | 38,876 | 39,237 | 79,384 | 55,292 | 30,510 | 20,965 | 29,923 | 45,346 | 25,723 | 63,106 |
| ②-① | 986 | 952 | 4,490 | 2,607 | 661 | 173 | 637 | 1,418 | 1,674 | 4,464 |

注. 入院時食事療養の費用額及び入院時生活療養の費用額が含まれる。医科分は医科入院へ、歯科分は歯科へ含めている。

表16-2 入院 1日当たり医療費の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

| | 医 科 | 病 院 | | | | | | | 診療所 | 歯 科 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|--------|-----|-----|-----|
| | | 大 学 | 公 的 | 法 人 | 個 人 | 200床未満 | 200床以上 | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 平成28年度 | 1.3 | 1.3 | 2.2 | 1.5 | 1.0 | ▲2.1 | 0.5 | 1.6 | 2.3 | 3.6 |
| 平成29年度 | 2.0 | 1.9 | 2.4 | 2.0 | 1.8 | 1.0 | 1.6 | 2.2 | 2.6 | 1.5 |
| 平成30年度 | 2.4 | 2.4 | 2.9 | 2.9 | 2.1 | 0.6 | 1.9 | 2.8 | 2.8 | 4.9 |
| 令和元年度① | 2.3 | 2.2 | 2.6 | 2.2 | 2.1 | 0.3 | 1.8 | 2.6 | 3.7 | 3.7 |
| 令和2年度 | 2.6 | 2.5 | 6.0 | 4.9 | 2.2 | 0.8 | 2.2 | 3.2 | 7.0 | 7.6 |

表17-1 入院 1施設当たり医療費の推移

(単位：万円)

| | 医科病院 | | | | | | |
|--------|---------|-----------|---------|---------|--------|--------|---------|
| | | 大 学 | 公 的 | 法 人 | 個 人 | 200床未満 | 200床以上 |
| 平成28年度 | 191,803 | 1,202,278 | 369,801 | 130,268 | 55,789 | 80,493 | 435,190 |
| 平成29年度 | 197,462 | 1,227,163 | 380,534 | 133,948 | 53,537 | 83,063 | 449,107 |
| 平成30年度 | 203,126 | 1,267,422 | 390,565 | 137,573 | 52,154 | 85,803 | 465,207 |
| 令和元年度① | 209,026 | 1,300,557 | 400,312 | 141,594 | 53,009 | 88,805 | 482,349 |
| 令和2年度② | 203,129 | 1,239,912 | 378,533 | 140,147 | 52,289 | 88,121 | 467,548 |
| ②-① | ▲ 5,897 | ▲60,645 | ▲21,779 | ▲ 1,448 | ▲ 720 | ▲ 684 | ▲14,802 |

表17-2 入院 1施設当たり医療費の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

| | 医科病院 | | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| | | 大 学 | 公 的 | 法 人 | 個 人 | 200床未満 | 200床以上 |
| 平成28年度 | 1.4 | 1.6 | 1.7 | 1.0 | ▲ 0.8 | 0.9 | 1.4 |
| 平成29年度 | 3.0 | 2.1 | 2.9 | 2.8 | ▲ 4.0 | 3.2 | 3.2 |
| 平成30年度 | 2.9 | 3.3 | 2.6 | 2.7 | ▲ 2.6 | 3.3 | 3.6 |
| 令和元年度 | 2.9 | 2.6 | 2.5 | 2.9 | 1.6 | 3.5 | 3.7 |
| 令和2年度 | ▲ 2.8 | ▲ 4.7 | ▲ 5.4 | ▲ 1.0 | ▲ 1.4 | ▲ 0.8 | ▲ 3.1 |

表18-1 入院 1施設当たり受診延日数の推移

(単位：万日)

| | 医科病院 | | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| | | 大 学 | 公 的 | 法 人 | 個 人 | 200床未満 | 200床以上 |
| 平成28年度 | 5.34 | 17.36 | 7.53 | 4.63 | 2.73 | 2.90 | 10.69 |
| 平成29年度 | 5.39 | 17.30 | 7.59 | 4.68 | 2.60 | 2.94 | 10.79 |
| 平成30年度 | 5.42 | 17.36 | 7.58 | 4.71 | 2.52 | 2.98 | 10.87 |
| 令和元年度① | 5.46 | 17.37 | 7.60 | 4.74 | 2.55 | 3.03 | 10.98 |
| 令和2年度② | 5.18 | 15.62 | 6.85 | 4.59 | 2.49 | 2.94 | 10.31 |
| ②-① | ▲0.28 | ▲1.75 | ▲0.75 | ▲0.15 | ▲0.06 | ▲0.09 | ▲0.67 |

表18-2 入院 1施設当たり受診延日数の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

| | 医科病院 | | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| | | 大 学 | 公 的 | 法 人 | 個 人 | 200床未満 | 200床以上 |
| 平成28年度 | 0.1 | ▲ 0.6 | 0.3 | 0.0 | 1.3 | 0.4 | ▲ 0.2 |
| 平成29年度 | 1.0 | ▲ 0.3 | 0.9 | 1.0 | ▲ 5.0 | 1.6 | 0.9 |
| 平成30年度 | 0.5 | 0.4 | ▲ 0.2 | 0.6 | ▲ 3.2 | 1.3 | 0.7 |
| 令和元年度 | 0.7 | 0.0 | 0.3 | 0.8 | 1.4 | 1.7 | 1.0 |
| 令和2年度 | ▲ 5.2 | ▲10.1 | ▲ 9.9 | ▲ 3.2 | ▲ 2.2 | ▲ 2.9 | ▲ 6.1 |

Ⅲ-(2) 【参考】 推計新規入院件数、推計平均在院日数及び推計1入院当たり医療費 ～入院医療費の3要素分解～

入院受診延日数は次の1. で示すように推計新規入院件数（前月以前に退院した者が当月再入院した場合を含む）と推計平均在院日数（次の2. の関係を用いて入院の1件当たり日数から算定した平均在院日数）の積に分解できる。

したがって、次の3. で示すように入院医療費は「推計新規入院件数」（入院発生）、「推計平均在院日数」（入院期間）及び「入院の1日当たり医療費」（入院単価）の3要素の積に分解でき、さらに、推計新規入院件数と推計1入院当たり医療費（推計平均在院日数に入院の1日当たり医療費を乗じて得た1入院当たり医療費）の積に分解できる。

1. 入院受診延日数と推計新規入院件数、推計平均在院日数の関係

入院受診延日数＝推計新規入院件数×推計平均在院日数

推計新規入院件数＝入院受診延日数÷推計平均在院日数

2. 1件当たり日数と推計平均在院日数の関係

$$\text{推計平均在院日数} = \text{1件当たり日数} \times \frac{\text{月の日数} - 1}{\text{月の日数} - \text{1件当たり日数}}$$
$$\text{1件当たり日数} = \text{推計平均在院日数} \times \frac{\text{月の日数}}{\text{月の日数} - 1 + \text{推計平均在院日数}}$$

月の日数＝当該期間の日数÷当該期間の月数

3. 入院医療費の3要素分解と推計1入院当たり医療費の関係

推計1入院当たり医療費＝推計平均在院日数×入院の1日当たり医療費

入院医療費＝入院受診延日数×入院の1日当たり医療費

＝推計新規入院件数×推計平均在院日数×入院の1日当たり医療費

＝推計新規入院件数×推計1入院当たり医療費

4. 推計平均在院日数に関する留意事項

(1) 概算医療費の推計平均在院日数と病院報告の平均在院日数もしくは患者調査の退院患者平均在院日数には次に示すような違いがあるため数値が異なることがある。

① 入院患者の範囲の違い

病院報告及び患者調査の対象となる患者には医療保険適用及び公費負担医療の患者以外に、概算医療費には含まれないその他（正常な分娩や検査入院、自賠責保険、労災、自費診療など）の患者が含まれる。一方、概算医療費には病院報告には含まれない診療所分が含まれる。

② 算定方法の違い

概算医療費の推計平均在院日数は入院の1件当たり日数から算定する。病院報告の平均在院日数は在院患者延数と新入院患者数、退院患者数から算定する。患者調査の退院患者平均在院日数は退院患者が実際に入院した期間の平均である。

③ 退院日が含まれるかどうかの違い

概算医療費の入院受診延日数には退院日も含まれるが、病院報告の在院患者延数には退院日の患者は含まれず、患者調査の入院期間にも退院日は含まれない。

④ 当月中に退院・再入院した患者の入院日数を通算するかどうかの違い

当月中に退院・再入院した患者について、退院までの入院日数と再入院以後の入院日数は、概算医療費の推計平均在院日数では1回の入院の入院日数として扱い、通算する。病院報告の平均在院日数と患者調査の退院患者平均在院日数では別々の入院の入院日数として扱い、通算しない。

(2) 入院期間中に外泊した場合、外泊期間の日数は入院受診延日数に含まれ、外泊期間中の患者の延数も同様に病院報告の在院患者延数に含まれる。

(3) 概算医療費の推計平均在院日数では、入院期間中に加入する医療保険制度を変更した場合、変更前後で別のレセプトに計上されるため、連続した入院として扱われないこととなる。

※参考 「推計平均在院日数の数理分析（平成24年9月）」
「推計平均在院日数の数理分析（Ⅱ）（平成25年1月）」
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/iryuhoken/database/zenpan/sankou.html>

Ⅲ-(2) 【参考】

①-i. 推計新規入院件数

(単位：万件)

| | 医科病院 | | | | | | | 医科診療所 |
|--------|---------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|-------|
| | 大学病院 | 公的病院 | 法人病院 | 個人病院 | 200床未満 | 200床以上 | | |
| 平成28年度 | 1,434.1 | 173.6 | 616.0 | 635.5 | 9.0 | 386.3 | 1047.3 | 116.0 |
| 平成29年度 | 1,455.8 | 177.7 | 625.7 | 644.5 | 7.9 | 390.1 | 1065.2 | 113.0 |
| 平成30年度 | 1,462.6 | 180.4 | 626.3 | 649.3 | 6.7 | 394.5 | 1067.0 | 109.3 |
| 令和元年度 | 1,462.0 | 182.5 | 623.4 | 650.3 | 5.8 | 395.6 | 1066.0 | 105.7 |
| 令和2年度 | 1,388.3 | 178.7 | 579.7 | 625.1 | 4.9 | 371.7 | 1016.2 | 97.5 |

注. 推計新規入院件数は入院受診延日数を推計平均在院日数で除して得た値である。

①-ii. 推計新規入院件数の伸び率（対前年同期比）

(単位：%)

| | 医科病院 | | | | | | | 医科診療所 |
|--------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|
| | 大学病院 | 公的病院 | 法人病院 | 個人病院 | 200床未満 | 200床以上 | | |
| 平成28年度 | 1.3 | 2.6 | 0.8 | 1.7 | ▲ 9.4 | 0.5 | 1.7 | ▲ 2.9 |
| 平成29年度 | 1.5 | 2.3 | 1.6 | 1.4 | ▲ 12.5 | 1.0 | 1.7 | ▲ 2.6 |
| 平成30年度 | 0.5 | 1.5 | 0.1 | 0.7 | ▲ 15.0 | 1.1 | 0.2 | ▲ 3.3 |
| 令和元年度 | ▲ 0.0 | 1.2 | ▲ 0.5 | 0.2 | ▲ 12.8 | 0.3 | ▲ 0.1 | ▲ 3.4 |
| 令和2年度 | ▲ 5.0 | ▲ 2.1 | ▲ 7.0 | ▲ 3.9 | ▲ 16.3 | ▲ 6.0 | ▲ 4.7 | ▲ 7.7 |

②-i. 1施設当たり推計新規入院件数

(単位：件)

| | 医科病院 | | | | | | |
|--------|-------|--------|-------|-------|--------|--------|-------|
| | 大学病院 | 公的病院 | 法人病院 | 個人病院 | 200床未満 | 200床以上 | |
| 平成28年度 | 1,697 | 10,852 | 4,028 | 974 | 376 | 666 | 3,949 |
| 平成29年度 | 1,728 | 11,054 | 4,097 | 988 | 369 | 674 | 4,045 |
| 平成30年度 | 1,749 | 11,304 | 4,127 | 999 | 354 | 683 | 4,128 |
| 令和元年度 | 1,763 | 11,447 | 4,141 | 1,007 | 343 | 687 | 4,208 |
| 令和2年度 | 1,684 | 11,230 | 3,860 | 972 | 313 | 647 | 4,066 |

注. 1施設当たり推計新規入院件数は推計新規入院件数を審査支払機関に審査支払請求を行った施設数で除して得た値である。

②-ii. 1施設当たり推計新規入院件数の伸び率（対前年同期比）

(単位：%)

| | 医科病院 | | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|
| | 大学病院 | 公的病院 | 法人病院 | 個人病院 | 200床未満 | 200床以上 | |
| 平成28年度 | 1.5 | 2.0 | 1.6 | 1.4 | 0.9 | 0.8 | 1.6 |
| 平成29年度 | 1.8 | 1.9 | 1.7 | 1.4 | ▲ 1.8 | 1.1 | 2.4 |
| 平成30年度 | 1.2 | 2.3 | 0.7 | 1.2 | ▲ 4.1 | 1.5 | 2.1 |
| 令和元年度 | 0.8 | 1.3 | 0.4 | 0.8 | ▲ 3.1 | 0.6 | 1.9 |
| 令和2年度 | ▲ 4.5 | ▲ 1.9 | ▲ 6.8 | ▲ 3.4 | ▲ 8.8 | ▲ 5.8 | ▲ 3.4 |

Ⅲ-(2) 【参考】

③-i. 推計平均在院日数

(単位：日)

| | 医科病院 | | | | | | | 医科診療所 |
|--------|------|------|------|------|--------|--------|------|-------|
| | 大学病院 | 公的病院 | 法人病院 | 個人病院 | 200床未満 | 200床以上 | | |
| 平成28年度 | 31.5 | 16.0 | 18.7 | 47.5 | 72.7 | 43.5 | 27.1 | 13.1 |
| 平成29年度 | 31.2 | 15.7 | 18.5 | 47.4 | 70.3 | 43.7 | 26.7 | 12.8 |
| 平成30年度 | 31.0 | 15.4 | 18.4 | 47.1 | 71.0 | 43.6 | 26.3 | 12.6 |
| 令和元年度 | 31.0 | 15.2 | 18.3 | 47.1 | 74.3 | 44.1 | 26.1 | 12.2 |
| 令和2年度 | 30.7 | 13.9 | 17.7 | 47.2 | 79.7 | 45.5 | 25.4 | 12.0 |

注. 推計平均在院日数は入院の1件当たり日数から推計した値である。

③-ii. 推計平均在院日数の伸び率（対前年同期比）

(単位：%)

| | 医科病院 | | | | | | | 医科診療所 |
|--------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|
| | 大学病院 | 公的病院 | 法人病院 | 個人病院 | 200床未満 | 200床以上 | | |
| 平成28年度 | ▲ 1.4 | ▲ 2.6 | ▲ 1.3 | ▲ 1.3 | 0.5 | ▲ 0.4 | ▲ 1.7 | ▲ 2.0 |
| 平成29年度 | ▲ 0.8 | ▲ 2.1 | ▲ 0.8 | ▲ 0.3 | ▲ 3.3 | 0.5 | ▲ 1.5 | ▲ 1.9 |
| 平成30年度 | ▲ 0.8 | ▲ 1.9 | ▲ 0.9 | ▲ 0.5 | 1.0 | ▲ 0.1 | ▲ 1.3 | ▲ 2.1 |
| 令和元年度 | ▲ 0.1 | ▲ 1.2 | ▲ 0.1 | 0.0 | 4.6 | 1.1 | ▲ 0.9 | ▲ 2.6 |
| 令和2年度 | ▲ 0.7 | ▲ 8.3 | ▲ 3.3 | 0.3 | 7.3 | 3.1 | ▲ 2.8 | ▲ 1.7 |

④-i. 推計1入院当たり医療費

(単位：万円)

| | 医科病院 | | | | | | | 医科診療所 |
|--------|-------|-------|------|-------|--------|--------|-------|-------|
| | 大学病院 | 公的病院 | 法人病院 | 個人病院 | 200床未満 | 200床以上 | | |
| 平成28年度 | 113.0 | 110.8 | 91.8 | 133.7 | 148.4 | 120.8 | 110.2 | 28.8 |
| 平成29年度 | 114.3 | 111.0 | 92.9 | 135.6 | 145.0 | 123.3 | 111.0 | 29.0 |
| 平成30年度 | 116.1 | 112.1 | 94.6 | 137.7 | 147.3 | 125.5 | 112.7 | 29.2 |
| 令和元年度 | 118.6 | 113.6 | 96.7 | 140.6 | 154.5 | 129.2 | 114.6 | 29.4 |
| 令和2年度 | 120.6 | 110.4 | 98.1 | 144.1 | 167.1 | 136.1 | 115.0 | 31.0 |

注1. 医療費には入院時食事療養及び入院時生活療養の費用額が含まれる。

注2. 推計1入院当たり医療費は推計平均在院日数に入院の1日当たり医療費を乗じて得た値である。

④-ii. 推計1入院当たり医療費の伸び率（対前年同期比）

(単位：%)

| | 医科病院 | | | | | | | 医科診療所 |
|--------|-------|-------|------|-------|--------|--------|-------|-------|
| | 大学病院 | 公的病院 | 法人病院 | 個人病院 | 200床未満 | 200床以上 | | |
| 平成28年度 | ▲ 0.1 | ▲ 0.4 | 0.1 | ▲ 0.3 | ▲ 1.6 | 0.1 | ▲ 0.2 | 0.3 |
| 平成29年度 | 1.1 | 0.2 | 1.2 | 1.4 | ▲ 2.3 | 2.1 | 0.7 | 0.6 |
| 平成30年度 | 1.6 | 1.0 | 1.9 | 1.5 | 1.6 | 1.8 | 1.5 | 0.7 |
| 令和元年度 | 2.1 | 1.3 | 2.1 | 2.2 | 4.9 | 2.9 | 1.7 | 0.9 |
| 令和2年度 | 1.7 | ▲ 2.8 | 1.4 | 2.5 | 8.1 | 5.4 | 0.3 | 5.1 |

(3) 入院外

表19-1 入院外 医療費の推移

(単位:兆円)

| | 医 科 | | | | | | | | 歯 科 | | | 保険薬局 | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 病 院 | 病 院 | | | | | | 診療所 | 病 院 | 診療所 | | | |
| | | 大 学 | 公 的 | 法 人 | 個 人 | 200床未満 | 200床以上 | | | | | | |
| 平成28年度 | 14.2 | 6.0 | 0.90 | 2.38 | 2.63 | 0.05 | 1.8 | 4.2 | 8.2 | 2.82 | 0.10 | 2.72 | 7.50 |
| 平成29年度 | 14.4 | 6.1 | 0.94 | 2.44 | 2.66 | 0.04 | 1.8 | 4.3 | 8.3 | 2.86 | 0.10 | 2.76 | 7.71 |
| 平成30年度 | 14.6 | 6.2 | 0.99 | 2.50 | 2.68 | 0.04 | 1.8 | 4.4 | 8.3 | 2.91 | 0.10 | 2.81 | 7.47 |
| 令和元年度① | 14.9 | 6.4 | 1.07 | 2.62 | 2.72 | 0.03 | 1.8 | 4.6 | 8.4 | 2.96 | 0.11 | 2.85 | 7.75 |
| 令和2年度② | 14.2 | 6.2 | 1.06 | 2.53 | 2.62 | 0.03 | 1.7 | 4.5 | 8.0 | 2.94 | 0.10 | 2.84 | 7.54 |
| ②-① | ▲0.65 | ▲0.19 | ▲0.00 | ▲0.08 | ▲0.10 | ▲0.00 | ▲0.07 | ▲0.13 | ▲0.45 | ▲0.02 | ▲0.01 | ▲0.01 | ▲0.21 |

表19-2 入院外 医療費の伸び率(対前年度比)

(単位:%)

| | 医 科 | | | | | | | | 歯 科 | | | 保険薬局 | |
|--------|------|------|------|------|------|--------|--------|------|------|------|------|------|------|
| | 病 院 | 病 院 | | | | | | 診療所 | 病 院 | 診療所 | | | |
| | | 大 学 | 公 的 | 法 人 | 個 人 | 200床未満 | 200床以上 | | | | | | |
| 平成28年度 | ▲0.4 | 0.2 | 3.4 | 0.0 | ▲0.5 | ▲11.2 | ▲2.0 | 1.1 | ▲0.8 | 1.4 | 2.2 | 1.4 | ▲4.8 |
| 平成29年度 | 1.6 | 2.2 | 4.1 | 2.7 | 1.3 | ▲9.1 | 0.5 | 2.9 | 1.2 | 1.4 | 2.5 | 1.3 | 2.9 |
| 平成30年度 | 1.0 | 2.0 | 5.3 | 2.5 | 0.8 | ▲17.9 | 0.3 | 2.7 | 0.3 | 1.8 | 3.5 | 1.8 | ▲3.1 |
| 令和元年度① | 2.0 | 3.7 | 7.5 | 4.6 | 1.7 | ▲12.0 | 1.2 | 4.8 | 0.8 | 1.9 | 4.6 | 1.8 | 3.6 |
| 令和2年度 | ▲4.4 | ▲3.0 | ▲0.4 | ▲3.1 | ▲3.8 | ▲14.0 | ▲3.6 | ▲2.8 | ▲5.4 | ▲0.6 | ▲5.3 | ▲0.4 | ▲2.7 |

表20-1 主たる診療科別 医科診療所 入院外 医療費の推移

(単位:億円)

| | 医科 診療所 | 診療科 | | | | | | | | | |
|--------|-----------|---------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|-----------|---------|--|
| | | 内科 | 小児科 | 外科 | 整形外科 | 皮膚科 | 産婦人科 | 眼科 | 耳鼻 咽喉科 | その他 | |
| 平成28年度 | 82,240 | 39,988 | 3,456 | 3,952 | 8,558 | 3,257 | 1,879 | 7,151 | 4,129 | 9,870 | |
| 平成29年度 | 83,257 | 40,362 | 3,464 | 3,814 | 8,818 | 3,297 | 1,886 | 7,380 | 4,209 | 10,027 | |
| 平成30年度 | 83,499 | 40,327 | 3,427 | 3,663 | 8,851 | 3,312 | 1,893 | 7,598 | 4,273 | 10,156 | |
| (構成割合) | (100%) | (48.3%) | (4.1%) | (4.4%) | (10.6%) | (4.0%) | (2.3%) | (9.1%) | (5.1%) | (12.2%) | |
| 令和元年度① | 84,148 | 40,485 | 3,429 | 3,616 | 9,008 | 3,375 | 1,919 | 7,770 | 4,159 | 10,388 | |
| (構成割合) | (100%) | (48.1%) | (4.1%) | (4.3%) | (10.7%) | (4.0%) | (2.3%) | (9.2%) | (4.9%) | (12.3%) | |
| 令和2年度② | 79,622 | 38,724 | 2,666 | 3,182 | 8,699 | 3,347 | 1,919 | 7,512 | 3,340 | 10,233 | |
| (構成割合) | (100%) | (48.6%) | (3.3%) | (4.0%) | (10.9%) | (4.2%) | (2.4%) | (9.4%) | (4.2%) | (12.9%) | |
| ②-① | ▲4,526 | ▲1,760 | ▲763 | ▲434 | ▲310 | ▲28 | 1 | ▲258 | ▲819 | ▲155 | |

表20-2 主たる診療科別 医科診療所 入院外 医療費の伸び率(対前年度比)

(単位:%)

| | 医科 診療所 | 診療科 | | | | | | | | | |
|--------|-----------|------|-------|-------|------|------|------|------|-----------|------|--|
| | | 内科 | 小児科 | 外科 | 整形外科 | 皮膚科 | 産婦人科 | 眼科 | 耳鼻 咽喉科 | その他 | |
| 平成28年度 | ▲0.8 | ▲1.0 | ▲0.8 | ▲4.0 | 0.5 | 0.7 | ▲1.3 | 0.4 | ▲1.2 | ▲0.9 | |
| 平成29年度 | 1.2 | 0.9 | 0.2 | ▲3.5 | 3.0 | 1.3 | 0.4 | 3.2 | 1.9 | 1.6 | |
| 平成30年度 | 0.3 | ▲0.1 | ▲1.1 | ▲4.0 | 0.4 | 0.5 | 0.4 | 3.0 | 1.5 | 1.3 | |
| 令和元年度 | 0.8 | 0.4 | 0.1 | ▲1.3 | 1.8 | 1.9 | 1.4 | 2.3 | ▲2.7 | 2.3 | |
| 令和2年度 | ▲5.4 | ▲4.3 | ▲22.2 | ▲12.0 | ▲3.4 | ▲0.8 | 0.0 | ▲3.3 | ▲19.7 | ▲1.5 | |

表21-1 入院外 受診延日数の推移

(単位：億日)

| | 医 科 | | | | | | | | 歯 科 | | | 保険薬局 | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 病院 | 診 療 所 | | | | | | 診 療 所 | 病 院 | 診 療 所 | | | |
| | | 大 学 | 公 的 | 法 人 | 個 人 | 200床未満 | 200床以上 | | | | | | |
| 平成28年度 | 16.6 | 4.1 | 0.40 | 1.39 | 2.27 | 0.05 | 1.72 | 2.40 | 12.5 | 4.16 | 0.16 | 4.00 | 8.30 |
| 平成29年度 | 16.5 | 4.1 | 0.40 | 1.38 | 2.25 | 0.05 | 1.69 | 2.38 | 12.4 | 4.17 | 0.16 | 4.01 | 8.39 |
| 平成30年度 | 16.4 | 4.0 | 0.40 | 1.37 | 2.22 | 0.04 | 1.67 | 2.35 | 12.3 | 4.16 | 0.16 | 4.00 | 8.44 |
| 令和元年度① | 16.1 | 3.9 | 0.40 | 1.35 | 2.17 | 0.03 | 1.64 | 2.31 | 12.2 | 4.17 | 0.17 | 4.01 | 8.43 |
| 令和2年度② | 14.5 | 3.6 | 0.36 | 1.21 | 1.96 | 0.03 | 1.49 | 2.06 | 10.9 | 3.88 | 0.15 | 3.74 | 7.65 |
| ②-① | ▲1.64 | ▲0.40 | ▲0.04 | ▲0.14 | ▲0.21 | ▲0.01 | ▲0.15 | ▲0.24 | ▲1.24 | ▲0.29 | ▲0.02 | ▲0.27 | ▲0.78 |

表21-2 入院外 受診延日数の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

| | 医 科 | | | | | | | | 歯 科 | | | 保険薬局 | |
|--------|-------|-------|-------|-------|------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|------|------|
| | 病院 | 診 療 所 | | | | | | 診 療 所 | 病 院 | 診 療 所 | | | |
| | | 大 学 | 公 的 | 法 人 | 個 人 | 200床未満 | 200床以上 | | | | | | |
| 平成28年度 | ▲1.0 | ▲1.8 | ▲1.1 | ▲2.5 | ▲1.2 | ▲10.1 | ▲2.1 | ▲1.5 | ▲0.8 | ▲0.5 | 0.1 | ▲0.6 | 0.8 |
| 平成29年度 | ▲0.5 | ▲1.1 | ▲0.9 | ▲0.7 | ▲1.1 | ▲10.9 | ▲1.4 | ▲0.9 | ▲0.3 | 0.1 | 1.0 | 0.1 | 1.1 |
| 平成30年度 | ▲0.8 | ▲1.2 | ▲0.1 | ▲1.0 | ▲1.2 | ▲20.0 | ▲1.2 | ▲1.3 | ▲0.7 | ▲0.1 | 0.2 | ▲0.2 | 0.6 |
| 令和元年度 | ▲1.4 | ▲1.8 | ▲0.2 | ▲1.7 | ▲2.1 | ▲13.0 | ▲1.8 | ▲1.8 | ▲1.3 | 0.3 | 2.1 | 0.2 | ▲0.1 |
| 令和2年度 | ▲10.1 | ▲10.1 | ▲10.4 | ▲10.3 | ▲9.7 | ▲17.4 | ▲9.3 | ▲10.6 | ▲10.2 | ▲6.9 | ▲11.6 | ▲6.7 | ▲9.3 |

表22-1 主たる診療科別 医科診療所 入院外 受診延日数の推移

(単位：万日)

| | 医科診療所 | 診 療 所 | | | | | | | | | |
|--------|---------|--------|---------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|---------|
| | | 内科 | 小児科 | 外科 | 整形外科 | 皮膚科 | 産婦人科 | 眼科 | 耳鼻咽喉科 | その他 | |
| 平成28年度 | 124,686 | 47,758 | 6,547 | 5,995 | 21,377 | 8,319 | 3,100 | 10,089 | 9,598 | 11,904 | |
| 平成29年度 | 124,340 | 47,489 | 6,461 | 5,650 | 21,508 | 8,435 | 3,076 | 10,154 | 9,590 | 11,977 | |
| 平成30年度 | 123,490 | 47,078 | 6,312 | 5,336 | 21,380 | 8,476 | 3,051 | 10,173 | 9,593 | 12,090 | |
| | (構成割合) | (100%) | (38.1%) | (5.1%) | (4.3%) | (17.3%) | (6.9%) | (2.5%) | (8.2%) | (7.8%) | (9.8%) |
| 令和元年度① | 121,865 | 46,293 | 6,175 | 5,090 | 21,172 | 8,582 | 3,075 | 10,038 | 9,178 | 12,263 | |
| | (構成割合) | (100%) | (38.0%) | (5.1%) | (4.2%) | (17.4%) | (7.0%) | (2.5%) | (8.2%) | (7.5%) | (10.1%) |
| 令和2年度② | 109,480 | 41,597 | 4,230 | 4,308 | 19,757 | 8,502 | 2,956 | 9,304 | 6,935 | 11,892 | |
| | (構成割合) | (100%) | (38.0%) | (3.9%) | (3.9%) | (18.0%) | (7.8%) | (2.7%) | (8.5%) | (6.3%) | (10.9%) |
| ②-① | ▲12,385 | ▲4,695 | ▲1,945 | ▲783 | ▲1,415 | ▲80 | ▲119 | ▲734 | ▲2,243 | ▲371 | |

表22-2 主たる診療科別 医科診療所 入院外 受診延日数の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

| | 医科診療所 | 診 療 所 | | | | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|-------|------|
| | | 内科 | 小児科 | 外科 | 整形外科 | 皮膚科 | 産婦人科 | 眼科 | 耳鼻咽喉科 | その他 |
| 平成28年度 | ▲0.8 | ▲0.8 | ▲0.9 | ▲4.7 | ▲0.1 | 1.4 | ▲1.5 | ▲1.0 | ▲2.0 | 0.1 |
| 平成29年度 | ▲0.3 | ▲0.6 | ▲1.3 | ▲5.7 | 0.6 | 1.4 | ▲0.8 | 0.6 | ▲0.1 | 0.6 |
| 平成30年度 | ▲0.7 | ▲0.9 | ▲2.3 | ▲5.6 | ▲0.6 | 0.5 | ▲0.8 | 0.2 | 0.0 | 0.9 |
| 令和元年度 | ▲1.3 | ▲1.7 | ▲2.2 | ▲4.6 | ▲1.0 | 1.2 | 0.8 | ▲1.3 | ▲4.3 | 1.4 |
| 令和2年度 | ▲10.2 | ▲10.1 | ▲31.5 | ▲15.4 | ▲6.7 | ▲0.9 | ▲3.9 | ▲7.3 | ▲24.4 | ▲3.0 |

表23-1 入院外 1日当たり医療費の推移

(単位：円)

| | 医 科 | | | | | | | | | 歯 科 | | | 保険薬局 |
|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 病 院 | 病 院 | | | | | | 診 療 所 | 病 院 | 診 療 所 | | | |
| | | 大 学 | 公 的 | 法 人 | 個 人 | 200床未満 | 200床以上 | | | | | | |
| 平成28年度 | 8,549 | 14,461 | 22,440 | 17,068 | 11,563 | 9,400 | 10,326 | 17,416 | 6,596 | 6,772 | 6,100 | 6,798 | 9,031 |
| 平成29年度 | 8,731 | 14,942 | 23,584 | 17,661 | 11,843 | 9,587 | 10,524 | 18,085 | 6,696 | 6,856 | 6,193 | 6,883 | 9,195 |
| 平成30年度 | 8,893 | 15,436 | 24,846 | 18,288 | 12,079 | 9,841 | 10,681 | 18,821 | 6,762 | 6,991 | 6,395 | 7,015 | 8,860 |
| 令和元年度① | 9,206 | 16,308 | 26,749 | 19,448 | 12,544 | 9,955 | 11,011 | 20,080 | 6,905 | 7,103 | 6,550 | 7,125 | 9,191 |
| 令和2年度② | 9,799 | 17,585 | 29,740 | 20,998 | 13,370 | 10,365 | 11,698 | 21,838 | 7,273 | 7,584 | 7,023 | 7,606 | 9,857 |
| ②-① | 592 | 1,276 | 2,990 | 1,549 | 827 | 409 | 686 | 1,759 | 368 | 481 | 473 | 480 | 666 |

表23-2 入院外 1日当たり医療費の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

| | 医 科 | | | | | | | | | 歯 科 | | | 保険薬局 |
|--------|-----|-----|------|-----|-----|--------|--------|-------|-----|-------|-----|-----|-------|
| | 病 院 | 病 院 | | | | | | 診 療 所 | 病 院 | 診 療 所 | | | |
| | | 大 学 | 公 的 | 法 人 | 個 人 | 200床未満 | 200床以上 | | | | | | |
| 平成28年度 | 0.7 | 2.0 | 4.5 | 2.6 | 0.7 | ▲ 1.2 | 0.1 | 2.7 | 0.0 | 1.9 | 2.1 | 1.9 | ▲ 5.5 |
| 平成29年度 | 2.1 | 3.3 | 5.1 | 3.5 | 2.4 | 2.0 | 1.9 | 3.8 | 1.5 | 1.3 | 1.5 | 1.2 | 1.8 |
| 平成30年度 | 1.9 | 3.3 | 5.3 | 3.5 | 2.0 | 2.6 | 1.5 | 4.1 | 1.0 | 2.0 | 3.3 | 1.9 | ▲ 3.6 |
| 令和元年度 | 3.5 | 5.7 | 7.7 | 6.3 | 3.8 | 1.2 | 3.1 | 6.7 | 2.1 | 1.6 | 2.4 | 1.6 | 3.7 |
| 令和2年度 | 6.4 | 7.8 | 11.2 | 8.0 | 6.6 | 4.1 | 6.2 | 8.8 | 5.3 | 6.8 | 7.2 | 6.7 | 7.3 |

表24-1 主たる診療科別 医科診療所 入院外 1日当たり医療費の推移

(単位：円)

| | 医科診療所 | 診療科 | | | | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 内科 | 小児科 | 外科 | 整形外科 | 皮膚科 | 産婦人科 | 眼科 | 耳鼻咽喉科 | その他 |
| 平成28年度 | 6,596 | 8,373 | 5,279 | 6,592 | 4,004 | 3,915 | 6,061 | 7,088 | 4,301 | 8,291 |
| 平成29年度 | 6,696 | 8,499 | 5,362 | 6,750 | 4,100 | 3,909 | 6,131 | 7,268 | 4,388 | 8,372 |
| 平成30年度 | 6,762 | 8,566 | 5,428 | 6,864 | 4,140 | 3,908 | 6,205 | 7,469 | 4,454 | 8,400 |
| 令和元年度① | 6,905 | 8,745 | 5,553 | 7,103 | 4,255 | 3,932 | 6,241 | 7,740 | 4,532 | 8,471 |
| 令和2年度② | 7,273 | 9,309 | 6,302 | 7,386 | 4,403 | 3,936 | 6,494 | 8,074 | 4,817 | 8,605 |
| ②-① | 368 | 564 | 750 | 283 | 148 | 4 | 253 | 334 | 285 | 134 |

表24-2 主たる診療科別 医科診療所 入院外 1日当たり医療費の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

| | 医科診療所 | 診療科 | | | | | | | | |
|--------|-------|-------|------|-----|------|-------|------|-----|-------|-------|
| | | 内科 | 小児科 | 外科 | 整形外科 | 皮膚科 | 産婦人科 | 眼科 | 耳鼻咽喉科 | その他 |
| 平成28年度 | 0.0 | ▲ 0.1 | 0.2 | 0.8 | 0.6 | ▲ 0.7 | 0.3 | 1.4 | 0.8 | ▲ 0.9 |
| 平成29年度 | 1.5 | 1.5 | 1.6 | 2.4 | 2.4 | ▲ 0.1 | 1.2 | 2.5 | 2.0 | 1.0 |
| 平成30年度 | 1.0 | 0.8 | 1.2 | 1.7 | 1.0 | ▲ 0.0 | 1.2 | 2.8 | 1.5 | 0.3 |
| 令和元年度 | 2.1 | 2.1 | 2.3 | 3.5 | 2.8 | 0.6 | 0.6 | 3.6 | 1.7 | 0.8 |
| 令和2年度 | 5.3 | 6.4 | 13.5 | 4.0 | 3.5 | 0.1 | 4.1 | 4.3 | 6.3 | 1.6 |

表25-1 入院外 1施設当たり医療費の推移

(単位：万円)

| | 医 科 | | | | | | | 歯 科 | | 保険薬局 | |
|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|-------|-------|--------|
| | 病 院 | | | | | 診療所 | 病 院 | 診療所 | | | |
| | | 大 学 | 公 的 | 法 人 | 個 人 | | | | | | |
| 平成28年度 | 70,470 | 565,189 | 155,397 | 40,248 | 20,687 | 30,566 | 157,705 | 9,681 | 5,565 | 4,028 | 13,207 |
| 平成29年度 | 72,229 | 585,695 | 159,855 | 40,742 | 21,104 | 30,746 | 163,461 | 9,775 | 5,701 | 4,085 | 13,479 |
| 平成30年度 | 74,258 | 621,034 | 164,881 | 41,243 | 19,533 | 30,926 | 171,015 | 9,791 | 5,852 | 4,173 | 12,895 |
| 令和元年度① | 77,652 | 668,302 | 173,852 | 42,187 | 19,105 | 31,395 | 182,781 | 9,843 | 6,092 | 4,264 | 13,251 |
| 令和2年度② | 75,745 | 666,995 | 168,795 | 40,776 | 17,913 | 30,327 | 180,149 | 9,310 | 5,777 | 4,272 | 12,776 |
| ②-① | ▲ 1,907 | ▲ 1,307 | ▲ 5,057 | ▲ 1,411 | ▲ 1,192 | ▲ 1,068 | ▲ 2,632 | ▲ 533 | ▲ 315 | 8 | ▲ 475 |

表25-2 入院外 1施設当たり医療費の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

| | 医 科 | | | | | | | 歯 科 | | 保険薬局 | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|
| | 病 院 | | | | | 診療所 | 病 院 | 診療所 | | | |
| | | 大 学 | 公 的 | 法 人 | 個 人 | | | | | | |
| 平成28年度 | 0.4 | 2.8 | 0.8 | ▲ 0.8 | ▲ 1.1 | ▲ 1.7 | 1.0 | ▲ 1.0 | 1.4 | 1.2 | ▲ 6.0 |
| 平成29年度 | 2.5 | 3.6 | 2.9 | 1.2 | 2.0 | 0.6 | 3.6 | 1.0 | 2.4 | 1.4 | 2.1 |
| 平成30年度 | 2.8 | 6.0 | 3.1 | 1.2 | ▲ 7.4 | 0.6 | 4.6 | 0.2 | 2.7 | 2.2 | ▲ 4.3 |
| 令和元年度 | 4.6 | 7.6 | 5.4 | 2.3 | ▲ 2.2 | 1.5 | 6.9 | 0.5 | 4.1 | 2.2 | 2.8 |
| 令和2年度 | ▲ 2.5 | ▲ 0.2 | ▲ 2.9 | ▲ 3.3 | ▲ 6.2 | ▲ 3.4 | ▲ 1.4 | ▲ 5.4 | ▲ 5.2 | 0.2 | ▲ 3.6 |

表26-1 入院外 主たる診療科別 医科診療所 1施設当たり医療費の推移

(単位：万円)

| | 医科診療所 | | | | | | | | | |
|--------|-------|--------|---------|-------|--------|-------|-------|--------|---------|--------|
| | | 内科 | 小児科 | 外科 | 整形外科 | 皮膚科 | 産婦人科 | 眼科 | 耳鼻咽喉科 | その他 |
| 平成28年度 | 9,681 | 10,066 | 6,846 | 9,511 | 12,068 | 7,547 | 5,418 | 10,499 | 8,217 | 10,607 |
| 平成29年度 | 9,775 | 10,141 | 6,843 | 9,543 | 12,300 | 7,531 | 5,487 | 10,751 | 8,373 | 10,626 |
| 平成30年度 | 9,791 | 10,116 | 6,736 | 9,486 | 12,287 | 7,531 | 5,578 | 11,026 | 8,524 | 10,613 |
| 令和元年度① | 9,843 | 10,157 | 6,676 | 9,615 | 12,448 | 7,616 | 5,684 | 11,209 | 8,278 | 10,671 |
| 令和2年度② | 9,310 | 9,660 | 5,269 | 9,204 | 11,997 | 7,521 | 5,801 | 10,767 | 6,675 | 10,304 |
| ②-① | ▲ 533 | ▲ 496 | ▲ 1,408 | ▲ 411 | ▲ 450 | ▲ 95 | 117 | ▲ 442 | ▲ 1,603 | ▲ 367 |

表26-2 入院外 主たる診療科別 医科診療所 1施設当たり医療費の伸び率（対前年度比）

(単位：%)

| | 医科診療所 | | | | | | | | | |
|--------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | | 内科 | 小児科 | 外科 | 整形外科 | 皮膚科 | 産婦人科 | 眼科 | 耳鼻咽喉科 | その他 |
| 平成28年度 | ▲ 1.0 | ▲ 1.1 | ▲ 1.1 | ▲ 0.8 | ▲ 0.6 | ▲ 0.3 | ▲ 0.4 | ▲ 0.5 | ▲ 1.2 | ▲ 2.3 |
| 平成29年度 | 1.0 | 0.8 | ▲ 0.0 | 0.3 | 1.9 | ▲ 0.2 | 1.3 | 2.4 | 1.9 | 0.2 |
| 平成30年度 | 0.2 | ▲ 0.3 | ▲ 1.6 | ▲ 0.6 | ▲ 0.1 | 0.0 | 1.7 | 2.6 | 1.8 | ▲ 0.1 |
| 令和元年度 | 0.5 | 0.4 | ▲ 0.9 | 1.4 | 1.3 | 1.1 | 1.9 | 1.7 | ▲ 2.9 | 0.5 |
| 令和2年度 | ▲ 5.4 | ▲ 4.9 | ▲ 21.1 | ▲ 4.3 | ▲ 3.6 | ▲ 1.3 | 2.1 | ▲ 3.9 | ▲ 19.4 | ▲ 3.4 |

表27-1 入院外 1施設当たり受診延日数の推移

| | 医 科 | | | | | | | 歯 科 | | 保険薬局 | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|
| | 病 院 | 診 療 所 | | | | | 病 院 | 診 療 所 | | | |
| | | 大 学 | 公 的 | 法 人 | 個 人 | 200床未満 | | | 200床以上 | | |
| 平成28年度 | 4.9 | 25.2 | 9.1 | 3.5 | 2.2 | 3.0 | 9.1 | 1.47 | 0.91 | 0.59 | 1.46 |
| 平成29年度 | 4.8 | 24.8 | 9.1 | 3.4 | 2.2 | 2.9 | 9.0 | 1.46 | 0.92 | 0.59 | 1.47 |
| 平成30年度 | 4.8 | 25.0 | 9.0 | 3.4 | 2.0 | 2.9 | 9.1 | 1.45 | 0.92 | 0.59 | 1.46 |
| 令和元年度① | 4.8 | 25.0 | 8.9 | 3.4 | 1.9 | 2.9 | 9.1 | 1.43 | 0.93 | 0.60 | 1.44 |
| 令和2年度② | 4.3 | 22.4 | 8.0 | 3.0 | 1.7 | 2.6 | 8.2 | 1.28 | 0.82 | 0.56 | 1.30 |
| ②-① | ▲ 0.5 | ▲ 2.6 | ▲ 0.9 | ▲ 0.3 | ▲ 0.2 | ▲ 0.3 | ▲ 0.9 | ▲ 0.1 | ▲ 0.1 | ▲ 0.0 | ▲ 0.1 |

表27-2 入院外 1施設当たり受診延日数の伸び率（対前年度比）

| | 医 科 | | | | | | | 歯 科 | | 保険薬局 | |
|--------|-------|--------|--------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|
| | 病 院 | 診 療 所 | | | | | 病 院 | 診 療 所 | | | |
| | | 大 学 | 公 的 | 法 人 | 個 人 | 200床未満 | | | 200床以上 | | |
| 平成28年度 | ▲ 1.6 | ▲ 1.7 | ▲ 1.8 | ▲ 1.5 | 0.0 | ▲ 1.8 | ▲ 1.6 | ▲ 1.1 | ▲ 0.7 | ▲ 0.7 | ▲ 0.5 |
| 平成29年度 | ▲ 0.8 | ▲ 1.4 | ▲ 0.6 | ▲ 1.2 | 0.0 | ▲ 1.3 | ▲ 0.2 | ▲ 0.5 | 0.9 | 0.2 | 0.2 |
| 平成30年度 | ▲ 0.5 | 0.7 | ▲ 0.4 | ▲ 0.8 | ▲ 9.8 | ▲ 0.9 | 0.5 | ▲ 0.8 | ▲ 0.6 | 0.2 | ▲ 0.7 |
| 令和元年度 | ▲ 1.0 | ▲ 0.0 | ▲ 0.9 | ▲ 1.5 | ▲ 3.3 | ▲ 1.5 | 0.2 | ▲ 1.6 | 1.6 | 0.6 | ▲ 0.9 |
| 令和2年度 | ▲ 9.5 | ▲ 10.2 | ▲ 10.1 | ▲ 9.3 | ▲ 9.9 | ▲ 9.1 | ▲ 9.4 | ▲ 10.2 | ▲ 11.5 | ▲ 6.1 | ▲ 10.1 |

表28-1 入院外 主たる診療科別 医科診療所 1施設当たり受診延日数の推移

| | 医科 診療所 | (単位：日) | | | | | | | | |
|--------|-----------|---------|---------|---------|---------|--------|-------|---------|-----------|--------|
| | | 内科 | 小児科 | 外科 | 整形外科 | 皮膚科 | 産婦人科 | 眼科 | 耳鼻 咽喉科 | その他 |
| 平成28年度 | 14,678 | 12,021 | 12,968 | 14,427 | 30,143 | 19,277 | 8,940 | 14,811 | 19,102 | 12,793 |
| 平成29年度 | 14,599 | 11,932 | 12,763 | 14,138 | 30,000 | 19,264 | 8,950 | 14,791 | 19,082 | 12,692 |
| 平成30年度 | 14,480 | 11,809 | 12,408 | 13,821 | 29,679 | 19,273 | 8,991 | 14,763 | 19,138 | 12,634 |
| 令和元年度① | 14,255 | 11,614 | 12,023 | 13,536 | 29,255 | 19,367 | 9,108 | 14,482 | 18,265 | 12,596 |
| 令和2年度② | 12,801 | 10,377 | 8,360 | 12,461 | 27,249 | 19,106 | 8,934 | 13,336 | 13,857 | 11,974 |
| ②-① | ▲ 1,454 | ▲ 1,237 | ▲ 3,663 | ▲ 1,075 | ▲ 2,006 | ▲ 261 | ▲ 174 | ▲ 1,146 | ▲ 4,409 | ▲ 622 |

表28-2 入院外 主たる診療科別 医科診療所 1施設当たり受診延日数の伸び率（対前年度比）

| | 医科 診療所 | (単位：%) | | | | | | | | |
|--------|-----------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|-------|
| | | 内科 | 小児科 | 外科 | 整形外科 | 皮膚科 | 産婦人科 | 眼科 | 耳鼻 咽喉科 | その他 |
| 平成28年度 | ▲ 1.1 | ▲ 1.0 | ▲ 1.3 | ▲ 1.6 | ▲ 1.1 | 0.4 | ▲ 0.6 | ▲ 1.9 | ▲ 2.0 | ▲ 1.4 |
| 平成29年度 | ▲ 0.5 | ▲ 0.7 | ▲ 1.6 | ▲ 2.0 | ▲ 0.5 | ▲ 0.1 | 0.1 | ▲ 0.1 | ▲ 0.1 | ▲ 0.8 |
| 平成30年度 | ▲ 0.8 | ▲ 1.0 | ▲ 2.8 | ▲ 2.2 | ▲ 1.1 | 0.0 | 0.5 | ▲ 0.2 | 0.3 | ▲ 0.5 |
| 令和元年度 | ▲ 1.6 | ▲ 1.7 | ▲ 3.1 | ▲ 2.1 | ▲ 1.4 | 0.5 | 1.3 | ▲ 1.9 | ▲ 4.6 | ▲ 0.3 |
| 令和2年度 | ▲ 10.2 | ▲ 10.6 | ▲ 30.5 | ▲ 7.9 | ▲ 6.9 | ▲ 1.3 | ▲ 1.9 | ▲ 7.9 | ▲ 24.1 | ▲ 4.9 |

IV 都道府県別の概算医療費（令和2年度）

表29-1 医療費総額

(単位：億円)

| | 総計 | 医科計 | | 歯科 | 調剤 | 訪問看護 療養 | (参考) 医科入院外 +調剤 | |
|-----|---------|---------|---------|---------|--------|------------|----------------------|---------|
| | | 医科入院 | 医科入院外 | | | | | |
| 全国計 | 421,648 | 312,568 | 170,496 | 142,072 | 30,052 | 75,392 | 3,636 | 217,464 |
| 北海道 | 20,821 | 15,717 | 9,571 | 6,147 | 1,276 | 3,707 | 120 | 9,854 |
| 青森 | 4,332 | 3,137 | 1,716 | 1,421 | 247 | 920 | 28 | 2,341 |
| 岩手 | 4,004 | 2,867 | 1,588 | 1,279 | 267 | 845 | 24 | 2,124 |
| 宮城 | 7,338 | 5,351 | 2,852 | 2,499 | 494 | 1,450 | 43 | 3,949 |
| 秋田 | 3,543 | 2,529 | 1,465 | 1,064 | 226 | 779 | 10 | 1,842 |
| 山形 | 3,669 | 2,716 | 1,506 | 1,210 | 235 | 699 | 19 | 1,909 |
| 福島 | 5,891 | 4,319 | 2,319 | 2,000 | 385 | 1,165 | 23 | 3,165 |
| 茨城 | 8,413 | 6,033 | 3,149 | 2,884 | 598 | 1,736 | 46 | 4,620 |
| 栃木 | 6,187 | 4,685 | 2,402 | 2,283 | 401 | 1,065 | 35 | 3,347 |
| 群馬 | 6,317 | 4,871 | 2,637 | 2,233 | 405 | 995 | 47 | 3,228 |
| 埼玉 | 19,842 | 14,235 | 7,358 | 6,876 | 1,546 | 3,894 | 167 | 10,770 |
| 千葉 | 18,072 | 13,129 | 7,044 | 6,086 | 1,401 | 3,428 | 114 | 9,514 |
| 東京 | 44,889 | 32,311 | 15,987 | 16,325 | 3,531 | 8,620 | 427 | 24,944 |
| 神奈川 | 26,616 | 18,672 | 9,544 | 9,128 | 2,153 | 5,557 | 234 | 14,685 |
| 新潟 | 6,873 | 5,007 | 2,744 | 2,262 | 498 | 1,335 | 34 | 3,597 |
| 富山 | 3,520 | 2,732 | 1,605 | 1,126 | 207 | 563 | 18 | 1,689 |
| 石川 | 3,924 | 3,012 | 1,769 | 1,243 | 216 | 648 | 48 | 1,891 |
| 福井 | 2,551 | 2,010 | 1,132 | 878 | 147 | 371 | 23 | 1,249 |
| 山梨 | 2,574 | 1,887 | 1,041 | 846 | 181 | 491 | 15 | 1,338 |
| 長野 | 6,717 | 4,976 | 2,793 | 2,183 | 437 | 1,271 | 33 | 3,454 |
| 岐阜 | 6,196 | 4,520 | 2,248 | 2,272 | 501 | 1,113 | 61 | 3,386 |
| 静岡 | 11,454 | 8,548 | 4,311 | 4,238 | 768 | 2,084 | 53 | 6,322 |
| 愛知 | 23,243 | 17,120 | 8,371 | 8,748 | 1,965 | 3,862 | 296 | 12,610 |
| 三重 | 5,487 | 4,068 | 2,121 | 1,946 | 393 | 981 | 45 | 2,927 |
| 滋賀 | 4,110 | 3,007 | 1,665 | 1,342 | 280 | 792 | 31 | 2,134 |
| 京都 | 9,038 | 6,870 | 3,822 | 3,048 | 599 | 1,485 | 83 | 4,533 |
| 大阪 | 32,786 | 24,213 | 13,031 | 11,181 | 2,705 | 5,345 | 524 | 16,527 |
| 兵庫 | 18,888 | 13,926 | 7,542 | 6,384 | 1,408 | 3,377 | 178 | 9,761 |
| 奈良 | 4,574 | 3,593 | 1,875 | 1,718 | 296 | 640 | 45 | 2,359 |
| 和歌山 | 3,503 | 2,701 | 1,454 | 1,247 | 215 | 544 | 43 | 1,791 |
| 鳥取 | 2,084 | 1,592 | 957 | 635 | 125 | 351 | 15 | 986 |
| 島根 | 2,462 | 1,839 | 1,082 | 757 | 143 | 465 | 16 | 1,222 |
| 岡山 | 6,944 | 5,423 | 3,023 | 2,400 | 497 | 980 | 44 | 3,381 |
| 広島 | 10,229 | 7,621 | 4,209 | 3,412 | 730 | 1,802 | 76 | 5,214 |
| 山口 | 5,277 | 4,011 | 2,447 | 1,564 | 323 | 910 | 33 | 2,474 |
| 徳島 | 3,003 | 2,359 | 1,378 | 981 | 193 | 426 | 25 | 1,407 |
| 香川 | 3,594 | 2,669 | 1,459 | 1,210 | 253 | 644 | 27 | 1,854 |
| 愛媛 | 5,015 | 3,871 | 2,157 | 1,714 | 300 | 799 | 45 | 2,513 |
| 高知 | 3,105 | 2,431 | 1,601 | 830 | 153 | 500 | 20 | 1,330 |
| 福岡 | 19,558 | 14,855 | 9,012 | 5,843 | 1,348 | 3,146 | 208 | 8,989 |
| 佐賀 | 3,162 | 2,413 | 1,453 | 961 | 193 | 533 | 23 | 1,494 |
| 長崎 | 5,321 | 4,046 | 2,513 | 1,533 | 328 | 919 | 28 | 2,451 |
| 熊本 | 6,875 | 5,402 | 3,277 | 2,124 | 399 | 1,026 | 48 | 3,150 |
| 大分 | 4,512 | 3,499 | 2,131 | 1,369 | 231 | 747 | 34 | 2,116 |
| 宮崎 | 3,919 | 2,973 | 1,691 | 1,282 | 235 | 675 | 36 | 1,957 |
| 鹿児島 | 6,547 | 5,198 | 3,239 | 1,959 | 345 | 960 | 45 | 2,919 |
| 沖縄 | 4,668 | 3,603 | 2,203 | 1,400 | 273 | 746 | 45 | 2,146 |

注1. 医療機関所在地の都道府県で、都道府県別の分類を行っている。

注2. 医療費には、入院時食事療養の費用額及び入院時生活療養の費用額を含んでいる。医科分は医科入院へ、
歯科分は歯科へ含めている。

表29-2 医療費総額の伸び率（対前年同期比）

（単位：％）

| | 総計 | 医科計 | | 歯科 | 調剤 | 訪問看護 療養 | (参考) 医科入院外 +調剤 | |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|------------|----------------------|-------|
| | | 医科入院 | 医科入院外 | | | | | |
| 全国計 | ▲ 3.2 | ▲ 3.8 | ▲ 3.4 | ▲ 4.4 | ▲ 0.8 | ▲ 2.7 | 19.8 | ▲ 3.8 |
| 北海道 | ▲ 3.8 | ▲ 4.3 | ▲ 4.5 | ▲ 4.1 | ▲ 0.3 | ▲ 3.2 | 21.1 | ▲ 3.7 |
| 青森 | ▲ 3.1 | ▲ 3.3 | ▲ 1.9 | ▲ 4.8 | 0.6 | ▲ 4.1 | 24.2 | ▲ 4.5 |
| 岩手 | ▲ 2.1 | ▲ 2.6 | ▲ 1.6 | ▲ 3.8 | 2.1 | ▲ 2.0 | 21.1 | ▲ 3.1 |
| 宮城 | ▲ 2.6 | ▲ 2.9 | ▲ 1.8 | ▲ 4.1 | 1.0 | ▲ 3.2 | 15.1 | ▲ 3.7 |
| 秋田 | ▲ 2.7 | ▲ 2.8 | ▲ 1.9 | ▲ 4.1 | 0.2 | ▲ 3.4 | 15.6 | ▲ 3.8 |
| 山形 | ▲ 3.8 | ▲ 4.4 | ▲ 3.9 | ▲ 5.0 | ▲ 0.0 | ▲ 3.2 | 20.7 | ▲ 4.4 |
| 福島 | ▲ 3.9 | ▲ 4.5 | ▲ 4.4 | ▲ 4.6 | 1.1 | ▲ 3.7 | 10.4 | ▲ 4.3 |
| 茨城 | ▲ 3.2 | ▲ 3.8 | ▲ 3.4 | ▲ 4.1 | ▲ 0.5 | ▲ 2.6 | 29.3 | ▲ 3.6 |
| 栃木 | ▲ 2.1 | ▲ 3.4 | ▲ 1.5 | ▲ 5.4 | 0.9 | 2.1 | 26.6 | ▲ 3.1 |
| 群馬 | ▲ 2.7 | ▲ 3.2 | ▲ 2.1 | ▲ 4.4 | ▲ 0.3 | ▲ 2.3 | 27.7 | ▲ 3.8 |
| 埼玉 | ▲ 2.7 | ▲ 3.0 | ▲ 2.5 | ▲ 3.6 | ▲ 1.6 | ▲ 2.8 | 22.3 | ▲ 3.3 |
| 千葉 | ▲ 2.2 | ▲ 2.2 | ▲ 0.8 | ▲ 3.8 | ▲ 1.6 | ▲ 3.2 | 21.6 | ▲ 3.6 |
| 東京 | ▲ 4.8 | ▲ 5.4 | ▲ 6.1 | ▲ 4.7 | ▲ 3.3 | ▲ 4.5 | 25.3 | ▲ 4.6 |
| 神奈川 | ▲ 3.1 | ▲ 3.8 | ▲ 3.8 | ▲ 3.8 | ▲ 1.1 | ▲ 2.2 | 24.4 | ▲ 3.2 |
| 新潟 | ▲ 3.3 | ▲ 3.7 | ▲ 2.3 | ▲ 5.3 | ▲ 0.1 | ▲ 3.5 | 22.8 | ▲ 4.6 |
| 富山 | ▲ 3.1 | ▲ 4.0 | ▲ 2.6 | ▲ 6.0 | ▲ 1.1 | 0.1 | 15.6 | ▲ 4.0 |
| 石川 | ▲ 4.4 | ▲ 5.4 | ▲ 5.5 | ▲ 5.2 | ▲ 2.9 | ▲ 1.7 | 17.6 | ▲ 4.0 |
| 福井 | ▲ 4.4 | ▲ 5.2 | ▲ 4.5 | ▲ 6.0 | ▲ 1.6 | ▲ 1.6 | 5.9 | ▲ 4.7 |
| 山梨 | ▲ 2.8 | ▲ 3.1 | ▲ 2.7 | ▲ 3.6 | 1.4 | ▲ 3.7 | 17.1 | ▲ 3.6 |
| 長野 | ▲ 2.2 | ▲ 2.7 | ▲ 1.9 | ▲ 3.8 | 2.5 | ▲ 1.9 | 13.4 | ▲ 3.1 |
| 岐阜 | ▲ 3.5 | ▲ 4.2 | ▲ 3.4 | ▲ 4.9 | 0.1 | ▲ 3.5 | 25.4 | ▲ 4.5 |
| 静岡 | ▲ 2.2 | ▲ 2.5 | ▲ 2.1 | ▲ 2.8 | 1.7 | ▲ 2.8 | 23.9 | ▲ 2.8 |
| 愛知 | ▲ 2.6 | ▲ 3.2 | ▲ 2.6 | ▲ 3.7 | 0.4 | ▲ 2.8 | 21.9 | ▲ 3.4 |
| 三重 | ▲ 3.5 | ▲ 4.5 | ▲ 4.0 | ▲ 5.1 | 0.5 | ▲ 1.1 | 13.5 | ▲ 3.8 |
| 滋賀 | ▲ 3.6 | ▲ 4.7 | ▲ 4.6 | ▲ 4.8 | ▲ 1.0 | ▲ 0.8 | 13.5 | ▲ 3.3 |
| 京都 | ▲ 3.6 | ▲ 4.5 | ▲ 4.4 | ▲ 4.6 | ▲ 1.9 | ▲ 0.9 | 16.5 | ▲ 3.4 |
| 大阪 | ▲ 3.3 | ▲ 4.2 | ▲ 3.8 | ▲ 4.6 | ▲ 2.1 | ▲ 1.8 | 19.2 | ▲ 3.7 |
| 兵庫 | ▲ 3.7 | ▲ 4.4 | ▲ 4.2 | ▲ 4.7 | ▲ 1.3 | ▲ 2.8 | 17.4 | ▲ 4.0 |
| 奈良 | ▲ 3.2 | ▲ 3.9 | ▲ 4.4 | ▲ 3.4 | ▲ 0.4 | ▲ 1.3 | 14.4 | ▲ 2.9 |
| 和歌山 | ▲ 3.1 | ▲ 3.8 | ▲ 3.3 | ▲ 4.3 | ▲ 1.6 | ▲ 1.6 | 20.9 | ▲ 3.5 |
| 鳥取 | ▲ 2.0 | ▲ 2.5 | ▲ 1.6 | ▲ 3.8 | 1.6 | ▲ 1.4 | 16.0 | ▲ 2.9 |
| 島根 | ▲ 2.7 | ▲ 3.3 | ▲ 2.8 | ▲ 4.0 | 2.4 | ▲ 2.5 | 8.6 | ▲ 3.4 |
| 岡山 | ▲ 3.2 | ▲ 3.8 | ▲ 3.5 | ▲ 4.3 | 1.6 | ▲ 2.9 | 13.8 | ▲ 3.9 |
| 広島 | ▲ 3.0 | ▲ 3.3 | ▲ 2.2 | ▲ 4.6 | ▲ 1.4 | ▲ 2.8 | 15.7 | ▲ 4.0 |
| 山口 | ▲ 2.8 | ▲ 3.3 | ▲ 2.3 | ▲ 4.7 | 2.4 | ▲ 3.3 | 17.4 | ▲ 4.2 |
| 徳島 | ▲ 2.0 | ▲ 2.6 | ▲ 1.2 | ▲ 4.5 | 0.2 | ▲ 0.1 | 14.0 | ▲ 3.2 |
| 香川 | ▲ 3.4 | ▲ 4.0 | ▲ 3.9 | ▲ 4.1 | ▲ 0.8 | ▲ 2.3 | 15.1 | ▲ 3.5 |
| 愛媛 | ▲ 3.4 | ▲ 4.5 | ▲ 3.9 | ▲ 5.3 | 1.5 | ▲ 0.9 | 15.0 | ▲ 3.9 |
| 高知 | ▲ 2.4 | ▲ 2.8 | ▲ 1.6 | ▲ 5.0 | ▲ 2.0 | ▲ 1.3 | 16.7 | ▲ 3.6 |
| 福岡 | ▲ 3.7 | ▲ 4.4 | ▲ 3.9 | ▲ 5.2 | ▲ 1.6 | ▲ 2.5 | 15.4 | ▲ 4.3 |
| 佐賀 | ▲ 2.0 | ▲ 2.0 | ▲ 1.4 | ▲ 3.1 | 2.2 | ▲ 3.9 | 19.2 | ▲ 3.3 |
| 長崎 | ▲ 3.0 | ▲ 3.7 | ▲ 3.0 | ▲ 4.9 | 1.0 | ▲ 1.8 | 13.0 | ▲ 3.7 |
| 熊本 | ▲ 2.3 | ▲ 3.0 | ▲ 1.3 | ▲ 5.5 | 3.2 | ▲ 1.3 | 18.9 | ▲ 4.2 |
| 大分 | ▲ 3.0 | ▲ 3.3 | ▲ 2.5 | ▲ 4.3 | ▲ 0.7 | ▲ 3.0 | 11.9 | ▲ 3.9 |
| 宮崎 | ▲ 3.0 | ▲ 3.6 | ▲ 3.6 | ▲ 3.6 | 1.1 | ▲ 2.8 | 14.7 | ▲ 3.3 |
| 鹿児島 | ▲ 2.2 | ▲ 2.6 | ▲ 2.2 | ▲ 3.3 | 3.2 | ▲ 2.4 | 17.6 | ▲ 3.1 |
| 沖縄 | ▲ 3.9 | ▲ 4.4 | ▲ 3.9 | ▲ 5.2 | ▲ 1.3 | ▲ 3.2 | 16.3 | ▲ 4.5 |

表30-1 受診延日数

(単位：万日)

| | 総計 | 医科計 | | 歯科 | 訪問看護 療養 | 調剤 | |
|-----|---------|---------|--------|---------|------------|-------|--------|
| | | 医科入院 | 医科入院外 | | | | |
| 全国計 | 230,932 | 188,851 | 43,857 | 144,994 | 38,923 | 3,158 | 76,484 |
| 北海道 | 9,793 | 8,158 | 2,625 | 5,533 | 1,533 | 102 | 3,195 |
| 青森 | 2,353 | 2,012 | 469 | 1,543 | 318 | 23 | 915 |
| 岩手 | 2,154 | 1,802 | 449 | 1,353 | 334 | 19 | 808 |
| 宮城 | 3,948 | 3,249 | 706 | 2,543 | 661 | 38 | 1,490 |
| 秋田 | 1,843 | 1,567 | 416 | 1,151 | 267 | 9 | 713 |
| 山形 | 2,063 | 1,744 | 408 | 1,335 | 304 | 16 | 721 |
| 福島 | 3,204 | 2,662 | 628 | 2,034 | 522 | 20 | 1,130 |
| 茨城 | 4,569 | 3,717 | 848 | 2,869 | 814 | 38 | 1,599 |
| 栃木 | 3,444 | 2,837 | 617 | 2,220 | 578 | 28 | 1,105 |
| 群馬 | 3,524 | 2,896 | 689 | 2,207 | 589 | 39 | 999 |
| 埼玉 | 11,450 | 9,131 | 1,838 | 7,293 | 2,177 | 142 | 4,051 |
| 千葉 | 9,755 | 7,793 | 1,701 | 6,092 | 1,860 | 101 | 3,391 |
| 東京 | 24,440 | 19,345 | 3,477 | 15,868 | 4,707 | 388 | 8,916 |
| 神奈川 | 14,854 | 11,919 | 2,128 | 9,791 | 2,739 | 196 | 5,790 |
| 新潟 | 3,771 | 3,102 | 755 | 2,347 | 640 | 28 | 1,408 |
| 富山 | 1,832 | 1,540 | 450 | 1,090 | 278 | 15 | 511 |
| 石川 | 2,009 | 1,688 | 493 | 1,194 | 285 | 36 | 567 |
| 福井 | 1,364 | 1,153 | 310 | 843 | 191 | 20 | 330 |
| 山梨 | 1,452 | 1,198 | 292 | 906 | 242 | 13 | 500 |
| 長野 | 3,450 | 2,846 | 664 | 2,181 | 577 | 27 | 1,174 |
| 岐阜 | 3,623 | 2,930 | 546 | 2,384 | 642 | 50 | 1,172 |
| 静岡 | 6,357 | 5,247 | 1,040 | 4,206 | 1,065 | 45 | 2,265 |
| 愛知 | 13,425 | 10,754 | 1,954 | 8,800 | 2,440 | 231 | 4,122 |
| 三重 | 3,274 | 2,720 | 560 | 2,159 | 517 | 38 | 1,036 |
| 滋賀 | 2,227 | 1,820 | 399 | 1,421 | 380 | 27 | 752 |
| 京都 | 4,646 | 3,825 | 892 | 2,933 | 744 | 77 | 1,278 |
| 大阪 | 18,133 | 14,415 | 3,111 | 11,304 | 3,235 | 483 | 5,314 |
| 兵庫 | 10,475 | 8,599 | 1,859 | 6,740 | 1,716 | 160 | 3,488 |
| 奈良 | 2,435 | 1,996 | 454 | 1,543 | 397 | 42 | 711 |
| 和歌山 | 1,964 | 1,648 | 373 | 1,276 | 278 | 38 | 522 |
| 鳥取 | 1,071 | 896 | 245 | 651 | 162 | 13 | 337 |
| 島根 | 1,309 | 1,118 | 294 | 824 | 178 | 14 | 469 |
| 岡山 | 3,646 | 3,021 | 766 | 2,255 | 585 | 39 | 1,060 |
| 広島 | 5,744 | 4,781 | 1,144 | 3,636 | 895 | 69 | 1,882 |
| 山口 | 2,993 | 2,543 | 759 | 1,784 | 423 | 28 | 981 |
| 徳島 | 1,647 | 1,381 | 419 | 963 | 244 | 22 | 407 |
| 香川 | 2,025 | 1,693 | 407 | 1,287 | 308 | 24 | 616 |
| 愛媛 | 2,801 | 2,347 | 602 | 1,745 | 414 | 40 | 756 |
| 高知 | 1,541 | 1,327 | 490 | 837 | 197 | 18 | 425 |
| 福岡 | 10,959 | 8,995 | 2,537 | 6,458 | 1,786 | 177 | 3,539 |
| 佐賀 | 1,892 | 1,602 | 457 | 1,144 | 269 | 21 | 652 |
| 長崎 | 3,019 | 2,572 | 795 | 1,778 | 422 | 25 | 958 |
| 熊本 | 3,849 | 3,269 | 1,020 | 2,248 | 539 | 42 | 1,116 |
| 大分 | 2,373 | 2,039 | 633 | 1,406 | 305 | 29 | 748 |
| 宮崎 | 2,277 | 1,934 | 543 | 1,392 | 312 | 31 | 751 |
| 鹿児島 | 3,648 | 3,111 | 1,027 | 2,085 | 499 | 38 | 1,084 |
| 沖縄 | 2,305 | 1,911 | 570 | 1,341 | 356 | 38 | 728 |

注1. 医療機関所在地の都道府県で、都道府県別の分類を行っている。

注2. 診療実日数を取りまとめている。調剤については、処方せん枚数（受付回数）を取りまとめている。

注3. 総計については、調剤の処方せん枚数（受付回数）を含めずに計上している。

表30-2 都道府県別受診延日数の伸び率（対前年同期比）

（単位：％）

| | 総計 | 医科計 | | 歯科 | 訪問看護 療養 | 調剤 | |
|-----|-------|-------|-------|-------|------------|------|-------|
| | | 医科入院 | 医科入院外 | | | | |
| 全国計 | ▲ 8.5 | ▲ 9.2 | ▲ 5.8 | ▲10.1 | ▲ 6.9 | 19.1 | ▲ 9.3 |
| 北海道 | ▲ 8.1 | ▲ 8.6 | ▲ 6.3 | ▲ 9.6 | ▲ 6.7 | 18.3 | ▲ 9.1 |
| 青森 | ▲ 8.1 | ▲ 8.7 | ▲ 4.6 | ▲ 9.9 | ▲ 5.3 | 15.9 | ▲ 9.2 |
| 岩手 | ▲ 6.3 | ▲ 7.0 | ▲ 5.1 | ▲ 7.6 | ▲ 3.6 | 18.6 | ▲ 7.1 |
| 宮城 | ▲ 7.6 | ▲ 8.2 | ▲ 4.9 | ▲ 9.1 | ▲ 5.7 | 13.6 | ▲ 9.2 |
| 秋田 | ▲ 6.4 | ▲ 6.7 | ▲ 4.6 | ▲ 7.5 | ▲ 5.4 | 16.4 | ▲ 6.9 |
| 山形 | ▲ 7.6 | ▲ 7.8 | ▲ 6.0 | ▲ 8.4 | ▲ 7.0 | 15.9 | ▲ 7.3 |
| 福島 | ▲ 8.1 | ▲ 8.8 | ▲ 6.6 | ▲ 9.5 | ▲ 5.1 | 8.8 | ▲ 9.1 |
| 茨城 | ▲ 7.9 | ▲ 8.6 | ▲ 5.5 | ▲ 9.5 | ▲ 5.7 | 26.4 | ▲ 8.8 |
| 栃木 | ▲ 7.8 | ▲ 8.5 | ▲ 5.4 | ▲ 9.3 | ▲ 5.2 | 25.9 | ▲ 6.3 |
| 群馬 | ▲ 8.1 | ▲ 8.7 | ▲ 5.0 | ▲ 9.8 | ▲ 6.6 | 24.7 | ▲ 8.1 |
| 埼玉 | ▲ 9.0 | ▲ 9.7 | ▲ 5.9 | ▲10.7 | ▲ 7.1 | 21.4 | ▲10.2 |
| 千葉 | ▲ 8.8 | ▲ 9.5 | ▲ 4.3 | ▲10.8 | ▲ 7.2 | 21.4 | ▲10.5 |
| 東京 | ▲11.0 | ▲12.0 | ▲ 8.1 | ▲12.7 | ▲ 9.3 | 25.6 | ▲12.8 |
| 神奈川 | ▲ 9.0 | ▲ 9.8 | ▲ 5.9 | ▲10.6 | ▲ 7.2 | 22.6 | ▲10.0 |
| 新潟 | ▲ 7.9 | ▲ 8.4 | ▲ 4.9 | ▲ 9.5 | ▲ 6.4 | 19.7 | ▲ 8.6 |
| 富山 | ▲ 9.2 | ▲ 9.5 | ▲ 4.3 | ▲11.5 | ▲ 8.7 | 16.9 | ▲ 7.5 |
| 石川 | ▲ 9.3 | ▲ 9.8 | ▲ 7.4 | ▲10.8 | ▲ 8.5 | 17.6 | ▲ 7.9 |
| 福井 | ▲ 8.8 | ▲ 9.3 | ▲ 5.9 | ▲10.5 | ▲ 7.3 | 6.0 | ▲ 6.5 |
| 山梨 | ▲ 7.1 | ▲ 7.6 | ▲ 4.7 | ▲ 8.5 | ▲ 5.5 | 17.6 | ▲ 8.2 |
| 長野 | ▲ 7.3 | ▲ 7.9 | ▲ 5.6 | ▲ 8.6 | ▲ 5.1 | 10.9 | ▲ 7.0 |
| 岐阜 | ▲ 8.6 | ▲ 9.4 | ▲ 6.3 | ▲10.1 | ▲ 6.7 | 22.5 | ▲ 9.6 |
| 静岡 | ▲ 6.8 | ▲ 7.4 | ▲ 4.9 | ▲ 8.0 | ▲ 4.5 | 20.7 | ▲ 7.9 |
| 愛知 | ▲ 7.9 | ▲ 8.8 | ▲ 5.5 | ▲ 9.5 | ▲ 5.7 | 22.0 | ▲ 8.9 |
| 三重 | ▲ 7.8 | ▲ 8.3 | ▲ 6.6 | ▲ 8.8 | ▲ 6.3 | 14.3 | ▲ 7.0 |
| 滋賀 | ▲ 8.6 | ▲ 9.3 | ▲ 7.0 | ▲ 9.9 | ▲ 6.7 | 13.0 | ▲ 9.1 |
| 京都 | ▲ 9.2 | ▲ 9.8 | ▲ 7.5 | ▲10.5 | ▲ 8.0 | 16.5 | ▲ 7.9 |
| 大阪 | ▲ 8.8 | ▲ 9.7 | ▲ 6.3 | ▲10.6 | ▲ 7.9 | 19.0 | ▲ 8.1 |
| 兵庫 | ▲ 8.7 | ▲ 9.4 | ▲ 6.3 | ▲10.3 | ▲ 7.1 | 18.1 | ▲ 9.0 |
| 奈良 | ▲ 8.3 | ▲ 9.0 | ▲ 7.3 | ▲ 9.4 | ▲ 6.6 | 14.3 | ▲ 7.5 |
| 和歌山 | ▲ 7.1 | ▲ 7.6 | ▲ 6.3 | ▲ 8.0 | ▲ 6.7 | 20.5 | ▲ 5.5 |
| 鳥取 | ▲ 6.9 | ▲ 7.7 | ▲ 5.5 | ▲ 8.5 | ▲ 3.7 | 12.5 | ▲ 8.2 |
| 島根 | ▲ 7.0 | ▲ 7.4 | ▲ 6.0 | ▲ 7.9 | ▲ 4.9 | 7.7 | ▲ 7.2 |
| 岡山 | ▲ 7.8 | ▲ 8.6 | ▲ 5.5 | ▲ 9.6 | ▲ 4.8 | 13.5 | ▲ 8.8 |
| 広島 | ▲ 8.1 | ▲ 8.5 | ▲ 4.7 | ▲ 9.7 | ▲ 7.0 | 15.4 | ▲ 9.0 |
| 山口 | ▲ 7.2 | ▲ 7.8 | ▲ 5.3 | ▲ 8.8 | ▲ 5.2 | 16.4 | ▲ 7.2 |
| 徳島 | ▲ 6.8 | ▲ 7.3 | ▲ 4.1 | ▲ 8.6 | ▲ 5.2 | 14.1 | ▲ 7.4 |
| 香川 | ▲ 8.1 | ▲ 8.6 | ▲ 6.4 | ▲ 9.3 | ▲ 6.6 | 14.2 | ▲ 8.3 |
| 愛媛 | ▲ 8.0 | ▲ 8.8 | ▲ 6.6 | ▲ 9.5 | ▲ 5.6 | 14.2 | ▲ 8.2 |
| 高知 | ▲ 7.1 | ▲ 7.2 | ▲ 3.9 | ▲ 9.0 | ▲ 7.8 | 15.2 | ▲ 8.2 |
| 福岡 | ▲ 9.0 | ▲ 9.4 | ▲ 5.3 | ▲10.9 | ▲ 9.0 | 14.7 | ▲ 9.6 |
| 佐賀 | ▲ 6.6 | ▲ 7.1 | ▲ 3.7 | ▲ 8.4 | ▲ 4.7 | 18.8 | ▲ 8.2 |
| 長崎 | ▲ 7.8 | ▲ 8.2 | ▲ 4.9 | ▲ 9.6 | ▲ 6.1 | 12.3 | ▲ 7.3 |
| 熊本 | ▲ 7.7 | ▲ 8.3 | ▲ 4.0 | ▲10.2 | ▲ 5.2 | 19.7 | ▲ 8.4 |
| 大分 | ▲ 7.6 | ▲ 7.9 | ▲ 5.1 | ▲ 9.1 | ▲ 7.0 | 11.3 | ▲ 8.8 |
| 宮崎 | ▲ 6.8 | ▲ 7.3 | ▲ 5.4 | ▲ 8.0 | ▲ 5.3 | 13.0 | ▲ 7.5 |
| 鹿児島 | ▲ 6.5 | ▲ 7.1 | ▲ 5.7 | ▲ 7.8 | ▲ 4.2 | 16.0 | ▲ 7.2 |
| 沖縄 | ▲10.0 | ▲10.9 | ▲ 6.5 | ▲12.6 | ▲ 7.5 | 16.7 | ▲12.5 |

表31-1 1日当たり医療費

(単位：円)

| | 総計 | 医科計 | | 歯科 | 調剤 | 訪問看護 療養 | (参考) 医科入院外 +調剤 | |
|-----|--------|--------|--------|--------|-------|------------|----------------------|--------|
| | | 医科入院 | 医科入院外 | | | | | |
| 全国計 | 18,259 | 16,551 | 38,876 | 9,799 | 7,721 | 9,857 | 11,512 | 14,998 |
| 北海道 | 21,261 | 19,266 | 36,457 | 11,109 | 8,326 | 11,603 | 11,796 | 17,809 |
| 青森 | 18,409 | 15,589 | 36,565 | 9,210 | 7,777 | 10,053 | 12,149 | 15,172 |
| 岩手 | 18,584 | 15,911 | 35,364 | 9,453 | 7,994 | 10,456 | 13,149 | 15,700 |
| 宮城 | 18,588 | 16,468 | 40,399 | 9,826 | 7,483 | 9,730 | 11,341 | 15,527 |
| 秋田 | 19,223 | 16,141 | 35,218 | 9,244 | 8,438 | 10,927 | 11,118 | 16,011 |
| 山形 | 17,783 | 15,576 | 36,898 | 9,060 | 7,731 | 9,688 | 12,395 | 14,292 |
| 福島 | 18,387 | 16,227 | 36,962 | 9,830 | 7,361 | 10,309 | 11,346 | 15,558 |
| 茨城 | 18,414 | 16,232 | 37,137 | 10,053 | 7,348 | 10,855 | 12,131 | 16,104 |
| 栃木 | 17,966 | 16,514 | 38,948 | 10,282 | 6,942 | 9,639 | 12,415 | 15,078 |
| 群馬 | 17,927 | 16,819 | 38,271 | 10,120 | 6,878 | 9,962 | 11,897 | 14,629 |
| 埼玉 | 17,328 | 15,590 | 40,043 | 9,429 | 7,100 | 9,613 | 11,725 | 14,768 |
| 千葉 | 18,527 | 16,847 | 41,402 | 9,990 | 7,533 | 10,110 | 11,202 | 15,617 |
| 東京 | 18,367 | 16,703 | 45,982 | 10,288 | 7,502 | 9,668 | 10,995 | 15,720 |
| 神奈川 | 17,918 | 15,666 | 44,859 | 9,323 | 7,861 | 9,598 | 11,920 | 14,998 |
| 新潟 | 18,225 | 16,139 | 36,352 | 9,637 | 7,772 | 9,479 | 11,883 | 15,323 |
| 富山 | 19,212 | 17,741 | 35,715 | 10,330 | 7,449 | 11,018 | 12,501 | 15,495 |
| 石川 | 19,535 | 17,848 | 35,867 | 10,407 | 7,574 | 11,432 | 13,215 | 15,835 |
| 福井 | 18,694 | 17,440 | 36,578 | 10,413 | 7,676 | 11,231 | 11,146 | 14,811 |
| 山梨 | 17,727 | 15,754 | 35,656 | 9,342 | 7,492 | 9,828 | 11,813 | 14,764 |
| 長野 | 19,468 | 17,488 | 42,057 | 10,008 | 7,574 | 10,823 | 11,943 | 15,833 |
| 岐阜 | 17,103 | 15,426 | 41,165 | 9,531 | 7,802 | 9,497 | 12,212 | 14,201 |
| 静岡 | 18,018 | 16,294 | 41,442 | 10,075 | 7,213 | 9,201 | 11,731 | 15,030 |
| 愛知 | 17,313 | 15,919 | 42,844 | 9,941 | 8,054 | 9,368 | 12,834 | 14,329 |
| 三重 | 16,758 | 14,957 | 37,865 | 9,013 | 7,612 | 9,468 | 11,841 | 13,557 |
| 滋賀 | 18,453 | 16,523 | 41,690 | 9,448 | 7,367 | 10,536 | 11,455 | 15,021 |
| 京都 | 19,455 | 17,960 | 42,856 | 10,391 | 8,057 | 11,622 | 10,882 | 15,453 |
| 大阪 | 18,081 | 16,797 | 41,881 | 9,892 | 8,359 | 10,059 | 10,843 | 14,621 |
| 兵庫 | 18,032 | 16,195 | 40,581 | 9,471 | 8,207 | 9,683 | 11,095 | 14,481 |
| 奈良 | 18,787 | 17,998 | 41,340 | 11,137 | 7,452 | 9,001 | 10,762 | 15,287 |
| 和歌山 | 17,838 | 16,391 | 39,037 | 9,777 | 7,721 | 10,408 | 11,530 | 14,040 |
| 鳥取 | 19,457 | 17,771 | 39,002 | 9,761 | 7,711 | 10,427 | 11,700 | 15,163 |
| 島根 | 18,801 | 16,451 | 36,810 | 9,189 | 8,040 | 9,911 | 11,060 | 14,830 |
| 岡山 | 19,046 | 17,950 | 39,456 | 10,643 | 8,488 | 9,245 | 11,128 | 14,991 |
| 広島 | 17,807 | 15,942 | 36,782 | 9,384 | 8,162 | 9,576 | 10,993 | 14,339 |
| 山口 | 17,629 | 15,776 | 32,241 | 8,770 | 7,633 | 9,273 | 11,806 | 13,870 |
| 徳島 | 18,237 | 17,081 | 32,916 | 10,195 | 7,930 | 10,475 | 11,330 | 14,618 |
| 香川 | 17,749 | 15,761 | 35,886 | 9,402 | 8,225 | 10,462 | 11,539 | 14,411 |
| 愛媛 | 17,908 | 16,492 | 35,808 | 9,823 | 7,258 | 10,575 | 11,388 | 14,403 |
| 高知 | 20,141 | 18,318 | 32,652 | 9,919 | 7,802 | 11,766 | 11,406 | 15,897 |
| 福岡 | 17,847 | 16,515 | 35,520 | 9,047 | 7,549 | 8,889 | 11,757 | 13,919 |
| 佐賀 | 16,714 | 15,067 | 31,761 | 8,396 | 7,162 | 8,170 | 11,056 | 13,051 |
| 長崎 | 17,624 | 15,730 | 31,630 | 8,623 | 7,775 | 9,591 | 11,258 | 13,791 |
| 熊本 | 17,861 | 16,526 | 32,120 | 9,449 | 7,414 | 9,187 | 11,449 | 14,011 |
| 大分 | 19,015 | 17,160 | 33,673 | 9,731 | 7,577 | 9,988 | 11,865 | 15,046 |
| 宮崎 | 17,212 | 15,373 | 31,164 | 9,215 | 7,537 | 8,986 | 11,473 | 14,067 |
| 鹿児島 | 17,946 | 16,706 | 31,547 | 9,397 | 6,914 | 8,858 | 11,617 | 14,003 |
| 沖縄 | 20,250 | 18,859 | 38,677 | 10,442 | 7,665 | 10,246 | 11,934 | 16,006 |

注1. 医療機関所在地の都道府県で、都道府県別の分類を行っている。

注2. 1日当たり医療費とは、診療実日数当たりの医療費である。

調剤は、処方せん1枚当たりの医療費。

「(参考) 医科入院外+調剤」では、医科入院外及び調剤の医療費を医科入院外の受診延日数で除して得た値。

注3. 医療費には、入院時食事療養の費用額及び入院時生活療養の費用額を含んでいる。医科分は医科入院へ、歯科分は歯科へ含めている。

表31-2 1日当たり医療費の伸び率（対前年同期比）

（単位：％）

| | 総計 | 医科計 | | 歯科 | 調剤 | 訪問看護 療養 | (参考) 医科入院外 +調剤 | |
|-----|-----|------|-------|-----|-----|------------|----------------------|-----|
| | | 医科入院 | 医科入院外 | | | | | |
| 全国計 | 5.8 | 5.9 | 2.6 | 6.4 | 6.6 | 7.3 | 0.6 | 7.1 |
| 北海道 | 4.7 | 4.7 | 1.9 | 6.2 | 6.8 | 6.6 | 2.3 | 6.5 |
| 青森 | 5.4 | 6.0 | 2.8 | 5.6 | 6.3 | 5.6 | 7.2 | 5.9 |
| 岩手 | 4.6 | 4.8 | 3.7 | 4.2 | 6.0 | 5.5 | 2.1 | 4.9 |
| 宮城 | 5.4 | 5.8 | 3.2 | 5.6 | 7.1 | 6.6 | 1.3 | 5.9 |
| 秋田 | 4.0 | 4.2 | 2.8 | 3.6 | 5.9 | 3.8 | ▲ 0.7 | 3.9 |
| 山形 | 4.1 | 3.7 | 2.2 | 3.7 | 7.5 | 4.4 | 4.2 | 4.4 |
| 福島 | 4.6 | 4.7 | 2.4 | 5.4 | 6.5 | 5.9 | 1.5 | 5.7 |
| 茨城 | 5.2 | 5.4 | 2.2 | 6.0 | 5.5 | 6.9 | 2.3 | 6.6 |
| 栃木 | 6.1 | 5.6 | 4.1 | 4.4 | 6.4 | 8.9 | 0.6 | 6.9 |
| 群馬 | 5.9 | 6.1 | 3.1 | 6.0 | 6.7 | 6.4 | 2.4 | 6.7 |
| 埼玉 | 6.9 | 7.4 | 3.6 | 8.0 | 6.0 | 8.2 | 0.8 | 8.3 |
| 千葉 | 7.2 | 8.0 | 3.7 | 7.9 | 6.0 | 8.2 | 0.2 | 8.1 |
| 東京 | 7.0 | 7.5 | 2.3 | 9.3 | 6.7 | 9.5 | ▲ 0.2 | 9.3 |
| 神奈川 | 6.5 | 6.6 | 2.3 | 7.5 | 6.5 | 8.8 | 1.5 | 8.2 |
| 新潟 | 5.0 | 5.2 | 2.7 | 4.6 | 6.7 | 5.5 | 2.5 | 5.4 |
| 富山 | 6.7 | 6.1 | 1.8 | 6.2 | 8.2 | 8.2 | ▲ 1.1 | 8.4 |
| 石川 | 5.3 | 4.9 | 2.1 | 6.2 | 6.2 | 6.8 | ▲ 0.0 | 7.5 |
| 福井 | 4.9 | 4.5 | 1.5 | 5.0 | 6.2 | 5.3 | ▲ 0.1 | 6.4 |
| 山梨 | 4.7 | 4.9 | 2.1 | 5.4 | 7.3 | 5.0 | ▲ 0.5 | 5.4 |
| 長野 | 5.6 | 5.7 | 3.9 | 5.3 | 8.0 | 5.5 | 2.3 | 6.0 |
| 岐阜 | 5.6 | 5.8 | 3.2 | 5.7 | 7.3 | 6.7 | 2.3 | 6.2 |
| 静岡 | 5.0 | 5.4 | 2.9 | 5.7 | 6.6 | 5.5 | 2.7 | 5.7 |
| 愛知 | 5.7 | 6.2 | 3.1 | 6.4 | 6.4 | 6.7 | ▲ 0.1 | 6.7 |
| 三重 | 4.7 | 4.1 | 2.8 | 4.0 | 7.3 | 6.4 | ▲ 0.7 | 5.5 |
| 滋賀 | 5.5 | 5.1 | 2.6 | 5.7 | 6.1 | 9.2 | 0.4 | 7.3 |
| 京都 | 6.2 | 5.9 | 3.4 | 6.6 | 6.6 | 7.5 | 0.1 | 7.9 |
| 大阪 | 6.0 | 6.1 | 2.7 | 6.6 | 6.3 | 6.8 | 0.1 | 7.6 |
| 兵庫 | 5.5 | 5.5 | 2.2 | 6.2 | 6.2 | 6.7 | ▲ 0.6 | 6.9 |
| 奈良 | 5.5 | 5.5 | 3.2 | 6.6 | 6.6 | 6.7 | 0.2 | 7.2 |
| 和歌山 | 4.3 | 4.1 | 3.2 | 3.9 | 5.5 | 4.2 | 0.3 | 4.8 |
| 鳥取 | 5.3 | 5.6 | 4.1 | 5.2 | 5.6 | 7.4 | 3.1 | 6.1 |
| 島根 | 4.5 | 4.5 | 3.4 | 4.3 | 7.6 | 5.1 | 0.8 | 4.9 |
| 岡山 | 4.9 | 5.2 | 2.1 | 5.9 | 6.8 | 6.5 | 0.3 | 6.3 |
| 広島 | 5.6 | 5.7 | 2.6 | 5.6 | 6.0 | 6.7 | 0.3 | 6.3 |
| 山口 | 4.8 | 4.9 | 3.2 | 4.5 | 8.0 | 4.3 | 0.8 | 5.0 |
| 徳島 | 5.1 | 5.1 | 3.0 | 4.5 | 5.6 | 7.9 | ▲ 0.1 | 5.9 |
| 香川 | 5.2 | 5.0 | 2.7 | 5.7 | 6.2 | 6.6 | 0.8 | 6.4 |
| 愛媛 | 5.0 | 4.7 | 2.9 | 4.7 | 7.5 | 7.9 | 0.7 | 6.2 |
| 高知 | 5.0 | 4.8 | 2.4 | 4.5 | 6.2 | 7.5 | 1.3 | 6.0 |
| 福岡 | 5.8 | 5.5 | 1.6 | 6.3 | 8.1 | 7.9 | 0.6 | 7.4 |
| 佐賀 | 4.9 | 5.5 | 2.4 | 5.9 | 7.2 | 4.7 | 0.4 | 5.5 |
| 長崎 | 5.2 | 4.9 | 2.0 | 5.3 | 7.6 | 5.9 | 0.6 | 6.5 |
| 熊本 | 5.8 | 5.8 | 2.9 | 5.2 | 8.8 | 7.7 | ▲ 0.7 | 6.6 |
| 大分 | 5.0 | 5.0 | 2.7 | 5.2 | 6.8 | 6.3 | 0.5 | 5.7 |
| 宮崎 | 4.0 | 4.0 | 1.9 | 4.8 | 6.8 | 5.1 | 1.5 | 5.1 |
| 鹿児島 | 4.7 | 4.9 | 3.8 | 4.8 | 7.7 | 5.1 | 1.4 | 5.2 |
| 沖縄 | 6.8 | 7.3 | 2.8 | 8.4 | 6.7 | 10.6 | ▲ 0.4 | 9.2 |

IV 【参考】 推計平均在院日数等

| | 推計新規入院件数 | | 推計平均在院日数 | | 1日当たり医療費 (医科入院) | | 推計1入院当たり 医療費 | |
|-----|----------|-----------------|----------|-----------------|--------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | (万件) | (対前年同期比) (%) | (日) | (対前年同期比) (%) | (円) | (対前年同期比) (%) | (万円) | (対前年同期比) (%) |
| 全国計 | 1,485.9 | ▲ 5.2 | 29.5 | ▲ 0.6 | 38,876 | 2.6 | 114.7 | 1.9 |
| 北海道 | 74.6 | ▲ 9.3 | 35.2 | 3.3 | 36,457 | 1.9 | 128.4 | 5.3 |
| 青森 | 15.0 | ▲ 5.1 | 31.4 | 0.6 | 36,565 | 2.8 | 114.7 | 3.4 |
| 岩手 | 14.0 | ▲ 6.0 | 32.0 | 1.0 | 35,364 | 3.7 | 113.2 | 4.7 |
| 宮城 | 26.7 | ▲ 4.7 | 26.4 | ▲ 0.1 | 40,399 | 3.2 | 106.8 | 3.1 |
| 秋田 | 12.0 | ▲ 5.5 | 34.6 | 1.0 | 35,218 | 2.8 | 121.8 | 3.8 |
| 山形 | 12.9 | ▲ 8.1 | 31.7 | 2.4 | 36,898 | 2.2 | 117.0 | 4.6 |
| 福島 | 21.5 | ▲ 5.8 | 29.2 | ▲ 0.8 | 36,962 | 2.4 | 107.8 | 1.5 |
| 茨城 | 30.4 | ▲ 2.0 | 27.9 | ▲ 3.6 | 37,137 | 2.2 | 103.7 | ▲ 1.5 |
| 栃木 | 21.0 | ▲ 3.7 | 29.3 | ▲ 1.7 | 38,948 | 4.1 | 114.1 | 2.3 |
| 群馬 | 22.4 | ▲ 6.1 | 30.7 | 1.2 | 38,271 | 3.1 | 117.5 | 4.3 |
| 埼玉 | 65.0 | ▲ 4.1 | 28.3 | ▲ 1.8 | 40,043 | 3.6 | 113.2 | 1.7 |
| 千葉 | 63.9 | ▲ 2.3 | 26.6 | ▲ 2.0 | 41,402 | 3.7 | 110.3 | 1.6 |
| 東京 | 152.5 | ▲ 4.4 | 22.8 | ▲ 3.9 | 45,982 | 2.3 | 104.8 | ▲ 1.7 |
| 神奈川 | 91.6 | ▲ 2.4 | 23.2 | ▲ 3.6 | 44,859 | 2.3 | 104.2 | ▲ 1.4 |
| 新潟 | 23.5 | ▲ 5.2 | 32.1 | 0.3 | 36,352 | 2.7 | 116.6 | 3.0 |
| 富山 | 13.5 | ▲ 6.4 | 33.3 | 2.3 | 35,715 | 1.8 | 119.0 | 4.1 |
| 石川 | 14.8 | ▲ 8.5 | 33.4 | 1.2 | 35,867 | 2.1 | 119.7 | 3.3 |
| 福井 | 9.6 | ▲ 9.2 | 32.3 | 3.6 | 36,578 | 1.5 | 118.1 | 5.1 |
| 山梨 | 9.4 | ▲ 2.1 | 31.0 | ▲ 2.6 | 35,656 | 2.1 | 110.4 | ▲ 0.6 |
| 長野 | 24.8 | ▲ 4.5 | 26.8 | ▲ 1.2 | 42,057 | 3.9 | 112.6 | 2.7 |
| 岐阜 | 21.4 | ▲ 5.9 | 25.5 | ▲ 0.4 | 41,165 | 3.2 | 105.0 | 2.7 |
| 静岡 | 37.7 | ▲ 4.1 | 27.6 | ▲ 0.8 | 41,442 | 2.9 | 114.4 | 2.1 |
| 愛知 | 79.6 | ▲ 4.4 | 24.5 | ▲ 1.2 | 42,844 | 3.1 | 105.2 | 1.9 |
| 三重 | 18.6 | ▲ 7.1 | 30.1 | 0.5 | 37,865 | 2.8 | 114.1 | 3.3 |
| 滋賀 | 14.6 | ▲ 8.2 | 27.4 | 1.4 | 41,690 | 2.6 | 114.4 | 4.0 |
| 京都 | 32.6 | ▲ 3.5 | 27.4 | ▲ 4.1 | 42,856 | 3.4 | 117.4 | ▲ 0.9 |
| 大阪 | 113.4 | ▲ 4.7 | 27.4 | ▲ 1.6 | 41,881 | 2.7 | 114.9 | 1.0 |
| 兵庫 | 64.7 | ▲ 6.6 | 28.7 | 0.3 | 40,581 | 2.2 | 116.6 | 2.5 |
| 奈良 | 15.9 | ▲ 9.3 | 28.6 | 2.1 | 41,340 | 3.2 | 118.2 | 5.4 |
| 和歌山 | 12.3 | ▲ 4.8 | 30.2 | ▲ 1.6 | 39,037 | 3.2 | 118.0 | 1.6 |
| 鳥取 | 8.1 | ▲ 5.2 | 30.2 | ▲ 0.4 | 39,002 | 4.1 | 117.9 | 3.7 |
| 島根 | 9.0 | ▲ 5.5 | 32.8 | ▲ 0.6 | 36,810 | 3.4 | 120.6 | 2.8 |
| 岡山 | 26.5 | ▲ 6.8 | 28.9 | 1.5 | 39,456 | 2.1 | 114.1 | 3.6 |
| 広島 | 35.0 | ▲ 6.2 | 32.7 | 1.7 | 36,782 | 2.6 | 120.2 | 4.3 |
| 山口 | 17.4 | ▲ 7.6 | 43.5 | 2.5 | 32,241 | 3.2 | 140.3 | 5.7 |
| 徳島 | 10.5 | ▲ 6.3 | 39.9 | 2.4 | 32,916 | 3.0 | 131.2 | 5.5 |
| 香川 | 12.4 | ▲ 8.8 | 32.8 | 2.6 | 35,886 | 2.7 | 117.5 | 5.3 |
| 愛媛 | 18.0 | ▲ 10.3 | 33.4 | 4.1 | 35,808 | 2.9 | 119.6 | 7.1 |
| 高知 | 11.2 | ▲ 5.6 | 43.8 | 1.8 | 32,652 | 2.4 | 143.0 | 4.2 |
| 福岡 | 72.3 | ▲ 4.3 | 35.1 | ▲ 1.0 | 35,520 | 1.6 | 124.7 | 0.5 |
| 佐賀 | 11.1 | ▲ 6.3 | 41.4 | 2.8 | 31,761 | 2.4 | 131.4 | 5.3 |
| 長崎 | 20.8 | ▲ 6.0 | 38.2 | 1.2 | 31,630 | 2.0 | 120.8 | 3.2 |
| 熊本 | 25.6 | ▲ 6.0 | 39.8 | 2.1 | 32,120 | 2.9 | 127.8 | 5.1 |
| 大分 | 19.3 | ▲ 4.6 | 32.8 | ▲ 0.6 | 33,673 | 2.7 | 110.6 | 2.1 |
| 宮崎 | 15.0 | ▲ 6.0 | 36.2 | 0.6 | 31,164 | 1.9 | 112.7 | 2.6 |
| 鹿児島 | 25.1 | ▲ 4.0 | 40.8 | ▲ 1.8 | 31,547 | 3.8 | 128.8 | 1.9 |
| 沖縄 | 18.7 | ▲ 6.8 | 30.5 | 0.2 | 38,677 | 2.8 | 118.0 | 3.1 |

- 注1. 都道府県別概算医療費は医療機関所在地の都道府県で分類を行っている。
注2. 医療費には入院時食事療養及び入院時生活療養の費用額が含まれる。
注3. 推計平均在院日数は入院の1件当たり日数から算定した値である。
注4. 推計新規入院件数は入院受診延日数を推計平均在院日数で除して得た値である。
注5. 推計1入院当たり医療費は推計平均在院日数に1日当たり医療費（医科入院）を乗じて得た値である。



Press Release

報道関係者 各位

令和3年8月31日

【照会先】

保険局 調査課

課長 西岡 隆 (内線3291)

医療費解析官 八郷 秀之 (内線3375)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3595)2579

**「令和2年度 医科医療費（電算処理分）の動向」を公表します
～医科医療費（電算処理分）の年度集計結果～**

厚生労働省では、毎月、医科（入院・入院外）医療費の動向等を迅速に把握するため、電算処理分のレセプトを集計した「医科医療費（電算処理分）の動向」を公表していますが、このたび、令和2年度の集計結果がまとまりましたので公表します。

なお、すでに公表している令和2年度2月分までは抽出データ¹を集計し試験的に公表してきましたが、このたび、全量データの取り込みが完了したため、過去に遡ってデータを差し替え、本格公表としてお示しいたします。

本調査は、医科レセプトデータを集約することで、医科医療費の動向等を迅速に明らかにし、医療保険行政のための基礎資料を得ることを目的としたものです。

【調査結果のポイント】

- 令和2年度の医科医療費（電算処理分に限る。以下同様。）の伸び率（対前年度比。以下同様。）は▲4.0%で、受診延日数の伸び率は▲9.2%、1日当たり医療費の伸び率は+5.7%であった。（→P.2、P.3、P.5 他）
- 制度別に医科医療費の伸び率をみると、被用者保険は▲5.4%、国民健康保険は▲4.6%、後期高齢者医療制度は▲2.8%、公費は▲2.5%であった。（→P.2）
- 医療機関種類別に医科医療費の伸び率をみると、大学病院は▲4.0%、公的病院は▲5.4%、法人病院は▲2.0%、医科診療所は▲5.2%であり、病床数200床未満の医科病院では▲1.7%、200床以上の医科病院では▲4.3%であった。（→P.19）
- 都道府県別に医科医療費の伸び率をみると、佐賀県が▲2.0%と最も大きく、東京都が▲5.8%と最も小さかった。（→P.36）
- 年齢階級別（5歳階級）に医科医療費の伸び率をみると、100歳以上が+5.0%と最も大きく、0歳以上5歳未満が▲21.1%と最も小さかった。（→P.53）
- 傷病分類別に前年度の医療費の割合が高かった傷病の医科医療費の伸び率をみると、循環器系の疾患が▲2.8%、新生物が▲1.4%、筋骨格系及び結合組織の疾患が▲4.0%、腎尿路生殖器系の疾患が▲1.4%、呼吸器系の疾患が▲25.3%であった。（→P.70）

¹ 医科入院外分について、100分の1の抽出率でランダム抽出したデータを使用。

- 診療内容別に前年度の医療費の割合が高かった診療内容の医科医療費の伸び率をみると、入院基本料、特定入院料等が▲1.3%、DPC 包括部分が▲6.5%、薬剤料が▲3.2%、検査・病理診断が▲3.8%、手術・麻酔が▲5.7%であった。(→P.87)

「令和2年度 医科医療費(電算処理分)の動向」は、厚生労働省のホームページにも掲載しています。
ホームページアドレス(<https://www.mhlw.go.jp/bunya/iryuhoken/database/>)

【調査概要】

- 調査方法 「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づく行政記録情報である「匿名レセプト情報・匿名特定健診等情報データベース(NDB)」から医科診療報酬明細書情報の提供を受け、集計・分析を行う。
- 調査対象 「匿名レセプト情報・匿名特定健診等情報データベース(NDB)」から提供された令和2年度の医科診療報酬明細書情報 合計約9.7億件分

医科医療費(電算処理分)の動向

厚生労働省保険局調査課

目次

| | シート番号 | シート番号 | |
|--------------------------|-------|------------------------|----|
| 医科医療費等の全数と電算処理分の比較 | 1 | | |
| I. 制度別 医科医療費 | | IV. 年齢階級別 医科医療費 | |
| I-1-1. 医療費 | 2 | IV-1-1. 医療費 | 53 |
| I-1-2. 受診延日数 | 3 | IV-1-2. 受診延日数 | 54 |
| I-1-3. 件数 | 4 | IV-1-3. 件数 | 55 |
| I-1-4. 1日当たり医療費 | 5 | IV-1-4. 1日当たり医療費 | 56 |
| I-1-5. 1件当たり日数 | 6 | IV-1-5. 1件当たり日数 | 57 |
| I-2-1. 入院 医療費 | 7 | IV-2-1. 入院 医療費 | 58 |
| I-2-2. 入院 受診延日数 | 8 | IV-2-2. 入院 受診延日数 | 59 |
| I-2-3. 入院 件数 | 9 | IV-2-3. 入院 件数 | 60 |
| I-2-4. 入院 1日当たり医療費 | 10 | IV-2-4. 入院 1日当たり医療費 | 61 |
| I-2-5. 入院 1件当たり日数 | 11 | IV-2-5. 入院 1件当たり日数 | 62 |
| I-2-6. 入院 推計新規入院件数 | 12 | IV-2-6. 入院 推計新規入院件数 | 63 |
| I-2-7. 入院 推計平均在院日数 | 13 | IV-2-7. 入院 推計平均在院日数 | 64 |
| I-3-1. 入院外 医療費 | 14 | IV-3-1. 入院外 医療費 | 65 |
| I-3-2. 入院外 受診延日数 | 15 | IV-3-2. 入院外 受診延日数 | 66 |
| I-3-3. 入院外 件数 | 16 | IV-3-3. 入院外 件数 | 67 |
| I-3-4. 入院外 1日当たり医療費 | 17 | IV-3-4. 入院外 1日当たり医療費 | 68 |
| I-3-5. 入院外 1件当たり日数 | 18 | IV-3-5. 入院外 1件当たり日数 | 69 |
| II. 医療機関種類別 医科医療費 | | V. 傷病分類別 医科医療費 | |
| II-1-1. 医療費 | 19 | V-1-1. 医療費 | 70 |
| II-1-2. 受診延日数 | 20 | V-1-2. 受診延日数 | 71 |
| II-1-3. 件数 | 21 | V-1-3. 件数 | 72 |
| II-1-4. 1日当たり医療費 | 22 | V-1-4. 1日当たり医療費 | 73 |
| II-1-5. 1件当たり日数 | 23 | V-1-5. 1件当たり日数 | 74 |
| II-2-1. 入院 医療費 | 24 | V-2-1. 入院 医療費 | 75 |
| II-2-2. 入院 受診延日数 | 25 | V-2-2. 入院 受診延日数 | 76 |
| II-2-3. 入院 件数 | 26 | V-2-3. 入院 件数 | 77 |
| II-2-4. 入院 1日当たり医療費 | 27 | V-2-4. 入院 1日当たり医療費 | 78 |
| II-2-5. 入院 1件当たり日数 | 28 | V-2-5. 入院 1件当たり日数 | 79 |
| II-2-6. 入院 推計新規入院件数 | 29 | V-2-6. 入院 推計新規入院件数 | 80 |
| II-2-7. 入院 推計平均在院日数 | 30 | V-2-7. 入院 推計平均在院日数 | 81 |
| II-3-1. 入院外 医療費 | 31 | V-3-1. 入院外 医療費 | 82 |
| II-3-2. 入院外 受診延日数 | 32 | V-3-2. 入院外 受診延日数 | 83 |
| II-3-3. 入院外 件数 | 33 | V-3-3. 入院外 件数 | 84 |
| II-3-4. 入院外 1日当たり医療費 | 34 | V-3-4. 入院外 1日当たり医療費 | 85 |
| II-3-5. 入院外 1件当たり日数 | 35 | V-3-5. 入院外 1件当たり日数 | 86 |
| III. 都道府県別 医科医療費 | | VI. 診療内容別 医科医療費 | |
| III-1-1. 医療費 | 36 | VI-1. 医療費 | 87 |
| III-1-2. 受診延日数 | 37 | VI-2. 入院 医療費 | 88 |
| III-1-3. 件数 | 38 | VI-3. 入院外 医療費 | 89 |
| III-1-4. 1日当たり医療費 | 39 | | |
| III-1-5. 1件当たり日数 | 40 | | |
| III-2-1. 入院 医療費 | 41 | | |
| III-2-2. 入院 受診延日数 | 42 | | |
| III-2-3. 入院 件数 | 43 | | |
| III-2-4. 入院 1日当たり医療費 | 44 | | |
| III-2-5. 入院 1件当たり日数 | 45 | | |
| III-2-6. 入院 推計新規入院件数 | 46 | | |
| III-2-7. 入院 推計平均在院日数 | 47 | | |
| III-3-1. 入院外 医療費 | 48 | | |
| III-3-2. 入院外 受診延日数 | 49 | | |
| III-3-3. 入院外 件数 | 50 | | |
| III-3-4. 入院外 1日当たり医療費 | 51 | | |
| III-3-5. 入院外 1件当たり日数 | 52 | | |

医科医療費等の全数と電算処理分の比較

| | | 実数 | | | | 対前年度比(%) | | |
|-----------------------|--------------|---------|---------|---------|---------|----------|-------|--------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 全 数 | 総数 | | | | | | | |
| | 医療費(億円) | 313,797 | 318,638 | 324,991 | 312,568 | 1.5 | 2.0 | ▲ 3.8 |
| | 日数(万日) | 211,988 | 210,419 | 207,919 | 188,851 | ▲ 0.7 | ▲ 1.2 | ▲ 9.2 |
| | 件数(万件) | 107,702 | 108,213 | 107,889 | 98,481 | 0.5 | ▲ 0.3 | ▲ 8.7 |
| | 1日当たり医療費(千円) | 14.8 | 15.1 | 15.6 | 16.6 | 2.3 | 3.2 | 5.9 |
| | 1件当たり日数(日) | 2.0 | 1.9 | 1.9 | 1.9 | ▲ 1.2 | ▲ 0.9 | ▲ 0.5 |
| | 入院 | | | | | | | |
| | 医療費(億円) | 169,674 | 173,044 | 176,449 | 170,496 | 2.0 | 2.0 | ▲ 3.4 |
| | 日数(万日) | 46,912 | 46,702 | 46,569 | 43,857 | ▲ 0.4 | ▲ 0.3 | ▲ 5.8 |
| | 件数(万件) | 3,060 | 3,056 | 3,043 | 2,879 | ▲ 0.1 | ▲ 0.4 | ▲ 5.4 |
| | 1日当たり医療費(千円) | 36.2 | 37.1 | 37.9 | 38.9 | 2.4 | 2.3 | 2.6 |
| | 1件当たり日数(日) | 15.3 | 15.3 | 15.3 | 15.2 | ▲ 0.3 | 0.1 | ▲ 0.5 |
| | 推計新規入院件数(万件) | 1,568.8 | 1,572.0 | 1,567.7 | 1,485.9 | 0.2 | ▲ 0.3 | ▲ 5.2 |
| | 推計平均在院日数(日) | 29.9 | 29.7 | 29.7 | 29.5 | ▲ 0.6 | ▲ 0.0 | ▲ 0.6 |
| | 入院外 | | | | | | | |
| | 医療費(億円) | 144,123 | 145,594 | 148,542 | 142,072 | 1.0 | 2.0 | ▲ 4.4 |
| | 日数(万日) | 165,076 | 163,717 | 161,350 | 144,994 | ▲ 0.8 | ▲ 1.4 | ▲ 10.1 |
| | 件数(万件) | 104,642 | 105,157 | 104,846 | 95,602 | 0.5 | ▲ 0.3 | ▲ 8.8 |
| | 1日当たり医療費(千円) | 8.7 | 8.9 | 9.2 | 9.8 | 1.9 | 3.5 | 6.4 |
| 1件当たり日数(日) | 1.6 | 1.6 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.3 | ▲ 1.2 | ▲ 1.4 | |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | | | | | | | |
| | 医療費(億円) | 301,712 | 306,590 | 313,493 | 301,073 | 1.6 | 2.3 | ▲ 4.0 |
| | 日数(万日) | 206,761 | 205,544 | 203,535 | 184,902 | ▲ 0.6 | ▲ 1.0 | ▲ 9.2 |
| | 件数(万件) | 105,571 | 106,262 | 106,141 | 96,915 | 0.7 | ▲ 0.1 | ▲ 8.7 |
| | 1日当たり医療費(千円) | 14.6 | 14.9 | 15.4 | 16.3 | 2.2 | 3.3 | 5.7 |
| | 1件当たり日数(日) | 2.0 | 1.9 | 1.9 | 1.9 | ▲ 1.2 | ▲ 0.9 | ▲ 0.5 |
| | 入院 | | | | | | | |
| | 医療費(億円) | 160,920 | 164,191 | 167,987 | 161,853 | 2.0 | 2.3 | ▲ 3.7 |
| | 日数(万日) | 45,318 | 45,099 | 45,076 | 42,344 | ▲ 0.5 | ▲ 0.1 | ▲ 6.1 |
| | 件数(万件) | 2,953 | 2,947 | 2,941 | 2,704 | ▲ 0.2 | ▲ 0.2 | ▲ 8.1 |
| | 1日当たり医療費(千円) | 35.5 | 36.4 | 37.3 | 38.2 | 2.5 | 2.4 | 2.6 |
| | 1件当たり日数(日) | 15.3 | 15.3 | 15.3 | 15.7 | ▲ 0.3 | 0.1 | 2.2 |
| | 推計新規入院件数(万件) | 1,512.3 | 1,514.3 | 1,513.2 | 1,355.9 | 0.1 | ▲ 0.1 | ▲ 10.4 |
| | 推計平均在院日数(日) | 30.0 | 29.8 | 29.8 | 31.2 | ▲ 0.6 | 0.0 | 4.8 |
| | 入院外 | | | | | | | |
| | 医療費(億円) | 140,792 | 142,399 | 145,506 | 139,219 | 1.1 | 2.2 | ▲ 4.3 |
| | 日数(万日) | 161,443 | 160,444 | 158,459 | 142,557 | ▲ 0.6 | ▲ 1.2 | ▲ 10.0 |
| | 件数(万件) | 102,618 | 103,315 | 103,200 | 94,212 | 0.7 | ▲ 0.1 | ▲ 8.7 |
| | 1日当たり医療費(千円) | 8.7 | 8.9 | 9.2 | 9.8 | 1.8 | 3.5 | 6.4 |
| 1件当たり日数(日) | 1.6 | 1.6 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.3 | ▲ 1.1 | ▲ 1.5 | |
| 電 算 化 率 | 総数 | | | | | | | |
| | 医療費(%) | 96.1 | 96.2 | 96.5 | 96.3 | 0.1 | 0.3 | ▲ 0.1 |
| | 日数(%) | 97.5 | 97.7 | 97.9 | 97.9 | 0.2 | 0.2 | 0.0 |
| | 件数(%) | 98.0 | 98.2 | 98.4 | 98.4 | 0.2 | 0.2 | 0.0 |
| | 入院 | | | | | | | |
| | 医療費(%) | 94.8 | 94.9 | 95.2 | 94.9 | 0.0 | 0.3 | ▲ 0.3 |
| | 日数(%) | 96.6 | 96.6 | 96.8 | 96.6 | ▲ 0.0 | 0.2 | ▲ 0.3 |
| | 件数(%) | 96.5 | 96.5 | 96.7 | 93.9 | ▲ 0.1 | 0.2 | ▲ 2.8 |
| | 入院外 | | | | | | | |
| | 医療費(%) | 97.7 | 97.8 | 98.0 | 98.0 | 0.1 | 0.2 | 0.0 |
| | 日数(%) | 97.8 | 98.0 | 98.2 | 98.3 | 0.2 | 0.2 | 0.1 |
| 件数(%) | 98.1 | 98.2 | 98.4 | 98.5 | 0.2 | 0.2 | 0.1 | |

【表 I-1-1】医療費(制度別)

| | | 実数(億円) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) | |
|---------------|---------------|---------------|---------|---------|---------|----------|-------|--------|----------------------|------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | | |
| 電 算 | 総数 | 301,712 | 306,590 | 313,493 | 301,073 | 1.6 | 2.3 | ▲ 4.0 | 100.0 | |
| | 被用者保険 | 82,501 | 84,726 | 87,208 | 82,523 | 2.7 | 2.9 | ▲ 5.4 | 27.4 | |
| | 協会一般 | 44,362 | 45,903 | 48,241 | 46,119 | 3.5 | 5.1 | ▲ 4.4 | 15.3 | |
| | 本人 | 23,689 | 24,643 | 26,259 | 25,771 | 4.0 | 6.6 | ▲ 1.9 | 8.6 | |
| | 家族(未就学者以外) | 13,345 | 13,430 | 13,598 | 12,560 | 0.6 | 1.3 | ▲ 7.6 | 4.2 | |
| | 家族(未就学者) | 4,106 | 4,107 | 4,078 | 3,204 | 0.0 | ▲ 0.7 | ▲ 21.4 | 1.1 | |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 2,607 | 2,972 | 3,406 | 3,634 | 14.0 | 14.6 | 6.7 | 1.2 | |
| | 高齢受給者(現役並み) | 615 | 751 | 900 | 951 | 22.0 | 19.8 | 5.7 | 0.3 | |
| | 共済組合 | 8,696 | 8,735 | 8,829 | 8,296 | 0.4 | 1.1 | ▲ 6.0 | 2.8 | |
| | 本人 | 4,391 | 4,442 | 4,578 | 4,511 | 1.2 | 3.1 | ▲ 1.5 | 1.5 | |
| | 家族(未就学者以外) | 2,842 | 2,805 | 2,768 | 2,533 | ▲ 1.3 | ▲ 1.3 | ▲ 8.5 | 0.8 | |
| | 家族(未就学者) | 1,283 | 1,303 | 1,299 | 1,069 | 1.5 | ▲ 0.3 | ▲ 17.7 | 0.4 | |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 154 | 154 | 151 | 147 | ▲ 0.1 | ▲ 2.2 | ▲ 2.6 | 0.0 | |
| | 高齢受給者(現役並み) | 26 | 31 | 33 | 36 | 17.6 | 8.1 | 7.7 | 0.0 | |
| 処 | 組合健保 | 29,274 | 29,924 | 29,970 | 27,953 | 2.2 | 0.2 | ▲ 6.7 | 9.3 | |
| | 本人 | 15,220 | 15,790 | 15,964 | 15,504 | 3.7 | 1.1 | ▲ 2.9 | 5.1 | |
| | 家族(未就学者以外) | 9,524 | 9,514 | 9,414 | 8,562 | ▲ 0.1 | ▲ 1.0 | ▲ 9.1 | 2.8 | |
| | 家族(未就学者) | 3,494 | 3,519 | 3,396 | 2,680 | 0.7 | ▲ 3.5 | ▲ 21.1 | 0.9 | |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 768 | 796 | 851 | 853 | 3.7 | 6.9 | 0.2 | 0.3 | |
| | 高齢受給者(現役並み) | 269 | 305 | 345 | 353 | 13.3 | 13.3 | 2.3 | 0.1 | |
| | 理 分 | 国民健康保険 | 80,460 | 78,999 | 78,324 | 74,720 | ▲ 1.8 | ▲ 0.9 | ▲ 4.6 | 24.8 |
| | | 市町村国保 | 76,763 | 75,305 | 74,598 | 71,223 | ▲ 1.9 | ▲ 0.9 | ▲ 4.5 | 23.7 |
| | | 70歳未満(未就学者以外) | 51,028 | 48,519 | 46,483 | 42,904 | ▲ 4.9 | ▲ 4.2 | ▲ 7.7 | 14.3 |
| | | 未就学者 | 1,211 | 1,118 | 1,044 | 797 | ▲ 7.6 | ▲ 6.7 | ▲ 23.7 | 0.3 |
| 高齢受給者(現役並み以外) | | 22,973 | 24,018 | 25,353 | 25,807 | 4.5 | 5.6 | 1.8 | 8.6 | |
| 高齢受給者(現役並み) | | 1,551 | 1,650 | 1,718 | 1,715 | 6.4 | 4.1 | ▲ 0.2 | 0.6 | |
| 国保組合 | | 3,697 | 3,694 | 3,726 | 3,497 | ▲ 0.1 | 0.9 | ▲ 6.1 | 1.2 | |
| 70歳未満(未就学者以外) | | 2,934 | 2,905 | 2,891 | 2,705 | ▲ 1.0 | ▲ 0.5 | ▲ 6.4 | 0.9 | |
| 未就学者 | | 264 | 258 | 258 | 203 | ▲ 2.4 | 0.0 | ▲ 21.4 | 0.1 | |
| 高齢受給者(現役並み以外) | | 342 | 358 | 381 | 385 | 4.7 | 6.6 | 1.1 | 0.1 | |
| 高齢受給者(現役並み) | 156 | 173 | 195 | 204 | 10.8 | 12.7 | 4.7 | 0.1 | | |
| 後期高齢者医療制度 | 後期高齢者医療制度 | 122,919 | 126,875 | 131,575 | 127,846 | 3.2 | 3.7 | ▲ 2.8 | 42.5 | |
| | 現役並み以外 | 115,692 | 119,295 | 123,675 | 120,333 | 3.1 | 3.7 | ▲ 2.7 | 40.0 | |
| | 現役並み | 7,227 | 7,580 | 7,899 | 7,513 | 4.9 | 4.2 | ▲ 4.9 | 2.5 | |
| | 公費 | 15,831 | 15,990 | 16,387 | 15,984 | 1.0 | 2.5 | ▲ 2.5 | 5.3 | |

【表 I -1-2】 受診延日数(制度別)

| | | 実数(万日) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) | |
|---------------|---------------|---------------|---------|---------|---------|----------|-------|--------|----------------------|------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | | |
| 電 | 総数 | 206,761 | 205,544 | 203,535 | 184,902 | ▲ 0.6 | ▲ 1.0 | ▲ 9.2 | 100.0 | |
| | 被用者保険 | 72,495 | 72,979 | 72,668 | 63,949 | 0.7 | ▲ 0.4 | ▲ 12.0 | 34.6 | |
| | 協会一般 | 37,216 | 37,733 | 38,446 | 34,357 | 1.4 | 1.9 | ▲ 10.6 | 18.6 | |
| | 本人 | 18,896 | 19,369 | 20,148 | 18,863 | 2.5 | 4.0 | ▲ 6.4 | 10.2 | |
| | 家族(未就学者以外) | 11,767 | 11,677 | 11,527 | 10,041 | ▲ 0.8 | ▲ 1.3 | ▲ 12.9 | 5.4 | |
| | 家族(未就学者) | 4,555 | 4,436 | 4,262 | 2,876 | ▲ 2.6 | ▲ 3.9 | ▲ 32.5 | 1.6 | |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 1,637 | 1,818 | 2,008 | 2,065 | 11.0 | 10.4 | 2.8 | 1.1 | |
| | 高齢受給者(現役並み) | 361 | 433 | 502 | 512 | 19.9 | 15.9 | 2.2 | 0.3 | |
| | 共済組合 | 8,206 | 8,126 | 8,002 | 6,994 | ▲ 1.0 | ▲ 1.5 | ▲ 12.6 | 3.8 | |
| | 本人 | 3,794 | 3,802 | 3,813 | 3,596 | 0.2 | 0.3 | ▲ 5.7 | 1.9 | |
| | 家族(未就学者以外) | 2,859 | 2,786 | 2,694 | 2,324 | ▲ 2.6 | ▲ 3.3 | ▲ 13.7 | 1.3 | |
| | 家族(未就学者) | 1,436 | 1,424 | 1,384 | 969 | ▲ 0.8 | ▲ 2.8 | ▲ 29.9 | 0.5 | |
| 算 | 高齢受給者(現役並み以外) | 101 | 96 | 91 | 85 | ▲ 5.4 | ▲ 4.8 | ▲ 6.6 | 0.0 | |
| | 高齢受給者(現役並み) | 15 | 18 | 19 | 19 | 17.1 | 6.1 | 1.6 | 0.0 | |
| | 組合健保 | 26,948 | 26,999 | 26,102 | 22,495 | 0.2 | ▲ 3.3 | ▲ 13.8 | 12.2 | |
| | 本人 | 12,774 | 13,034 | 12,736 | 11,701 | 2.0 | ▲ 2.3 | ▲ 8.1 | 6.3 | |
| | 家族(未就学者以外) | 9,531 | 9,397 | 9,020 | 7,690 | ▲ 1.4 | ▲ 4.0 | ▲ 14.7 | 4.2 | |
| | 家族(未就学者) | 3,979 | 3,878 | 3,631 | 2,408 | ▲ 2.5 | ▲ 6.4 | ▲ 33.7 | 1.3 | |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 500 | 506 | 514 | 498 | 1.2 | 1.7 | ▲ 3.1 | 0.3 | |
| | 高齢受給者(現役並み) | 164 | 184 | 201 | 197 | 12.0 | 9.4 | ▲ 2.0 | 0.1 | |
| | 処 | 国民健康保険 | 52,691 | 50,503 | 48,463 | 44,035 | ▲ 4.2 | ▲ 4.0 | ▲ 9.1 | 23.8 |
| | | 市町村国保 | 49,892 | 47,756 | 45,773 | 41,666 | ▲ 4.3 | ▲ 4.2 | ▲ 9.0 | 22.5 |
| | | 70歳未満(未就学者以外) | 33,167 | 30,955 | 28,883 | 25,571 | ▲ 6.7 | ▲ 6.7 | ▲ 11.5 | 13.8 |
| | | 未就学者 | 1,198 | 1,084 | 970 | 622 | ▲ 9.5 | ▲ 10.5 | ▲ 35.9 | 0.3 |
| 高齢受給者(現役並み以外) | | 14,579 | 14,730 | 14,917 | 14,516 | 1.0 | 1.3 | ▲ 2.7 | 7.9 | |
| 高齢受給者(現役並み) | | 948 | 987 | 1,003 | 956 | 4.0 | 1.6 | ▲ 4.6 | 0.5 | |
| 理 | | 国保組合 | 2,799 | 2,747 | 2,690 | 2,369 | ▲ 1.8 | ▲ 2.1 | ▲ 11.9 | 1.3 |
| | | 70歳未満(未就学者以外) | 2,232 | 2,179 | 2,121 | 1,890 | ▲ 2.4 | ▲ 2.6 | ▲ 10.9 | 1.0 |
| | | 未就学者 | 283 | 273 | 261 | 175 | ▲ 3.4 | ▲ 4.4 | ▲ 33.0 | 0.1 |
| | | 高齢受給者(現役並み以外) | 201 | 203 | 208 | 202 | 1.1 | 2.1 | ▲ 2.7 | 0.1 |
| | | 高齢受給者(現役並み) | 84 | 92 | 101 | 102 | 10.5 | 9.0 | 1.2 | 0.1 |
| | | 後期高齢者医療制度 | 72,055 | 72,695 | 73,122 | 68,216 | 0.9 | 0.6 | ▲ 6.7 | 36.9 |
| 分 | 現役並み以外 | 67,981 | 68,516 | 68,893 | 64,358 | 0.8 | 0.6 | ▲ 6.6 | 34.8 | |
| | 現役並み | 4,073 | 4,179 | 4,229 | 3,858 | 2.6 | 1.2 | ▲ 8.8 | 2.1 | |
| | 公費 | 9,521 | 9,366 | 9,282 | 8,702 | ▲ 1.6 | ▲ 0.9 | ▲ 6.3 | 4.7 | |

【表 I -1-3】件数(制度別)

| | | 実数(万件) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|---|---------------|---------|---------|---------|--------|----------|-------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 | 総数 | 105,571 | 106,262 | 106,141 | 96,915 | 0.7 | ▲ 0.1 | ▲ 8.7 | 100.0 |
| | 被用者保険 | 47,415 | 48,245 | 48,400 | 42,913 | 1.8 | 0.3 | ▲ 11.3 | 44.3 |
| | 協会一般 | 23,907 | 24,516 | 25,195 | 22,691 | 2.5 | 2.8 | ▲ 9.9 | 23.4 |
| | 本人 | 12,683 | 13,130 | 13,745 | 12,846 | 3.5 | 4.7 | ▲ 6.5 | 13.3 |
| | 家族(未就学者以外) | 7,402 | 7,435 | 7,399 | 6,466 | 0.4 | ▲ 0.5 | ▲ 12.6 | 6.7 |
| | 家族(未就学者) | 2,734 | 2,695 | 2,623 | 1,880 | ▲ 1.4 | ▲ 2.7 | ▲ 28.3 | 1.9 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 880 | 1,002 | 1,128 | 1,188 | 13.8 | 12.6 | 5.3 | 1.2 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 208 | 255 | 300 | 311 | 22.6 | 17.4 | 3.8 | 0.3 |
| | 共済組合 | 5,456 | 5,461 | 5,418 | 4,793 | 0.1 | ▲ 0.8 | ▲ 11.5 | 4.9 |
| | 本人 | 2,627 | 2,657 | 2,673 | 2,513 | 1.2 | 0.6 | ▲ 6.0 | 2.6 |
| 算 | 家族(未就学者以外) | 1,900 | 1,871 | 1,827 | 1,582 | ▲ 1.5 | ▲ 2.4 | ▲ 13.4 | 1.6 |
| | 家族(未就学者) | 867 | 870 | 857 | 639 | 0.4 | ▲ 1.6 | ▲ 25.4 | 0.7 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 52 | 51 | 49 | 48 | ▲ 3.3 | ▲ 2.5 | ▲ 3.7 | 0.0 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 9 | 11 | 12 | 12 | 17.1 | 8.3 | 1.6 | 0.0 |
| | 組合健保 | 17,976 | 18,193 | 17,714 | 15,365 | 1.2 | ▲ 2.6 | ▲ 13.3 | 15.9 |
| | 本人 | 8,867 | 9,121 | 8,947 | 8,141 | 2.9 | ▲ 1.9 | ▲ 9.0 | 8.4 |
| 処 | 家族(未就学者以外) | 6,314 | 6,290 | 6,085 | 5,205 | ▲ 0.4 | ▲ 3.3 | ▲ 14.5 | 5.4 |
| | 家族(未就学者) | 2,425 | 2,390 | 2,269 | 1,606 | ▲ 1.5 | ▲ 5.0 | ▲ 29.2 | 1.7 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 272 | 282 | 291 | 290 | 3.5 | 3.3 | ▲ 0.4 | 0.3 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 97 | 111 | 123 | 123 | 14.4 | 10.3 | ▲ 0.2 | 0.1 |
| | 国民健康保険 | 27,310 | 26,452 | 25,553 | 23,332 | ▲ 3.1 | ▲ 3.4 | ▲ 8.7 | 24.1 |
| 理 | 市町村国保 | 25,535 | 24,688 | 23,808 | 21,784 | ▲ 3.3 | ▲ 3.6 | ▲ 8.5 | 22.5 |
| | 70歳未満(未就学者以外) | 16,793 | 15,757 | 14,729 | 12,993 | ▲ 6.2 | ▲ 6.5 | ▲ 11.8 | 13.4 |
| | 未就学者 | 733 | 671 | 607 | 408 | ▲ 8.4 | ▲ 9.6 | ▲ 32.8 | 0.4 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 7,462 | 7,682 | 7,879 | 7,804 | 3.0 | 2.6 | ▲ 0.9 | 8.1 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 548 | 577 | 594 | 578 | 5.4 | 2.8 | ▲ 2.6 | 0.6 |
| | 国保組合 | 1,775 | 1,765 | 1,744 | 1,549 | ▲ 0.6 | ▲ 1.2 | ▲ 11.2 | 1.6 |
| 分 | 70歳未満(未就学者以外) | 1,449 | 1,432 | 1,407 | 1,257 | ▲ 1.2 | ▲ 1.7 | ▲ 10.7 | 1.3 |
| | 未就学者 | 173 | 169 | 164 | 116 | ▲ 2.1 | ▲ 3.4 | ▲ 28.9 | 0.1 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 105 | 110 | 114 | 114 | 3.8 | 4.3 | ▲ 0.1 | 0.1 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 48 | 54 | 60 | 61 | 13.4 | 10.5 | 2.9 | 0.1 |
| | 後期高齢者医療制度 | 27,951 | 28,669 | 29,289 | 27,904 | 2.6 | 2.2 | ▲ 4.7 | 28.8 |
| | 現役並み以外 | 26,057 | 26,692 | 27,257 | 26,004 | 2.4 | 2.1 | ▲ 4.6 | 26.8 |
| | 現役並み | 1,894 | 1,977 | 2,032 | 1,901 | 4.4 | 2.8 | ▲ 6.5 | 2.0 |
| | 公費 | 2,895 | 2,895 | 2,899 | 2,766 | 0.0 | 0.1 | ▲ 4.6 | 2.9 |

【表 I -1-4】1日当たり医療費(制度別)

| | | 実数(千円) | | | | 対前年度比(%) | | |
|-----------|---------------|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 電 | 総数 | 14.6 | 14.9 | 15.4 | 16.3 | 2.2 | 3.3 | 5.7 |
| | 被用者保険 | 11.4 | 11.6 | 12.0 | 12.9 | 2.0 | 3.4 | 7.5 |
| | 協会一般 | 11.9 | 12.2 | 12.5 | 13.4 | 2.1 | 3.1 | 7.0 |
| | 本人 | 12.5 | 12.7 | 13.0 | 13.7 | 1.5 | 2.4 | 4.8 |
| | 家族(未就学者以外) | 11.3 | 11.5 | 11.8 | 12.5 | 1.4 | 2.6 | 6.0 |
| | 家族(未就学者) | 9.0 | 9.3 | 9.6 | 11.1 | 2.7 | 3.4 | 16.4 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 15.9 | 16.4 | 17.0 | 17.6 | 2.7 | 3.7 | 3.8 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 17.1 | 17.3 | 17.9 | 18.6 | 1.7 | 3.4 | 3.5 |
| | 共済組合 | 10.6 | 10.7 | 11.0 | 11.9 | 1.4 | 2.6 | 7.5 |
| | 本人 | 11.6 | 11.7 | 12.0 | 12.5 | 1.0 | 2.8 | 4.5 |
| 算 | 家族(未就学者以外) | 9.9 | 10.1 | 10.3 | 10.9 | 1.3 | 2.1 | 6.1 |
| | 家族(未就学者) | 8.9 | 9.1 | 9.4 | 11.0 | 2.3 | 2.6 | 17.5 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 15.2 | 16.1 | 16.5 | 17.2 | 5.7 | 2.7 | 4.3 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 17.4 | 17.5 | 17.8 | 18.9 | 0.5 | 1.9 | 6.1 |
| | 組合健保 | 10.9 | 11.1 | 11.5 | 12.4 | 2.0 | 3.6 | 8.2 |
| 処 | 本人 | 11.9 | 12.1 | 12.5 | 13.2 | 1.7 | 3.5 | 5.7 |
| | 家族(未就学者以外) | 10.0 | 10.1 | 10.4 | 11.1 | 1.3 | 3.1 | 6.7 |
| | 家族(未就学者) | 8.8 | 9.1 | 9.4 | 11.1 | 3.3 | 3.1 | 19.0 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 15.4 | 15.8 | 16.5 | 17.1 | 2.5 | 5.0 | 3.4 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 16.4 | 16.6 | 17.2 | 17.9 | 1.1 | 3.6 | 4.4 |
| 理 | 国民健康保険 | 15.3 | 15.6 | 16.2 | 17.0 | 2.4 | 3.3 | 5.0 |
| | 市町村国保 | 15.4 | 15.8 | 16.3 | 17.1 | 2.5 | 3.4 | 4.9 |
| | 70歳未満(未就学者以外) | 15.4 | 15.7 | 16.1 | 16.8 | 1.9 | 2.7 | 4.3 |
| | 未就学者 | 10.1 | 10.3 | 10.8 | 12.8 | 2.1 | 4.3 | 19.0 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 15.8 | 16.3 | 17.0 | 17.8 | 3.5 | 4.2 | 4.6 |
| 分 | 高齢受給者(現役並み) | 16.4 | 16.7 | 17.1 | 17.9 | 2.3 | 2.4 | 4.7 |
| | 国保組合 | 13.2 | 13.4 | 13.8 | 14.8 | 1.8 | 3.0 | 6.6 |
| | 70歳未満(未就学者以外) | 13.1 | 13.3 | 13.6 | 14.3 | 1.4 | 2.2 | 5.0 |
| | 未就学者 | 9.4 | 9.5 | 9.9 | 11.6 | 1.1 | 4.6 | 17.3 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 17.0 | 17.6 | 18.4 | 19.1 | 3.6 | 4.4 | 3.9 |
| 後期高齢者医療制度 | 高齢受給者(現役並み) | 18.7 | 18.8 | 19.4 | 20.1 | 0.3 | 3.4 | 3.4 |
| | 現役並み以外 | 17.1 | 17.5 | 18.0 | 18.7 | 2.3 | 3.1 | 4.2 |
| | 現役並み | 17.0 | 17.4 | 18.0 | 18.7 | 2.3 | 3.1 | 4.2 |
| 公費 | 17.7 | 18.1 | 18.7 | 19.5 | 2.2 | 3.0 | 4.2 | |
| 公費 | 16.6 | 17.1 | 17.7 | 18.4 | 2.7 | 3.4 | 4.0 | |

【表 I -1-5】1件当たり日数(制度別)

| | | 実数(日) | | | | 対前年度比(%) | | |
|-----------------------|---------------|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 2.0 | 1.9 | 1.9 | 1.9 | ▲ 1.2 | ▲ 0.9 | ▲ 0.5 |
| | 被用者保険 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.1 | ▲ 0.7 | ▲ 0.7 |
| | 協会一般 | 1.6 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.1 | ▲ 0.9 | ▲ 0.8 |
| | 本人 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.0 | ▲ 0.6 | 0.2 |
| | 家族(未就学者以外) | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | ▲ 1.2 | ▲ 0.8 | ▲ 0.3 |
| | 家族(未就学者) | 1.7 | 1.6 | 1.6 | 1.5 | ▲ 1.2 | ▲ 1.3 | ▲ 5.9 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 1.9 | 1.8 | 1.8 | 1.7 | ▲ 2.5 | ▲ 1.9 | ▲ 2.4 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.6 | ▲ 2.2 | ▲ 1.3 | ▲ 1.6 |
| | 共済組合 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.1 | ▲ 0.7 | ▲ 1.2 |
| | 本人 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | ▲ 0.9 | ▲ 0.3 | 0.3 |
| | 家族(未就学者以外) | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.0 | ▲ 0.9 | ▲ 0.4 |
| | 家族(未就学者) | 1.7 | 1.6 | 1.6 | 1.5 | ▲ 1.2 | ▲ 1.2 | ▲ 6.1 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 1.9 | 1.9 | 1.9 | 1.8 | ▲ 2.2 | ▲ 2.3 | ▲ 3.0 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | ▲ 0.0 | ▲ 2.1 | ▲ 0.1 |
| 組合健保 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.0 | ▲ 0.7 | ▲ 0.6 | |
| 本人 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | ▲ 0.8 | ▲ 0.4 | 1.0 | |
| 家族(未就学者以外) | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.0 | ▲ 0.8 | ▲ 0.3 | |
| 家族(未就学者) | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.5 | ▲ 1.1 | ▲ 1.4 | ▲ 6.3 | |
| 高齢受給者(現役並み以外) | 1.8 | 1.8 | 1.8 | 1.7 | ▲ 2.2 | ▲ 1.5 | ▲ 2.7 | |
| 高齢受給者(現役並み) | 1.7 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | ▲ 2.1 | ▲ 0.7 | ▲ 1.8 | |
| 国民健康保険 | 1.9 | 1.9 | 1.9 | 1.9 | ▲ 1.0 | ▲ 0.7 | ▲ 0.5 | |
| 市町村国保 | 2.0 | 1.9 | 1.9 | 1.9 | ▲ 1.0 | ▲ 0.6 | ▲ 0.5 | |
| 70歳未満(未就学者以外) | 2.0 | 2.0 | 2.0 | 2.0 | ▲ 0.5 | ▲ 0.2 | 0.4 | |
| 未就学者 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.5 | ▲ 1.3 | ▲ 1.0 | ▲ 4.6 | |
| 高齢受給者(現役並み以外) | 2.0 | 1.9 | 1.9 | 1.9 | ▲ 1.9 | ▲ 1.3 | ▲ 1.8 | |
| 高齢受給者(現役並み) | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | ▲ 1.3 | ▲ 1.2 | ▲ 2.1 | |
| 国保組合 | 1.6 | 1.6 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.3 | ▲ 0.9 | ▲ 0.8 | |
| 70歳未満(未就学者以外) | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.2 | ▲ 0.9 | ▲ 0.2 | |
| 未就学者 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.5 | ▲ 1.3 | ▲ 1.0 | ▲ 5.8 | |
| 高齢受給者(現役並み以外) | 1.9 | 1.9 | 1.8 | 1.8 | ▲ 2.6 | ▲ 2.2 | ▲ 2.6 | |
| 高齢受給者(現役並み) | 1.8 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | ▲ 2.5 | ▲ 1.4 | ▲ 1.6 | |
| 後期高齢者医療制度 | 2.6 | 2.5 | 2.5 | 2.4 | ▲ 1.6 | ▲ 1.5 | ▲ 2.1 | |
| 現役並み以外 | 2.6 | 2.6 | 2.5 | 2.5 | ▲ 1.6 | ▲ 1.5 | ▲ 2.1 | |
| 現役並み | 2.2 | 2.1 | 2.1 | 2.0 | ▲ 1.7 | ▲ 1.6 | ▲ 2.4 | |
| 公費 | 3.3 | 3.2 | 3.2 | 3.1 | ▲ 1.7 | ▲ 1.0 | ▲ 1.7 | |

【表 I -2-1】入院 医療費(制度別)

| | | 実数(億円) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-------------|---------------|---------|---------|---------|---------|----------|-------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 | 総数 | 160,920 | 164,191 | 167,987 | 161,853 | 2.0 | 2.3 | ▲ 3.7 | 100.0 |
| | 被用者保険 | 31,785 | 32,724 | 33,690 | 31,898 | 3.0 | 3.0 | ▲ 5.3 | 19.7 |
| | 協会一般 | 17,839 | 18,473 | 19,370 | 18,526 | 3.6 | 4.9 | ▲ 4.4 | 11.4 |
| | 本人 | 9,135 | 9,457 | 10,019 | 9,788 | 3.5 | 5.9 | ▲ 2.3 | 6.0 |
| | 家族(未就学者以外) | 5,421 | 5,448 | 5,496 | 5,079 | 0.5 | 0.9 | ▲ 7.6 | 3.1 |
| | 家族(未就学者) | 1,706 | 1,755 | 1,773 | 1,458 | 2.9 | 1.0 | ▲ 17.7 | 0.9 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 1,287 | 1,464 | 1,668 | 1,766 | 13.8 | 14.0 | 5.9 | 1.1 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 290 | 349 | 414 | 434 | 20.4 | 18.7 | 4.9 | 0.3 |
| | 共済組合 | 3,211 | 3,235 | 3,269 | 3,062 | 0.8 | 1.0 | ▲ 6.3 | 1.9 |
| | 本人 | 1,548 | 1,556 | 1,610 | 1,558 | 0.5 | 3.5 | ▲ 3.2 | 1.0 |
| | 家族(未就学者以外) | 1,042 | 1,035 | 1,013 | 929 | ▲ 0.7 | ▲ 2.1 | ▲ 8.3 | 0.6 |
| | 家族(未就学者) | 532 | 551 | 556 | 485 | 3.6 | 0.9 | ▲ 12.7 | 0.3 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 77 | 79 | 75 | 74 | 2.9 | ▲ 5.7 | ▲ 1.3 | 0.0 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 12 | 14 | 14 | 16 | 16.9 | 2.8 | 10.4 | 0.0 |
| 算 | 組合健保 | 10,654 | 10,940 | 10,972 | 10,235 | 2.7 | 0.3 | ▲ 6.7 | 6.3 |
| | 本人 | 5,385 | 5,592 | 5,654 | 5,444 | 3.8 | 1.1 | ▲ 3.7 | 3.4 |
| | 家族(未就学者以外) | 3,362 | 3,359 | 3,318 | 3,027 | ▲ 0.1 | ▲ 1.2 | ▲ 8.8 | 1.9 |
| | 家族(未就学者) | 1,412 | 1,470 | 1,433 | 1,200 | 4.1 | ▲ 2.5 | ▲ 16.3 | 0.7 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 369 | 380 | 409 | 402 | 3.0 | 7.4 | ▲ 1.7 | 0.2 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 125 | 139 | 159 | 162 | 10.7 | 14.8 | 1.8 | 0.1 |
| 処 | 国民健康保険 | 41,490 | 40,910 | 40,557 | 38,773 | ▲ 1.4 | ▲ 0.9 | ▲ 4.4 | 24.0 |
| | 市町村国保 | 39,909 | 39,327 | 38,965 | 37,288 | ▲ 1.5 | ▲ 0.9 | ▲ 4.3 | 23.0 |
| | 70歳未満(未就学者以外) | 26,568 | 25,379 | 24,312 | 22,517 | ▲ 4.5 | ▲ 4.2 | ▲ 7.4 | 13.9 |
| | 未就学者 | 567 | 531 | 508 | 411 | ▲ 6.5 | ▲ 4.4 | ▲ 19.1 | 0.3 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 12,019 | 12,608 | 13,314 | 13,537 | 4.9 | 5.6 | 1.7 | 8.4 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 755 | 809 | 832 | 824 | 7.2 | 2.8 | ▲ 0.9 | 0.5 |
| | 国保組合 | 1,581 | 1,582 | 1,591 | 1,485 | 0.1 | 0.6 | ▲ 6.7 | 0.9 |
| | 70歳未満(未就学者以外) | 1,217 | 1,201 | 1,188 | 1,100 | ▲ 1.2 | ▲ 1.1 | ▲ 7.4 | 0.7 |
| | 未就学者 | 113 | 111 | 114 | 94 | ▲ 1.4 | 2.5 | ▲ 17.6 | 0.1 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 174 | 184 | 195 | 193 | 6.2 | 5.6 | ▲ 0.9 | 0.1 |
| 高齢受給者(現役並み) | 78 | 85 | 95 | 98 | 8.9 | 11.7 | 3.3 | 0.1 | |
| 分 | 後期高齢者医療制度 | 77,890 | 80,671 | 83,558 | 81,229 | 3.6 | 3.6 | ▲ 2.8 | 50.2 |
| | 現役並み以外 | 73,734 | 76,297 | 79,007 | 76,942 | 3.5 | 3.6 | ▲ 2.6 | 47.5 |
| | 現役並み | 4,156 | 4,374 | 4,551 | 4,287 | 5.2 | 4.0 | ▲ 5.8 | 2.6 |
| | 公費 | 9,755 | 9,887 | 10,182 | 9,953 | 1.4 | 3.0 | ▲ 2.2 | 6.1 |

【表 I -2-2】入院 受診延日数(制度別)

| | | 実数(万日) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|---|---------------|--------|--------|--------|--------|----------|-------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 | 総数 | 45,318 | 45,099 | 45,076 | 42,344 | ▲ 0.5 | ▲ 0.1 | ▲ 6.1 | 100.0 |
| | 被用者保険 | 6,087 | 6,048 | 6,036 | 5,448 | ▲ 0.6 | ▲ 0.2 | ▲ 9.7 | 12.9 |
| | 協会一般 | 3,505 | 3,505 | 3,564 | 3,250 | ▲ 0.0 | 1.7 | ▲ 8.8 | 7.7 |
| | 本人 | 1,603 | 1,609 | 1,658 | 1,539 | 0.3 | 3.1 | ▲ 7.2 | 3.6 |
| | 家族(未就学者以外) | 1,316 | 1,280 | 1,256 | 1,121 | ▲ 2.7 | ▲ 1.9 | ▲ 10.8 | 2.6 |
| | 家族(未就学者) | 269 | 267 | 263 | 200 | ▲ 0.9 | ▲ 1.4 | ▲ 23.9 | 0.5 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 267 | 292 | 320 | 324 | 9.2 | 9.8 | 1.1 | 0.8 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 49 | 57 | 66 | 66 | 15.2 | 16.4 | ▲ 0.4 | 0.2 |
| | 共済組合 | 620 | 602 | 588 | 524 | ▲ 2.9 | ▲ 2.2 | ▲ 11.0 | 1.2 |
| | 本人 | 277 | 271 | 272 | 249 | ▲ 2.0 | 0.3 | ▲ 8.6 | 0.6 |
| 算 | 家族(未就学者以外) | 239 | 227 | 215 | 191 | ▲ 5.2 | ▲ 5.3 | ▲ 11.2 | 0.5 |
| | 家族(未就学者) | 83 | 83 | 83 | 66 | ▲ 0.3 | ▲ 0.5 | ▲ 19.9 | 0.2 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 18 | 18 | 17 | 16 | ▲ 0.5 | ▲ 7.5 | ▲ 6.6 | 0.0 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 2 | 2 | 2 | 2 | 12.6 | 1.8 | 4.7 | 0.0 |
| | 組合健保 | 1,945 | 1,926 | 1,867 | 1,660 | ▲ 1.0 | ▲ 3.0 | ▲ 11.1 | 3.9 |
| | 本人 | 898 | 904 | 886 | 814 | 0.7 | ▲ 2.1 | ▲ 8.2 | 1.9 |
| | 家族(未就学者以外) | 736 | 708 | 674 | 590 | ▲ 3.8 | ▲ 4.8 | ▲ 12.4 | 1.4 |
| | 家族(未就学者) | 216 | 216 | 206 | 160 | 0.3 | ▲ 4.9 | ▲ 22.3 | 0.4 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 74 | 75 | 77 | 73 | 0.7 | 3.1 | ▲ 5.9 | 0.2 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 21 | 22 | 25 | 24 | 6.1 | 12.0 | ▲ 2.8 | 0.1 |
| 処 | 国民健康保険 | 11,387 | 11,004 | 10,718 | 10,053 | ▲ 3.4 | ▲ 2.6 | ▲ 6.2 | 23.7 |
| | 市町村国保 | 11,093 | 10,720 | 10,441 | 9,806 | ▲ 3.4 | ▲ 2.6 | ▲ 6.1 | 23.2 |
| | 70歳未満(未就学者以外) | 8,019 | 7,570 | 7,183 | 6,577 | ▲ 5.6 | ▲ 5.1 | ▲ 8.4 | 15.5 |
| | 未就学者 | 89 | 81 | 75 | 57 | ▲ 8.7 | ▲ 7.1 | ▲ 23.9 | 0.1 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 2,850 | 2,929 | 3,042 | 3,037 | 2.8 | 3.8 | ▲ 0.2 | 7.2 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 135 | 140 | 141 | 135 | 3.4 | 1.0 | ▲ 4.6 | 0.3 |
| | 国保組合 | 294 | 284 | 277 | 248 | ▲ 3.4 | ▲ 2.4 | ▲ 10.6 | 0.6 |
| | 70歳未満(未就学者以外) | 229 | 219 | 210 | 186 | ▲ 4.4 | ▲ 4.2 | ▲ 11.3 | 0.4 |
| | 未就学者 | 17 | 17 | 16 | 13 | ▲ 3.8 | ▲ 1.0 | ▲ 22.5 | 0.0 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 35 | 35 | 36 | 34 | 0.6 | 3.1 | ▲ 5.3 | 0.1 |
| 分 | 高齢受給者(現役並み) | 13 | 13 | 15 | 15 | 5.0 | 9.8 | ▲ 0.4 | 0.0 |
| | 後期高齢者医療制度 | 24,123 | 24,364 | 24,626 | 23,325 | 1.0 | 1.1 | ▲ 5.3 | 55.1 |
| | 現役並み以外 | 23,105 | 23,321 | 23,570 | 22,371 | 0.9 | 1.1 | ▲ 5.1 | 52.8 |
| | 現役並み | 1,018 | 1,043 | 1,056 | 954 | 2.5 | 1.2 | ▲ 9.7 | 2.3 |
| | 公費 | 3,721 | 3,684 | 3,697 | 3,518 | ▲ 1.0 | 0.3 | ▲ 4.8 | 8.3 |

【表 I -2-3】入院 件数(制度別)

| | | 実数(万件) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-----------|---------------|--------|--------|-------|-------|----------|-------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 | 総数 | 2,953 | 2,947 | 2,941 | 2,704 | ▲ 0.2 | ▲ 0.2 | ▲ 8.1 | 100.0 |
| | 被用者保険 | 667 | 667 | 669 | 594 | 0.1 | 0.2 | ▲ 11.2 | 22.0 |
| | 協会一般 | 364 | 366 | 375 | 337 | 0.8 | 2.2 | ▲ 10.1 | 12.5 |
| | 本人 | 181 | 184 | 191 | 178 | 1.6 | 3.9 | ▲ 6.5 | 6.6 |
| | 家族(未就学者以外) | 113 | 110 | 109 | 95 | ▲ 2.5 | ▲ 1.7 | ▲ 12.5 | 3.5 |
| | 家族(未就学者) | 43 | 43 | 42 | 30 | ▲ 1.1 | ▲ 1.6 | ▲ 28.8 | 1.1 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 21 | 24 | 27 | 27 | 11.1 | 11.1 | 0.7 | 1.0 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 5 | 6 | 7 | 7 | 18.4 | 15.8 | ▲ 1.8 | 0.2 |
| | 共済組合 | 73 | 72 | 71 | 62 | ▲ 1.8 | ▲ 1.2 | ▲ 11.8 | 2.3 |
| | 本人 | 34 | 34 | 34 | 32 | ▲ 1.0 | 1.0 | ▲ 6.3 | 1.2 |
| 算 | 家族(未就学者以外) | 24 | 23 | 22 | 19 | ▲ 4.4 | ▲ 4.4 | ▲ 13.0 | 0.7 |
| | 家族(未就学者) | 14 | 14 | 14 | 10 | 0.5 | ▲ 1.2 | ▲ 24.4 | 0.4 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 1 | 1 | 1 | 1 | ▲ 1.5 | ▲ 5.3 | ▲ 7.4 | 0.0 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 0 | 0 | 0 | 0 | 15.9 | 2.2 | 3.1 | 0.0 |
| | 組合健保 | 228 | 228 | 222 | 193 | ▲ 0.4 | ▲ 2.6 | ▲ 12.8 | 7.2 |
| | 本人 | 111 | 113 | 111 | 102 | 1.3 | ▲ 1.6 | ▲ 8.3 | 3.8 |
| 処 | 家族(未就学者以外) | 75 | 72 | 69 | 59 | ▲ 3.4 | ▲ 4.5 | ▲ 14.0 | 2.2 |
| | 家族(未就学者) | 34 | 34 | 33 | 24 | ▲ 0.2 | ▲ 3.6 | ▲ 26.9 | 0.9 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 6 | 6 | 6 | 6 | 1.8 | 3.6 | ▲ 6.8 | 0.2 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 2 | 2 | 3 | 2 | 9.3 | 10.5 | ▲ 5.1 | 0.1 |
| | 国民健康保険 | 728 | 703 | 682 | 625 | ▲ 3.4 | ▲ 3.0 | ▲ 8.4 | 23.1 |
| 理 | 市町村国保 | 698 | 674 | 653 | 599 | ▲ 3.5 | ▲ 3.1 | ▲ 8.3 | 22.2 |
| | 70歳未満(未就学者以外) | 473 | 443 | 417 | 373 | ▲ 6.2 | ▲ 6.0 | ▲ 10.7 | 13.8 |
| | 未就学者 | 13 | 12 | 11 | 8 | ▲ 8.7 | ▲ 8.4 | ▲ 30.3 | 0.3 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 200 | 206 | 213 | 207 | 3.0 | 3.1 | ▲ 2.6 | 7.7 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 12 | 13 | 13 | 12 | 3.8 | 0.9 | ▲ 6.4 | 0.4 |
| 分 | 国保組合 | 30 | 29 | 29 | 25 | ▲ 1.9 | ▲ 1.6 | ▲ 11.4 | 0.9 |
| | 70歳未満(未就学者以外) | 23 | 22 | 22 | 19 | ▲ 3.1 | ▲ 3.1 | ▲ 10.9 | 0.7 |
| | 未就学者 | 3 | 3 | 3 | 2 | ▲ 1.8 | ▲ 1.4 | ▲ 27.8 | 0.1 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 3 | 3 | 3 | 3 | 3.0 | 4.1 | ▲ 5.3 | 0.1 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 1 | 1 | 1 | 1 | 8.3 | 10.5 | ▲ 2.8 | 0.1 |
| 後期高齢者医療制度 | 現役並み以外 | 1,373 | 1,393 | 1,406 | 1,311 | 1.5 | 1.0 | ▲ 6.8 | 48.5 |
| | 現役並み | 1,303 | 1,321 | 1,333 | 1,246 | 1.4 | 1.0 | ▲ 6.6 | 46.1 |
| | 公費 | 70 | 72 | 73 | 65 | 3.3 | 1.3 | ▲ 10.7 | 2.4 |
| 公費 | 185 | 184 | 185 | 174 | ▲ 0.6 | 0.3 | ▲ 5.7 | 6.4 | |

【表 I -2-4】入院 1日当たり医療費(制度別)

| | | 実数(千円) | | | | 対前年度比(%) | | |
|-------------|---------------|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 電 算 | 総数 | 35.5 | 36.4 | 37.3 | 38.2 | 2.5 | 2.4 | 2.6 |
| | 被用者保険 | 52.2 | 54.1 | 55.8 | 58.5 | 3.6 | 3.2 | 4.9 |
| | 協会一般 | 50.9 | 52.7 | 54.3 | 57.0 | 3.6 | 3.1 | 4.9 |
| | 本人 | 57.0 | 58.8 | 60.4 | 63.6 | 3.2 | 2.8 | 5.3 |
| | 家族(未就学者以外) | 41.2 | 42.5 | 43.7 | 45.3 | 3.3 | 2.8 | 3.6 |
| | 家族(未就学者) | 63.3 | 65.7 | 67.4 | 72.8 | 3.8 | 2.5 | 8.1 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 48.2 | 50.2 | 52.1 | 54.5 | 4.2 | 3.8 | 4.7 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 58.6 | 61.3 | 62.5 | 65.8 | 4.5 | 2.0 | 5.3 |
| | 共済組合 | 51.8 | 53.8 | 55.5 | 58.5 | 3.8 | 3.3 | 5.3 |
| | 本人 | 55.9 | 57.4 | 59.2 | 62.7 | 2.6 | 3.2 | 5.8 |
| | 家族(未就学者以外) | 43.6 | 45.6 | 47.2 | 48.7 | 4.7 | 3.4 | 3.3 |
| | 家族(未就学者) | 63.9 | 66.3 | 67.3 | 73.4 | 3.9 | 1.5 | 9.0 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 41.8 | 43.2 | 44.0 | 46.6 | 3.4 | 2.0 | 5.7 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 63.7 | 66.1 | 66.7 | 70.4 | 3.7 | 1.0 | 5.5 |
| 処 | 組合健保 | 54.8 | 56.8 | 58.8 | 61.6 | 3.7 | 3.4 | 4.9 |
| | 本人 | 60.0 | 61.8 | 63.8 | 66.9 | 3.1 | 3.2 | 4.9 |
| | 家族(未就学者以外) | 45.7 | 47.4 | 49.2 | 51.3 | 3.8 | 3.8 | 4.1 |
| | 家族(未就学者) | 65.5 | 68.0 | 69.6 | 75.1 | 3.8 | 2.4 | 7.8 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 49.6 | 50.8 | 53.0 | 55.3 | 2.3 | 4.2 | 4.5 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 59.9 | 62.5 | 64.1 | 67.2 | 4.3 | 2.5 | 4.8 |
| 理 分 | 国民健康保険 | 36.4 | 37.2 | 37.8 | 38.6 | 2.0 | 1.8 | 1.9 |
| | 市町村国保 | 36.0 | 36.7 | 37.3 | 38.0 | 2.0 | 1.7 | 1.9 |
| | 70歳未満(未就学者以外) | 33.1 | 33.5 | 33.8 | 34.2 | 1.2 | 1.0 | 1.2 |
| | 未就学者 | 64.0 | 65.6 | 67.5 | 71.7 | 2.4 | 3.0 | 6.3 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 42.2 | 43.0 | 43.8 | 44.6 | 2.1 | 1.7 | 1.8 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 55.8 | 57.8 | 58.9 | 61.2 | 3.7 | 1.8 | 3.9 |
| | 国保組合 | 53.8 | 55.7 | 57.5 | 60.0 | 3.6 | 3.1 | 4.4 |
| | 70歳未満(未就学者以外) | 53.1 | 54.9 | 56.7 | 59.1 | 3.3 | 3.2 | 4.4 |
| | 未就学者 | 65.9 | 67.5 | 69.9 | 74.3 | 2.5 | 3.5 | 6.3 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 49.8 | 52.6 | 53.9 | 56.4 | 5.6 | 2.5 | 4.6 |
| 高齢受給者(現役並み) | 60.6 | 62.9 | 64.0 | 66.4 | 3.7 | 1.7 | 3.7 | |
| 後期高齢者医療制度 | 後期高齢者医療制度 | 32.3 | 33.1 | 33.9 | 34.8 | 2.5 | 2.5 | 2.6 |
| | 現役並み以外 | 31.9 | 32.7 | 33.5 | 34.4 | 2.5 | 2.5 | 2.6 |
| | 現役並み | 40.8 | 41.9 | 43.1 | 44.9 | 2.7 | 2.8 | 4.3 |
| | 公費 | 26.2 | 26.8 | 27.5 | 28.3 | 2.4 | 2.6 | 2.7 |

【表 I -2-5】入院 1 件当たり日数(制度別)

| | | 実数(日) | | | | 対前年度比(%) | | |
|-------------|---------------|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 電 | 総数 | 15.3 | 15.3 | 15.3 | 15.7 | ▲ 0.3 | 0.1 | 2.2 |
| | 被用者保険 | 9.1 | 9.1 | 9.0 | 9.2 | ▲ 0.7 | ▲ 0.4 | 1.6 |
| | 協会一般 | 9.6 | 9.6 | 9.5 | 9.7 | ▲ 0.8 | ▲ 0.5 | 1.5 |
| | 本人 | 8.9 | 8.8 | 8.7 | 8.6 | ▲ 1.2 | ▲ 0.8 | ▲ 0.7 |
| | 家族(未就学者以外) | 11.6 | 11.6 | 11.6 | 11.8 | ▲ 0.2 | ▲ 0.2 | 2.0 |
| | 家族(未就学者) | 6.3 | 6.3 | 6.3 | 6.7 | 0.2 | 0.2 | 6.8 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 12.4 | 12.2 | 12.1 | 12.1 | ▲ 1.8 | ▲ 1.2 | 0.4 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 10.2 | 9.9 | 9.9 | 10.1 | ▲ 2.7 | 0.6 | 1.3 |
| | 共済組合 | 8.5 | 8.4 | 8.3 | 8.4 | ▲ 1.1 | ▲ 1.0 | 0.9 |
| | 本人 | 8.1 | 8.0 | 7.9 | 7.7 | ▲ 1.0 | ▲ 0.7 | ▲ 2.4 |
| 算 | 家族(未就学者以外) | 10.1 | 10.1 | 10.0 | 10.2 | ▲ 0.8 | ▲ 0.9 | 2.1 |
| | 家族(未就学者) | 6.1 | 6.1 | 6.1 | 6.5 | ▲ 0.8 | 0.7 | 6.0 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 14.3 | 14.4 | 14.1 | 14.2 | 1.1 | ▲ 2.3 | 0.9 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 9.8 | 9.6 | 9.5 | 9.7 | ▲ 2.8 | ▲ 0.5 | 1.5 |
| | 組合健保 | 8.5 | 8.5 | 8.4 | 8.6 | ▲ 0.6 | ▲ 0.5 | 1.9 |
| | 本人 | 8.1 | 8.0 | 8.0 | 8.0 | ▲ 0.6 | ▲ 0.4 | 0.2 |
| | 家族(未就学者以外) | 9.8 | 9.8 | 9.8 | 10.0 | ▲ 0.4 | ▲ 0.3 | 1.8 |
| | 家族(未就学者) | 6.3 | 6.3 | 6.2 | 6.6 | 0.5 | ▲ 1.3 | 6.2 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 12.3 | 12.2 | 12.1 | 12.2 | ▲ 1.1 | ▲ 0.5 | 0.9 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 10.1 | 9.8 | 9.9 | 10.1 | ▲ 3.0 | 1.3 | 2.4 |
| 処 | 国民健康保険 | 15.6 | 15.6 | 15.7 | 16.1 | 0.0 | 0.5 | 2.4 |
| | 市町村国保 | 15.9 | 15.9 | 16.0 | 16.4 | 0.1 | 0.5 | 2.4 |
| | 70歳未満(未就学者以外) | 17.0 | 17.1 | 17.2 | 17.7 | 0.7 | 0.9 | 2.5 |
| | 未就学者 | 6.8 | 6.8 | 6.9 | 7.5 | 0.0 | 1.3 | 9.2 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 14.2 | 14.2 | 14.3 | 14.7 | ▲ 0.2 | 0.7 | 2.6 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 11.0 | 10.9 | 10.9 | 11.1 | ▲ 0.4 | 0.1 | 1.9 |
| | 国保組合 | 9.9 | 9.8 | 9.7 | 9.8 | ▲ 1.5 | ▲ 0.9 | 0.9 |
| | 70歳未満(未就学者以外) | 10.0 | 9.8 | 9.7 | 9.7 | ▲ 1.4 | ▲ 1.1 | ▲ 0.5 |
| | 未就学者 | 6.4 | 6.3 | 6.3 | 6.8 | ▲ 2.1 | 0.4 | 7.5 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 12.4 | 12.1 | 12.0 | 12.0 | ▲ 2.4 | ▲ 1.0 | ▲ 0.0 |
| 高齢受給者(現役並み) | 10.5 | 10.2 | 10.2 | 10.4 | ▲ 3.1 | ▲ 0.6 | 2.4 | |
| 分 | 後期高齢者医療制度 | 17.6 | 17.5 | 17.5 | 17.8 | ▲ 0.5 | 0.1 | 1.6 |
| | 現役並み以外 | 17.7 | 17.7 | 17.7 | 18.0 | ▲ 0.4 | 0.1 | 1.6 |
| | 現役並み | 14.6 | 14.5 | 14.5 | 14.6 | ▲ 0.8 | ▲ 0.0 | 1.1 |
| | 公費 | 20.1 | 20.0 | 20.0 | 20.2 | ▲ 0.4 | 0.1 | 0.9 |

【表 I -2-6】入院 推計新規入院件数(制度別)

| | | 実数(万件) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|---|---------------|---------|---------|---------|---------|----------|-------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 | 総数 | 1,512.3 | 1,514.3 | 1,513.2 | 1,355.9 | 0.1 | ▲ 0.1 | ▲ 10.4 | 100.0 |
| | 被用者保険 | 482.4 | 484.3 | 486.7 | 428.8 | 0.4 | 0.5 | ▲ 11.9 | 31.6 |
| | 協会一般 | 256.8 | 259.8 | 266.5 | 237.6 | 1.2 | 2.6 | ▲ 10.8 | 17.5 |
| | 本人 | 132.6 | 135.3 | 141.2 | 132.2 | 2.1 | 4.3 | ▲ 6.3 | 9.8 |
| | 家族(未就学者以外) | 72.4 | 70.7 | 69.7 | 60.1 | ▲ 2.3 | ▲ 1.5 | ▲ 13.7 | 4.4 |
| | 家族(未就学者) | 35.3 | 34.9 | 34.4 | 24.0 | ▲ 1.2 | ▲ 1.6 | ▲ 30.1 | 1.8 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 13.1 | 14.8 | 16.6 | 16.6 | 12.5 | 12.2 | 0.3 | 1.2 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 3.3 | 4.0 | 4.6 | 4.5 | 20.1 | 15.6 | ▲ 2.5 | 0.3 |
| | 共済組合 | 54.4 | 53.7 | 53.3 | 46.8 | ▲ 1.4 | ▲ 0.8 | ▲ 12.2 | 3.5 |
| | 本人 | 26.1 | 25.9 | 26.3 | 24.8 | ▲ 0.6 | 1.4 | ▲ 5.6 | 1.8 |
| 算 | 家族(未就学者以外) | 16.3 | 15.6 | 15.0 | 12.9 | ▲ 4.1 | ▲ 3.8 | ▲ 14.0 | 1.0 |
| | 家族(未就学者) | 11.2 | 11.3 | 11.2 | 8.3 | 0.7 | ▲ 1.3 | ▲ 25.6 | 0.6 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 0.7 | 0.7 | 0.7 | 0.6 | ▲ 2.4 | ▲ 3.1 | ▲ 8.3 | 0.0 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 0.1 | 0.2 | 0.2 | 0.2 | 17.5 | 2.6 | 2.3 | 0.0 |
| | 組合健保 | 170.1 | 169.8 | 165.9 | 143.5 | ▲ 0.2 | ▲ 2.3 | ▲ 13.5 | 10.6 |
| | 本人 | 84.4 | 85.7 | 84.5 | 77.4 | 1.5 | ▲ 1.4 | ▲ 8.4 | 5.7 |
| | 家族(未就学者以外) | 52.2 | 50.5 | 48.4 | 41.2 | ▲ 3.3 | ▲ 4.3 | ▲ 14.8 | 3.0 |
| | 家族(未就学者) | 28.3 | 28.2 | 27.3 | 19.7 | ▲ 0.3 | ▲ 3.2 | ▲ 28.1 | 1.4 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 3.7 | 3.8 | 4.0 | 3.7 | 2.5 | 4.2 | ▲ 7.5 | 0.3 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 1.4 | 1.6 | 1.8 | 1.6 | 10.9 | 10.0 | ▲ 6.4 | 0.1 |
| 処 | 国民健康保険 | 365.7 | 353.3 | 341.9 | 304.1 | ▲ 3.4 | ▲ 3.2 | ▲ 11.0 | 22.4 |
| | 市町村国保 | 345.1 | 332.9 | 321.7 | 286.3 | ▲ 3.5 | ▲ 3.4 | ▲ 11.0 | 21.1 |
| | 70歳未満(未就学者以外) | 216.3 | 201.2 | 187.7 | 161.7 | ▲ 7.0 | ▲ 6.7 | ▲ 13.8 | 11.9 |
| | 未就学者 | 10.5 | 9.6 | 8.8 | 6.0 | ▲ 8.7 | ▲ 8.7 | ▲ 32.2 | 0.4 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 110.1 | 113.5 | 116.7 | 110.7 | 3.2 | 2.8 | ▲ 5.1 | 8.2 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 8.2 | 8.5 | 8.6 | 7.9 | 4.0 | 0.9 | ▲ 7.5 | 0.6 |
| | 国保組合 | 20.7 | 20.4 | 20.2 | 17.8 | ▲ 1.2 | ▲ 1.1 | ▲ 11.9 | 1.3 |
| | 70歳未満(未就学者以外) | 15.9 | 15.6 | 15.2 | 13.5 | ▲ 2.4 | ▲ 2.4 | ▲ 10.8 | 1.0 |
| | 未就学者 | 2.2 | 2.2 | 2.1 | 1.5 | ▲ 1.2 | ▲ 1.4 | ▲ 29.3 | 0.1 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 1.7 | 1.8 | 1.9 | 1.8 | 4.7 | 5.0 | ▲ 5.4 | 0.1 |
| 分 | 高齢受給者(現役並み) | 0.8 | 0.9 | 1.0 | 1.0 | 10.1 | 11.0 | ▲ 4.1 | 0.1 |
| | 後期高齢者医療制度 | 599.2 | 611.7 | 619.1 | 562.7 | 2.1 | 1.2 | ▲ 9.1 | 41.5 |
| | 現役並み以外 | 561.7 | 572.7 | 579.5 | 527.8 | 2.0 | 1.2 | ▲ 8.9 | 38.9 |
| | 現役並み | 37.5 | 39.0 | 39.6 | 34.9 | 4.1 | 1.5 | ▲ 11.8 | 2.6 |
| | 公費 | 65.0 | 65.1 | 65.5 | 60.3 | 0.1 | 0.6 | ▲ 7.9 | 4.4 |

【表 I -2-7】入院 推計平均在院日数(制度別)

| | | 実数(日) | | | | 対前年度比(%) | | |
|-------------|---------------|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 電 | 総数 | 30.0 | 29.8 | 29.8 | 31.2 | ▲ 0.6 | 0.0 | 4.8 |
| | 被用者保険 | 12.6 | 12.5 | 12.4 | 12.7 | ▲ 1.0 | ▲ 0.7 | 2.5 |
| | 協会一般 | 13.7 | 13.5 | 13.4 | 13.7 | ▲ 1.2 | ▲ 0.9 | 2.3 |
| | 本人 | 12.1 | 11.9 | 11.7 | 11.6 | ▲ 1.7 | ▲ 1.2 | ▲ 0.9 |
| | 家族(未就学者以外) | 18.2 | 18.1 | 18.0 | 18.6 | ▲ 0.4 | ▲ 0.4 | 3.4 |
| | 家族(未就学者) | 7.6 | 7.6 | 7.7 | 8.3 | 0.2 | 0.1 | 8.8 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 20.4 | 19.8 | 19.3 | 19.5 | ▲ 2.9 | ▲ 2.2 | 0.8 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 14.8 | 14.2 | 14.3 | 14.6 | ▲ 4.0 | 0.7 | 2.1 |
| | 共済組合 | 11.4 | 11.2 | 11.0 | 11.2 | ▲ 1.6 | ▲ 1.4 | 1.3 |
| | 本人 | 10.6 | 10.5 | 10.3 | 10.0 | ▲ 1.4 | ▲ 1.1 | ▲ 3.1 |
| 算 | 家族(未就学者以外) | 14.7 | 14.5 | 14.3 | 14.8 | ▲ 1.1 | ▲ 1.5 | 3.3 |
| | 家族(未就学者) | 7.4 | 7.4 | 7.4 | 8.0 | ▲ 1.0 | 0.8 | 7.6 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 26.0 | 26.5 | 25.3 | 25.8 | 2.0 | ▲ 4.5 | 1.8 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 14.1 | 13.5 | 13.4 | 13.7 | ▲ 4.1 | ▲ 0.8 | 2.3 |
| | 組合健保 | 11.4 | 11.3 | 11.3 | 11.6 | ▲ 0.8 | ▲ 0.7 | 2.8 |
| | 本人 | 10.6 | 10.6 | 10.5 | 10.5 | ▲ 0.8 | ▲ 0.7 | 0.3 |
| | 家族(未就学者以外) | 14.1 | 14.0 | 13.9 | 14.3 | ▲ 0.5 | ▲ 0.5 | 2.8 |
| | 家族(未就学者) | 7.6 | 7.7 | 7.5 | 8.1 | 0.6 | ▲ 1.7 | 8.0 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 20.0 | 19.6 | 19.4 | 19.7 | ▲ 1.8 | ▲ 1.1 | 1.7 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 14.6 | 13.9 | 14.2 | 14.7 | ▲ 4.4 | 1.8 | 3.8 |
| 処 | 国民健康保険 | 31.1 | 31.1 | 31.4 | 33.1 | 0.0 | 0.6 | 5.5 |
| | 市町村国保 | 32.1 | 32.2 | 32.5 | 34.2 | 0.2 | 0.8 | 5.5 |
| | 70歳未満(未就学者以外) | 37.1 | 37.6 | 38.3 | 40.7 | 1.5 | 1.7 | 6.3 |
| | 未就学者 | 8.4 | 8.4 | 8.6 | 9.6 | 0.0 | 1.7 | 12.3 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 25.9 | 25.8 | 26.1 | 27.4 | ▲ 0.4 | 1.1 | 5.2 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 16.6 | 16.5 | 16.5 | 17.0 | ▲ 0.6 | 0.1 | 3.1 |
| | 国保組合 | 14.2 | 13.9 | 13.7 | 13.9 | ▲ 2.2 | ▲ 1.4 | 1.5 |
| | 70歳未満(未就学者以外) | 14.4 | 14.1 | 13.8 | 13.7 | ▲ 2.1 | ▲ 1.8 | ▲ 0.6 |
| | 未就学者 | 7.9 | 7.7 | 7.7 | 8.4 | ▲ 2.6 | 0.4 | 9.7 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 20.3 | 19.5 | 19.1 | 19.1 | ▲ 3.9 | ▲ 1.9 | 0.1 |
| 高齢受給者(現役並み) | 15.6 | 14.9 | 14.7 | 15.3 | ▲ 4.7 | ▲ 1.1 | 3.8 | |
| 分 | 後期高齢者医療制度 | 40.3 | 39.8 | 39.8 | 41.4 | ▲ 1.1 | ▲ 0.1 | 4.2 |
| | 現役並み以外 | 41.1 | 40.7 | 40.7 | 42.4 | ▲ 1.0 | ▲ 0.1 | 4.2 |
| | 現役並み | 27.2 | 26.7 | 26.7 | 27.3 | ▲ 1.6 | ▲ 0.2 | 2.4 |
| | 公費 | 57.2 | 56.6 | 56.4 | 58.3 | ▲ 1.1 | ▲ 0.3 | 3.3 |

【表 I -3-1】入院外 医療費(制度別)

| | | 実数(億円) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|---|---------------|---------|---------|---------|---------|----------|-------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 | 総数 | 140,792 | 142,399 | 145,506 | 139,219 | 1.1 | 2.2 | ▲ 4.3 | 100.0 |
| | 被用者保険 | 50,716 | 52,001 | 53,517 | 50,625 | 2.5 | 2.9 | ▲ 5.4 | 36.4 |
| | 協会一般 | 26,523 | 27,430 | 28,871 | 27,593 | 3.4 | 5.3 | ▲ 4.4 | 19.8 |
| | 本人 | 14,553 | 15,186 | 16,240 | 15,982 | 4.3 | 6.9 | ▲ 1.6 | 11.5 |
| | 家族(未就学者以外) | 7,924 | 7,982 | 8,102 | 7,481 | 0.7 | 1.5 | ▲ 7.7 | 5.4 |
| | 家族(未就学者) | 2,400 | 2,352 | 2,306 | 1,746 | ▲ 2.0 | ▲ 2.0 | ▲ 24.3 | 1.3 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 1,320 | 1,509 | 1,737 | 1,868 | 14.3 | 15.2 | 7.5 | 1.3 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 326 | 402 | 485 | 516 | 23.3 | 20.8 | 6.4 | 0.4 |
| | 共済組合 | 5,485 | 5,500 | 5,561 | 5,234 | 0.3 | 1.1 | ▲ 5.9 | 3.8 |
| | 本人 | 2,842 | 2,886 | 2,968 | 2,953 | 1.5 | 2.8 | ▲ 0.5 | 2.1 |
| 算 | 家族(未就学者以外) | 1,800 | 1,770 | 1,755 | 1,604 | ▲ 1.7 | ▲ 0.9 | ▲ 8.6 | 1.2 |
| | 家族(未就学者) | 751 | 752 | 743 | 583 | 0.1 | ▲ 1.2 | ▲ 21.5 | 0.4 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 77 | 75 | 76 | 73 | ▲ 3.0 | 1.4 | ▲ 3.9 | 0.1 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 14 | 17 | 19 | 20 | 18.3 | 12.5 | 5.6 | 0.0 |
| | 組合健保 | 18,621 | 18,984 | 18,998 | 17,718 | 2.0 | 0.1 | ▲ 6.7 | 12.7 |
| | 本人 | 9,835 | 10,197 | 10,310 | 10,060 | 3.7 | 1.1 | ▲ 2.4 | 7.2 |
| | 家族(未就学者以外) | 6,161 | 6,155 | 6,096 | 5,536 | ▲ 0.1 | ▲ 1.0 | ▲ 9.2 | 4.0 |
| | 家族(未就学者) | 2,082 | 2,050 | 1,963 | 1,481 | ▲ 1.6 | ▲ 4.2 | ▲ 24.6 | 1.1 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 399 | 416 | 442 | 451 | 4.3 | 6.3 | 2.0 | 0.3 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 144 | 166 | 186 | 191 | 15.5 | 12.1 | 2.7 | 0.1 |
| 処 | 国民健康保険 | 38,970 | 38,090 | 37,767 | 35,947 | ▲ 2.3 | ▲ 0.8 | ▲ 4.8 | 25.8 |
| | 市町村国保 | 36,854 | 35,978 | 35,633 | 33,935 | ▲ 2.4 | ▲ 1.0 | ▲ 4.8 | 24.4 |
| | 70歳未満(未就学者以外) | 24,460 | 23,139 | 22,171 | 20,388 | ▲ 5.4 | ▲ 4.2 | ▲ 8.0 | 14.6 |
| | 未就学者 | 643 | 588 | 536 | 386 | ▲ 8.6 | ▲ 8.7 | ▲ 28.0 | 0.3 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 10,955 | 11,409 | 12,039 | 12,270 | 4.2 | 5.5 | 1.9 | 8.8 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 797 | 841 | 886 | 891 | 5.6 | 5.3 | 0.5 | 0.6 |
| | 国保組合 | 2,115 | 2,112 | 2,134 | 2,012 | ▲ 0.2 | 1.1 | ▲ 5.7 | 1.4 |
| | 70歳未満(未就学者以外) | 1,718 | 1,704 | 1,704 | 1,605 | ▲ 0.8 | ▲ 0.0 | ▲ 5.8 | 1.2 |
| | 未就学者 | 151 | 147 | 144 | 109 | ▲ 3.1 | ▲ 1.9 | ▲ 24.5 | 0.1 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 168 | 173 | 186 | 192 | 3.2 | 7.6 | 3.2 | 0.1 |
| 分 | 高齢受給者(現役並み) | 79 | 89 | 101 | 107 | 12.8 | 13.6 | 6.0 | 0.1 |
| | 後期高齢者医療制度 | 45,029 | 46,204 | 48,016 | 46,616 | 2.6 | 3.9 | ▲ 2.9 | 33.5 |
| | 現役並み以外 | 41,958 | 42,999 | 44,668 | 43,390 | 2.5 | 3.9 | ▲ 2.9 | 31.2 |
| | 現役並み | 3,071 | 3,205 | 3,348 | 3,226 | 4.4 | 4.5 | ▲ 3.7 | 2.3 |
| | 公費 | 6,076 | 6,104 | 6,205 | 6,031 | 0.4 | 1.7 | ▲ 2.8 | 4.3 |

【表 I-3-2】入院外 受診延日数(制度別)

| | | 実数(万日) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-------------|---------------|---------|---------|---------|---------|----------|--------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 | 総数 | 161,443 | 160,444 | 158,459 | 142,557 | ▲ 0.6 | ▲ 1.2 | ▲ 10.0 | 100.0 |
| | 被用者保険 | 66,407 | 66,930 | 66,632 | 58,500 | 0.8 | ▲ 0.4 | ▲ 12.2 | 41.0 |
| | 協会一般 | 33,711 | 34,228 | 34,882 | 31,107 | 1.5 | 1.9 | ▲ 10.8 | 21.8 |
| | 本人 | 17,293 | 17,760 | 18,490 | 17,324 | 2.7 | 4.1 | ▲ 6.3 | 12.2 |
| | 家族(未就学者以外) | 10,451 | 10,396 | 10,270 | 8,920 | ▲ 0.5 | ▲ 1.2 | ▲ 13.1 | 6.3 |
| | 家族(未就学者) | 4,286 | 4,169 | 3,999 | 2,676 | ▲ 2.7 | ▲ 4.1 | ▲ 33.1 | 1.9 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 1,370 | 1,526 | 1,687 | 1,741 | 11.4 | 10.6 | 3.2 | 1.2 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 312 | 376 | 435 | 446 | 20.7 | 15.8 | 2.6 | 0.3 |
| | 共済組合 | 7,586 | 7,524 | 7,413 | 6,471 | ▲ 0.8 | ▲ 1.5 | ▲ 12.7 | 4.5 |
| | 本人 | 3,517 | 3,531 | 3,541 | 3,348 | 0.4 | 0.3 | ▲ 5.5 | 2.3 |
| | 家族(未就学者以外) | 2,620 | 2,560 | 2,480 | 2,134 | ▲ 2.3 | ▲ 3.1 | ▲ 14.0 | 1.5 |
| | 家族(未就学者) | 1,352 | 1,341 | 1,301 | 903 | ▲ 0.8 | ▲ 2.9 | ▲ 30.6 | 0.6 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 83 | 78 | 74 | 70 | ▲ 6.5 | ▲ 4.1 | ▲ 6.6 | 0.0 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 13 | 15 | 16 | 17 | 17.7 | 6.7 | 1.1 | 0.0 |
| 算 | 組合健保 | 25,003 | 25,073 | 24,234 | 20,835 | 0.3 | ▲ 3.3 | ▲ 14.0 | 14.6 |
| | 本人 | 11,876 | 12,129 | 11,850 | 10,888 | 2.1 | ▲ 2.3 | ▲ 8.1 | 7.6 |
| | 家族(未就学者以外) | 8,796 | 8,690 | 8,346 | 7,100 | ▲ 1.2 | ▲ 4.0 | ▲ 14.9 | 5.0 |
| | 家族(未就学者) | 3,763 | 3,662 | 3,425 | 2,249 | ▲ 2.7 | ▲ 6.5 | ▲ 34.3 | 1.6 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 425 | 431 | 437 | 426 | 1.3 | 1.5 | ▲ 2.6 | 0.3 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 143 | 162 | 176 | 173 | 12.9 | 9.1 | ▲ 1.9 | 0.1 |
| 処 | 国民健康保険 | 41,304 | 39,499 | 37,746 | 33,982 | ▲ 4.4 | ▲ 4.4 | ▲ 10.0 | 23.8 |
| | 市町村国保 | 38,799 | 37,036 | 35,332 | 31,860 | ▲ 4.5 | ▲ 4.6 | ▲ 9.8 | 22.3 |
| | 70歳未満(未就学者以外) | 25,148 | 23,385 | 21,701 | 18,995 | ▲ 7.0 | ▲ 7.2 | ▲ 12.5 | 13.3 |
| | 未就学者 | 1,109 | 1,003 | 895 | 565 | ▲ 9.6 | ▲ 10.8 | ▲ 36.9 | 0.4 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 11,729 | 11,801 | 11,875 | 11,479 | 0.6 | 0.6 | ▲ 3.3 | 8.1 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 813 | 847 | 861 | 821 | 4.1 | 1.7 | ▲ 4.6 | 0.6 |
| | 国保組合 | 2,505 | 2,464 | 2,414 | 2,121 | ▲ 1.7 | ▲ 2.0 | ▲ 12.1 | 1.5 |
| | 70歳未満(未就学者以外) | 2,003 | 1,960 | 1,912 | 1,704 | ▲ 2.1 | ▲ 2.5 | ▲ 10.8 | 1.2 |
| | 未就学者 | 265 | 256 | 244 | 162 | ▲ 3.4 | ▲ 4.6 | ▲ 33.7 | 0.1 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 166 | 168 | 172 | 168 | 1.2 | 1.9 | ▲ 2.1 | 0.1 |
| 高齢受給者(現役並み) | 71 | 79 | 86 | 87 | 11.5 | 8.9 | 1.5 | 0.1 | |
| 分 | 後期高齢者医療制度 | 47,932 | 48,332 | 48,496 | 44,892 | 0.8 | 0.3 | ▲ 7.4 | 31.5 |
| | 現役並み以外 | 44,877 | 45,195 | 45,324 | 41,988 | 0.7 | 0.3 | ▲ 7.4 | 29.5 |
| | 現役並み | 3,055 | 3,136 | 3,173 | 2,904 | 2.7 | 1.2 | ▲ 8.5 | 2.0 |
| | 公費 | 5,800 | 5,683 | 5,586 | 5,184 | ▲ 2.0 | ▲ 1.7 | ▲ 7.2 | 3.6 |

【表 I -3-3】入院外 件数(制度別)

| | | 実数(万件) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-------------|---------------|---------|---------|---------|--------|----------|-------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 算 | 総数 | 102,618 | 103,315 | 103,200 | 94,212 | 0.7 | ▲ 0.1 | ▲ 8.7 | 100.0 |
| | 被用者保険 | 46,748 | 47,578 | 47,732 | 42,319 | 1.8 | 0.3 | ▲ 11.3 | 44.9 |
| | 協会一般 | 23,543 | 24,150 | 24,820 | 22,354 | 2.6 | 2.8 | ▲ 9.9 | 23.7 |
| | 本人 | 12,502 | 12,946 | 13,554 | 12,667 | 3.5 | 4.7 | ▲ 6.5 | 13.4 |
| | 家族(未就学者以外) | 7,289 | 7,324 | 7,291 | 6,371 | 0.5 | ▲ 0.5 | ▲ 12.6 | 6.8 |
| | 家族(未就学者) | 2,691 | 2,653 | 2,581 | 1,850 | ▲ 1.4 | ▲ 2.7 | ▲ 28.3 | 2.0 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 859 | 978 | 1,101 | 1,161 | 13.9 | 12.6 | 5.4 | 1.2 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 203 | 249 | 293 | 304 | 22.7 | 17.5 | 4.0 | 0.3 |
| | 共済組合 | 5,383 | 5,389 | 5,347 | 4,731 | 0.1 | ▲ 0.8 | ▲ 11.5 | 5.0 |
| | 本人 | 2,593 | 2,623 | 2,639 | 2,481 | 1.2 | 0.6 | ▲ 6.0 | 2.6 |
| | 家族(未就学者以外) | 1,877 | 1,849 | 1,805 | 1,563 | ▲ 1.5 | ▲ 2.4 | ▲ 13.4 | 1.7 |
| | 家族(未就学者) | 853 | 857 | 843 | 629 | 0.4 | ▲ 1.6 | ▲ 25.4 | 0.7 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 51 | 49 | 48 | 46 | ▲ 3.4 | ▲ 2.4 | ▲ 3.6 | 0.0 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 9 | 11 | 12 | 12 | 17.1 | 8.5 | 1.6 | 0.0 |
| 処 | 組合健保 | 17,748 | 17,966 | 17,492 | 15,171 | 1.2 | ▲ 2.6 | ▲ 13.3 | 16.1 |
| | 本人 | 8,756 | 9,008 | 8,836 | 8,039 | 2.9 | ▲ 1.9 | ▲ 9.0 | 8.5 |
| | 家族(未就学者以外) | 6,239 | 6,218 | 6,016 | 5,146 | ▲ 0.3 | ▲ 3.2 | ▲ 14.5 | 5.5 |
| | 家族(未就学者) | 2,391 | 2,355 | 2,236 | 1,582 | ▲ 1.5 | ▲ 5.1 | ▲ 29.3 | 1.7 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 266 | 276 | 285 | 284 | 3.5 | 3.3 | ▲ 0.2 | 0.3 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 95 | 109 | 120 | 120 | 14.5 | 10.3 | ▲ 0.1 | 0.1 |
| 理 分 | 国民健康保険 | 26,582 | 25,749 | 24,871 | 22,708 | ▲ 3.1 | ▲ 3.4 | ▲ 8.7 | 24.1 |
| | 市町村国保 | 24,837 | 24,013 | 23,155 | 21,184 | ▲ 3.3 | ▲ 3.6 | ▲ 8.5 | 22.5 |
| | 70歳未満(未就学者以外) | 16,320 | 15,313 | 14,312 | 12,621 | ▲ 6.2 | ▲ 6.5 | ▲ 11.8 | 13.4 |
| | 未就学者 | 719 | 659 | 596 | 401 | ▲ 8.4 | ▲ 9.6 | ▲ 32.8 | 0.4 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 7,262 | 7,476 | 7,666 | 7,597 | 3.0 | 2.5 | ▲ 0.9 | 8.1 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 536 | 565 | 581 | 566 | 5.4 | 2.9 | ▲ 2.5 | 0.6 |
| | 国保組合 | 1,745 | 1,736 | 1,716 | 1,523 | ▲ 0.5 | ▲ 1.1 | ▲ 11.2 | 1.6 |
| | 70歳未満(未就学者以外) | 1,426 | 1,410 | 1,385 | 1,237 | ▲ 1.1 | ▲ 1.7 | ▲ 10.7 | 1.3 |
| | 未就学者 | 170 | 167 | 161 | 114 | ▲ 2.1 | ▲ 3.4 | ▲ 28.9 | 0.1 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 103 | 107 | 111 | 111 | 3.9 | 4.4 | 0.1 | 0.1 |
| 高齢受給者(現役並み) | 46 | 53 | 58 | 60 | 13.5 | 10.5 | 3.0 | 0.1 | |
| 後期高齢者医療制度 | 後期高齢者医療制度 | 26,579 | 27,276 | 27,883 | 26,593 | 2.6 | 2.2 | ▲ 4.6 | 28.2 |
| | 現役並み以外 | 24,754 | 25,371 | 25,923 | 24,758 | 2.5 | 2.2 | ▲ 4.5 | 26.3 |
| | 現役並み | 1,825 | 1,905 | 1,959 | 1,836 | 4.4 | 2.9 | ▲ 6.3 | 1.9 |
| | 公費 | 2,709 | 2,711 | 2,715 | 2,592 | 0.1 | 0.1 | ▲ 4.5 | 2.8 |

【表 I -3-4】入院外 1日当たり医療費(制度別)

| | | 実数(千円) | | | | 対前年度比(%) | | |
|--------|---------------|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 電 算 | 総数 | 8.7 | 8.9 | 9.2 | 9.8 | 1.8 | 3.5 | 6.4 |
| | 被用者保険 | 7.6 | 7.8 | 8.0 | 8.7 | 1.7 | 3.4 | 7.7 |
| | 協会一般 | 7.9 | 8.0 | 8.3 | 8.9 | 1.9 | 3.3 | 7.2 |
| | 本人 | 8.4 | 8.6 | 8.8 | 9.2 | 1.6 | 2.7 | 5.0 |
| | 家族(未就学者以外) | 7.6 | 7.7 | 7.9 | 8.4 | 1.3 | 2.8 | 6.3 |
| | 家族(未就学者) | 5.6 | 5.6 | 5.8 | 6.5 | 0.7 | 2.2 | 13.2 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 9.6 | 9.9 | 10.3 | 10.7 | 2.6 | 4.2 | 4.2 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 10.5 | 10.7 | 11.1 | 11.6 | 2.2 | 4.3 | 3.7 |
| | 共済組合 | 7.2 | 7.3 | 7.5 | 8.1 | 1.1 | 2.6 | 7.8 |
| | 本人 | 8.1 | 8.2 | 8.4 | 8.8 | 1.2 | 2.5 | 5.3 |
| | 家族(未就学者以外) | 6.9 | 6.9 | 7.1 | 7.5 | 0.7 | 2.3 | 6.2 |
| | 家族(未就学者) | 5.6 | 5.6 | 5.7 | 6.5 | 0.9 | 1.8 | 13.2 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 9.3 | 9.7 | 10.2 | 10.5 | 3.7 | 5.8 | 2.9 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 10.8 | 10.8 | 11.4 | 11.9 | 0.5 | 5.5 | 4.4 |
| 処 | 組合健保 | 7.4 | 7.6 | 7.8 | 8.5 | 1.7 | 3.5 | 8.5 |
| | 本人 | 8.3 | 8.4 | 8.7 | 9.2 | 1.5 | 3.5 | 6.2 |
| | 家族(未就学者以外) | 7.0 | 7.1 | 7.3 | 7.8 | 1.1 | 3.1 | 6.7 |
| | 家族(未就学者) | 5.5 | 5.6 | 5.7 | 6.6 | 1.2 | 2.4 | 14.9 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 9.4 | 9.7 | 10.1 | 10.6 | 3.0 | 4.7 | 4.7 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 10.0 | 10.3 | 10.5 | 11.0 | 2.3 | 2.8 | 4.7 |
| 理 | 国民健康保険 | 9.4 | 9.6 | 10.0 | 10.6 | 2.2 | 3.8 | 5.7 |
| | 市町村国保 | 9.5 | 9.7 | 10.1 | 10.7 | 2.3 | 3.8 | 5.6 |
| | 70歳未満(未就学者以外) | 9.7 | 9.9 | 10.2 | 10.7 | 1.7 | 3.3 | 5.1 |
| | 未就学者 | 5.8 | 5.9 | 6.0 | 6.8 | 1.1 | 2.3 | 14.1 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 9.3 | 9.7 | 10.1 | 10.7 | 3.5 | 4.9 | 5.4 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 9.8 | 9.9 | 10.3 | 10.8 | 1.4 | 3.6 | 5.4 |
| | 国保組合 | 8.4 | 8.6 | 8.8 | 9.5 | 1.5 | 3.2 | 7.3 |
| 分 | 70歳未満(未就学者以外) | 8.6 | 8.7 | 8.9 | 9.4 | 1.3 | 2.5 | 5.7 |
| | 未就学者 | 5.7 | 5.7 | 5.9 | 6.7 | 0.4 | 2.9 | 13.9 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 10.1 | 10.3 | 10.9 | 11.4 | 1.9 | 5.6 | 5.4 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 11.1 | 11.2 | 11.7 | 12.3 | 1.1 | 4.4 | 4.4 |
| | 後期高齢者医療制度 | 9.4 | 9.6 | 9.9 | 10.4 | 1.8 | 3.6 | 4.9 |
| | 現役並み以外 | 9.3 | 9.5 | 9.9 | 10.3 | 1.8 | 3.6 | 4.9 |
| | 現役並み | 10.1 | 10.2 | 10.6 | 11.1 | 1.7 | 3.3 | 5.2 |
| | 公費 | 10.5 | 10.7 | 11.1 | 11.6 | 2.5 | 3.4 | 4.7 |

【表 I -3-5】入院外 1件当たり日数(制度別)

| | | 実数(日) | | | | 対前年度比(%) | | |
|-------------|---------------|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 電 算 | 総数 | 1.6 | 1.6 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.3 | ▲ 1.1 | ▲ 1.5 |
| | 被用者保険 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | ▲ 1.0 | ▲ 0.8 | ▲ 1.0 |
| | 協会一般 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | ▲ 1.0 | ▲ 0.8 | ▲ 1.0 |
| | 本人 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | ▲ 0.8 | ▲ 0.6 | 0.3 |
| | 家族(未就学者以外) | 1.4 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | ▲ 1.0 | ▲ 0.8 | ▲ 0.6 |
| | 家族(未就学者) | 1.6 | 1.6 | 1.5 | 1.4 | ▲ 1.3 | ▲ 1.4 | ▲ 6.7 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 1.6 | 1.6 | 1.5 | 1.5 | ▲ 2.2 | ▲ 1.8 | ▲ 2.1 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.7 | ▲ 1.4 | ▲ 1.3 |
| | 共済組合 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | ▲ 0.9 | ▲ 0.7 | ▲ 1.3 |
| | 本人 | 1.4 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | ▲ 0.8 | ▲ 0.3 | 0.5 |
| | 家族(未就学者以外) | 1.4 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | ▲ 0.8 | ▲ 0.8 | ▲ 0.6 |
| | 家族(未就学者) | 1.6 | 1.6 | 1.5 | 1.4 | ▲ 1.3 | ▲ 1.4 | ▲ 6.9 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 1.6 | 1.6 | 1.5 | 1.5 | ▲ 3.2 | ▲ 1.7 | ▲ 3.1 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 1.4 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | 0.5 | ▲ 1.6 | ▲ 0.5 |
| 処 | 組合健保 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | ▲ 0.9 | ▲ 0.7 | ▲ 0.9 |
| | 本人 | 1.4 | 1.3 | 1.3 | 1.4 | ▲ 0.7 | ▲ 0.4 | 1.0 |
| | 家族(未就学者以外) | 1.4 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | ▲ 0.9 | ▲ 0.7 | ▲ 0.5 |
| | 家族(未就学者) | 1.6 | 1.6 | 1.5 | 1.4 | ▲ 1.2 | ▲ 1.5 | ▲ 7.2 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 1.6 | 1.6 | 1.5 | 1.5 | ▲ 2.2 | ▲ 1.7 | ▲ 2.4 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.4 | ▲ 1.4 | ▲ 1.0 | ▲ 1.8 |
| 理 分 | 国民健康保険 | 1.6 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.3 | ▲ 1.1 | ▲ 1.4 |
| | 市町村国保 | 1.6 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.3 | ▲ 1.1 | ▲ 1.4 |
| | 70歳未満(未就学者以外) | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 0.9 | ▲ 0.7 | ▲ 0.7 |
| | 未就学者 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.4 | ▲ 1.3 | ▲ 1.3 | ▲ 6.1 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 1.6 | 1.6 | 1.5 | 1.5 | ▲ 2.3 | ▲ 1.9 | ▲ 2.5 |
| | 高齢受給者(現役並み) | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.2 | ▲ 1.1 | ▲ 2.2 |
| | 国保組合 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | ▲ 1.1 | ▲ 0.9 | ▲ 1.0 |
| | 70歳未満(未就学者以外) | 1.4 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | ▲ 1.0 | ▲ 0.8 | ▲ 0.2 |
| | 未就学者 | 1.6 | 1.5 | 1.5 | 1.4 | ▲ 1.3 | ▲ 1.2 | ▲ 6.8 |
| | 高齢受給者(現役並み以外) | 1.6 | 1.6 | 1.5 | 1.5 | ▲ 2.6 | ▲ 2.4 | ▲ 2.2 |
| 高齢受給者(現役並み) | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.8 | ▲ 1.5 | ▲ 1.5 | |
| 後期高齢者医療制度 | 後期高齢者医療制度 | 1.8 | 1.8 | 1.7 | 1.7 | ▲ 1.7 | ▲ 1.8 | ▲ 2.9 |
| | 現役並み以外 | 1.8 | 1.8 | 1.7 | 1.7 | ▲ 1.7 | ▲ 1.9 | ▲ 3.0 |
| | 現役並み | 1.7 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | ▲ 1.7 | ▲ 1.6 | ▲ 2.3 |
| | 公費 | 2.1 | 2.1 | 2.1 | 2.0 | ▲ 2.1 | ▲ 1.8 | ▲ 2.8 |

【表Ⅱ-1-1】医療費(医療機関種類別)

| | | 実数(億円) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-----------------------|-----------------|---------|---------|---------|---------|----------|-------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 301,712 | 306,590 | 313,493 | 301,073 | 1.6 | 2.3 | ▲ 4.0 | 100.0 |
| | 医科病院 | 217,490 | 221,934 | 228,147 | 220,153 | 2.0 | 2.8 | ▲ 3.5 | 73.1 |
| | 大学病院 | 26,885 | 27,847 | 29,210 | 28,029 | 3.6 | 4.9 | ▲ 4.0 | 9.3 |
| | 公的病院 | 78,081 | 79,733 | 82,036 | 77,629 | 2.1 | 2.9 | ▲ 5.4 | 25.8 |
| | 法人病院 | 110,971 | 113,034 | 115,705 | 113,425 | 1.9 | 2.4 | ▲ 2.0 | 37.7 |
| | 個人病院 | 1,553 | 1,320 | 1,196 | 1,071 | ▲ 15.0 | ▲ 9.4 | ▲ 10.4 | 0.4 |
| | (再)20床以上50床未満 | 4,580 | 4,523 | 4,569 | 4,496 | ▲ 1.2 | 1.0 | ▲ 1.6 | 1.5 |
| | (再)50床以上100床未満 | 16,862 | 16,985 | 17,360 | 17,061 | 0.7 | 2.2 | ▲ 1.7 | 5.7 |
| | (再)100床以上200床未満 | 42,870 | 44,191 | 45,675 | 44,926 | 3.1 | 3.4 | ▲ 1.6 | 14.9 |
| | (再)200床以上300床未満 | 28,482 | 28,515 | 28,876 | 27,661 | 0.1 | 1.3 | ▲ 4.2 | 9.2 |
| | (再)300床以上400床未満 | 32,656 | 33,333 | 34,018 | 32,630 | 2.1 | 2.1 | ▲ 4.1 | 10.8 |
| | (再)400床以上500床未満 | 27,245 | 27,535 | 28,568 | 27,436 | 1.1 | 3.7 | ▲ 4.0 | 9.1 |
| | (再)500床以上 | 64,795 | 66,851 | 69,081 | 65,942 | 3.2 | 3.3 | ▲ 4.5 | 21.9 |
| | (再)200床未満 | 64,312 | 65,699 | 67,604 | 66,484 | 2.2 | 2.9 | ▲ 1.7 | 22.1 |
| | (再)200床以上 | 153,178 | 156,234 | 160,543 | 153,670 | 2.0 | 2.8 | ▲ 4.3 | 51.0 |
| | 医科診療所 | 83,983 | 84,325 | 85,107 | 80,681 | 0.4 | 0.9 | ▲ 5.2 | 26.8 |
| | 公的診療所 | 991 | 909 | 869 | 697 | ▲ 8.3 | ▲ 4.3 | ▲ 19.8 | 0.2 |
| | 法人診療所 | 56,278 | 57,184 | 58,258 | 56,013 | 1.6 | 1.9 | ▲ 3.9 | 18.6 |
| | 個人診療所 | 26,713 | 26,233 | 25,979 | 23,970 | ▲ 1.8 | ▲ 1.0 | ▲ 7.7 | 8.0 |

【表Ⅱ-1-2】受診延日数(医療機関種類別)

| | | 実数(万日) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-----------------------|-----------------|---------|---------|---------|---------|----------|--------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 206,761 | 205,544 | 203,535 | 184,902 | ▲ 0.6 | ▲ 1.0 | ▲ 9.2 | 100.0 |
| | 医科病院 | 84,244 | 83,556 | 82,925 | 76,352 | ▲ 0.8 | ▲ 0.8 | ▲ 7.9 | 41.3 |
| | 大学病院 | 6,508 | 6,496 | 6,503 | 5,787 | ▲ 0.2 | 0.1 | ▲ 11.0 | 3.1 |
| | 公的病院 | 24,660 | 24,396 | 24,168 | 21,608 | ▲ 1.1 | ▲ 0.9 | ▲ 10.6 | 11.7 |
| | 法人病院 | 52,074 | 51,832 | 51,508 | 48,310 | ▲ 0.5 | ▲ 0.6 | ▲ 6.2 | 26.1 |
| | 個人病院 | 1,003 | 833 | 745 | 647 | ▲ 17.0 | ▲ 10.6 | ▲ 13.1 | 0.4 |
| | (再)20床以上50床未満 | 2,979 | 2,885 | 2,827 | 2,646 | ▲ 3.1 | ▲ 2.0 | ▲ 6.4 | 1.4 |
| | (再)50床以上100床未満 | 9,489 | 9,334 | 9,250 | 8,642 | ▲ 1.6 | ▲ 0.9 | ▲ 6.6 | 4.7 |
| | (再)100床以上200床未満 | 20,935 | 21,129 | 21,250 | 19,991 | 0.9 | 0.6 | ▲ 5.9 | 10.8 |
| | (再)200床以上300床未満 | 12,921 | 12,621 | 12,457 | 11,515 | ▲ 2.3 | ▲ 1.3 | ▲ 7.6 | 6.2 |
| | (再)300床以上400床未満 | 12,236 | 12,215 | 11,999 | 10,950 | ▲ 0.2 | ▲ 1.8 | ▲ 8.7 | 5.9 |
| | (再)400床以上500床未満 | 9,001 | 8,807 | 8,822 | 8,066 | ▲ 2.2 | 0.2 | ▲ 8.6 | 4.4 |
| | (再)500床以上 | 16,683 | 16,565 | 16,320 | 14,541 | ▲ 0.7 | ▲ 1.5 | ▲ 10.9 | 7.9 |
| | (再)200床未満 | 33,402 | 33,348 | 33,327 | 31,280 | ▲ 0.2 | ▲ 0.1 | ▲ 6.1 | 16.9 |
| | (再)200床以上 | 50,842 | 50,208 | 49,598 | 45,073 | ▲ 1.2 | ▲ 1.2 | ▲ 9.1 | 24.4 |
| | 医科診療所 | 122,279 | 121,711 | 120,376 | 108,334 | ▲ 0.5 | ▲ 1.1 | ▲ 10.0 | 58.6 |
| | 公的診療所 | 1,069 | 1,024 | 992 | 781 | ▲ 4.1 | ▲ 3.2 | ▲ 21.3 | 0.4 |
| | 法人診療所 | 77,019 | 77,379 | 77,165 | 70,328 | 0.5 | ▲ 0.3 | ▲ 8.9 | 38.0 |
| | 個人診療所 | 44,191 | 43,308 | 42,220 | 37,226 | ▲ 2.0 | ▲ 2.5 | ▲ 11.8 | 20.1 |

【表Ⅱ-1-3】件数(医療機関種類別)

| | | 実数(万件) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-----------------------|-----------------|---------|---------|---------|--------|----------|--------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 105,571 | 106,262 | 106,141 | 96,915 | 0.7 | ▲ 0.1 | ▲ 8.7 | 100.0 |
| | 医科病院 | 28,841 | 28,722 | 28,492 | 25,891 | ▲ 0.4 | ▲ 0.8 | ▲ 9.1 | 26.7 |
| | 大学病院 | 3,110 | 3,126 | 3,140 | 2,830 | 0.5 | 0.5 | ▲ 9.9 | 2.9 |
| | 公的病院 | 10,345 | 10,290 | 10,205 | 9,193 | ▲ 0.5 | ▲ 0.8 | ▲ 9.9 | 9.5 |
| | 法人病院 | 15,091 | 15,065 | 14,934 | 13,688 | ▲ 0.2 | ▲ 0.9 | ▲ 8.3 | 14.1 |
| | 個人病院 | 295 | 241 | 213 | 180 | ▲ 18.2 | ▲ 11.4 | ▲ 15.8 | 0.2 |
| | (再)20床以上50床未満 | 1,335 | 1,304 | 1,278 | 1,178 | ▲ 2.4 | ▲ 2.0 | ▲ 7.8 | 1.2 |
| | (再)50床以上100床未満 | 3,483 | 3,449 | 3,416 | 3,141 | ▲ 1.0 | ▲ 0.9 | ▲ 8.1 | 3.2 |
| | (再)100床以上200床未満 | 6,295 | 6,359 | 6,373 | 5,873 | 1.0 | 0.2 | ▲ 7.8 | 6.1 |
| | (再)200床以上300床未満 | 3,532 | 3,454 | 3,399 | 3,062 | ▲ 2.2 | ▲ 1.6 | ▲ 9.9 | 3.2 |
| | (再)300床以上400床未満 | 4,031 | 4,048 | 3,997 | 3,630 | 0.4 | ▲ 1.3 | ▲ 9.2 | 3.7 |
| | (再)400床以上500床未満 | 3,243 | 3,163 | 3,160 | 2,855 | ▲ 2.4 | ▲ 0.1 | ▲ 9.6 | 2.9 |
| | (再)500床以上 | 6,922 | 6,944 | 6,869 | 6,152 | 0.3 | ▲ 1.1 | ▲ 10.4 | 6.3 |
| | (再)200床未満 | 11,114 | 11,111 | 11,067 | 10,192 | ▲ 0.0 | ▲ 0.4 | ▲ 7.9 | 10.5 |
| | (再)200床以上 | 17,727 | 17,610 | 17,424 | 15,699 | ▲ 0.7 | ▲ 1.1 | ▲ 9.9 | 16.2 |
| | 医科診療所 | 76,589 | 77,381 | 77,501 | 70,888 | 1.0 | 0.2 | ▲ 8.5 | 73.1 |
| | 公的診療所 | 782 | 755 | 736 | 568 | ▲ 3.5 | ▲ 2.5 | ▲ 22.8 | 0.6 |
| | 法人診療所 | 46,373 | 47,314 | 47,798 | 44,267 | 2.0 | 1.0 | ▲ 7.4 | 45.7 |
| | 個人診療所 | 29,435 | 29,312 | 28,967 | 26,053 | ▲ 0.4 | ▲ 1.2 | ▲ 10.1 | 26.9 |

【表Ⅱ-1-4】1日当たり医療費(医療機関種類別)

| | | 実数(千円) | | | | 対前年度比(%) | | |
|-----------------------|-----------------|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 14.6 | 14.9 | 15.4 | 16.3 | 2.2 | 3.3 | 5.7 |
| | 医科病院 | 25.8 | 26.6 | 27.5 | 28.8 | 2.9 | 3.6 | 4.8 |
| | 大学病院 | 41.3 | 42.9 | 44.9 | 48.4 | 3.8 | 4.8 | 7.8 |
| | 公的病院 | 31.7 | 32.7 | 33.9 | 35.9 | 3.2 | 3.9 | 5.8 |
| | 法人病院 | 21.3 | 21.8 | 22.5 | 23.5 | 2.3 | 3.0 | 4.5 |
| | 個人病院 | 15.5 | 15.8 | 16.1 | 16.5 | 2.3 | 1.3 | 3.0 |
| | (再)20床以上50床未満 | 15.4 | 15.7 | 16.2 | 17.0 | 2.0 | 3.1 | 5.1 |
| | (再)50床以上100床未満 | 17.8 | 18.2 | 18.8 | 19.7 | 2.4 | 3.1 | 5.2 |
| | (再)100床以上200床未満 | 20.5 | 20.9 | 21.5 | 22.5 | 2.1 | 2.8 | 4.6 |
| | (再)200床以上300床未満 | 22.0 | 22.6 | 23.2 | 24.0 | 2.5 | 2.6 | 3.6 |
| | (再)300床以上400床未満 | 26.7 | 27.3 | 28.4 | 29.8 | 2.3 | 3.9 | 5.1 |
| | (再)400床以上500床未満 | 30.3 | 31.3 | 32.4 | 34.0 | 3.3 | 3.6 | 5.0 |
| | (再)500床以上 | 38.8 | 40.4 | 42.3 | 45.3 | 3.9 | 4.9 | 7.1 |
| | (再)200床未満 | 19.3 | 19.7 | 20.3 | 21.3 | 2.3 | 3.0 | 4.8 |
| | (再)200床以上 | 30.1 | 31.1 | 32.4 | 34.1 | 3.3 | 4.0 | 5.3 |
| | 医科診療所 | 6.9 | 6.9 | 7.1 | 7.4 | 0.9 | 2.0 | 5.3 |
| | 公的診療所 | 9.3 | 8.9 | 8.8 | 8.9 | ▲ 4.4 | ▲ 1.2 | 1.8 |
| | 法人診療所 | 7.3 | 7.4 | 7.5 | 8.0 | 1.1 | 2.2 | 5.5 |
| | 個人診療所 | 6.0 | 6.1 | 6.2 | 6.4 | 0.2 | 1.6 | 4.6 |

【表Ⅱ-1-5】1件当たり日数(医療機関種類別)

| | | 実数(日) | | | | 対前年度比(%) | | |
|-----------------------|-----------------|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 2.0 | 1.9 | 1.9 | 1.9 | ▲ 1.2 | ▲ 0.9 | ▲ 0.5 |
| | 医科病院 | 2.9 | 2.9 | 2.9 | 2.9 | ▲ 0.4 | 0.0 | 1.3 |
| | 大学病院 | 2.1 | 2.1 | 2.1 | 2.0 | ▲ 0.7 | ▲ 0.3 | ▲ 1.3 |
| | 公的病院 | 2.4 | 2.4 | 2.4 | 2.4 | ▲ 0.5 | ▲ 0.1 | ▲ 0.8 |
| | 法人病院 | 3.5 | 3.4 | 3.4 | 3.5 | ▲ 0.3 | 0.2 | 2.3 |
| | 個人病院 | 3.4 | 3.5 | 3.5 | 3.6 | 1.5 | 1.0 | 3.3 |
| | (再)20床以上50床未満 | 2.2 | 2.2 | 2.2 | 2.2 | ▲ 0.8 | ▲ 0.0 | 1.5 |
| | (再)50床以上100床未満 | 2.7 | 2.7 | 2.7 | 2.8 | ▲ 0.6 | 0.0 | 1.6 |
| | (再)100床以上200床未満 | 3.3 | 3.3 | 3.3 | 3.4 | ▲ 0.1 | 0.4 | 2.1 |
| | (再)200床以上300床未満 | 3.7 | 3.7 | 3.7 | 3.8 | ▲ 0.1 | 0.3 | 2.6 |
| | (再)300床以上400床未満 | 3.0 | 3.0 | 3.0 | 3.0 | ▲ 0.6 | ▲ 0.5 | 0.5 |
| | (再)400床以上500床未満 | 2.8 | 2.8 | 2.8 | 2.8 | 0.3 | 0.3 | 1.2 |
| | (再)500床以上 | 2.4 | 2.4 | 2.4 | 2.4 | ▲ 1.0 | ▲ 0.4 | ▲ 0.5 |
| | (再)200床未満 | 3.0 | 3.0 | 3.0 | 3.1 | ▲ 0.1 | 0.3 | 1.9 |
| | (再)200床以上 | 2.9 | 2.9 | 2.8 | 2.9 | ▲ 0.6 | ▲ 0.2 | 0.9 |
| | 医科診療所 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.5 | ▲ 1.5 | ▲ 1.3 | ▲ 1.6 |
| | 公的診療所 | 1.4 | 1.4 | 1.3 | 1.4 | ▲ 0.7 | ▲ 0.7 | 2.0 |
| | 法人診療所 | 1.7 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | ▲ 1.5 | ▲ 1.3 | ▲ 1.6 |
| | 個人診療所 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.4 | ▲ 1.6 | ▲ 1.4 | ▲ 2.0 |

【表Ⅱ-2-1】入院 医療費(医療機関種類別)

| | | 実数(億円) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-----------------------|-----------------|---------|---------|---------|---------|----------|--------|-------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 160,920 | 164,191 | 167,987 | 161,853 | 2.0 | 2.3 | ▲ 3.7 | 100.0 |
| | 医科病院 | 157,774 | 161,068 | 165,005 | 158,958 | 2.1 | 2.4 | ▲ 3.7 | 98.2 |
| | 大学病院 | 17,715 | 18,193 | 18,835 | 17,701 | 2.7 | 3.5 | ▲ 6.0 | 10.9 |
| | 公的病院 | 54,201 | 55,288 | 56,459 | 52,863 | 2.0 | 2.1 | ▲ 6.4 | 32.7 |
| | 法人病院 | 84,747 | 86,632 | 88,834 | 87,598 | 2.2 | 2.5 | ▲ 1.4 | 54.1 |
| | 個人病院 | 1,110 | 956 | 876 | 796 | ▲ 13.9 | ▲ 8.3 | ▲ 9.2 | 0.5 |
| | (再)20床以上50床未満 | 2,500 | 2,503 | 2,562 | 2,566 | 0.1 | 2.4 | 0.2 | 1.6 |
| | (再)50床以上100床未満 | 11,581 | 11,749 | 12,080 | 12,012 | 1.4 | 2.8 | ▲ 0.6 | 7.4 |
| | (再)100床以上200床未満 | 32,648 | 33,832 | 35,118 | 34,728 | 3.6 | 3.8 | ▲ 1.1 | 21.5 |
| | (再)200床以上300床未満 | 22,189 | 22,306 | 22,605 | 21,779 | 0.5 | 1.3 | ▲ 3.7 | 13.5 |
| | (再)300床以上400床未満 | 24,389 | 24,825 | 25,226 | 24,143 | 1.8 | 1.6 | ▲ 4.3 | 14.9 |
| | (再)400床以上500床未満 | 19,717 | 19,968 | 20,587 | 19,713 | 1.3 | 3.1 | ▲ 4.2 | 12.2 |
| | (再)500床以上 | 44,750 | 45,886 | 46,826 | 44,016 | 2.5 | 2.0 | ▲ 6.0 | 27.2 |
| | (再)200床未満 | 46,729 | 48,084 | 49,760 | 49,306 | 2.9 | 3.5 | ▲ 0.9 | 30.5 |
| | (再)200床以上 | 111,045 | 112,984 | 115,245 | 109,652 | 1.7 | 2.0 | ▲ 4.9 | 67.7 |
| | 医科診療所 | 3,068 | 2,991 | 2,925 | 2,840 | ▲ 2.5 | ▲ 2.2 | ▲ 2.9 | 1.8 |
| | 公的診療所 | 40 | 40 | 38 | 38 | ▲ 1.3 | ▲ 3.3 | ▲ 1.8 | 0.0 |
| | 法人診療所 | 2,587 | 2,566 | 2,546 | 2,491 | ▲ 0.8 | ▲ 0.8 | ▲ 2.2 | 1.5 |
| | 個人診療所 | 441 | 386 | 341 | 312 | ▲ 12.5 | ▲ 11.6 | ▲ 8.4 | 0.2 |

【表Ⅱ-2-2】入院 受診延日数(医療機関種類別)

| | | 実数(万日) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-----------------------|-----------------|--------|--------|--------|--------|----------|--------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 45,318 | 45,099 | 45,076 | 42,344 | ▲ 0.5 | ▲ 0.1 | ▲ 6.1 | 100.0 |
| | 医科病院 | 43,940 | 43,778 | 43,847 | 41,227 | ▲ 0.4 | 0.2 | ▲ 6.0 | 97.4 |
| | 大学病院 | 2,568 | 2,559 | 2,569 | 2,266 | ▲ 0.4 | 0.4 | ▲ 11.8 | 5.4 |
| | 公的病院 | 10,991 | 10,882 | 10,864 | 9,681 | ▲ 1.0 | ▲ 0.2 | ▲ 10.9 | 22.9 |
| | 法人病院 | 29,841 | 29,875 | 29,990 | 28,899 | 0.1 | 0.4 | ▲ 3.6 | 68.2 |
| | 個人病院 | 539 | 462 | 423 | 381 | ▲ 14.2 | ▲ 8.6 | ▲ 9.9 | 0.9 |
| | (再)20床以上50床未満 | 870 | 853 | 852 | 843 | ▲ 2.0 | ▲ 0.1 | ▲ 1.0 | 2.0 |
| | (再)50床以上100床未満 | 4,062 | 4,038 | 4,090 | 3,981 | ▲ 0.6 | 1.3 | ▲ 2.7 | 9.4 |
| | (再)100床以上200床未満 | 11,697 | 11,894 | 12,113 | 11,704 | 1.7 | 1.8 | ▲ 3.4 | 27.6 |
| | (再)200床以上300床未満 | 7,957 | 7,821 | 7,779 | 7,362 | ▲ 1.7 | ▲ 0.5 | ▲ 5.4 | 17.4 |
| | (再)300床以上400床未満 | 6,813 | 6,794 | 6,693 | 6,186 | ▲ 0.3 | ▲ 1.5 | ▲ 7.6 | 14.6 |
| | (再)400床以上500床未満 | 4,709 | 4,644 | 4,686 | 4,347 | ▲ 1.4 | 0.9 | ▲ 7.2 | 10.3 |
| | (再)500床以上 | 7,832 | 7,735 | 7,634 | 6,805 | ▲ 1.2 | ▲ 1.3 | ▲ 10.9 | 16.1 |
| | (再)200床未満 | 16,629 | 16,784 | 17,055 | 16,528 | 0.9 | 1.6 | ▲ 3.1 | 39.0 |
| | (再)200床以上 | 27,311 | 26,994 | 26,792 | 24,699 | ▲ 1.2 | ▲ 0.7 | ▲ 7.8 | 58.3 |
| | 医科診療所 | 1,361 | 1,290 | 1,216 | 1,104 | ▲ 5.2 | ▲ 5.7 | ▲ 9.2 | 2.6 |
| | 公的診療所 | 27 | 26 | 25 | 23 | ▲ 1.3 | ▲ 5.1 | ▲ 7.0 | 0.1 |
| | 法人診療所 | 1,139 | 1,091 | 1,041 | 954 | ▲ 4.2 | ▲ 4.6 | ▲ 8.3 | 2.3 |
| | 個人診療所 | 195 | 172 | 150 | 126 | ▲ 11.9 | ▲ 12.8 | ▲ 15.9 | 0.3 |

【表Ⅱ-2-3】入院件数(医療機関種別)

| | | 実数(万件) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-----------------------|-----------------|--------|--------|-------|-------|----------|--------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 2,953 | 2,947 | 2,941 | 2,704 | ▲ 0.2 | ▲ 0.2 | ▲ 8.1 | 100.0 |
| | 医科病院 | 2,803 | 2,802 | 2,803 | 2,576 | ▲ 0.0 | 0.0 | ▲ 8.1 | 95.3 |
| | 大学病院 | 248 | 250 | 253 | 224 | 0.9 | 1.1 | ▲ 11.5 | 8.3 |
| | 公的病院 | 944 | 940 | 937 | 829 | ▲ 0.4 | ▲ 0.3 | ▲ 11.5 | 30.7 |
| | 法人病院 | 1,586 | 1,591 | 1,594 | 1,506 | 0.3 | 0.2 | ▲ 5.5 | 55.7 |
| | 個人病院 | 25 | 21 | 19 | 17 | ▲ 14.6 | ▲ 9.9 | ▲ 11.9 | 0.6 |
| | (再)20床以上50床未満 | 65 | 64 | 64 | 61 | ▲ 1.4 | ▲ 0.8 | ▲ 4.8 | 2.2 |
| | (再)50床以上100床未満 | 237 | 235 | 236 | 224 | ▲ 0.7 | 0.2 | ▲ 5.1 | 8.3 |
| | (再)100床以上200床未満 | 611 | 622 | 631 | 599 | 1.8 | 1.5 | ▲ 5.1 | 22.2 |
| | (再)200床以上300床未満 | 420 | 413 | 410 | 379 | ▲ 1.5 | ▲ 0.8 | ▲ 7.6 | 14.0 |
| | (再)300床以上400床未満 | 445 | 445 | 442 | 401 | 0.1 | ▲ 0.7 | ▲ 9.2 | 14.8 |
| | (再)400床以上500床未満 | 347 | 343 | 345 | 314 | ▲ 1.3 | 0.7 | ▲ 9.1 | 11.6 |
| | (再)500床以上 | 678 | 679 | 675 | 599 | 0.1 | ▲ 0.6 | ▲ 11.3 | 22.1 |
| | (再)200床未満 | 913 | 922 | 931 | 884 | 0.9 | 1.0 | ▲ 5.1 | 32.7 |
| | (再)200床以上 | 1,890 | 1,880 | 1,872 | 1,693 | ▲ 0.5 | ▲ 0.4 | ▲ 9.6 | 62.6 |
| | 医科診療所 | 148 | 142 | 137 | 125 | ▲ 3.9 | ▲ 4.0 | ▲ 8.1 | 4.6 |
| | 公的診療所 | 2 | 2 | 2 | 2 | ▲ 3.4 | ▲ 5.3 | ▲ 11.0 | 0.1 |
| | 法人診療所 | 123 | 120 | 117 | 108 | ▲ 2.7 | ▲ 2.8 | ▲ 7.5 | 4.0 |
| | 個人診療所 | 22 | 20 | 18 | 16 | ▲ 10.3 | ▲ 10.8 | ▲ 11.6 | 0.6 |

【表Ⅱ-2-4】入院1日当たり医療費(医療機関種類別)

| | | 実数(千円) | | | | 対前年度比(%) | | |
|-----------------------|-----------------|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 35.5 | 36.4 | 37.3 | 38.2 | 2.5 | 2.4 | 2.6 |
| | 医科病院 | 35.9 | 36.8 | 37.6 | 38.6 | 2.5 | 2.3 | 2.5 |
| | 大学病院 | 69.0 | 71.1 | 73.3 | 78.1 | 3.1 | 3.1 | 6.5 |
| | 公的病院 | 49.3 | 50.8 | 52.0 | 54.6 | 3.0 | 2.3 | 5.1 |
| | 法人病院 | 28.4 | 29.0 | 29.6 | 30.3 | 2.1 | 2.1 | 2.3 |
| | 個人病院 | 20.6 | 20.7 | 20.7 | 20.9 | 0.4 | 0.2 | 0.8 |
| | (再)20床以上50床未満 | 28.7 | 29.4 | 30.1 | 30.4 | 2.1 | 2.5 | 1.2 |
| | (再)50床以上100床未満 | 28.5 | 29.1 | 29.5 | 30.2 | 2.1 | 1.5 | 2.2 |
| | (再)100床以上200床未満 | 27.9 | 28.4 | 29.0 | 29.7 | 1.9 | 1.9 | 2.3 |
| | (再)200床以上300床未満 | 27.9 | 28.5 | 29.1 | 29.6 | 2.3 | 1.9 | 1.8 |
| | (再)300床以上400床未満 | 35.8 | 36.5 | 37.7 | 39.0 | 2.1 | 3.2 | 3.5 |
| | (再)400床以上500床未満 | 41.9 | 43.0 | 43.9 | 45.4 | 2.7 | 2.2 | 3.2 |
| | (再)500床以上 | 57.1 | 59.3 | 61.3 | 64.7 | 3.8 | 3.4 | 5.5 |
| | (再)200床未満 | 28.1 | 28.6 | 29.2 | 29.8 | 1.9 | 1.8 | 2.2 |
| | (再)200床以上 | 40.7 | 41.9 | 43.0 | 44.4 | 2.9 | 2.8 | 3.2 |
| | 医科診療所 | 22.5 | 23.2 | 24.1 | 25.7 | 2.9 | 3.7 | 7.0 |
| | 公的診療所 | 15.1 | 15.1 | 15.4 | 16.2 | 0.0 | 1.9 | 5.5 |
| | 法人診療所 | 22.7 | 23.5 | 24.5 | 26.1 | 3.5 | 4.0 | 6.7 |
| | 個人診療所 | 22.5 | 22.4 | 22.7 | 24.7 | ▲ 0.6 | 1.4 | 8.8 |

【表Ⅱ-2-5】入院 1 件当たり日数(医療機関種類別)

| | | 実数(日) | | | | 対前年度比(%) | | |
|-----------------------|-----------------|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 15.3 | 15.3 | 15.3 | 15.7 | ▲ 0.3 | 0.1 | 2.2 |
| | 医科病院 | 15.7 | 15.6 | 15.6 | 16.0 | ▲ 0.3 | 0.1 | 2.3 |
| | 大学病院 | 10.3 | 10.2 | 10.1 | 10.1 | ▲ 1.2 | ▲ 0.7 | ▲ 0.3 |
| | 公的病院 | 11.6 | 11.6 | 11.6 | 11.7 | ▲ 0.6 | 0.1 | 0.7 |
| | 法人病院 | 18.8 | 18.8 | 18.8 | 19.2 | ▲ 0.2 | 0.2 | 2.0 |
| | 個人病院 | 21.5 | 21.6 | 21.9 | 22.4 | 0.4 | 1.5 | 2.2 |
| | (再)20床以上50床未満 | 13.4 | 13.3 | 13.4 | 13.9 | ▲ 0.6 | 0.7 | 4.0 |
| | (再)50床以上100床未満 | 17.1 | 17.2 | 17.3 | 17.8 | 0.1 | 1.0 | 2.5 |
| | (再)100床以上200床未満 | 19.1 | 19.1 | 19.2 | 19.5 | ▲ 0.1 | 0.4 | 1.8 |
| | (再)200床以上300床未満 | 19.0 | 18.9 | 19.0 | 19.4 | ▲ 0.2 | 0.2 | 2.4 |
| | (再)300床以上400床未満 | 15.3 | 15.3 | 15.1 | 15.4 | ▲ 0.4 | ▲ 0.8 | 1.8 |
| | (再)400床以上500床未満 | 13.6 | 13.5 | 13.6 | 13.9 | ▲ 0.1 | 0.2 | 2.1 |
| | (再)500床以上 | 11.6 | 11.4 | 11.3 | 11.4 | ▲ 1.4 | ▲ 0.7 | 0.5 |
| | (再)200床未満 | 18.2 | 18.2 | 18.3 | 18.7 | ▲ 0.0 | 0.6 | 2.1 |
| | (再)200床以上 | 14.5 | 14.4 | 14.3 | 14.6 | ▲ 0.7 | ▲ 0.3 | 2.0 |
| | 医科診療所 | 9.2 | 9.1 | 8.9 | 8.8 | ▲ 1.4 | ▲ 1.8 | ▲ 1.3 |
| | 公的診療所 | 13.3 | 13.6 | 13.6 | 14.2 | 2.2 | 0.2 | 4.6 |
| | 法人診療所 | 9.2 | 9.1 | 8.9 | 8.8 | ▲ 1.5 | ▲ 1.8 | ▲ 0.9 |
| | 個人診療所 | 8.7 | 8.5 | 8.3 | 7.9 | ▲ 1.8 | ▲ 2.3 | ▲ 4.8 |

【表Ⅱ-2-6】入院 推計新規入院件数(医療機関種類別)

| | | 実数(万件) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-----------------------|-----------------|---------|---------|---------|---------|----------|--------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 1,512.3 | 1,514.3 | 1,513.2 | 1,355.9 | 0.1 | ▲ 0.1 | ▲ 10.4 | 100.0 |
| | 医科病院 | 1,404.2 | 1,409.0 | 1,411.9 | 1,262.6 | 0.3 | 0.2 | ▲ 10.6 | 93.1 |
| | 大学病院 | 169.4 | 171.9 | 174.6 | 154.5 | 1.5 | 1.6 | ▲ 11.5 | 11.4 |
| | 公的病院 | 602.0 | 601.6 | 600.4 | 528.3 | ▲ 0.1 | ▲ 0.2 | ▲ 12.0 | 39.0 |
| | 法人病院 | 625.2 | 629.0 | 631.3 | 575.1 | 0.6 | 0.4 | ▲ 8.9 | 42.4 |
| | 個人病院 | 7.6 | 6.4 | 5.6 | 4.6 | ▲ 15.3 | ▲ 12.7 | ▲ 17.5 | 0.3 |
| | (再)20床以上50床未満 | 37.8 | 37.4 | 37.0 | 34.0 | ▲ 0.9 | ▲ 1.1 | ▲ 8.0 | 2.5 |
| | (再)50床以上100床未満 | 106.8 | 105.9 | 105.1 | 96.2 | ▲ 0.8 | ▲ 0.8 | ▲ 8.5 | 7.1 |
| | (再)100床以上200床未満 | 234.1 | 239.0 | 242.1 | 221.7 | 2.1 | 1.3 | ▲ 8.4 | 16.4 |
| | (再)200床以上300床未満 | 163.4 | 161.5 | 160.3 | 141.7 | ▲ 1.2 | ▲ 0.7 | ▲ 11.6 | 10.5 |
| | (再)300床以上400床未満 | 228.1 | 229.3 | 230.2 | 204.6 | 0.5 | 0.4 | ▲ 11.1 | 15.1 |
| | (再)400床以上500床未満 | 199.2 | 196.7 | 198.2 | 176.7 | ▲ 1.3 | 0.8 | ▲ 10.9 | 13.0 |
| | (再)500床以上 | 434.8 | 439.1 | 438.9 | 387.6 | 1.0 | ▲ 0.0 | ▲ 11.7 | 28.6 |
| | (再)200床未満 | 378.7 | 382.4 | 384.3 | 351.9 | 1.0 | 0.5 | ▲ 8.4 | 26.0 |
| | (再)200床以上 | 1,025.5 | 1,026.6 | 1,027.7 | 910.6 | 0.1 | 0.1 | ▲ 11.4 | 67.2 |
| | 医科診療所 | 106.7 | 103.2 | 99.9 | 92.2 | ▲ 3.3 | ▲ 3.2 | ▲ 7.7 | 6.8 |
| | 公的診療所 | 1.2 | 1.1 | 1.1 | 0.9 | ▲ 5.1 | ▲ 5.3 | ▲ 14.5 | 0.1 |
| | 法人診療所 | 88.9 | 87.1 | 85.4 | 79.2 | ▲ 2.1 | ▲ 2.0 | ▲ 7.2 | 5.8 |
| | 個人診療所 | 16.6 | 15.0 | 13.5 | 12.1 | ▲ 9.7 | ▲ 9.9 | ▲ 10.1 | 0.9 |

【表Ⅱ-2-7】入院 推計平均在院日数(医療機関種類別)

| | | 実数(日) | | | | 対前年度比(%) | | |
|-----------------------|-----------------|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 30.0 | 29.8 | 29.8 | 31.2 | ▲ 0.6 | 0.0 | 4.8 |
| | 医科病院 | 31.3 | 31.1 | 31.1 | 32.7 | ▲ 0.7 | ▲ 0.1 | 5.2 |
| | 大学病院 | 15.2 | 14.9 | 14.7 | 14.7 | ▲ 1.9 | ▲ 1.1 | ▲ 0.3 |
| | 公的病院 | 18.3 | 18.1 | 18.1 | 18.3 | ▲ 0.9 | 0.0 | 1.3 |
| | 法人病院 | 47.7 | 47.5 | 47.5 | 50.2 | ▲ 0.5 | 0.0 | 5.8 |
| | 個人病院 | 71.1 | 72.0 | 75.4 | 82.3 | 1.3 | 4.8 | 9.2 |
| | (再)20床以上50床未満 | 23.0 | 22.8 | 23.0 | 24.8 | ▲ 1.1 | 1.0 | 7.6 |
| | (再)50床以上100床未満 | 38.0 | 38.1 | 38.9 | 41.4 | 0.3 | 2.1 | 6.4 |
| | (再)100床以上200床未満 | 50.0 | 49.8 | 50.0 | 52.8 | ▲ 0.4 | 0.5 | 5.5 |
| | (再)200床以上300床未満 | 48.7 | 48.4 | 48.5 | 51.9 | ▲ 0.6 | 0.2 | 7.1 |
| | (再)300床以上400床未満 | 29.9 | 29.6 | 29.1 | 30.2 | ▲ 0.8 | ▲ 1.9 | 4.0 |
| | (再)400床以上500床未満 | 23.6 | 23.6 | 23.6 | 24.6 | ▲ 0.1 | 0.1 | 4.1 |
| | (再)500床以上 | 18.0 | 17.6 | 17.4 | 17.6 | ▲ 2.2 | ▲ 1.3 | 0.9 |
| | (再)200床未満 | 43.9 | 43.9 | 44.4 | 47.0 | ▲ 0.0 | 1.1 | 5.8 |
| | (再)200床以上 | 26.6 | 26.3 | 26.1 | 27.1 | ▲ 1.3 | ▲ 0.9 | 4.0 |
| | 医科診療所 | 12.8 | 12.5 | 12.2 | 12.0 | ▲ 2.0 | ▲ 2.6 | ▲ 1.7 |
| | 公的診療所 | 22.8 | 23.7 | 23.7 | 25.8 | 4.0 | 0.2 | 8.8 |
| | 法人診療所 | 12.8 | 12.5 | 12.2 | 12.0 | ▲ 2.2 | ▲ 2.7 | ▲ 1.2 |
| | 個人診療所 | 11.8 | 11.5 | 11.1 | 10.4 | ▲ 2.5 | ▲ 3.2 | ▲ 6.4 |

【表Ⅱ-3-1】入院外 医療費(医療機関種類別)

| | | 実数(億円) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-----------------------|-----------------|---------|---------|---------|---------|----------|--------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 140,792 | 142,399 | 145,506 | 139,219 | 1.1 | 2.2 | ▲ 4.3 | 100.0 |
| | 医科病院 | 59,716 | 60,866 | 63,143 | 61,196 | 1.9 | 3.7 | ▲ 3.1 | 44.0 |
| | 大学病院 | 9,170 | 9,655 | 10,375 | 10,328 | 5.3 | 7.5 | ▲ 0.5 | 7.4 |
| | 公的病院 | 23,880 | 24,445 | 25,577 | 24,766 | 2.4 | 4.6 | ▲ 3.2 | 17.8 |
| | 法人病院 | 26,224 | 26,403 | 26,871 | 25,826 | 0.7 | 1.8 | ▲ 3.9 | 18.6 |
| | 個人病院 | 443 | 364 | 320 | 276 | ▲ 17.9 | ▲ 12.1 | ▲ 13.8 | 0.2 |
| | (再)20床以上50床未満 | 2,079 | 2,020 | 2,007 | 1,930 | ▲ 2.9 | ▲ 0.6 | ▲ 3.8 | 1.4 |
| | (再)50床以上100床未満 | 5,281 | 5,237 | 5,280 | 5,049 | ▲ 0.8 | 0.8 | ▲ 4.4 | 3.6 |
| | (再)100床以上200床未満 | 10,223 | 10,359 | 10,558 | 10,199 | 1.3 | 1.9 | ▲ 3.4 | 7.3 |
| | (再)200床以上300床未満 | 6,293 | 6,209 | 6,271 | 5,882 | ▲ 1.3 | 1.0 | ▲ 6.2 | 4.2 |
| | (再)300床以上400床未満 | 8,267 | 8,508 | 8,791 | 8,487 | 2.9 | 3.3 | ▲ 3.5 | 6.1 |
| | (再)400床以上500床未満 | 7,529 | 7,567 | 7,981 | 7,723 | 0.5 | 5.5 | ▲ 3.2 | 5.5 |
| | (再)500床以上 | 20,045 | 20,965 | 22,255 | 21,926 | 4.6 | 6.2 | ▲ 1.5 | 15.7 |
| | (再)200床未満 | 17,583 | 17,616 | 17,845 | 17,178 | 0.2 | 1.3 | ▲ 3.7 | 12.3 |
| | (再)200床以上 | 42,133 | 43,250 | 45,298 | 44,018 | 2.7 | 4.7 | ▲ 2.8 | 31.6 |
| | 医科診療所 | 80,915 | 81,334 | 82,182 | 77,840 | 0.5 | 1.0 | ▲ 5.3 | 55.9 |
| | 公的診療所 | 951 | 869 | 831 | 659 | ▲ 8.6 | ▲ 4.4 | ▲ 20.7 | 0.5 |
| | 法人診療所 | 53,691 | 54,618 | 55,713 | 53,523 | 1.7 | 2.0 | ▲ 3.9 | 38.4 |
| | 個人診療所 | 26,273 | 25,847 | 25,638 | 23,658 | ▲ 1.6 | ▲ 0.8 | ▲ 7.7 | 17.0 |

【表Ⅱ-3-2】入院外 受診延日数(医療機関種類別)

| | | 実数(万日) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-----------------------|-----------------|---------|---------|---------|---------|----------|--------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 161,443 | 160,444 | 158,459 | 142,557 | ▲ 0.6 | ▲ 1.2 | ▲ 10.0 | 100.0 |
| | 医科病院 | 40,305 | 39,778 | 39,078 | 35,125 | ▲ 1.3 | ▲ 1.8 | ▲ 10.1 | 24.6 |
| | 大学病院 | 3,939 | 3,937 | 3,934 | 3,521 | ▲ 0.1 | ▲ 0.1 | ▲ 10.5 | 2.5 |
| | 公的病院 | 13,669 | 13,514 | 13,304 | 11,928 | ▲ 1.1 | ▲ 1.5 | ▲ 10.3 | 8.4 |
| | 法人病院 | 22,233 | 21,957 | 21,518 | 19,410 | ▲ 1.2 | ▲ 2.0 | ▲ 9.8 | 13.6 |
| | 個人病院 | 463 | 370 | 322 | 267 | ▲ 20.1 | ▲ 13.1 | ▲ 17.2 | 0.2 |
| | (再)20床以上50床未満 | 2,109 | 2,033 | 1,976 | 1,803 | ▲ 3.6 | ▲ 2.8 | ▲ 8.7 | 1.3 |
| | (再)50床以上100床未満 | 5,427 | 5,296 | 5,159 | 4,661 | ▲ 2.4 | ▲ 2.6 | ▲ 9.7 | 3.3 |
| | (再)100床以上200床未満 | 9,238 | 9,235 | 9,138 | 8,287 | ▲ 0.0 | ▲ 1.1 | ▲ 9.3 | 5.8 |
| | (再)200床以上300床未満 | 4,965 | 4,801 | 4,678 | 4,153 | ▲ 3.3 | ▲ 2.6 | ▲ 11.2 | 2.9 |
| | (再)300床以上400床未満 | 5,424 | 5,421 | 5,306 | 4,764 | ▲ 0.1 | ▲ 2.1 | ▲ 10.2 | 3.3 |
| | (再)400床以上500床未満 | 4,292 | 4,163 | 4,136 | 3,719 | ▲ 3.0 | ▲ 0.6 | ▲ 10.1 | 2.6 |
| | (再)500床以上 | 8,851 | 8,830 | 8,686 | 7,736 | ▲ 0.2 | ▲ 1.6 | ▲ 10.9 | 5.4 |
| | (再)200床未満 | 16,773 | 16,564 | 16,272 | 14,752 | ▲ 1.2 | ▲ 1.8 | ▲ 9.3 | 10.3 |
| | (再)200床以上 | 23,531 | 23,214 | 22,806 | 20,373 | ▲ 1.3 | ▲ 1.8 | ▲ 10.7 | 14.3 |
| | 医科診療所 | 120,918 | 120,421 | 119,160 | 107,230 | ▲ 0.4 | ▲ 1.0 | ▲ 10.0 | 75.2 |
| | 公的診療所 | 1,042 | 998 | 967 | 758 | ▲ 4.2 | ▲ 3.1 | ▲ 21.6 | 0.5 |
| | 法人診療所 | 75,881 | 76,287 | 76,124 | 69,373 | 0.5 | ▲ 0.2 | ▲ 8.9 | 48.7 |
| | 個人診療所 | 43,995 | 43,136 | 42,070 | 37,099 | ▲ 2.0 | ▲ 2.5 | ▲ 11.8 | 26.0 |

【表Ⅱ-3-3】入院外 件数(医療機関種類別)

| | | 実数(万件) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-----------------------|-----------------|---------|---------|---------|--------|----------|--------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 102,618 | 103,315 | 103,200 | 94,212 | 0.7 | ▲ 0.1 | ▲ 8.7 | 100.0 |
| | 医科病院 | 26,039 | 25,920 | 25,689 | 23,315 | ▲ 0.5 | ▲ 0.9 | ▲ 9.2 | 24.7 |
| | 大学病院 | 2,862 | 2,875 | 2,887 | 2,607 | 0.5 | 0.4 | ▲ 9.7 | 2.8 |
| | 公的病院 | 9,402 | 9,351 | 9,268 | 8,364 | ▲ 0.5 | ▲ 0.9 | ▲ 9.8 | 8.9 |
| | 法人病院 | 13,505 | 13,474 | 13,340 | 12,182 | ▲ 0.2 | ▲ 1.0 | ▲ 8.7 | 12.9 |
| | 個人病院 | 270 | 220 | 194 | 163 | ▲ 18.5 | ▲ 11.6 | ▲ 16.2 | 0.2 |
| | (再)20床以上50床未満 | 1,270 | 1,240 | 1,214 | 1,117 | ▲ 2.4 | ▲ 2.0 | ▲ 8.0 | 1.2 |
| | (再)50床以上100床未満 | 3,247 | 3,213 | 3,181 | 2,917 | ▲ 1.0 | ▲ 1.0 | ▲ 8.3 | 3.1 |
| | (再)100床以上200床未満 | 5,684 | 5,737 | 5,742 | 5,274 | 0.9 | 0.1 | ▲ 8.2 | 5.6 |
| | (再)200床以上300床未満 | 3,112 | 3,041 | 2,989 | 2,683 | ▲ 2.3 | ▲ 1.7 | ▲ 10.2 | 2.8 |
| | (再)300床以上400床未満 | 3,586 | 3,603 | 3,554 | 3,229 | 0.5 | ▲ 1.3 | ▲ 9.2 | 3.4 |
| | (再)400床以上500床未満 | 2,895 | 2,820 | 2,814 | 2,541 | ▲ 2.6 | ▲ 0.2 | ▲ 9.7 | 2.7 |
| | (再)500床以上 | 6,244 | 6,266 | 6,194 | 5,554 | 0.4 | ▲ 1.1 | ▲ 10.3 | 5.9 |
| | (再)200床未満 | 10,201 | 10,190 | 10,137 | 9,308 | ▲ 0.1 | ▲ 0.5 | ▲ 8.2 | 9.9 |
| | (再)200床以上 | 15,838 | 15,730 | 15,552 | 14,006 | ▲ 0.7 | ▲ 1.1 | ▲ 9.9 | 14.9 |
| | 医科診療所 | 76,441 | 77,239 | 77,365 | 70,762 | 1.0 | 0.2 | ▲ 8.5 | 75.1 |
| | 公的診療所 | 780 | 753 | 734 | 566 | ▲ 3.5 | ▲ 2.4 | ▲ 22.8 | 0.6 |
| | 法人診療所 | 46,249 | 47,194 | 47,682 | 44,159 | 2.0 | 1.0 | ▲ 7.4 | 46.9 |
| | 個人診療所 | 29,412 | 29,292 | 28,949 | 26,037 | ▲ 0.4 | ▲ 1.2 | ▲ 10.1 | 27.6 |

【表Ⅱ-3-4】入院外 1日当たり医療費(医療機関種類別)

| | | 実数(千円) | | | | 対前年度比(%) | | |
|-----------------------|-----------------|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 8.7 | 8.9 | 9.2 | 9.8 | 1.8 | 3.5 | 6.4 |
| | 医科病院 | 14.8 | 15.3 | 16.2 | 17.4 | 3.3 | 5.6 | 7.8 |
| | 大学病院 | 23.3 | 24.5 | 26.4 | 29.3 | 5.4 | 7.5 | 11.2 |
| | 公的病院 | 17.5 | 18.1 | 19.2 | 20.8 | 3.5 | 6.3 | 8.0 |
| | 法人病院 | 11.8 | 12.0 | 12.5 | 13.3 | 1.9 | 3.9 | 6.5 |
| | 個人病院 | 9.6 | 9.8 | 9.9 | 10.3 | 2.7 | 1.1 | 4.1 |
| | (再)20床以上50床未満 | 9.9 | 9.9 | 10.2 | 10.7 | 0.8 | 2.2 | 5.3 |
| | (再)50床以上100床未満 | 9.7 | 9.9 | 10.2 | 10.8 | 1.6 | 3.5 | 5.9 |
| | (再)100床以上200床未満 | 11.1 | 11.2 | 11.6 | 12.3 | 1.4 | 3.0 | 6.5 |
| | (再)200床以上300床未満 | 12.7 | 12.9 | 13.4 | 14.2 | 2.0 | 3.6 | 5.6 |
| | (再)300床以上400床未満 | 15.2 | 15.7 | 16.6 | 17.8 | 3.0 | 5.6 | 7.5 |
| | (再)400床以上500床未満 | 17.5 | 18.2 | 19.3 | 20.8 | 3.6 | 6.1 | 7.6 |
| | (再)500床以上 | 22.6 | 23.7 | 25.6 | 28.3 | 4.8 | 7.9 | 10.6 |
| | (再)200床未満 | 10.5 | 10.6 | 11.0 | 11.6 | 1.5 | 3.1 | 6.2 |
| | (再)200床以上 | 17.9 | 18.6 | 19.9 | 21.6 | 4.1 | 6.6 | 8.8 |
| | 医科診療所 | 6.7 | 6.8 | 6.9 | 7.3 | 0.9 | 2.1 | 5.3 |
| | 公的診療所 | 9.1 | 8.7 | 8.6 | 8.7 | ▲ 4.6 | ▲ 1.3 | 1.2 |
| | 法人診療所 | 7.1 | 7.2 | 7.3 | 7.7 | 1.2 | 2.2 | 5.4 |
| | 個人診療所 | 6.0 | 6.0 | 6.1 | 6.4 | 0.3 | 1.7 | 4.6 |

【表Ⅱ-3-5】入院外 1件当たり日数(医療機関種類別)

| | | 実数(日) | | | | 対前年度比(%) | | |
|-----------------------|-----------------|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 1.6 | 1.6 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.3 | ▲ 1.1 | ▲ 1.5 |
| | 医科病院 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 0.9 | ▲ 0.9 | ▲ 1.0 |
| | 大学病院 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | ▲ 0.5 | ▲ 0.5 | ▲ 0.9 |
| | 公的病院 | 1.5 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | ▲ 0.6 | ▲ 0.7 | ▲ 0.7 |
| | 法人病院 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | ▲ 1.0 | ▲ 1.0 | ▲ 1.2 |
| | 個人病院 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.6 | ▲ 1.9 | ▲ 1.7 | ▲ 1.2 |
| | (再)20床以上50床未満 | 1.7 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | ▲ 1.2 | ▲ 0.8 | ▲ 0.8 |
| | (再)50床以上100床未満 | 1.7 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | ▲ 1.4 | ▲ 1.6 | ▲ 1.5 |
| | (再)100床以上200床未満 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | ▲ 0.9 | ▲ 1.1 | ▲ 1.3 |
| | (再)200床以上300床未満 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.5 | ▲ 1.0 | ▲ 0.9 | ▲ 1.1 |
| | (再)300床以上400床未満 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 0.5 | ▲ 0.8 | ▲ 1.2 |
| | (再)400床以上500床未満 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 0.4 | ▲ 0.4 | ▲ 0.4 |
| | (再)500床以上 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | ▲ 0.6 | ▲ 0.5 | ▲ 0.7 |
| | (再)200床未満 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | ▲ 1.1 | ▲ 1.2 | ▲ 1.3 |
| | (再)200床以上 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 0.7 | ▲ 0.6 | ▲ 0.8 |
| | 医科診療所 | 1.6 | 1.6 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.4 | ▲ 1.2 | ▲ 1.6 |
| | 公的診療所 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | ▲ 0.7 | ▲ 0.7 | ▲ 1.6 |
| | 法人診療所 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | ▲ 1.5 | ▲ 1.2 | ▲ 1.6 |
| | 個人診療所 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.4 | ▲ 1.6 | ▲ 1.3 | ▲ 2.0 |

【表Ⅲ-1-1】医療費(都道府県別)

| | | 実数(億円) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) | |
|-----|-----|---------|---------|---------|---------|----------|-------|-------|----------------------|-----|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | | |
| 電 | 総数 | 301,712 | 306,590 | 313,493 | 301,073 | 1.6 | 2.3 | ▲ 4.0 | 100.0 | |
| | 北海道 | 15,480 | 15,633 | 15,920 | 15,255 | 1.0 | 1.8 | ▲ 4.2 | 5.1 | |
| | 青森 | 3,059 | 3,095 | 3,133 | 3,019 | 1.2 | 1.2 | ▲ 3.6 | 1.0 | |
| | 岩手 | 2,782 | 2,806 | 2,822 | 2,730 | 0.9 | 0.5 | ▲ 3.2 | 0.9 | |
| | 宮城 | 5,093 | 5,183 | 5,296 | 5,145 | 1.8 | 2.2 | ▲ 2.9 | 1.7 | |
| | 秋田 | 2,463 | 2,496 | 2,522 | 2,441 | 1.3 | 1.0 | ▲ 3.2 | 0.8 | |
| | 山形 | 2,679 | 2,705 | 2,739 | 2,621 | 1.0 | 1.3 | ▲ 4.3 | 0.9 | |
| | 福島 | 4,284 | 4,319 | 4,376 | 4,172 | 0.8 | 1.3 | ▲ 4.7 | 1.4 | |
| | 茨城 | 5,882 | 5,938 | 6,049 | 5,817 | 0.9 | 1.9 | ▲ 3.8 | 1.9 | |
| | 栃木 | 4,511 | 4,569 | 4,687 | 4,511 | 1.3 | 2.6 | ▲ 3.8 | 1.5 | |
| | 群馬 | 4,744 | 4,797 | 4,865 | 4,687 | 1.1 | 1.4 | ▲ 3.7 | 1.6 | |
| | 埼玉 | 13,272 | 13,596 | 14,100 | 13,677 | 2.4 | 3.7 | ▲ 3.0 | 4.5 | |
| | 千葉 | 12,307 | 12,608 | 12,938 | 12,637 | 2.4 | 2.6 | ▲ 2.3 | 4.2 | |
| | 東京 | 31,141 | 31,902 | 32,898 | 30,979 | 2.4 | 3.1 | ▲ 5.8 | 10.3 | |
| | 神奈川 | 17,801 | 18,300 | 18,815 | 18,081 | 2.8 | 2.8 | ▲ 3.9 | 6.0 | |
| | 新潟 | 4,883 | 4,925 | 4,993 | 4,795 | 0.9 | 1.4 | ▲ 4.0 | 1.6 | |
| | 富山 | 2,643 | 2,699 | 2,746 | 2,624 | 2.1 | 1.8 | ▲ 4.5 | 0.9 | |
| | 石川 | 3,017 | 3,044 | 3,094 | 2,924 | 0.9 | 1.6 | ▲ 5.5 | 1.0 | |
| | 福井 | 1,984 | 2,014 | 2,036 | 1,922 | 1.5 | 1.1 | ▲ 5.6 | 0.6 | |
| | 処 | 山梨 | 1,824 | 1,845 | 1,882 | 1,810 | 1.2 | 2.0 | ▲ 3.8 | 0.6 |
| 長野 | | 4,697 | 4,787 | 4,870 | 4,724 | 1.9 | 1.7 | ▲ 3.0 | 1.6 | |
| 岐阜 | | 4,499 | 4,517 | 4,555 | 4,343 | 0.4 | 0.9 | ▲ 4.7 | 1.4 | |
| 静岡 | | 8,159 | 8,272 | 8,456 | 8,234 | 1.4 | 2.2 | ▲ 2.6 | 2.7 | |
| 愛知 | | 16,329 | 16,661 | 17,097 | 16,512 | 2.0 | 2.6 | ▲ 3.4 | 5.5 | |
| 三重 | | 3,993 | 4,045 | 4,127 | 3,942 | 1.3 | 2.0 | ▲ 4.5 | 1.3 | |
| 滋賀 | | 2,909 | 2,953 | 3,012 | 2,864 | 1.5 | 2.0 | ▲ 4.9 | 1.0 | |
| 京都 | | 6,664 | 6,772 | 6,933 | 6,599 | 1.6 | 2.4 | ▲ 4.8 | 2.2 | |
| 大阪 | | 23,305 | 23,630 | 24,232 | 23,278 | 1.4 | 2.5 | ▲ 3.9 | 7.7 | |
| 兵庫 | | 13,549 | 13,804 | 14,106 | 13,459 | 1.9 | 2.2 | ▲ 4.6 | 4.5 | |
| 奈良 | | 3,441 | 3,524 | 3,639 | 3,503 | 2.4 | 3.3 | ▲ 3.7 | 1.2 | |
| 和歌山 | | 2,619 | 2,619 | 2,691 | 2,589 | 0.0 | 2.7 | ▲ 3.8 | 0.9 | |
| 理 | | 鳥取 | 1,531 | 1,556 | 1,585 | 1,546 | 1.6 | 1.8 | ▲ 2.5 | 0.5 |
| | | 島根 | 1,784 | 1,788 | 1,827 | 1,766 | 0.2 | 2.2 | ▲ 3.3 | 0.6 |
| | 岡山 | 5,311 | 5,335 | 5,450 | 5,224 | 0.5 | 2.1 | ▲ 4.2 | 1.7 | |
| | 広島 | 7,357 | 7,434 | 7,597 | 7,345 | 1.0 | 2.2 | ▲ 3.3 | 2.4 | |
| | 山口 | 3,940 | 3,960 | 3,983 | 3,834 | 0.5 | 0.6 | ▲ 3.8 | 1.3 | |
| | 徳島 | 2,265 | 2,281 | 2,317 | 2,244 | 0.7 | 1.6 | ▲ 3.1 | 0.7 | |
| | 香川 | 2,617 | 2,637 | 2,689 | 2,572 | 0.8 | 2.0 | ▲ 4.3 | 0.9 | |
| | 愛媛 | 3,811 | 3,815 | 3,905 | 3,727 | 0.1 | 2.4 | ▲ 4.6 | 1.2 | |
| | 高知 | 2,319 | 2,343 | 2,333 | 2,273 | 1.0 | ▲ 0.4 | ▲ 2.6 | 0.8 | |
| | 福岡 | 14,427 | 14,673 | 14,914 | 14,229 | 1.7 | 1.6 | ▲ 4.6 | 4.7 | |
| | 分 | 佐賀 | 2,264 | 2,320 | 2,394 | 2,347 | 2.5 | 3.2 | ▲ 2.0 | 0.8 |
| | | 長崎 | 4,015 | 4,033 | 4,084 | 3,936 | 0.5 | 1.3 | ▲ 3.6 | 1.3 |
| | | 熊本 | 5,237 | 5,300 | 5,384 | 5,218 | 1.2 | 1.6 | ▲ 3.1 | 1.7 |
| | | 大分 | 3,423 | 3,462 | 3,527 | 3,427 | 1.1 | 1.9 | ▲ 2.8 | 1.1 |
| 宮崎 | | 2,926 | 2,944 | 3,000 | 2,886 | 0.6 | 1.9 | ▲ 3.8 | 1.0 | |
| 鹿児島 | | 5,009 | 5,094 | 5,202 | 5,087 | 1.7 | 2.1 | ▲ 2.2 | 1.7 | |
| 沖縄 | | 3,464 | 3,559 | 3,673 | 3,520 | 2.7 | 3.2 | ▲ 4.2 | 1.2 | |

【表Ⅲ-1-2】受診延日数(都道府県別)

| | | 実数(万日) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) | |
|----|-----|---------|---------|---------|---------|----------|-------|--------|----------------------|-----|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | | |
| 電 | 総数 | 206,761 | 205,544 | 203,535 | 184,902 | ▲ 0.6 | ▲ 1.0 | ▲ 9.2 | 100.0 | |
| | 北海道 | 8,948 | 8,849 | 8,752 | 8,012 | ▲ 1.1 | ▲ 1.1 | ▲ 8.5 | 4.3 | |
| | 青森 | 2,218 | 2,183 | 2,144 | 1,961 | ▲ 1.5 | ▲ 1.8 | ▲ 8.6 | 1.1 | |
| | 岩手 | 1,953 | 1,926 | 1,895 | 1,760 | ▲ 1.4 | ▲ 1.6 | ▲ 7.1 | 1.0 | |
| | 宮城 | 3,507 | 3,496 | 3,446 | 3,168 | ▲ 0.3 | ▲ 1.4 | ▲ 8.1 | 1.7 | |
| | 秋田 | 1,703 | 1,682 | 1,653 | 1,540 | ▲ 1.2 | ▲ 1.7 | ▲ 6.8 | 0.8 | |
| | 山形 | 1,893 | 1,881 | 1,855 | 1,711 | ▲ 0.6 | ▲ 1.4 | ▲ 7.7 | 0.9 | |
| | 福島 | 2,956 | 2,920 | 2,856 | 2,602 | ▲ 1.2 | ▲ 2.2 | ▲ 8.9 | 1.4 | |
| | 茨城 | 4,067 | 4,039 | 3,991 | 3,646 | ▲ 0.7 | ▲ 1.2 | ▲ 8.7 | 2.0 | |
| | 栃木 | 3,110 | 3,089 | 3,038 | 2,778 | ▲ 0.7 | ▲ 1.7 | ▲ 8.5 | 1.5 | |
| | 群馬 | 3,183 | 3,158 | 3,109 | 2,833 | ▲ 0.8 | ▲ 1.5 | ▲ 8.9 | 1.5 | |
| | 埼玉 | 9,928 | 9,938 | 9,900 | 8,938 | 0.1 | ▲ 0.4 | ▲ 9.7 | 4.8 | |
| | 千葉 | 8,537 | 8,532 | 8,436 | 7,638 | ▲ 0.1 | ▲ 1.1 | ▲ 9.5 | 4.1 | |
| | 東京 | 21,645 | 21,691 | 21,525 | 18,921 | 0.2 | ▲ 0.8 | ▲ 12.1 | 10.2 | |
| | 神奈川 | 12,990 | 13,050 | 12,961 | 11,697 | 0.5 | ▲ 0.7 | ▲ 9.8 | 6.3 | |
| | 新潟 | 3,398 | 3,377 | 3,316 | 3,039 | ▲ 0.6 | ▲ 1.8 | ▲ 8.4 | 1.6 | |
| | 富山 | 1,688 | 1,689 | 1,664 | 1,505 | 0.1 | ▲ 1.5 | ▲ 9.6 | 0.8 | |
| | 石川 | 1,870 | 1,869 | 1,838 | 1,657 | ▲ 0.0 | ▲ 1.6 | ▲ 9.9 | 0.9 | |
| | 福井 | 1,261 | 1,264 | 1,246 | 1,129 | 0.2 | ▲ 1.4 | ▲ 9.4 | 0.6 | |
| 処 | 山梨 | 1,298 | 1,287 | 1,272 | 1,171 | ▲ 0.9 | ▲ 1.2 | ▲ 7.9 | 0.6 | |
| | 長野 | 3,051 | 3,042 | 3,013 | 2,775 | ▲ 0.3 | ▲ 0.9 | ▲ 7.9 | 1.5 | |
| | 岐阜 | 3,275 | 3,238 | 3,185 | 2,884 | ▲ 1.1 | ▲ 1.6 | ▲ 9.4 | 1.6 | |
| | 静岡 | 5,653 | 5,634 | 5,568 | 5,153 | ▲ 0.3 | ▲ 1.2 | ▲ 7.5 | 2.8 | |
| | 愛知 | 11,735 | 11,730 | 11,612 | 10,586 | ▲ 0.0 | ▲ 1.0 | ▲ 8.8 | 5.7 | |
| | 三重 | 2,958 | 2,939 | 2,911 | 2,670 | ▲ 0.6 | ▲ 0.9 | ▲ 8.3 | 1.4 | |
| | 滋賀 | 1,975 | 1,968 | 1,958 | 1,775 | ▲ 0.4 | ▲ 0.5 | ▲ 9.4 | 1.0 | |
| | 京都 | 4,178 | 4,142 | 4,119 | 3,713 | ▲ 0.9 | ▲ 0.6 | ▲ 9.9 | 2.0 | |
| | 大阪 | 15,730 | 15,593 | 15,510 | 14,043 | ▲ 0.9 | ▲ 0.5 | ▲ 9.5 | 7.6 | |
| | 兵庫 | 9,417 | 9,365 | 9,315 | 8,440 | ▲ 0.5 | ▲ 0.5 | ▲ 9.4 | 4.6 | |
| | 奈良 | 2,156 | 2,152 | 2,148 | 1,958 | ▲ 0.2 | ▲ 0.2 | ▲ 8.8 | 1.1 | |
| | 和歌山 | 1,780 | 1,748 | 1,733 | 1,603 | ▲ 1.8 | ▲ 0.9 | ▲ 7.5 | 0.9 | |
| | 理 | 鳥取 | 974 | 962 | 955 | 882 | ▲ 1.2 | ▲ 0.8 | ▲ 7.6 | 0.5 |
| | | 島根 | 1,203 | 1,190 | 1,181 | 1,093 | ▲ 1.1 | ▲ 0.8 | ▲ 7.4 | 0.6 |
| | | 岡山 | 3,319 | 3,264 | 3,236 | 2,957 | ▲ 1.7 | ▲ 0.9 | ▲ 8.6 | 1.6 |
| | | 広島 | 5,221 | 5,136 | 5,098 | 4,668 | ▲ 1.6 | ▲ 0.7 | ▲ 8.4 | 2.5 |
| | | 山口 | 2,789 | 2,743 | 2,699 | 2,490 | ▲ 1.7 | ▲ 1.6 | ▲ 7.7 | 1.3 |
| | | 徳島 | 1,499 | 1,469 | 1,445 | 1,340 | ▲ 1.9 | ▲ 1.7 | ▲ 7.3 | 0.7 |
| | | 香川 | 1,854 | 1,829 | 1,807 | 1,651 | ▲ 1.4 | ▲ 1.2 | ▲ 8.6 | 0.9 |
| 愛媛 | | 2,589 | 2,551 | 2,519 | 2,303 | ▲ 1.5 | ▲ 1.2 | ▲ 8.6 | 1.2 | |
| 高知 | | 1,441 | 1,418 | 1,383 | 1,284 | ▲ 1.6 | ▲ 2.5 | ▲ 7.1 | 0.7 | |
| 分 | | 福岡 | 9,824 | 9,757 | 9,678 | 8,771 | ▲ 0.7 | ▲ 0.8 | ▲ 9.4 | 4.7 |
| | | 佐賀 | 1,733 | 1,715 | 1,698 | 1,578 | ▲ 1.0 | ▲ 1.0 | ▲ 7.0 | 0.9 |
| | | 長崎 | 2,843 | 2,789 | 2,744 | 2,522 | ▲ 1.9 | ▲ 1.6 | ▲ 8.1 | 1.4 |
| | | 熊本 | 3,608 | 3,542 | 3,492 | 3,201 | ▲ 1.8 | ▲ 1.4 | ▲ 8.3 | 1.7 |
| | | 大分 | 2,231 | 2,207 | 2,182 | 2,012 | ▲ 1.1 | ▲ 1.1 | ▲ 7.8 | 1.1 |
| | | 宮崎 | 2,087 | 2,065 | 2,051 | 1,900 | ▲ 1.1 | ▲ 0.7 | ▲ 7.3 | 1.0 |
| | | 鹿児島 | 3,381 | 3,343 | 3,292 | 3,060 | ▲ 1.1 | ▲ 1.5 | ▲ 7.0 | 1.7 |
| | | 沖縄 | 2,105 | 2,092 | 2,110 | 1,884 | ▲ 0.6 | 0.8 | ▲ 10.7 | 1.0 |

【表Ⅲ-1-3】件数(都道府県別)

| | | 実数(万件) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) | |
|-----|-----|---------|---------|---------|--------|----------|-------|--------|----------------------|-----|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | | |
| 電 | 総数 | 105,571 | 106,262 | 106,141 | 96,915 | 0.7 | ▲ 0.1 | ▲ 8.7 | 100.0 | |
| | 北海道 | 4,304 | 4,305 | 4,284 | 3,925 | 0.0 | ▲ 0.5 | ▲ 8.4 | 4.1 | |
| | 青森 | 1,135 | 1,136 | 1,132 | 1,045 | 0.1 | ▲ 0.4 | ▲ 7.7 | 1.1 | |
| | 岩手 | 1,053 | 1,050 | 1,043 | 974 | ▲ 0.3 | ▲ 0.7 | ▲ 6.5 | 1.0 | |
| | 宮城 | 1,946 | 1,961 | 1,948 | 1,800 | 0.8 | ▲ 0.6 | ▲ 7.6 | 1.9 | |
| | 秋田 | 895 | 893 | 885 | 833 | ▲ 0.2 | ▲ 0.9 | ▲ 5.9 | 0.9 | |
| | 山形 | 1,017 | 1,018 | 1,012 | 944 | 0.1 | ▲ 0.5 | ▲ 6.8 | 1.0 | |
| | 福島 | 1,614 | 1,613 | 1,590 | 1,458 | ▲ 0.1 | ▲ 1.4 | ▲ 8.3 | 1.5 | |
| | 茨城 | 2,191 | 2,198 | 2,187 | 2,001 | 0.3 | ▲ 0.5 | ▲ 8.5 | 2.1 | |
| | 栃木 | 1,650 | 1,660 | 1,648 | 1,517 | 0.6 | ▲ 0.7 | ▲ 8.0 | 1.6 | |
| | 群馬 | 1,670 | 1,672 | 1,659 | 1,516 | 0.2 | ▲ 0.8 | ▲ 8.6 | 1.6 | |
| | 埼玉 | 5,320 | 5,373 | 5,380 | 4,871 | 1.0 | 0.1 | ▲ 9.4 | 5.0 | |
| | 千葉 | 4,614 | 4,652 | 4,627 | 4,176 | 0.8 | ▲ 0.5 | ▲ 9.8 | 4.3 | |
| | 東京 | 11,964 | 12,131 | 12,133 | 10,696 | 1.4 | 0.0 | ▲ 11.8 | 11.0 | |
| | 神奈川 | 7,161 | 7,260 | 7,259 | 6,567 | 1.4 | ▲ 0.0 | ▲ 9.5 | 6.8 | |
| | 新潟 | 1,861 | 1,868 | 1,850 | 1,705 | 0.4 | ▲ 1.0 | ▲ 7.8 | 1.8 | |
| | 富山 | 850 | 857 | 855 | 775 | 0.8 | ▲ 0.3 | ▲ 9.3 | 0.8 | |
| | 石川 | 907 | 921 | 913 | 829 | 1.6 | ▲ 0.9 | ▲ 9.2 | 0.9 | |
| | 福井 | 615 | 628 | 626 | 574 | 2.0 | ▲ 0.2 | ▲ 8.4 | 0.6 | |
| | 処 | 山梨 | 676 | 675 | 672 | 620 | ▲ 0.1 | ▲ 0.4 | ▲ 7.7 | 0.6 |
| 長野 | | 1,691 | 1,695 | 1,687 | 1,557 | 0.3 | ▲ 0.5 | ▲ 7.7 | 1.6 | |
| 岐阜 | | 1,719 | 1,722 | 1,714 | 1,570 | 0.2 | ▲ 0.5 | ▲ 8.4 | 1.6 | |
| 静岡 | | 3,084 | 3,110 | 3,102 | 2,884 | 0.9 | ▲ 0.3 | ▲ 7.0 | 3.0 | |
| 愛知 | | 6,254 | 6,338 | 6,332 | 5,812 | 1.3 | ▲ 0.1 | ▲ 8.2 | 6.0 | |
| 三重 | | 1,552 | 1,560 | 1,556 | 1,439 | 0.5 | ▲ 0.3 | ▲ 7.5 | 1.5 | |
| 滋賀 | | 1,063 | 1,072 | 1,076 | 983 | 0.8 | 0.3 | ▲ 8.6 | 1.0 | |
| 京都 | | 2,064 | 2,071 | 2,075 | 1,889 | 0.4 | 0.2 | ▲ 9.0 | 1.9 | |
| 大阪 | | 7,575 | 7,650 | 7,697 | 7,038 | 1.0 | 0.6 | ▲ 8.6 | 7.3 | |
| 兵庫 | | 4,745 | 4,777 | 4,796 | 4,387 | 0.7 | 0.4 | ▲ 8.5 | 4.5 | |
| 奈良 | | 1,124 | 1,130 | 1,134 | 1,044 | 0.5 | 0.4 | ▲ 8.0 | 1.1 | |
| 和歌山 | | 894 | 892 | 891 | 831 | ▲ 0.3 | ▲ 0.0 | ▲ 6.7 | 0.9 | |
| 理 | | 鳥取 | 490 | 490 | 491 | 456 | 0.2 | 0.2 | ▲ 7.1 | 0.5 |
| | | 島根 | 607 | 608 | 608 | 569 | 0.3 | ▲ 0.1 | ▲ 6.4 | 0.6 |
| | | 岡山 | 1,638 | 1,635 | 1,636 | 1,503 | ▲ 0.2 | 0.0 | ▲ 8.1 | 1.6 |
| | | 広島 | 2,464 | 2,458 | 2,467 | 2,272 | ▲ 0.2 | 0.4 | ▲ 7.9 | 2.3 |
| | 山口 | 1,276 | 1,274 | 1,268 | 1,183 | ▲ 0.1 | ▲ 0.5 | ▲ 6.7 | 1.2 | |
| | 徳島 | 681 | 676 | 672 | 622 | ▲ 0.6 | ▲ 0.7 | ▲ 7.4 | 0.6 | |
| | 香川 | 872 | 871 | 868 | 800 | ▲ 0.2 | ▲ 0.3 | ▲ 7.8 | 0.8 | |
| | 愛媛 | 1,219 | 1,216 | 1,215 | 1,123 | ▲ 0.2 | ▲ 0.1 | ▲ 7.5 | 1.2 | |
| | 高知 | 620 | 615 | 606 | 560 | ▲ 0.8 | ▲ 1.5 | ▲ 7.6 | 0.6 | |
| | 福岡 | 4,425 | 4,466 | 4,480 | 4,104 | 0.9 | 0.3 | ▲ 8.4 | 4.2 | |
| | 佐賀 | 746 | 750 | 751 | 704 | 0.6 | 0.2 | ▲ 6.2 | 0.7 | |
| | 長崎 | 1,245 | 1,240 | 1,234 | 1,146 | ▲ 0.4 | ▲ 0.5 | ▲ 7.1 | 1.2 | |
| | 熊本 | 1,629 | 1,622 | 1,618 | 1,493 | ▲ 0.5 | ▲ 0.2 | ▲ 7.7 | 1.5 | |
| | 大分 | 1,021 | 1,019 | 1,016 | 939 | ▲ 0.2 | ▲ 0.3 | ▲ 7.5 | 1.0 | |
| 宮崎 | 968 | 968 | 968 | 903 | ▲ 0.0 | 0.0 | ▲ 6.7 | 0.9 | | |
| 分 | 鹿児島 | 1,439 | 1,438 | 1,434 | 1,341 | ▲ 0.0 | ▲ 0.3 | ▲ 6.5 | 1.4 | |
| | 沖縄 | 1,026 | 1,028 | 1,050 | 935 | 0.2 | 2.2 | ▲ 10.9 | 1.0 | |

【表Ⅲ-1-4】1日当たり医療費(都道府県別)

| | | 実数(千円) | | | | 対前年度比(%) | | |
|--------|------|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 電 算 | 総数 | 14.6 | 14.9 | 15.4 | 16.3 | 2.2 | 3.3 | 5.7 |
| | 北海道 | 17.3 | 17.7 | 18.2 | 19.0 | 2.1 | 3.0 | 4.7 |
| | 青森 | 13.8 | 14.2 | 14.6 | 15.4 | 2.7 | 3.1 | 5.4 |
| | 岩手 | 14.2 | 14.6 | 14.9 | 15.5 | 2.3 | 2.2 | 4.1 |
| | 宮城 | 14.5 | 14.8 | 15.4 | 16.2 | 2.1 | 3.7 | 5.7 |
| | 秋田 | 14.5 | 14.8 | 15.3 | 15.8 | 2.6 | 2.8 | 3.9 |
| | 山形 | 14.2 | 14.4 | 14.8 | 15.3 | 1.6 | 2.7 | 3.7 |
| | 福島 | 14.5 | 14.8 | 15.3 | 16.0 | 2.1 | 3.6 | 4.6 |
| | 茨城 | 14.5 | 14.7 | 15.2 | 16.0 | 1.6 | 3.1 | 5.3 |
| | 栃木 | 14.5 | 14.8 | 15.4 | 16.2 | 1.9 | 4.3 | 5.2 |
| | 群馬 | 14.9 | 15.2 | 15.6 | 16.5 | 1.9 | 3.0 | 5.7 |
| | 埼玉 | 13.4 | 13.7 | 14.2 | 15.3 | 2.3 | 4.1 | 7.4 |
| | 千葉 | 14.4 | 14.8 | 15.3 | 16.5 | 2.5 | 3.8 | 7.9 |
| | 東京 | 14.4 | 14.7 | 15.3 | 16.4 | 2.2 | 3.9 | 7.1 |
| | 神奈川 | 13.7 | 14.0 | 14.5 | 15.5 | 2.3 | 3.5 | 6.5 |
| | 新潟 | 14.4 | 14.6 | 15.1 | 15.8 | 1.5 | 3.2 | 4.8 |
| | 富山 | 15.7 | 16.0 | 16.5 | 17.4 | 2.0 | 3.3 | 5.6 |
| | 石川 | 16.1 | 16.3 | 16.8 | 17.6 | 1.0 | 3.3 | 4.8 |
| | 福井 | 15.7 | 15.9 | 16.3 | 17.0 | 1.3 | 2.6 | 4.2 |
| | 処 | 山梨 | 14.1 | 14.3 | 14.8 | 15.5 | 2.1 | 3.2 |
| 長野 | | 15.4 | 15.7 | 16.2 | 17.0 | 2.2 | 2.7 | 5.3 |
| 岐阜 | | 13.7 | 13.9 | 14.3 | 15.1 | 1.5 | 2.5 | 5.3 |
| 静岡 | | 14.4 | 14.7 | 15.2 | 16.0 | 1.7 | 3.4 | 5.2 |
| 愛知 | | 13.9 | 14.2 | 14.7 | 15.6 | 2.1 | 3.7 | 5.9 |
| 三重 | | 13.5 | 13.8 | 14.2 | 14.8 | 1.9 | 3.0 | 4.1 |
| 滋賀 | | 14.7 | 15.0 | 15.4 | 16.1 | 1.9 | 2.5 | 4.9 |
| 京都 | | 15.9 | 16.3 | 16.8 | 17.8 | 2.5 | 3.0 | 5.6 |
| 大阪 | | 14.8 | 15.2 | 15.6 | 16.6 | 2.3 | 3.1 | 6.1 |
| 兵庫 | | 14.4 | 14.7 | 15.1 | 15.9 | 2.4 | 2.7 | 5.3 |
| 理 分 | 奈良 | 16.0 | 16.4 | 16.9 | 17.9 | 2.6 | 3.5 | 5.6 |
| | 和歌山 | 14.7 | 15.0 | 15.5 | 16.1 | 1.8 | 3.6 | 4.0 |
| | 鳥取 | 15.7 | 16.2 | 16.6 | 17.5 | 2.8 | 2.6 | 5.6 |
| | 島根 | 14.8 | 15.0 | 15.5 | 16.2 | 1.3 | 3.0 | 4.4 |
| | 岡山 | 16.0 | 16.3 | 16.8 | 17.7 | 2.2 | 3.0 | 4.9 |
| | 広島 | 14.1 | 14.5 | 14.9 | 15.7 | 2.7 | 3.0 | 5.6 |
| | 山口 | 14.1 | 14.4 | 14.8 | 15.4 | 2.2 | 2.2 | 4.3 |
| | 徳島 | 15.1 | 15.5 | 16.0 | 16.7 | 2.7 | 3.3 | 4.4 |
| | 香川 | 14.1 | 14.4 | 14.9 | 15.6 | 2.1 | 3.2 | 4.7 |
| | 愛媛 | 14.7 | 15.0 | 15.5 | 16.2 | 1.6 | 3.7 | 4.4 |
| | 高知 | 16.1 | 16.5 | 16.9 | 17.7 | 2.7 | 2.1 | 4.9 |
| | 福岡 | 14.7 | 15.0 | 15.4 | 16.2 | 2.4 | 2.5 | 5.3 |
| | 佐賀 | 13.1 | 13.5 | 14.1 | 14.9 | 3.5 | 4.3 | 5.5 |
| | 長崎 | 14.1 | 14.5 | 14.9 | 15.6 | 2.4 | 2.9 | 4.8 |
| | 熊本 | 14.5 | 15.0 | 15.4 | 16.3 | 3.1 | 3.0 | 5.7 |
| 大分 | 15.3 | 15.7 | 16.2 | 17.0 | 2.2 | 3.1 | 5.4 | |
| 宮崎 | 14.0 | 14.3 | 14.6 | 15.2 | 1.7 | 2.6 | 3.8 | |
| 鹿児島 | 14.8 | 15.2 | 15.8 | 16.6 | 2.8 | 3.7 | 5.2 | |
| 沖縄 | 16.5 | 17.0 | 17.4 | 18.7 | 3.4 | 2.3 | 7.3 | |

【表Ⅲ-1-5】1件当たり日数(都道府県別)

| | | 実数(日) | | | | 対前年度比(%) | | |
|----|-----|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 電 | 総数 | 2.0 | 1.9 | 1.9 | 1.9 | ▲ 1.2 | ▲ 0.9 | ▲ 0.5 |
| | 北海道 | 2.1 | 2.1 | 2.0 | 2.0 | ▲ 1.1 | ▲ 0.6 | ▲ 0.1 |
| | 青森 | 2.0 | 1.9 | 1.9 | 1.9 | ▲ 1.6 | ▲ 1.4 | ▲ 0.9 |
| | 岩手 | 1.9 | 1.8 | 1.8 | 1.8 | ▲ 1.1 | ▲ 1.0 | ▲ 0.6 |
| | 宮城 | 1.8 | 1.8 | 1.8 | 1.8 | ▲ 1.1 | ▲ 0.8 | ▲ 0.5 |
| | 秋田 | 1.9 | 1.9 | 1.9 | 1.8 | ▲ 1.0 | ▲ 0.9 | ▲ 1.0 |
| | 山形 | 1.9 | 1.8 | 1.8 | 1.8 | ▲ 0.7 | ▲ 0.9 | ▲ 1.1 |
| | 福島 | 1.8 | 1.8 | 1.8 | 1.8 | ▲ 1.2 | ▲ 0.7 | ▲ 0.6 |
| | 茨城 | 1.9 | 1.8 | 1.8 | 1.8 | ▲ 1.0 | ▲ 0.7 | ▲ 0.2 |
| | 栃木 | 1.9 | 1.9 | 1.8 | 1.8 | ▲ 1.3 | ▲ 1.0 | ▲ 0.6 |
| | 群馬 | 1.9 | 1.9 | 1.9 | 1.9 | ▲ 1.0 | ▲ 0.7 | ▲ 0.3 |
| | 埼玉 | 1.9 | 1.8 | 1.8 | 1.8 | ▲ 0.9 | ▲ 0.5 | ▲ 0.3 |
| | 千葉 | 1.9 | 1.8 | 1.8 | 1.8 | ▲ 0.9 | ▲ 0.6 | 0.3 |
| | 東京 | 1.8 | 1.8 | 1.8 | 1.8 | ▲ 1.2 | ▲ 0.8 | ▲ 0.3 |
| | 神奈川 | 1.8 | 1.8 | 1.8 | 1.8 | ▲ 0.9 | ▲ 0.7 | ▲ 0.2 |
| | 新潟 | 1.8 | 1.8 | 1.8 | 1.8 | ▲ 1.0 | ▲ 0.8 | ▲ 0.6 |
| | 富山 | 2.0 | 2.0 | 1.9 | 1.9 | ▲ 0.7 | ▲ 1.2 | ▲ 0.3 |
| | 石川 | 2.1 | 2.0 | 2.0 | 2.0 | ▲ 1.6 | ▲ 0.8 | ▲ 0.8 |
| | 福井 | 2.0 | 2.0 | 2.0 | 2.0 | ▲ 1.7 | ▲ 1.2 | ▲ 1.1 |
| | 処 | 山梨 | 1.9 | 1.9 | 1.9 | 1.9 | ▲ 0.8 | ▲ 0.7 |
| 長野 | | 1.8 | 1.8 | 1.8 | 1.8 | ▲ 0.6 | ▲ 0.5 | ▲ 0.2 |
| 岐阜 | | 1.9 | 1.9 | 1.9 | 1.8 | ▲ 1.3 | ▲ 1.2 | ▲ 1.1 |
| 静岡 | | 1.8 | 1.8 | 1.8 | 1.8 | ▲ 1.2 | ▲ 0.9 | ▲ 0.5 |
| 愛知 | | 1.9 | 1.9 | 1.8 | 1.8 | ▲ 1.4 | ▲ 0.9 | ▲ 0.7 |
| 三重 | | 1.9 | 1.9 | 1.9 | 1.9 | ▲ 1.2 | ▲ 0.6 | ▲ 0.9 |
| 滋賀 | | 1.9 | 1.8 | 1.8 | 1.8 | ▲ 1.2 | ▲ 0.8 | ▲ 0.8 |
| 京都 | | 2.0 | 2.0 | 2.0 | 2.0 | ▲ 1.2 | ▲ 0.7 | ▲ 1.0 |
| 大阪 | | 2.1 | 2.0 | 2.0 | 2.0 | ▲ 1.9 | ▲ 1.1 | ▲ 1.0 |
| 兵庫 | | 2.0 | 2.0 | 1.9 | 1.9 | ▲ 1.2 | ▲ 0.9 | ▲ 1.0 |
| 理 | 奈良 | 1.9 | 1.9 | 1.9 | 1.9 | ▲ 0.7 | ▲ 0.6 | ▲ 0.9 |
| | 和歌山 | 2.0 | 2.0 | 1.9 | 1.9 | ▲ 1.5 | ▲ 0.8 | ▲ 0.8 |
| | 鳥取 | 2.0 | 2.0 | 1.9 | 1.9 | ▲ 1.3 | ▲ 0.9 | ▲ 0.6 |
| | 島根 | 2.0 | 2.0 | 1.9 | 1.9 | ▲ 1.4 | ▲ 0.7 | ▲ 1.1 |
| | 岡山 | 2.0 | 2.0 | 2.0 | 2.0 | ▲ 1.5 | ▲ 0.9 | ▲ 0.6 |
| | 広島 | 2.1 | 2.1 | 2.1 | 2.1 | ▲ 1.4 | ▲ 1.1 | ▲ 0.6 |
| | 山口 | 2.2 | 2.2 | 2.1 | 2.1 | ▲ 1.5 | ▲ 1.1 | ▲ 1.1 |
| | 徳島 | 2.2 | 2.2 | 2.2 | 2.2 | ▲ 1.3 | ▲ 1.0 | 0.1 |
| | 香川 | 2.1 | 2.1 | 2.1 | 2.1 | ▲ 1.2 | ▲ 1.0 | ▲ 0.8 |
| | 愛媛 | 2.1 | 2.1 | 2.1 | 2.1 | ▲ 1.3 | ▲ 1.1 | ▲ 1.1 |
| 分 | 高知 | 2.3 | 2.3 | 2.3 | 2.3 | ▲ 0.8 | ▲ 1.0 | 0.4 |
| | 福岡 | 2.2 | 2.2 | 2.2 | 2.1 | ▲ 1.6 | ▲ 1.1 | ▲ 1.1 |
| | 佐賀 | 2.3 | 2.3 | 2.3 | 2.2 | ▲ 1.6 | ▲ 1.2 | ▲ 0.9 |
| | 長崎 | 2.3 | 2.2 | 2.2 | 2.2 | ▲ 1.5 | ▲ 1.2 | ▲ 1.0 |
| | 熊本 | 2.2 | 2.2 | 2.2 | 2.1 | ▲ 1.4 | ▲ 1.2 | ▲ 0.6 |
| | 大分 | 2.2 | 2.2 | 2.1 | 2.1 | ▲ 0.9 | ▲ 0.8 | ▲ 0.3 |
| | 宮崎 | 2.2 | 2.1 | 2.1 | 2.1 | ▲ 1.0 | ▲ 0.7 | ▲ 0.6 |
| | 鹿児島 | 2.3 | 2.3 | 2.3 | 2.3 | ▲ 1.1 | ▲ 1.2 | ▲ 0.6 |
| | 沖縄 | 2.1 | 2.0 | 2.0 | 2.0 | ▲ 0.7 | ▲ 1.3 | 0.2 |

【表Ⅲ-2-1】入院 医療費(都道府県別)

| | | 実数(億円) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) | |
|-----|-----|---------|---------|---------|---------|----------|-------|-------|----------------------|-----|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | | |
| 電 | 総数 | 160,920 | 164,191 | 167,987 | 161,853 | 2.0 | 2.3 | ▲ 3.7 | 100.0 | |
| | 北海道 | 9,367 | 9,491 | 9,638 | 9,217 | 1.3 | 1.5 | ▲ 4.4 | 5.7 | |
| | 青森 | 1,629 | 1,659 | 1,675 | 1,629 | 1.8 | 1.0 | ▲ 2.8 | 1.0 | |
| | 岩手 | 1,495 | 1,520 | 1,522 | 1,482 | 1.7 | 0.1 | ▲ 2.7 | 0.9 | |
| | 宮城 | 2,647 | 2,701 | 2,766 | 2,711 | 2.0 | 2.4 | ▲ 2.0 | 1.7 | |
| | 秋田 | 1,395 | 1,418 | 1,430 | 1,396 | 1.6 | 0.9 | ▲ 2.4 | 0.9 | |
| | 山形 | 1,452 | 1,472 | 1,491 | 1,433 | 1.4 | 1.3 | ▲ 3.9 | 0.9 | |
| | 福島 | 2,256 | 2,282 | 2,323 | 2,213 | 1.2 | 1.8 | ▲ 4.7 | 1.4 | |
| | 茨城 | 3,025 | 3,040 | 3,097 | 2,988 | 0.5 | 1.9 | ▲ 3.5 | 1.8 | |
| | 栃木 | 2,235 | 2,265 | 2,324 | 2,275 | 1.4 | 2.6 | ▲ 2.1 | 1.4 | |
| | 群馬 | 2,492 | 2,539 | 2,570 | 2,500 | 1.9 | 1.2 | ▲ 2.7 | 1.5 | |
| | 埼玉 | 6,598 | 6,802 | 7,121 | 6,947 | 3.1 | 4.7 | ▲ 2.4 | 4.3 | |
| | 千葉 | 6,355 | 6,538 | 6,733 | 6,666 | 2.9 | 3.0 | ▲ 1.0 | 4.1 | |
| | 東京 | 15,233 | 15,603 | 16,106 | 14,997 | 2.4 | 3.2 | ▲ 6.9 | 9.3 | |
| | 神奈川 | 8,921 | 9,212 | 9,490 | 9,109 | 3.3 | 3.0 | ▲ 4.0 | 5.6 | |
| | 新潟 | 2,587 | 2,616 | 2,655 | 2,575 | 1.1 | 1.5 | ▲ 3.0 | 1.6 | |
| | 富山 | 1,496 | 1,545 | 1,574 | 1,521 | 3.3 | 1.8 | ▲ 3.4 | 0.9 | |
| | 石川 | 1,765 | 1,771 | 1,802 | 1,699 | 0.3 | 1.7 | ▲ 5.7 | 1.0 | |
| | 福井 | 1,087 | 1,104 | 1,121 | 1,060 | 1.5 | 1.5 | ▲ 5.4 | 0.7 | |
| | 処 | 山梨 | 995 | 1,006 | 1,023 | 983 | 1.2 | 1.7 | ▲ 3.9 | 0.6 |
| 長野 | | 2,532 | 2,610 | 2,650 | 2,588 | 3.1 | 1.5 | ▲ 2.3 | 1.6 | |
| 岐阜 | | 2,175 | 2,198 | 2,204 | 2,110 | 1.1 | 0.3 | ▲ 4.3 | 1.3 | |
| 静岡 | | 4,029 | 4,085 | 4,175 | 4,072 | 1.4 | 2.2 | ▲ 2.5 | 2.5 | |
| 愛知 | | 7,762 | 7,956 | 8,170 | 7,922 | 2.5 | 2.7 | ▲ 3.0 | 4.9 | |
| 三重 | | 2,016 | 2,058 | 2,115 | 2,030 | 2.1 | 2.7 | ▲ 4.0 | 1.3 | |
| 滋賀 | | 1,582 | 1,608 | 1,636 | 1,555 | 1.6 | 1.8 | ▲ 5.0 | 1.0 | |
| 京都 | | 3,629 | 3,723 | 3,820 | 3,629 | 2.6 | 2.6 | ▲ 5.0 | 2.2 | |
| 大阪 | | 12,231 | 12,469 | 12,816 | 12,361 | 1.9 | 2.8 | ▲ 3.5 | 7.6 | |
| 兵庫 | | 7,219 | 7,377 | 7,528 | 7,189 | 2.2 | 2.1 | ▲ 4.5 | 4.4 | |
| 奈良 | | 1,771 | 1,835 | 1,892 | 1,817 | 3.6 | 3.1 | ▲ 4.0 | 1.1 | |
| 和歌山 | | 1,351 | 1,369 | 1,422 | 1,374 | 1.3 | 3.9 | ▲ 3.3 | 0.8 | |
| 理 | | 鳥取 | 898 | 919 | 936 | 921 | 2.3 | 1.9 | ▲ 1.6 | 0.6 |
| | | 島根 | 1,032 | 1,033 | 1,059 | 1,028 | 0.1 | 2.5 | ▲ 2.9 | 0.6 |
| | 岡山 | 2,907 | 2,934 | 2,991 | 2,869 | 0.9 | 1.9 | ▲ 4.1 | 1.8 | |
| | 広島 | 3,932 | 4,004 | 4,100 | 4,008 | 1.8 | 2.4 | ▲ 2.2 | 2.5 | |
| | 山口 | 2,343 | 2,363 | 2,373 | 2,298 | 0.9 | 0.4 | ▲ 3.2 | 1.4 | |
| | 徳島 | 1,280 | 1,296 | 1,318 | 1,292 | 1.2 | 1.7 | ▲ 2.0 | 0.8 | |
| | 香川 | 1,404 | 1,421 | 1,457 | 1,390 | 1.2 | 2.6 | ▲ 4.6 | 0.9 | |
| | 愛媛 | 2,055 | 2,076 | 2,129 | 2,041 | 1.1 | 2.5 | ▲ 4.1 | 1.3 | |
| | 高知 | 1,468 | 1,497 | 1,489 | 1,470 | 2.0 | ▲ 0.6 | ▲ 1.2 | 0.9 | |
| | 福岡 | 8,583 | 8,772 | 8,907 | 8,530 | 2.2 | 1.5 | ▲ 4.2 | 5.3 | |
| | 分 | 佐賀 | 1,340 | 1,371 | 1,418 | 1,400 | 2.3 | 3.4 | ▲ 1.3 | 0.9 |
| | | 長崎 | 2,454 | 2,475 | 2,504 | 2,430 | 0.9 | 1.2 | ▲ 3.0 | 1.5 |
| | | 熊本 | 3,065 | 3,124 | 3,180 | 3,132 | 1.9 | 1.8 | ▲ 1.5 | 1.9 |
| | | 大分 | 2,027 | 2,068 | 2,120 | 2,075 | 2.0 | 2.5 | ▲ 2.1 | 1.3 |
| 宮崎 | | 1,651 | 1,664 | 1,692 | 1,627 | 0.8 | 1.7 | ▲ 3.9 | 1.0 | |
| 鹿児島 | | 3,067 | 3,136 | 3,208 | 3,157 | 2.2 | 2.3 | ▲ 1.6 | 2.0 | |
| 沖縄 | | 2,087 | 2,165 | 2,218 | 2,139 | 3.7 | 2.5 | ▲ 3.5 | 1.3 | |

【表Ⅲ-2-2】入院 受診延日数(都道府県別)

| | | 実数(万日) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) | |
|-----|-----|--------|--------|--------|--------|----------|-------|-------|----------------------|-----|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | | |
| 電 | 総数 | 45,318 | 45,099 | 45,076 | 42,344 | ▲ 0.5 | ▲ 0.1 | ▲ 6.1 | 100.0 | |
| | 北海道 | 2,764 | 2,738 | 2,729 | 2,558 | ▲ 0.9 | ▲ 0.3 | ▲ 6.2 | 6.0 | |
| | 青森 | 487 | 483 | 475 | 452 | ▲ 0.9 | ▲ 1.6 | ▲ 5.0 | 1.1 | |
| | 岩手 | 471 | 462 | 456 | 430 | ▲ 1.9 | ▲ 1.3 | ▲ 5.9 | 1.0 | |
| | 宮城 | 728 | 723 | 719 | 683 | ▲ 0.6 | ▲ 0.5 | ▲ 5.1 | 1.6 | |
| | 秋田 | 429 | 427 | 424 | 403 | ▲ 0.5 | ▲ 0.9 | ▲ 5.0 | 1.0 | |
| | 山形 | 424 | 424 | 419 | 394 | ▲ 0.1 | ▲ 1.0 | ▲ 6.0 | 0.9 | |
| | 福島 | 667 | 655 | 652 | 607 | ▲ 1.8 | ▲ 0.5 | ▲ 6.9 | 1.4 | |
| | 茨城 | 877 | 871 | 867 | 818 | ▲ 0.7 | ▲ 0.4 | ▲ 5.7 | 1.9 | |
| | 栃木 | 641 | 635 | 631 | 594 | ▲ 0.8 | ▲ 0.7 | ▲ 5.8 | 1.4 | |
| | 群馬 | 705 | 704 | 699 | 662 | ▲ 0.1 | ▲ 0.7 | ▲ 5.3 | 1.6 | |
| | 埼玉 | 1,842 | 1,848 | 1,876 | 1,765 | 0.3 | 1.5 | ▲ 5.9 | 4.2 | |
| | 千葉 | 1,690 | 1,701 | 1,717 | 1,638 | 0.7 | 0.9 | ▲ 4.6 | 3.9 | |
| | 東京 | 3,624 | 3,628 | 3,660 | 3,337 | 0.1 | 0.9 | ▲ 8.8 | 7.9 | |
| | 神奈川 | 2,164 | 2,189 | 2,197 | 2,056 | 1.1 | 0.4 | ▲ 6.4 | 4.9 | |
| | 新潟 | 780 | 771 | 763 | 724 | ▲ 1.2 | ▲ 1.0 | ▲ 5.1 | 1.7 | |
| | 富山 | 454 | 457 | 454 | 432 | 0.7 | ▲ 0.7 | ▲ 4.9 | 1.0 | |
| | 石川 | 531 | 523 | 518 | 479 | ▲ 1.5 | ▲ 1.0 | ▲ 7.6 | 1.1 | |
| | 福井 | 326 | 321 | 317 | 296 | ▲ 1.5 | ▲ 1.3 | ▲ 6.6 | 0.7 | |
| | 処 | 山梨 | 300 | 298 | 297 | 280 | ▲ 0.8 | ▲ 0.4 | ▲ 5.6 | 0.7 |
| 長野 | | 662 | 666 | 668 | 629 | 0.6 | 0.2 | ▲ 5.8 | 1.5 | |
| 岐阜 | | 582 | 574 | 561 | 523 | ▲ 1.4 | ▲ 2.2 | ▲ 6.8 | 1.2 | |
| 静岡 | | 1,074 | 1,063 | 1,056 | 1,000 | ▲ 1.1 | ▲ 0.6 | ▲ 5.3 | 2.4 | |
| 愛知 | | 1,991 | 1,988 | 1,998 | 1,881 | ▲ 0.1 | 0.5 | ▲ 5.9 | 4.4 | |
| 三重 | | 587 | 581 | 579 | 540 | ▲ 1.0 | ▲ 0.3 | ▲ 6.7 | 1.3 | |
| 滋賀 | | 418 | 413 | 411 | 381 | ▲ 1.1 | ▲ 0.5 | ▲ 7.3 | 0.9 | |
| 京都 | | 935 | 934 | 937 | 861 | ▲ 0.1 | 0.3 | ▲ 8.1 | 2.0 | |
| 大阪 | | 3,204 | 3,185 | 3,201 | 3,003 | ▲ 0.6 | 0.5 | ▲ 6.2 | 7.1 | |
| 兵庫 | | 1,922 | 1,922 | 1,926 | 1,799 | 0.0 | 0.2 | ▲ 6.6 | 4.2 | |
| 奈良 | | 467 | 473 | 477 | 443 | 1.2 | 0.9 | ▲ 7.1 | 1.0 | |
| 和歌山 | | 387 | 380 | 383 | 358 | ▲ 1.7 | 0.9 | ▲ 6.5 | 0.8 | |
| 理 | | 鳥取 | 257 | 253 | 253 | 239 | ▲ 1.4 | 0.1 | ▲ 5.6 | 0.6 |
| | | 島根 | 307 | 301 | 302 | 283 | ▲ 2.0 | 0.3 | ▲ 6.1 | 0.7 |
| | 岡山 | 793 | 785 | 785 | 739 | ▲ 1.0 | ▲ 0.0 | ▲ 5.9 | 1.7 | |
| | 広島 | 1,173 | 1,163 | 1,163 | 1,108 | ▲ 0.8 | ▲ 0.1 | ▲ 4.7 | 2.6 | |
| | 山口 | 794 | 783 | 776 | 733 | ▲ 1.4 | ▲ 1.0 | ▲ 5.5 | 1.7 | |
| | 徳島 | 426 | 420 | 417 | 399 | ▲ 1.4 | ▲ 0.8 | ▲ 4.1 | 0.9 | |
| | 香川 | 421 | 419 | 422 | 393 | ▲ 0.4 | 0.5 | ▲ 6.7 | 0.9 | |
| | 愛媛 | 641 | 631 | 625 | 584 | ▲ 1.5 | ▲ 1.0 | ▲ 6.6 | 1.4 | |
| | 高知 | 495 | 494 | 486 | 467 | ▲ 0.3 | ▲ 1.7 | ▲ 3.8 | 1.1 | |
| | 分 | 福岡 | 2,614 | 2,600 | 2,596 | 2,449 | ▲ 0.5 | ▲ 0.2 | ▲ 5.6 | 5.8 |
| | | 佐賀 | 467 | 465 | 463 | 446 | ▲ 0.5 | ▲ 0.5 | ▲ 3.5 | 1.1 |
| | | 長崎 | 839 | 824 | 816 | 775 | ▲ 1.8 | ▲ 1.0 | ▲ 5.0 | 1.8 |
| | | 熊本 | 1,055 | 1,043 | 1,035 | 990 | ▲ 1.2 | ▲ 0.7 | ▲ 4.4 | 2.3 |
| | | 大分 | 659 | 654 | 652 | 620 | ▲ 0.8 | ▲ 0.3 | ▲ 4.9 | 1.5 |
| 宮崎 | | 564 | 559 | 560 | 528 | ▲ 0.9 | 0.1 | ▲ 5.6 | 1.2 | |
| 鹿児島 | | 1,082 | 1,072 | 1,066 | 1,007 | ▲ 0.9 | ▲ 0.6 | ▲ 5.5 | 2.4 | |
| 沖縄 | | 597 | 593 | 594 | 557 | ▲ 0.6 | 0.2 | ▲ 6.2 | 1.3 | |

【表Ⅲ-2-3】入院 件数(都道府県別)

| | | 実数(万件) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|----|-----|--------|--------|-------|-------|----------|-------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 | 総数 | 2,953 | 2,947 | 2,941 | 2,704 | ▲ 0.2 | ▲ 0.2 | ▲ 8.1 | 100.0 |
| | 北海道 | 169 | 168 | 166 | 152 | ▲ 0.6 | ▲ 0.6 | ▲ 8.5 | 5.6 |
| | 青森 | 31 | 31 | 30 | 28 | ▲ 0.6 | ▲ 1.6 | ▲ 5.8 | 1.1 |
| | 岩手 | 30 | 29 | 29 | 27 | ▲ 1.9 | ▲ 2.1 | ▲ 7.1 | 1.0 |
| | 宮城 | 50 | 50 | 50 | 46 | 0.2 | ▲ 0.4 | ▲ 6.8 | 1.7 |
| | 秋田 | 26 | 26 | 26 | 24 | ▲ 0.8 | ▲ 0.9 | ▲ 5.8 | 0.9 |
| | 山形 | 27 | 27 | 27 | 25 | ▲ 0.6 | ▲ 1.1 | ▲ 8.2 | 0.9 |
| | 福島 | 44 | 43 | 43 | 39 | ▲ 1.2 | ▲ 0.5 | ▲ 8.7 | 1.4 |
| | 茨城 | 58 | 57 | 57 | 52 | ▲ 0.9 | ▲ 0.3 | ▲ 8.2 | 1.9 |
| | 栃木 | 41 | 41 | 41 | 38 | ▲ 0.9 | 0.1 | ▲ 6.9 | 1.4 |
| | 群馬 | 46 | 46 | 45 | 42 | ▲ 0.2 | ▲ 1.4 | ▲ 7.5 | 1.5 |
| | 埼玉 | 122 | 123 | 124 | 114 | 0.7 | 1.4 | ▲ 8.3 | 4.2 |
| | 千葉 | 116 | 117 | 117 | 109 | 0.7 | 0.4 | ▲ 6.8 | 4.0 |
| | 東京 | 267 | 268 | 269 | 238 | 0.4 | 0.3 | ▲ 11.8 | 8.8 |
| | 神奈川 | 159 | 160 | 160 | 145 | 1.0 | ▲ 0.2 | ▲ 9.4 | 5.4 |
| | 新潟 | 49 | 49 | 48 | 45 | ▲ 0.9 | ▲ 1.4 | ▲ 6.3 | 1.7 |
| | 富山 | 28 | 29 | 28 | 26 | 0.8 | ▲ 0.9 | ▲ 7.5 | 1.0 |
| | 石川 | 33 | 33 | 32 | 29 | ▲ 1.0 | ▲ 1.2 | ▲ 9.7 | 1.1 |
| | 福井 | 21 | 20 | 20 | 18 | ▲ 0.8 | ▲ 1.0 | ▲ 8.8 | 0.7 |
| | 処 | 山梨 | 19 | 19 | 19 | 17 | 0.1 | ▲ 1.9 | ▲ 7.8 |
| 長野 | | 46 | 46 | 46 | 43 | 0.4 | ▲ 0.4 | ▲ 7.2 | 1.6 |
| 岐阜 | | 41 | 40 | 40 | 36 | ▲ 1.7 | ▲ 1.7 | ▲ 8.4 | 1.3 |
| 静岡 | | 72 | 72 | 71 | 67 | ▲ 0.6 | ▲ 0.4 | ▲ 6.6 | 2.5 |
| 愛知 | | 142 | 143 | 143 | 133 | 0.5 | 0.3 | ▲ 7.3 | 4.9 |
| 三重 | | 38 | 38 | 38 | 35 | ▲ 0.7 | ▲ 0.4 | ▲ 7.9 | 1.3 |
| 滋賀 | | 28 | 28 | 28 | 26 | ▲ 0.6 | ▲ 0.3 | ▲ 9.1 | 0.9 |
| 京都 | | 62 | 62 | 62 | 56 | 0.3 | 0.1 | ▲ 9.7 | 2.1 |
| 大阪 | | 215 | 215 | 216 | 198 | ▲ 0.1 | 0.5 | ▲ 8.4 | 7.3 |
| 兵庫 | | 128 | 128 | 128 | 117 | 0.2 | ▲ 0.0 | ▲ 9.1 | 4.3 |
| 理 | 奈良 | 32 | 32 | 32 | 29 | 1.3 | 0.2 | ▲ 9.0 | 1.1 |
| | 和歌山 | 25 | 24 | 25 | 23 | ▲ 1.5 | 0.9 | ▲ 7.0 | 0.8 |
| | 鳥取 | 16 | 16 | 16 | 15 | 0.0 | 0.6 | ▲ 6.6 | 0.6 |
| | 島根 | 19 | 19 | 19 | 18 | ▲ 1.6 | ▲ 0.0 | ▲ 6.3 | 0.6 |
| | 岡山 | 53 | 52 | 52 | 48 | ▲ 0.8 | ▲ 0.1 | ▲ 7.5 | 1.8 |
| | 広島 | 73 | 73 | 73 | 69 | ▲ 0.8 | ▲ 0.0 | ▲ 6.0 | 2.5 |
| | 山口 | 44 | 44 | 43 | 40 | ▲ 1.1 | ▲ 1.6 | ▲ 7.2 | 1.5 |
| | 徳島 | 24 | 24 | 24 | 23 | ▲ 0.8 | ▲ 0.9 | ▲ 5.7 | 0.8 |
| | 香川 | 27 | 26 | 27 | 24 | ▲ 1.0 | 0.7 | ▲ 8.5 | 0.9 |
| | 愛媛 | 40 | 39 | 39 | 36 | ▲ 1.2 | ▲ 0.7 | ▲ 8.2 | 1.3 |
| 分 | 高知 | 27 | 27 | 27 | 25 | ▲ 0.4 | ▲ 1.5 | ▲ 5.0 | 0.9 |
| | 福岡 | 156 | 156 | 155 | 143 | ▲ 0.0 | ▲ 0.3 | ▲ 8.1 | 5.3 |
| | 佐賀 | 26 | 26 | 26 | 25 | ▲ 0.1 | ▲ 0.2 | ▲ 5.0 | 0.9 |
| | 長崎 | 49 | 48 | 47 | 44 | ▲ 1.3 | ▲ 1.1 | ▲ 6.9 | 1.6 |
| | 熊本 | 60 | 60 | 59 | 56 | ▲ 0.7 | ▲ 1.0 | ▲ 5.6 | 2.1 |
| | 大分 | 40 | 40 | 40 | 38 | ▲ 0.2 | 0.1 | ▲ 5.8 | 1.4 |
| | 宮崎 | 34 | 33 | 33 | 31 | ▲ 1.0 | ▲ 0.1 | ▲ 6.9 | 1.1 |
| | 鹿児島 | 60 | 60 | 60 | 56 | ▲ 0.7 | ▲ 0.4 | ▲ 5.9 | 2.1 |
| | 沖縄 | 38 | 38 | 38 | 35 | 0.1 | 0.4 | ▲ 9.2 | 1.3 |

【表Ⅲ-2-4】入院 1日当たり医療費(都道府県別)

| | | 実数(千円) | | | | 対前年度比(%) | | | |
|----|-----|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|-----|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 | 総数 | 35.5 | 36.4 | 37.3 | 38.2 | 2.5 | 2.4 | 2.6 | |
| | 北海道 | 33.9 | 34.7 | 35.3 | 36.0 | 2.3 | 1.9 | 2.0 | |
| | 青森 | 33.4 | 34.4 | 35.3 | 36.1 | 2.8 | 2.6 | 2.3 | |
| | 岩手 | 31.7 | 32.9 | 33.3 | 34.5 | 3.6 | 1.4 | 3.4 | |
| | 宮城 | 36.4 | 37.4 | 38.5 | 39.7 | 2.7 | 2.9 | 3.2 | |
| | 秋田 | 32.5 | 33.2 | 33.8 | 34.7 | 2.1 | 1.8 | 2.7 | |
| | 山形 | 34.3 | 34.8 | 35.5 | 36.3 | 1.4 | 2.3 | 2.3 | |
| | 福島 | 33.8 | 34.8 | 35.6 | 36.5 | 3.0 | 2.3 | 2.4 | |
| | 茨城 | 34.5 | 34.9 | 35.7 | 36.5 | 1.2 | 2.3 | 2.3 | |
| | 栃木 | 34.9 | 35.6 | 36.8 | 38.3 | 2.2 | 3.3 | 3.9 | |
| | 群馬 | 35.3 | 36.1 | 36.7 | 37.8 | 2.0 | 1.9 | 2.7 | |
| | 埼玉 | 35.8 | 36.8 | 38.0 | 39.4 | 2.7 | 3.1 | 3.7 | |
| | 千葉 | 37.6 | 38.4 | 39.2 | 40.7 | 2.2 | 2.1 | 3.8 | |
| | 東京 | 42.0 | 43.0 | 44.0 | 44.9 | 2.3 | 2.3 | 2.1 | |
| | 神奈川 | 41.2 | 42.1 | 43.2 | 44.3 | 2.1 | 2.6 | 2.6 | |
| | 新潟 | 33.2 | 33.9 | 34.8 | 35.6 | 2.4 | 2.5 | 2.2 | |
| | 富山 | 33.0 | 33.8 | 34.6 | 35.2 | 2.5 | 2.5 | 1.7 | |
| | 石川 | 33.2 | 33.8 | 34.8 | 35.5 | 1.9 | 2.8 | 2.0 | |
| | 福井 | 33.3 | 34.4 | 35.3 | 35.8 | 3.1 | 2.8 | 1.3 | |
| 処 | 山梨 | 33.1 | 33.8 | 34.5 | 35.1 | 2.0 | 2.1 | 1.8 | |
| | 長野 | 38.3 | 39.2 | 39.7 | 41.1 | 2.4 | 1.3 | 3.6 | |
| | 岐阜 | 37.4 | 38.3 | 39.3 | 40.3 | 2.5 | 2.6 | 2.7 | |
| | 静岡 | 37.5 | 38.4 | 39.5 | 40.7 | 2.5 | 2.8 | 3.0 | |
| | 愛知 | 39.0 | 40.0 | 40.9 | 42.1 | 2.6 | 2.2 | 3.0 | |
| | 三重 | 34.4 | 35.4 | 36.5 | 37.6 | 3.1 | 3.1 | 2.8 | |
| | 滋賀 | 37.9 | 38.9 | 39.8 | 40.8 | 2.7 | 2.3 | 2.5 | |
| | 京都 | 38.8 | 39.9 | 40.8 | 42.1 | 2.7 | 2.3 | 3.3 | |
| | 大阪 | 38.2 | 39.1 | 40.0 | 41.2 | 2.6 | 2.3 | 2.8 | |
| | 兵庫 | 37.6 | 38.4 | 39.1 | 40.0 | 2.2 | 1.9 | 2.2 | |
| | 奈良 | 37.9 | 38.8 | 39.7 | 41.0 | 2.4 | 2.2 | 3.4 | |
| | 和歌山 | 34.9 | 36.0 | 37.1 | 38.4 | 3.1 | 3.0 | 3.4 | |
| | 理 | 鳥取 | 35.0 | 36.3 | 37.0 | 38.5 | 3.8 | 1.8 | 4.2 |
| 島根 | | 33.6 | 34.3 | 35.1 | 36.3 | 2.1 | 2.2 | 3.3 | |
| 岡山 | | 36.6 | 37.4 | 38.1 | 38.8 | 2.0 | 2.0 | 1.9 | |
| 広島 | | 33.5 | 34.4 | 35.3 | 36.2 | 2.6 | 2.5 | 2.6 | |
| 山口 | | 29.5 | 30.2 | 30.6 | 31.4 | 2.3 | 1.5 | 2.5 | |
| 徳島 | | 30.0 | 30.8 | 31.6 | 32.4 | 2.7 | 2.6 | 2.3 | |
| 香川 | | 33.3 | 33.9 | 34.6 | 35.3 | 1.6 | 2.0 | 2.2 | |
| 愛媛 | | 32.0 | 32.9 | 34.1 | 35.0 | 2.6 | 3.6 | 2.6 | |
| 高知 | | 29.7 | 30.3 | 30.6 | 31.5 | 2.2 | 1.1 | 2.6 | |
| 分 | | 福岡 | 32.8 | 33.7 | 34.3 | 34.8 | 2.7 | 1.7 | 1.5 |
| | | 佐賀 | 28.7 | 29.5 | 30.7 | 31.4 | 2.8 | 3.9 | 2.3 |
| | | 長崎 | 29.2 | 30.0 | 30.7 | 31.3 | 2.7 | 2.2 | 2.2 |
| | | 熊本 | 29.0 | 30.0 | 30.7 | 31.6 | 3.2 | 2.5 | 3.0 |
| | | 大分 | 30.8 | 31.6 | 32.5 | 33.5 | 2.8 | 2.8 | 2.9 |
| | | 宮崎 | 29.3 | 29.8 | 30.2 | 30.8 | 1.7 | 1.6 | 1.9 |
| | 鹿児島 | 28.3 | 29.3 | 30.1 | 31.4 | 3.2 | 2.9 | 4.2 | |
| | 沖縄 | 35.0 | 36.5 | 37.3 | 38.4 | 4.3 | 2.3 | 2.8 | |

【表Ⅲ-2-5】入院 1件当たり日数(都道府県別)

| | | 実数(日) | | | | 対前年度比(%) | | | |
|----|-----|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|-----|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 | 総数 | 15.3 | 15.3 | 15.3 | 15.7 | ▲ 0.3 | 0.1 | 2.2 | |
| | 北海道 | 16.4 | 16.3 | 16.4 | 16.8 | ▲ 0.3 | 0.3 | 2.5 | |
| | 青森 | 15.8 | 15.7 | 15.7 | 15.9 | ▲ 0.3 | ▲ 0.0 | 0.9 | |
| | 岩手 | 15.7 | 15.7 | 15.9 | 16.1 | 0.0 | 0.9 | 1.3 | |
| | 宮城 | 14.5 | 14.4 | 14.4 | 14.7 | ▲ 0.8 | ▲ 0.1 | 1.9 | |
| | 秋田 | 16.3 | 16.4 | 16.4 | 16.6 | 0.3 | 0.1 | 0.9 | |
| | 山形 | 15.5 | 15.6 | 15.6 | 16.0 | 0.6 | 0.2 | 2.3 | |
| | 福島 | 15.3 | 15.2 | 15.2 | 15.5 | ▲ 0.7 | ▲ 0.1 | 1.9 | |
| | 茨城 | 15.1 | 15.2 | 15.2 | 15.6 | 0.3 | ▲ 0.1 | 2.7 | |
| | 栃木 | 15.5 | 15.5 | 15.3 | 15.5 | 0.0 | ▲ 0.8 | 1.2 | |
| | 群馬 | 15.3 | 15.4 | 15.5 | 15.8 | 0.1 | 0.7 | 2.4 | |
| | 埼玉 | 15.1 | 15.1 | 15.1 | 15.5 | ▲ 0.4 | 0.1 | 2.6 | |
| | 千葉 | 14.6 | 14.6 | 14.7 | 15.0 | ▲ 0.0 | 0.5 | 2.4 | |
| | 東京 | 13.6 | 13.5 | 13.6 | 14.0 | ▲ 0.3 | 0.6 | 3.3 | |
| | 神奈川 | 13.6 | 13.6 | 13.7 | 14.2 | 0.1 | 0.5 | 3.2 | |
| | 新潟 | 15.9 | 15.8 | 15.9 | 16.1 | ▲ 0.3 | 0.4 | 1.3 | |
| | 富山 | 16.0 | 16.0 | 16.0 | 16.5 | ▲ 0.1 | 0.2 | 2.8 | |
| | 石川 | 16.2 | 16.1 | 16.1 | 16.5 | ▲ 0.6 | 0.1 | 2.4 | |
| | 処 | 福井 | 15.8 | 15.7 | 15.7 | 16.1 | ▲ 0.6 | ▲ 0.3 | 2.4 |
| | | 山梨 | 15.7 | 15.6 | 15.8 | 16.2 | ▲ 0.9 | 1.5 | 2.3 |
| 長野 | | 14.4 | 14.4 | 14.5 | 14.7 | 0.2 | 0.6 | 1.5 | |
| 岐阜 | | 14.2 | 14.2 | 14.1 | 14.4 | 0.3 | ▲ 0.5 | 1.7 | |
| 静岡 | | 14.9 | 14.8 | 14.8 | 15.0 | ▲ 0.4 | ▲ 0.3 | 1.4 | |
| 愛知 | | 14.0 | 13.9 | 13.9 | 14.1 | ▲ 0.6 | 0.2 | 1.5 | |
| 三重 | | 15.4 | 15.3 | 15.3 | 15.5 | ▲ 0.3 | 0.1 | 1.3 | |
| 滋賀 | | 14.7 | 14.6 | 14.6 | 14.9 | ▲ 0.5 | ▲ 0.2 | 2.0 | |
| 京都 | | 15.0 | 15.0 | 15.0 | 15.3 | ▲ 0.4 | 0.2 | 1.8 | |
| 大阪 | | 14.9 | 14.8 | 14.8 | 15.2 | ▲ 0.5 | ▲ 0.0 | 2.4 | |
| 理 | 兵庫 | 15.0 | 15.0 | 15.0 | 15.4 | ▲ 0.2 | 0.2 | 2.8 | |
| | 奈良 | 14.8 | 14.7 | 14.8 | 15.2 | ▲ 0.1 | 0.6 | 2.1 | |
| | 和歌山 | 15.6 | 15.6 | 15.6 | 15.7 | ▲ 0.2 | ▲ 0.1 | 0.5 | |
| | 鳥取 | 15.8 | 15.6 | 15.5 | 15.6 | ▲ 1.4 | ▲ 0.5 | 1.1 | |
| | 島根 | 16.1 | 16.0 | 16.1 | 16.1 | ▲ 0.5 | 0.3 | 0.3 | |
| | 岡山 | 15.0 | 15.0 | 15.0 | 15.2 | ▲ 0.3 | 0.1 | 1.8 | |
| | 広島 | 16.0 | 16.0 | 16.0 | 16.2 | ▲ 0.0 | ▲ 0.0 | 1.4 | |
| | 山口 | 18.0 | 17.9 | 18.0 | 18.4 | ▲ 0.3 | 0.5 | 1.8 | |
| | 徳島 | 17.5 | 17.4 | 17.4 | 17.7 | ▲ 0.6 | 0.0 | 1.7 | |
| | 香川 | 15.8 | 15.9 | 15.9 | 16.2 | 0.7 | ▲ 0.2 | 2.1 | |
| 分 | 愛媛 | 16.1 | 16.0 | 16.0 | 16.2 | ▲ 0.3 | ▲ 0.3 | 1.8 | |
| | 高知 | 18.3 | 18.3 | 18.3 | 18.5 | 0.2 | ▲ 0.2 | 1.3 | |
| | 福岡 | 16.8 | 16.7 | 16.7 | 17.1 | ▲ 0.5 | 0.2 | 2.7 | |
| | 佐賀 | 17.8 | 17.7 | 17.6 | 17.9 | ▲ 0.4 | ▲ 0.3 | 1.5 | |
| | 長崎 | 17.3 | 17.2 | 17.2 | 17.6 | ▲ 0.5 | 0.1 | 2.0 | |
| | 熊本 | 17.5 | 17.4 | 17.4 | 17.7 | ▲ 0.5 | 0.3 | 1.3 | |
| | 大分 | 16.3 | 16.2 | 16.2 | 16.3 | ▲ 0.6 | ▲ 0.4 | 0.9 | |
| | 宮崎 | 16.7 | 16.7 | 16.8 | 17.0 | 0.1 | 0.2 | 1.4 | |
| | 鹿児島 | 17.9 | 17.9 | 17.9 | 17.9 | ▲ 0.2 | ▲ 0.2 | 0.4 | |
| | 沖縄 | 15.7 | 15.6 | 15.5 | 16.0 | ▲ 0.7 | ▲ 0.2 | 3.3 | |

【表Ⅲ-2-6】入院 推計新規入院件数(都道府県別)

| | | 実数(万件) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|----|------|---------|---------|---------|---------|----------|--------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 | 総数 | 1,512.3 | 1,514.3 | 1,513.2 | 1,355.9 | 0.1 | ▲ 0.1 | ▲ 10.4 | 100.0 |
| | 北海道 | 80.3 | 80.1 | 79.6 | 70.4 | ▲ 0.3 | ▲ 0.7 | ▲ 11.5 | 5.2 |
| | 青森 | 15.4 | 15.3 | 15.1 | 14.1 | ▲ 0.2 | ▲ 1.2 | ▲ 6.9 | 1.0 |
| | 岩手 | 15.0 | 14.7 | 14.3 | 13.0 | ▲ 1.9 | ▲ 2.8 | ▲ 8.6 | 1.0 |
| | 宮城 | 27.0 | 27.2 | 27.2 | 24.8 | 0.9 | ▲ 0.1 | ▲ 8.7 | 1.8 |
| | 秋田 | 12.6 | 12.4 | 12.3 | 11.5 | ▲ 1.1 | ▲ 0.8 | ▲ 7.1 | 0.8 |
| | 山形 | 13.8 | 13.7 | 13.5 | 12.1 | ▲ 1.2 | ▲ 1.1 | ▲ 10.7 | 0.9 |
| | 福島 | 22.3 | 22.2 | 22.2 | 19.8 | ▲ 0.5 | ▲ 0.1 | ▲ 10.7 | 1.5 |
| | 茨城 | 30.1 | 29.7 | 29.7 | 26.5 | ▲ 1.2 | 0.0 | ▲ 10.9 | 2.0 |
| | 栃木 | 21.1 | 20.9 | 21.1 | 19.4 | ▲ 0.9 | 1.1 | ▲ 8.3 | 1.4 |
| | 群馬 | 23.6 | 23.5 | 23.1 | 20.7 | ▲ 0.3 | ▲ 1.8 | ▲ 10.1 | 1.5 |
| | 埼玉 | 63.2 | 63.9 | 64.8 | 57.8 | 1.1 | 1.5 | ▲ 10.8 | 4.3 |
| | 千葉 | 62.2 | 62.7 | 62.8 | 57.1 | 0.7 | 0.2 | ▲ 9.1 | 4.2 |
| | 東京 | 153.3 | 154.2 | 154.3 | 132.2 | 0.6 | 0.0 | ▲ 14.3 | 9.7 |
| | 神奈川 | 90.6 | 91.5 | 91.1 | 80.2 | 0.9 | ▲ 0.4 | ▲ 12.0 | 5.9 |
| | 新潟 | 24.3 | 24.2 | 23.8 | 21.9 | ▲ 0.5 | ▲ 1.6 | ▲ 8.0 | 1.6 |
| | 富山 | 13.9 | 14.0 | 13.9 | 12.4 | 1.0 | ▲ 0.9 | ▲ 10.7 | 0.9 |
| | 石川 | 15.9 | 15.8 | 15.7 | 13.7 | ▲ 0.4 | ▲ 1.0 | ▲ 12.4 | 1.0 |
| | 福井 | 10.2 | 10.2 | 10.1 | 9.0 | ▲ 0.2 | ▲ 0.5 | ▲ 11.4 | 0.7 |
| | 処 | 山梨 | 9.5 | 9.6 | 9.3 | 8.4 | 1.0 | ▲ 3.2 | ▲ 10.4 |
| 長野 | | 25.0 | 25.1 | 24.9 | 22.8 | 0.2 | ▲ 0.7 | ▲ 8.7 | 1.7 |
| 岐阜 | | 22.7 | 22.2 | 22.0 | 19.8 | ▲ 1.9 | ▲ 1.0 | ▲ 9.9 | 1.5 |
| 静岡 | | 38.0 | 38.0 | 38.0 | 34.9 | ▲ 0.2 | 0.2 | ▲ 8.1 | 2.6 |
| 愛知 | | 79.5 | 80.3 | 80.6 | 73.6 | 1.0 | 0.3 | ▲ 8.7 | 5.4 |
| 三重 | | 19.5 | 19.5 | 19.4 | 17.6 | ▲ 0.4 | ▲ 0.2 | ▲ 9.3 | 1.3 |
| 滋賀 | | 15.2 | 15.1 | 15.2 | 13.5 | ▲ 0.1 | 0.1 | ▲ 11.0 | 1.0 |
| 京都 | | 32.5 | 32.7 | 32.8 | 29.0 | 0.7 | 0.2 | ▲ 11.6 | 2.1 |
| 大阪 | | 113.2 | 113.6 | 114.5 | 102.2 | 0.3 | 0.8 | ▲ 10.7 | 7.5 |
| 兵庫 | | 67.0 | 67.2 | 67.3 | 59.3 | 0.3 | 0.1 | ▲ 11.8 | 4.4 |
| 理 | 奈良 | 16.8 | 17.1 | 17.0 | 15.2 | 1.4 | ▲ 0.1 | ▲ 11.1 | 1.1 |
| | 和歌山 | 12.4 | 12.3 | 12.4 | 11.5 | ▲ 1.3 | 1.3 | ▲ 7.8 | 0.8 |
| | 鳥取 | 8.1 | 8.2 | 8.3 | 7.7 | 1.6 | 1.4 | ▲ 8.0 | 0.6 |
| | 島根 | 9.3 | 9.2 | 9.2 | 8.5 | ▲ 1.1 | ▲ 0.1 | ▲ 7.0 | 0.6 |
| | 岡山 | 27.7 | 27.5 | 27.6 | 25.0 | ▲ 0.5 | 0.1 | ▲ 9.4 | 1.8 |
| | 広島 | 36.1 | 35.8 | 35.9 | 33.2 | ▲ 0.7 | 0.3 | ▲ 7.7 | 2.4 |
| | 山口 | 18.6 | 18.5 | 18.1 | 16.3 | ▲ 0.7 | ▲ 2.0 | ▲ 9.9 | 1.2 |
| | 徳島 | 10.7 | 10.7 | 10.6 | 9.8 | ▲ 0.0 | ▲ 0.6 | ▲ 8.2 | 0.7 |
| | 香川 | 13.3 | 13.0 | 13.2 | 11.8 | ▲ 1.7 | 1.1 | ▲ 10.8 | 0.9 |
| | 愛媛 | 19.5 | 19.3 | 19.3 | 17.3 | ▲ 0.9 | ▲ 0.1 | ▲ 10.3 | 1.3 |
| 分 | 高知 | 11.2 | 11.1 | 11.0 | 10.2 | ▲ 0.7 | ▲ 0.8 | ▲ 7.2 | 0.8 |
| | 福岡 | 72.4 | 72.8 | 72.7 | 64.4 | 0.6 | ▲ 0.2 | ▲ 11.4 | 4.8 |
| | 佐賀 | 11.3 | 11.4 | 11.4 | 10.6 | 0.4 | 0.6 | ▲ 7.3 | 0.8 |
| | 長崎 | 21.7 | 21.6 | 21.4 | 19.3 | ▲ 0.7 | ▲ 0.9 | ▲ 9.7 | 1.4 |
| | 熊本 | 26.6 | 26.5 | 26.3 | 24.3 | ▲ 0.1 | ▲ 1.0 | ▲ 7.6 | 1.8 |
| | 大分 | 19.4 | 19.5 | 19.6 | 18.2 | 0.5 | 0.8 | ▲ 7.1 | 1.3 |
| | 宮崎 | 15.7 | 15.5 | 15.5 | 14.2 | ▲ 1.1 | ▲ 0.1 | ▲ 8.9 | 1.0 |
| | 鹿児島 | 25.6 | 25.5 | 25.5 | 23.8 | ▲ 0.4 | 0.2 | ▲ 6.8 | 1.8 |
| 沖縄 | 19.1 | 19.3 | 19.4 | 17.0 | 0.8 | 0.9 | ▲ 12.6 | 1.3 | |

【表Ⅲ-2-7】入院 推計平均在院日数(都道府県別)

| | | 実数(日) | | | | 対前年度比(%) | | |
|----|------|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 電 | 総数 | 30.0 | 29.8 | 29.8 | 31.2 | ▲ 0.6 | 0.0 | 4.8 |
| | 北海道 | 34.4 | 34.2 | 34.3 | 36.3 | ▲ 0.7 | 0.3 | 5.9 |
| | 青森 | 31.7 | 31.5 | 31.4 | 32.0 | ▲ 0.7 | ▲ 0.4 | 2.1 |
| | 岩手 | 31.5 | 31.5 | 32.0 | 32.9 | 0.0 | 1.5 | 3.0 |
| | 宮城 | 27.0 | 26.6 | 26.5 | 27.5 | ▲ 1.5 | ▲ 0.4 | 4.0 |
| | 秋田 | 34.2 | 34.4 | 34.4 | 35.1 | 0.6 | ▲ 0.1 | 2.3 |
| | 山形 | 30.7 | 31.0 | 31.1 | 32.7 | 1.2 | 0.1 | 5.2 |
| | 福島 | 29.9 | 29.5 | 29.4 | 30.6 | ▲ 1.3 | ▲ 0.4 | 4.2 |
| | 茨城 | 29.2 | 29.3 | 29.2 | 30.9 | 0.5 | ▲ 0.4 | 5.9 |
| | 栃木 | 30.4 | 30.4 | 29.9 | 30.7 | 0.1 | ▲ 1.8 | 2.7 |
| | 群馬 | 29.9 | 30.0 | 30.3 | 31.9 | 0.2 | 1.2 | 5.3 |
| | 埼玉 | 29.2 | 28.9 | 28.9 | 30.5 | ▲ 0.7 | 0.0 | 5.5 |
| | 千葉 | 27.2 | 27.2 | 27.3 | 28.7 | ▲ 0.0 | 0.7 | 4.9 |
| | 東京 | 23.6 | 23.5 | 23.7 | 25.2 | ▲ 0.5 | 0.9 | 6.4 |
| | 神奈川 | 23.9 | 23.9 | 24.1 | 25.6 | 0.2 | 0.8 | 6.3 |
| | 新潟 | 32.1 | 31.9 | 32.1 | 33.1 | ▲ 0.7 | 0.6 | 3.1 |
| | 富山 | 32.6 | 32.6 | 32.6 | 34.7 | ▲ 0.2 | 0.2 | 6.4 |
| | 石川 | 33.5 | 33.1 | 33.1 | 34.9 | ▲ 1.2 | ▲ 0.0 | 5.5 |
| | 福井 | 32.0 | 31.6 | 31.3 | 33.0 | ▲ 1.3 | ▲ 0.8 | 5.4 |
| | 山梨 | 31.5 | 31.0 | 31.8 | 33.5 | ▲ 1.8 | 2.9 | 5.3 |
| 処 | 長野 | 26.4 | 26.6 | 26.8 | 27.6 | 0.5 | 0.9 | 3.2 |
| | 岐阜 | 25.7 | 25.8 | 25.5 | 26.4 | 0.6 | ▲ 1.2 | 3.5 |
| | 静岡 | 28.2 | 28.0 | 27.8 | 28.6 | ▲ 0.9 | ▲ 0.8 | 3.0 |
| | 愛知 | 25.0 | 24.8 | 24.8 | 25.6 | ▲ 1.1 | 0.2 | 3.1 |
| | 三重 | 30.0 | 29.8 | 29.8 | 30.7 | ▲ 0.6 | ▲ 0.1 | 2.9 |
| | 滋賀 | 27.5 | 27.3 | 27.1 | 28.2 | ▲ 1.0 | ▲ 0.6 | 4.2 |
| | 京都 | 28.8 | 28.6 | 28.6 | 29.7 | ▲ 0.9 | 0.2 | 3.9 |
| | 大阪 | 28.3 | 28.0 | 28.0 | 29.4 | ▲ 0.9 | ▲ 0.3 | 5.1 |
| | 兵庫 | 28.7 | 28.6 | 28.6 | 30.3 | ▲ 0.3 | 0.1 | 5.9 |
| | 奈良 | 27.8 | 27.7 | 28.0 | 29.2 | ▲ 0.2 | 1.0 | 4.4 |
| | 和歌山 | 31.1 | 30.9 | 30.8 | 31.2 | ▲ 0.5 | ▲ 0.4 | 1.4 |
| | 鳥取 | 31.7 | 30.8 | 30.4 | 31.2 | ▲ 3.0 | ▲ 1.3 | 2.6 |
| | 島根 | 33.1 | 32.8 | 33.0 | 33.3 | ▲ 1.0 | 0.4 | 1.0 |
| | 岡山 | 28.7 | 28.5 | 28.5 | 29.6 | ▲ 0.6 | ▲ 0.1 | 3.9 |
| 広島 | 32.5 | 32.5 | 32.3 | 33.4 | ▲ 0.0 | ▲ 0.4 | 3.3 | |
| 分 | 山口 | 42.6 | 42.3 | 42.7 | 44.8 | ▲ 0.7 | 1.0 | 4.9 |
| | 徳島 | 39.8 | 39.3 | 39.2 | 40.9 | ▲ 1.4 | ▲ 0.3 | 4.4 |
| | 香川 | 31.7 | 32.2 | 32.0 | 33.5 | 1.4 | ▲ 0.6 | 4.7 |
| | 愛媛 | 32.9 | 32.7 | 32.3 | 33.7 | ▲ 0.6 | ▲ 1.0 | 4.2 |
| | 高知 | 44.3 | 44.5 | 44.1 | 45.7 | 0.4 | ▲ 0.9 | 3.7 |
| | 福岡 | 36.1 | 35.7 | 35.7 | 38.0 | ▲ 1.1 | 0.0 | 6.4 |
| | 佐賀 | 41.3 | 40.9 | 40.5 | 42.1 | ▲ 1.0 | ▲ 1.1 | 4.1 |
| | 長崎 | 38.6 | 38.2 | 38.2 | 40.2 | ▲ 1.1 | ▲ 0.1 | 5.2 |
| | 熊本 | 39.7 | 39.3 | 39.4 | 40.8 | ▲ 1.1 | 0.3 | 3.4 |
| | 大分 | 34.0 | 33.6 | 33.2 | 34.0 | ▲ 1.3 | ▲ 1.1 | 2.3 |
| | 宮崎 | 35.9 | 36.0 | 36.0 | 37.3 | 0.3 | 0.1 | 3.5 |
| | 鹿児島 | 42.3 | 42.1 | 41.8 | 42.3 | ▲ 0.5 | ▲ 0.8 | 1.3 |
| 沖縄 | 31.2 | 30.8 | 30.6 | 32.8 | ▲ 1.4 | ▲ 0.8 | 7.3 | |

【表Ⅲ-3-1】入院外 医療費(都道府県別)

| | | 実数(億円) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) | |
|-----|-------|---------|---------|---------|---------|----------|-------|-------|----------------------|-----|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | | |
| 電 | 総数 | 140,792 | 142,399 | 145,506 | 139,219 | 1.1 | 2.2 | ▲ 4.3 | 100.0 | |
| | 北海道 | 6,113 | 6,142 | 6,283 | 6,038 | 0.5 | 2.3 | ▲ 3.9 | 4.3 | |
| | 青森 | 1,430 | 1,436 | 1,457 | 1,390 | 0.4 | 1.5 | ▲ 4.6 | 1.0 | |
| | 岩手 | 1,287 | 1,286 | 1,299 | 1,248 | ▲ 0.1 | 1.0 | ▲ 3.9 | 0.9 | |
| | 宮城 | 2,446 | 2,482 | 2,530 | 2,434 | 1.5 | 1.9 | ▲ 3.8 | 1.7 | |
| | 秋田 | 1,068 | 1,078 | 1,091 | 1,045 | 1.0 | 1.2 | ▲ 4.2 | 0.8 | |
| | 山形 | 1,227 | 1,233 | 1,248 | 1,188 | 0.5 | 1.2 | ▲ 4.8 | 0.9 | |
| | 福島 | 2,028 | 2,036 | 2,054 | 1,959 | 0.4 | 0.9 | ▲ 4.6 | 1.4 | |
| | 茨城 | 2,857 | 2,897 | 2,952 | 2,830 | 1.4 | 1.9 | ▲ 4.1 | 2.0 | |
| | 栃木 | 2,277 | 2,304 | 2,363 | 2,236 | 1.2 | 2.6 | ▲ 5.4 | 1.6 | |
| | 群馬 | 2,252 | 2,258 | 2,295 | 2,187 | 0.2 | 1.6 | ▲ 4.7 | 1.6 | |
| | 埼玉 | 6,673 | 6,795 | 6,979 | 6,730 | 1.8 | 2.7 | ▲ 3.6 | 4.8 | |
| | 千葉 | 5,952 | 6,070 | 6,205 | 5,971 | 2.0 | 2.2 | ▲ 3.8 | 4.3 | |
| | 東京 | 15,908 | 16,299 | 16,793 | 15,982 | 2.5 | 3.0 | ▲ 4.8 | 11.5 | |
| | 神奈川 | 8,879 | 9,088 | 9,325 | 8,971 | 2.3 | 2.6 | ▲ 3.8 | 6.4 | |
| | 新潟 | 2,296 | 2,309 | 2,338 | 2,220 | 0.6 | 1.3 | ▲ 5.0 | 1.6 | |
| | 富山 | 1,147 | 1,153 | 1,173 | 1,103 | 0.6 | 1.7 | ▲ 6.0 | 0.8 | |
| | 石川 | 1,251 | 1,273 | 1,292 | 1,224 | 1.7 | 1.5 | ▲ 5.2 | 0.9 | |
| | 福井 | 897 | 910 | 915 | 861 | 1.5 | 0.6 | ▲ 5.9 | 0.6 | |
| | 処 | 山梨 | 829 | 839 | 859 | 827 | 1.1 | 2.4 | ▲ 3.7 | 0.6 |
| 長野 | | 2,165 | 2,177 | 2,220 | 2,136 | 0.5 | 2.0 | ▲ 3.8 | 1.5 | |
| 岐阜 | | 2,324 | 2,319 | 2,352 | 2,233 | ▲ 0.2 | 1.4 | ▲ 5.1 | 1.6 | |
| 静岡 | | 4,130 | 4,187 | 4,281 | 4,162 | 1.4 | 2.3 | ▲ 2.8 | 3.0 | |
| 愛知 | | 8,567 | 8,705 | 8,927 | 8,590 | 1.6 | 2.6 | ▲ 3.8 | 6.2 | |
| 三重 | | 1,977 | 1,987 | 2,012 | 1,912 | 0.5 | 1.3 | ▲ 5.0 | 1.4 | |
| 滋賀 | | 1,327 | 1,345 | 1,376 | 1,310 | 1.4 | 2.3 | ▲ 4.8 | 0.9 | |
| 京都 | | 3,034 | 3,049 | 3,113 | 2,970 | 0.5 | 2.1 | ▲ 4.6 | 2.1 | |
| 大阪 | | 11,073 | 11,161 | 11,416 | 10,917 | 0.8 | 2.3 | ▲ 4.4 | 7.8 | |
| 兵庫 | | 6,331 | 6,427 | 6,578 | 6,270 | 1.5 | 2.3 | ▲ 4.7 | 4.5 | |
| 奈良 | | 1,670 | 1,689 | 1,747 | 1,686 | 1.1 | 3.4 | ▲ 3.4 | 1.2 | |
| 和歌山 | | 1,268 | 1,251 | 1,269 | 1,215 | ▲ 1.4 | 1.5 | ▲ 4.3 | 0.9 | |
| 理 | | 鳥取 | 634 | 638 | 649 | 625 | 0.6 | 1.8 | ▲ 3.7 | 0.4 |
| | | 島根 | 752 | 755 | 768 | 738 | 0.4 | 1.7 | ▲ 3.9 | 0.5 |
| | 岡山 | 2,405 | 2,401 | 2,459 | 2,355 | ▲ 0.1 | 2.4 | ▲ 4.2 | 1.7 | |
| | 広島 | 3,425 | 3,430 | 3,497 | 3,337 | 0.1 | 2.0 | ▲ 4.6 | 2.4 | |
| | 山口 | 1,597 | 1,597 | 1,610 | 1,536 | 0.0 | 0.8 | ▲ 4.6 | 1.1 | |
| | 徳島 | 985 | 985 | 999 | 952 | ▲ 0.0 | 1.4 | ▲ 4.7 | 0.7 | |
| | 香川 | 1,213 | 1,215 | 1,231 | 1,182 | 0.2 | 1.3 | ▲ 4.0 | 0.8 | |
| | 愛媛 | 1,756 | 1,739 | 1,777 | 1,687 | ▲ 1.0 | 2.2 | ▲ 5.1 | 1.2 | |
| | 高知 | 851 | 845 | 845 | 803 | ▲ 0.6 | ▲ 0.0 | ▲ 5.0 | 0.6 | |
| | 福岡 | 5,844 | 5,900 | 6,007 | 5,699 | 1.0 | 1.8 | ▲ 5.1 | 4.1 | |
| | 佐賀 | 923 | 949 | 976 | 947 | 2.8 | 2.9 | ▲ 3.0 | 0.7 | |
| | 長崎 | 1,561 | 1,558 | 1,580 | 1,505 | ▲ 0.2 | 1.4 | ▲ 4.7 | 1.1 | |
| | 熊本 | 2,173 | 2,176 | 2,204 | 2,086 | 0.1 | 1.3 | ▲ 5.3 | 1.5 | |
| | 大分 | 1,396 | 1,394 | 1,407 | 1,352 | ▲ 0.2 | 0.9 | ▲ 3.9 | 1.0 | |
| 宮崎 | 1,274 | 1,280 | 1,308 | 1,259 | 0.5 | 2.2 | ▲ 3.7 | 0.9 | | |
| 分 | 鹿児島 | 1,942 | 1,958 | 1,994 | 1,930 | 0.8 | 1.8 | ▲ 3.2 | 1.4 | |
| | 沖縄 | 1,377 | 1,395 | 1,455 | 1,380 | 1.2 | 4.3 | ▲ 5.1 | 1.0 | |

【表Ⅲ-3-2】入院外 受診延日数(都道府県別)

| | | 実数(万日) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-----|--------|---------|---------|---------|---------|----------|--------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 | 総数 | 161,443 | 160,444 | 158,459 | 142,557 | ▲ 0.6 | ▲ 1.2 | ▲ 10.0 | 100.0 |
| | 北海道 | 6,184 | 6,111 | 6,023 | 5,454 | ▲ 1.2 | ▲ 1.4 | ▲ 9.5 | 3.8 |
| | 青森 | 1,730 | 1,700 | 1,669 | 1,509 | ▲ 1.7 | ▲ 1.9 | ▲ 9.6 | 1.1 |
| | 岩手 | 1,482 | 1,463 | 1,438 | 1,331 | ▲ 1.3 | ▲ 1.7 | ▲ 7.5 | 0.9 |
| | 宮城 | 2,780 | 2,773 | 2,726 | 2,485 | ▲ 0.3 | ▲ 1.7 | ▲ 8.9 | 1.7 |
| | 秋田 | 1,273 | 1,255 | 1,229 | 1,138 | ▲ 1.5 | ▲ 2.0 | ▲ 7.4 | 0.8 |
| | 山形 | 1,469 | 1,457 | 1,435 | 1,317 | ▲ 0.8 | ▲ 1.5 | ▲ 8.3 | 0.9 |
| | 福島 | 2,288 | 2,264 | 2,204 | 1,996 | ▲ 1.1 | ▲ 2.6 | ▲ 9.5 | 1.4 |
| | 茨城 | 3,190 | 3,168 | 3,124 | 2,828 | ▲ 0.7 | ▲ 1.4 | ▲ 9.5 | 2.0 |
| | 栃木 | 2,469 | 2,454 | 2,406 | 2,184 | ▲ 0.6 | ▲ 1.9 | ▲ 9.2 | 1.5 |
| | 群馬 | 2,478 | 2,454 | 2,410 | 2,171 | ▲ 1.0 | ▲ 1.8 | ▲ 9.9 | 1.5 |
| | 埼玉 | 8,086 | 8,090 | 8,023 | 7,173 | 0.1 | ▲ 0.8 | ▲ 10.6 | 5.0 |
| | 千葉 | 6,847 | 6,830 | 6,719 | 6,000 | ▲ 0.2 | ▲ 1.6 | ▲ 10.7 | 4.2 |
| | 東京 | 18,021 | 18,063 | 17,865 | 15,584 | 0.2 | ▲ 1.1 | ▲ 12.8 | 10.9 |
| | 神奈川 | 10,826 | 10,861 | 10,764 | 9,641 | 0.3 | ▲ 0.9 | ▲ 10.4 | 6.8 |
| | 新潟 | 2,617 | 2,606 | 2,553 | 2,315 | ▲ 0.4 | ▲ 2.0 | ▲ 9.3 | 1.6 |
| | 富山 | 1,234 | 1,232 | 1,210 | 1,073 | ▲ 0.2 | ▲ 1.8 | ▲ 11.3 | 0.8 |
| | 石川 | 1,338 | 1,346 | 1,320 | 1,178 | 0.6 | ▲ 1.9 | ▲ 10.8 | 0.8 |
| | 福井 | 935 | 942 | 929 | 832 | 0.8 | ▲ 1.5 | ▲ 10.4 | 0.6 |
| 山梨 | 998 | 989 | 975 | 891 | ▲ 0.9 | ▲ 1.4 | ▲ 8.6 | 0.6 | |
| 長野 | 2,389 | 2,376 | 2,346 | 2,146 | ▲ 0.6 | ▲ 1.3 | ▲ 8.5 | 1.5 | |
| 岐阜 | 2,693 | 2,664 | 2,624 | 2,361 | ▲ 1.1 | ▲ 1.5 | ▲ 10.0 | 1.7 | |
| 静岡 | 4,579 | 4,572 | 4,512 | 4,153 | ▲ 0.2 | ▲ 1.3 | ▲ 8.0 | 2.9 | |
| 愛知 | 9,745 | 9,742 | 9,613 | 8,704 | ▲ 0.0 | ▲ 1.3 | ▲ 9.5 | 6.1 | |
| 三重 | 2,371 | 2,358 | 2,332 | 2,130 | ▲ 0.5 | ▲ 1.1 | ▲ 8.7 | 1.5 | |
| 滋賀 | 1,557 | 1,554 | 1,547 | 1,394 | ▲ 0.2 | ▲ 0.5 | ▲ 9.9 | 1.0 | |
| 京都 | 3,243 | 3,208 | 3,182 | 2,852 | ▲ 1.1 | ▲ 0.8 | ▲ 10.4 | 2.0 | |
| 大阪 | 12,526 | 12,408 | 12,309 | 11,039 | ▲ 0.9 | ▲ 0.8 | ▲ 10.3 | 7.7 | |
| 兵庫 | 7,494 | 7,443 | 7,390 | 6,641 | ▲ 0.7 | ▲ 0.7 | ▲ 10.1 | 4.7 | |
| 奈良 | 1,689 | 1,679 | 1,671 | 1,515 | ▲ 0.6 | ▲ 0.5 | ▲ 9.3 | 1.1 | |
| 和歌山 | 1,393 | 1,368 | 1,349 | 1,245 | ▲ 1.8 | ▲ 1.4 | ▲ 7.7 | 0.9 | |
| 理 | 鳥取 | 717 | 709 | 702 | 643 | ▲ 1.1 | ▲ 1.1 | ▲ 8.4 | 0.5 |
| 島根 | 896 | 889 | 879 | 810 | ▲ 0.8 | ▲ 1.1 | ▲ 7.9 | 0.6 | |
| 岡山 | 2,526 | 2,479 | 2,451 | 2,218 | ▲ 1.9 | ▲ 1.1 | ▲ 9.5 | 1.6 | |
| 広島 | 4,049 | 3,973 | 3,936 | 3,560 | ▲ 1.9 | ▲ 0.9 | ▲ 9.5 | 2.5 | |
| 山口 | 1,995 | 1,959 | 1,923 | 1,757 | ▲ 1.8 | ▲ 1.8 | ▲ 8.6 | 1.2 | |
| 徳島 | 1,072 | 1,049 | 1,028 | 940 | ▲ 2.2 | ▲ 2.0 | ▲ 8.5 | 0.7 | |
| 香川 | 1,433 | 1,410 | 1,385 | 1,258 | ▲ 1.6 | ▲ 1.7 | ▲ 9.2 | 0.9 | |
| 愛媛 | 1,948 | 1,920 | 1,895 | 1,719 | ▲ 1.4 | ▲ 1.3 | ▲ 9.3 | 1.2 | |
| 高知 | 946 | 924 | 897 | 817 | ▲ 2.3 | ▲ 2.9 | ▲ 9.0 | 0.6 | |
| 分 | 福岡 | 7,210 | 7,156 | 7,082 | 6,322 | ▲ 0.7 | ▲ 1.0 | ▲ 10.7 | 4.4 |
| 佐賀 | 1,266 | 1,250 | 1,235 | 1,132 | ▲ 1.2 | ▲ 1.2 | ▲ 8.4 | 0.8 | |
| 長崎 | 2,003 | 1,964 | 1,927 | 1,747 | ▲ 1.9 | ▲ 1.9 | ▲ 9.4 | 1.2 | |
| 熊本 | 2,553 | 2,499 | 2,457 | 2,211 | ▲ 2.1 | ▲ 1.7 | ▲ 10.0 | 1.6 | |
| 大分 | 1,572 | 1,553 | 1,530 | 1,392 | ▲ 1.2 | ▲ 1.5 | ▲ 9.0 | 1.0 | |
| 宮崎 | 1,523 | 1,506 | 1,491 | 1,372 | ▲ 1.1 | ▲ 1.0 | ▲ 8.0 | 1.0 | |
| 鹿児島 | 2,299 | 2,271 | 2,227 | 2,054 | ▲ 1.2 | ▲ 2.0 | ▲ 7.8 | 1.4 | |
| 沖縄 | 1,508 | 1,499 | 1,516 | 1,326 | ▲ 0.6 | 1.1 | ▲ 12.5 | 0.9 | |

【表Ⅲ-3-3】入院外 件数(都道府県別)

| | | 実数(万件) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-----|-------|---------|---------|---------|--------|----------|--------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 | 総数 | 102,618 | 103,315 | 103,200 | 94,212 | 0.7 | ▲ 0.1 | ▲ 8.7 | 100.0 |
| | 北海道 | 4,136 | 4,138 | 4,118 | 3,773 | 0.0 | ▲ 0.5 | ▲ 8.4 | 4.0 |
| | 青森 | 1,104 | 1,105 | 1,102 | 1,016 | 0.1 | ▲ 0.3 | ▲ 7.7 | 1.1 |
| | 岩手 | 1,023 | 1,020 | 1,014 | 948 | ▲ 0.3 | ▲ 0.6 | ▲ 6.5 | 1.0 |
| | 宮城 | 1,896 | 1,910 | 1,898 | 1,753 | 0.8 | ▲ 0.7 | ▲ 7.6 | 1.9 |
| | 秋田 | 869 | 867 | 859 | 809 | ▲ 0.2 | ▲ 0.9 | ▲ 5.9 | 0.9 |
| | 山形 | 989 | 990 | 986 | 919 | 0.1 | ▲ 0.5 | ▲ 6.7 | 1.0 |
| | 福島 | 1,571 | 1,570 | 1,547 | 1,419 | ▲ 0.0 | ▲ 1.5 | ▲ 8.3 | 1.5 |
| | 茨城 | 2,133 | 2,140 | 2,130 | 1,948 | 0.3 | ▲ 0.5 | ▲ 8.5 | 2.1 |
| | 栃木 | 1,609 | 1,619 | 1,607 | 1,478 | 0.6 | ▲ 0.7 | ▲ 8.0 | 1.6 |
| | 群馬 | 1,624 | 1,627 | 1,614 | 1,474 | 0.2 | ▲ 0.8 | ▲ 8.7 | 1.6 |
| | 埼玉 | 5,198 | 5,251 | 5,255 | 4,757 | 1.0 | 0.1 | ▲ 9.5 | 5.0 |
| | 千葉 | 4,499 | 4,535 | 4,510 | 4,067 | 0.8 | ▲ 0.5 | ▲ 9.8 | 4.3 |
| | 東京 | 11,696 | 11,863 | 11,863 | 10,458 | 1.4 | 0.0 | ▲ 11.8 | 11.1 |
| | 神奈川 | 7,002 | 7,099 | 7,099 | 6,422 | 1.4 | 0.0 | ▲ 9.5 | 6.8 |
| | 新潟 | 1,812 | 1,819 | 1,802 | 1,660 | 0.4 | ▲ 1.0 | ▲ 7.9 | 1.8 |
| | 富山 | 822 | 828 | 826 | 749 | 0.8 | ▲ 0.2 | ▲ 9.3 | 0.8 |
| | 石川 | 874 | 889 | 881 | 800 | 1.6 | ▲ 0.9 | ▲ 9.1 | 0.8 |
| | 福井 | 595 | 607 | 606 | 555 | 2.1 | ▲ 0.2 | ▲ 8.4 | 0.6 |
| | 山梨 | 657 | 656 | 653 | 603 | ▲ 0.1 | ▲ 0.4 | ▲ 7.7 | 0.6 |
| 長野 | 1,645 | 1,649 | 1,641 | 1,515 | 0.3 | ▲ 0.5 | ▲ 7.7 | 1.6 | |
| 岐阜 | 1,678 | 1,682 | 1,675 | 1,534 | 0.2 | ▲ 0.4 | ▲ 8.4 | 1.6 | |
| 静岡 | 3,012 | 3,039 | 3,030 | 2,817 | 0.9 | ▲ 0.3 | ▲ 7.0 | 3.0 | |
| 愛知 | 6,112 | 6,195 | 6,189 | 5,679 | 1.4 | ▲ 0.1 | ▲ 8.2 | 6.0 | |
| 三重 | 1,514 | 1,523 | 1,518 | 1,405 | 0.6 | ▲ 0.3 | ▲ 7.5 | 1.5 | |
| 滋賀 | 1,035 | 1,044 | 1,047 | 957 | 0.9 | 0.3 | ▲ 8.6 | 1.0 | |
| 京都 | 2,002 | 2,009 | 2,012 | 1,832 | 0.4 | 0.2 | ▲ 8.9 | 1.9 | |
| 大阪 | 7,360 | 7,436 | 7,481 | 6,841 | 1.0 | 0.6 | ▲ 8.6 | 7.3 | |
| 兵庫 | 4,617 | 4,649 | 4,668 | 4,271 | 0.7 | 0.4 | ▲ 8.5 | 4.5 | |
| 奈良 | 1,092 | 1,098 | 1,102 | 1,014 | 0.5 | 0.4 | ▲ 8.0 | 1.1 | |
| 和歌山 | 870 | 867 | 867 | 808 | ▲ 0.3 | ▲ 0.1 | ▲ 6.7 | 0.9 | |
| 鳥取 | 473 | 474 | 475 | 441 | 0.2 | 0.1 | ▲ 7.1 | 0.5 | |
| 島根 | 588 | 590 | 589 | 551 | 0.4 | ▲ 0.1 | ▲ 6.4 | 0.6 | |
| 岡山 | 1,585 | 1,583 | 1,583 | 1,455 | ▲ 0.1 | 0.0 | ▲ 8.1 | 1.5 | |
| 広島 | 2,390 | 2,385 | 2,394 | 2,203 | ▲ 0.2 | 0.4 | ▲ 8.0 | 2.3 | |
| 山口 | 1,232 | 1,230 | 1,225 | 1,143 | ▲ 0.1 | ▲ 0.5 | ▲ 6.7 | 1.2 | |
| 徳島 | 656 | 652 | 648 | 600 | ▲ 0.6 | ▲ 0.7 | ▲ 7.4 | 0.6 | |
| 香川 | 845 | 844 | 842 | 776 | ▲ 0.2 | ▲ 0.3 | ▲ 7.8 | 0.8 | |
| 愛媛 | 1,179 | 1,177 | 1,175 | 1,087 | ▲ 0.2 | ▲ 0.1 | ▲ 7.5 | 1.2 | |
| 高知 | 593 | 588 | 579 | 535 | ▲ 0.8 | ▲ 1.5 | ▲ 7.7 | 0.6 | |
| 福岡 | 4,269 | 4,310 | 4,324 | 3,962 | 1.0 | 0.3 | ▲ 8.4 | 4.2 | |
| 佐賀 | 719 | 724 | 725 | 680 | 0.6 | 0.2 | ▲ 6.3 | 0.7 | |
| 長崎 | 1,196 | 1,192 | 1,187 | 1,102 | ▲ 0.4 | ▲ 0.4 | ▲ 7.1 | 1.2 | |
| 熊本 | 1,569 | 1,562 | 1,559 | 1,437 | ▲ 0.5 | ▲ 0.2 | ▲ 7.8 | 1.5 | |
| 大分 | 980 | 979 | 975 | 901 | ▲ 0.2 | ▲ 0.3 | ▲ 7.6 | 1.0 | |
| 宮崎 | 935 | 935 | 935 | 872 | 0.0 | 0.0 | ▲ 6.7 | 0.9 | |
| 鹿児島 | 1,379 | 1,378 | 1,374 | 1,285 | ▲ 0.0 | ▲ 0.3 | ▲ 6.5 | 1.4 | |
| 沖縄 | 988 | 990 | 1,012 | 900 | 0.2 | 2.2 | ▲ 11.0 | 1.0 | |

【表Ⅲ-3-4】入院外 1日当たり医療費(都道府県別)

| | | 実数(千円) | | | | 対前年度比(%) | | |
|----|-----|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 電 | 総数 | 8.7 | 8.9 | 9.2 | 9.8 | 1.8 | 3.5 | 6.4 |
| | 北海道 | 9.9 | 10.1 | 10.4 | 11.1 | 1.7 | 3.8 | 6.1 |
| | 青森 | 8.3 | 8.4 | 8.7 | 9.2 | 2.2 | 3.4 | 5.5 |
| | 岩手 | 8.7 | 8.8 | 9.0 | 9.4 | 1.2 | 2.8 | 3.8 |
| | 宮城 | 8.8 | 9.0 | 9.3 | 9.8 | 1.7 | 3.7 | 5.6 |
| | 秋田 | 8.4 | 8.6 | 8.9 | 9.2 | 2.4 | 3.3 | 3.5 |
| | 山形 | 8.4 | 8.5 | 8.7 | 9.0 | 1.3 | 2.8 | 3.8 |
| | 福島 | 8.9 | 9.0 | 9.3 | 9.8 | 1.5 | 3.6 | 5.4 |
| | 茨城 | 9.0 | 9.1 | 9.4 | 10.0 | 2.1 | 3.3 | 5.9 |
| | 栃木 | 9.2 | 9.4 | 9.8 | 10.2 | 1.8 | 4.6 | 4.3 |
| | 群馬 | 9.1 | 9.2 | 9.5 | 10.1 | 1.2 | 3.5 | 5.8 |
| | 埼玉 | 8.3 | 8.4 | 8.7 | 9.4 | 1.8 | 3.6 | 7.9 |
| | 千葉 | 8.7 | 8.9 | 9.2 | 10.0 | 2.2 | 3.9 | 7.8 |
| | 東京 | 8.8 | 9.0 | 9.4 | 10.3 | 2.2 | 4.2 | 9.1 |
| | 神奈川 | 8.2 | 8.4 | 8.7 | 9.3 | 2.0 | 3.5 | 7.4 |
| | 新潟 | 8.8 | 8.9 | 9.2 | 9.6 | 1.0 | 3.4 | 4.7 |
| | 富山 | 9.3 | 9.4 | 9.7 | 10.3 | 0.8 | 3.5 | 6.0 |
| | 石川 | 9.4 | 9.5 | 9.8 | 10.4 | 1.2 | 3.4 | 6.2 |
| | 福井 | 9.6 | 9.7 | 9.9 | 10.3 | 0.6 | 2.1 | 5.0 |
| | 処 | 山梨 | 8.3 | 8.5 | 8.8 | 9.3 | 2.1 | 3.9 |
| 長野 | | 9.1 | 9.2 | 9.5 | 10.0 | 1.1 | 3.3 | 5.2 |
| 岐阜 | | 8.6 | 8.7 | 9.0 | 9.5 | 0.9 | 3.0 | 5.5 |
| 静岡 | | 9.0 | 9.2 | 9.5 | 10.0 | 1.5 | 3.6 | 5.6 |
| 愛知 | | 8.8 | 8.9 | 9.3 | 9.9 | 1.6 | 3.9 | 6.3 |
| 三重 | | 8.3 | 8.4 | 8.6 | 9.0 | 1.1 | 2.4 | 4.1 |
| 滋賀 | | 8.5 | 8.7 | 8.9 | 9.4 | 1.6 | 2.8 | 5.7 |
| 京都 | | 9.4 | 9.5 | 9.8 | 10.4 | 1.6 | 2.9 | 6.5 |
| 大阪 | | 8.8 | 9.0 | 9.3 | 9.9 | 1.8 | 3.1 | 6.6 |
| 兵庫 | | 8.4 | 8.6 | 8.9 | 9.4 | 2.2 | 3.1 | 6.1 |
| 理 | 奈良 | 9.9 | 10.1 | 10.5 | 11.1 | 1.8 | 3.9 | 6.5 |
| | 和歌山 | 9.1 | 9.1 | 9.4 | 9.8 | 0.4 | 2.9 | 3.7 |
| | 鳥取 | 8.8 | 9.0 | 9.2 | 9.7 | 1.7 | 2.9 | 5.1 |
| | 島根 | 8.4 | 8.5 | 8.7 | 9.1 | 1.2 | 2.9 | 4.3 |
| | 岡山 | 9.5 | 9.7 | 10.0 | 10.6 | 1.8 | 3.6 | 5.8 |
| | 広島 | 8.5 | 8.6 | 8.9 | 9.4 | 2.1 | 2.9 | 5.5 |
| | 山口 | 8.0 | 8.2 | 8.4 | 8.7 | 1.8 | 2.7 | 4.4 |
| | 徳島 | 9.2 | 9.4 | 9.7 | 10.1 | 2.2 | 3.5 | 4.2 |
| | 香川 | 8.5 | 8.6 | 8.9 | 9.4 | 1.9 | 3.1 | 5.7 |
| | 愛媛 | 9.0 | 9.1 | 9.4 | 9.8 | 0.5 | 3.5 | 4.6 |
| | 高知 | 9.0 | 9.1 | 9.4 | 9.8 | 1.7 | 2.9 | 4.4 |
| | 福岡 | 8.1 | 8.2 | 8.5 | 9.0 | 1.7 | 2.9 | 6.3 |
| | 佐賀 | 7.3 | 7.6 | 7.9 | 8.4 | 4.0 | 4.2 | 5.9 |
| | 長崎 | 7.8 | 7.9 | 8.2 | 8.6 | 1.8 | 3.3 | 5.2 |
| | 熊本 | 8.5 | 8.7 | 9.0 | 9.4 | 2.3 | 3.1 | 5.2 |
| 分 | 大分 | 8.9 | 9.0 | 9.2 | 9.7 | 1.0 | 2.5 | 5.6 |
| | 宮崎 | 8.4 | 8.5 | 8.8 | 9.2 | 1.6 | 3.2 | 4.6 |
| | 鹿児島 | 8.4 | 8.6 | 9.0 | 9.4 | 2.1 | 3.9 | 4.9 |
| | 沖縄 | 9.1 | 9.3 | 9.6 | 10.4 | 1.8 | 3.2 | 8.4 |

【表Ⅲ-3-5】入院外 1 件当たり日数(都道府県別)

| | | 実数(日) | | | | 対前年度比(%) | | |
|-----|-----|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 電 | 総数 | 1.6 | 1.6 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.3 | ▲ 1.1 | ▲ 1.5 |
| | 北海道 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.4 | ▲ 1.2 | ▲ 1.0 | ▲ 1.2 |
| | 青森 | 1.6 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.8 | ▲ 1.5 | ▲ 2.0 |
| | 岩手 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | ▲ 1.0 | ▲ 1.1 | ▲ 1.0 |
| | 宮城 | 1.5 | 1.5 | 1.4 | 1.4 | ▲ 1.0 | ▲ 1.0 | ▲ 1.3 |
| | 秋田 | 1.5 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | ▲ 1.3 | ▲ 1.2 | ▲ 1.7 |
| | 山形 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.4 | ▲ 0.9 | ▲ 1.0 | ▲ 1.6 |
| | 福島 | 1.5 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | ▲ 1.0 | ▲ 1.2 | ▲ 1.3 |
| | 茨城 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.0 | ▲ 0.9 | ▲ 1.1 |
| | 栃木 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.2 | ▲ 1.2 | ▲ 1.4 |
| | 群馬 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.2 | ▲ 1.0 | ▲ 1.4 |
| | 埼玉 | 1.6 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.0 | ▲ 0.9 | ▲ 1.2 |
| | 千葉 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.0 | ▲ 1.1 | ▲ 1.0 |
| | 東京 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.2 | ▲ 1.1 | ▲ 1.0 |
| | 神奈川 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.0 | ▲ 0.9 | ▲ 1.0 |
| | 新潟 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | ▲ 0.8 | ▲ 1.1 | ▲ 1.6 |
| | 富山 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.4 | ▲ 0.9 | ▲ 1.5 | ▲ 2.2 |
| | 石川 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.1 | ▲ 1.0 | ▲ 1.8 |
| | 福井 | 1.6 | 1.6 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.2 | ▲ 1.3 | ▲ 2.2 |
| | 山梨 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 0.8 | ▲ 1.0 | ▲ 1.0 |
| 長野 | 1.5 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | ▲ 0.8 | ▲ 0.8 | ▲ 0.9 | |
| 岐阜 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.5 | ▲ 1.3 | ▲ 1.1 | ▲ 1.8 | |
| 静岡 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.0 | ▲ 1.0 | ▲ 1.0 | |
| 愛知 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.5 | ▲ 1.4 | ▲ 1.2 | ▲ 1.3 | |
| 三重 | 1.6 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.1 | ▲ 0.8 | ▲ 1.3 | |
| 滋賀 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.1 | ▲ 0.8 | ▲ 1.4 | |
| 京都 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | ▲ 1.4 | ▲ 1.0 | ▲ 1.6 | |
| 大阪 | 1.7 | 1.7 | 1.6 | 1.6 | ▲ 2.0 | ▲ 1.4 | ▲ 1.9 | |
| 兵庫 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | ▲ 1.4 | ▲ 1.1 | ▲ 1.8 | |
| 奈良 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.1 | ▲ 0.9 | ▲ 1.5 | |
| 和歌山 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.5 | ▲ 1.5 | ▲ 1.3 | ▲ 1.1 | |
| 鳥取 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.2 | ▲ 1.2 | ▲ 1.4 | |
| 島根 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.2 | ▲ 1.0 | ▲ 1.6 | |
| 岡山 | 1.6 | 1.6 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.7 | ▲ 1.2 | ▲ 1.5 | |
| 広島 | 1.7 | 1.7 | 1.6 | 1.6 | ▲ 1.7 | ▲ 1.3 | ▲ 1.7 | |
| 山口 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.5 | ▲ 1.7 | ▲ 1.4 | ▲ 2.1 | |
| 徳島 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | ▲ 1.6 | ▲ 1.3 | ▲ 1.2 | |
| 香川 | 1.7 | 1.7 | 1.6 | 1.6 | ▲ 1.5 | ▲ 1.4 | ▲ 1.5 | |
| 愛媛 | 1.7 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | ▲ 1.3 | ▲ 1.2 | ▲ 1.9 | |
| 高知 | 1.6 | 1.6 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.5 | ▲ 1.5 | ▲ 1.4 | |
| 福岡 | 1.7 | 1.7 | 1.6 | 1.6 | ▲ 1.7 | ▲ 1.4 | ▲ 2.6 | |
| 佐賀 | 1.8 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | ▲ 1.8 | ▲ 1.4 | ▲ 2.2 | |
| 長崎 | 1.7 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | ▲ 1.6 | ▲ 1.5 | ▲ 2.4 | |
| 熊本 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.5 | ▲ 1.6 | ▲ 1.5 | ▲ 2.4 | |
| 大分 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.5 | ▲ 1.1 | ▲ 1.2 | ▲ 1.5 | |
| 宮崎 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | ▲ 1.2 | ▲ 1.0 | ▲ 1.3 | |
| 鹿児島 | 1.7 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | ▲ 1.2 | ▲ 1.7 | ▲ 1.4 | |
| 沖縄 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 0.7 | ▲ 1.1 | ▲ 1.7 | |

【表Ⅳ-1-1】医療費(年齢階級別)

| | | 実数(億円) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-----------------------|-------------|---------|---------|---------|---------|----------|-------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 301,712 | 306,590 | 313,493 | 301,073 | 1.6 | 2.3 | ▲ 4.0 | 100.0 |
| | 0歳以上 5歳未満 | 8,965 | 8,909 | 8,720 | 6,885 | ▲ 0.6 | ▲ 2.1 | ▲ 21.1 | 2.3 |
| | 5歳以上 10歳未満 | 3,968 | 3,980 | 3,921 | 3,131 | 0.3 | ▲ 1.5 | ▲ 20.1 | 1.0 |
| | 10歳以上 15歳未満 | 3,507 | 3,509 | 3,501 | 3,148 | 0.1 | ▲ 0.2 | ▲ 10.1 | 1.0 |
| | 15歳以上 20歳未満 | 3,106 | 3,153 | 3,196 | 2,954 | 1.5 | 1.3 | ▲ 7.6 | 1.0 |
| | 20歳以上 25歳未満 | 3,098 | 3,209 | 3,255 | 3,161 | 3.6 | 1.4 | ▲ 2.9 | 1.0 |
| | 25歳以上 30歳未満 | 4,094 | 4,146 | 4,176 | 4,032 | 1.3 | 0.7 | ▲ 3.5 | 1.3 |
| | 30歳以上 35歳未満 | 5,577 | 5,562 | 5,488 | 5,122 | ▲ 0.3 | ▲ 1.3 | ▲ 6.7 | 1.7 |
| | 35歳以上 40歳未満 | 6,849 | 6,806 | 6,755 | 6,347 | ▲ 0.6 | ▲ 0.7 | ▲ 6.0 | 2.1 |
| | 40歳以上 45歳未満 | 9,291 | 9,018 | 8,844 | 8,156 | ▲ 2.9 | ▲ 1.9 | ▲ 7.8 | 2.7 |
| | 45歳以上 50歳未満 | 11,673 | 11,978 | 12,345 | 11,876 | 2.6 | 3.1 | ▲ 3.8 | 3.9 |
| | 50歳以上 55歳未満 | 13,128 | 13,547 | 14,071 | 13,817 | 3.2 | 3.9 | ▲ 1.8 | 4.6 |
| | 55歳以上 60歳未満 | 15,797 | 16,019 | 16,493 | 16,249 | 1.4 | 3.0 | ▲ 1.5 | 5.4 |
| | 60歳以上 65歳未満 | 20,909 | 20,500 | 20,666 | 19,648 | ▲ 2.0 | 0.8 | ▲ 4.9 | 6.5 |
| | 65歳以上 70歳未満 | 34,407 | 32,607 | 30,849 | 28,019 | ▲ 5.2 | ▲ 5.4 | ▲ 9.2 | 9.3 |
| | 70歳以上 75歳未満 | 35,067 | 37,077 | 39,573 | 40,466 | 5.7 | 6.7 | 2.3 | 13.4 |
| | 75歳以上 80歳未満 | 38,715 | 40,174 | 42,453 | 39,857 | 3.8 | 5.7 | ▲ 6.1 | 13.2 |
| | 80歳以上 85歳未満 | 36,861 | 37,334 | 37,688 | 36,623 | 1.3 | 0.9 | ▲ 2.8 | 12.2 |
| | 85歳以上 90歳未満 | 27,668 | 28,782 | 29,869 | 29,734 | 4.0 | 3.8 | ▲ 0.4 | 9.9 |
| 90歳以上 95歳未満 | 14,164 | 15,078 | 16,033 | 16,045 | 6.5 | 6.3 | 0.1 | 5.3 | |
| 95歳以上 100歳未満 | 4,183 | 4,498 | 4,861 | 5,032 | 7.5 | 8.1 | 3.5 | 1.7 | |
| 100歳以上 | 683 | 706 | 735 | 772 | 3.3 | 4.1 | 5.0 | 0.3 | |

【表Ⅳ-1-2】受診延日数(年齢階級別)

| | | 実数(万日) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-----------------------|-------------|---------|---------|---------|---------|----------|-------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 206,761 | 205,544 | 203,535 | 184,902 | ▲ 0.6 | ▲ 1.0 | ▲ 9.2 | 100.0 |
| | 0歳以上 5歳未満 | 9,301 | 8,992 | 8,533 | 5,637 | ▲ 3.3 | ▲ 5.1 | ▲ 33.9 | 3.0 |
| | 5歳以上 10歳未満 | 5,938 | 5,844 | 5,579 | 4,122 | ▲ 1.6 | ▲ 4.5 | ▲ 26.1 | 2.2 |
| | 10歳以上 15歳未満 | 4,316 | 4,243 | 4,108 | 3,454 | ▲ 1.7 | ▲ 3.2 | ▲ 15.9 | 1.9 |
| | 15歳以上 20歳未満 | 3,288 | 3,246 | 3,195 | 2,870 | ▲ 1.3 | ▲ 1.5 | ▲ 10.2 | 1.6 |
| | 20歳以上 25歳未満 | 3,164 | 3,205 | 3,153 | 2,899 | 1.3 | ▲ 1.6 | ▲ 8.1 | 1.6 |
| | 25歳以上 30歳未満 | 4,080 | 4,060 | 3,991 | 3,602 | ▲ 0.5 | ▲ 1.7 | ▲ 9.7 | 1.9 |
| | 30歳以上 35歳未満 | 5,292 | 5,200 | 5,000 | 4,351 | ▲ 1.8 | ▲ 3.8 | ▲ 13.0 | 2.4 |
| | 35歳以上 40歳未満 | 6,166 | 6,036 | 5,847 | 5,146 | ▲ 2.1 | ▲ 3.1 | ▲ 12.0 | 2.8 |
| | 40歳以上 45歳未満 | 7,746 | 7,461 | 7,148 | 6,274 | ▲ 3.7 | ▲ 4.2 | ▲ 12.2 | 3.4 |
| | 45歳以上 50歳未満 | 9,049 | 9,172 | 9,236 | 8,535 | 1.4 | 0.7 | ▲ 7.6 | 4.6 |
| | 50歳以上 55歳未満 | 9,668 | 9,845 | 9,994 | 9,414 | 1.8 | 1.5 | ▲ 5.8 | 5.1 |
| | 55歳以上 60歳未満 | 10,762 | 10,811 | 10,892 | 10,359 | 0.4 | 0.8 | ▲ 4.9 | 5.6 |
| | 60歳以上 65歳未満 | 13,308 | 12,894 | 12,688 | 11,654 | ▲ 3.1 | ▲ 1.6 | ▲ 8.1 | 6.3 |
| | 65歳以上 70歳未満 | 20,829 | 19,383 | 17,869 | 15,662 | ▲ 6.9 | ▲ 7.8 | ▲ 12.4 | 8.5 |
| | 70歳以上 75歳未満 | 21,351 | 21,885 | 22,491 | 22,067 | 2.5 | 2.8 | ▲ 1.9 | 11.9 |
| | 75歳以上 80歳未満 | 23,832 | 24,110 | 24,545 | 21,973 | 1.2 | 1.8 | ▲ 10.5 | 11.9 |
| | 80歳以上 85歳未満 | 22,180 | 21,932 | 21,471 | 19,971 | ▲ 1.1 | ▲ 2.1 | ▲ 7.0 | 10.8 |
| | 85歳以上 90歳未満 | 15,875 | 16,162 | 16,307 | 15,635 | 1.8 | 0.9 | ▲ 4.1 | 8.5 |
| | 90歳以上 95歳未満 | 7,884 | 8,210 | 8,496 | 8,250 | 4.1 | 3.5 | ▲ 2.9 | 4.5 |
| 95歳以上 100歳未満 | 2,332 | 2,452 | 2,583 | 2,605 | 5.1 | 5.3 | 0.9 | 1.4 | |
| 100歳以上 | 397 | 401 | 409 | 423 | 1.1 | 1.9 | 3.3 | 0.2 | |

【表IV-1-3】件数(年齢階級別)

| | | 実数(万件) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-----------------------|-------------|---------|---------|---------|--------|----------|-------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 105,571 | 106,262 | 106,141 | 96,915 | 0.7 | ▲ 0.1 | ▲ 8.7 | 100.0 |
| | 0歳以上 5歳未満 | 5,502 | 5,379 | 5,169 | 3,640 | ▲ 2.2 | ▲ 3.9 | ▲ 29.6 | 3.8 |
| | 5歳以上 10歳未満 | 4,080 | 4,061 | 3,928 | 2,993 | ▲ 0.5 | ▲ 3.3 | ▲ 23.8 | 3.1 |
| | 10歳以上 15歳未満 | 3,030 | 3,009 | 2,937 | 2,469 | ▲ 0.7 | ▲ 2.4 | ▲ 15.9 | 2.5 |
| | 15歳以上 20歳未満 | 2,335 | 2,322 | 2,294 | 2,044 | ▲ 0.5 | ▲ 1.2 | ▲ 10.9 | 2.1 |
| | 20歳以上 25歳未満 | 2,243 | 2,293 | 2,260 | 2,049 | 2.2 | ▲ 1.4 | ▲ 9.3 | 2.1 |
| | 25歳以上 30歳未満 | 2,746 | 2,765 | 2,730 | 2,432 | 0.7 | ▲ 1.3 | ▲ 10.9 | 2.5 |
| | 30歳以上 35歳未満 | 3,409 | 3,400 | 3,290 | 2,831 | ▲ 0.3 | ▲ 3.2 | ▲ 13.9 | 2.9 |
| | 35歳以上 40歳未満 | 3,922 | 3,891 | 3,801 | 3,316 | ▲ 0.8 | ▲ 2.3 | ▲ 12.8 | 3.4 |
| | 40歳以上 45歳未満 | 4,838 | 4,735 | 4,582 | 4,008 | ▲ 2.1 | ▲ 3.2 | ▲ 12.5 | 4.1 |
| | 45歳以上 50歳未満 | 5,405 | 5,561 | 5,664 | 5,236 | 2.9 | 1.9 | ▲ 7.6 | 5.4 |
| | 50歳以上 55歳未満 | 5,540 | 5,718 | 5,867 | 5,526 | 3.2 | 2.6 | ▲ 5.8 | 5.7 |
| | 55歳以上 60歳未満 | 5,977 | 6,081 | 6,185 | 5,910 | 1.8 | 1.7 | ▲ 4.5 | 6.1 |
| | 60歳以上 65歳未満 | 7,104 | 6,991 | 6,963 | 6,459 | ▲ 1.6 | ▲ 0.4 | ▲ 7.2 | 6.7 |
| | 65歳以上 70歳未満 | 10,708 | 10,088 | 9,402 | 8,352 | ▲ 5.8 | ▲ 6.8 | ▲ 11.2 | 8.6 |
| | 70歳以上 75歳未満 | 10,445 | 10,909 | 11,363 | 11,337 | 4.4 | 4.2 | ▲ 0.2 | 11.7 |
| | 75歳以上 80歳未満 | 10,778 | 11,100 | 11,452 | 10,491 | 3.0 | 3.2 | ▲ 8.4 | 10.8 |
| | 80歳以上 85歳未満 | 8,976 | 9,040 | 9,005 | 8,627 | 0.7 | ▲ 0.4 | ▲ 4.2 | 8.9 |
| | 85歳以上 90歳未満 | 5,562 | 5,763 | 5,918 | 5,832 | 3.6 | 2.7 | ▲ 1.4 | 6.0 |
| | 90歳以上 95歳未満 | 2,318 | 2,457 | 2,584 | 2,581 | 6.0 | 5.2 | ▲ 0.1 | 2.7 |
| 95歳以上 100歳未満 | 570 | 612 | 657 | 685 | 7.5 | 7.2 | 4.3 | 0.7 | |
| 100歳以上 | 84 | 87 | 91 | 98 | 3.5 | 4.5 | 8.2 | 0.1 | |

【表Ⅳ-1-4】1日当たり医療費(年齢階級別)

| | | 実数(千円) | | | | 対前年度比(%) | | |
|-----------------------|-------------|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 14.6 | 14.9 | 15.4 | 16.3 | 2.2 | 3.3 | 5.7 |
| | 0歳以上 5歳未満 | 9.6 | 9.9 | 10.2 | 12.2 | 2.8 | 3.1 | 19.5 |
| | 5歳以上 10歳未満 | 6.7 | 6.8 | 7.0 | 7.6 | 1.9 | 3.2 | 8.1 |
| | 10歳以上 15歳未満 | 8.1 | 8.3 | 8.5 | 9.1 | 1.8 | 3.0 | 7.0 |
| | 15歳以上 20歳未満 | 9.4 | 9.7 | 10.0 | 10.3 | 2.8 | 2.9 | 2.9 |
| | 20歳以上 25歳未満 | 9.8 | 10.0 | 10.3 | 10.9 | 2.3 | 3.1 | 5.6 |
| | 25歳以上 30歳未満 | 10.0 | 10.2 | 10.5 | 11.2 | 1.8 | 2.5 | 7.0 |
| | 30歳以上 35歳未満 | 10.5 | 10.7 | 11.0 | 11.8 | 1.5 | 2.6 | 7.2 |
| | 35歳以上 40歳未満 | 11.1 | 11.3 | 11.6 | 12.3 | 1.5 | 2.5 | 6.8 |
| | 40歳以上 45歳未満 | 12.0 | 12.1 | 12.4 | 13.0 | 0.8 | 2.4 | 5.1 |
| | 45歳以上 50歳未満 | 12.9 | 13.1 | 13.4 | 13.9 | 1.2 | 2.3 | 4.1 |
| | 50歳以上 55歳未満 | 13.6 | 13.8 | 14.1 | 14.7 | 1.3 | 2.3 | 4.2 |
| | 55歳以上 60歳未満 | 14.7 | 14.8 | 15.1 | 15.7 | 0.9 | 2.2 | 3.6 |
| | 60歳以上 65歳未満 | 15.7 | 15.9 | 16.3 | 16.9 | 1.2 | 2.4 | 3.5 |
| | 65歳以上 70歳未満 | 16.5 | 16.8 | 17.3 | 17.9 | 1.8 | 2.6 | 3.6 |
| | 70歳以上 75歳未満 | 16.4 | 16.9 | 17.6 | 18.3 | 3.2 | 3.9 | 4.2 |
| | 75歳以上 80歳未満 | 16.2 | 16.7 | 17.3 | 18.1 | 2.6 | 3.8 | 4.9 |
| | 80歳以上 85歳未満 | 16.6 | 17.0 | 17.6 | 18.3 | 2.4 | 3.1 | 4.5 |
| | 85歳以上 90歳未満 | 17.4 | 17.8 | 18.3 | 19.0 | 2.2 | 2.9 | 3.8 |
| | 90歳以上 95歳未満 | 18.0 | 18.4 | 18.9 | 19.4 | 2.2 | 2.8 | 3.1 |
| 95歳以上 100歳未満 | 17.9 | 18.3 | 18.8 | 19.3 | 2.3 | 2.6 | 2.6 | |
| 100歳以上 | 17.2 | 17.6 | 18.0 | 18.3 | 2.2 | 2.1 | 1.6 | |

【表IV-1-5】1件当たり日数(年齢階級別)

| | | 実数(日) | | | | 対前年度比(%) | | |
|-----------------------|-------------|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 2.0 | 1.9 | 1.9 | 1.9 | ▲ 1.2 | ▲ 0.9 | ▲ 0.5 |
| | 0歳以上 5歳未満 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.5 | ▲ 1.1 | ▲ 1.2 | ▲ 6.2 |
| | 5歳以上 10歳未満 | 1.5 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | ▲ 1.1 | ▲ 1.3 | ▲ 3.0 |
| | 10歳以上 15歳未満 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | ▲ 1.0 | ▲ 0.8 | 0.0 |
| | 15歳以上 20歳未満 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | ▲ 0.7 | ▲ 0.3 | 0.8 |
| | 20歳以上 25歳未満 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | ▲ 0.9 | ▲ 0.2 | 1.4 |
| | 25歳以上 30歳未満 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.2 | ▲ 0.5 | 1.3 |
| | 30歳以上 35歳未満 | 1.6 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.5 | ▲ 0.6 | 1.1 |
| | 35歳以上 40歳未満 | 1.6 | 1.6 | 1.5 | 1.6 | ▲ 1.3 | ▲ 0.8 | 0.9 |
| | 40歳以上 45歳未満 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | ▲ 1.6 | ▲ 1.0 | 0.3 |
| | 45歳以上 50歳未満 | 1.7 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | ▲ 1.5 | ▲ 1.1 | ▲ 0.0 |
| | 50歳以上 55歳未満 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | ▲ 1.3 | ▲ 1.1 | ▲ 0.0 |
| | 55歳以上 60歳未満 | 1.8 | 1.8 | 1.8 | 1.8 | ▲ 1.3 | ▲ 0.9 | ▲ 0.5 |
| | 60歳以上 65歳未満 | 1.9 | 1.8 | 1.8 | 1.8 | ▲ 1.5 | ▲ 1.2 | ▲ 1.0 |
| | 65歳以上 70歳未満 | 1.9 | 1.9 | 1.9 | 1.9 | ▲ 1.2 | ▲ 1.1 | ▲ 1.3 |
| | 70歳以上 75歳未満 | 2.0 | 2.0 | 2.0 | 1.9 | ▲ 1.9 | ▲ 1.3 | ▲ 1.7 |
| | 75歳以上 80歳未満 | 2.2 | 2.2 | 2.1 | 2.1 | ▲ 1.8 | ▲ 1.3 | ▲ 2.3 |
| | 80歳以上 85歳未満 | 2.5 | 2.4 | 2.4 | 2.3 | ▲ 1.8 | ▲ 1.7 | ▲ 2.9 |
| | 85歳以上 90歳未満 | 2.9 | 2.8 | 2.8 | 2.7 | ▲ 1.7 | ▲ 1.7 | ▲ 2.7 |
| | 90歳以上 95歳未満 | 3.4 | 3.3 | 3.3 | 3.2 | ▲ 1.8 | ▲ 1.6 | ▲ 2.8 |
| 95歳以上 100歳未満 | 4.1 | 4.0 | 3.9 | 3.8 | ▲ 2.2 | ▲ 1.8 | ▲ 3.3 | |
| 100歳以上 | 4.7 | 4.6 | 4.5 | 4.3 | ▲ 2.4 | ▲ 2.4 | ▲ 4.6 | |

【表Ⅳ-2-1】入院 医療費(年齢階級別)

| | | 実数(億円) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-----------------------|-------------|---------|---------|---------|---------|----------|-------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 160,920 | 164,191 | 167,987 | 161,853 | 2.0 | 2.3 | ▲ 3.7 | 100.0 |
| | 0歳以上 5歳未満 | 4,030 | 4,100 | 4,064 | 3,403 | 1.7 | ▲ 0.9 | ▲ 16.3 | 2.1 |
| | 5歳以上 10歳未満 | 952 | 985 | 1,002 | 805 | 3.5 | 1.7 | ▲ 19.7 | 0.5 |
| | 10歳以上 15歳未満 | 972 | 997 | 1,017 | 954 | 2.6 | 2.0 | ▲ 6.1 | 0.6 |
| | 15歳以上 20歳未満 | 1,164 | 1,198 | 1,231 | 1,117 | 2.9 | 2.8 | ▲ 9.3 | 0.7 |
| | 20歳以上 25歳未満 | 1,210 | 1,240 | 1,260 | 1,187 | 2.5 | 1.6 | ▲ 5.8 | 0.7 |
| | 25歳以上 30歳未満 | 1,656 | 1,652 | 1,660 | 1,585 | ▲ 0.3 | 0.5 | ▲ 4.6 | 1.0 |
| | 30歳以上 35歳未満 | 2,383 | 2,339 | 2,291 | 2,139 | ▲ 1.9 | ▲ 2.0 | ▲ 6.7 | 1.3 |
| | 35歳以上 40歳未満 | 2,826 | 2,794 | 2,760 | 2,606 | ▲ 1.1 | ▲ 1.2 | ▲ 5.6 | 1.6 |
| | 40歳以上 45歳未満 | 3,715 | 3,568 | 3,479 | 3,193 | ▲ 4.0 | ▲ 2.5 | ▲ 8.2 | 2.0 |
| | 45歳以上 50歳未満 | 4,819 | 4,922 | 5,033 | 4,801 | 2.1 | 2.3 | ▲ 4.6 | 3.0 |
| | 50歳以上 55歳未満 | 5,632 | 5,795 | 5,959 | 5,852 | 2.9 | 2.8 | ▲ 1.8 | 3.6 |
| | 55歳以上 60歳未満 | 7,240 | 7,321 | 7,478 | 7,310 | 1.1 | 2.1 | ▲ 2.2 | 4.5 |
| | 60歳以上 65歳未満 | 10,130 | 9,894 | 9,925 | 9,401 | ▲ 2.3 | 0.3 | ▲ 5.3 | 5.8 |
| | 65歳以上 70歳未満 | 17,524 | 16,635 | 15,656 | 14,168 | ▲ 5.1 | ▲ 5.9 | ▲ 9.5 | 8.8 |
| | 70歳以上 75歳未満 | 18,425 | 19,512 | 20,767 | 21,173 | 5.9 | 6.4 | 2.0 | 13.1 |
| | 75歳以上 80歳未満 | 21,719 | 22,570 | 23,829 | 22,362 | 3.9 | 5.6 | ▲ 6.2 | 13.8 |
| | 80歳以上 85歳未満 | 22,833 | 23,189 | 23,351 | 22,645 | 1.6 | 0.7 | ▲ 3.0 | 14.0 |
| | 85歳以上 90歳未満 | 19,119 | 19,942 | 20,665 | 20,532 | 4.3 | 3.6 | ▲ 0.6 | 12.7 |
| 90歳以上 95歳未満 | 10,692 | 11,394 | 12,109 | 12,056 | 6.6 | 6.3 | ▲ 0.4 | 7.4 | |
| 95歳以上 100歳未満 | 3,332 | 3,580 | 3,865 | 3,959 | 7.5 | 8.0 | 2.4 | 2.4 | |
| 100歳以上 | 548 | 565 | 585 | 604 | 3.1 | 3.6 | 3.3 | 0.4 | |

【表Ⅳ-2-2】入院 受診延日数(年齢階級別)

| | | 実数(万日) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-----------------------|-------------|--------|--------|--------|--------|----------|-------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 45,318 | 45,099 | 45,076 | 42,344 | ▲ 0.5 | ▲ 0.1 | ▲ 6.1 | 100.0 |
| | 0歳以上 5歳未満 | 629 | 619 | 599 | 465 | ▲ 1.6 | ▲ 3.2 | ▲ 22.4 | 1.1 |
| | 5歳以上 10歳未満 | 157 | 155 | 154 | 117 | ▲ 1.3 | ▲ 0.7 | ▲ 23.7 | 0.3 |
| | 10歳以上 15歳未満 | 183 | 181 | 181 | 163 | ▲ 1.1 | 0.0 | ▲ 9.8 | 0.4 |
| | 15歳以上 20歳未満 | 250 | 248 | 248 | 219 | ▲ 0.9 | 0.0 | ▲ 11.7 | 0.5 |
| | 20歳以上 25歳未満 | 317 | 314 | 310 | 282 | ▲ 1.0 | ▲ 1.1 | ▲ 9.1 | 0.7 |
| | 25歳以上 30歳未満 | 477 | 462 | 454 | 416 | ▲ 3.3 | ▲ 1.7 | ▲ 8.4 | 1.0 |
| | 30歳以上 35歳未満 | 687 | 654 | 624 | 557 | ▲ 4.8 | ▲ 4.6 | ▲ 10.8 | 1.3 |
| | 35歳以上 40歳未満 | 784 | 752 | 723 | 659 | ▲ 4.2 | ▲ 3.8 | ▲ 8.9 | 1.6 |
| | 40歳以上 45歳未満 | 999 | 930 | 880 | 780 | ▲ 6.9 | ▲ 5.4 | ▲ 11.4 | 1.8 |
| | 45歳以上 50歳未満 | 1,305 | 1,289 | 1,274 | 1,174 | ▲ 1.2 | ▲ 1.2 | ▲ 7.8 | 2.8 |
| | 50歳以上 55歳未満 | 1,542 | 1,538 | 1,533 | 1,457 | ▲ 0.2 | ▲ 0.3 | ▲ 5.0 | 3.4 |
| | 55歳以上 60歳未満 | 1,953 | 1,924 | 1,911 | 1,818 | ▲ 1.5 | ▲ 0.7 | ▲ 4.9 | 4.3 |
| | 60歳以上 65歳未満 | 2,689 | 2,552 | 2,484 | 2,292 | ▲ 5.1 | ▲ 2.6 | ▲ 7.7 | 5.4 |
| | 65歳以上 70歳未満 | 4,495 | 4,180 | 3,856 | 3,407 | ▲ 7.0 | ▲ 7.8 | ▲ 11.6 | 8.0 |
| | 70歳以上 75歳未満 | 4,597 | 4,758 | 4,962 | 4,961 | 3.5 | 4.3 | ▲ 0.0 | 11.7 |
| | 75歳以上 80歳未満 | 5,717 | 5,767 | 5,927 | 5,421 | 0.9 | 2.8 | ▲ 8.5 | 12.8 |
| | 80歳以上 85歳未満 | 6,720 | 6,645 | 6,537 | 6,137 | ▲ 1.1 | ▲ 1.6 | ▲ 6.1 | 14.5 |
| | 85歳以上 90歳未満 | 6,323 | 6,424 | 6,491 | 6,252 | 1.6 | 1.0 | ▲ 3.7 | 14.8 |
| | 90歳以上 95歳未満 | 3,930 | 4,081 | 4,226 | 4,077 | 3.9 | 3.5 | ▲ 3.5 | 9.6 |
| 95歳以上 100歳未満 | 1,327 | 1,389 | 1,461 | 1,449 | 4.7 | 5.2 | ▲ 0.8 | 3.4 | |
| 100歳以上 | 237 | 238 | 241 | 241 | 0.6 | 1.1 | 0.2 | 0.6 | |

【表IV-2-3】入院件数(年齢階級別)

| | | 実数(万件) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-----------------------|-------------|--------|--------|-------|-------|----------|-------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 2,953 | 2,947 | 2,941 | 2,704 | ▲ 0.2 | ▲ 0.2 | ▲ 8.1 | 100.0 |
| | 0歳以上 5歳未満 | 99 | 97 | 94 | 68 | ▲ 1.7 | ▲ 3.1 | ▲ 27.3 | 2.5 |
| | 5歳以上 10歳未満 | 23 | 23 | 23 | 16 | ▲ 1.0 | 0.9 | ▲ 30.1 | 0.6 |
| | 10歳以上 15歳未満 | 19 | 19 | 19 | 16 | ▲ 1.4 | ▲ 0.1 | ▲ 14.6 | 0.6 |
| | 15歳以上 20歳未満 | 25 | 24 | 24 | 21 | ▲ 1.0 | ▲ 0.9 | ▲ 14.4 | 0.8 |
| | 20歳以上 25歳未満 | 32 | 32 | 32 | 28 | ▲ 0.3 | ▲ 1.6 | ▲ 10.9 | 1.0 |
| | 25歳以上 30歳未満 | 51 | 50 | 49 | 46 | ▲ 2.3 | ▲ 1.8 | ▲ 6.7 | 1.7 |
| | 30歳以上 35歳未満 | 72 | 69 | 66 | 61 | ▲ 3.7 | ▲ 3.9 | ▲ 8.5 | 2.2 |
| | 35歳以上 40歳未満 | 71 | 69 | 67 | 61 | ▲ 3.4 | ▲ 3.0 | ▲ 8.1 | 2.3 |
| | 40歳以上 45歳未満 | 76 | 72 | 68 | 61 | ▲ 5.6 | ▲ 4.5 | ▲ 11.4 | 2.2 |
| | 45歳以上 50歳未満 | 90 | 90 | 90 | 83 | 0.1 | ▲ 0.1 | ▲ 8.3 | 3.1 |
| | 50歳以上 55歳未満 | 103 | 103 | 104 | 98 | 0.8 | 0.7 | ▲ 6.1 | 3.6 |
| | 55歳以上 60歳未満 | 128 | 127 | 127 | 119 | ▲ 0.8 | ▲ 0.0 | ▲ 6.1 | 4.4 |
| | 60歳以上 65歳未満 | 175 | 168 | 164 | 149 | ▲ 4.2 | ▲ 2.0 | ▲ 9.1 | 5.5 |
| | 65歳以上 70歳未満 | 296 | 276 | 255 | 221 | ▲ 6.8 | ▲ 7.7 | ▲ 13.2 | 8.2 |
| | 70歳以上 75歳未満 | 308 | 320 | 333 | 326 | 3.9 | 4.1 | ▲ 2.2 | 12.0 |
| | 75歳以上 80歳未満 | 367 | 373 | 383 | 345 | 1.7 | 2.8 | ▲ 10.1 | 12.7 |
| | 80歳以上 85歳未満 | 394 | 392 | 385 | 357 | ▲ 0.6 | ▲ 1.7 | ▲ 7.3 | 13.2 |
| | 85歳以上 90歳未満 | 344 | 351 | 354 | 337 | 2.0 | 0.8 | ▲ 4.9 | 12.5 |
| 90歳以上 95歳未満 | 203 | 212 | 219 | 209 | 4.3 | 3.4 | ▲ 4.6 | 7.7 | |
| 95歳以上 100歳未満 | 66 | 69 | 73 | 72 | 5.3 | 5.1 | ▲ 1.6 | 2.7 | |
| 100歳以上 | 11 | 12 | 12 | 12 | 1.2 | 1.1 | ▲ 0.8 | 0.4 | |

【表Ⅳ-2-4】入院 1日当たり医療費(年齢階級別)

| | | 実数(千円) | | | | 対前年度比(%) | | |
|-----------------------|-------------|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 35.5 | 36.4 | 37.3 | 38.2 | 2.5 | 2.4 | 2.6 |
| | 0歳以上 5歳未満 | 64.1 | 66.3 | 67.8 | 73.2 | 3.4 | 2.4 | 7.9 |
| | 5歳以上 10歳未満 | 60.6 | 63.6 | 65.1 | 68.6 | 4.9 | 2.4 | 5.3 |
| | 10歳以上 15歳未満 | 53.1 | 55.1 | 56.2 | 58.5 | 3.8 | 1.9 | 4.0 |
| | 15歳以上 20歳未満 | 46.6 | 48.4 | 49.7 | 51.1 | 3.8 | 2.8 | 2.7 |
| | 20歳以上 25歳未満 | 38.1 | 39.5 | 40.6 | 42.1 | 3.6 | 2.7 | 3.7 |
| | 25歳以上 30歳未満 | 34.7 | 35.8 | 36.6 | 38.1 | 3.1 | 2.3 | 4.2 |
| | 30歳以上 35歳未満 | 34.7 | 35.8 | 36.7 | 38.4 | 3.1 | 2.7 | 4.6 |
| | 35歳以上 40歳未満 | 36.0 | 37.2 | 38.2 | 39.5 | 3.2 | 2.7 | 3.6 |
| | 40歳以上 45歳未満 | 37.2 | 38.4 | 39.5 | 40.9 | 3.1 | 3.1 | 3.6 |
| | 45歳以上 50歳未満 | 36.9 | 38.2 | 39.5 | 40.9 | 3.3 | 3.5 | 3.5 |
| | 50歳以上 55歳未満 | 36.5 | 37.7 | 38.9 | 40.2 | 3.1 | 3.2 | 3.4 |
| | 55歳以上 60歳未満 | 37.1 | 38.1 | 39.1 | 40.2 | 2.6 | 2.8 | 2.8 |
| | 60歳以上 65歳未満 | 37.7 | 38.8 | 40.0 | 41.0 | 2.9 | 3.0 | 2.7 |
| | 65歳以上 70歳未満 | 39.0 | 39.8 | 40.6 | 41.6 | 2.1 | 2.0 | 2.4 |
| | 70歳以上 75歳未満 | 40.1 | 41.0 | 41.8 | 42.7 | 2.3 | 2.0 | 2.0 |
| | 75歳以上 80歳未満 | 38.0 | 39.1 | 40.2 | 41.2 | 3.0 | 2.7 | 2.6 |
| | 80歳以上 85歳未満 | 34.0 | 34.9 | 35.7 | 36.9 | 2.7 | 2.4 | 3.3 |
| | 85歳以上 90歳未満 | 30.2 | 31.0 | 31.8 | 32.8 | 2.7 | 2.6 | 3.1 |
| | 90歳以上 95歳未満 | 27.2 | 27.9 | 28.7 | 29.6 | 2.6 | 2.6 | 3.2 |
| 95歳以上 100歳未満 | 25.1 | 25.8 | 26.5 | 27.3 | 2.7 | 2.6 | 3.3 | |
| 100歳以上 | 23.1 | 23.7 | 24.3 | 25.0 | 2.4 | 2.5 | 3.1 | |

【表Ⅳ-2-5】入院 1 件当たり日数(年齢階級別)

| | | 実数(日) | | | | 対前年度比(%) | | |
|-----------------------|-------------|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 15.3 | 15.3 | 15.3 | 15.7 | ▲ 0.3 | 0.1 | 2.2 |
| | 0歳以上 5歳未満 | 6.4 | 6.4 | 6.4 | 6.8 | 0.1 | ▲ 0.1 | 6.8 |
| | 5歳以上 10歳未満 | 6.7 | 6.7 | 6.6 | 7.2 | ▲ 0.3 | ▲ 1.6 | 9.2 |
| | 10歳以上 15歳未満 | 9.6 | 9.6 | 9.6 | 10.2 | 0.3 | 0.2 | 5.7 |
| | 15歳以上 20歳未満 | 10.2 | 10.2 | 10.3 | 10.6 | 0.2 | 0.9 | 3.1 |
| | 20歳以上 25歳未満 | 9.8 | 9.8 | 9.8 | 10.0 | ▲ 0.8 | 0.5 | 2.0 |
| | 25歳以上 30歳未満 | 9.3 | 9.2 | 9.2 | 9.1 | ▲ 1.0 | 0.1 | ▲ 1.9 |
| | 30歳以上 35歳未満 | 9.6 | 9.5 | 9.4 | 9.2 | ▲ 1.1 | ▲ 0.8 | ▲ 2.5 |
| | 35歳以上 40歳未満 | 11.0 | 10.9 | 10.8 | 10.7 | ▲ 0.9 | ▲ 0.9 | ▲ 0.9 |
| | 40歳以上 45歳未満 | 13.2 | 13.0 | 12.9 | 12.9 | ▲ 1.4 | ▲ 0.9 | ▲ 0.0 |
| | 45歳以上 50歳未満 | 14.5 | 14.3 | 14.1 | 14.2 | ▲ 1.2 | ▲ 1.1 | 0.5 |
| | 50歳以上 55歳未満 | 15.0 | 14.9 | 14.7 | 14.9 | ▲ 1.0 | ▲ 1.0 | 1.2 |
| | 55歳以上 60歳未満 | 15.3 | 15.2 | 15.1 | 15.3 | ▲ 0.7 | ▲ 0.6 | 1.3 |
| | 60歳以上 65歳未満 | 15.4 | 15.2 | 15.1 | 15.4 | ▲ 1.0 | ▲ 0.7 | 1.6 |
| | 65歳以上 70歳未満 | 15.2 | 15.2 | 15.1 | 15.4 | ▲ 0.2 | ▲ 0.1 | 1.8 |
| | 70歳以上 75歳未満 | 14.9 | 14.9 | 14.9 | 15.2 | ▲ 0.4 | 0.2 | 2.2 |
| | 75歳以上 80歳未満 | 15.6 | 15.5 | 15.5 | 15.7 | ▲ 0.8 | 0.0 | 1.7 |
| | 80歳以上 85歳未満 | 17.0 | 16.9 | 17.0 | 17.2 | ▲ 0.6 | 0.1 | 1.3 |
| | 85歳以上 90歳未満 | 18.4 | 18.3 | 18.3 | 18.6 | ▲ 0.4 | 0.2 | 1.3 |
| 90歳以上 95歳未満 | 19.4 | 19.3 | 19.3 | 19.5 | ▲ 0.4 | 0.2 | 1.1 | |
| 95歳以上 100歳未満 | 20.1 | 20.0 | 20.0 | 20.2 | ▲ 0.6 | 0.1 | 0.8 | |
| 100歳以上 | 20.8 | 20.7 | 20.7 | 20.9 | ▲ 0.6 | ▲ 0.0 | 1.0 | |

【表IV-2-6】入院 推計新規入院件数(年齢階級別)

| | | 実数(万件) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-----------------------|-------------|---------|---------|---------|---------|----------|-------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 1,512.3 | 1,514.3 | 1,513.2 | 1,355.9 | 0.1 | ▲ 0.1 | ▲ 10.4 | 100.0 |
| | 0歳以上 5歳未満 | 80.7 | 79.3 | 76.9 | 54.9 | ▲ 1.7 | ▲ 3.0 | ▲ 28.7 | 4.0 |
| | 5歳以上 10歳未満 | 18.9 | 18.7 | 19.0 | 12.9 | ▲ 0.9 | 1.4 | ▲ 31.9 | 1.0 |
| | 10歳以上 15歳未満 | 13.5 | 13.3 | 13.3 | 11.0 | ▲ 1.6 | ▲ 0.1 | ▲ 17.0 | 0.8 |
| | 15歳以上 20歳未満 | 16.9 | 16.7 | 16.5 | 13.9 | ▲ 1.1 | ▲ 1.2 | ▲ 15.9 | 1.0 |
| | 20歳以上 25歳未満 | 22.5 | 22.5 | 22.2 | 19.5 | 0.1 | ▲ 1.7 | ▲ 11.8 | 1.4 |
| | 25歳以上 30歳未満 | 36.8 | 36.1 | 35.4 | 33.3 | ▲ 1.9 | ▲ 1.8 | ▲ 6.1 | 2.5 |
| | 30歳以上 35歳未満 | 50.7 | 49.1 | 47.4 | 43.8 | ▲ 3.2 | ▲ 3.4 | ▲ 7.6 | 3.2 |
| | 35歳以上 40歳未満 | 47.0 | 45.6 | 44.6 | 41.1 | ▲ 2.9 | ▲ 2.4 | ▲ 7.8 | 3.0 |
| | 40歳以上 45歳未満 | 44.4 | 42.4 | 40.9 | 36.1 | ▲ 4.6 | ▲ 3.6 | ▲ 11.5 | 2.7 |
| | 45歳以上 50歳未満 | 48.9 | 49.5 | 50.0 | 45.6 | 1.2 | 1.2 | ▲ 8.9 | 3.4 |
| | 50歳以上 55歳未満 | 53.6 | 54.6 | 55.6 | 51.5 | 1.7 | 2.0 | ▲ 7.5 | 3.8 |
| | 55歳以上 60歳未満 | 65.7 | 65.7 | 66.2 | 61.2 | ▲ 0.1 | 0.9 | ▲ 7.6 | 4.5 |
| | 60歳以上 65歳未満 | 89.6 | 86.6 | 85.7 | 76.5 | ▲ 3.2 | ▲ 1.1 | ▲ 10.8 | 5.6 |
| | 65歳以上 70歳未満 | 153.0 | 142.9 | 132.4 | 112.6 | ▲ 6.6 | ▲ 7.3 | ▲ 15.0 | 8.3 |
| | 70歳以上 75歳未満 | 161.8 | 168.8 | 175.8 | 168.0 | 4.3 | 4.2 | ▲ 4.5 | 12.4 |
| | 75歳以上 80歳未満 | 184.8 | 189.5 | 195.3 | 172.0 | 2.5 | 3.1 | ▲ 12.0 | 12.7 |
| | 80歳以上 85歳未満 | 179.4 | 179.6 | 176.9 | 160.6 | 0.1 | ▲ 1.5 | ▲ 9.2 | 11.8 |
| | 85歳以上 90歳未満 | 141.1 | 144.8 | 146.2 | 135.7 | 2.6 | 1.0 | ▲ 7.2 | 10.0 |
| | 90歳以上 95歳未満 | 76.3 | 80.1 | 83.0 | 77.2 | 5.1 | 3.6 | ▲ 7.0 | 5.7 |
| 95歳以上 100歳未満 | 23.0 | 24.6 | 25.9 | 24.9 | 6.6 | 5.3 | ▲ 3.7 | 1.8 | |
| 100歳以上 | 3.7 | 3.8 | 3.9 | 3.7 | 2.5 | 1.8 | ▲ 3.4 | 0.3 | |

【表Ⅳ-2-7】入院 推計平均在院日数(年齢階級別)

| | | 実数(日) | | | | 対前年度比(%) | | |
|-----------------------|-------------|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 30.0 | 29.8 | 29.8 | 31.2 | ▲ 0.6 | 0.0 | 4.8 |
| | 0歳以上 5歳未満 | 7.8 | 7.8 | 7.8 | 8.5 | 0.1 | ▲ 0.2 | 8.8 |
| | 5歳以上 10歳未満 | 8.3 | 8.3 | 8.1 | 9.1 | ▲ 0.4 | ▲ 2.1 | 12.1 |
| | 10歳以上 15歳未満 | 13.5 | 13.6 | 13.6 | 14.8 | 0.5 | 0.1 | 8.7 |
| | 15歳以上 20歳未満 | 14.8 | 14.9 | 15.0 | 15.8 | 0.3 | 1.2 | 4.9 |
| | 20歳以上 25歳未満 | 14.1 | 13.9 | 14.0 | 14.4 | ▲ 1.2 | 0.6 | 3.1 |
| | 25歳以上 30歳未満 | 13.0 | 12.8 | 12.8 | 12.5 | ▲ 1.4 | 0.1 | ▲ 2.5 |
| | 30歳以上 35歳未満 | 13.5 | 13.3 | 13.2 | 12.7 | ▲ 1.6 | ▲ 1.3 | ▲ 3.5 |
| | 35歳以上 40歳未満 | 16.7 | 16.5 | 16.2 | 16.0 | ▲ 1.3 | ▲ 1.5 | ▲ 1.2 |
| | 40歳以上 45歳未満 | 22.5 | 21.9 | 21.5 | 21.6 | ▲ 2.4 | ▲ 1.8 | 0.2 |
| | 45歳以上 50歳未満 | 26.7 | 26.1 | 25.4 | 25.8 | ▲ 2.3 | ▲ 2.4 | 1.2 |
| | 50歳以上 55歳未満 | 28.7 | 28.2 | 27.6 | 28.3 | ▲ 1.9 | ▲ 2.2 | 2.7 |
| | 55歳以上 60歳未満 | 29.7 | 29.3 | 28.8 | 29.7 | ▲ 1.4 | ▲ 1.5 | 3.0 |
| | 60歳以上 65歳未満 | 30.0 | 29.4 | 29.0 | 30.0 | ▲ 1.9 | ▲ 1.6 | 3.4 |
| | 65歳以上 70歳未満 | 29.4 | 29.2 | 29.1 | 30.3 | ▲ 0.5 | ▲ 0.4 | 4.0 |
| | 70歳以上 75歳未満 | 28.4 | 28.2 | 28.2 | 29.5 | ▲ 0.8 | 0.1 | 4.7 |
| | 75歳以上 80歳未満 | 30.9 | 30.4 | 30.3 | 31.5 | ▲ 1.6 | ▲ 0.3 | 3.9 |
| | 80歳以上 85歳未満 | 37.5 | 37.0 | 37.0 | 38.2 | ▲ 1.3 | ▲ 0.1 | 3.4 |
| | 85歳以上 90歳未満 | 44.8 | 44.4 | 44.4 | 46.1 | ▲ 1.0 | 0.1 | 3.8 |
| 90歳以上 95歳未満 | 51.5 | 50.9 | 50.9 | 52.8 | ▲ 1.1 | ▲ 0.1 | 3.7 | |
| 95歳以上 100歳未満 | 57.6 | 56.6 | 56.5 | 58.2 | ▲ 1.8 | ▲ 0.1 | 3.1 | |
| 100歳以上 | 64.1 | 63.0 | 62.5 | 64.8 | ▲ 1.8 | ▲ 0.7 | 3.7 | |

【表Ⅳ-3-1】入院外 医療費(年齢階級別)

| | | 実数(億円) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-----------------------|-------------|---------|---------|---------|---------|----------|-------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 140,792 | 142,399 | 145,506 | 139,219 | 1.1 | 2.2 | ▲ 4.3 | 100.0 |
| | 0歳以上 5歳未満 | 4,934 | 4,808 | 4,656 | 3,481 | ▲ 2.6 | ▲ 3.2 | ▲ 25.2 | 2.5 |
| | 5歳以上 10歳未満 | 3,016 | 2,995 | 2,919 | 2,326 | ▲ 0.7 | ▲ 2.5 | ▲ 20.3 | 1.7 |
| | 10歳以上 15歳未満 | 2,536 | 2,512 | 2,484 | 2,194 | ▲ 0.9 | ▲ 1.1 | ▲ 11.7 | 1.6 |
| | 15歳以上 20歳未満 | 1,942 | 1,955 | 1,964 | 1,837 | 0.7 | 0.5 | ▲ 6.5 | 1.3 |
| | 20歳以上 25歳未満 | 1,888 | 1,969 | 1,995 | 1,974 | 4.3 | 1.3 | ▲ 1.1 | 1.4 |
| | 25歳以上 30歳未満 | 2,438 | 2,494 | 2,516 | 2,448 | 2.3 | 0.9 | ▲ 2.7 | 1.8 |
| | 30歳以上 35歳未満 | 3,194 | 3,224 | 3,197 | 2,983 | 0.9 | ▲ 0.8 | ▲ 6.7 | 2.1 |
| | 35歳以上 40歳未満 | 4,023 | 4,012 | 3,995 | 3,741 | ▲ 0.3 | ▲ 0.4 | ▲ 6.4 | 2.7 |
| | 40歳以上 45歳未満 | 5,576 | 5,450 | 5,365 | 4,962 | ▲ 2.3 | ▲ 1.6 | ▲ 7.5 | 3.6 |
| | 45歳以上 50歳未満 | 6,854 | 7,057 | 7,312 | 7,075 | 3.0 | 3.6 | ▲ 3.2 | 5.1 |
| | 50歳以上 55歳未満 | 7,496 | 7,751 | 8,112 | 7,964 | 3.4 | 4.6 | ▲ 1.8 | 5.7 |
| | 55歳以上 60歳未満 | 8,557 | 8,698 | 9,016 | 8,939 | 1.6 | 3.7 | ▲ 0.9 | 6.4 |
| | 60歳以上 65歳未満 | 10,780 | 10,607 | 10,741 | 10,247 | ▲ 1.6 | 1.3 | ▲ 4.6 | 7.4 |
| | 65歳以上 70歳未満 | 16,884 | 15,972 | 15,193 | 13,851 | ▲ 5.4 | ▲ 4.9 | ▲ 8.8 | 9.9 |
| | 70歳以上 75歳未満 | 16,642 | 17,565 | 18,806 | 19,293 | 5.5 | 7.1 | 2.6 | 13.9 |
| | 75歳以上 80歳未満 | 16,996 | 17,604 | 18,623 | 17,495 | 3.6 | 5.8 | ▲ 6.1 | 12.6 |
| | 80歳以上 85歳未満 | 14,028 | 14,145 | 14,338 | 13,978 | 0.8 | 1.4 | ▲ 2.5 | 10.0 |
| | 85歳以上 90歳未満 | 8,549 | 8,840 | 9,203 | 9,203 | 3.4 | 4.1 | ▲ 0.0 | 6.6 |
| 90歳以上 95歳未満 | 3,472 | 3,684 | 3,924 | 3,989 | 6.1 | 6.5 | 1.6 | 2.9 | |
| 95歳以上 100歳未満 | 851 | 918 | 996 | 1,073 | 7.9 | 8.6 | 7.7 | 0.8 | |
| 100歳以上 | 135 | 142 | 150 | 168 | 4.5 | 6.1 | 11.6 | 0.1 | |

【表Ⅳ-3-2】入院外 受診延日数(年齢階級別)

| | | 実数(万日) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-----------------------|-------------|---------|---------|---------|---------|----------|-------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 161,443 | 160,444 | 158,459 | 142,557 | ▲ 0.6 | ▲ 1.2 | ▲ 10.0 | 100.0 |
| | 0歳以上 5歳未満 | 8,672 | 8,373 | 7,934 | 5,172 | ▲ 3.5 | ▲ 5.2 | ▲ 34.8 | 3.6 |
| | 5歳以上 10歳未満 | 5,781 | 5,689 | 5,425 | 4,004 | ▲ 1.6 | ▲ 4.6 | ▲ 26.2 | 2.8 |
| | 10歳以上 15歳未満 | 4,133 | 4,062 | 3,927 | 3,290 | ▲ 1.7 | ▲ 3.3 | ▲ 16.2 | 2.3 |
| | 15歳以上 20歳未満 | 3,038 | 2,998 | 2,948 | 2,651 | ▲ 1.3 | ▲ 1.7 | ▲ 10.1 | 1.9 |
| | 20歳以上 25歳未満 | 2,847 | 2,891 | 2,843 | 2,617 | 1.5 | ▲ 1.7 | ▲ 8.0 | 1.8 |
| | 25歳以上 30歳未満 | 3,603 | 3,598 | 3,537 | 3,186 | ▲ 0.1 | ▲ 1.7 | ▲ 9.9 | 2.2 |
| | 30歳以上 35歳未満 | 4,605 | 4,545 | 4,376 | 3,794 | ▲ 1.3 | ▲ 3.7 | ▲ 13.3 | 2.7 |
| | 35歳以上 40歳未満 | 5,381 | 5,285 | 5,124 | 4,487 | ▲ 1.8 | ▲ 3.0 | ▲ 12.4 | 3.1 |
| | 40歳以上 45歳未満 | 6,747 | 6,531 | 6,268 | 5,494 | ▲ 3.2 | ▲ 4.0 | ▲ 12.3 | 3.9 |
| | 45歳以上 50歳未満 | 7,744 | 7,883 | 7,963 | 7,362 | 1.8 | 1.0 | ▲ 7.5 | 5.2 |
| | 50歳以上 55歳未満 | 8,126 | 8,307 | 8,461 | 7,957 | 2.2 | 1.9 | ▲ 6.0 | 5.6 |
| | 55歳以上 60歳未満 | 8,810 | 8,887 | 8,981 | 8,541 | 0.9 | 1.1 | ▲ 4.9 | 6.0 |
| | 60歳以上 65歳未満 | 10,620 | 10,343 | 10,204 | 9,362 | ▲ 2.6 | ▲ 1.3 | ▲ 8.3 | 6.6 |
| | 65歳以上 70歳未満 | 16,334 | 15,203 | 14,014 | 12,256 | ▲ 6.9 | ▲ 7.8 | ▲ 12.5 | 8.6 |
| | 70歳以上 75歳未満 | 16,754 | 17,127 | 17,529 | 17,106 | 2.2 | 2.3 | ▲ 2.4 | 12.0 |
| | 75歳以上 80歳未満 | 18,116 | 18,344 | 18,618 | 16,552 | 1.3 | 1.5 | ▲ 11.1 | 11.6 |
| | 80歳以上 85歳未満 | 15,460 | 15,286 | 14,934 | 13,833 | ▲ 1.1 | ▲ 2.3 | ▲ 7.4 | 9.7 |
| | 85歳以上 90歳未満 | 9,551 | 9,738 | 9,816 | 9,382 | 2.0 | 0.8 | ▲ 4.4 | 6.6 |
| 90歳以上 95歳未満 | 3,955 | 4,129 | 4,270 | 4,173 | 4.4 | 3.4 | ▲ 2.3 | 2.9 | |
| 95歳以上 100歳未満 | 1,006 | 1,064 | 1,122 | 1,156 | 5.8 | 5.5 | 3.1 | 0.8 | |
| 100歳以上 | 160 | 163 | 168 | 181 | 1.7 | 3.2 | 7.8 | 0.1 | |

【表Ⅳ-3-3】入院外 件数(年齢階級別)

| | | 実数(万件) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-----------------------|-------------|---------|---------|---------|--------|----------|-------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 102,618 | 103,315 | 103,200 | 94,212 | 0.7 | ▲ 0.1 | ▲ 8.7 | 100.0 |
| | 0歳以上 5歳未満 | 5,404 | 5,282 | 5,074 | 3,571 | ▲ 2.3 | ▲ 3.9 | ▲ 29.6 | 3.8 |
| | 5歳以上 10歳未満 | 4,056 | 4,038 | 3,905 | 2,976 | ▲ 0.5 | ▲ 3.3 | ▲ 23.8 | 3.2 |
| | 10歳以上 15歳未満 | 3,011 | 2,990 | 2,918 | 2,453 | ▲ 0.7 | ▲ 2.4 | ▲ 15.9 | 2.6 |
| | 15歳以上 20歳未満 | 2,310 | 2,298 | 2,270 | 2,024 | ▲ 0.5 | ▲ 1.2 | ▲ 10.8 | 2.1 |
| | 20歳以上 25歳未満 | 2,211 | 2,261 | 2,228 | 2,021 | 2.3 | ▲ 1.4 | ▲ 9.3 | 2.1 |
| | 25歳以上 30歳未満 | 2,695 | 2,715 | 2,681 | 2,386 | 0.7 | ▲ 1.2 | ▲ 11.0 | 2.5 |
| | 30歳以上 35歳未満 | 3,338 | 3,331 | 3,223 | 2,770 | ▲ 0.2 | ▲ 3.2 | ▲ 14.1 | 2.9 |
| | 35歳以上 40歳未満 | 3,850 | 3,822 | 3,734 | 3,254 | ▲ 0.7 | ▲ 2.3 | ▲ 12.8 | 3.5 |
| | 40歳以上 45歳未満 | 4,762 | 4,664 | 4,514 | 3,948 | ▲ 2.1 | ▲ 3.2 | ▲ 12.5 | 4.2 |
| | 45歳以上 50歳未満 | 5,315 | 5,471 | 5,574 | 5,154 | 2.9 | 1.9 | ▲ 7.5 | 5.5 |
| | 50歳以上 55歳未満 | 5,438 | 5,614 | 5,762 | 5,429 | 3.2 | 2.6 | ▲ 5.8 | 5.8 |
| | 55歳以上 60歳未満 | 5,849 | 5,955 | 6,058 | 5,791 | 1.8 | 1.7 | ▲ 4.4 | 6.1 |
| | 60歳以上 65歳未満 | 6,929 | 6,824 | 6,799 | 6,310 | ▲ 1.5 | ▲ 0.4 | ▲ 7.2 | 6.7 |
| | 65歳以上 70歳未満 | 10,412 | 9,812 | 9,147 | 8,131 | ▲ 5.8 | ▲ 6.8 | ▲ 11.1 | 8.6 |
| | 70歳以上 75歳未満 | 10,138 | 10,589 | 11,031 | 11,012 | 4.5 | 4.2 | ▲ 0.2 | 11.7 |
| | 75歳以上 80歳未満 | 10,411 | 10,727 | 11,069 | 10,146 | 3.0 | 3.2 | ▲ 8.3 | 10.8 |
| | 80歳以上 85歳未満 | 8,581 | 8,648 | 8,620 | 8,270 | 0.8 | ▲ 0.3 | ▲ 4.1 | 8.8 |
| | 85歳以上 90歳未満 | 5,218 | 5,412 | 5,564 | 5,496 | 3.7 | 2.8 | ▲ 1.2 | 5.8 |
| 90歳以上 95歳未満 | 2,115 | 2,245 | 2,366 | 2,372 | 6.2 | 5.3 | 0.3 | 2.5 | |
| 95歳以上 100歳未満 | 504 | 543 | 584 | 613 | 7.8 | 7.5 | 5.1 | 0.7 | |
| 100歳以上 | 73 | 75 | 79 | 87 | 3.9 | 5.0 | 9.6 | 0.1 | |

【表Ⅳ-3-4】入院外 1日当たり医療費(年齢階級別)

| | | 実数(千円) | | | | 対前年度比(%) | | |
|-----------------------|-------------|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 8.7 | 8.9 | 9.2 | 9.8 | 1.8 | 3.5 | 6.4 |
| | 0歳以上 5歳未満 | 5.7 | 5.7 | 5.9 | 6.7 | 0.9 | 2.2 | 14.7 |
| | 5歳以上 10歳未満 | 5.2 | 5.3 | 5.4 | 5.8 | 0.9 | 2.2 | 8.0 |
| | 10歳以上 15歳未満 | 6.1 | 6.2 | 6.3 | 6.7 | 0.8 | 2.3 | 5.4 |
| | 15歳以上 20歳未満 | 6.4 | 6.5 | 6.7 | 6.9 | 2.0 | 2.2 | 4.0 |
| | 20歳以上 25歳未満 | 6.6 | 6.8 | 7.0 | 7.5 | 2.7 | 3.1 | 7.5 |
| | 25歳以上 30歳未満 | 6.8 | 6.9 | 7.1 | 7.7 | 2.4 | 2.6 | 8.0 |
| | 30歳以上 35歳未満 | 6.9 | 7.1 | 7.3 | 7.9 | 2.3 | 3.0 | 7.6 |
| | 35歳以上 40歳未満 | 7.5 | 7.6 | 7.8 | 8.3 | 1.6 | 2.7 | 6.9 |
| | 40歳以上 45歳未満 | 8.3 | 8.3 | 8.6 | 9.0 | 1.0 | 2.6 | 5.5 |
| | 45歳以上 50歳未満 | 8.9 | 9.0 | 9.2 | 9.6 | 1.1 | 2.6 | 4.7 |
| | 50歳以上 55歳未満 | 9.2 | 9.3 | 9.6 | 10.0 | 1.2 | 2.7 | 4.4 |
| | 55歳以上 60歳未満 | 9.7 | 9.8 | 10.0 | 10.5 | 0.8 | 2.6 | 4.3 |
| | 60歳以上 65歳未満 | 10.2 | 10.3 | 10.5 | 10.9 | 1.0 | 2.6 | 4.0 |
| | 65歳以上 70歳未満 | 10.3 | 10.5 | 10.8 | 11.3 | 1.6 | 3.2 | 4.2 |
| | 70歳以上 75歳未満 | 9.9 | 10.3 | 10.7 | 11.3 | 3.2 | 4.6 | 5.1 |
| | 75歳以上 80歳未満 | 9.4 | 9.6 | 10.0 | 10.6 | 2.3 | 4.2 | 5.7 |
| | 80歳以上 85歳未満 | 9.1 | 9.3 | 9.6 | 10.1 | 2.0 | 3.8 | 5.2 |
| | 85歳以上 90歳未満 | 9.0 | 9.1 | 9.4 | 9.8 | 1.4 | 3.3 | 4.6 |
| 90歳以上 95歳未満 | 8.8 | 8.9 | 9.2 | 9.6 | 1.6 | 3.0 | 4.0 | |
| 95歳以上 100歳未満 | 8.5 | 8.6 | 8.9 | 9.3 | 2.0 | 2.9 | 4.5 | |
| 100歳以上 | 8.5 | 8.7 | 8.9 | 9.3 | 2.7 | 2.8 | 3.4 | |

【表Ⅳ-3-5】入院外 1件当たり日数(年齢階級別)

| | | 実数(日) | | | | 対前年度比(%) | | |
|-----------------------|-------------|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 1.6 | 1.6 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.3 | ▲ 1.1 | ▲ 1.5 |
| | 0歳以上 5歳未満 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.4 | ▲ 1.2 | ▲ 1.4 | ▲ 7.4 |
| | 5歳以上 10歳未満 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | 1.3 | ▲ 1.1 | ▲ 1.4 | ▲ 3.2 |
| | 10歳以上 15歳未満 | 1.4 | 1.4 | 1.3 | 1.3 | ▲ 1.0 | ▲ 1.0 | ▲ 0.3 |
| | 15歳以上 20歳未満 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | ▲ 0.8 | ▲ 0.5 | 0.9 |
| | 20歳以上 25歳未満 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | ▲ 0.7 | ▲ 0.2 | 1.5 |
| | 25歳以上 30歳未満 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | ▲ 0.9 | ▲ 0.5 | 1.2 |
| | 30歳以上 35歳未満 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | ▲ 1.1 | ▲ 0.5 | 0.9 |
| | 35歳以上 40歳未満 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | ▲ 1.1 | ▲ 0.8 | 0.5 |
| | 40歳以上 45歳未満 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | ▲ 1.2 | ▲ 0.8 | 0.2 |
| | 45歳以上 50歳未満 | 1.5 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | ▲ 1.1 | ▲ 0.9 | ▲ 0.0 |
| | 50歳以上 55歳未満 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.0 | ▲ 0.8 | ▲ 0.2 |
| | 55歳以上 60歳未満 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 0.9 | ▲ 0.7 | ▲ 0.5 |
| | 60歳以上 65歳未満 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.1 | ▲ 1.0 | ▲ 1.1 |
| | 65歳以上 70歳未満 | 1.6 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.2 | ▲ 1.1 | ▲ 1.6 |
| | 70歳以上 75歳未満 | 1.7 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | ▲ 2.1 | ▲ 1.8 | ▲ 2.2 |
| | 75歳以上 80歳未満 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.6 | ▲ 1.7 | ▲ 1.6 | ▲ 3.0 |
| | 80歳以上 85歳未満 | 1.8 | 1.8 | 1.7 | 1.7 | ▲ 1.9 | ▲ 2.0 | ▲ 3.5 |
| | 85歳以上 90歳未満 | 1.8 | 1.8 | 1.8 | 1.7 | ▲ 1.7 | ▲ 2.0 | ▲ 3.2 |
| | 90歳以上 95歳未満 | 1.9 | 1.8 | 1.8 | 1.8 | ▲ 1.7 | ▲ 1.8 | ▲ 2.5 |
| 95歳以上 100歳未満 | 2.0 | 2.0 | 1.9 | 1.9 | ▲ 1.9 | ▲ 1.9 | ▲ 1.9 | |
| 100歳以上 | 2.2 | 2.2 | 2.1 | 2.1 | ▲ 2.1 | ▲ 1.7 | ▲ 1.6 | |

【表V-1-1】医療費(傷病分類別)

| | | 実数(億円) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-----------------------|---------------------------------|---------|---------|---------|---------|----------|--------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 301,712 | 306,590 | 313,493 | 301,073 | 1.6 | 2.3 | ▲ 4.0 | 100.0 |
| | 感染症及び寄生虫症 | 6,349 | 6,239 | 6,101 | 5,451 | ▲ 1.7 | ▲ 2.2 | ▲ 10.7 | 1.8 |
| | 新生物 | 41,636 | 43,314 | 45,567 | 44,933 | 4.0 | 5.2 | ▲ 1.4 | 14.9 |
| | 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 2,529 | 2,618 | 2,851 | 2,846 | 3.5 | 8.9 | ▲ 0.2 | 0.9 |
| | 内分泌、栄養及び代謝疾患 | 19,493 | 19,576 | 20,016 | 19,662 | 0.4 | 2.2 | ▲ 1.8 | 6.5 |
| | 精神及び行動の障害 | 20,138 | 20,302 | 20,349 | 19,987 | 0.8 | 0.2 | ▲ 1.8 | 6.6 |
| | 神経系の疾患 | 14,184 | 14,977 | 15,608 | 15,616 | 5.6 | 4.2 | 0.1 | 5.2 |
| | 眼及び付属器の疾患 | 10,577 | 10,991 | 11,302 | 10,643 | 3.9 | 2.8 | ▲ 5.8 | 3.5 |
| | 耳及び乳様突起の疾患 | 1,809 | 1,853 | 1,849 | 1,608 | 2.5 | ▲ 0.2 | ▲ 13.0 | 0.5 |
| | 循環器系の疾患 | 58,380 | 58,571 | 59,585 | 57,890 | 0.3 | 1.7 | ▲ 2.8 | 19.2 |
| | 呼吸器系の疾患 | 22,371 | 22,626 | 22,382 | 16,724 | 1.1 | ▲ 1.1 | ▲ 25.3 | 5.6 |
| | 消化器系の疾患 | 16,637 | 17,254 | 17,568 | 16,932 | 3.7 | 1.8 | ▲ 3.6 | 5.6 |
| | 皮膚及び皮下組織の疾患 | 5,276 | 5,506 | 5,781 | 5,762 | 4.3 | 5.0 | ▲ 0.3 | 1.9 |
| | 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 23,445 | 24,346 | 25,145 | 24,127 | 3.8 | 3.3 | ▲ 4.0 | 8.0 |
| | 腎尿路生殖器系の疾患 | 21,680 | 22,162 | 22,910 | 22,584 | 2.2 | 3.4 | ▲ 1.4 | 7.5 |
| | 妊娠、分娩及び産じょく | 2,163 | 2,174 | 2,141 | 2,042 | 0.5 | ▲ 1.5 | ▲ 4.6 | 0.7 |
| | 周産期に発生した病態 | 1,843 | 1,830 | 1,838 | 1,841 | ▲ 0.7 | 0.4 | 0.2 | 0.6 |
| | 先天奇形、変形及び染色体異常 | 1,852 | 1,893 | 1,927 | 1,838 | 2.2 | 1.8 | ▲ 4.6 | 0.6 |
| | 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 3,848 | 3,899 | 4,031 | 3,864 | 1.3 | 3.4 | ▲ 4.1 | 1.3 |
| | 損傷、中毒及びその他の外因の影響 | 19,809 | 20,441 | 21,115 | 20,776 | 3.2 | 3.3 | ▲ 1.6 | 6.9 |
| 不詳 | 7,694 | 6,020 | 5,428 | 4,725 | ▲ 21.8 | ▲ 9.8 | ▲ 12.9 | 1.6 | |

【表V-1-2】受診延日数(傷病分類別)

| | | 実数(万日) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-----------------------|---------------------------------|---------|---------|---------|---------|----------|--------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 206,761 | 205,544 | 203,535 | 184,902 | ▲ 0.6 | ▲ 1.0 | ▲ 9.2 | 100.0 |
| | 感染症及び寄生虫症 | 5,576 | 5,470 | 5,325 | 4,326 | ▲ 1.9 | ▲ 2.6 | ▲ 18.8 | 2.3 |
| | 新生物 | 10,301 | 10,370 | 10,460 | 9,816 | 0.7 | 0.9 | ▲ 6.2 | 5.3 |
| | 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 928 | 919 | 915 | 834 | ▲ 1.0 | ▲ 0.4 | ▲ 8.9 | 0.5 |
| | 内分泌、栄養及び代謝疾患 | 14,977 | 15,016 | 15,079 | 14,462 | 0.3 | 0.4 | ▲ 4.1 | 7.8 |
| | 精神及び行動の障害 | 16,852 | 16,887 | 16,865 | 16,417 | 0.2 | ▲ 0.1 | ▲ 2.7 | 8.9 |
| | 神経系の疾患 | 8,842 | 9,074 | 9,250 | 9,036 | 2.6 | 1.9 | ▲ 2.3 | 4.9 |
| | 眼及び付属器の疾患 | 10,899 | 10,952 | 10,822 | 9,979 | 0.5 | ▲ 1.2 | ▲ 7.8 | 5.4 |
| | 耳及び乳様突起の疾患 | 2,709 | 2,684 | 2,613 | 2,191 | ▲ 0.9 | ▲ 2.7 | ▲ 16.1 | 1.2 |
| | 循環器系の疾患 | 34,217 | 33,777 | 33,435 | 31,688 | ▲ 1.3 | ▲ 1.0 | ▲ 5.2 | 17.1 |
| | 呼吸器系の疾患 | 24,219 | 23,719 | 22,550 | 14,341 | ▲ 2.1 | ▲ 4.9 | ▲ 36.4 | 7.8 |
| | 消化器系の疾患 | 10,174 | 10,086 | 9,931 | 9,151 | ▲ 0.9 | ▲ 1.5 | ▲ 7.9 | 4.9 |
| | 皮膚及び皮下組織の疾患 | 9,544 | 9,761 | 9,998 | 9,884 | 2.3 | 2.4 | ▲ 1.1 | 5.3 |
| | 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 26,340 | 26,298 | 26,125 | 24,150 | ▲ 0.2 | ▲ 0.7 | ▲ 7.6 | 13.1 |
| | 腎尿路生殖器系の疾患 | 9,907 | 10,154 | 10,419 | 10,226 | 2.5 | 2.6 | ▲ 1.9 | 5.5 |
| | 妊娠、分娩及び産じょく | 914 | 888 | 860 | 792 | ▲ 2.8 | ▲ 3.3 | ▲ 7.9 | 0.4 |
| | 周産期に発生した病態 | 369 | 369 | 358 | 336 | ▲ 0.2 | ▲ 3.0 | ▲ 5.9 | 0.2 |
| | 先天奇形、変形及び染色体異常 | 552 | 564 | 570 | 534 | 2.1 | 1.2 | ▲ 6.4 | 0.3 |
| | 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 2,981 | 2,995 | 3,009 | 2,753 | 0.5 | 0.5 | ▲ 8.5 | 1.5 |
| | 損傷、中毒及びその他の外因の影響 | 10,245 | 10,308 | 10,292 | 9,674 | 0.6 | ▲ 0.2 | ▲ 6.0 | 5.2 |
| 不詳 | 6,215 | 5,252 | 4,659 | 3,948 | ▲ 15.5 | ▲ 11.3 | ▲ 15.3 | 2.1 | |

【表V-1-3】件数(傷病分類別)

| | | 実数(万件) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-----------------------|---------------------------------|---------|---------|---------|--------|----------|--------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 105,571 | 106,262 | 106,141 | 96,915 | 0.7 | ▲ 0.1 | ▲ 8.7 | 100.0 |
| | 感染症及び寄生虫症 | 3,404 | 3,391 | 3,319 | 2,602 | ▲ 0.4 | ▲ 2.1 | ▲ 21.6 | 2.7 |
| | 新生物 | 4,116 | 4,197 | 4,287 | 4,091 | 2.0 | 2.1 | ▲ 4.6 | 4.2 |
| | 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 473 | 476 | 477 | 438 | 0.4 | 0.4 | ▲ 8.2 | 0.5 |
| | 内分泌、栄養及び代謝疾患 | 9,754 | 9,953 | 10,147 | 9,997 | 2.0 | 1.9 | ▲ 1.5 | 10.3 |
| | 精神及び行動の障害 | 5,044 | 5,201 | 5,349 | 5,368 | 3.1 | 2.8 | 0.4 | 5.5 |
| | 神経系の疾患 | 3,201 | 3,280 | 3,344 | 3,266 | 2.5 | 1.9 | ▲ 2.3 | 3.4 |
| | 眼及び付属器の疾患 | 8,994 | 9,049 | 8,944 | 8,286 | 0.6 | ▲ 1.2 | ▲ 7.4 | 8.5 |
| | 耳及び乳様突起の疾患 | 1,626 | 1,645 | 1,643 | 1,443 | 1.2 | ▲ 0.1 | ▲ 12.2 | 1.5 |
| | 循環器系の疾患 | 18,879 | 18,920 | 18,981 | 18,435 | 0.2 | 0.3 | ▲ 2.9 | 19.0 |
| | 呼吸器系の疾患 | 15,163 | 14,980 | 14,281 | 9,077 | ▲ 1.2 | ▲ 4.7 | ▲ 36.4 | 9.4 |
| | 消化器系の疾患 | 5,730 | 5,750 | 5,727 | 5,349 | 0.4 | ▲ 0.4 | ▲ 6.6 | 5.5 |
| | 皮膚及び皮下組織の疾患 | 6,971 | 7,188 | 7,424 | 7,455 | 3.1 | 3.3 | 0.4 | 7.7 |
| | 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 9,926 | 10,082 | 10,167 | 9,642 | 1.6 | 0.8 | ▲ 5.2 | 9.9 |
| | 腎尿路生殖器系の疾患 | 3,812 | 3,940 | 4,072 | 3,991 | 3.3 | 3.4 | ▲ 2.0 | 4.1 |
| | 妊娠、分娩及び産じょく | 311 | 306 | 299 | 284 | ▲ 1.7 | ▲ 2.3 | ▲ 5.1 | 0.3 |
| | 周産期に発生した病態 | 111 | 112 | 108 | 102 | 0.5 | ▲ 3.0 | ▲ 5.5 | 0.1 |
| | 先天奇形、変形及び染色体異常 | 277 | 283 | 289 | 274 | 2.4 | 1.9 | ▲ 5.1 | 0.3 |
| | 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 1,780 | 1,818 | 1,841 | 1,685 | 2.2 | 1.3 | ▲ 8.5 | 1.7 |
| | 損傷、中毒及びその他の外因の影響 | 3,165 | 3,218 | 3,215 | 2,988 | 1.7 | ▲ 0.1 | ▲ 7.0 | 3.1 |
| 不詳 | 2,833 | 2,473 | 2,230 | 1,917 | ▲ 12.7 | ▲ 9.9 | ▲ 14.0 | 2.0 | |

【表V-1-4】1日当たり医療費(傷病分類別)

| | | 実数(千円) | | | | 対前年度比(%) | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 14.6 | 14.9 | 15.4 | 16.3 | 2.2 | 3.3 | 5.7 |
| | 感染症及び寄生虫症 | 11.4 | 11.4 | 11.5 | 12.6 | 0.2 | 0.5 | 10.0 |
| | 新生物 | 40.4 | 41.8 | 43.6 | 45.8 | 3.3 | 4.3 | 5.1 |
| | 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 27.2 | 28.5 | 31.1 | 34.1 | 4.6 | 9.3 | 9.5 |
| | 内分泌、栄養及び代謝疾患 | 13.0 | 13.0 | 13.3 | 13.6 | 0.2 | 1.8 | 2.4 |
| | 精神及び行動の障害 | 12.0 | 12.0 | 12.1 | 12.2 | 0.6 | 0.4 | 0.9 |
| | 神経系の疾患 | 16.0 | 16.5 | 16.9 | 17.3 | 2.9 | 2.2 | 2.4 |
| | 眼及び付属器の疾患 | 9.7 | 10.0 | 10.4 | 10.7 | 3.4 | 4.1 | 2.1 |
| | 耳及び乳様突起の疾患 | 6.7 | 6.9 | 7.1 | 7.3 | 3.4 | 2.5 | 3.7 |
| | 循環器系の疾患 | 17.1 | 17.3 | 17.8 | 18.3 | 1.6 | 2.8 | 2.5 |
| | 呼吸器系の疾患 | 9.2 | 9.5 | 9.9 | 11.7 | 3.3 | 4.1 | 17.5 |
| | 消化器系の疾患 | 16.4 | 17.1 | 17.7 | 18.5 | 4.6 | 3.4 | 4.6 |
| | 皮膚及び皮下組織の疾患 | 5.5 | 5.6 | 5.8 | 5.8 | 2.0 | 2.5 | 0.8 |
| | 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 8.9 | 9.3 | 9.6 | 10.0 | 4.0 | 4.0 | 3.8 |
| | 腎尿路生殖器系の疾患 | 21.9 | 21.8 | 22.0 | 22.1 | ▲ 0.3 | 0.7 | 0.4 |
| | 妊娠、分娩及び産じょく | 23.7 | 24.5 | 24.9 | 25.8 | 3.5 | 1.8 | 3.6 |
| | 周産期に発生した病態 | 49.9 | 49.6 | 51.4 | 54.7 | ▲ 0.6 | 3.6 | 6.4 |
| | 先天奇形、変形及び染色体異常 | 33.5 | 33.6 | 33.8 | 34.4 | 0.1 | 0.6 | 1.9 |
| | 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 12.9 | 13.0 | 13.4 | 14.0 | 0.8 | 2.9 | 4.8 |
| | 損傷、中毒及びその他の外因の影響 | 19.3 | 19.8 | 20.5 | 21.5 | 2.6 | 3.5 | 4.7 |
| 不詳 | 12.4 | 11.5 | 11.6 | 12.0 | ▲ 7.4 | 1.6 | 2.7 | |

【表V-1-5】1件当たり日数(傷病分類別)

| | | 実数(日) | | | | 対前年度比(%) | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 2.0 | 1.9 | 1.9 | 1.9 | ▲ 1.2 | ▲ 0.9 | ▲ 0.5 |
| | 感染症及び寄生虫症 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.7 | ▲ 1.5 | ▲ 0.5 | 3.6 |
| | 新生物 | 2.5 | 2.5 | 2.4 | 2.4 | ▲ 1.3 | ▲ 1.2 | ▲ 1.7 |
| | 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 2.0 | 1.9 | 1.9 | 1.9 | ▲ 1.4 | ▲ 0.8 | ▲ 0.8 |
| | 内分泌、栄養及び代謝疾患 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.4 | ▲ 1.7 | ▲ 1.5 | ▲ 2.7 |
| | 精神及び行動の障害 | 3.3 | 3.2 | 3.2 | 3.1 | ▲ 2.8 | ▲ 2.9 | ▲ 3.0 |
| | 神経系の疾患 | 2.8 | 2.8 | 2.8 | 2.8 | 0.1 | 0.0 | ▲ 0.0 |
| | 眼及び付属器の疾患 | 1.2 | 1.2 | 1.2 | 1.2 | ▲ 0.1 | ▲ 0.0 | ▲ 0.5 |
| | 耳及び乳様突起の疾患 | 1.7 | 1.6 | 1.6 | 1.5 | ▲ 2.1 | ▲ 2.5 | ▲ 4.5 |
| | 循環器系の疾患 | 1.8 | 1.8 | 1.8 | 1.7 | ▲ 1.5 | ▲ 1.3 | ▲ 2.4 |
| | 呼吸器系の疾患 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | ▲ 0.9 | ▲ 0.3 | 0.1 |
| | 消化器系の疾患 | 1.8 | 1.8 | 1.7 | 1.7 | ▲ 1.2 | ▲ 1.1 | ▲ 1.3 |
| | 皮膚及び皮下組織の疾患 | 1.4 | 1.4 | 1.3 | 1.3 | ▲ 0.8 | ▲ 0.8 | ▲ 1.6 |
| | 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 2.7 | 2.6 | 2.6 | 2.5 | ▲ 1.7 | ▲ 1.5 | ▲ 2.5 |
| | 腎尿路生殖器系の疾患 | 2.6 | 2.6 | 2.6 | 2.6 | ▲ 0.8 | ▲ 0.7 | 0.1 |
| | 妊娠、分娩及び産じょく | 2.9 | 2.9 | 2.9 | 2.8 | ▲ 1.1 | ▲ 1.0 | ▲ 3.0 |
| | 周産期に発生した病態 | 3.3 | 3.3 | 3.3 | 3.3 | ▲ 0.6 | ▲ 0.1 | ▲ 0.4 |
| | 先天奇形、変形及び染色体異常 | 2.0 | 2.0 | 2.0 | 1.9 | ▲ 0.3 | ▲ 0.7 | ▲ 1.4 |
| | 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 1.7 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | ▲ 1.7 | ▲ 0.8 | ▲ 0.0 |
| | 損傷、中毒及びその他の外因の影響 | 3.2 | 3.2 | 3.2 | 3.2 | ▲ 1.0 | ▲ 0.0 | 1.1 |
| 不詳 | 2.2 | 2.1 | 2.1 | 2.1 | ▲ 3.2 | ▲ 1.6 | ▲ 1.4 | |

【表V-2-1】入院 医療費(傷病分類別)

| | | 実数(億円) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-----------------------|---------------------------------|---------|---------|---------|---------|----------|--------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 160,920 | 164,191 | 167,987 | 161,853 | 2.0 | 2.3 | ▲ 3.7 | 100.0 |
| | 感染症及び寄生虫症 | 2,474 | 2,397 | 2,425 | 2,325 | ▲ 3.1 | 1.2 | ▲ 4.2 | 1.4 |
| | 新生物 | 26,150 | 26,902 | 27,628 | 26,674 | 2.9 | 2.7 | ▲ 3.5 | 16.5 |
| | 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 1,088 | 1,077 | 1,117 | 1,073 | ▲ 1.0 | 3.7 | ▲ 3.9 | 0.7 |
| | 内分泌、栄養及び代謝疾患 | 4,553 | 4,512 | 4,619 | 4,440 | ▲ 0.9 | 2.4 | ▲ 3.9 | 2.7 |
| | 精神及び行動の障害 | 14,449 | 14,533 | 14,478 | 14,235 | 0.6 | ▲ 0.4 | ▲ 1.7 | 8.8 |
| | 神経系の疾患 | 9,800 | 10,456 | 10,875 | 10,813 | 6.7 | 4.0 | ▲ 0.6 | 6.7 |
| | 眼及び付属器の疾患 | 2,335 | 2,492 | 2,577 | 2,202 | 6.7 | 3.4 | ▲ 14.5 | 1.4 |
| | 耳及び乳様突起の疾患 | 482 | 499 | 501 | 422 | 3.7 | 0.4 | ▲ 15.9 | 0.3 |
| | 循環器系の疾患 | 35,396 | 35,794 | 36,718 | 35,798 | 1.1 | 2.6 | ▲ 2.5 | 22.1 |
| | 呼吸器系の疾患 | 10,157 | 10,497 | 10,614 | 8,404 | 3.3 | 1.1 | ▲ 20.8 | 5.2 |
| | 消化器系の疾患 | 9,132 | 9,665 | 9,857 | 9,506 | 5.8 | 2.0 | ▲ 3.6 | 5.9 |
| | 皮膚及び皮下組織の疾患 | 1,165 | 1,231 | 1,275 | 1,245 | 5.7 | 3.6 | ▲ 2.4 | 0.8 |
| | 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 10,829 | 11,591 | 12,148 | 11,683 | 7.0 | 4.8 | ▲ 3.8 | 7.2 |
| | 腎尿路生殖器系の疾患 | 6,534 | 6,823 | 7,126 | 7,018 | 4.4 | 4.4 | ▲ 1.5 | 4.3 |
| | 妊娠、分娩及び産じょく | 1,940 | 1,950 | 1,928 | 1,837 | 0.5 | ▲ 1.1 | ▲ 4.7 | 1.1 |
| | 周産期に発生した病態 | 1,524 | 1,548 | 1,559 | 1,571 | 1.6 | 0.7 | 0.7 | 1.0 |
| | 先天奇形、変形及び染色体異常 | 1,276 | 1,314 | 1,330 | 1,248 | 3.0 | 1.2 | ▲ 6.2 | 0.8 |
| | 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 1,503 | 1,462 | 1,496 | 1,402 | ▲ 2.8 | 2.3 | ▲ 6.3 | 0.9 |
| | 損傷、中毒及びその他の外因の影響 | 16,076 | 16,598 | 17,209 | 17,046 | 3.2 | 3.7 | ▲ 0.9 | 10.5 |
| 不詳 | 4,057 | 2,850 | 2,506 | 2,130 | ▲ 29.7 | ▲ 12.1 | ▲ 15.0 | 1.3 | |

【表V-2-2】入院 受診延日数(傷病分類別)

| | | 実数(万日) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-----------------------|---------------------------------|--------|--------|--------|--------|----------|--------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 45,318 | 45,099 | 45,076 | 42,344 | ▲ 0.5 | ▲ 0.1 | ▲ 6.1 | 100.0 |
| | 感染症及び寄生虫症 | 647 | 620 | 611 | 562 | ▲ 4.1 | ▲ 1.4 | ▲ 8.1 | 1.3 |
| | 新生物 | 4,618 | 4,599 | 4,596 | 4,205 | ▲ 0.4 | ▲ 0.1 | ▲ 8.5 | 9.9 |
| | 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 249 | 244 | 246 | 228 | ▲ 1.9 | 0.8 | ▲ 7.2 | 0.5 |
| | 内分泌、栄養及び代謝疾患 | 1,542 | 1,501 | 1,495 | 1,391 | ▲ 2.6 | ▲ 0.4 | ▲ 7.0 | 3.3 |
| | 精神及び行動の障害 | 9,039 | 8,934 | 8,799 | 8,508 | ▲ 1.2 | ▲ 1.5 | ▲ 3.3 | 20.1 |
| | 神経系の疾患 | 4,103 | 4,273 | 4,407 | 4,367 | 4.1 | 3.1 | ▲ 0.9 | 10.3 |
| | 眼及び付属器の疾患 | 327 | 341 | 344 | 282 | 4.3 | 0.8 | ▲ 17.8 | 0.7 |
| | 耳及び乳様突起の疾患 | 95 | 93 | 91 | 76 | ▲ 1.8 | ▲ 2.3 | ▲ 16.9 | 0.2 |
| | 循環器系の疾患 | 8,010 | 7,907 | 7,893 | 7,531 | ▲ 1.3 | ▲ 0.2 | ▲ 4.6 | 17.8 |
| | 呼吸器系の疾患 | 2,916 | 2,942 | 2,925 | 2,265 | 0.9 | ▲ 0.6 | ▲ 22.6 | 5.3 |
| | 消化器系の疾患 | 2,069 | 2,103 | 2,097 | 1,947 | 1.6 | ▲ 0.3 | ▲ 7.1 | 4.6 |
| | 皮膚及び皮下組織の疾患 | 376 | 388 | 396 | 380 | 3.1 | 2.1 | ▲ 4.1 | 0.9 |
| | 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 2,503 | 2,600 | 2,673 | 2,500 | 3.9 | 2.8 | ▲ 6.5 | 5.9 |
| | 腎尿路生殖器系の疾患 | 1,702 | 1,744 | 1,795 | 1,732 | 2.5 | 2.9 | ▲ 3.5 | 4.1 |
| | 妊娠、分娩及び産じょく | 517 | 501 | 484 | 439 | ▲ 3.1 | ▲ 3.5 | ▲ 9.3 | 1.0 |
| | 周産期に発生した病態 | 255 | 254 | 248 | 238 | ▲ 0.2 | ▲ 2.6 | ▲ 4.2 | 0.6 |
| | 先天奇形、変形及び染色体異常 | 186 | 190 | 191 | 177 | 2.1 | 0.5 | ▲ 7.4 | 0.4 |
| | 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 552 | 538 | 539 | 501 | ▲ 2.7 | 0.3 | ▲ 7.2 | 1.2 |
| | 損傷、中毒及びその他の外因の影響 | 4,201 | 4,237 | 4,307 | 4,121 | 0.9 | 1.6 | ▲ 4.3 | 9.7 |
| 不詳 | 1,411 | 1,088 | 940 | 791 | ▲ 22.9 | ▲ 13.6 | ▲ 15.8 | 1.9 | |

【表V-2-3】入院 件数(傷病分類別)

| | | 実数(万件) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-----------------------|---------------------------------|--------|--------|-------|--------|----------|--------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 2,953 | 2,947 | 2,941 | 2,704 | ▲ 0.2 | ▲ 0.2 | ▲ 8.1 | 100.0 |
| | 感染症及び寄生虫症 | 57 | 55 | 53 | 46 | ▲ 4.7 | ▲ 2.2 | ▲ 13.8 | 1.7 |
| | 新生物 | 395 | 398 | 402 | 374 | 0.9 | 1.0 | ▲ 7.1 | 13.8 |
| | 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 22 | 21 | 21 | 20 | ▲ 3.3 | ▲ 0.4 | ▲ 6.9 | 0.7 |
| | 内分泌、栄養及び代謝疾患 | 105 | 101 | 100 | 91 | ▲ 4.0 | ▲ 0.6 | ▲ 8.8 | 3.4 |
| | 精神及び行動の障害 | 332 | 328 | 323 | 311 | ▲ 1.1 | ▲ 1.7 | ▲ 3.8 | 11.5 |
| | 神経系の疾患 | 186 | 195 | 200 | 191 | 4.6 | 2.4 | ▲ 4.1 | 7.1 |
| | 眼及び付属器の疾患 | 69 | 74 | 76 | 62 | 7.2 | 1.6 | ▲ 17.9 | 2.3 |
| | 耳及び乳様突起の疾患 | 15 | 15 | 15 | 12 | ▲ 0.6 | ▲ 1.2 | ▲ 17.7 | 0.5 |
| | 循環器系の疾患 | 490 | 483 | 481 | 452 | ▲ 1.4 | ▲ 0.6 | ▲ 5.9 | 16.7 |
| | 呼吸器系の疾患 | 220 | 222 | 218 | 151 | 0.6 | ▲ 1.6 | ▲ 30.7 | 5.6 |
| | 消化器系の疾患 | 225 | 235 | 235 | 215 | 4.3 | ▲ 0.0 | ▲ 8.3 | 8.0 |
| | 皮膚及び皮下組織の疾患 | 27 | 28 | 28 | 26 | 1.0 | 1.2 | ▲ 8.3 | 0.9 |
| | 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 159 | 164 | 168 | 156 | 3.4 | 2.2 | ▲ 7.2 | 5.8 |
| | 腎尿路生殖器系の疾患 | 135 | 137 | 140 | 134 | 1.4 | 2.2 | ▲ 4.3 | 5.0 |
| | 妊娠、分娩及び産じょく | 74 | 73 | 71 | 68 | ▲ 1.4 | ▲ 1.9 | ▲ 4.8 | 2.5 |
| | 周産期に発生した病態 | 31 | 31 | 29 | 29 | ▲ 0.5 | ▲ 3.9 | ▲ 3.0 | 1.1 |
| | 先天奇形、変形及び染色体異常 | 16 | 16 | 16 | 15 | 0.8 | ▲ 0.3 | ▲ 9.8 | 0.5 |
| | 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 42 | 39 | 39 | 34 | ▲ 7.4 | ▲ 1.4 | ▲ 11.0 | 1.3 |
| | 損傷、中毒及びその他の外因の影響 | 270 | 273 | 276 | 263 | 1.3 | 1.0 | ▲ 4.7 | 9.7 |
| 不詳 | 81 | 59 | 51 | 42 | ▲ 27.4 | ▲ 13.6 | ▲ 17.3 | 1.6 | |

【表V-2-4】入院 1日当たり医療費(傷病分類別)

| | | 実数(千円) | | | | 対前年度比(%) | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 35.5 | 36.4 | 37.3 | 38.2 | 2.5 | 2.4 | 2.6 |
| | 感染症及び寄生虫症 | 38.3 | 38.7 | 39.7 | 41.4 | 1.1 | 2.6 | 4.2 |
| | 新生物 | 56.6 | 58.5 | 60.1 | 63.4 | 3.3 | 2.8 | 5.5 |
| | 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 43.7 | 44.2 | 45.4 | 47.0 | 1.0 | 2.9 | 3.5 |
| | 内分泌、栄養及び代謝疾患 | 29.5 | 30.1 | 30.9 | 31.9 | 1.8 | 2.8 | 3.3 |
| | 精神及び行動の障害 | 16.0 | 16.3 | 16.5 | 16.7 | 1.8 | 1.1 | 1.7 |
| | 神経系の疾患 | 23.9 | 24.5 | 24.7 | 24.8 | 2.4 | 0.8 | 0.3 |
| | 眼及び付属器の疾患 | 71.5 | 73.1 | 75.0 | 78.0 | 2.3 | 2.6 | 4.0 |
| | 耳及び乳様突起の疾患 | 50.8 | 53.7 | 55.2 | 55.8 | 5.6 | 2.8 | 1.2 |
| | 循環器系の疾患 | 44.2 | 45.3 | 46.5 | 47.5 | 2.4 | 2.8 | 2.2 |
| | 呼吸器系の疾患 | 34.8 | 35.7 | 36.3 | 37.1 | 2.4 | 1.7 | 2.3 |
| | 消化器系の疾患 | 44.1 | 45.9 | 47.0 | 48.8 | 4.1 | 2.3 | 3.9 |
| | 皮膚及び皮下組織の疾患 | 31.0 | 31.7 | 32.2 | 32.8 | 2.4 | 1.4 | 1.8 |
| | 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 43.3 | 44.6 | 45.4 | 46.7 | 3.0 | 1.9 | 2.8 |
| | 腎尿路生殖器系の疾患 | 38.4 | 39.1 | 39.7 | 40.5 | 1.9 | 1.5 | 2.1 |
| | 妊娠、分娩及び産じょく | 37.5 | 38.9 | 39.9 | 41.9 | 3.7 | 2.5 | 5.1 |
| | 周産期に発生した病態 | 59.8 | 60.9 | 62.9 | 66.1 | 1.8 | 3.4 | 5.1 |
| | 先天奇形、変形及び染色体異常 | 68.5 | 69.1 | 69.6 | 70.5 | 0.9 | 0.7 | 1.3 |
| | 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 27.2 | 27.2 | 27.7 | 28.0 | ▲ 0.1 | 2.0 | 0.9 |
| | 損傷、中毒及びその他の外因の影響 | 38.3 | 39.2 | 40.0 | 41.4 | 2.4 | 2.0 | 3.5 |
| 不詳 | 28.8 | 26.2 | 26.7 | 26.9 | ▲ 8.9 | 1.8 | 1.0 | |

【表V-2-5】入院 1件当たり日数(傷病分類別)

| | | 実数(日) | | | | 対前年度比(%) | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 15.3 | 15.3 | 15.3 | 15.7 | ▲ 0.3 | 0.1 | 2.2 |
| | 感染症及び寄生虫症 | 11.3 | 11.4 | 11.4 | 12.2 | 0.6 | 0.8 | 6.7 |
| | 新生物 | 11.7 | 11.5 | 11.4 | 11.3 | ▲ 1.3 | ▲ 1.0 | ▲ 1.5 |
| | 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 11.3 | 11.5 | 11.6 | 11.6 | 1.4 | 1.2 | ▲ 0.4 |
| | 内分泌、栄養及び代謝疾患 | 14.7 | 14.9 | 14.9 | 15.2 | 1.4 | 0.2 | 2.0 |
| | 精神及び行動の障害 | 27.2 | 27.2 | 27.3 | 27.4 | ▲ 0.1 | 0.2 | 0.5 |
| | 神経系の疾患 | 22.0 | 21.9 | 22.1 | 22.8 | ▲ 0.4 | 0.7 | 3.4 |
| | 眼及び付属器の疾患 | 4.7 | 4.6 | 4.5 | 4.6 | ▲ 2.7 | ▲ 0.7 | 0.1 |
| | 耳及び乳様突起の疾患 | 6.2 | 6.2 | 6.1 | 6.2 | ▲ 1.2 | ▲ 1.1 | 1.0 |
| | 循環器系の疾患 | 16.3 | 16.4 | 16.4 | 16.6 | 0.1 | 0.4 | 1.4 |
| | 呼吸器系の疾患 | 13.2 | 13.3 | 13.4 | 15.0 | 0.3 | 1.1 | 11.7 |
| | 消化器系の疾患 | 9.2 | 9.0 | 8.9 | 9.0 | ▲ 2.6 | ▲ 0.3 | 1.3 |
| | 皮膚及び皮下組織の疾患 | 13.8 | 14.1 | 14.2 | 14.8 | 2.1 | 0.9 | 4.5 |
| | 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 15.7 | 15.8 | 15.9 | 16.0 | 0.4 | 0.6 | 0.8 |
| | 腎尿路生殖器系の疾患 | 12.6 | 12.7 | 12.8 | 12.9 | 1.1 | 0.7 | 0.8 |
| | 妊娠、分娩及び産じょく | 7.0 | 6.9 | 6.8 | 6.5 | ▲ 1.7 | ▲ 1.6 | ▲ 4.7 |
| | 周産期に発生した病態 | 8.3 | 8.3 | 8.4 | 8.3 | 0.3 | 1.4 | ▲ 1.2 |
| | 先天奇形、変形及び染色体異常 | 11.6 | 11.8 | 11.9 | 12.2 | 1.2 | 0.8 | 2.6 |
| | 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 13.1 | 13.7 | 14.0 | 14.6 | 5.1 | 1.7 | 4.4 |
| | 損傷、中毒及びその他の外因の影響 | 15.6 | 15.5 | 15.6 | 15.7 | ▲ 0.4 | 0.6 | 0.4 |
| 不詳 | 17.5 | 18.5 | 18.5 | 18.9 | 6.2 | ▲ 0.0 | 1.8 | |

【表V-2-6】入院 推計新規入院件数(傷病分類別)

| | | 実数(万件) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-----------------------|---------------------------------|---------|---------|---------|---------|----------|--------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 1,512.3 | 1,514.3 | 1,513.2 | 1,355.9 | 0.1 | ▲ 0.1 | ▲ 10.4 | 100.0 |
| | 感染症及び寄生虫症 | 37.3 | 35.4 | 34.5 | 28.5 | ▲ 5.1 | ▲ 2.5 | ▲ 17.4 | 2.1 |
| | 新生物 | 251.2 | 255.6 | 260.0 | 243.5 | 1.7 | 1.8 | ▲ 6.4 | 18.0 |
| | 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 14.2 | 13.7 | 13.5 | 12.6 | ▲ 4.2 | ▲ 1.0 | ▲ 6.8 | 0.9 |
| | 内分泌、栄養及び代謝疾患 | 56.2 | 53.2 | 53.0 | 47.3 | ▲ 5.3 | ▲ 0.5 | ▲ 10.7 | 3.5 |
| | 精神及び行動の障害 | 35.9 | 35.8 | 35.5 | 32.0 | ▲ 0.3 | ▲ 0.8 | ▲ 9.8 | 2.4 |
| | 神経系の疾患 | 53.3 | 56.3 | 57.0 | 49.5 | 5.6 | 1.3 | ▲ 13.3 | 3.6 |
| | 眼及び付属器の疾患 | 60.7 | 65.3 | 66.5 | 54.6 | 7.7 | 1.7 | ▲ 17.9 | 4.0 |
| | 耳及び乳様突起の疾患 | 12.5 | 12.4 | 12.3 | 10.1 | ▲ 0.3 | ▲ 0.9 | ▲ 18.0 | 0.7 |
| | 循環器系の疾患 | 234.6 | 231.1 | 229.2 | 211.7 | ▲ 1.5 | ▲ 0.8 | ▲ 7.6 | 15.6 |
| | 呼吸器系の疾患 | 128.5 | 129.0 | 126.1 | 79.2 | 0.4 | ▲ 2.2 | ▲ 37.2 | 5.8 |
| | 消化器系の疾患 | 162.5 | 171.4 | 171.7 | 156.4 | 5.5 | 0.2 | ▲ 8.9 | 11.5 |
| | 皮膚及び皮下組織の疾患 | 15.4 | 15.3 | 15.4 | 13.5 | ▲ 0.7 | 0.7 | ▲ 12.1 | 1.0 |
| | 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 79.3 | 81.6 | 83.2 | 76.3 | 3.0 | 1.9 | ▲ 8.3 | 5.6 |
| | 腎尿路生殖器系の疾患 | 81.8 | 82.3 | 83.8 | 79.6 | 0.6 | 1.9 | ▲ 5.0 | 5.9 |
| | 妊娠、分娩及び産じょく | 58.8 | 58.3 | 57.4 | 55.4 | ▲ 0.9 | ▲ 1.4 | ▲ 3.6 | 4.1 |
| | 周産期に発生した病態 | 23.1 | 23.0 | 22.0 | 21.4 | ▲ 0.6 | ▲ 4.3 | ▲ 2.7 | 1.6 |
| | 先天奇形、変形及び染色体異常 | 10.2 | 10.2 | 10.2 | 9.0 | 0.1 | ▲ 0.6 | ▲ 11.4 | 0.7 |
| | 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 24.9 | 22.2 | 21.6 | 18.5 | ▲ 11.0 | ▲ 2.5 | ▲ 14.5 | 1.4 |
| | 損傷、中毒及びその他の外因の影響 | 136.2 | 138.6 | 139.4 | 131.8 | 1.7 | 0.6 | ▲ 5.5 | 9.7 |
| 不詳 | 35.6 | 23.7 | 20.6 | 16.5 | ▲ 33.5 | ▲ 13.2 | ▲ 19.9 | 1.2 | |

【表V-2-7】入院 推計平均在院日数(傷病分類別)

| | | 実数(日) | | | | 対前年度比(%) | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 30.0 | 29.8 | 29.8 | 31.2 | ▲ 0.6 | 0.0 | 4.8 |
| | 感染症及び寄生虫症 | 17.3 | 17.5 | 17.7 | 19.7 | 1.0 | 1.1 | 11.3 |
| | 新生物 | 18.4 | 18.0 | 17.7 | 17.3 | ▲ 2.1 | ▲ 1.8 | ▲ 2.3 |
| | 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 17.5 | 17.9 | 18.2 | 18.1 | 2.3 | 1.8 | ▲ 0.5 |
| | 内分泌、栄養及び代謝疾患 | 27.4 | 28.2 | 28.2 | 29.4 | 2.8 | 0.1 | 4.2 |
| | 精神及び行動の障害 | 251.5 | 249.4 | 247.7 | 265.5 | ▲ 0.8 | ▲ 0.7 | 7.2 |
| | 神経系の疾患 | 77.0 | 75.9 | 77.3 | 88.3 | ▲ 1.4 | 1.8 | 14.3 |
| | 眼及び付属器の疾患 | 5.4 | 5.2 | 5.2 | 5.2 | ▲ 3.2 | ▲ 0.9 | 0.1 |
| | 耳及び乳様突起の疾患 | 7.6 | 7.5 | 7.4 | 7.5 | ▲ 1.5 | ▲ 1.5 | 1.3 |
| | 循環器系の疾患 | 34.1 | 34.2 | 34.4 | 35.6 | 0.2 | 0.6 | 3.3 |
| | 呼吸器系の疾患 | 22.7 | 22.8 | 23.2 | 28.6 | 0.5 | 1.7 | 23.3 |
| | 消化器系の疾患 | 12.7 | 12.3 | 12.2 | 12.5 | ▲ 3.6 | ▲ 0.5 | 1.9 |
| | 皮膚及び皮下組織の疾患 | 24.4 | 25.3 | 25.7 | 28.0 | 3.9 | 1.4 | 9.0 |
| | 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 31.6 | 31.9 | 32.1 | 32.8 | 0.9 | 0.9 | 2.0 |
| | 腎尿路生殖器系の疾患 | 20.8 | 21.2 | 21.4 | 21.8 | 1.9 | 1.0 | 1.6 |
| | 妊娠、分娩及び産じょく | 8.8 | 8.6 | 8.4 | 7.9 | ▲ 2.2 | ▲ 2.1 | ▲ 6.0 |
| | 周産期に発生した病態 | 11.0 | 11.1 | 11.3 | 11.1 | 0.4 | 1.8 | ▲ 1.5 |
| | 先天奇形、変形及び染色体異常 | 18.2 | 18.6 | 18.8 | 19.7 | 2.0 | 1.1 | 4.5 |
| | 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 22.1 | 24.2 | 24.9 | 27.1 | 9.3 | 2.9 | 8.6 |
| | 損傷、中毒及びその他の外因の影響 | 30.8 | 30.6 | 30.9 | 31.3 | ▲ 0.8 | 1.0 | 1.2 |
| 不詳 | 39.6 | 46.0 | 45.7 | 48.0 | 16.0 | ▲ 0.5 | 5.1 | |

【表V-3-1】入院外 医療費(傷病分類別)

| | | 実数(億円) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-----------------------|---------------------------------|---------|---------|---------|---------|----------|--------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 140,792 | 142,399 | 145,506 | 139,219 | 1.1 | 2.2 | ▲ 4.3 | 100.0 |
| | 感染症及び寄生虫症 | 3,875 | 3,842 | 3,676 | 3,127 | ▲ 0.9 | ▲ 4.3 | ▲ 14.9 | 2.2 |
| | 新生物 | 15,487 | 16,411 | 17,939 | 18,259 | 6.0 | 9.3 | 1.8 | 13.1 |
| | 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 1,441 | 1,541 | 1,734 | 1,773 | 7.0 | 12.5 | 2.3 | 1.3 |
| | 内分泌、栄養及び代謝疾患 | 14,940 | 15,064 | 15,397 | 15,222 | 0.8 | 2.2 | ▲ 1.1 | 10.9 |
| | 精神及び行動の障害 | 5,689 | 5,769 | 5,871 | 5,752 | 1.4 | 1.8 | ▲ 2.0 | 4.1 |
| | 神経系の疾患 | 4,383 | 4,521 | 4,733 | 4,804 | 3.1 | 4.7 | 1.5 | 3.5 |
| | 眼及び付属器の疾患 | 8,242 | 8,499 | 8,725 | 8,440 | 3.1 | 2.7 | ▲ 3.3 | 6.1 |
| | 耳及び乳様突起の疾患 | 1,327 | 1,354 | 1,348 | 1,187 | 2.0 | ▲ 0.5 | ▲ 12.0 | 0.9 |
| | 循環器系の疾患 | 22,984 | 22,777 | 22,867 | 22,092 | ▲ 0.9 | 0.4 | ▲ 3.4 | 15.9 |
| | 呼吸器系の疾患 | 12,214 | 12,130 | 11,769 | 8,320 | ▲ 0.7 | ▲ 3.0 | ▲ 29.3 | 6.0 |
| | 消化器系の疾患 | 7,505 | 7,589 | 7,711 | 7,426 | 1.1 | 1.6 | ▲ 3.7 | 5.3 |
| | 皮膚及び皮下組織の疾患 | 4,111 | 4,274 | 4,506 | 4,518 | 4.0 | 5.4 | 0.3 | 3.2 |
| | 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 12,616 | 12,755 | 12,997 | 12,444 | 1.1 | 1.9 | ▲ 4.3 | 8.9 |
| | 腎尿路生殖器系の疾患 | 15,146 | 15,340 | 15,784 | 15,566 | 1.3 | 2.9 | ▲ 1.4 | 11.2 |
| | 妊娠、分娩及び産じょく | 223 | 224 | 213 | 205 | 0.4 | ▲ 5.1 | ▲ 3.6 | 0.1 |
| | 周産期に発生した病態 | 319 | 282 | 279 | 270 | ▲ 11.8 | ▲ 1.0 | ▲ 3.0 | 0.2 |
| | 先天奇形、変形及び染色体異常 | 576 | 579 | 598 | 591 | 0.5 | 3.2 | ▲ 1.1 | 0.4 |
| | 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 2,345 | 2,437 | 2,535 | 2,462 | 3.9 | 4.0 | ▲ 2.9 | 1.8 |
| | 損傷、中毒及びその他の外因の影響 | 3,733 | 3,843 | 3,906 | 3,730 | 3.0 | 1.6 | ▲ 4.5 | 2.7 |
| 不詳 | 3,637 | 3,170 | 2,921 | 2,595 | ▲ 12.8 | ▲ 7.9 | ▲ 11.2 | 1.9 | |

【表V-3-2】入院外 受診延日数(傷病分類別)

| | | 実数(万日) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-----------------------|---------------------------------|---------|---------|---------|---------|----------|--------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 161,443 | 160,444 | 158,459 | 142,557 | ▲ 0.6 | ▲ 1.2 | ▲ 10.0 | 100.0 |
| | 感染症及び寄生虫症 | 4,929 | 4,850 | 4,714 | 3,764 | ▲ 1.6 | ▲ 2.8 | ▲ 20.2 | 2.6 |
| | 新生物 | 5,683 | 5,771 | 5,865 | 5,611 | 1.5 | 1.6 | ▲ 4.3 | 3.9 |
| | 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 680 | 675 | 670 | 606 | ▲ 0.6 | ▲ 0.8 | ▲ 9.5 | 0.4 |
| | 内分泌、栄養及び代謝疾患 | 13,436 | 13,515 | 13,584 | 13,071 | 0.6 | 0.5 | ▲ 3.8 | 9.2 |
| | 精神及び行動の障害 | 7,812 | 7,953 | 8,065 | 7,909 | 1.8 | 1.4 | ▲ 1.9 | 5.5 |
| | 神経系の疾患 | 4,739 | 4,801 | 4,843 | 4,668 | 1.3 | 0.9 | ▲ 3.6 | 3.3 |
| | 眼及び付属器の疾患 | 10,572 | 10,611 | 10,479 | 9,696 | 0.4 | ▲ 1.2 | ▲ 7.5 | 6.8 |
| | 耳及び乳様突起の疾患 | 2,614 | 2,591 | 2,522 | 2,116 | ▲ 0.9 | ▲ 2.7 | ▲ 16.1 | 1.5 |
| | 循環器系の疾患 | 26,207 | 25,870 | 25,542 | 24,157 | ▲ 1.3 | ▲ 1.3 | ▲ 5.4 | 16.9 |
| | 呼吸器系の疾患 | 21,303 | 20,777 | 19,625 | 12,077 | ▲ 2.5 | ▲ 5.5 | ▲ 38.5 | 8.5 |
| | 消化器系の疾患 | 8,104 | 7,983 | 7,834 | 7,204 | ▲ 1.5 | ▲ 1.9 | ▲ 8.0 | 5.1 |
| | 皮膚及び皮下組織の疾患 | 9,168 | 9,374 | 9,602 | 9,504 | 2.2 | 2.4 | ▲ 1.0 | 6.7 |
| | 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 23,837 | 23,698 | 23,452 | 21,650 | ▲ 0.6 | ▲ 1.0 | ▲ 7.7 | 15.2 |
| | 腎尿路生殖器系の疾患 | 8,205 | 8,410 | 8,624 | 8,493 | 2.5 | 2.5 | ▲ 1.5 | 6.0 |
| | 妊娠、分娩及び産じょく | 397 | 387 | 376 | 353 | ▲ 2.5 | ▲ 2.9 | ▲ 6.1 | 0.2 |
| | 周産期に発生した病態 | 114 | 114 | 110 | 99 | 0.0 | ▲ 4.1 | ▲ 9.8 | 0.1 |
| | 先天奇形、変形及び染色体異常 | 366 | 374 | 379 | 357 | 2.1 | 1.5 | ▲ 5.9 | 0.3 |
| | 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 2,429 | 2,457 | 2,470 | 2,252 | 1.2 | 0.5 | ▲ 8.8 | 1.6 |
| | 損傷、中毒及びその他の外因の影響 | 6,044 | 6,071 | 5,985 | 5,553 | 0.4 | ▲ 1.4 | ▲ 7.2 | 3.9 |
| 不詳 | 4,805 | 4,164 | 3,719 | 3,157 | ▲ 13.3 | ▲ 10.7 | ▲ 15.1 | 2.2 | |

【表V-3-3】入院外 件数(傷病分類別)

| | | 実数(万件) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-----------------------|---------------------------------|---------|---------|---------|--------|----------|--------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 102,618 | 103,315 | 103,200 | 94,212 | 0.7 | ▲ 0.1 | ▲ 8.7 | 100.0 |
| | 感染症及び寄生虫症 | 3,347 | 3,336 | 3,265 | 2,556 | ▲ 0.3 | ▲ 2.1 | ▲ 21.7 | 2.7 |
| | 新生物 | 3,721 | 3,799 | 3,885 | 3,718 | 2.1 | 2.3 | ▲ 4.3 | 3.9 |
| | 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 452 | 454 | 456 | 419 | 0.6 | 0.4 | ▲ 8.2 | 0.4 |
| | 内分泌、栄養及び代謝疾患 | 9,649 | 9,852 | 10,046 | 9,905 | 2.1 | 2.0 | ▲ 1.4 | 10.5 |
| | 精神及び行動の障害 | 4,712 | 4,872 | 5,026 | 5,057 | 3.4 | 3.2 | 0.6 | 5.4 |
| | 神経系の疾患 | 3,014 | 3,085 | 3,144 | 3,075 | 2.4 | 1.9 | ▲ 2.2 | 3.3 |
| | 眼及び付属器の疾患 | 8,925 | 8,974 | 8,868 | 8,224 | 0.6 | ▲ 1.2 | ▲ 7.3 | 8.7 |
| | 耳及び乳様突起の疾患 | 1,611 | 1,630 | 1,628 | 1,431 | 1.2 | ▲ 0.1 | ▲ 12.1 | 1.5 |
| | 循環器系の疾患 | 18,388 | 18,436 | 18,500 | 17,983 | 0.3 | 0.3 | ▲ 2.8 | 19.1 |
| | 呼吸器系の疾患 | 14,943 | 14,759 | 14,063 | 8,926 | ▲ 1.2 | ▲ 4.7 | ▲ 36.5 | 9.5 |
| | 消化器系の疾患 | 5,505 | 5,515 | 5,492 | 5,134 | 0.2 | ▲ 0.4 | ▲ 6.5 | 5.4 |
| | 皮膚及び皮下組織の疾患 | 6,944 | 7,161 | 7,396 | 7,430 | 3.1 | 3.3 | 0.5 | 7.9 |
| | 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 9,767 | 9,917 | 9,999 | 9,486 | 1.5 | 0.8 | ▲ 5.1 | 10.1 |
| | 腎尿路生殖器系の疾患 | 3,677 | 3,803 | 3,932 | 3,857 | 3.4 | 3.4 | ▲ 1.9 | 4.1 |
| | 妊娠、分娩及び産じょく | 237 | 233 | 227 | 216 | ▲ 1.8 | ▲ 2.4 | ▲ 5.1 | 0.2 |
| | 周産期に発生した病態 | 80 | 81 | 79 | 74 | 0.8 | ▲ 2.7 | ▲ 6.4 | 0.1 |
| | 先天奇形、変形及び染色体異常 | 261 | 267 | 273 | 260 | 2.5 | 2.1 | ▲ 4.8 | 0.3 |
| | 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 1,737 | 1,779 | 1,803 | 1,651 | 2.4 | 1.4 | ▲ 8.4 | 1.8 |
| | 損傷、中毒及びその他の外因の影響 | 2,895 | 2,945 | 2,939 | 2,725 | 1.7 | ▲ 0.2 | ▲ 7.3 | 2.9 |
| 不詳 | 2,752 | 2,415 | 2,179 | 1,875 | ▲ 12.3 | ▲ 9.8 | ▲ 14.0 | 2.0 | |

【表V-3-4】入院外 1日当たり医療費(傷病分類別)

| | | 実数(千円) | | | | 対前年度比(%) | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 8.7 | 8.9 | 9.2 | 9.8 | 1.8 | 3.5 | 6.4 |
| | 感染症及び寄生虫症 | 7.9 | 7.9 | 7.8 | 8.3 | 0.8 | ▲ 1.6 | 6.5 |
| | 新生物 | 27.3 | 28.4 | 30.6 | 32.5 | 4.4 | 7.6 | 6.4 |
| | 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 21.2 | 22.8 | 25.9 | 29.2 | 7.7 | 13.4 | 13.0 |
| | 内分泌、栄養及び代謝疾患 | 11.1 | 11.1 | 11.3 | 11.6 | 0.2 | 1.7 | 2.7 |
| | 精神及び行動の障害 | 7.3 | 7.3 | 7.3 | 7.3 | ▲ 0.4 | 0.3 | ▲ 0.1 |
| | 神経系の疾患 | 9.3 | 9.4 | 9.8 | 10.3 | 1.8 | 3.8 | 5.3 |
| | 眼及び付属器の疾患 | 7.8 | 8.0 | 8.3 | 8.7 | 2.7 | 4.0 | 4.5 |
| | 耳及び乳様突起の疾患 | 5.1 | 5.2 | 5.3 | 5.6 | 2.9 | 2.3 | 4.9 |
| | 循環器系の疾患 | 8.8 | 8.8 | 9.0 | 9.1 | 0.4 | 1.7 | 2.2 |
| | 呼吸器系の疾患 | 5.7 | 5.8 | 6.0 | 6.9 | 1.8 | 2.7 | 14.9 |
| | 消化器系の疾患 | 9.3 | 9.5 | 9.8 | 10.3 | 2.6 | 3.5 | 4.7 |
| | 皮膚及び皮下組織の疾患 | 4.5 | 4.6 | 4.7 | 4.8 | 1.7 | 2.9 | 1.3 |
| | 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 5.3 | 5.4 | 5.5 | 5.7 | 1.7 | 3.0 | 3.7 |
| | 腎尿路生殖器系の疾患 | 18.5 | 18.2 | 18.3 | 18.3 | ▲ 1.2 | 0.3 | 0.1 |
| | 妊娠、分娩及び産じょく | 5.6 | 5.8 | 5.7 | 5.8 | 3.0 | ▲ 2.2 | 2.7 |
| | 周産期に発生した病態 | 27.9 | 24.6 | 25.4 | 27.3 | ▲ 11.8 | 3.2 | 7.4 |
| | 先天奇形、変形及び染色体異常 | 15.7 | 15.5 | 15.8 | 16.5 | ▲ 1.6 | 1.7 | 5.1 |
| | 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 9.7 | 9.9 | 10.3 | 10.9 | 2.7 | 3.5 | 6.5 |
| | 損傷、中毒及びその他の外因の影響 | 6.2 | 6.3 | 6.5 | 6.7 | 2.5 | 3.1 | 2.9 |
| 不詳 | 7.6 | 7.6 | 7.9 | 8.2 | 0.6 | 3.2 | 4.7 | |

【表V-3-5】入院外 1件当たり日数(傷病分類別)

| | | 実数(日) | | | | 対前年度比(%) | | |
|-----------------------|---------------------------------|--------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 1.6 | 1.6 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.3 | ▲ 1.1 | ▲ 1.5 |
| | 感染症及び寄生虫症 | 1.5 | 1.5 | 1.4 | 1.5 | ▲ 1.3 | ▲ 0.7 | 2.0 |
| | 新生物 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | ▲ 0.5 | ▲ 0.6 | ▲ 0.0 |
| | 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.4 | ▲ 1.3 | ▲ 1.2 | ▲ 1.4 |
| | 内分泌、栄養及び代謝疾患 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | 1.3 | ▲ 1.5 | ▲ 1.4 | ▲ 2.4 |
| | 精神及び行動の障害 | 1.7 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | ▲ 1.6 | ▲ 1.7 | ▲ 2.5 |
| | 神経系の疾患 | 1.6 | 1.6 | 1.5 | 1.5 | ▲ 1.0 | ▲ 1.0 | ▲ 1.4 |
| | 眼及び付属器の疾患 | 1.2 | 1.2 | 1.2 | 1.2 | ▲ 0.2 | ▲ 0.1 | ▲ 0.2 |
| | 耳及び乳様突起の疾患 | 1.6 | 1.6 | 1.5 | 1.5 | ▲ 2.0 | ▲ 2.5 | ▲ 4.5 |
| | 循環器系の疾患 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | 1.3 | ▲ 1.5 | ▲ 1.6 | ▲ 2.7 |
| | 呼吸器系の疾患 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | ▲ 1.3 | ▲ 0.9 | ▲ 3.0 |
| | 消化器系の疾患 | 1.5 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | ▲ 1.7 | ▲ 1.4 | ▲ 1.6 |
| | 皮膚及び皮下組織の疾患 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | ▲ 0.9 | ▲ 0.8 | ▲ 1.5 |
| | 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 2.4 | 2.4 | 2.3 | 2.3 | ▲ 2.1 | ▲ 1.8 | ▲ 2.7 |
| | 腎尿路生殖器系の疾患 | 2.2 | 2.2 | 2.2 | 2.2 | ▲ 0.9 | ▲ 0.8 | 0.4 |
| | 妊娠、分娩及び産じょく | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.6 | ▲ 0.7 | ▲ 0.5 | ▲ 1.0 |
| | 周産期に発生した病態 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | 1.3 | ▲ 0.8 | ▲ 1.5 | ▲ 3.6 |
| | 先天奇形、変形及び染色体異常 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | ▲ 0.4 | ▲ 0.5 | ▲ 1.1 |
| | 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 1.4 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | ▲ 1.2 | ▲ 0.8 | ▲ 0.4 |
| | 損傷、中毒及びその他の外因の影響 | 2.1 | 2.1 | 2.0 | 2.0 | ▲ 1.2 | ▲ 1.2 | 0.0 |
| 不詳 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | ▲ 1.2 | ▲ 1.0 | ▲ 1.3 | |

【表VI-1】医療費(診療内容別)

| | | 実数(億円) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|-----------------------|--------------|---------|---------|---------|---------|----------|-------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 算 処 理 分 | 総数 | 301,712 | 306,590 | 313,493 | 301,073 | 1.6 | 2.3 | ▲ 4.0 | 100.0 |
| | 初診 | 8,127 | 8,233 | 7,993 | 6,082 | 1.3 | ▲ 2.9 | ▲ 23.9 | 2.0 |
| | 再診 | 12,707 | 12,654 | 12,631 | 11,614 | ▲ 0.4 | ▲ 0.2 | ▲ 8.0 | 3.9 |
| | 医学管理 | 13,045 | 13,243 | 13,277 | 13,132 | 1.5 | 0.3 | ▲ 1.1 | 4.4 |
| | 在宅 | 8,279 | 8,599 | 9,019 | 9,651 | 3.9 | 4.9 | 7.0 | 3.2 |
| | 投薬 | 1,968 | 1,900 | 1,817 | 1,674 | ▲ 3.5 | ▲ 4.3 | ▲ 7.9 | 0.6 |
| | 注射 | 1,417 | 1,389 | 1,369 | 1,278 | ▲ 2.0 | ▲ 1.4 | ▲ 6.7 | 0.4 |
| | 処置 | 14,661 | 14,785 | 15,059 | 14,564 | 0.8 | 1.9 | ▲ 3.3 | 4.8 |
| | 手術・麻酔 | 21,807 | 23,416 | 24,098 | 22,723 | 7.4 | 2.9 | ▲ 5.7 | 7.5 |
| | 検査・病理診断 | 28,300 | 28,749 | 28,934 | 27,832 | 1.6 | 0.6 | ▲ 3.8 | 9.2 |
| | 画像診断 | 10,645 | 10,829 | 10,940 | 10,334 | 1.7 | 1.0 | ▲ 5.5 | 3.4 |
| | 処方箋料 | 6,753 | 6,962 | 7,005 | 6,479 | 3.1 | 0.6 | ▲ 7.5 | 2.2 |
| | リハビリテーション | 10,194 | 10,458 | 10,704 | 10,926 | 2.6 | 2.3 | 2.1 | 3.6 |
| | 精神科専門療法 | 4,040 | 4,131 | 4,189 | 4,083 | 2.2 | 1.4 | ▲ 2.5 | 1.4 |
| | 放射線治療 | 1,126 | 1,277 | 1,359 | 1,373 | 13.4 | 6.4 | 1.1 | 0.5 |
| | 入院基本料、特定入院料等 | 58,006 | 57,261 | 59,041 | 58,302 | ▲ 1.3 | 3.1 | ▲ 1.3 | 19.4 |
| | DPC包括部分 | 44,031 | 46,499 | 46,852 | 43,814 | 5.6 | 0.8 | ▲ 6.5 | 14.6 |
| 薬剤料 | 37,246 | 36,748 | 39,150 | 37,896 | ▲ 1.3 | 6.5 | ▲ 3.2 | 12.6 | |
| 特定保険医療材料 | 11,608 | 11,741 | 12,343 | 11,997 | 1.1 | 5.1 | ▲ 2.8 | 4.0 | |
| 入院時食事療養 | 6,236 | 6,207 | 6,211 | 5,855 | ▲ 0.5 | 0.1 | ▲ 5.7 | 1.9 | |
| 生活療養食事療養 | 1,124 | 1,113 | 1,105 | 1,076 | ▲ 1.0 | ▲ 0.8 | ▲ 2.6 | 0.4 | |
| 生活療養環境療養 | 321 | 321 | 320 | 312 | ▲ 0.1 | ▲ 0.2 | ▲ 2.7 | 0.1 | |
| その他 | 69 | 73 | 78 | 77 | 5.3 | 6.9 | ▲ 1.5 | 0.0 | |

【表VI-2】入院 医療費(診療内容別)

| | | 実数(億円) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|--------|--------------|---------|---------|---------|---------|----------|-------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 算 | 総数 | 160,920 | 164,191 | 167,987 | 161,853 | 2.0 | 2.3 | ▲ 3.7 | 100.0 |
| | 初診 | 144 | 147 | 148 | 132 | 1.9 | 0.6 | ▲ 10.5 | 0.1 |
| | 再診 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 医学管理 | 1,181 | 1,227 | 1,229 | 1,201 | 3.9 | 0.2 | ▲ 2.2 | 0.7 |
| | 在宅 | 184 | 183 | 183 | 174 | ▲ 0.4 | ▲ 0.1 | ▲ 5.1 | 0.1 |
| | 投薬 | 110 | 106 | 103 | 97 | ▲ 3.7 | ▲ 2.0 | ▲ 6.1 | 0.1 |
| | 注射 | 393 | 368 | 356 | 331 | ▲ 6.4 | ▲ 3.1 | ▲ 7.1 | 0.2 |
| | 処置 | 2,309 | 2,332 | 2,389 | 2,308 | 1.0 | 2.5 | ▲ 3.4 | 1.4 |
| | 手術・麻酔 | 18,057 | 19,498 | 19,993 | 18,767 | 8.0 | 2.5 | ▲ 6.1 | 11.6 |
| | 検査・病理診断 | 2,163 | 2,143 | 2,118 | 2,197 | ▲ 0.9 | ▲ 1.2 | 3.8 | 1.4 |
| 処 理 | 画像診断 | 959 | 907 | 899 | 855 | ▲ 5.4 | ▲ 0.8 | ▲ 4.9 | 0.5 |
| | 処方箋料 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | リハビリテーション | 8,163 | 8,348 | 8,565 | 8,850 | 2.3 | 2.6 | 3.3 | 5.5 |
| | 精神科専門療法 | 845 | 896 | 913 | 942 | 6.0 | 1.9 | 3.1 | 0.6 |
| | 放射線治療 | 449 | 519 | 534 | 520 | 15.5 | 3.0 | ▲ 2.7 | 0.3 |
| | 入院基本料、特定入院料等 | 58,006 | 57,261 | 59,041 | 58,302 | ▲ 1.3 | 3.1 | ▲ 1.3 | 36.0 |
| | DPC包括部分 | 44,031 | 46,499 | 46,852 | 43,814 | 5.6 | 0.8 | ▲ 6.5 | 27.1 |
| | 薬剤料 | 6,039 | 5,806 | 6,186 | 5,674 | ▲ 3.9 | 6.6 | ▲ 8.3 | 3.5 |
| | 特定保険医療材料 | 10,192 | 10,297 | 10,828 | 10,435 | 1.0 | 5.2 | ▲ 3.6 | 6.4 |
| | 入院時食事療養 | 6,236 | 6,207 | 6,211 | 5,855 | ▲ 0.5 | 0.1 | ▲ 5.7 | 3.6 |
| 分 | 生活療養食事療養 | 1,124 | 1,113 | 1,105 | 1,076 | ▲ 1.0 | ▲ 0.8 | ▲ 2.6 | 0.7 |
| | 生活療養環境療養 | 321 | 321 | 320 | 312 | ▲ 0.1 | ▲ 0.2 | ▲ 2.7 | 0.2 |
| | その他 | 14 | 14 | 14 | 13 | ▲ 0.6 | ▲ 0.4 | ▲ 5.8 | 0.0 |

【表VI-3】入院外 医療費(診療内容別)

| | | 実数(億円) | | | | 対前年度比(%) | | | 構成割合 令和2年度 (%) |
|--------|--------------|---------|---------|---------|---------|----------|-------|--------|----------------------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| 電 算 | 総数 | 140,792 | 142,399 | 145,506 | 139,219 | 1.1 | 2.2 | ▲ 4.3 | 100.0 |
| | 初診 | 7,983 | 8,087 | 7,846 | 5,950 | 1.3 | ▲ 3.0 | ▲ 24.2 | 4.3 |
| | 再診 | 12,707 | 12,654 | 12,631 | 11,614 | ▲ 0.4 | ▲ 0.2 | ▲ 8.0 | 8.3 |
| | 医学管理 | 11,864 | 12,017 | 12,048 | 11,931 | 1.3 | 0.3 | ▲ 1.0 | 8.6 |
| | 在宅 | 8,095 | 8,416 | 8,836 | 9,477 | 4.0 | 5.0 | 7.3 | 6.8 |
| | 投薬 | 1,858 | 1,794 | 1,714 | 1,577 | ▲ 3.5 | ▲ 4.5 | ▲ 8.0 | 1.1 |
| | 注射 | 1,024 | 1,021 | 1,013 | 947 | ▲ 0.3 | ▲ 0.8 | ▲ 6.5 | 0.7 |
| | 処置 | 12,352 | 12,453 | 12,670 | 12,256 | 0.8 | 1.7 | ▲ 3.3 | 8.8 |
| | 手術・麻酔 | 3,750 | 3,918 | 4,106 | 3,956 | 4.5 | 4.8 | ▲ 3.6 | 2.8 |
| | 検査・病理診断 | 26,137 | 26,606 | 26,816 | 25,634 | 1.8 | 0.8 | ▲ 4.4 | 18.4 |
| 処 | 画像診断 | 9,686 | 9,922 | 10,040 | 9,479 | 2.4 | 1.2 | ▲ 5.6 | 6.8 |
| | 処方箋料 | 6,753 | 6,962 | 7,005 | 6,479 | 3.1 | 0.6 | ▲ 7.5 | 4.7 |
| | リハビリテーション | 2,031 | 2,110 | 2,139 | 2,077 | 3.9 | 1.4 | ▲ 2.9 | 1.5 |
| | 精神科専門療法 | 3,195 | 3,235 | 3,276 | 3,141 | 1.2 | 1.3 | ▲ 4.1 | 2.3 |
| 理 | 放射線治療 | 676 | 758 | 824 | 853 | 12.1 | 8.7 | 3.5 | 0.6 |
| | 入院基本料、特定入院料等 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 分 | DPC包括部分 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 薬剤料 | 31,207 | 30,943 | 32,964 | 32,222 | ▲ 0.8 | 6.5 | ▲ 2.3 | 23.1 |
| | 特定保険医療材料 | 1,416 | 1,444 | 1,515 | 1,562 | 2.0 | 5.0 | 3.1 | 1.1 |
| | 入院時食事療養 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 生活療養食事療養 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 生活療養環境療養 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | その他 | 56 | 59 | 65 | 64 | 6.7 | 8.6 | ▲ 0.6 | 0.0 |



Press Release

報道関係者 各位

令和3年8月31日

【照会先】

保険局 調査課

課長 西岡 隆 (内線3291)

医療費解析官 八郷 秀之 (内線3375)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3595)2579

「令和2年度 調剤医療費（電算処理分）の動向」を公表します ～調剤医療費（電算処理分）の年度集計結果～

厚生労働省では、毎月、調剤医療費の動向及び薬剤の使用状況等を迅速に把握するため、電算処理分のレセプトを集計した「調剤医療費（電算処理分）の動向」を公表しています。このたび、令和2年度の集計結果がまとまりましたので公表します。

本調査は調剤レセプトデータを集約することで、調剤医療費の動向及び薬剤の使用状況等を迅速に明らかにし、医療保険行政のための基礎資料を得ることを目的としたものです。

【調査結果のポイント】

- 令和2年度の調剤医療費（電算処理分に限る。以下同様。）は7兆4,987億円（伸び率▲2.6%）であり、処方箋1枚当たり調剤医療費は9,849円（伸び率+7.2%）であった。
その内訳は、技術料が1兆8,779億円（伸び率▲5.0%）、薬剤料が5兆6,058億円（▲1.8%）、特定保険医療材料料が150億円（伸び率+7.2%）であり、薬剤料のうち、後発医薬品が1兆1,337億円（伸び率+3.4%）であった。【表1、表2】
- 処方箋1枚当たりの調剤医療費を年齢階級別にみると、年齢とともに高くなり、最も高い80歳以上85歳未満では11,448円と、0歳以上5歳未満の3,623円の約3.2倍であった。【表3】
- 後発医薬品割合は、令和2年度末の数量ベース（新指標）で82.1%（伸び幅+1.7%）、数量ベース（旧指標）で59.1%（伸び幅+3.7%）、薬剤料ベースで21.4%（伸び幅+2.7%）であり、後発医薬品調剤率が77.6%（伸び幅+1.9%）であった。【表4】
- 内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料の伸び率は+7.4%となっており、この伸び率を「処方せん1枚当たり薬剤種類数の伸び率」、「1種類当たり投薬日数の伸び率」、「1種類1日当たり薬剤料の伸び率」に分解すると、各々▲1.0%、+12.7%、▲3.7%であった。【表5】

- 令和2年度の調剤医療費を処方箋発行元医療機関別にみると、医科では病院が3兆1,842億円(▲0.5%)、診療所が4兆2,896億円(▲4.2%)であり、令和2年度末の後発医薬品割合は、数量ベース(新指標)で、病院が82.6%(伸び幅+1.6%)、診療所が81.9%(伸び幅+1.8%)であった。また、制度別でみた場合、最も高かったのは公費の90.5%(伸び幅+0.7%)、最も低かったのが国保組合で80.4%(伸び幅+1.7%)であった。【表14、表15】
- 令和2年度末の後発医薬品割合を、数量ベース(新指標)の算出対象となる医薬品について、薬効大分類別にみると、薬効大分類別の構成割合が最も大きい循環器官用薬は85.4%、次いで大きい消化器官用薬は90.1%であった。【表16】

「令和2年度 調剤医療費(電算処理分)の動向」は、厚生労働省のホームページにも掲載しています。

ホームページアドレス (<https://www.mhlw.go.jp/bunya/iryohoken/database/>)

【調査概要】

調査方法 「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づく行政記録情報である「匿名レセプト情報・匿名特定健診等情報データベース(NDB)」から調剤報酬明細書情報の提供を受け、集計・分析を行う。

調査対象 「匿名レセプト情報・匿名特定健診等情報データベース(NDB)」から提供された令和2年度の調剤報酬明細書情報 合計約6.3億件分

報道関係者 各位

令和3年8月31日

【照会先】

保険局 調査課

課長 西岡 隆 (内線3291)

医療費解析官 八郷 秀之 (内線3375)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3595)2579

「令和2年度 調剤医療費（電算処理分）の動向」を公表します

～調剤医療費（電算処理分）の年度集計結果～

厚生労働省では、毎月、調剤医療費の動向及び薬剤の使用状況等を迅速に把握するため、電算処理分のレセプトを集計した「調剤医療費（電算処理分）の動向」を公表しています。

このたび、令和2年度の集計結果がまとまりましたので公表します。

本調査は調剤レセプトデータを集約することで、調剤医療費の動向及び薬剤の使用状況等を迅速に明らかにし、医療保険行政のための基礎資料を得ることを目的としたものです。

【調査結果のポイント】

- 令和2年度の調剤医療費（電算処理分に限る。以下同様。）は7兆4,987億円（伸び率▲2.6%）であり、処方箋1枚当たり調剤医療費は9,849円（伸び率+7.2%）であった。

その内訳は、技術料が1兆8,779億円（伸び率▲5.0%）、薬剤料が5兆6,058億円（▲1.8%）、特定保険医療材料料が150億円（伸び率+7.2%）であり、薬剤料のうち、後発医薬品が1兆1,337億円（伸び率+3.4%）であった。【表1、表2】

- 処方箋1枚当たりの調剤医療費を年齢階級別にみると、年齢とともに高くなり、最も高い80歳以上85歳未満では11,448円と、0歳以上5歳未満の3,623円の約3.2倍であった。【表3】

- 後発医薬品割合は、令和2年度末の数量ベース（新指標）で82.1%（伸び幅+1.7%）、数量ベース（旧指標）で59.1%（伸び幅+3.7%）、薬剤料ベースで21.4%（伸び幅+2.7%）であり、後発医薬品調剤率が77.6%（伸び幅+1.9%）であった。【表4】

- 内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料の伸び率は+7.4%となっており、この伸び率を「処方せん1枚当たり薬剤種類数の伸び率」、「1種類当たり投薬日数の伸び率」、「1種類1日当たり薬剤料の伸び率」に分解すると、各々▲1.0%、+12.7%、▲3.7%であった。【表5】

- 令和2年度の調剤医療費を処方箋発行元医療機関別にみると、医科では病院が3兆1,842億円(▲0.5%)、診療所が4兆2,896億円(▲4.2%)であり、令和2年度末の後発医薬品割合は、数量ベース(新指標)で、病院が82.6%(伸び幅+1.6%)、診療所が81.9%(伸び幅+1.8%)であった。また、制度別でみた場合、最も高かったのは公費の90.5%(伸び幅+0.7%)、最も低かったのが国保組合で80.4%(伸び幅+1.7%)であった。【表14、表15】
- 令和2年度末の後発医薬品割合を、数量ベース(新指標)の算出対象となる医薬品について、薬効大分類別にみると、薬効大分類別の構成割合が最も大きい循環器用薬は85.4%、次いで大きい消化器用薬は90.1%であった。【表16】

「令和2年度 調剤医療費(電算処理分)の動向」は、厚生労働省のホームページにも掲載しています。

ホームページアドレス (<https://www.mhlw.go.jp/bunya/iryouhoken/database/>)

【調査概要】

- 調査方法 「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づく行政記録情報である「匿名レセプト情報・匿名特定健診等情報データベース(NDB)」から調剤報酬明細書情報の提供を受け、集計・分析を行う。
- 調査対象 「匿名レセプト情報・匿名特定健診等情報データベース(NDB)」から提供された令和2年度の調剤報酬明細書情報 合計約6.3億件分

調剤医療費(電算処理分)の動向の概要 ～令和2年度版～

1. 調剤医療費等の全数と電算処理分の比較

令和2年度の調剤医療費(電算処理分に限る。以下同様。)は7兆4,987億円(対前年度同期比(伸び率という。以下同じ)▲2.6%)で、処方箋1枚当たり調剤医療費は9,849円(+7.2%)であった。

なお、電算処理割合は、平成21年度以降、医療費ベース、処方箋枚数ベースともに99%に達しており、処方箋1枚当たり調剤医療費について、調剤レセプト全体と電算処理分を比較すると、その差は0.1%程度となっている。

表1 調剤医療費総額、処方箋枚数及び処方箋1枚当たり調剤医療費

| | | 実数 | | | | | | 対前年度比(%) | | | | |
|-------|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------|--------|--------|-------|-------|
| | | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 全数 | 調剤医療費(億円) | 78,746 | 74,953 | 77,129 | 74,746 | 77,464 | 75,392 | ▲ 4.8 | 2.9 | ▲ 3.1 | 3.6 | ▲ 2.7 |
| | 処方箋枚数(万枚) | 82,372 | 82,999 | 83,886 | 84,361 | 84,284 | 76,484 | 0.8 | 1.1 | 0.6 | ▲ 0.1 | ▲ 9.3 |
| | 1枚当たり調剤医療費(円) | 9,560 | 9,031 | 9,195 | 8,860 | 9,191 | 9,857 | ▲ 5.5 | 1.8 | ▲ 3.6 | 3.7 | 7.3 |
| 電算処理分 | 調剤医療費(億円) | 78,192 | 74,395 | 76,664 | 74,279 | 77,025 | 74,987 | ▲ 4.9 | 3.1 | ▲ 3.1 | 3.7 | ▲ 2.6 |
| | 電算化率(%) | 99.3 | 99.3 | 99.4 | 99.4 | 99.4 | 99.5 | — | — | — | — | — |
| | 処方箋枚数(万枚) | 81,912 | 82,527 | 83,445 | 83,930 | 83,869 | 76,135 | 0.8 | 1.1 | 0.6 | ▲ 0.1 | ▲ 9.2 |
| | 電算化率(%) | 99.4 | 99.4 | 99.5 | 99.5 | 99.5 | 99.5 | — | — | — | — | — |
| | 1枚当たり調剤医療費(円) | 9,546 | 9,015 | 9,187 | 8,850 | 9,184 | 9,849 | ▲ 5.6 | 1.9 | ▲ 3.7 | 3.8 | 7.2 |
| | 電算処理分/全数 | 0.999 | 0.998 | 0.999 | 0.999 | 0.999 | 0.999 | — | — | — | — | — |

注1) 「調剤医療費」とは、調剤報酬明細書に記録された「点数」に10を乗じたものである。

注2) 「処方箋枚数」とは、調剤報酬明細書に記録される処方箋の「受付回数」を合計したものである。

注3) 「全数」とは、医療保険及び公費負担医療で支給の対象となる医療費(患者負担分を含む。)のうち、審査支払機関による審査分(再審査分等調整前)を集計対象としたものである。

注4) 「電算処理分」とは、「全数」のうち、レセプト電算処理システムにより処理された明細書(いわゆる「電子レセプト」)を集計対象としたものである。次表以降、特に注意書きがない場合、「電算処理分」の集計値である。

2. 調剤医療費の内訳

調剤医療費の内訳は、技術料が1兆8,779億円(伸び率▲5.0%)、薬剤料が5兆6,058億円(▲1.8%)で、特定保険医療材料料が150億円(+7.2%)であった。

処方箋1枚当たり調剤医療費は9,849円(伸び率+7.2%)で、その内訳は、技術料が2,467円(+4.6%)、薬剤料が7,363円(+8.1%)で、特定保険医療材料料が20円(+18.1%)であった。

構成割合は技術料が25.0%、薬剤料が74.8%、特定保険医療材料料が0.2%であった。

表2-1 調剤医療費の内訳(総額)

| | 実数(億円) | | | | | | 対前年度比(%) | | | | |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------|--------|--------|-------|-------|
| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 調剤医療費 | 78,192 | 74,395 | 76,664 | 74,279 | 77,025 | 74,987 | ▲4.9 | 3.1 | ▲3.1 | 3.7 | ▲2.6 |
| 技術料 | 18,283 | 18,490 | 19,122 | 19,311 | 19,771 | 18,779 | 1.1 | 3.4 | 1.0 | 2.4 | ▲5.0 |
| 調剤技術料 | 15,122 | 14,834 | 15,423 | 15,294 | 15,773 | 15,046 | ▲1.9 | 4.0 | ▲0.8 | 3.1 | ▲4.6 |
| 調剤基本料 | 5,336 | 5,055 | 5,478 | 5,336 | 5,666 | 5,536 | ▲5.3 | 8.4 | ▲2.6 | 6.2 | ▲2.3 |
| 調剤料 | 8,425 | 8,415 | 8,554 | 8,548 | 8,649 | 8,101 | ▲0.1 | 1.7 | ▲0.1 | 1.2 | ▲6.3 |
| 加算料 | 1,361 | 1,364 | 1,391 | 1,411 | 1,458 | 1,409 | 0.2 | 2.0 | 1.4 | 3.3 | ▲3.3 |
| 薬学管理料 | 3,161 | 3,656 | 3,699 | 4,016 | 3,998 | 3,733 | 15.7 | 1.2 | 8.6 | ▲0.5 | ▲6.6 |
| 薬剤料 | 59,783 | 55,778 | 57,413 | 54,834 | 57,114 | 56,058 | ▲6.7 | 2.9 | ▲4.5 | 4.2 | ▲1.8 |
| 内服薬 | 49,762 | 45,838 | 46,712 | 44,346 | 46,021 | 44,878 | ▲7.9 | 1.9 | ▲5.1 | 3.8 | ▲2.5 |
| 屯服薬他 | 396 | 378 | 381 | 344 | 344 | 326 | ▲4.4 | 0.9 | ▲9.9 | 0.2 | ▲5.4 |
| 注射薬 | 2,461 | 2,563 | 2,884 | 3,052 | 3,551 | 3,964 | 4.1 | 12.5 | 5.8 | 16.3 | 11.6 |
| 外用薬 | 7,164 | 6,998 | 7,436 | 7,092 | 7,198 | 6,891 | ▲2.3 | 6.3 | ▲4.6 | 1.5 | ▲4.3 |
| (再掲)後発医薬品 | 8,502 | 8,636 | 10,092 | 10,245 | 10,959 | 11,337 | 1.6 | 16.9 | 1.5 | 7.0 | 3.4 |
| 特定保険医療材料料 | 126 | 128 | 130 | 134 | 140 | 150 | 0.9 | 1.6 | 3.8 | 4.4 | 7.2 |

注1)「調剤基本料」には、地域支援体制加算(基準調剤加算)、後発医薬品調剤体制加算、夜間・休日等加算、時間外等の加算(調剤基本料に係る部分)、及び在宅患者調剤加算を含めている。

注2)「内服薬」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「内服」である薬剤をいう。

注3)「屯服薬他」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「屯服」「内滴」「浸煎」「湯」である薬剤をいう。

注4)調剤医療費及び処方箋枚数(受付回数)の電算化率が99.0%を超えた平成21年度以降を公表の対象範囲としている。

表2-2 処方箋1枚当たり調剤医療費の内訳と構成割合

| | 実数(円) | | | | | | 対前年度比(%) | | | | |
|-----------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|----------|--------|--------|-------|-------|
| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 調剤医療費 | 9,546 | 9,015 | 9,187 | 8,850 | 9,184 | 9,849 | ▲5.6 | 1.9 | ▲3.7 | 3.8 | 7.2 |
| 技術料 | 2,232 | 2,240 | 2,292 | 2,301 | 2,357 | 2,467 | 0.4 | 2.3 | 0.4 | 2.5 | 4.6 |
| 構成割合(%) | 23.4 | 24.9 | 24.9 | 26.0 | 25.7 | 25.0 | — | — | — | — | — |
| 調剤技術料 | 1,846 | 1,797 | 1,848 | 1,822 | 1,881 | 1,976 | ▲2.6 | 2.8 | ▲1.4 | 3.2 | 5.1 |
| 調剤基本料 | 651 | 612 | 656 | 636 | 676 | 727 | ▲6.0 | 7.2 | ▲3.2 | 6.3 | 7.6 |
| 調剤料 | 1,029 | 1,020 | 1,025 | 1,018 | 1,031 | 1,064 | ▲0.9 | 0.5 | ▲0.7 | 1.3 | 3.2 |
| 加算料 | 166 | 165 | 167 | 168 | 174 | 185 | ▲0.5 | 0.8 | 0.9 | 3.4 | 6.5 |
| 薬学管理料 | 386 | 443 | 443 | 479 | 477 | 490 | 14.8 | 0.1 | 8.0 | ▲0.4 | 2.8 |
| 薬剤料 | 7,299 | 6,759 | 6,880 | 6,533 | 6,810 | 7,363 | ▲7.4 | 1.8 | ▲5.0 | 4.2 | 8.1 |
| 構成割合(%) | 76.5 | 75.0 | 74.9 | 73.8 | 74.1 | 74.8 | — | — | — | — | — |
| 内服薬 | 6,075 | 5,554 | 5,598 | 5,284 | 5,487 | 5,894 | ▲8.6 | 0.8 | ▲5.6 | 3.9 | 7.4 |
| 屯服薬他 | 48 | 46 | 46 | 41 | 41 | 43 | ▲5.1 | ▲0.3 | ▲10.4 | 0.3 | 4.2 |
| 注射薬 | 300 | 311 | 346 | 364 | 423 | 521 | 3.4 | 11.3 | 5.2 | 16.4 | 23.0 |
| 外用薬 | 875 | 848 | 891 | 845 | 858 | 905 | ▲3.0 | 5.1 | ▲5.2 | 1.6 | 5.5 |
| (再掲)後発医薬品 | 1,038 | 1,046 | 1,209 | 1,221 | 1,307 | 1,489 | 0.8 | 15.6 | 0.9 | 7.0 | 14.0 |
| 特定保険医療材料料 | 15 | 15 | 16 | 16 | 17 | 20 | 0.1 | 0.5 | 3.2 | 4.4 | 18.1 |
| 構成割合(%) | 0.2 | 0.2 | 0.2 | 0.2 | 0.2 | 0.2 | — | — | — | — | — |

3. 年齢階級別の状況

処方箋1枚当たり調剤医療費を年齢階級別にみると、年齢とともに高くなり、最も高い80歳以上85歳未満では11,448円と、0歳以上5歳未満の3,623円の約3.2倍となっていた。

表3 年齢階級別処方箋1枚当たり調剤医療費

| | 実数(円) | | | | | | 対前年度比(%) | | | | |
|-------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|-----------|-----------|
| | 平成 27年度 | 平成 28年度 | 平成 29年度 | 平成 30年度 | 令和 元年度 | 令和 2年度 | 平成 28年度 | 平成 29年度 | 平成 30年度 | 令和 元年度 | 令和 2年度 |
| 総数 | 9,546 | 9,015 | 9,187 | 8,850 | 9,184 | 9,849 | ▲ 5.6 | 1.9 | ▲ 3.7 | 3.8 | 7.2 |
| 0歳以上5歳未満 | 3,328 | 3,250 | 3,275 | 3,197 | 3,281 | 3,623 | ▲ 2.3 | 0.7 | ▲ 2.4 | 2.6 | 10.5 |
| 5歳以上10歳未満 | 4,761 | 4,605 | 4,725 | 4,571 | 4,752 | 5,547 | ▲ 3.3 | 2.6 | ▲ 3.3 | 4.0 | 16.7 |
| 10歳以上15歳未満 | 5,869 | 5,742 | 6,024 | 6,040 | 6,393 | 7,484 | ▲ 2.2 | 4.9 | 0.3 | 5.8 | 17.1 |
| 15歳以上20歳未満 | 6,058 | 5,937 | 6,261 | 6,326 | 6,665 | 7,505 | ▲ 2.0 | 5.5 | 1.0 | 5.4 | 12.6 |
| 20歳以上25歳未満 | 6,063 | 5,980 | 6,230 | 6,176 | 6,534 | 7,336 | ▲ 1.4 | 4.2 | ▲ 0.9 | 5.8 | 12.3 |
| 25歳以上30歳未満 | 6,439 | 6,290 | 6,544 | 6,435 | 6,710 | 7,496 | ▲ 2.3 | 4.0 | ▲ 1.7 | 4.3 | 11.7 |
| 30歳以上35歳未満 | 6,897 | 6,734 | 6,930 | 6,749 | 7,054 | 7,878 | ▲ 2.4 | 2.9 | ▲ 2.6 | 4.5 | 11.7 |
| 35歳以上40歳未満 | 7,617 | 7,410 | 7,585 | 7,360 | 7,681 | 8,535 | ▲ 2.7 | 2.4 | ▲ 3.0 | 4.4 | 11.1 |
| 40歳以上45歳未満 | 8,592 | 8,347 | 8,467 | 8,222 | 8,511 | 9,288 | ▲ 2.9 | 1.4 | ▲ 2.9 | 3.5 | 9.1 |
| 45歳以上50歳未満 | 9,354 | 9,059 | 9,185 | 8,881 | 9,211 | 9,888 | ▲ 3.2 | 1.4 | ▲ 3.3 | 3.7 | 7.3 |
| 50歳以上55歳未満 | 9,888 | 9,390 | 9,487 | 9,162 | 9,476 | 10,109 | ▲ 5.0 | 1.0 | ▲ 3.4 | 3.4 | 6.7 |
| 55歳以上60歳未満 | 10,434 | 9,816 | 9,860 | 9,479 | 9,763 | 10,308 | ▲ 5.9 | 0.4 | ▲ 3.9 | 3.0 | 5.6 |
| 60歳以上65歳未満 | 10,775 | 10,063 | 10,131 | 9,706 | 10,022 | 10,505 | ▲ 6.6 | 0.7 | ▲ 4.2 | 3.3 | 4.8 |
| 65歳以上70歳未満 | 11,124 | 10,370 | 10,446 | 9,988 | 10,311 | 10,733 | ▲ 6.8 | 0.7 | ▲ 4.4 | 3.2 | 4.1 |
| 70歳以上75歳未満 | 11,409 | 10,614 | 10,763 | 10,289 | 10,623 | 11,024 | ▲ 7.0 | 1.4 | ▲ 4.4 | 3.2 | 3.8 |
| 75歳以上80歳未満 | 11,855 | 10,978 | 11,126 | 10,638 | 10,955 | 11,312 | ▲ 7.4 | 1.3 | ▲ 4.4 | 3.0 | 3.3 |
| 80歳以上85歳未満 | 11,996 | 11,209 | 11,447 | 10,919 | 11,211 | 11,448 | ▲ 6.6 | 2.1 | ▲ 4.6 | 2.7 | 2.1 |
| 85歳以上90歳未満 | 11,806 | 11,104 | 11,409 | 10,890 | 11,179 | 11,262 | ▲ 6.0 | 2.8 | ▲ 4.6 | 2.7 | 0.7 |
| 90歳以上95歳未満 | 10,877 | 10,294 | 10,633 | 10,191 | 10,483 | 10,459 | ▲ 5.4 | 3.3 | ▲ 4.2 | 2.9 | ▲ 0.2 |
| 95歳以上100歳未満 | 9,217 | 8,778 | 9,071 | 8,738 | 9,060 | 9,051 | ▲ 4.8 | 3.3 | ▲ 3.7 | 3.7 | ▲ 0.1 |
| 100歳以上 | 7,347 | 7,016 | 7,225 | 7,014 | 7,295 | 7,332 | ▲ 4.5 | 3.0 | ▲ 2.9 | 4.0 | 0.5 |

4. 後発医薬品割合の推移及び後発医薬品割合(数量ベース)階級別保険薬局数構成割合

令和2年度末において、後発医薬品割合は、数量ベース(新指標)で82.1%(対前年同期差(伸び幅という。以下同じ) +1.7%)、数量ベース(旧指標)で59.1%(+3.7%)、薬剤料ベースで21.4%(+2.7)であり、後発医薬品調剤率は77.6%(+1.9%)であった。

年度毎の平均で見ると、令和2年度の後発医薬品割合は、数量ベースのうち新指標では81.4%(+2.3%)、旧指標では57.6%(+2.6%)、薬剤料ベースでは20.2%(+1.0%)であり、後発医薬品調剤率は76.7%(+1.5%)であった。

後発医薬品割合の階級別に保険薬局数の構成割合をみると、数量ベース(新指標)で後発医薬品割合が75%以上の薬局数は令和元年度3月で77.2%であったところ、令和2年度3月では81.7%(+4.5%)となっており、うち85%以上の薬局数は令和元年度3月で43.3%であったところ、令和2年度3月では52.0%(+8.7%)となっていた。

表4-1 令和2年度における後発医薬品割合

(単位:%)

| | 平成 30年度 | 令和 元年度 | 令和2年度 | | | | | | | | | | | |
|------------|------------|-----------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 3月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 数量ベース(新指標) | 77.7 | 80.4 | 80.7 | 80.7 | 80.8 | 80.4 | 80.9 | 81.3 | 81.3 | 81.7 | 81.9 | 82.0 | 82.1 | 82.1 |
| 数量ベース(旧指標) | 53.9 | 55.4 | 55.5 | 55.5 | 55.8 | 56.9 | 57.4 | 57.8 | 58.2 | 58.3 | 58.5 | 58.9 | 59.2 | 59.1 |
| 薬剤料ベース | 19.6 | 18.6 | 18.4 | 18.4 | 18.7 | 19.7 | 20.2 | 20.4 | 20.8 | 20.8 | 21.0 | 21.2 | 21.5 | 21.4 |
| 後発医薬品調剤率 | 73.6 | 75.7 | 76.2 | 75.1 | 74.8 | 75.8 | 75.9 | 76.4 | 77.1 | 77.5 | 77.6 | 77.9 | 77.8 | 77.6 |

表4-2 年度毎にみた後発医薬品割合

(単位:%)

| | 実数 | | | | | | | 対前年度差 | | | | | | |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|--|
| | 平成 26年度 | 平成 27年度 | 平成 28年度 | 平成 29年度 | 平成 30年度 | 令和 元年度 | 令和 2年度 | 平成 27年度 | 平成 28年度 | 平成 29年度 | 平成 30年度 | 令和 元年度 | 令和 2年度 | |
| 数量ベース(新指標) | 56.4 | 60.1 | 66.8 | 70.2 | 75.9 | 79.1 | 81.4 | 3.7 | 6.8 | 3.4 | 5.6 | 3.2 | 2.3 | |
| 数量ベース(旧指標) | 37.0 | 40.2 | 44.5 | 47.7 | 52.6 | 55.0 | 57.6 | 3.2 | 4.3 | 3.2 | 4.8 | 2.4 | 2.6 | |
| 薬剤料ベース | 13.4 | 14.2 | 15.5 | 17.6 | 18.7 | 19.2 | 20.2 | 0.8 | 1.3 | 2.1 | 1.1 | 0.5 | 1.0 | |
| 後発医薬品調剤率 | 60.8 | 63.1 | 67.0 | 69.4 | 73.0 | 75.2 | 76.7 | 2.3 | 3.9 | 2.4 | 3.6 | 2.2 | 1.5 | |

注1) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注2) 「新指標」は、〔後発医薬品の数量〕/〔(後発医薬品のある先発医薬品の数量)+(後発医薬品の数量)〕で算出している(「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」(平成25年4月公表)を参照)。その際、新たに後発医薬品が販売される先発医薬品は、平成26年度より、薬価収載の翌月(平成25年度は薬価収載月(6月と12月))以降、医療課長通知*に基づき算出式の分母に算入することとしている。そのため、算出式の分母となる医薬品数量が一時に増え、新指標による後発医薬品割合が低くなる可能性がある。

*厚生労働省ホームページ「薬価基準収載品目リスト及び後発医薬品に関する情報について」中の「5. その他(各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報)」を参照。

注3) 「後発医薬品調剤率」とは、全処方箋受付回数に対する後発医薬品を調剤した処方箋受付回数の割合をいう。

注4) 旧指標とは、平成24年度までの後発医薬品割合(数量ベース)の算出方法をいう。

注5) 旧指標による算出では、平成22年4月以降は、経腸成分栄養剤及び特殊ミルク製剤を除外し、平成24年4月以降は、経腸成分栄養剤、特殊ミルク製剤、生薬及び漢方製剤を除外している。

注6) 「-」は算出できないものを示す。

表4-3 後発医薬品割合(数量ベース)階級別保険薬局数構成割合

(単位:%)

| | 平成 30年度 | 令和 元年度 | 令和2年度 | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 3月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 総数 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 割合 | 10%未満 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 |
| | 10%以上 20%未満 | 0.2 | 0.2 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.2 | 0.1 | 0.2 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 |
| | 20%以上 30%未満 | 0.7 | 0.4 | 0.3 | 0.3 | 0.3 | 0.3 | 0.3 | 0.3 | 0.3 | 0.3 | 0.3 | 0.3 | 0.3 |
| | 30%以上 40%未満 | 1.5 | 1.0 | 0.8 | 0.8 | 0.7 | 0.7 | 0.7 | 0.7 | 0.7 | 0.7 | 0.6 | 0.6 | 0.6 |
| | 40%以上 50%未満 | 3.3 | 2.3 | 2.1 | 2.1 | 2.1 | 2.1 | 2.1 | 2.0 | 2.0 | 1.9 | 1.8 | 1.7 | 1.7 |
| | 50%以上 60%未満 | 2.6 | 1.9 | 1.8 | 1.9 | 1.9 | 2.0 | 1.8 | 1.8 | 1.8 | 1.7 | 1.7 | 1.6 | 1.6 |
| | 55%以上 60%未満 | 3.7 | 2.7 | 2.7 | 2.7 | 2.5 | 2.8 | 2.6 | 2.6 | 2.5 | 2.4 | 2.4 | 2.3 | 2.2 |
| | 60%以上 65%未満 | 4.5 | 3.8 | 3.7 | 3.7 | 3.6 | 3.6 | 3.6 | 3.4 | 3.4 | 3.3 | 3.2 | 3.2 | 3.1 |
| | 65%以上 70%未満 | 5.5 | 4.8 | 4.6 | 4.6 | 4.5 | 4.6 | 4.4 | 4.3 | 4.2 | 4.0 | 4.0 | 3.9 | 3.9 |
| | 70%以上 75%未満 | 7.1 | 5.8 | 5.9 | 5.8 | 5.8 | 5.5 | 5.3 | 5.2 | 5.1 | 5.0 | 4.8 | 4.8 | 4.7 |
| | 75%以上 80%未満 | 14.9 | 10.3 | 10.4 | 10.6 | 10.0 | 11.0 | 10.1 | 9.9 | 9.7 | 9.2 | 8.7 | 8.8 | 8.6 |
| | 80%以上 85%未満 | 24.3 | 23.6 | 23.6 | 23.4 | 23.3 | 24.2 | 23.1 | 22.5 | 22.4 | 21.6 | 21.3 | 21.3 | 20.7 |
| | 85%以上 90%未満 | 22.0 | 27.9 | 28.4 | 28.5 | 29.4 | 30.1 | 30.8 | 31.1 | 31.3 | 31.8 | 32.5 | 33.0 | 32.8 |
| | 90%以上 95%未満 | 8.2 | 13.3 | 13.3 | 13.2 | 13.4 | 11.2 | 12.9 | 13.7 | 14.1 | 15.3 | 15.7 | 15.7 | 16.6 |
| 95%以上 | 1.3 | 2.1 | 2.3 | 2.2 | 2.3 | 1.6 | 2.0 | 2.3 | 2.3 | 2.6 | 2.7 | 2.5 | 2.8 | |
| 割合 | 40%未満 | 2.5 | 1.5 | 1.4 | 1.4 | 1.3 | 1.3 | 1.2 | 1.2 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | |
| | 75%以上 | 70.8 | 77.2 | 77.8 | 77.9 | 78.4 | 78.2 | 78.9 | 79.6 | 79.8 | 80.5 | 81.0 | 81.3 | |
| | 75%以上 80%未満 | 14.9 | 10.3 | 10.4 | 10.6 | 10.0 | 11.0 | 10.1 | 9.9 | 9.7 | 9.2 | 8.7 | 8.8 | |
| | 80%以上 85%未満 | 24.3 | 23.6 | 23.6 | 23.4 | 23.3 | 24.2 | 23.1 | 22.5 | 22.4 | 21.6 | 21.3 | 21.3 | |
| | 85%以上 | 31.5 | 43.3 | 43.9 | 43.9 | 45.1 | 42.9 | 45.7 | 47.2 | 47.7 | 49.7 | 50.9 | 51.2 | |

注1) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注2) 新指標は、〔後発医薬品の数量〕/〔(後発医薬品のある先発医薬品の数量)+(後発医薬品の数量)〕で算出している。

5. 内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料の3要素分解

内服薬の処方箋1枚当たり薬剤料5,886円を、処方箋1枚当たり薬剤種類数、1種類当たり投薬日数、1種類1日当たり薬剤料に分解すると、各々2.76、28.2日、76円となっていた。

また、内服薬の処方箋1枚当たり薬剤料の伸び率+7.4%を、処方箋1枚当たり薬剤種類数の伸び率、1種類当たり投薬日数の伸び率、1種類1日当たり薬剤料の伸び率に分解すると、各々▲1.0%、+12.7%、▲3.7%となっていた。

表5 内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料の3要素分解

| | 実数 | | | | | | 対前年度比(%) | | | | |
|--------------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|-----------|-----------|
| | 平成 27年度 | 平成 28年度 | 平成 29年度 | 平成 30年度 | 令和 元年度 | 令和 2年度 | 平成 28年度 | 平成 29年度 | 平成 30年度 | 令和 元年度 | 令和 2年度 |
| 内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料(円) | 6,068 | 5,548 | 5,590 | 5,273 | 5,478 | 5,886 | ▲ 8.6 | 0.8 | ▲ 5.7 | 3.9 | 7.4 |
| 処方箋1枚当たり薬剤種類数 | 2.86 | 2.83 | 2.81 | 2.80 | 2.79 | 2.76 | ▲ 0.9 | ▲ 1.0 | ▲ 0.3 | ▲ 0.3 | ▲ 1.0 |
| 1種類当たり投薬日数(日) | 22.8 | 23.1 | 23.6 | 24.1 | 25.0 | 28.2 | 1.5 | 2.1 | 2.3 | 3.6 | 12.7 |
| 1種類1日当たり薬剤料(円) | 93 | 85 | 84 | 78 | 79 | 76 | ▲ 9.1 | ▲ 0.4 | ▲ 7.4 | 0.5 | ▲ 3.7 |

注1) 「薬剤料」とは、調剤報酬明細書の「処方」欄に記録された用量、「調剤数量」欄に記録された調剤数量及び薬価から、個別の薬剤ごとに算出した薬剤料をいう。

注2) 「処方箋1枚当たり薬剤種類数」については、調剤報酬明細書の「処方」欄の所定単位ごと、調剤月日ごとに、剤形・薬効分類・一般名の一致する薬剤を同一種類として数えた延種類数(薬剤延種類数)の合計値(内服薬のみ)を、処方箋受付回数(処方箋が含まれない処方箋受付回も含む。)で除して算出している。

注3) 「1種類当たり投薬日数」については、調剤報酬明細書の「処方」欄の所定単位ごと、調剤月日ごと、剤形・薬効分類・一般名の一致する薬剤ごとの調剤数量の合計値(内服薬のみ)を、薬剤延種類数の合計値(内服薬のみ)で除して算出している。

注4) 「1種類1日当たり薬剤料」については、調剤報酬明細書の「処方」欄に記録された用量、「調剤数量」欄に記録された調剤数量及び薬価から、個別の薬剤ごとに算出した薬剤料の合計値(内服薬のみ)を、「処方」欄の所定単位ごと、調剤月日ごと、剤形・薬効分類・一般名の一致する薬剤ごとの調剤数量の合計値(内服薬のみ)で除して算出している。

6-1. 薬効分類別の状況(1)(内服薬薬剤料総額)

内服薬の薬剤料(総額)を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が7,787億円と最も高く、次いでその他の代謝性医薬品が7,711億円となっている。伸び率は、腫瘍用薬が+9.8%と最も高く、呼吸器官用薬が▲31.9%と最も低い。

後発医薬品については、循環器官用薬が2,971億円と最も高く、次いで中枢神経系用薬が1,478億円となっている。伸び率は、ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)が+45.0%と最も高く、抗生物質製剤が▲41.1%と最も低い。

表6-1 内服薬 薬効分類別 薬剤料

| | 総額(億円) | | | | | | 対前年度比(%) | | | |
|---------------------------|--------|--------|--------|---------------|-------|-------|----------|-------|-----------|-------|
| | | | | 後発医薬品(億円)(再掲) | | | | | 後発医薬品(再掲) | |
| | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 内服薬 総数 | 44,259 | 45,942 | 44,811 | 9,056 | 9,580 | 9,804 | 3.8 | ▲2.5 | 5.8 | 2.3 |
| 11 中枢神経系用薬 | 7,895 | 7,999 | 7,501 | 1,015 | 1,218 | 1,478 | 1.3 | ▲6.2 | 20.0 | 21.4 |
| 112 催眠鎮静剤、抗不安剤 | 488 | 474 | 460 | 154 | 158 | 158 | ▲2.9 | ▲2.8 | 2.4 | ▲0.4 |
| 114 解熱鎮痛消炎剤 | 1,013 | 945 | 723 | 147 | 205 | 275 | ▲6.7 | ▲23.4 | 38.7 | 34.4 |
| 116 抗パーキンソン剤 | 646 | 675 | 673 | 57 | 66 | 68 | 4.5 | ▲0.2 | 14.2 | 3.5 |
| 117 精神神経用剤 | 2,516 | 2,500 | 2,480 | 314 | 426 | 427 | ▲0.6 | ▲0.8 | 35.3 | 0.4 |
| 119 その他中枢神経系用薬 | 2,446 | 2,545 | 2,261 | 263 | 269 | 452 | 4.0 | ▲11.2 | 2.1 | 68.3 |
| 21 循環器官用薬 | 8,238 | 8,267 | 7,787 | 2,881 | 2,965 | 2,971 | 0.4 | ▲5.8 | 2.9 | 0.2 |
| 212 不整脈用剤 | 325 | 315 | 290 | 134 | 146 | 151 | ▲3.0 | ▲7.9 | 8.9 | 3.4 |
| 214 血圧降下剤 | 3,149 | 3,019 | 2,866 | 1,153 | 1,179 | 1,112 | ▲4.1 | ▲5.1 | 2.2 | ▲5.7 |
| 217 血管拡張剤 | 894 | 860 | 786 | 582 | 590 | 563 | ▲3.8 | ▲8.6 | 1.3 | ▲4.6 |
| 218 高脂血症用剤 | 2,213 | 2,263 | 2,050 | 807 | 818 | 881 | 2.3 | ▲9.4 | 1.3 | 7.8 |
| 22 呼吸器官用薬 | 405 | 396 | 270 | 204 | 216 | 162 | ▲2.3 | ▲31.9 | 5.5 | ▲24.8 |
| 23 消化器官用薬 | 3,865 | 4,116 | 4,237 | 1,274 | 1,286 | 1,259 | 6.5 | 2.9 | 0.9 | ▲2.0 |
| 232 消化性潰瘍用剤 | 2,499 | 2,592 | 2,604 | 810 | 799 | 749 | 3.7 | 0.5 | ▲1.4 | ▲6.2 |
| 239 その他の消化器官用薬 | 586 | 624 | 635 | 124 | 132 | 142 | 6.5 | 1.8 | 6.2 | 7.7 |
| 24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む) | 691 | 822 | 804 | 111 | 140 | 203 | 18.9 | ▲2.2 | 26.8 | 45.0 |
| 25 泌尿生殖器官および肛門用薬 | 1,306 | 1,257 | 1,190 | 123 | 202 | 236 | ▲3.8 | ▲5.3 | 64.6 | 17.0 |
| 31 ビタミン剤 | 965 | 1,015 | 849 | 250 | 247 | 339 | 5.2 | ▲16.4 | ▲1.5 | 37.4 |
| 32 滋養強壮薬 | 503 | 526 | 552 | 42 | 44 | 43 | 4.6 | 5.0 | 5.9 | ▲2.3 |
| 325 蛋白アミノ酸製剤 | 421 | 439 | 463 | 17 | 18 | 17 | 4.4 | 5.3 | 4.1 | ▲4.3 |
| 33 血液・体液用薬 | 3,348 | 3,533 | 3,353 | 746 | 749 | 691 | 5.5 | ▲5.1 | 0.3 | ▲7.7 |
| 39 その他の代謝性医薬品 | 6,870 | 7,438 | 7,711 | 770 | 811 | 834 | 8.3 | 3.7 | 5.3 | 2.9 |
| 396 糖尿病用剤 | 3,436 | 3,711 | 3,886 | 238 | 239 | 247 | 8.0 | 4.7 | 0.4 | 3.3 |
| 399 他に分類されない代謝性医薬品 | 2,735 | 2,950 | 3,073 | 429 | 474 | 496 | 7.9 | 4.2 | 10.4 | 4.7 |
| 42 腫瘍用薬 | 3,567 | 4,261 | 4,677 | 332 | 378 | 363 | 19.5 | 9.8 | 13.8 | ▲4.0 |
| 422 代謝拮抗剤 | 289 | 245 | 201 | 70 | 97 | 99 | ▲15.3 | ▲17.9 | 39.7 | 1.4 |
| 429 その他の腫瘍用薬 | 3,239 | 3,981 | 4,444 | 250 | 264 | 246 | 22.9 | 11.6 | 5.3 | ▲6.9 |
| 44 アレルギー用薬 | 2,182 | 2,158 | 1,962 | 825 | 837 | 863 | ▲1.1 | ▲9.1 | 1.5 | 3.1 |
| 52 漢方製剤 | 1,183 | 1,247 | 1,286 | - | - | - | 5.4 | 3.1 | - | - |
| 61 抗生物質製剤 | 596 | 558 | 404 | 206 | 206 | 121 | ▲6.4 | ▲27.5 | ▲0.0 | ▲41.1 |
| 613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの | 270 | 248 | 171 | 86 | 86 | 35 | ▲8.2 | ▲31.0 | 0.1 | ▲59.9 |
| 614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの | 198 | 177 | 103 | 98 | 94 | 58 | ▲10.7 | ▲41.5 | ▲3.9 | ▲37.9 |
| 62 化学療法剤 | 2,312 | 1,895 | 1,580 | 210 | 211 | 164 | ▲18.0 | ▲16.6 | 0.4 | ▲22.0 |
| 624 合成抗菌剤 | 239 | 218 | 122 | 66 | 64 | 41 | ▲8.6 | ▲44.1 | ▲3.2 | ▲35.6 |
| 625 抗ウイルス剤 | 1,876 | 1,435 | 1,222 | 92 | 94 | 72 | ▲23.5 | ▲14.8 | 2.3 | ▲22.9 |

注1) 表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

注2) 「-」は0を意味する。

6-2. 薬効分類別の状況(2)(内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料)

内服薬の処方箋1枚当たり薬剤料を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が1,023円と最も高く、次いでその他の代謝性医薬品が1,013円となっている。伸び率は、腫瘍用薬が+20.9%と最も高く、呼吸器官用薬が▲24.9%と最も低い。

表6-2 内服薬 薬効分類別処方箋1枚当たり薬剤料

| | 実数(円) | | | | | | 対前年度比(%) | | | | |
|---------------------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|-----------|-----------|
| | 平成 27年度 | 平成 28年度 | 平成 29年度 | 平成 30年度 | 令和 元年度 | 令和 2年度 | 平成 28年度 | 平成 29年度 | 平成 30年度 | 令和 元年度 | 令和 2年度 |
| 内服薬 総数 | 6,068 | 5,548 | 5,590 | 5,273 | 5,478 | 5,886 | ▲ 8.6 | 0.8 | ▲ 5.7 | 3.9 | 7.4 |
| 11 中枢神経系用薬 | 969 | 929 | 976 | 941 | 954 | 985 | ▲ 4.1 | 5.1 | ▲ 3.7 | 1.4 | 3.3 |
| 112 催眠鎮静剤、抗不安剤 | 72 | 65 | 65 | 58 | 56 | 60 | ▲ 9.7 | 0.1 | ▲ 11.0 | ▲ 2.8 | 7.1 |
| 114 解熱鎮痛消炎剤 | 121 | 120 | 124 | 121 | 113 | 95 | ▲ 0.5 | 2.9 | ▲ 2.4 | ▲ 6.6 | ▲ 15.7 |
| 116 抗パーキンソン剤 | 84 | 84 | 85 | 77 | 80 | 88 | 0.1 | 1.5 | ▲ 9.4 | 4.5 | 9.9 |
| 117 精神神経用剤 | 318 | 305 | 321 | 300 | 298 | 326 | ▲ 4.2 | 5.3 | ▲ 6.6 | ▲ 0.6 | 9.3 |
| 119 その他中枢神経系用薬 | 296 | 277 | 293 | 291 | 303 | 297 | ▲ 6.3 | 5.9 | ▲ 0.6 | 4.1 | ▲ 2.1 |
| 21 循環器官用薬 | 1,344 | 1,204 | 1,169 | 982 | 986 | 1,023 | ▲ 10.4 | ▲ 2.9 | ▲ 16.1 | 0.4 | 3.8 |
| 212 不整脈用剤 | 62 | 54 | 52 | 39 | 38 | 38 | ▲ 13.9 | ▲ 3.8 | ▲ 25.0 | ▲ 2.9 | 1.5 |
| 214 血圧降下剤 | 605 | 528 | 484 | 375 | 360 | 377 | ▲ 12.8 | ▲ 8.3 | ▲ 22.4 | ▲ 4.0 | 4.6 |
| 217 血管拡張剤 | 159 | 131 | 128 | 107 | 103 | 103 | ▲ 17.3 | ▲ 2.0 | ▲ 17.0 | ▲ 3.7 | 0.6 |
| 218 高脂血症用剤 | 349 | 321 | 317 | 264 | 270 | 269 | ▲ 7.9 | ▲ 1.4 | ▲ 16.8 | 2.3 | ▲ 0.2 |
| 22 呼吸器官用薬 | 59 | 54 | 52 | 48 | 47 | 35 | ▲ 7.9 | ▲ 3.9 | ▲ 7.4 | ▲ 2.2 | ▲ 24.9 |
| 23 消化器官用薬 | 507 | 473 | 495 | 460 | 491 | 557 | ▲ 6.7 | 4.7 | ▲ 7.0 | 6.6 | 13.4 |
| 232 消化性潰瘍用剤 | 351 | 319 | 333 | 298 | 309 | 342 | ▲ 8.9 | 4.4 | ▲ 10.7 | 3.8 | 10.7 |
| 239 その他の消化器官用薬 | 72 | 66 | 69 | 70 | 74 | 83 | ▲ 7.8 | 5.2 | 0.6 | 6.6 | 12.2 |
| 24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む) | 75 | 77 | 80 | 82 | 98 | 106 | 2.5 | 4.0 | 3.3 | 19.0 | 7.7 |
| 25 泌尿生殖器官および肛門用薬 | 166 | 159 | 164 | 156 | 150 | 156 | ▲ 3.7 | 2.8 | ▲ 5.0 | ▲ 3.7 | 4.3 |
| 31 ビタミン剤 | 114 | 112 | 116 | 115 | 121 | 112 | ▲ 1.4 | 3.7 | ▲ 1.2 | 5.2 | ▲ 7.9 |
| 32 滋養強壮薬 | 63 | 61 | 62 | 60 | 63 | 73 | ▲ 2.8 | 1.3 | ▲ 2.8 | 4.7 | 15.7 |
| 325 蛋白アミノ酸製剤 | 54 | 52 | 52 | 50 | 52 | 61 | ▲ 3.6 | 0.7 | ▲ 3.7 | 4.5 | 16.0 |
| 33 血液・体液用薬 | 433 | 393 | 414 | 399 | 421 | 440 | ▲ 9.3 | 5.4 | ▲ 3.7 | 5.6 | 4.5 |
| 39 その他の代謝性医薬品 | 777 | 767 | 816 | 818 | 887 | 1,013 | ▲ 1.3 | 6.4 | 0.3 | 8.3 | 14.2 |
| 396 糖尿病用剤 | 382 | 383 | 409 | 409 | 442 | 510 | 0.0 | 7.0 | 0.0 | 8.1 | 15.4 |
| 399 他に分類されない代謝性医薬品 | 312 | 307 | 328 | 326 | 352 | 404 | ▲ 1.5 | 6.6 | ▲ 0.5 | 7.9 | 14.8 |
| 42 腫瘍用薬 | 344 | 352 | 386 | 425 | 508 | 614 | 2.2 | 9.6 | 10.1 | 19.5 | 20.9 |
| 422 代謝拮抗剤 | 52 | 47 | 42 | 34 | 29 | 26 | ▲ 8.6 | ▲ 11.7 | ▲ 17.8 | ▲ 15.2 | ▲ 9.6 |
| 429 その他の腫瘍用薬 | 285 | 297 | 337 | 386 | 475 | 584 | 4.4 | 13.3 | 14.6 | 23.0 | 23.0 |
| 44 アレルギー用薬 | 351 | 306 | 298 | 260 | 257 | 258 | ▲ 12.8 | ▲ 2.5 | ▲ 12.8 | ▲ 1.0 | 0.1 |
| 52 漢方製剤 | 135 | 135 | 140 | 141 | 149 | 169 | ▲ 0.1 | 3.9 | 0.5 | 5.5 | 13.6 |
| 61 抗生物質製剤 | 108 | 93 | 85 | 71 | 66 | 53 | ▲ 13.8 | ▲ 8.9 | ▲ 16.6 | ▲ 6.4 | ▲ 20.2 |
| 613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの | 51 | 43 | 39 | 32 | 30 | 23 | ▲ 15.4 | ▲ 10.1 | ▲ 16.4 | ▲ 8.1 | ▲ 24.0 |
| 614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの | 43 | 35 | 30 | 24 | 21 | 14 | ▲ 18.9 | ▲ 13.7 | ▲ 21.5 | ▲ 10.6 | ▲ 35.5 |
| 62 化学療法剤 | 580 | 391 | 295 | 275 | 226 | 208 | ▲ 32.5 | ▲ 24.5 | ▲ 6.7 | ▲ 18.0 | ▲ 8.1 |
| 624 合成抗菌剤 | 49 | 41 | 36 | 28 | 26 | 16 | ▲ 17.6 | ▲ 10.8 | ▲ 21.6 | ▲ 8.6 | ▲ 38.4 |
| 625 抗ウイルス剤 | 505 | 328 | 236 | 224 | 171 | 161 | ▲ 35.1 | ▲ 28.0 | ▲ 5.3 | ▲ 23.5 | ▲ 6.2 |

注)表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

7. 薬効分類別の状況(3)(内服薬 処方箋1枚当たり薬剤種類数)

内服薬の処方箋1枚当たり薬剤種類数を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が0.67と最も多く、次いで中枢神経系用薬が0.47となっている。伸び率は、腫瘍用薬が+12.5%で最も高く、呼吸器官用薬が▲44.5%で最も低い。

表7 内服薬 薬効分類別処方箋1枚当たり薬剤種類数

| | 実数 | | | | | | 対前年度比(%) | | | | |
|---------------------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|-----------|-----------|
| | 平成 27年度 | 平成 28年度 | 平成 29年度 | 平成 30年度 | 令和 元年度 | 令和 2年度 | 平成 28年度 | 平成 29年度 | 平成 30年度 | 令和 元年度 | 令和 2年度 |
| 内服薬 総数 | 2.86 | 2.83 | 2.81 | 2.80 | 2.79 | 2.76 | ▲ 0.9 | ▲ 1.0 | ▲ 0.3 | ▲ 0.3 | ▲ 1.0 |
| 11 中枢神経系用薬 | 0.46 | 0.45 | 0.45 | 0.45 | 0.45 | 0.47 | ▲ 0.7 | 0.1 | ▲ 0.8 | 0.1 | 4.9 |
| 112 催眠鎮静剤、抗不安剤 | 0.13 | 0.12 | 0.12 | 0.12 | 0.11 | 0.12 | ▲ 2.4 | ▲ 1.8 | ▲ 3.7 | ▲ 3.0 | 7.6 |
| 114 解熱鎮痛消炎剤 | 0.11 | 0.10 | 0.10 | 0.10 | 0.10 | 0.10 | ▲ 1.0 | 0.1 | ▲ 1.1 | ▲ 0.7 | ▲ 3.8 |
| 116 抗パーキンソン剤 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | ▲ 2.0 | ▲ 2.4 | ▲ 2.0 | ▲ 1.1 | 6.8 |
| 117 精神神経用剤 | 0.12 | 0.12 | 0.12 | 0.12 | 0.12 | 0.13 | ▲ 1.7 | ▲ 0.1 | ▲ 0.3 | 0.9 | 10.1 |
| 119 その他中枢神経系用薬 | 0.04 | 0.05 | 0.05 | 0.06 | 0.06 | 0.07 | 8.7 | 8.1 | 7.8 | 7.5 | 14.3 |
| 21 循環器官用薬 | 0.61 | 0.60 | 0.60 | 0.60 | 0.61 | 0.67 | ▲ 0.3 | ▲ 0.4 | 0.4 | 1.6 | 9.8 |
| 212 不整脈用剤 | 0.03 | 0.03 | 0.03 | 0.03 | 0.03 | 0.04 | 2.6 | 2.5 | 3.4 | 4.4 | 12.6 |
| 214 血圧降下剤 | 0.21 | 0.21 | 0.20 | 0.20 | 0.20 | 0.22 | ▲ 1.1 | ▲ 1.4 | ▲ 0.8 | 0.4 | 8.3 |
| 217 血管拡張剤 | 0.14 | 0.14 | 0.14 | 0.14 | 0.14 | 0.16 | ▲ 0.6 | ▲ 0.6 | 0.0 | 1.2 | 9.2 |
| 218 高脂血症用剤 | 0.14 | 0.14 | 0.14 | 0.15 | 0.15 | 0.17 | 1.6 | 1.3 | 2.8 | 4.1 | 11.9 |
| 22 呼吸器官用薬 | 0.26 | 0.27 | 0.25 | 0.25 | 0.24 | 0.13 | 1.2 | ▲ 4.1 | ▲ 1.2 | ▲ 5.0 | ▲ 44.5 |
| 23 消化器官用薬 | 0.47 | 0.46 | 0.45 | 0.44 | 0.44 | 0.45 | ▲ 2.0 | ▲ 2.3 | ▲ 1.4 | ▲ 0.9 | 2.5 |
| 232 消化性潰瘍用剤 | 0.24 | 0.23 | 0.23 | 0.22 | 0.22 | 0.23 | ▲ 2.9 | ▲ 2.3 | ▲ 1.9 | ▲ 1.0 | 4.5 |
| 239 その他の消化器官用薬 | 0.04 | 0.04 | 0.04 | 0.04 | 0.04 | 0.04 | ▲ 1.3 | ▲ 2.7 | ▲ 0.3 | ▲ 1.4 | 1.8 |
| 24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む) | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.2 | 1.2 | 1.7 | 2.9 | 5.5 |
| 25 泌尿生殖器官および肛門用薬 | 0.04 | 0.04 | 0.04 | 0.04 | 0.04 | 0.05 | 0.9 | 0.6 | 0.9 | 4.7 | 9.9 |
| 31 ビタミン剤 | 0.10 | 0.10 | 0.10 | 0.10 | 0.10 | 0.11 | ▲ 0.9 | 0.1 | 0.6 | 1.2 | 7.9 |
| 32 滋養強壮薬 | 0.03 | 0.03 | 0.03 | 0.03 | 0.03 | 0.03 | 2.3 | 1.9 | 2.4 | 2.3 | 11.1 |
| 325 蛋白アミノ酸製剤 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 2.9 | 2.3 | 2.5 | 4.9 | 16.5 |
| 33 血液・体液用薬 | 0.14 | 0.14 | 0.14 | 0.14 | 0.14 | 0.14 | 1.2 | 0.1 | ▲ 0.4 | 0.2 | ▲ 4.5 |
| 39 その他の代謝性医薬品 | 0.23 | 0.22 | 0.22 | 0.22 | 0.23 | 0.25 | ▲ 4.8 | 0.9 | 1.0 | 1.9 | 9.6 |
| 396 糖尿病用剤 | 0.12 | 0.12 | 0.12 | 0.12 | 0.12 | 0.13 | 0.8 | 1.3 | 0.9 | 2.1 | 10.6 |
| 399 他に分類されない代謝性医薬品 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.06 | ▲ 1.1 | ▲ 1.0 | ▲ 0.5 | 0.1 | 6.3 |
| 42 腫瘍用薬 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.9 | 0.9 | 2.8 | 5.2 | 12.5 |
| 422 代謝拮抗剤 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | ▲ 3.9 | ▲ 3.4 | ▲ 3.8 | 1.3 | 8.0 |
| 429 その他の腫瘍用薬 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 3.2 | 2.7 | 5.4 | 6.6 | 13.9 |
| 44 アレルギー用薬 | 0.20 | 0.20 | 0.20 | 0.21 | 0.20 | 0.19 | ▲ 0.1 | 1.3 | 1.7 | ▲ 2.3 | ▲ 8.3 |
| 52 漢方製剤 | 0.08 | 0.08 | 0.08 | 0.08 | 0.09 | 0.09 | 3.0 | 3.1 | 1.7 | 2.2 | 1.3 |
| 61 抗生物質製剤 | 0.11 | 0.11 | 0.10 | 0.09 | 0.09 | 0.06 | ▲ 4.3 | ▲ 9.1 | ▲ 7.7 | ▲ 4.6 | ▲ 29.4 |
| 613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの | 0.07 | 0.06 | 0.06 | 0.05 | 0.05 | 0.04 | ▲ 5.7 | ▲ 7.1 | ▲ 7.5 | ▲ 4.2 | ▲ 27.6 |
| 614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの | 0.04 | 0.04 | 0.04 | 0.03 | 0.03 | 0.02 | ▲ 3.3 | ▲ 13.0 | ▲ 9.4 | ▲ 6.8 | ▲ 39.8 |
| 62 化学療法剤 | 0.04 | 0.04 | 0.04 | 0.04 | 0.03 | 0.03 | ▲ 3.1 | ▲ 2.5 | 2.6 | ▲ 10.5 | ▲ 25.8 |
| 624 合成抗菌剤 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.01 | ▲ 2.5 | ▲ 8.8 | ▲ 7.0 | ▲ 5.2 | ▲ 33.8 |
| 625 抗ウイルス剤 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.00 | ▲ 7.0 | 13.1 | 25.5 | ▲ 29.9 | ▲ 36.6 |

注)表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

8. 薬効分類別の状況(4)(内服薬1種類当たり投薬日数)

内服薬の1種類当たり投薬日数を薬効大分類別にみると、最も長いのは腫瘍用薬の43.4日であり、最も短いのは抗生物質製剤の8.6日である。伸び率は、呼吸器官用薬が+39.6%で最も高く、滋養強壮薬が+2.2%で最も低い。

表8 内服薬薬効分類別1種類当たり投薬日数

| | 実数(日) | | | | | | 対前年度比(%) | | | | |
|---------------------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|-----------|-----------|
| | 平成 27年度 | 平成 28年度 | 平成 29年度 | 平成 30年度 | 令和 元年度 | 令和 2年度 | 平成 28年度 | 平成 29年度 | 平成 30年度 | 令和 元年度 | 令和 2年度 |
| 内服薬 総数 | 22.8 | 23.1 | 23.6 | 24.1 | 25.0 | 28.2 | 1.5 | 2.1 | 2.3 | 3.6 | 12.7 |
| 11 中枢神経系用薬 | 21.7 | 21.9 | 22.1 | 22.6 | 23.1 | 24.6 | 0.8 | 0.9 | 2.0 | 2.2 | 6.6 |
| 112 催眠鎮静剤、抗不安剤 | 23.4 | 23.6 | 23.9 | 24.1 | 24.5 | 24.9 | 1.1 | 0.9 | 1.1 | 1.3 | 2.0 |
| 114 解熱鎮痛消炎剤 | 15.6 | 15.9 | 16.2 | 16.7 | 17.2 | 19.7 | 1.4 | 2.1 | 2.9 | 3.4 | 14.2 |
| 116 抗パーキンソン剤 | 27.2 | 27.5 | 27.8 | 28.3 | 29.0 | 29.9 | 1.1 | 1.3 | 1.6 | 2.4 | 3.4 |
| 117 精神神経用剤 | 24.2 | 24.1 | 23.9 | 24.2 | 24.6 | 25.3 | ▲ 0.4 | ▲ 0.9 | 1.2 | 1.9 | 2.7 |
| 119 その他中枢神経系用薬 | 24.7 | 25.0 | 25.3 | 25.6 | 25.9 | 26.6 | 1.0 | 1.0 | 1.3 | 1.1 | 3.0 |
| 21 循環器官用薬 | 31.4 | 31.8 | 32.3 | 32.9 | 33.7 | 35.1 | 1.2 | 1.5 | 1.7 | 2.4 | 4.2 |
| 212 不整脈用剤 | 32.2 | 32.6 | 33.0 | 33.5 | 34.2 | 35.5 | 1.2 | 1.3 | 1.5 | 2.1 | 3.9 |
| 214 血圧降下剤 | 32.5 | 32.9 | 33.4 | 34.0 | 34.7 | 36.3 | 1.2 | 1.6 | 1.8 | 2.3 | 4.3 |
| 217 血管拡張剤 | 31.5 | 31.9 | 32.4 | 32.9 | 33.7 | 35.1 | 1.1 | 1.5 | 1.7 | 2.3 | 4.3 |
| 218 高脂血症用剤 | 33.4 | 33.8 | 34.3 | 34.9 | 35.8 | 37.4 | 1.2 | 1.7 | 1.7 | 2.4 | 4.5 |
| 22 呼吸器官用薬 | 8.3 | 8.3 | 8.5 | 8.7 | 9.1 | 12.7 | ▲ 0.1 | 1.8 | 2.5 | 4.5 | 39.6 |
| 23 消化器官用薬 | 22.9 | 23.2 | 23.7 | 24.1 | 24.9 | 27.2 | 1.3 | 2.2 | 1.8 | 3.2 | 9.1 |
| 232 消化性潰瘍用剤 | 24.6 | 25.0 | 25.4 | 25.9 | 26.7 | 28.4 | 1.7 | 1.7 | 2.0 | 2.8 | 6.6 |
| 239 その他の消化器官用薬 | 21.5 | 21.5 | 22.2 | 22.6 | 23.6 | 26.1 | 0.3 | 2.8 | 2.1 | 4.2 | 10.7 |
| 24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む) | 26.4 | 26.8 | 27.3 | 28.0 | 29.2 | 32.1 | 1.5 | 2.1 | 2.4 | 4.1 | 10.2 |
| 25 泌尿生殖器官および肛門用薬 | 32.5 | 33.0 | 33.4 | 33.8 | 34.1 | 35.8 | 1.5 | 1.2 | 1.2 | 1.0 | 4.9 |
| 31 ビタミン剤 | 27.0 | 27.4 | 27.9 | 28.5 | 29.3 | 30.6 | 1.6 | 1.7 | 2.1 | 2.7 | 4.5 |
| 32 滋養強壮薬 | 25.9 | 26.1 | 26.4 | 26.7 | 27.0 | 27.6 | 0.6 | 1.0 | 1.1 | 1.4 | 2.2 |
| 325 蛋白アミノ酸製剤 | 20.7 | 20.4 | 20.3 | 20.4 | 20.5 | 20.7 | ▲ 1.2 | ▲ 0.3 | 0.2 | 0.6 | 0.9 |
| 33 血液・体液用薬 | 27.0 | 26.9 | 26.9 | 27.3 | 27.7 | 31.5 | ▲ 0.5 | 0.2 | 1.2 | 1.5 | 13.6 |
| 39 その他の代謝性医薬品 | 27.3 | 28.9 | 29.4 | 30.0 | 30.8 | 32.3 | 5.7 | 1.7 | 2.1 | 2.9 | 4.7 |
| 396 糖尿病用剤 | 32.8 | 33.3 | 33.7 | 34.3 | 35.1 | 36.6 | 1.4 | 1.2 | 1.7 | 2.4 | 4.2 |
| 399 他に分類されない代謝性医薬品 | 15.3 | 15.5 | 15.8 | 16.3 | 17.0 | 18.0 | 1.5 | 1.9 | 2.9 | 4.2 | 5.8 |
| 42 腫瘍用薬 | 39.5 | 40.6 | 41.3 | 41.4 | 42.0 | 43.4 | 2.7 | 1.8 | 0.3 | 1.2 | 3.4 |
| 422 代謝拮抗剤 | 20.1 | 20.2 | 20.3 | 20.4 | 20.4 | 21.0 | 0.7 | 0.2 | 0.6 | 0.2 | 2.8 |
| 429 その他の腫瘍用薬 | 47.8 | 48.7 | 49.1 | 48.5 | 48.8 | 50.1 | 1.7 | 0.9 | ▲ 1.2 | 0.6 | 2.7 |
| 44 アレルギー用薬 | 16.7 | 17.1 | 17.7 | 18.5 | 19.7 | 24.0 | 2.3 | 3.8 | 4.5 | 6.4 | 22.0 |
| 52 漢方製剤 | 20.8 | 20.8 | 21.0 | 21.4 | 22.0 | 24.9 | 0.3 | 0.9 | 1.6 | 3.2 | 13.2 |
| 61 抗生物質製剤 | 6.4 | 6.5 | 6.7 | 6.9 | 7.2 | 8.6 | 0.6 | 3.1 | 3.9 | 3.7 | 19.1 |
| 613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの | 4.8 | 4.8 | 4.8 | 4.9 | 5.0 | 5.1 | 0.1 | 1.2 | 1.6 | 1.6 | 1.5 |
| 614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの | 8.0 | 8.0 | 8.5 | 8.9 | 9.4 | 12.9 | ▲ 0.0 | 5.4 | 5.1 | 5.1 | 37.6 |
| 62 化学療法剤 | 10.2 | 10.3 | 10.6 | 10.3 | 11.7 | 15.4 | 1.2 | 2.7 | ▲ 2.9 | 13.6 | 32.2 |
| 624 合成抗菌剤 | 5.4 | 5.4 | 5.4 | 5.5 | 5.6 | 6.0 | ▲ 0.1 | 1.4 | 1.3 | 1.5 | 6.6 |
| 625 抗ウイルス剤 | 12.0 | 12.1 | 11.3 | 8.8 | 12.3 | 19.3 | 1.2 | ▲ 7.3 | ▲ 21.6 | 39.8 | 56.2 |

注)表示していない項目(薬効)がある。

9. 薬効分類別の状況(5)(内服薬1種類1日当たり薬剤料)

内服薬の1種類1日当たり薬剤料を薬効大分類別にみると、最も高いのは腫瘍用薬の1,973円であり、最も低いのは呼吸器官用薬の21円であった。

伸び率は、腫瘍用薬が+4.0%で最も高く、ビタミン剤が▲18.3%で最も低い。

表9 内服薬薬効分類別1種類1日当たり薬剤料

| | 実数(円) | | | | | | 対前年度比(%) | | | | |
|---------------------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|-----------|-----------|
| | 平成 27年度 | 平成 28年度 | 平成 29年度 | 平成 30年度 | 令和 元年度 | 令和 2年度 | 平成 28年度 | 平成 29年度 | 平成 30年度 | 令和 元年度 | 令和 2年度 |
| 内服薬 総数 | 93 | 85 | 84 | 78 | 79 | 76 | ▲ 9.1 | ▲ 0.4 | ▲ 7.4 | 0.5 | ▲ 3.7 |
| 11 中枢神経系用薬 | 97 | 93 | 97 | 93 | 92 | 85 | ▲ 4.3 | 4.1 | ▲ 4.7 | ▲ 0.9 | ▲ 7.7 |
| 112 催眠鎮静剤、抗不安剤 | 25 | 23 | 23 | 21 | 21 | 20 | ▲ 8.5 | 1.0 | ▲ 8.7 | ▲ 1.2 | ▲ 2.5 |
| 114 解熱鎮痛消炎剤 | 73 | 73 | 73 | 70 | 64 | 49 | ▲ 0.8 | 0.7 | ▲ 4.2 | ▲ 9.0 | ▲ 23.2 |
| 116 抗パーキンソン剤 | 187 | 189 | 194 | 177 | 183 | 182 | 1.1 | 2.6 | ▲ 9.0 | 3.3 | ▲ 0.4 |
| 117 精神神経用剤 | 109 | 107 | 113 | 105 | 101 | 98 | ▲ 2.1 | 6.3 | ▲ 7.5 | ▲ 3.3 | ▲ 3.4 |
| 119 その他中枢神経系用薬 | 273 | 233 | 226 | 205 | 197 | 164 | ▲ 14.7 | ▲ 3.1 | ▲ 9.0 | ▲ 4.2 | ▲ 16.9 |
| 21 循環器官用薬 | 71 | 63 | 60 | 49 | 48 | 43 | ▲ 11.2 | ▲ 4.0 | ▲ 17.8 | ▲ 3.5 | ▲ 9.3 |
| 212 不整脈用剤 | 64 | 53 | 49 | 35 | 32 | 28 | ▲ 17.1 | ▲ 7.4 | ▲ 28.6 | ▲ 8.9 | ▲ 13.3 |
| 214 血圧降下剤 | 90 | 78 | 72 | 55 | 51 | 48 | ▲ 12.9 | ▲ 8.5 | ▲ 23.2 | ▲ 6.6 | ▲ 7.5 |
| 217 血管拡張剤 | 35 | 29 | 28 | 23 | 21 | 19 | ▲ 17.7 | ▲ 2.9 | ▲ 18.4 | ▲ 7.0 | ▲ 11.7 |
| 218 高脂血症用剤 | 76 | 68 | 65 | 52 | 50 | 42 | ▲ 10.4 | ▲ 4.3 | ▲ 20.4 | ▲ 4.0 | ▲ 14.7 |
| 22 呼吸器官用薬 | 27 | 25 | 24 | 22 | 22 | 21 | ▲ 8.8 | ▲ 1.6 | ▲ 8.6 | ▲ 1.5 | ▲ 3.1 |
| 23 消化器官用薬 | 47 | 44 | 47 | 43 | 45 | 46 | ▲ 6.0 | 4.9 | ▲ 7.3 | 4.2 | 1.4 |
| 232 消化性潰瘍用剤 | 59 | 55 | 58 | 51 | 52 | 52 | ▲ 7.8 | 5.0 | ▲ 10.7 | 2.0 | ▲ 0.7 |
| 239 その他の消化器官用薬 | 87 | 81 | 86 | 85 | 88 | 87 | ▲ 6.8 | 5.1 | ▲ 1.2 | 3.8 | ▲ 0.5 |
| 24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む) | 58 | 58 | 59 | 58 | 65 | 60 | 0.8 | 0.7 | ▲ 0.8 | 11.1 | ▲ 7.4 |
| 25 泌尿生殖器官および肛門用薬 | 131 | 123 | 125 | 116 | 105 | 95 | ▲ 6.0 | 1.0 | ▲ 7.0 | ▲ 9.0 | ▲ 9.5 |
| 31 ビタミン剤 | 43 | 42 | 43 | 41 | 42 | 34 | ▲ 2.1 | 1.8 | ▲ 3.9 | 1.3 | ▲ 18.3 |
| 32 滋養強壮薬 | 96 | 90 | 89 | 84 | 84 | 86 | ▲ 5.6 | ▲ 1.6 | ▲ 6.2 | 0.9 | 1.8 |
| 325 蛋白アミノ酸製剤 | 475 | 451 | 445 | 417 | 413 | 408 | ▲ 5.1 | ▲ 1.3 | ▲ 6.3 | ▲ 1.0 | ▲ 1.3 |
| 33 血液・体液用薬 | 113 | 102 | 107 | 102 | 106 | 102 | ▲ 9.9 | 5.0 | ▲ 4.5 | 3.8 | ▲ 3.7 |
| 39 その他の代謝性医薬品 | 124 | 122 | 126 | 123 | 127 | 126 | ▲ 2.0 | 3.7 | ▲ 2.7 | 3.4 | ▲ 0.5 |
| 396 糖尿病用剤 | 101 | 99 | 103 | 100 | 103 | 104 | ▲ 2.1 | 4.4 | ▲ 2.6 | 3.3 | 0.1 |
| 399 他に分類されない代謝性医薬品 | 377 | 370 | 391 | 380 | 393 | 401 | ▲ 1.9 | 5.6 | ▲ 2.8 | 3.5 | 2.0 |
| 42 腫瘍用薬 | 1,501 | 1,481 | 1,582 | 1,689 | 1,897 | 1,973 | ▲ 1.3 | 6.8 | 6.8 | 12.3 | 4.0 |
| 422 代謝拮抗剤 | 1,660 | 1,569 | 1,433 | 1,215 | 1,015 | 827 | ▲ 5.5 | ▲ 8.7 | ▲ 15.2 | ▲ 16.5 | ▲ 18.5 |
| 429 その他の腫瘍用薬 | 1,459 | 1,451 | 1,586 | 1,745 | 2,001 | 2,103 | ▲ 0.6 | 9.3 | 10.0 | 14.7 | 5.1 |
| 44 アレルギー用薬 | 104 | 89 | 82 | 68 | 64 | 58 | ▲ 14.7 | ▲ 7.3 | ▲ 18.0 | ▲ 4.8 | ▲ 10.5 |
| 52 漢方製剤 | 84 | 81 | 81 | 79 | 79 | 78 | ▲ 3.3 | ▲ 0.1 | ▲ 2.7 | 0.0 | ▲ 0.9 |
| 61 抗生物質製剤 | 149 | 134 | 130 | 113 | 107 | 102 | ▲ 10.4 | ▲ 2.8 | ▲ 13.1 | ▲ 5.3 | ▲ 5.0 |
| 613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの | 162 | 145 | 138 | 123 | 116 | 120 | ▲ 10.4 | ▲ 4.4 | ▲ 11.0 | ▲ 5.6 | 3.4 |
| 614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの | 125 | 105 | 99 | 81 | 74 | 58 | ▲ 16.1 | ▲ 5.9 | ▲ 17.6 | ▲ 8.8 | ▲ 22.1 |
| 62 化学療法剤 | 1,451 | 998 | 752 | 705 | 569 | 532 | ▲ 31.2 | ▲ 24.6 | ▲ 6.3 | ▲ 19.3 | ▲ 6.4 |
| 624 合成抗菌剤 | 375 | 317 | 306 | 254 | 242 | 211 | ▲ 15.4 | ▲ 3.5 | ▲ 16.9 | ▲ 4.9 | ▲ 12.7 |
| 625 抗ウイルス剤 | 5,052 | 3,482 | 2,388 | 2,299 | 1,794 | 1,701 | ▲ 31.1 | ▲ 31.4 | ▲ 3.8 | ▲ 22.0 | ▲ 5.2 |

注)表示していない項目(薬効)がある。

10-1. 薬効分類別の状況(6)(内服薬 後発医薬品処方箋1枚当たり薬剤料)

後発医薬品の内服薬について、処方箋1枚当たり薬剤料を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が390円と最も高く、次いで中枢神経系用薬が194円となっている。伸び率は、ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)が+59.7%で最も高く、抗生物質製剤が▲35.1%で最も低い。

表10-1 内服薬 薬効分類別処方箋1枚当たり後発医薬品薬剤料

| | 実数(円) | | | | | | 対前年度比(%) | | | | |
|---------------------------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|----------|--------|--------|-------|-------|
| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 内服薬 総数 | 924 | 927 | 1,076 | 1,079 | 1,142 | 1,288 | 0.4 | 16.0 | 0.3 | 5.9 | 12.7 |
| 11 中枢神経系用薬 | 101 | 107 | 120 | 121 | 145 | 194 | 6.2 | 12.2 | 0.7 | 20.1 | 33.7 |
| 112 催眠鎮静剤、抗不安剤 | 17 | 17 | 19 | 18 | 19 | 21 | 2.7 | 6.5 | ▲1.2 | 2.5 | 9.7 |
| 114 解熱鎮痛消炎剤 | 13 | 14 | 16 | 18 | 24 | 36 | 11.2 | 8.0 | 13.3 | 38.8 | 48.1 |
| 116 抗パーキンソン剤 | 3 | 4 | 5 | 7 | 8 | 9 | 20.5 | 30.9 | 25.7 | 14.3 | 14.0 |
| 117 精神神経用剤 | 26 | 33 | 39 | 37 | 51 | 56 | 28.2 | 19.5 | ▲5.0 | 35.4 | 10.6 |
| 119 その他中枢神経系用薬 | 37 | 33 | 35 | 31 | 32 | 59 | ▲11.6 | 7.3 | ▲10.5 | 2.1 | 85.4 |
| 21 循環器官用薬 | 265 | 258 | 327 | 343 | 353 | 390 | ▲2.6 | 26.8 | 4.9 | 3.0 | 10.4 |
| 212 不整脈用剤 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 20 | 6.4 | 12.4 | 5.1 | 9.0 | 13.9 |
| 214 血圧降下剤 | 81 | 84 | 125 | 137 | 141 | 146 | 3.8 | 48.6 | 10.3 | 2.3 | 3.9 |
| 217 血管拡張剤 | 79 | 72 | 77 | 69 | 70 | 74 | ▲8.5 | 6.3 | ▲9.8 | 1.4 | 5.1 |
| 218 高脂血症用剤 | 74 | 68 | 87 | 96 | 97 | 116 | ▲9.2 | 29.3 | 9.9 | 1.4 | 18.7 |
| 22 呼吸器官用薬 | 19 | 22 | 23 | 24 | 26 | 21 | 10.5 | 5.1 | 7.6 | 5.6 | ▲17.1 |
| 23 消化器官用薬 | 160 | 156 | 160 | 152 | 153 | 165 | ▲2.4 | 2.6 | ▲4.9 | 1.0 | 7.9 |
| 232 消化性潰瘍用剤 | 112 | 104 | 106 | 97 | 95 | 98 | ▲6.9 | 1.7 | ▲8.8 | ▲1.3 | 3.3 |
| 239 その他の消化器官用薬 | 11 | 13 | 14 | 15 | 16 | 19 | 25.0 | 8.9 | 3.0 | 6.3 | 18.6 |
| 24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む) | 2 | 4 | 10 | 13 | 17 | 27 | 58.6 | 180.3 | 28.2 | 26.9 | 59.7 |
| 25 泌尿生殖器官および肛門用薬 | 16 | 16 | 16 | 15 | 24 | 31 | 0.2 | 4.8 | ▲10.7 | 64.8 | 28.9 |
| 31 ビタミン剤 | 37 | 33 | 33 | 30 | 29 | 45 | ▲9.7 | ▲2.6 | ▲8.3 | ▲1.4 | 51.3 |
| 32 滋養強壮薬 | 4 | 4 | 5 | 5 | 5 | 6 | 9.3 | 9.0 | 6.8 | 6.0 | 7.6 |
| 325 蛋白アミノ酸製剤 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 0.5 | 7.7 | ▲2.4 | 4.1 | 5.4 |
| 33 血液・体液用薬 | 80 | 88 | 97 | 89 | 89 | 91 | 10.4 | 10.1 | ▲8.3 | 0.4 | 1.6 |
| 39 その他の代謝性医薬品 | 85 | 80 | 90 | 92 | 97 | 110 | ▲5.4 | 13.0 | 1.5 | 5.4 | 13.3 |
| 396 糖尿病用剤 | 33 | 26 | 29 | 28 | 28 | 32 | ▲21.4 | 12.4 | ▲2.0 | 0.5 | 13.8 |
| 399 他に分類されない代謝性医薬品 | 38 | 42 | 48 | 51 | 56 | 65 | 9.8 | 13.6 | 6.5 | 10.5 | 15.3 |
| 42 腫瘍用薬 | 33 | 31 | 39 | 40 | 45 | 48 | ▲5.3 | 23.0 | 2.4 | 13.9 | 5.7 |
| 422 代謝拮抗剤 | 1 | 1 | 5 | 8 | 12 | 13 | 0.8 | 682.5 | 63.7 | 39.8 | 11.7 |
| 429 その他の腫瘍用薬 | 32 | 31 | 33 | 30 | 31 | 32 | ▲5.2 | 8.8 | ▲10.8 | 5.4 | 2.5 |
| 44 アレルギー用薬 | 69 | 75 | 98 | 98 | 100 | 113 | 10.0 | 30.0 | 0.1 | 1.6 | 13.5 |
| 52 漢方製剤 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 61 抗生物質製剤 | 26 | 26 | 27 | 25 | 25 | 16 | 0.9 | 2.4 | ▲8.0 | 0.0 | ▲35.1 |
| 613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの | 10 | 11 | 11 | 10 | 10 | 5 | 2.5 | 4.1 | ▲7.3 | 0.2 | ▲55.8 |
| 614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの | 14 | 14 | 13 | 12 | 11 | 8 | ▲2.9 | ▲4.0 | ▲11.9 | ▲3.8 | ▲31.6 |
| 62 化学療法剤 | 23 | 21 | 25 | 25 | 25 | 22 | ▲8.9 | 17.1 | 1.6 | 0.5 | ▲14.1 |
| 624 合成抗菌剤 | 10 | 9 | 9 | 8 | 8 | 5 | ▲11.7 | 1.3 | ▲9.4 | ▲3.2 | ▲29.0 |
| 625 抗ウイルス剤 | 6 | 6 | 9 | 11 | 11 | 10 | ▲2.9 | 52.2 | 22.0 | 2.3 | ▲15.0 |

注)表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

10-2. 薬効分類別の状況(7)(内服薬後発医薬品割合(薬剤料ベース))

内服薬の薬剤料ベースでみた後発医薬品割合を薬効大分類別にみると、呼吸器官用薬の60.1%が最も高く、次いでアレルギー用薬の44.0%となっている。対前年度差は、ビタミン剤が+15.6%で最も高く、抗生物質製剤が▲6.9%で最も低い。

表10-2 内服薬後発医薬品割合(薬剤料ベース)

| | 実数(%) | | | | | | 対前年度差(%) | | | | |
|---------------------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|-----------|-----------|
| | 平成 27年度 | 平成 28年度 | 平成 29年度 | 平成 30年度 | 令和 元年度 | 令和 2年度 | 平成 28年度 | 平成 29年度 | 平成 30年度 | 令和 元年度 | 令和 2年度 |
| 内服薬 総数 | 15.2 | 16.7 | 19.2 | 20.5 | 20.8 | 21.9 | 1.5 | 2.5 | 1.2 | 0.3 | 1.1 |
| 11 中枢神経系用薬 | 10.4 | 11.5 | 12.3 | 12.9 | 15.2 | 19.7 | 1.1 | 0.8 | 0.6 | 2.4 | 4.5 |
| 112 催眠鎮静剤、抗不安剤 | 23.6 | 26.8 | 28.5 | 31.7 | 33.4 | 34.2 | 3.2 | 1.7 | 3.2 | 1.7 | 0.8 |
| 114 解熱鎮痛消炎剤 | 10.7 | 12.0 | 12.5 | 14.6 | 21.7 | 38.0 | 1.3 | 0.6 | 2.0 | 7.1 | 16.4 |
| 116 抗パーキンソン剤 | 4.1 | 5.0 | 6.4 | 8.9 | 9.7 | 10.1 | 0.8 | 1.4 | 2.5 | 0.8 | 0.4 |
| 117 精神神経用剤 | 8.1 | 10.8 | 12.3 | 12.5 | 17.0 | 17.2 | 2.7 | 1.5 | 0.2 | 4.5 | 0.2 |
| 119 その他中枢神経系用薬 | 12.5 | 11.8 | 11.9 | 10.8 | 10.6 | 20.0 | ▲0.7 | 0.2 | ▲1.2 | ▲0.2 | 9.4 |
| 21 循環器官用薬 | 19.7 | 21.4 | 28.0 | 35.0 | 35.9 | 38.2 | 1.7 | 6.6 | 7.0 | 0.9 | 2.3 |
| 212 不整脈用剤 | 20.4 | 25.2 | 29.4 | 41.3 | 46.3 | 52.0 | 4.8 | 4.2 | 11.8 | 5.1 | 5.7 |
| 214 血圧降下剤 | 13.3 | 15.9 | 25.7 | 36.6 | 39.0 | 38.8 | 2.5 | 9.9 | 10.9 | 2.4 | ▲0.3 |
| 217 血管拡張剤 | 49.9 | 55.2 | 59.9 | 65.1 | 68.6 | 71.7 | 5.3 | 4.7 | 5.2 | 3.5 | 3.1 |
| 218 高脂血症用剤 | 21.3 | 21.0 | 27.6 | 36.5 | 36.1 | 43.0 | ▲0.3 | 6.6 | 8.9 | ▲0.3 | 6.9 |
| 22 呼吸器官用薬 | 33.1 | 39.7 | 43.4 | 50.4 | 54.4 | 60.1 | 6.6 | 3.7 | 7.1 | 4.0 | 5.7 |
| 23 消化器官用薬 | 31.5 | 32.9 | 32.3 | 33.0 | 31.2 | 29.7 | 1.4 | ▲0.7 | 0.7 | ▲1.7 | ▲1.5 |
| 232 消化性潰瘍用剤 | 31.9 | 32.6 | 31.8 | 32.4 | 30.8 | 28.8 | 0.7 | ▲0.8 | 0.7 | ▲1.6 | ▲2.1 |
| 239 その他の消化器官用薬 | 14.8 | 20.0 | 20.7 | 21.2 | 21.1 | 22.3 | 5.2 | 0.7 | 0.5 | ▲0.1 | 1.2 |
| 24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む) | 3.1 | 4.8 | 12.9 | 16.0 | 17.1 | 25.3 | 1.7 | 8.1 | 3.1 | 1.1 | 8.2 |
| 25 泌尿生殖器官および肛門用薬 | 9.4 | 9.8 | 10.0 | 9.4 | 16.1 | 19.8 | 0.4 | 0.2 | ▲0.6 | 6.7 | 3.8 |
| 31 ビタミン剤 | 32.4 | 29.7 | 28.0 | 25.9 | 24.3 | 39.9 | ▲2.7 | ▲1.8 | ▲2.0 | ▲1.6 | 15.6 |
| 32 滋養強壮薬 | 6.2 | 7.0 | 7.5 | 8.3 | 8.4 | 7.8 | 0.8 | 0.5 | 0.7 | 0.1 | ▲0.6 |
| 325 蛋白アミノ酸製剤 | 3.5 | 3.7 | 4.0 | 4.0 | 4.0 | 3.6 | 0.2 | 0.3 | 0.1 | ▲0.0 | ▲0.4 |
| 33 血液・体液用薬 | 18.4 | 22.4 | 23.4 | 22.3 | 21.2 | 20.6 | 4.0 | 1.0 | ▲1.1 | ▲1.1 | ▲0.6 |
| 39 その他の代謝性医薬品 | 10.9 | 10.4 | 11.1 | 11.2 | 10.9 | 10.8 | ▲0.5 | 0.6 | 0.1 | ▲0.3 | ▲0.1 |
| 396 糖尿病用剤 | 8.6 | 6.7 | 7.1 | 6.9 | 6.4 | 6.3 | ▲1.8 | 0.3 | ▲0.1 | ▲0.5 | ▲0.1 |
| 399 他に分類されない代謝性医薬品 | 12.3 | 13.7 | 14.6 | 15.7 | 16.1 | 16.1 | 1.4 | 0.9 | 1.0 | 0.4 | 0.1 |
| 42 腫瘍用薬 | 9.6 | 8.9 | 10.0 | 9.3 | 8.9 | 7.8 | ▲0.7 | 1.1 | ▲0.7 | ▲0.4 | ▲1.1 |
| 422 代謝拮抗剤 | 1.2 | 1.4 | 12.1 | 24.1 | 39.7 | 49.0 | 0.1 | 10.7 | 12.0 | 15.6 | 9.3 |
| 429 その他の腫瘍用薬 | 11.4 | 10.3 | 9.9 | 7.7 | 6.6 | 5.5 | ▲1.0 | ▲0.4 | ▲2.2 | ▲1.1 | ▲1.1 |
| 44 アレルギー用薬 | 19.6 | 24.7 | 32.9 | 37.8 | 38.8 | 44.0 | 5.1 | 8.2 | 4.9 | 1.0 | 5.2 |
| 52 漢方製剤 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 61 抗生物質製剤 | 23.8 | 27.9 | 31.3 | 34.6 | 37.0 | 30.0 | 4.1 | 3.5 | 3.3 | 2.4 | ▲6.9 |
| 613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの | 20.5 | 24.8 | 28.7 | 31.8 | 34.7 | 20.2 | 4.3 | 3.9 | 3.1 | 2.9 | ▲14.5 |
| 614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの | 33.0 | 39.5 | 44.0 | 49.3 | 53.1 | 56.3 | 6.5 | 4.4 | 5.4 | 3.8 | 3.3 |
| 62 化学療法剤 | 4.0 | 5.4 | 8.3 | 9.1 | 11.1 | 10.4 | 1.4 | 3.0 | 0.7 | 2.0 | ▲0.7 |
| 624 合成抗菌剤 | 19.7 | 21.1 | 24.0 | 27.7 | 29.3 | 33.8 | 1.4 | 2.9 | 3.7 | 1.6 | 4.5 |
| 625 抗ウイルス剤 | 1.2 | 1.8 | 3.8 | 4.9 | 6.5 | 5.9 | 0.6 | 2.0 | 1.1 | 1.7 | ▲0.6 |

注)表示していない項目(薬効)がある。

11. 都道府県別の状況(1)(調剤医療費の内訳)

調剤医療費の内訳を都道府県別にみると、処方箋1枚当たり調剤医療費が最も高い高知県では、技術料の割合が22.3%、薬剤料の割合が77.6%となっていた。一方、最も低い佐賀県では技術料の割合が30.3%、薬剤料の割合が69.5%となっていた。

薬剤料全体の伸び率が▲1.8%(最高:栃木県+3.6%、最低:山梨県▲3.8%)であるのに対し、後発医薬品の伸び率は+3.4%(最高:栃木県+10.0%、最低:沖縄県+1.0%)であった。

表11-1 都道府県別 調剤医療費の報酬別内訳

令和2年度

| | 総 額 (単位:億円) | | | | | | | | 処方箋1枚当たり (単位:円) | | | | |
|-------|-------------|----------|------|--------|----------|----------|----------|-----|-----------------|-------|----------|-------|----|
| | 調剤医療費 | | | | | | | | 調剤医療費 | | | | |
| | 技術料 | 構成割合 (%) | 薬剤料 | 後発医薬品 | 構成割合 (%) | 特定保険医療材料 | 構成割合 (%) | 技術料 | 薬剤料 | 後発医薬品 | 特定保険医療材料 | | |
| 全 国 | 74,987 | 18,779 | 25.0 | 56,058 | 11,337 | 74.8 | 150 | 0.2 | 9,849 | 2,467 | 7,363 | 1,489 | 20 |
| 北海道 | 3,693 | 814 | 22.1 | 2,871 | 607 | 77.7 | 8 | 0.2 | 11,615 | 2,562 | 9,029 | 1,909 | 24 |
| 青 森 | 916 | 226 | 24.6 | 688 | 144 | 75.1 | 2 | 0.2 | 10,045 | 2,475 | 7,546 | 1,585 | 23 |
| 岩 手 | 839 | 204 | 24.3 | 634 | 146 | 75.5 | 1 | 0.2 | 10,438 | 2,538 | 7,883 | 1,821 | 17 |
| 宮 城 | 1,442 | 360 | 24.9 | 1,079 | 233 | 74.8 | 3 | 0.2 | 9,717 | 2,424 | 7,271 | 1,572 | 22 |
| 秋 田 | 775 | 181 | 23.4 | 592 | 126 | 76.4 | 2 | 0.2 | 10,913 | 2,550 | 8,339 | 1,780 | 25 |
| 山 形 | 694 | 179 | 25.7 | 514 | 114 | 74.0 | 2 | 0.3 | 9,664 | 2,487 | 7,151 | 1,593 | 26 |
| 福 島 | 1,159 | 282 | 24.4 | 875 | 190 | 75.5 | 2 | 0.1 | 10,300 | 2,509 | 7,776 | 1,688 | 15 |
| 茨 城 | 1,727 | 391 | 22.6 | 1,333 | 269 | 77.2 | 3 | 0.2 | 10,843 | 2,454 | 8,369 | 1,686 | 21 |
| 栃 木 | 1,058 | 262 | 24.8 | 792 | 175 | 74.9 | 3 | 0.3 | 9,623 | 2,388 | 7,209 | 1,590 | 26 |
| 群 馬 | 988 | 243 | 24.6 | 743 | 159 | 75.2 | 2 | 0.2 | 9,941 | 2,442 | 7,480 | 1,596 | 19 |
| 埼 玉 | 3,873 | 973 | 25.1 | 2,894 | 618 | 74.7 | 7 | 0.2 | 9,607 | 2,412 | 7,177 | 1,532 | 17 |
| 千 葉 | 3,415 | 822 | 24.1 | 2,586 | 539 | 75.7 | 8 | 0.2 | 10,111 | 2,433 | 7,656 | 1,597 | 22 |
| 東 京 | 8,559 | 2,138 | 25.0 | 6,405 | 1,198 | 74.8 | 16 | 0.2 | 9,659 | 2,413 | 7,229 | 1,352 | 18 |
| 神奈川 | 5,529 | 1,392 | 25.2 | 4,128 | 811 | 74.7 | 9 | 0.2 | 9,589 | 2,413 | 7,160 | 1,406 | 16 |
| 新 潟 | 1,328 | 341 | 25.7 | 984 | 221 | 74.1 | 3 | 0.2 | 9,466 | 2,430 | 7,018 | 1,578 | 18 |
| 富 山 | 560 | 132 | 23.5 | 427 | 86 | 76.3 | 1 | 0.2 | 11,004 | 2,586 | 8,391 | 1,690 | 27 |
| 石 川 | 644 | 151 | 23.4 | 491 | 95 | 76.3 | 1 | 0.2 | 11,403 | 2,672 | 8,706 | 1,682 | 26 |
| 福 井 | 368 | 83 | 22.5 | 284 | 56 | 77.2 | 1 | 0.2 | 11,206 | 2,527 | 8,652 | 1,697 | 27 |
| 山 梨 | 489 | 122 | 25.0 | 366 | 81 | 74.8 | 1 | 0.2 | 9,821 | 2,458 | 7,345 | 1,620 | 17 |
| 長 野 | 1,262 | 309 | 24.5 | 950 | 199 | 75.3 | 2 | 0.2 | 10,807 | 2,650 | 8,138 | 1,707 | 19 |
| 岐 阜 | 1,107 | 285 | 25.8 | 819 | 167 | 74.0 | 2 | 0.2 | 9,480 | 2,444 | 7,017 | 1,434 | 19 |
| 静 岡 | 2,076 | 553 | 26.7 | 1,518 | 326 | 73.2 | 4 | 0.2 | 9,194 | 2,451 | 6,726 | 1,443 | 17 |
| 愛 知 | 3,842 | 996 | 25.9 | 2,839 | 569 | 73.9 | 7 | 0.2 | 9,354 | 2,425 | 6,913 | 1,385 | 17 |
| 三 重 | 976 | 252 | 25.9 | 721 | 148 | 73.9 | 2 | 0.2 | 9,456 | 2,446 | 6,991 | 1,430 | 19 |
| 滋 賀 | 785 | 190 | 24.2 | 592 | 118 | 75.4 | 3 | 0.4 | 10,496 | 2,536 | 7,915 | 1,574 | 45 |
| 京 都 | 1,474 | 324 | 22.0 | 1,147 | 201 | 77.8 | 4 | 0.3 | 11,608 | 2,548 | 9,026 | 1,580 | 33 |
| 大 阪 | 5,313 | 1,331 | 25.0 | 3,972 | 741 | 74.8 | 10 | 0.2 | 10,064 | 2,521 | 7,524 | 1,404 | 19 |
| 兵 庫 | 3,363 | 856 | 25.5 | 2,501 | 472 | 74.4 | 6 | 0.2 | 9,676 | 2,463 | 7,197 | 1,358 | 17 |
| 奈 良 | 637 | 177 | 27.8 | 460 | 97 | 72.1 | 1 | 0.1 | 8,999 | 2,499 | 6,487 | 1,364 | 12 |
| 和歌山 | 540 | 130 | 24.1 | 408 | 76 | 75.6 | 2 | 0.3 | 10,379 | 2,500 | 7,846 | 1,465 | 33 |
| 鳥 取 | 350 | 88 | 25.1 | 261 | 53 | 74.7 | 1 | 0.2 | 10,407 | 2,617 | 7,769 | 1,565 | 21 |
| 島 根 | 463 | 125 | 26.9 | 337 | 73 | 72.8 | 1 | 0.2 | 9,905 | 2,666 | 7,215 | 1,569 | 24 |
| 岡 山 | 976 | 263 | 26.9 | 711 | 153 | 72.9 | 2 | 0.2 | 9,243 | 2,489 | 6,735 | 1,448 | 19 |
| 広 島 | 1,792 | 459 | 25.6 | 1,329 | 254 | 74.2 | 4 | 0.2 | 9,565 | 2,450 | 7,096 | 1,354 | 19 |
| 山 口 | 906 | 243 | 26.8 | 662 | 141 | 73.1 | 1 | 0.2 | 9,271 | 2,483 | 6,772 | 1,438 | 15 |
| 徳 島 | 423 | 104 | 24.5 | 319 | 58 | 75.3 | 1 | 0.2 | 10,466 | 2,561 | 7,885 | 1,443 | 20 |
| 香 川 | 641 | 153 | 23.8 | 485 | 88 | 75.7 | 3 | 0.4 | 10,441 | 2,488 | 7,908 | 1,437 | 44 |
| 愛 媛 | 794 | 189 | 23.8 | 603 | 114 | 75.9 | 3 | 0.3 | 10,551 | 2,512 | 8,006 | 1,511 | 34 |
| 高 知 | 499 | 111 | 22.3 | 387 | 74 | 77.6 | 1 | 0.1 | 11,781 | 2,628 | 9,136 | 1,745 | 16 |
| 福 岡 | 3,131 | 852 | 27.2 | 2,273 | 451 | 72.6 | 5 | 0.2 | 8,885 | 2,418 | 6,452 | 1,280 | 15 |
| 佐 賀 | 530 | 161 | 30.3 | 369 | 79 | 69.5 | 1 | 0.2 | 8,161 | 2,472 | 5,675 | 1,223 | 14 |
| 長 崎 | 915 | 242 | 26.5 | 671 | 140 | 73.3 | 2 | 0.2 | 9,583 | 2,536 | 7,027 | 1,467 | 19 |
| 熊 本 | 1,022 | 271 | 26.5 | 749 | 162 | 73.3 | 2 | 0.2 | 9,181 | 2,432 | 6,728 | 1,453 | 20 |
| 大 分 | 745 | 190 | 25.5 | 554 | 116 | 74.3 | 1 | 0.2 | 9,987 | 2,544 | 7,424 | 1,560 | 18 |
| 宮 崎 | 673 | 182 | 27.0 | 490 | 110 | 72.8 | 1 | 0.2 | 8,982 | 2,426 | 6,541 | 1,474 | 15 |
| 鹿 児 島 | 956 | 272 | 28.4 | 684 | 163 | 71.5 | 1 | 0.1 | 8,857 | 2,516 | 6,330 | 1,510 | 11 |
| 沖 縄 | 742 | 179 | 24.1 | 560 | 127 | 75.5 | 3 | 0.4 | 10,233 | 2,469 | 7,721 | 1,751 | 43 |

表11-2 都道府県別 調剤医療費の報酬別内訳 (対前年度比)

| | 総 額 | | | | | | | | 処方箋1枚当たり | | | | |
|-----|-------|-------|-------|-------|------|-------------------|-------|-------|----------|-------|-------------------|------|-------|
| | 調剤医療費 | | | | | | | | 調剤医療費 | | | | |
| | 技術料 | 構成割合 | 薬剤料 | 後発医薬品 | 構成割合 | 特定保険 医療材料 料 | 構成割合 | 技術料 | 薬剤料 | 後発医薬品 | 特定保険 医療材料 料 | | |
| 全 国 | ▲ 2.6 | ▲ 5.0 | ▲ 0.6 | ▲ 1.8 | 3.4 | 0.6 | 7.2 | 0.0 | 7.2 | 4.6 | 8.1 | 14.0 | 18.1 |
| 北海道 | ▲ 3.1 | ▲ 5.4 | ▲ 0.5 | ▲ 2.4 | 1.9 | 0.5 | 9.8 | 0.0 | 6.6 | 4.1 | 7.3 | 12.0 | 20.7 |
| 青森 | ▲ 4.0 | ▲ 5.9 | ▲ 0.5 | ▲ 3.4 | 2.6 | 0.5 | 2.2 | 0.0 | 5.7 | 3.6 | 6.3 | 13.0 | 12.5 |
| 岩手 | ▲ 1.9 | ▲ 3.3 | ▲ 0.3 | ▲ 1.5 | 2.9 | 0.3 | ▲ 4.5 | ▲ 0.0 | 5.5 | 4.0 | 5.9 | 10.6 | 2.7 |
| 宮城 | ▲ 3.2 | ▲ 5.8 | ▲ 0.7 | ▲ 2.3 | 2.5 | 0.7 | 8.5 | 0.0 | 6.6 | 3.7 | 7.5 | 12.8 | 19.5 |
| 秋田 | ▲ 3.4 | ▲ 3.8 | ▲ 0.1 | ▲ 3.3 | 2.7 | 0.1 | ▲ 0.7 | 0.0 | 3.8 | 3.4 | 3.9 | 10.4 | 6.7 |
| 山形 | ▲ 3.2 | ▲ 3.8 | ▲ 0.2 | ▲ 3.0 | 3.9 | 0.1 | 11.3 | 0.0 | 4.4 | 3.7 | 4.6 | 12.0 | 20.0 |
| 福島 | ▲ 3.7 | ▲ 5.9 | ▲ 0.6 | ▲ 2.9 | 3.5 | 0.6 | 0.9 | 0.0 | 5.9 | 3.5 | 6.7 | 13.8 | 11.0 |
| 茨城 | ▲ 2.5 | ▲ 5.0 | ▲ 0.6 | ▲ 1.8 | 4.7 | 0.6 | 4.9 | 0.0 | 6.8 | 4.1 | 7.6 | 14.8 | 15.0 |
| 栃木 | 2.1 | ▲ 2.6 | ▲ 1.2 | 3.6 | 10.0 | 1.1 | 73.3 | 0.1 | 9.0 | 4.0 | 10.5 | 17.4 | 84.9 |
| 群馬 | ▲ 2.2 | ▲ 4.5 | ▲ 0.6 | ▲ 1.5 | 3.6 | 0.6 | 1.6 | 0.0 | 6.4 | 3.9 | 7.2 | 12.7 | 10.5 |
| 埼玉 | ▲ 2.7 | ▲ 5.9 | ▲ 0.8 | ▲ 1.6 | 3.9 | 0.8 | 6.7 | 0.0 | 8.2 | 4.7 | 9.5 | 15.6 | 18.7 |
| 千葉 | ▲ 3.1 | ▲ 6.0 | ▲ 0.7 | ▲ 2.2 | 4.0 | 0.7 | 0.4 | 0.0 | 8.2 | 5.0 | 9.2 | 16.2 | 12.1 |
| 東京 | ▲ 4.6 | ▲ 7.8 | ▲ 0.9 | ▲ 3.5 | 1.5 | 0.8 | 6.6 | 0.0 | 9.5 | 5.8 | 10.7 | 16.4 | 22.3 |
| 神奈川 | ▲ 2.2 | ▲ 5.3 | ▲ 0.8 | ▲ 1.2 | 4.4 | 0.8 | 7.8 | 0.0 | 8.6 | 5.2 | 9.8 | 16.1 | 19.8 |
| 新潟 | ▲ 3.5 | ▲ 5.8 | ▲ 0.6 | ▲ 2.7 | 2.3 | 0.6 | ▲ 2.4 | 0.0 | 5.5 | 3.0 | 6.4 | 11.8 | 6.8 |
| 富山 | 0.3 | ▲ 2.6 | ▲ 0.7 | 1.2 | 3.3 | 0.7 | 6.4 | 0.0 | 8.4 | 5.3 | 9.3 | 11.6 | 14.9 |
| 石川 | ▲ 1.7 | ▲ 3.5 | ▲ 0.4 | ▲ 1.2 | 3.0 | 0.4 | 13.5 | 0.0 | 6.7 | 4.8 | 7.3 | 11.9 | 23.2 |
| 福井 | ▲ 1.6 | ▲ 2.6 | ▲ 0.2 | ▲ 1.2 | 3.7 | 0.3 | ▲ 7.9 | ▲ 0.0 | 5.3 | 4.1 | 5.6 | 10.8 | ▲ 1.5 |
| 山梨 | ▲ 3.6 | ▲ 3.1 | 0.1 | ▲ 3.8 | 6.2 | ▲ 0.1 | 6.4 | 0.0 | 5.0 | 5.6 | 4.8 | 15.6 | 15.9 |
| 長野 | ▲ 1.8 | ▲ 2.4 | ▲ 0.2 | ▲ 1.6 | 3.2 | 0.1 | 4.9 | 0.0 | 5.6 | 4.9 | 5.8 | 11.0 | 12.8 |
| 岐阜 | ▲ 3.5 | ▲ 5.7 | ▲ 0.6 | ▲ 2.8 | 3.6 | 0.6 | 13.5 | 0.0 | 6.7 | 4.3 | 7.5 | 14.5 | 25.5 |
| 静岡 | ▲ 2.8 | ▲ 4.0 | ▲ 0.3 | ▲ 2.4 | 4.1 | 0.3 | 6.8 | 0.0 | 5.5 | 4.2 | 5.9 | 13.0 | 15.9 |
| 愛知 | ▲ 2.8 | ▲ 5.3 | ▲ 0.7 | ▲ 1.9 | 3.6 | 0.7 | 5.1 | 0.0 | 6.7 | 4.0 | 7.7 | 13.8 | 15.4 |
| 三重 | ▲ 1.0 | ▲ 3.4 | ▲ 0.6 | ▲ 0.2 | 3.5 | 0.6 | 5.2 | 0.0 | 6.4 | 3.8 | 7.3 | 11.2 | 13.0 |
| 滋賀 | ▲ 0.7 | ▲ 3.9 | ▲ 0.8 | 0.3 | 3.2 | 0.8 | 8.6 | 0.0 | 9.2 | 5.7 | 10.3 | 13.5 | 19.5 |
| 京都 | ▲ 0.9 | ▲ 3.4 | ▲ 0.6 | ▲ 0.2 | 3.8 | 0.5 | 5.4 | 0.0 | 7.5 | 4.8 | 8.3 | 12.7 | 14.4 |
| 大阪 | ▲ 1.8 | ▲ 3.2 | ▲ 0.4 | ▲ 1.3 | 4.1 | 0.3 | 6.5 | 0.0 | 6.8 | 5.3 | 7.3 | 13.2 | 15.8 |
| 兵庫 | ▲ 2.8 | ▲ 4.8 | ▲ 0.5 | ▲ 2.1 | 2.9 | 0.5 | 6.0 | 0.0 | 6.7 | 4.6 | 7.5 | 13.0 | 16.4 |
| 奈良 | ▲ 1.3 | ▲ 3.4 | ▲ 0.6 | ▲ 0.4 | 3.5 | 0.6 | 1.1 | 0.0 | 6.8 | 4.4 | 7.7 | 11.9 | 9.3 |
| 和歌山 | ▲ 1.5 | ▲ 1.8 | ▲ 0.1 | ▲ 1.5 | 5.0 | 0.1 | 4.1 | 0.0 | 4.2 | 3.9 | 4.2 | 11.0 | 10.1 |
| 鳥取 | ▲ 1.4 | ▲ 2.8 | ▲ 0.3 | ▲ 1.0 | 3.5 | 0.3 | 6.0 | 0.0 | 7.3 | 5.8 | 7.8 | 12.6 | 15.4 |
| 島根 | ▲ 2.5 | ▲ 3.0 | ▲ 0.2 | ▲ 2.3 | 2.8 | 0.1 | 4.2 | 0.0 | 5.1 | 4.5 | 5.3 | 10.7 | 12.3 |
| 岡山 | ▲ 2.8 | ▲ 4.8 | ▲ 0.6 | ▲ 2.1 | 3.8 | 0.5 | 7.5 | 0.0 | 6.5 | 4.3 | 7.2 | 13.8 | 17.7 |
| 広島 | ▲ 2.8 | ▲ 5.2 | ▲ 0.6 | ▲ 1.9 | 3.7 | 0.6 | 4.4 | 0.0 | 6.7 | 4.1 | 7.7 | 13.8 | 14.6 |
| 山口 | ▲ 3.2 | ▲ 4.3 | ▲ 0.3 | ▲ 2.9 | 3.7 | 0.3 | 8.3 | 0.0 | 4.3 | 3.2 | 4.7 | 11.8 | 16.7 |
| 徳島 | 0.0 | ▲ 2.7 | ▲ 0.7 | 0.9 | 9.6 | 0.7 | 0.9 | 0.0 | 8.0 | 5.0 | 8.9 | 18.3 | 8.9 |
| 香川 | ▲ 2.3 | ▲ 4.1 | ▲ 0.5 | ▲ 1.7 | 4.2 | 0.5 | ▲ 1.2 | 0.0 | 6.5 | 4.5 | 7.2 | 13.6 | 7.7 |
| 愛媛 | ▲ 0.8 | ▲ 3.4 | ▲ 0.6 | ▲ 0.0 | 3.7 | 0.6 | 7.9 | 0.0 | 7.9 | 5.1 | 8.8 | 12.8 | 17.4 |
| 高知 | ▲ 1.2 | ▲ 2.9 | ▲ 0.4 | ▲ 0.7 | 5.6 | 0.4 | 8.4 | 0.0 | 7.5 | 5.6 | 8.0 | 14.9 | 17.9 |
| 福岡 | ▲ 2.4 | ▲ 5.5 | ▲ 0.9 | ▲ 1.2 | 3.8 | 0.9 | 8.2 | 0.0 | 7.9 | 4.5 | 9.3 | 14.8 | 19.6 |
| 佐賀 | ▲ 3.9 | ▲ 4.8 | ▲ 0.3 | ▲ 3.5 | 2.1 | 0.3 | 11.8 | 0.0 | 4.7 | 3.6 | 5.1 | 11.2 | 21.8 |
| 長崎 | ▲ 1.8 | ▲ 3.1 | ▲ 0.4 | ▲ 1.3 | 3.9 | 0.3 | 17.1 | 0.0 | 5.9 | 4.5 | 6.4 | 12.0 | 26.3 |
| 熊本 | ▲ 1.4 | ▲ 4.6 | ▲ 0.9 | ▲ 0.2 | 3.4 | 0.9 | 22.3 | 0.0 | 7.6 | 4.1 | 8.9 | 12.9 | 33.5 |
| 大分 | ▲ 2.9 | ▲ 4.6 | ▲ 0.5 | ▲ 2.4 | 3.8 | 0.4 | 36.3 | 0.1 | 6.3 | 4.5 | 6.9 | 13.7 | 49.4 |
| 宮崎 | ▲ 2.8 | ▲ 4.4 | ▲ 0.5 | ▲ 2.2 | 3.0 | 0.5 | 1.7 | 0.0 | 5.1 | 3.3 | 5.8 | 11.4 | 9.9 |
| 鹿児島 | ▲ 2.4 | ▲ 3.9 | ▲ 0.4 | ▲ 1.9 | 3.0 | 0.4 | 3.1 | 0.0 | 5.2 | 3.6 | 5.8 | 11.1 | 11.1 |
| 沖縄 | ▲ 3.3 | ▲ 8.5 | ▲ 1.4 | ▲ 1.5 | 1.0 | 1.3 | 16.2 | 0.1 | 10.6 | 4.6 | 12.6 | 15.5 | 32.9 |

注) 構成割合は対前年度差を示している。

12. 都道府県別の状況(2)(内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料の3要素分解)

内服薬の処方箋1枚当たり薬剤料を都道府県別にみると、高知県が7,544円と最も高く、処方箋1枚当たり薬剤種類数、1種類当たり投薬日数、1種類1日当たり薬剤料の3要素に分解すると、3.07、30.4日、81円となっていた。一方、佐賀県が4,579円と最も低く、3要素に分解すると、2.85、22.7日、71円となっていた。

表12 都道府県別 内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料の3要素分解

令和2年度

| | 実 額 | | | | 対前年度比 (単位:%) | | | |
|-------|-----------------|---------------|----------------|----|---------------|------------|-------------|-------|
| | 処方箋1枚当たり薬剤料 (円) | | | | 処方箋1枚当たり薬剤料 | | | |
| | 処方箋1枚当たり薬剤種類数 | 1種類当たり投薬日数(日) | 1種類1日当たり薬剤料(円) | | 処方箋1枚当たり薬剤種類数 | 1種類当たり投薬日数 | 1種類1日当たり薬剤料 | |
| 全 国 | 5,886 | 2.76 | 28.2 | 76 | 7.4 | ▲ 1.0 | 12.7 | ▲ 3.7 |
| 北海道 | 7,270 | 3.03 | 33.0 | 73 | 6.7 | ▲ 1.0 | 11.4 | ▲ 3.3 |
| 青 森 | 6,250 | 2.84 | 30.2 | 73 | 6.0 | ▲ 0.9 | 12.1 | ▲ 4.6 |
| 岩 手 | 6,479 | 2.85 | 32.4 | 70 | 5.5 | ▲ 0.4 | 10.3 | ▲ 4.0 |
| 宮 城 | 5,801 | 2.72 | 29.4 | 73 | 7.0 | ▲ 1.5 | 12.7 | ▲ 3.6 |
| 秋 田 | 6,834 | 2.97 | 31.8 | 72 | 3.4 | ▲ 0.9 | 8.2 | ▲ 3.6 |
| 山 形 | 5,844 | 2.77 | 29.1 | 73 | 4.1 | ▲ 0.0 | 9.4 | ▲ 4.8 |
| 福 島 | 6,385 | 2.91 | 30.5 | 72 | 6.3 | ▲ 1.2 | 12.1 | ▲ 4.1 |
| 茨 城 | 6,788 | 2.82 | 31.3 | 77 | 6.8 | ▲ 0.6 | 12.6 | ▲ 4.5 |
| 栃 木 | 5,882 | 2.81 | 28.4 | 74 | 9.8 | ▲ 0.2 | 14.0 | ▲ 3.4 |
| 群 馬 | 6,027 | 2.83 | 28.6 | 75 | 6.6 | ▲ 1.0 | 12.1 | ▲ 3.9 |
| 埼 玉 | 5,751 | 2.69 | 29.2 | 73 | 8.8 | ▲ 1.0 | 14.8 | ▲ 4.2 |
| 千 葉 | 6,152 | 2.63 | 31.0 | 76 | 8.6 | ▲ 1.3 | 14.9 | ▲ 4.3 |
| 東 京 | 5,725 | 2.60 | 27.8 | 79 | 9.9 | ▲ 2.0 | 16.2 | ▲ 3.5 |
| 神奈川 | 5,663 | 2.56 | 28.8 | 77 | 9.0 | ▲ 1.4 | 14.6 | ▲ 3.5 |
| 新 潟 | 5,626 | 2.56 | 31.3 | 70 | 5.9 | ▲ 1.7 | 11.8 | ▲ 3.6 |
| 富 山 | 6,859 | 2.81 | 31.6 | 77 | 8.7 | ▲ 0.1 | 11.3 | ▲ 2.3 |
| 石 川 | 7,111 | 2.97 | 30.5 | 79 | 6.4 | ▲ 0.7 | 10.7 | ▲ 3.2 |
| 福 井 | 7,196 | 2.93 | 30.5 | 80 | 5.6 | ▲ 1.2 | 11.2 | ▲ 3.9 |
| 山 梨 | 5,957 | 2.66 | 31.6 | 71 | 4.2 | ▲ 1.8 | 12.8 | ▲ 6.0 |
| 長 野 | 6,557 | 2.78 | 31.5 | 75 | 5.2 | ▲ 0.6 | 9.8 | ▲ 3.6 |
| 岐 阜 | 5,543 | 2.83 | 26.9 | 73 | 6.5 | ▲ 1.2 | 13.2 | ▲ 4.8 |
| 静 岡 | 5,336 | 2.63 | 28.2 | 72 | 5.4 | ▲ 1.3 | 11.7 | ▲ 4.4 |
| 愛 知 | 5,432 | 2.69 | 26.3 | 77 | 6.8 | ▲ 1.7 | 13.5 | ▲ 4.2 |
| 三 重 | 5,626 | 2.71 | 27.4 | 76 | 6.6 | ▲ 2.0 | 12.4 | ▲ 3.3 |
| 滋 賀 | 6,203 | 2.65 | 30.3 | 77 | 8.9 | ▲ 1.4 | 13.6 | ▲ 2.7 |
| 京 都 | 7,145 | 2.87 | 29.4 | 85 | 7.8 | ▲ 0.2 | 10.7 | ▲ 2.4 |
| 大 阪 | 5,969 | 2.88 | 25.9 | 80 | 6.5 | ▲ 0.9 | 11.8 | ▲ 3.8 |
| 兵 庫 | 5,621 | 2.67 | 26.8 | 78 | 6.9 | ▲ 1.2 | 12.2 | ▲ 3.5 |
| 奈 良 | 5,243 | 2.68 | 28.3 | 69 | 7.6 | ▲ 0.8 | 12.0 | ▲ 3.1 |
| 和歌山 | 6,308 | 2.88 | 28.1 | 78 | 3.9 | ▲ 0.5 | 8.6 | ▲ 3.8 |
| 鳥 取 | 6,388 | 2.86 | 27.5 | 81 | 7.1 | 0.3 | 9.8 | ▲ 2.8 |
| 島 根 | 5,875 | 2.97 | 27.4 | 72 | 4.5 | ▲ 0.4 | 9.6 | ▲ 4.2 |
| 岡 山 | 5,439 | 2.89 | 26.5 | 71 | 6.7 | ▲ 0.1 | 11.3 | ▲ 4.1 |
| 広 島 | 5,608 | 2.83 | 25.4 | 78 | 6.7 | ▲ 0.5 | 11.6 | ▲ 3.8 |
| 山 口 | 5,432 | 2.75 | 26.4 | 75 | 3.8 | ▲ 0.5 | 9.8 | ▲ 5.0 |
| 徳 島 | 6,330 | 2.96 | 26.4 | 81 | 8.2 | ▲ 0.3 | 11.2 | ▲ 2.3 |
| 香 川 | 6,315 | 2.78 | 27.2 | 84 | 6.2 | ▲ 0.4 | 11.2 | ▲ 4.1 |
| 愛 媛 | 6,364 | 2.71 | 28.7 | 82 | 8.2 | ▲ 0.8 | 11.6 | ▲ 2.3 |
| 高 知 | 7,544 | 3.07 | 30.4 | 81 | 7.7 | ▲ 0.5 | 10.3 | ▲ 1.9 |
| 福 岡 | 5,190 | 2.87 | 23.9 | 76 | 8.8 | ▲ 0.2 | 12.8 | ▲ 3.3 |
| 佐 賀 | 4,579 | 2.85 | 22.7 | 71 | 4.5 | ▲ 0.4 | 10.1 | ▲ 4.8 |
| 長 崎 | 5,616 | 3.00 | 26.1 | 72 | 6.1 | ▲ 0.1 | 10.1 | ▲ 3.6 |
| 熊 本 | 5,468 | 3.01 | 25.2 | 72 | 8.6 | ▲ 0.7 | 12.0 | ▲ 2.3 |
| 大 分 | 6,049 | 3.11 | 26.3 | 74 | 6.1 | ▲ 0.0 | 10.9 | ▲ 4.3 |
| 宮 崎 | 5,193 | 2.84 | 26.4 | 69 | 5.1 | ▲ 1.0 | 11.0 | ▲ 4.4 |
| 鹿 児 島 | 5,122 | 2.98 | 25.3 | 68 | 5.3 | 0.5 | 9.5 | ▲ 4.4 |
| 沖 縄 | 5,994 | 2.72 | 31.2 | 71 | 12.0 | ▲ 1.1 | 17.2 | ▲ 3.4 |

13. 都道府県別の状況(3)(後発医薬品割合)

令和2年度末における後発医薬品割合を都道府県別にみると、数量ベース(新指標)で最も高かったのは沖縄県の89.5%であった。また、薬剤料ベースで最も高かったのは鹿児島県の24.9%であった。一方、数量ベース(新指標)で最も低かったのは徳島県の78.4%であり、薬剤料ベースが最も低かったのは京都府の18.5%であった。

対前年同期差をみると、数量ベース(新指標)で最も高かったのは徳島県の+4.1%であった。また、薬剤料ベースで最も高かったのは山形県の+3.8%であった。一方、最も低かったのは数量ベース(新指標)、薬剤料ベースともに富山県であり、それぞれ+0.7%、+1.9%であった。

令和3年3月
(単位:%)

表13 都道府県別 後発医薬品割合

| | 後発医薬品割合 | | | 後発医薬品 調剤率 | 対前年同期差 | | | |
|-------|----------------|----------------|------------|--------------|----------------|----------------|------------|--------------|
| | 数量ベース (新指標) | 数量ベース (旧指標) | 薬剤料ベー ス | | 数量ベース (新指標) | 数量ベース (旧指標) | 薬剤料ベー ス | 後発医薬品 調剤率 |
| 全 国 | 82.1 | 59.1 | 21.4 | 77.6 | 1.7 | 3.7 | 2.7 | 1.9 |
| 北海道 | 83.5 | 60.6 | 22.2 | 80.1 | 1.6 | 3.5 | 2.6 | 1.4 |
| 青 森 | 82.3 | 60.2 | 22.2 | 79.3 | 1.5 | 3.8 | 3.0 | 2.0 |
| 岩 手 | 86.7 | 62.8 | 24.4 | 81.6 | 1.1 | 3.6 | 3.1 | 2.0 |
| 宮 城 | 84.8 | 60.2 | 22.5 | 80.1 | 1.3 | 3.7 | 2.8 | 1.9 |
| 秋 田 | 83.3 | 60.3 | 22.6 | 80.8 | 1.8 | 4.1 | 3.2 | 2.5 |
| 山 形 | 85.7 | 62.6 | 23.8 | 81.2 | 1.5 | 4.3 | 3.8 | 2.3 |
| 福 島 | 83.5 | 60.7 | 23.1 | 81.8 | 1.9 | 4.1 | 3.2 | 2.1 |
| 茨 城 | 81.8 | 59.4 | 21.3 | 77.7 | 1.9 | 4.2 | 2.9 | 2.3 |
| 栃 木 | 84.2 | 61.3 | 23.5 | 80.5 | 2.5 | 4.1 | 3.4 | 2.3 |
| 群 馬 | 84.8 | 61.7 | 22.6 | 80.3 | 1.6 | 3.6 | 2.8 | 1.9 |
| 埼 玉 | 82.9 | 60.2 | 22.6 | 78.3 | 1.6 | 3.6 | 2.9 | 2.0 |
| 千 葉 | 82.5 | 59.6 | 22.0 | 77.6 | 1.6 | 3.6 | 3.0 | 2.0 |
| 東 京 | 78.4 | 54.9 | 19.8 | 72.5 | 1.8 | 3.6 | 2.5 | 2.0 |
| 神奈川 | 80.4 | 57.4 | 20.9 | 74.2 | 1.8 | 3.7 | 2.7 | 2.2 |
| 新 潟 | 84.2 | 61.1 | 23.8 | 80.2 | 1.6 | 3.7 | 3.0 | 1.6 |
| 富 山 | 84.1 | 60.8 | 21.1 | 79.8 | 0.7 | 3.3 | 1.9 | 1.4 |
| 石 川 | 83.0 | 58.9 | 20.5 | 77.6 | 1.2 | 3.3 | 2.6 | 1.5 |
| 福 井 | 84.1 | 60.9 | 21.0 | 79.0 | 1.0 | 3.3 | 2.9 | 1.1 |
| 山 梨 | 81.7 | 59.5 | 23.1 | 76.1 | 2.7 | 4.9 | 3.4 | 2.7 |
| 長 野 | 84.6 | 61.1 | 21.8 | 78.6 | 1.6 | 3.7 | 2.6 | 1.8 |
| 岐 阜 | 81.2 | 58.4 | 21.9 | 79.2 | 2.3 | 4.3 | 3.1 | 2.4 |
| 静 岡 | 83.5 | 60.8 | 22.8 | 79.2 | 1.8 | 3.9 | 3.0 | 2.5 |
| 愛 知 | 82.8 | 58.9 | 21.2 | 79.0 | 1.9 | 3.9 | 2.9 | 2.0 |
| 三 重 | 82.7 | 60.0 | 21.7 | 78.4 | 1.3 | 3.2 | 2.5 | 1.7 |
| 滋 賀 | 82.7 | 60.0 | 21.0 | 77.8 | 1.6 | 3.3 | 2.1 | 1.7 |
| 京 都 | 79.9 | 56.9 | 18.5 | 75.4 | 1.6 | 3.2 | 2.2 | 1.8 |
| 大 阪 | 79.8 | 57.4 | 19.6 | 75.7 | 1.7 | 3.5 | 2.4 | 1.7 |
| 兵 庫 | 81.3 | 58.5 | 20.0 | 76.2 | 1.7 | 3.3 | 2.6 | 1.9 |
| 奈 良 | 79.4 | 58.2 | 22.1 | 74.9 | 1.2 | 2.9 | 2.6 | 1.6 |
| 和歌山 | 80.4 | 57.7 | 19.7 | 76.2 | 1.9 | 3.8 | 2.7 | 2.4 |
| 鳥 取 | 85.1 | 61.8 | 21.1 | 78.0 | 1.7 | 3.7 | 2.7 | 1.8 |
| 島 根 | 85.8 | 62.8 | 23.0 | 80.1 | 1.3 | 3.6 | 2.9 | 1.7 |
| 岡 山 | 83.4 | 60.4 | 22.9 | 78.4 | 1.6 | 3.6 | 3.2 | 1.3 |
| 広 島 | 80.3 | 56.9 | 20.2 | 77.1 | 2.1 | 4.0 | 2.6 | 2.2 |
| 山 口 | 84.3 | 61.6 | 22.5 | 80.7 | 2.0 | 4.3 | 3.2 | 2.3 |
| 徳 島 | 78.4 | 57.2 | 19.7 | 76.9 | 4.1 | 5.6 | 2.9 | 3.6 |
| 香 川 | 80.0 | 57.0 | 19.2 | 75.7 | 1.7 | 3.5 | 2.6 | 1.4 |
| 愛 媛 | 83.1 | 60.4 | 20.3 | 78.5 | 1.7 | 3.7 | 2.9 | 2.0 |
| 高 知 | 79.2 | 58.0 | 20.0 | 76.7 | 2.1 | 4.1 | 2.6 | 1.9 |
| 福 岡 | 83.0 | 59.4 | 20.9 | 79.2 | 1.7 | 3.8 | 2.8 | 2.3 |
| 佐 賀 | 84.2 | 60.8 | 23.0 | 80.4 | 1.4 | 3.8 | 3.4 | 1.7 |
| 長 崎 | 83.4 | 59.9 | 21.9 | 80.0 | 1.4 | 3.6 | 2.6 | 2.0 |
| 熊 本 | 84.9 | 62.3 | 22.8 | 83.0 | 1.5 | 3.5 | 2.9 | 1.8 |
| 大 分 | 82.9 | 60.7 | 22.3 | 79.9 | 2.0 | 3.9 | 3.0 | 1.4 |
| 宮 崎 | 85.8 | 62.8 | 23.7 | 82.3 | 1.4 | 3.7 | 3.0 | 1.5 |
| 鹿 児 島 | 87.4 | 64.4 | 24.9 | 82.9 | 1.3 | 3.5 | 2.9 | 1.3 |
| 沖 縄 | 89.5 | 66.6 | 23.8 | 83.5 | 0.8 | 2.7 | 2.3 | 0.6 |

14. 処方箋発行元医療機関別分析

調剤医療費を処方箋発行元医療機関別にみると、医科病院が3兆1,842億円であり、医科診療所が4兆2,896億円であった。医科診療所の中では、内科が2兆2,815億円と最も高かった。また、処方箋1枚当たり調剤医療費は、医科診療所が7,321円であったのに対し、医科病院が18,977円と高く、中でも大学病院が35,540円と最も高かった。また、処方箋1枚当たり調剤医療費は、整形外科の診療所を除き対前年度比で上昇した。特に大学病院の伸び率が大きく、+12.2%であった。

令和2年度末の後発医薬品割合（数量ベース、新指標）をみると、病院では82.6%、診療所では81.9%であった。医科の中で最も高かったのは産婦人科の86.7%であり、最も低かったのは大学病院の75.2%であった。医科の中で伸び幅が最も大きかったのは眼科の+4.0%であり、最も小さかったのは耳鼻咽喉科の+0.8%であった。

表14-1 調剤医療費の内訳（総額）

| 実数 対前 年 度 % | 令和2年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-----|----|-----|
| | 医科 | | | | | | | | | | 歯科 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 病院 | | | | | 診療所 | | | | | 診療所 | | | | | 病院 | | | | | | | | | | | |
| | 大学病院 | 公的病院 | 法人病院 | 個人病院 | 200床未満 | 200床以上 | 内科 | 小児科 | 外科 | 整形外科 | 皮膚科 | 産婦人科 | 眼科 | 耳鼻咽喉科 | その他 | 内科 | 小児科 | 外科 | 整形外科 | 皮膚科 | 産婦人科 | 眼科 | 耳鼻咽喉科 | その他 | 診療所 | 病院 | 診療所 |
| 調剤医療費(億円) | 74,987 | 74,738 | 31,842 | 5,920 | 13,485 | 12,347 | 90 | 9,196 | 22,646 | 42,896 | 22,815 | 1,460 | 1,465 | 3,192 | 2,716 | 455 | 1,876 | 2,235 | 6,682 | 159 | 64 | 96 | | | | | |
| 処方箋枚数(万枚) | 76,135 | 75,373 | 16,779 | 1,666 | 5,856 | 9,173 | 84 | 7,445 | 9,334 | 58,593 | 25,124 | 3,025 | 1,849 | 5,639 | 5,495 | 685 | 4,386 | 4,702 | 7,686 | 653 | 198 | 455 | | | | | |
| 調剤医療費 | ▲ 2.6 | ▲ 2.7 | ▲ 0.5 | 4.4 | ▲ 0.0 | ▲ 3.2 | ▲ 13.2 | ▲ 3.8 | 0.8 | ▲ 4.2 | ▲ 3.4 | ▲ 19.0 | ▲ 11.1 | ▲ 4.7 | 4.5 | 8.9 | ▲ 0.8 | ▲ 16.8 | ▲ 0.8 | 0.1 | ▲ 7.0 | 5.3 | | | | | |
| 処方箋枚数 | ▲ 9.2 | ▲ 9.3 | ▲ 8.4 | ▲ 6.9 | ▲ 8.5 | ▲ 8.5 | ▲ 15.9 | ▲ 8.4 | ▲ 8.4 | ▲ 9.5 | ▲ 9.2 | ▲ 30.4 | ▲ 14.1 | ▲ 3.2 | 1.1 | ▲ 2.6 | ▲ 5.8 | ▲ 24.1 | ▲ 1.0 | ▲ 4.7 | ▲ 9.3 | ▲ 2.5 | | | | | |

注1) 「処方箋枚数」とは、調剤報酬明細書に記録される処方箋の受付回数(を合計したものである)。
 注2) 処方箋発行元医療機関が特定出来なかったものは掲載していないため、内訳を足し上げても総数と一致しない。

表14-2 後発医薬品割合

| 実数 対前 期前 年 度 | 令和3年3月 (単位:%) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|------------------|------|------|------|--------|--------|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|-----|-----|----|-----|
| | 医科 | | | | | | | | | | 歯科 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 病院 | | | | | 診療所 | | | | | 診療所 | | | | | 病院 | | | | | | | | | | | |
| | 大学病院 | 公的病院 | 法人病院 | 個人病院 | 200床未満 | 200床以上 | 内科 | 小児科 | 外科 | 整形外科 | 皮膚科 | 産婦人科 | 眼科 | 耳鼻咽喉科 | その他 | 内科 | 小児科 | 外科 | 整形外科 | 皮膚科 | 産婦人科 | 眼科 | 耳鼻咽喉科 | その他 | 診療所 | 病院 | 診療所 |
| 数量ベース(新指標) | 82.1 | 82.6 | 75.2 | 83.3 | 83.7 | 81.4 | 83.5 | 82.0 | 81.9 | 81.9 | 82.8 | 81.1 | 82.9 | 80.0 | 78.7 | 86.7 | 81.4 | 84.7 | 79.4 | 88.1 | 90.8 | 84.9 | | | | | |
| 薬剤料ベース | 21.4 | 21.4 | 16.4 | 14.9 | 22.2 | 23.9 | 24.1 | 13.8 | 25.9 | 28.1 | 23.0 | 28.1 | 33.8 | 20.9 | 27.4 | 19.3 | 32.0 | 24.1 | 34.7 | 30.5 | 41.4 | | | | | | |
| 数量ベース(新指標) | 1.7 | 1.7 | 1.6 | 1.4 | 1.5 | 2.2 | 1.7 | 1.5 | 1.8 | 1.7 | 2.1 | 1.9 | 2.5 | 1.2 | 1.6 | 4.0 | 0.8 | 2.2 | 1.7 | 1.2 | 1.8 | | | | | | |
| 薬剤料ベース | 2.7 | 2.7 | 1.8 | 1.4 | 3.1 | 4.2 | 3.8 | 1.2 | 3.7 | 4.6 | 1.6 | 4.6 | 12.7 | 1.0 | 1.0 | 0.1 | 1.8 | 3.8 | 2.7 | 5.1 | 1.6 | ▲ 1.6 | | | | | |

注1) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。
 注2) 新指標は、「後発医薬品の数量」/(「後発医薬品の数量」+「後発医薬品の数量」)で算出している。

15. 制度別分析

調剤医療費を制度別にみると、総額が最も大きかったのは後期高齢者の2兆6,848億円であった。また、処方箋1枚当たり調剤医療費が最も大きかったのは公費の12,199円であり、伸び率が最も大きかったのは健保組合の+13.4%、最も小さかったのは後期高齢者の+1.9%であった。

令和2年度末の後発医薬品割合(数量ベース、新指標)をみると、最も高かったのは公費の90.5%、最も低かったのは国保組合の80.4%であった。伸び幅が最も大きかったのは後期高齢者の+1.9%、最も小さかったのは公費の+0.7%であった。

表15-1 調剤医療費の内訳(総額)

令和2年度

| | | 総数 | | | | | | | | | | 公費 |
|------------------------------|-----------|----------|----------|--------|---------|--------|--------|-----------|----------|--------|-----------|-------|
| | | 医療保険適用計 | | | | | | | | | 後期高 齢者 | |
| | | 被用者保険計 | | | 国民健康保険計 | | | 市町村 国保 | 国保組 合 | | | |
| | 協会一 般 | 共済組 合 | 健保組 合 | | | | | | | | | |
| 実 数 | 調剤医療費(億円) | 74,987 | 71,611 | 26,059 | 14,298 | 2,687 | 9,028 | 18,704 | 17,673 | 1,031 | 26,848 | 3,376 |
| | 処方箋枚数(万枚) | 76,135 | 73,367 | 31,602 | 16,771 | 3,483 | 11,299 | 17,930 | 16,796 | 1,134 | 23,836 | 2,768 |
| 対 前 年 度 比 (%) | 調剤医療費 | ▲ 2.6 | ▲ 2.7 | ▲ 2.6 | ▲ 1.6 | ▲ 2.9 | ▲ 4.0 | ▲ 2.7 | ▲ 2.6 | ▲ 3.4 | ▲ 2.7 | ▲ 2.5 |
| | 処方箋枚数 | ▲ 9.2 | ▲ 9.4 | ▲ 13.1 | ▲ 11.4 | ▲ 14.2 | ▲ 15.3 | ▲ 8.6 | ▲ 8.3 | ▲ 12.4 | ▲ 4.5 | ▲ 5.0 |

注) 「処方箋枚数」とは、調剤報酬明細書に記録される処方箋の「受付回数」を合計したものである。

表15-2 後発医薬品割合

令和3年3月
(単位:%)

| | | 総数 | | | | | | | | | | 公費 |
|-----------------------|------------|----------|----------|------|---------|------|------|-----------|----------|------|-----------|------|
| | | 医療保険適用計 | | | | | | | | | 後期高 齢者 | |
| | | 被用者保険計 | | | 国民健康保険計 | | | 市町村 国保 | 国保組 合 | | | |
| | 協会一 般 | 共済組 合 | 健保組 合 | | | | | | | | | |
| 実 数 | 数量ベース(新指標) | 82.1 | 81.7 | 82.7 | 83.1 | 82.1 | 82.3 | 82.1 | 82.2 | 80.4 | 80.5 | 90.5 |
| | 薬剤料ベース | 21.4 | 21.2 | 20.2 | 20.5 | 19.3 | 20.0 | 20.5 | 20.6 | 19.0 | 22.8 | 25.4 |
| 同 対 期 前 年 | 数量ベース(新指標) | 1.7 | 1.8 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.9 | 0.7 |
| | 薬剤料ベース | 2.7 | 2.8 | 1.8 | 1.9 | 1.5 | 1.7 | 2.3 | 2.3 | 1.9 | 4.1 | 2.8 |

注1) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注2) 新指標は、〔後発医薬品の数量〕/〔(後発医薬品のある先発医薬品の数量)+(後発医薬品の数量)〕で算出している。

表15-3 処方箋1枚当たり調剤医療費の内訳と構成割合

令和2年度

| | | 総数 | | | | | | | | | | 公費 | |
|--------------|---------|---------|-------|-------|---------|-------|-------|--------|---------|-------|--------|--------|-------|
| | | 医療保険適用計 | | | | | | | 国民健康保険計 | | | | 後期高齢者 |
| | | 被用者保険計 | | | 国民健康保険計 | | | | | | | | |
| | | 協会一般 | 共済組合 | 健保組合 | 市町村国保 | 国保組合 | | | | | | | |
| 実数 (円) | 調剤医療費 | 9,849 | 9,761 | 8,246 | 8,525 | 7,715 | 7,990 | 10,432 | 10,522 | 9,096 | 11,264 | 12,199 | |
| | 技術料 | 2,467 | 2,448 | 2,246 | 2,270 | 2,202 | 2,224 | 2,428 | 2,438 | 2,269 | 2,733 | 2,948 | |
| | 構成割合(%) | 25.0 | 25.1 | 27.2 | 26.6 | 28.5 | 27.8 | 23.3 | 23.2 | 24.9 | 24.3 | 24.2 | |
| | 調剤技術料 | 1,976 | 1,958 | 1,728 | 1,755 | 1,678 | 1,702 | 1,934 | 1,945 | 1,769 | 2,282 | 2,455 | |
| | 調剤基本料 | 727 | 726 | 728 | 723 | 729 | 736 | 713 | 711 | 730 | 733 | 760 | |
| | 調剤料 | 1,064 | 1,053 | 882 | 914 | 824 | 852 | 1,084 | 1,095 | 926 | 1,257 | 1,346 | |
| | 加算料 | 185 | 179 | 118 | 118 | 125 | 114 | 137 | 138 | 113 | 292 | 349 | |
| | 薬学管理料 | 490 | 490 | 518 | 514 | 523 | 522 | 494 | 493 | 501 | 451 | 493 | |
| | 薬剤料 | 7,363 | 7,293 | 5,984 | 6,237 | 5,500 | 5,753 | 7,979 | 8,059 | 6,807 | 8,512 | 9,222 | |
| | 構成割合(%) | 74.8 | 74.7 | 72.6 | 73.2 | 71.3 | 72.0 | 76.5 | 76.6 | 74.8 | 75.6 | 75.6 | |
| | 内服薬 | 5,894 | 5,831 | 4,458 | 4,724 | 3,915 | 4,227 | 6,526 | 6,615 | 5,198 | 7,130 | 7,564 | |
| | 屯服薬他 | 43 | 41 | 47 | 48 | 48 | 44 | 45 | 45 | 48 | 30 | 92 | |
| | 注射薬 | 521 | 519 | 629 | 648 | 644 | 596 | 581 | 575 | 666 | 326 | 571 | |
| | 外用薬 | 905 | 902 | 851 | 818 | 893 | 886 | 828 | 824 | 896 | 1,025 | 994 | |
| (再掲)後発医薬品 | 1,488 | 1,460 | 1,142 | 1,209 | 1,008 | 1,082 | 1,558 | 1,580 | 1,234 | 1,809 | 2,229 | | |
| 特定保険医療材料料 | 20 | 19 | 16 | 18 | 13 | 14 | 25 | 25 | 19 | 20 | 29 | | |
| 構成割合(%) | 0.2 | 0.2 | 0.2 | 0.2 | 0.2 | 0.2 | 0.2 | 0.2 | 0.2 | 0.2 | 0.2 | | |
| 対前年度比 (%) | 調剤医療費 | 7.2 | 7.4 | 12.1 | 11.0 | 13.1 | 13.4 | 6.5 | 6.2 | 10.2 | 1.9 | 2.6 | |
| | 技術料 | 4.6 | 4.6 | 5.1 | 4.9 | 5.0 | 5.3 | 4.2 | 4.2 | 4.9 | 3.4 | 3.4 | |
| | 構成割合(%) | ▲ 0.6 | ▲ 0.7 | ▲ 1.8 | ▲ 1.5 | ▲ 2.2 | ▲ 2.1 | ▲ 0.5 | ▲ 0.5 | ▲ 1.3 | 0.4 | 0.2 | |
| | 調剤技術料 | 5.1 | 5.1 | 5.4 | 5.3 | 5.1 | 5.6 | 4.7 | 4.6 | 5.2 | 3.7 | 3.4 | |
| | 調剤基本料 | 7.6 | 7.6 | 6.7 | 6.7 | 6.5 | 6.8 | 7.8 | 7.9 | 7.1 | 8.6 | 9.2 | |
| | 調剤料 | 3.2 | 3.3 | 5.7 | 5.3 | 5.7 | 6.0 | 2.5 | 2.3 | 4.6 | ▲ 0.1 | ▲ 0.9 | |
| | 加算料 | 6.5 | 6.1 | ▲ 3.6 | ▲ 2.7 | ▲ 5.5 | ▲ 4.4 | 6.4 | 6.9 | ▲ 2.0 | 9.0 | 9.4 | |
| | 薬学管理料 | 2.8 | 2.8 | 4.1 | 3.8 | 4.5 | 4.4 | 2.6 | 2.5 | 4.0 | 1.8 | 3.6 | |
| | 薬剤料 | 8.1 | 8.4 | 15.0 | 13.4 | 16.7 | 16.8 | 7.2 | 6.9 | 12.1 | 1.4 | 2.4 | |
| | 構成割合(%) | 0.6 | 0.6 | 1.8 | 1.5 | 2.2 | 2.1 | 0.5 | 0.4 | 1.2 | ▲ 0.4 | ▲ 0.2 | |
| | 内服薬 | 7.4 | 7.7 | 13.8 | 12.3 | 15.2 | 15.4 | 6.6 | 6.3 | 10.9 | 1.1 | 1.7 | |
| | 屯服薬他 | 4.2 | 4.1 | 5.8 | 6.0 | 7.0 | 5.0 | 4.6 | 4.4 | 6.9 | 2.7 | 2.8 | |
| | 注射薬 | 23.0 | 23.1 | 31.6 | 28.5 | 32.4 | 36.4 | 19.8 | 19.4 | 26.7 | 12.8 | 18.4 | |
| | 外用薬 | 5.5 | 5.7 | 11.3 | 9.3 | 14.3 | 13.2 | 4.0 | 3.6 | 9.5 | ▲ 0.3 | ▲ 0.4 | |
| (再掲)後発医薬品 | 13.9 | 14.3 | 16.4 | 15.4 | 17.1 | 17.3 | 11.3 | 11.0 | 15.2 | 12.0 | 6.0 | | |
| 特定保険医療材料料 | 18.1 | 18.5 | 25.6 | 22.6 | 31.4 | 28.7 | 14.5 | 14.2 | 17.6 | 13.3 | 9.8 | | |
| 構成割合(%) | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | |

注1) 「調剤基本料」には、地域支援体制加算(基準調剤加算)、後発医薬品調剤体制加算、夜間・休日等加算、時間外等の加算(調剤基本料に係る部分)、及び在宅患者調剤加算を含めている。

注2) 「内服薬」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「内服」である薬剤をいう。

注3) 「屯服薬他」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「屯服」「内滴」「浸煎」「湯」である薬剤をいう。

注4) 構成割合は対前年度差を示している。

16. 薬効分類別後発医薬品割合(数量ベース、新指標)

後発医薬品割合(数量ベース、新指標)の算出対象となる医薬品(後発医薬品のある先発医薬品及び後発医薬品)の構成割合①をみると、循環器官用薬が24.4%と最も大きく、次いで消化器官用薬が18.0%を占めていた。また、これらの薬効分類における令和2年度末時点の後発医薬品割合は、それぞれ85.4%、90.1%であった。

表16 薬効分類別後発医薬品割合(新指標)

(単位:%)

| | 令和2年度 | | | | | | | | | | | | 構成割合 ①(%) | 構成割合 ②(%) | |
|---------------------------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|--------------|-------|
| | 4月~ 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | | | 3月 |
| 総数 | 81.4 | 80.7 | 80.7 | 80.8 | 80.4 | 80.9 | 81.3 | 81.3 | 81.7 | 81.9 | 82.0 | 82.1 | 82.1 | 100.0 | 100.0 |
| 11 中枢神経系用薬 | 74.0 | 72.4 | 72.7 | 73.2 | 72.5 | 73.5 | 74.0 | 74.6 | 74.9 | 75.1 | 74.5 | 75.0 | 75.3 | 15.4 | 13.7 |
| 111 催眠鎮静剤、抗不安剤 | 70.5 | 69.4 | 69.8 | 69.9 | 70.2 | 70.5 | 70.7 | 70.9 | 71.0 | 71.0 | 71.2 | 70.7 | 70.7 | 3.7 | 2.7 |
| 113 抗てんかん剤 | 61.7 | 59.9 | 60.9 | 60.6 | 61.1 | 61.5 | 61.8 | 62.0 | 62.3 | 62.3 | 62.8 | 63.1 | 62.7 | 1.3 | 1.4 |
| 114 解熱鎮痛消炎剤 | 84.7 | 84.4 | 84.4 | 85.0 | 81.9 | 83.5 | 84.2 | 84.8 | 85.1 | 85.2 | 85.8 | 85.8 | 86.0 | 4.4 | 3.4 |
| 116 抗パーキンソン剤 | 69.9 | 67.5 | 68.8 | 68.8 | 68.8 | 69.9 | 70.0 | 70.2 | 70.7 | 70.5 | 71.1 | 71.6 | 71.4 | 0.8 | 0.7 |
| 117 精神神経用剤 | 69.6 | 67.8 | 68.3 | 68.5 | 68.9 | 69.2 | 69.5 | 69.7 | 70.1 | 70.4 | 70.7 | 70.8 | 70.9 | 4.1 | 3.6 |
| 119 その他中枢神経系用薬 | 75.6 | 80.1 | 80.4 | 82.0 | 67.6 | 74.1 | 77.1 | 78.4 | 79.5 | 80.2 | 70.4 | 74.6 | 76.6 | 1.0 | 1.7 |
| 12 末梢神経系用薬 | 81.1 | 79.6 | 80.1 | 80.3 | 80.7 | 81.0 | 81.2 | 81.4 | 81.6 | 81.6 | 81.9 | 82.0 | 82.0 | 0.8 | 0.7 |
| 124 鎮痙剤 | 82.2 | 80.7 | 81.2 | 81.5 | 81.8 | 82.0 | 82.2 | 82.5 | 82.6 | 82.6 | 82.9 | 83.0 | 83.0 | 0.7 | 0.5 |
| 13 感覚器官用薬 | 69.0 | 68.2 | 68.0 | 68.1 | 68.0 | 68.5 | 68.8 | 69.1 | 69.4 | 69.3 | 69.8 | 70.5 | 70.6 | 1.5 | 1.5 |
| 131 眼科用剤 | 69.9 | 67.6 | 69.0 | 69.7 | 69.2 | 70.0 | 69.7 | 69.9 | 70.0 | 70.0 | 70.2 | 71.2 | 71.2 | 0.6 | 0.8 |
| 133 鎮暈剤 | 68.4 | 68.5 | 67.2 | 67.0 | 67.1 | 67.4 | 68.1 | 68.5 | 68.9 | 68.8 | 69.4 | 69.6 | 69.8 | 0.9 | 0.6 |
| 21 循環器官用薬 | 84.4 | 83.2 | 83.5 | 83.7 | 83.6 | 84.1 | 84.2 | 84.5 | 84.8 | 84.9 | 85.2 | 85.3 | 85.4 | 24.4 | 17.5 |
| 212 不整脈用剤 | 78.4 | 76.7 | 77.1 | 77.4 | 77.6 | 78.1 | 78.2 | 78.6 | 78.8 | 79.1 | 79.5 | 79.6 | 79.7 | 1.7 | 1.1 |
| 213 利尿剤 | 92.3 | 91.6 | 91.7 | 91.9 | 91.9 | 92.2 | 92.4 | 92.2 | 92.5 | 92.7 | 93.0 | 92.9 | 93.1 | 1.4 | 1.1 |
| 214 血圧降下剤 | 83.9 | 82.5 | 82.9 | 83.1 | 83.3 | 83.7 | 83.8 | 84.1 | 84.4 | 84.5 | 84.8 | 84.9 | 85.0 | 7.0 | 5.3 |
| 217 血管拡張剤 | 84.7 | 83.8 | 83.9 | 84.0 | 84.2 | 84.4 | 84.5 | 84.7 | 84.9 | 85.0 | 85.3 | 85.4 | 85.6 | 6.9 | 4.3 |
| 218 高脂血症用剤 | 85.4 | 84.6 | 84.9 | 85.2 | 84.0 | 84.8 | 85.1 | 85.5 | 85.8 | 85.9 | 86.3 | 86.4 | 86.4 | 6.0 | 4.2 |
| 219 その他の循環器官用薬 | 81.5 | 79.6 | 80.2 | 80.3 | 80.8 | 81.1 | 81.3 | 81.8 | 82.2 | 82.6 | 83.0 | 82.9 | 82.8 | 1.3 | 1.3 |
| 22 呼吸器官用薬 | 83.8 | 83.0 | 82.8 | 83.1 | 83.0 | 83.6 | 83.6 | 83.6 | 84.1 | 84.2 | 84.8 | 84.6 | 84.6 | 3.8 | 2.9 |
| 223 去痰剤 | 85.7 | 84.9 | 85.0 | 85.5 | 85.1 | 85.6 | 85.7 | 85.6 | 85.9 | 85.9 | 86.4 | 86.3 | 86.2 | 2.8 | 1.8 |
| 225 気管支拡張剤 | 64.9 | 63.8 | 63.1 | 63.4 | 63.5 | 64.3 | 64.7 | 64.7 | 65.3 | 65.6 | 66.4 | 66.6 | 66.5 | 0.5 | 0.4 |
| 23 消化器官用薬 | 89.7 | 89.1 | 89.2 | 89.2 | 89.4 | 89.5 | 89.6 | 89.7 | 89.9 | 89.9 | 90.1 | 90.1 | 90.1 | 18.0 | 15.3 |
| 231 止しゃ剤、整腸剤 | 98.5 | 98.4 | 98.4 | 98.3 | 98.4 | 98.4 | 98.4 | 98.5 | 98.5 | 98.5 | 98.6 | 98.6 | 98.6 | 0.9 | 2.1 |
| 232 消化性潰瘍用剤 | 83.6 | 82.7 | 83.0 | 83.0 | 83.2 | 83.4 | 83.6 | 83.7 | 83.9 | 83.9 | 84.3 | 84.3 | 84.4 | 7.5 | 5.8 |
| 234 制酸剤 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 4.5 | 2.8 |
| 235 下剤、浣腸剤 | 96.3 | 96.1 | 96.1 | 96.1 | 96.2 | 96.2 | 96.3 | 96.3 | 96.3 | 96.4 | 96.4 | 96.4 | 96.4 | 1.4 | 1.4 |
| 236 利胆剤 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 1.3 | 1.0 |
| 239 その他の消化器官用薬 | 74.4 | 73.2 | 73.1 | 73.3 | 73.7 | 74.0 | 74.1 | 74.9 | 75.2 | 75.3 | 75.3 | 74.8 | 74.8 | 2.2 | 1.7 |
| 24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む) | 92.4 | 96.0 | 96.1 | 96.4 | 88.7 | 90.9 | 90.8 | 91.5 | 91.9 | 92.0 | 92.0 | 92.8 | 92.9 | 0.6 | 1.8 |
| 25 泌尿生殖器官および肛門用薬 | 83.5 | 83.3 | 83.7 | 84.3 | 80.6 | 82.0 | 82.7 | 83.4 | 83.9 | 84.1 | 84.6 | 84.8 | 85.0 | 1.6 | 1.7 |
| 259 その他の泌尿生殖器官および肛門用薬 | 82.5 | 82.3 | 82.8 | 83.4 | 79.3 | 80.8 | 81.6 | 82.3 | 82.9 | 83.1 | 83.7 | 83.9 | 84.0 | 1.4 | 1.4 |
| 26 外用薬 | 56.4 | 54.1 | 54.9 | 55.6 | 56.0 | 56.3 | 56.7 | 56.9 | 57.0 | 56.9 | 57.3 | 57.5 | 57.6 | 8.3 | 6.3 |
| 264 鎮痛、鎮痙、収斂、消炎剤 | 57.3 | 54.9 | 55.7 | 56.4 | 56.7 | 57.0 | 57.5 | 57.7 | 57.9 | 58.0 | 58.3 | 58.4 | 58.6 | 7.5 | 5.4 |
| 31 ビタミン剤 | 93.3 | 96.0 | 96.2 | 96.2 | 96.3 | 96.7 | 96.8 | 90.0 | 90.5 | 90.8 | 91.0 | 91.2 | 91.3 | 4.1 | 3.8 |
| 311 ビタミンAおよびD剤 | 77.9 | 80.8 | 81.2 | 81.3 | 81.6 | 89.2 | 90.6 | 71.6 | 73.2 | 74.1 | 74.9 | 75.5 | 75.8 | 1.1 | 0.9 |
| 313 ビタミンB剤(ビタミンB1剤を除く) | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 2.5 | 1.8 |
| 32 滋養強壮薬 | 87.2 | 86.2 | 86.5 | 86.7 | 86.9 | 87.1 | 87.2 | 87.4 | 87.5 | 87.6 | 87.7 | 87.7 | 87.9 | 0.7 | 4.1 |
| 322 無機質製剤 | 88.0 | 86.8 | 87.0 | 87.4 | 87.6 | 87.8 | 88.0 | 88.2 | 88.2 | 88.4 | 88.6 | 88.6 | 88.8 | 0.5 | 0.6 |
| 325 蛋白アミノ酸製剤 | 50.0 | 50.6 | 49.4 | 49.4 | 50.5 | 49.8 | 49.6 | 50.1 | 50.1 | 49.3 | 50.3 | 50.0 | 50.2 | 0.1 | 3.2 |
| 33 血液・体液用薬 | 92.9 | 92.1 | 92.3 | 92.2 | 92.0 | 92.3 | 92.3 | 92.9 | 93.5 | 93.8 | 93.7 | 93.8 | 93.7 | 8.1 | 7.9 |
| 333 血液凝固阻止剤 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 3.1 | 4.5 |
| 339 その他の血液・体液用薬 | 87.1 | 86.2 | 86.5 | 86.6 | 86.8 | 87.1 | 87.2 | 87.3 | 87.5 | 87.5 | 87.6 | 87.7 | 87.6 | 4.4 | 2.9 |
| 39 その他の代謝性医薬品 | 77.0 | 76.7 | 77.0 | 77.2 | 76.0 | 76.7 | 76.9 | 76.5 | 76.9 | 77.1 | 77.3 | 77.8 | 77.8 | 5.8 | 8.1 |
| 394 痛風治療剤 | 85.1 | 84.4 | 84.5 | 84.6 | 84.9 | 85.1 | 85.1 | 85.4 | 85.4 | 85.4 | 85.6 | 85.7 | 85.6 | 1.0 | 1.4 |
| 396 糖尿病用剤 | 82.2 | 81.9 | 82.2 | 82.6 | 80.2 | 81.1 | 81.5 | 82.0 | 82.3 | 82.6 | 82.9 | 83.4 | 83.7 | 3.0 | 4.9 |
| 399 他に分類されない代謝性医薬品 | 69.9 | 69.9 | 70.3 | 70.1 | 69.9 | 70.2 | 70.8 | 68.6 | 69.2 | 69.5 | 69.7 | 70.2 | 70.2 | 1.5 | 1.5 |
| 42 腫瘍用薬 | 79.2 | 76.8 | 77.7 | 78.0 | 78.3 | 79.0 | 79.0 | 79.6 | 80.0 | 80.0 | 80.4 | 80.8 | 80.5 | 0.3 | 0.3 |
| 422 代謝拮抗剤 | 80.4 | 76.9 | 77.5 | 78.2 | 79.1 | 79.8 | 80.3 | 81.1 | 81.8 | 81.8 | 82.7 | 82.6 | 82.7 | 0.1 | 0.1 |
| 429 その他の腫瘍用薬 | 78.8 | 76.8 | 77.8 | 77.9 | 78.0 | 78.7 | 78.6 | 79.0 | 79.5 | 79.5 | 79.6 | 80.2 | 79.8 | 0.3 | 0.2 |
| 44 アレルギー用薬 | 78.8 | 79.0 | 79.1 | 79.5 | 76.3 | 77.4 | 78.3 | 78.0 | 78.4 | 78.6 | 79.4 | 80.2 | 79.6 | 5.5 | 4.1 |
| 449 その他アレルギー用薬 | 78.8 | 79.1 | 79.2 | 79.7 | 76.3 | 77.5 | 78.3 | 78.0 | 78.4 | 78.6 | 79.4 | 80.2 | 79.5 | 5.2 | 3.9 |
| 52 漢方製剤 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 0.0 | 8.5 |
| 61 抗生物質製剤 | 76.8 | 75.7 | 75.9 | 76.0 | 76.0 | 76.5 | 76.7 | 76.5 | 77.2 | 77.1 | 78.2 | 78.1 | 77.8 | 0.8 | 0.7 |
| 613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの | 73.3 | 71.7 | 71.7 | 72.2 | 72.2 | 72.7 | 73.1 | 73.2 | 73.9 | 73.8 | 74.8 | 74.8 | 74.8 | 0.3 | 0.3 |
| 614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの | 79.4 | 78.4 | 78.9 | 79.2 | 78.9 | 79.5 | 79.5 | 78.9 | 79.6 | 79.5 | 80.6 | 80.4 | 79.9 | 0.3 | 0.3 |
| 62 化学療法剤 | 69.2 | 67.0 | 67.7 | 68.3 | 68.8 | 69.5 | 69.3 | 69.9 | 70.0 | 69.8 | 70.3 | 70.4 | 70.0 | 0.4 | 0.4 |
| 624 合成抗菌剤 | 75.3 | 73.3 | 74.3 | 75.0 | 75.0 | 75.7 | 75.7 | 75.4 | 75.7 | 75.2 | 76.5 | 76.3 | 76.1 | 0.1 | 0.1 |
| 625 抗ウイルス剤 | 72.4 | 70.4 | 71.3 | 71.4 | 72.1 | 72.6 | 72.4 | 72.9 | 73.1 | 72.5 | 73.3 | 73.6 | 73.2 | 0.1 | 0.1 |

注1) 構成割合①は、新指標の分母である「後発医薬品のある先発医薬品の数量」+「後発医薬品の数量」について、各薬効分類の令和2年度中の医薬品数量が占める割合を示している。したがって、「後発医薬品のない先発医薬品」や「その他の品目」は含まれていない。

注2) 構成割合②は、「先発医薬品」、「後発医薬品」及び「その他の品目」全てを含んだ全医薬品における、令和2年度中の構成割合(数量ベース)を示している。

注3) 「その他の品目」は、厚生労働省ホームページ「薬価基準収載品目リスト及び後発医薬品に関する情報について」中の「5. その他(各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報)」において、「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報」が☆、★又は空欄となっている医薬品を示す。

注4) 表示していない項目(薬効)があるので、構成割合を足しあげても総数と一致しない。

注5) 全ての剤形を含んでいる。

(参考) 分類別構成割合(数量ベース)(令和2年度)

| | 構成割合 |
|---------------|-------|
| 後発医薬品のない先発医薬品 | 16.8 |
| 後発医薬品のある先発医薬品 | 11.6 |
| 後発医薬品 | 50.6 |
| その他の品目 | 19.8 |
| 計 | 100.0 |

1.7. 後発医薬品割合の市町村別状況

1. 後発医薬品割合の都道府県別分布状況

各都道府県における、市町村別後発医薬品割合（数量ベース、新指標）の最小値、中央値、最大値等を箱ひげ図により示している。

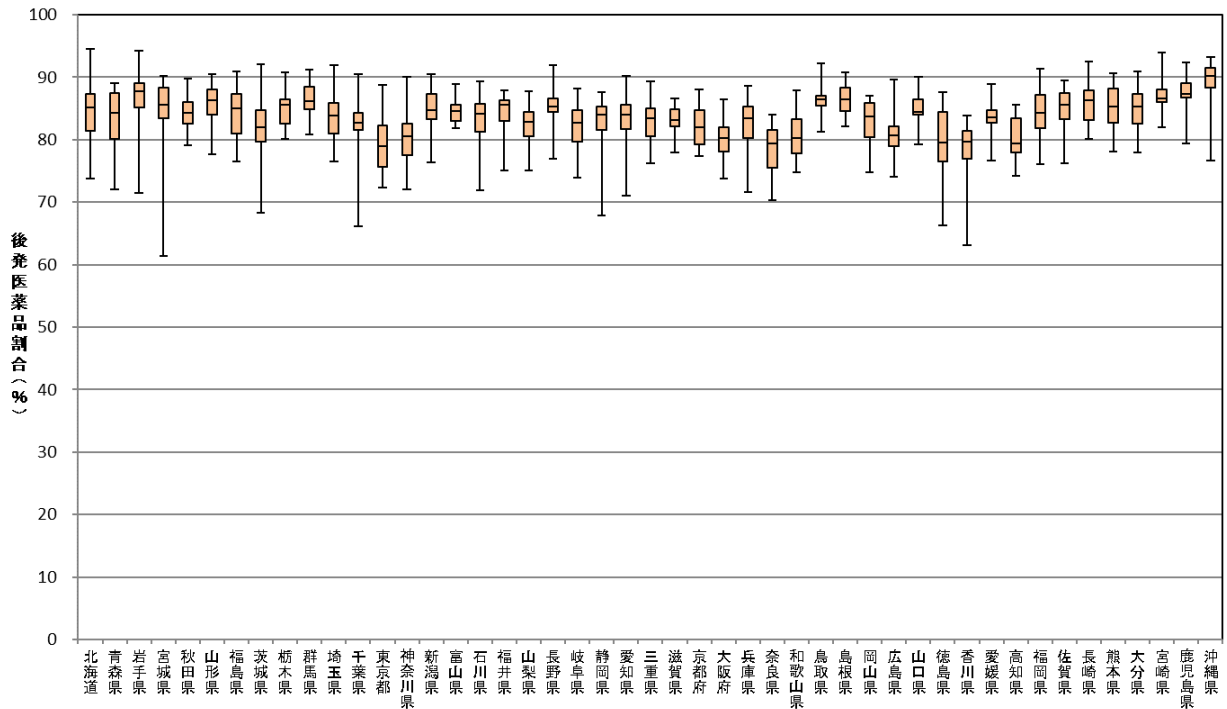
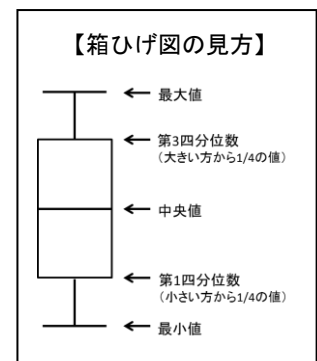


図1 各都道府県における市町村別後発医薬品割合（数量ベース、新指標）

- (注1) 該当地域内に所在する薬局のデータにより集計している。(令和3年3月調剤分)
- (注2) 各市町村において、保険請求のあった薬局が3軒以下の地域は除外している。
- (注3) 長方形の下側の辺は第1四分位数、上側の辺は第3四分位数、中央の線は中央値、ひげの両端が最大値、最小値である。



この資料に関する詳細は、厚生労働省のホームページに掲載しています。

掲載場所 (URL) <https://www.mhlw.go.jp/topics/medias/year/20/gaiyou.html>

2. 後発医薬品割合の特に高い市町村

表 17 市町村別後発医薬品割合（数量ベース、新指標）（上位 20 位）

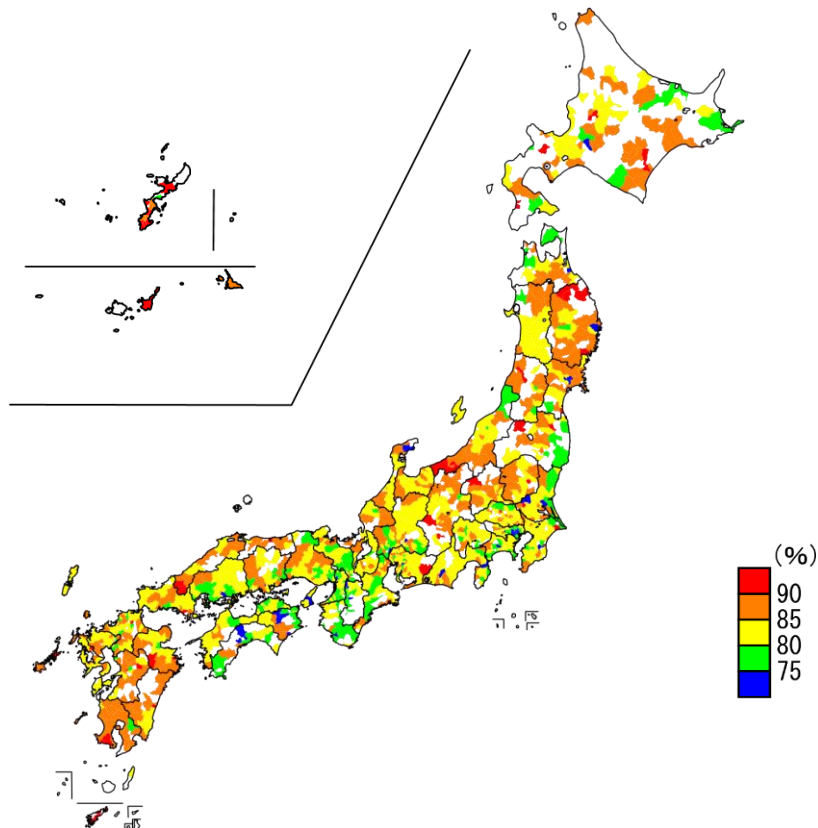
| 順位 | 都道府県 | 市町村名 | 割合 (%) | 順位 | 都道府県 | 市町村名 | 割合 (%) |
|----|------|---------------------------------|--------|----|------|---------------------------|--------|
| 1 | 北海道 | アカヒラシ 赤平市 | 94.5 | 11 | 茨城 | エウキゲンヤチヨマチ 結城郡八千代町 | 92.1 |
| 2 | 岩手 | クハゲンカルマイマチ 九戸郡軽米町 | 94.3 | 12 | 埼玉 | ヒキゲンナカワマチ 比企郡滑川町 | 92.0 |
| 3 | 宮崎 | ユウケンシントミチヨウ 児湯郡新富町 | 94.0 | 13 | 岩手 | ニノゲンイチハマチ 二戸郡一戸町 | 92.0 |
| 4 | 沖縄 | シマジリケンヨナバルチヨウ 島尻郡与那原町 | 93.3 | 14 | 長野 | キソケンキソマチ 木曾郡木曾町 | 91.9 |
| 5 | 岩手 | クダシ 久慈市 | 92.5 | 15 | 沖縄 | ナカガミケンナカガスケン 中頭郡中城村 | 91.8 |
| 6 | 沖縄 | イトマンシ 糸満市 | 92.5 | 16 | 沖縄 | イシカキシ 石垣市 | 91.7 |
| 7 | 長崎 | ミナミマツウケンシンカミコトウチヨウ 南松浦郡新上五島町 | 92.5 | 17 | 沖縄 | ナンジヨウシ 南城市 | 91.5 |
| 8 | 沖縄 | シマジリケンヤエセチヨウ 島尻郡八重瀬町 | 92.4 | 18 | 長崎 | ヒカシノキケンハサミチヨウ 東彼杵郡波佐見町 | 91.4 |
| 9 | 鹿児島 | オオシマケンセウチチヨウ 大島郡瀬戸内町 | 92.3 | 19 | 長野 | シモイナケンカモリマチ 下伊那郡高森町 | 91.3 |
| 10 | 鳥取 | トウバケンユリハマチヨウ 東伯郡湯梨浜町 | 92.2 | 20 | 福岡 | タカワケンフチマチ 田川郡福智町 | 91.3 |

(注 1) 該当地域内に所在する薬局のデータにより集計している。(令和 3 年 3 月調剤分)

(注 2) 各市町村において、保険請求のあった薬局が 3 軒以下の地域は除外している。

3. 市町村別後発医薬品割合マップ

図 2 市町村別後発医薬品割合マップ（数量ベース、新指標）



(注 1) 該当地域内に所在する薬局のデータにより集計している。(令和 3 年 3 月調剤分)

(注 2) 集計月において保険請求のあった薬局数が 3 軒以下の市町村は空白にしている。

令和4年度予算概算要求(保険局関係)参考資料

| | |
|---|----|
| 1. 国民健康保険への財政支援 | 2 |
| 2. 被用者保険への財政支援 | 3 |
| 3. 医療分野におけるICTの利活用の促進等 | |
| ① 医療保険分野における番号制度の利活用の推進 | 8 |
| ② データヘルス分析関連サービスの構築に向けた整備 | 12 |
| ③ 統合的かつ効率的な審査支払機能の運用に向けたシステム整備の支援 | 13 |
| ④ 訪問看護レセプト請求の電子化に向けたシステム整備の支援 | 14 |
| 4. 健康寿命の延伸に向けた予防・重症化予防・健康づくり | |
| ① 保険者のインセンティブ強化(国保・保険者努力支援制度) | 15 |
| ② データヘルス(医療保険者によるデータ分析に基づく保健事業)の効果的な実施の推進 | |
| ア レセプト・健診情報等の分析に基づいた保健事業等の推進 | 16 |
| イ 保険者協議会における保健事業の効果的な実施への支援 | 21 |
| ウ 40歳未満の事業主健診情報の活用に向けたシステム構築の支援 | 22 |
| ③ 先進事業等の好事例の横展開等 | |
| ア 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の全国的な横展開の推進等 | 23 |
| イ 糖尿病性腎症患者等の重症化予防の取組への支援 | 25 |
| ウ 健康寿命の延伸に向けた歯科口腔保健の推進等 | 26 |
| ④ 保険者の予防・健康インセンティブの取組への支援 | 27 |
| ⑥ 健康増進効果等に関する実証事業の実施 | 28 |
| ⑨ 保険者とかかりつけ医等の共働による加入者の予防健康づくりの実施 | 30 |
| 5. 避難指示区域等での医療保険制度の特別措置(復興) | 31 |

国保改革による財政支援の拡充について

○ 国保の財政運営を都道府県単位化する国保改革とあわせ、毎年約3,400億円の財政支援の拡充を行う。

<2015年度（平成27年度）から実施>（約1,700億円）

○ **低所得者対策の強化**
（低所得者数に応じた自治体への財政支援を拡充）

1,700億円

<2018年度（平成30年度）から実施>（約1,700億円）

○ **財政調整機能の強化**
（精神疾患や子どもの被保険者数など自治体の責めによらない要因への対応）

800億円

○ **保険者努力支援制度**
（医療費の適正化に向けた取組等に対する支援）

840億円
（2019年度～2021年度は
910億円）

○ **財政リスクの分散・軽減方策**
（高額医療費への対応）

60億円

※ 保険料軽減制度を拡充するため、2014年度（平成26年度）より別途500億円の公費を投入

※ 2015～2018年度（平成27～30年度）予算において、2,000億円規模の財政安定化基金を積み立て

※ 保険者努力支援制度については、2020年度より、上記とは別に新規500億円により予防・健康づくりを強力に推進

【参考】

（単位：億円）

| | 2015年度 （平成27年度） | 2016年度 （平成28年度） | 2017年度 （平成29年度） | 2018年度 （平成30年度） | 2019年度 （令和元年度） | 2020年度 （令和2年度） | 2021年度 （令和3年度） |
|--------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 低所得者対策の強化 | 1,700 | 1,700 | 1,700 | 1,700 | 1,700 | 1,700 | 1,700 |
| 財政調整機能の強化・ 保険者努力支援制度等 | — | — | — | 1,700 | 1,770 | 1,770 | 1,770 |
| 財政安定化基金の造成 ＜積立総額＞ | 200 ＜200＞ | 400 ＜600＞ | 1,100 ＜1,700＞ | 300 ＜2,000＞ | — ＜2,000＞ | — ＜2,000＞ | — ＜2,000＞ |

被用者保険の拠出金に対する支援

令和4年度概算要求額：820億円
(令和3年度予算額：820億円)

- 被用者保険の負担が増加する中で、拠出金負担の重い被用者保険者への支援を実施する。
- 具体的には、①平成29年度から対象を拡大した拠出金負担が重い保険者への負担軽減対策において、拡大分に該当する保険者の負担を保険者相互の拠出と国費の折半により軽減する(枠組みを法律に規定し、制度化を行う。)とともに、②平成27年度から段階的に拡充してきた高齢者医療運営円滑化等補助金により、前期高齢者納付金の負担軽減を図る。

(参考)平成27年度(予算額:308億円)
平成28年度(予算額:370億円)

・平成29年度(予算額:820億円)
・平成30年度(予算額:820億円)

・令和元年度(予算額:820億円)
・令和2年度(予算額:820億円)
・令和3年度(予算案:820億円)

○ 高齢者医療運営円滑化等補助金を段階的に拡充。

○ (平成27年度)既存分(199億円)※に拡充分109億円を加えた308億円規模の補助金により、被用者保険者の前期高齢者納付金、後期高齢者支援金等の負担軽減を実施。

※ 総報酬に占める拠出金負担の重い被用者保険者等に対する負担軽減。

○ (平成28年度)既存分(160億円)に、拡充分の210億円を加えた370億円規模の補助金により、被用者保険者の負担軽減等を更に拡充。

〔その他に適用拡大に伴う給付費増に対する財政支援を別途措置。〕

○ 高齢者医療運営円滑化等補助金を拡充し、前期高齢者納付金負担の負担増の緩和のため、被用者保険者等への負担軽減を実施。(600億円)

※ 団塊世代が前期高齢者に到達することにより、納付金負担が増大することから、前期高齢者への移行前の平成23年度からの伸び等に着眼して、負担軽減を行う。

○ 現在、保険者の支え合いで実施している拠出金(後期高齢者支援金、前期高齢者納付金)負担の特に重い保険者の負担軽減策の対象を拡大し※1、拡大分に該当する保険者の負担軽減の費用は、保険者の支え合い※2と国費で折半する。(100億円)

※1 拡大分は、国費を投入することから、財政力(総報酬)が平均以下の保険者に限定

※2 保険者の支え合い部分に各保険者の医療費水準を反映

○ 上記に、既存分(約120億円)を加えた820億円規模の補助金財源により、被用者保険者の負担軽減を実施。

〔その他に適用拡大に伴う財政支援(平成28年度からの時限付き予算)を別途措置。〕

○ 高齢者医療運営円滑化等補助金を維持し、前期高齢者納付金負担の負担増の緩和のため、被用者保険者等への負担軽減を実施。(600億円)

※ 令和元年度からは、600億円の財源を活用して、前期高齢者納付金の単年度の急激な伸び等に着眼した負担軽減を行っている。

○ 負担軽減策の対象となる※1拠出金負担の特に重い保険者の負担軽減の費用を、引き続き、保険者の支え合い※2と国費で折半する。(100億円)

※1 拡大分は、国費を投入することから、財政力(総報酬)が平均以下の保険者に限定

※2 保険者の支え合い部分に各保険者の医療費水準を反映

○ 上記に、既存分(約120億円)を加えた820億円規模の補助金財源により、被用者保険者の負担軽減を実施。

被用者保険者への支援について

| | 特別負担調整 (高齢者医療特別負担調整交付金) | 高齢者医療運営円滑化等補助金 | | |
|------------------|---|--|---|---|
| | | (既存分) | (新規分) | |
| 予算額 (令和3年度) | 100億円 | 120.4億円 | 600億円(※1) | |
| 開始年度 ・概要 | <p><平成29年度から> <u>拠出金負担が、義務的支出(※2)に比べ過大な保険者の負担を全保険者で按分する仕組みを拡大し、拡大部分に国費を一部充当して負担軽減を行う。</u></p> <p>[拠出金負担(前期高齢者納付金及び後期高齢者支援金)の軽減措置]</p> | <p><平成2年度から> <u>被用者保険の拠出金負担増の緩和を図ることを目的として、総報酬に占める前期高齢者納付金の割合(所要保険料率)が重い保険者に対して負担軽減を行う。(※3)</u></p> <p>[前期高齢者納付金負担の軽減措置]</p> | <p><平成27年度から> <u>団塊世代が前期高齢者に到達することにより、前期高齢者納付金が増加することが見込まれることから、納付金負担が過大となる保険者の負担を軽減するため、前期高齢者納付金負担の伸びに着目した負担軽減を行う。</u></p> | |
| 対象組合数 (令和3年度) | 128組合(健125、共3) | 1,150組合(健1,086、共64)(※4) | | |
| 助成額 | 100億円 | 120.4億円(220組合) | 497.3億円(970組合) 102.5億円(399組合) | |
| 助成要件 (令和3年度) | <ul style="list-style-type: none"> ・義務的支出に占める拠出金負担の割合が54.352%以上の保険者については、その過大な負担分を全保険者で按分し、 ・それに加えて、財政力が平均以下の保険者に限り、50.05511%以上54.352%未満である部分の2分の1を国庫補助し、残りの2分の1部分を全保険者で按分する。 <p>⇒ 結果として、該当する保険者は、拠出金負担の割合が50.05511%を超えないこととなる。</p> | <p>(既存分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所要保険料率が健保組合平均(約1.80%)の1.1倍以上、かつ、 ・被保険者一人当たり総報酬額が健保組合平均(567.4万円)未満の保険者を対象とする。 <p>[</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1.3倍～ 60%助成 ・1.2倍～1.3倍 30%助成 ・1.1倍～1.2倍 15%助成(※5) <p>]</p> | <p>(新規分:平成27年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加入者一人当たりの前期高齢者納付金について、団塊世代の前期高齢者への移行前の平成23年度から令和3年度への伸び率が大きい保険者に対し、伸び率に応じて助成する。 <p>[</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2.5倍～ 71%助成 ・2.0倍～2.5倍 51%助成 ・1.5倍～2.0倍 31%助成 ・1.35倍～1.5倍 11%助成 ・1.2倍～1.35倍 約2.24%助成 <p>]</p> | <p>(急増分:令和元年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加入者一人当たりの前期高齢者納付金について、令和2年度から令和3年度(単年度)又は令和元年度及び令和2年度の平均値(2年平均)から令和3年度への伸び率に応じて助成する。 <p>[</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2.0倍～ 70%助成 ・1.5倍～2.0倍 50%助成 ・1.1倍(又は、2年平均で1.05倍)～1.5倍 30%助成 <p>]</p> |

(※1) 旧臨給(指定組合の保険給付等に要する費用に対して行う助成事業)7.9億円を含む。

(※2) 法定給付費等+後期高齢者支援金+前期高齢者納付金

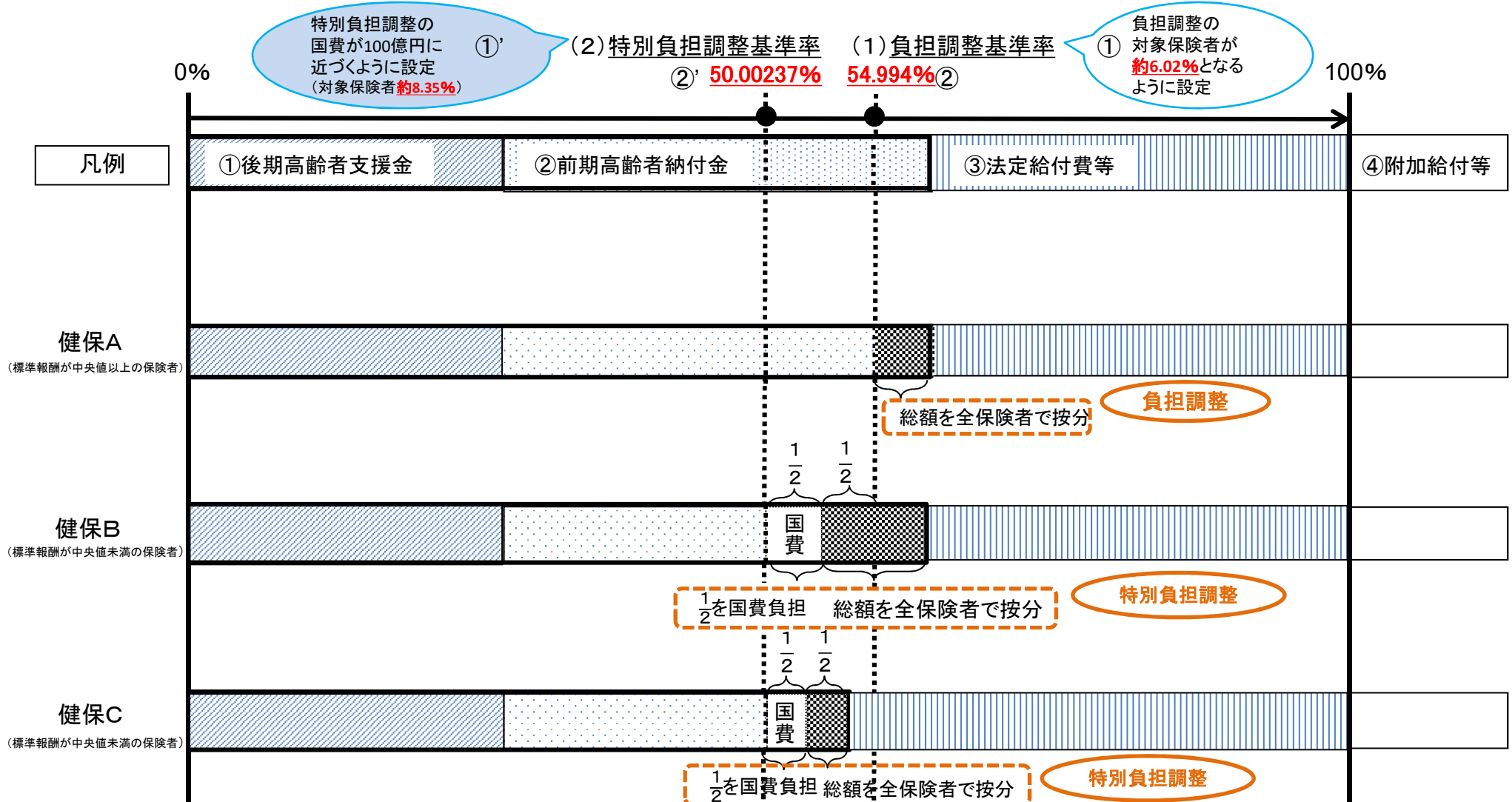
(※3) 平成29年度から被用者保険者の後期高齢者支援金の全面総報酬割が導入されたことから、所要保険料率の算出については前期高齢者納付金のみを対象としている。

(※4) 既存分・新規分(伸び率)・急増分それぞれで対象となっている保険者がいるため、重複を考慮すると1,150組合となる。

(※5) 15%助成は、全体の予算規模を勘案の上、実質約3.63%助成となる。

負担調整基準率・特別負担調整基準率について

○ 被用者保険における後期高齢者支援金・前期高齢者納付金の負担が増加する中で、拠出金（前期高齢者納付金・後期高齢者支援金）の負担が重い保険者を支援するため、拠出金負担が、義務的支出（前期高齢者納付金・後期高齢者支援金・法定給付費等）に比して過大となる保険者について、その過大部分を全保険者で按分し、前期高齢者納付金で調整している。

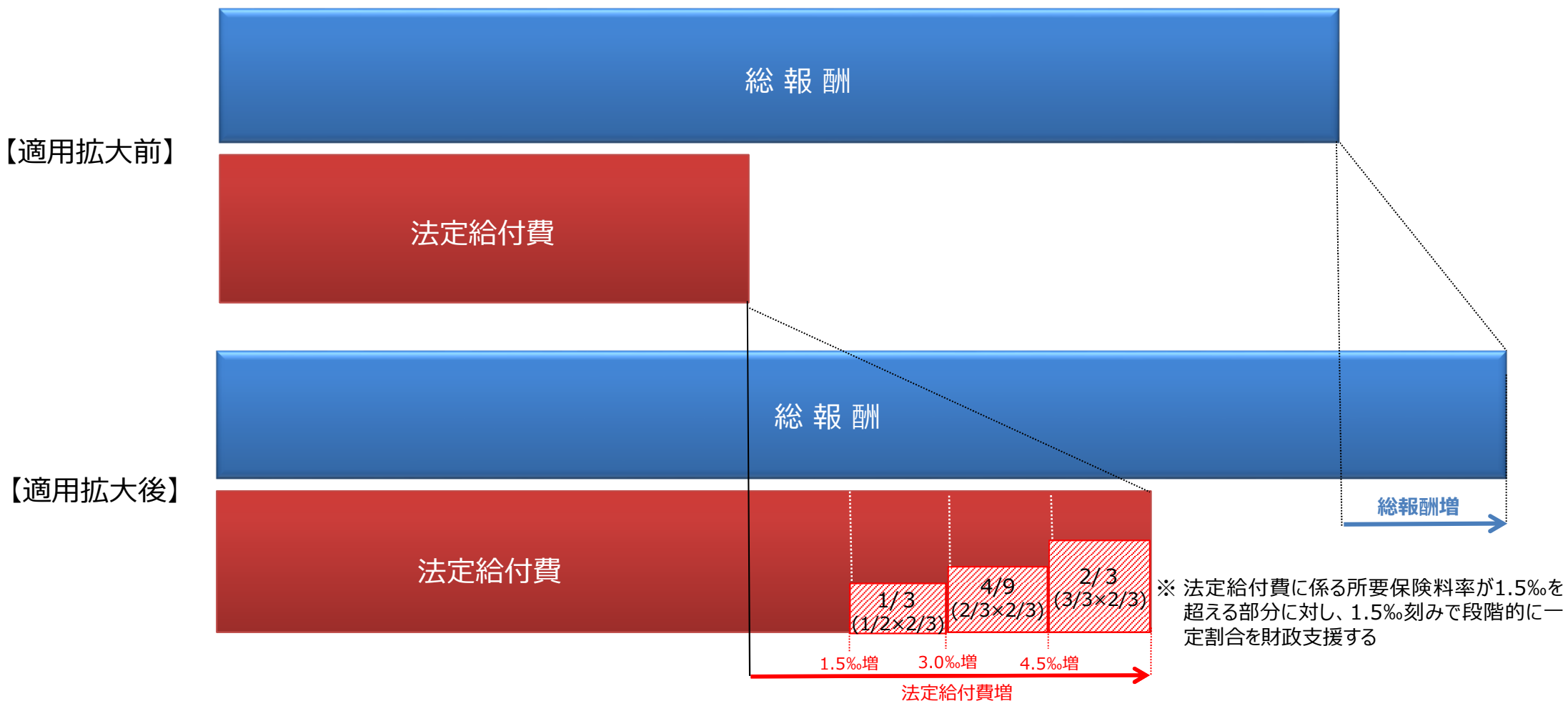


1. 目的

年金制度の機能強化のための国民年金法等の一部を改正する法律に基づき、令和4年10月より短時間労働者の適用拡大が施行されることで、加入者増に伴う法定給付費増により、財政が逼迫する恐れのある健康保険組合に対して、法定給付費の増加等に着目した財政支援を行う。

2. 補助額のイメージ

適用拡大の結果、加入者が増加したことで、法定給付費に係る所要保険料率（＝法定給付費／総報酬額）が増加する組合に対し、段階的に一定割合を財政支援する。



新型コロナウイルス感染症禍における健保組合への財政支援

新型コロナウイルス感染症の影響を受け保険料収入が急減したことにより、財政運営が極めて困難となった健保組合に対し財政支援を行う。

補助イメージ

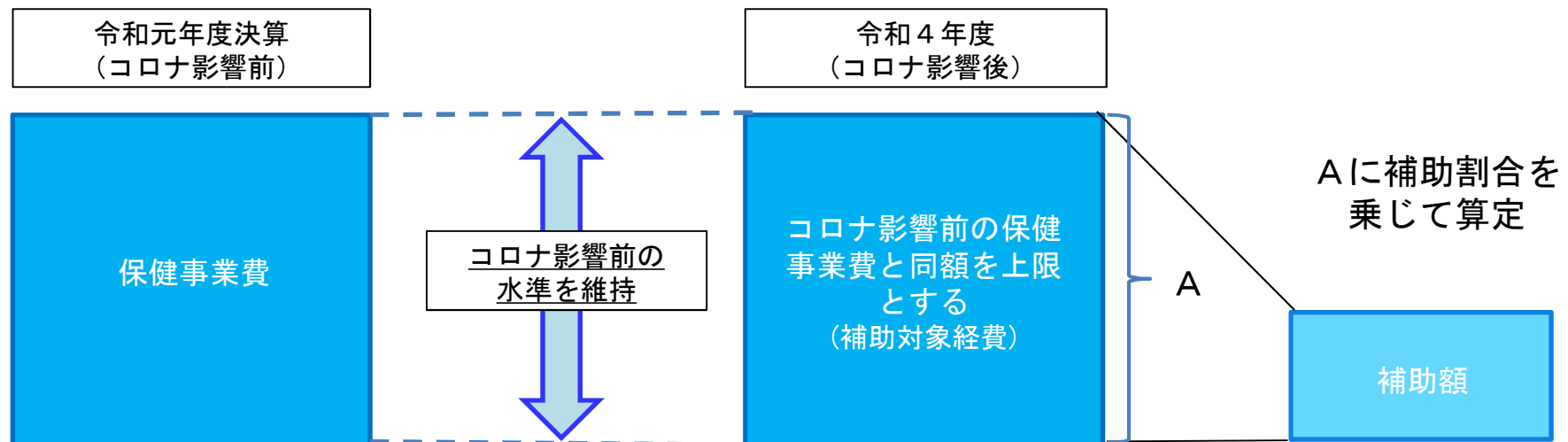
○対象組合

次の全ての基準に該当する健保組合。

- ① 保険料率が9.5%以上
 - ② 財源率が9.0%超、
 - ③ 保有資産が200%未満、
 - ④ 単年度経常赤字
- ※ 保険料のコロナ特例猶予についても上記要件に加味する

○補助割合

- a) 被保険者1人あたり保健事業費が全組合の1/4未満の組合 ⇒ 1/2
- b) 被保険者1人あたり保健事業費が全組合の1/4以上2/3未満の組合 ⇒ 1/4



訪問診療等の医療保険オンライン資格確認等の仕組みの構築

令和4年度概算要望額：6.5億円

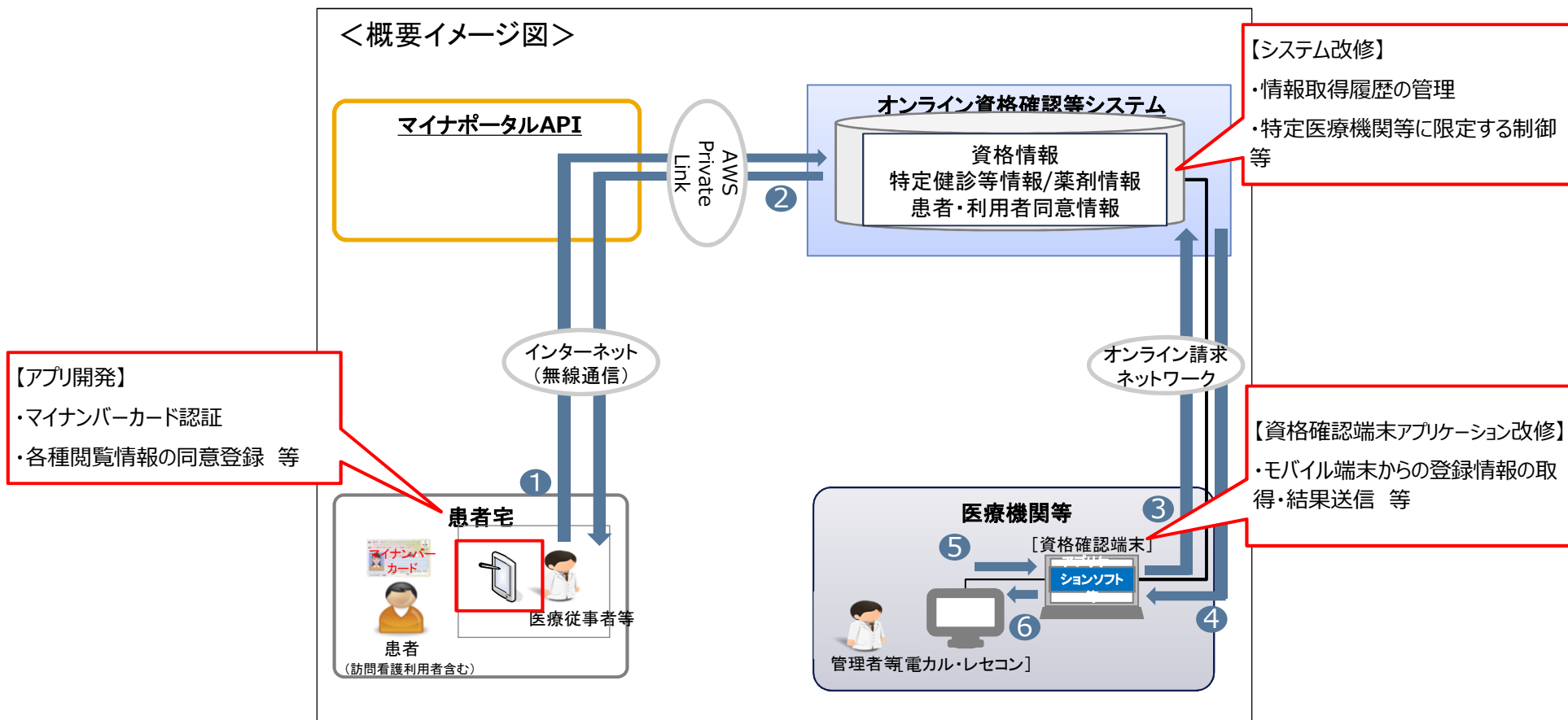
患者宅にて、モバイル端末とマイナンバーカードを用いて、医療保険オンライン資格確認等を行える仕組みを構築する。
 (既存のオンライン資格確認等システムの機能を利用するため、導入済の医療機関等が利用できる仕組みとなる。)

- 本人確認及び各種閲覧情報に係る同意を、モバイル端末で行う。
- 医療機関等は、モバイル端末からの情報を受け、既存の仕組みにより、資格確認端末や電カル・レセコン端末等で、資格情報及び同意された閲覧情報を参照する。

<開発対象>

モバイル端末アプリの開発、オンライン資格確認等システムの改修、資格確認端末アプリケーションの改修

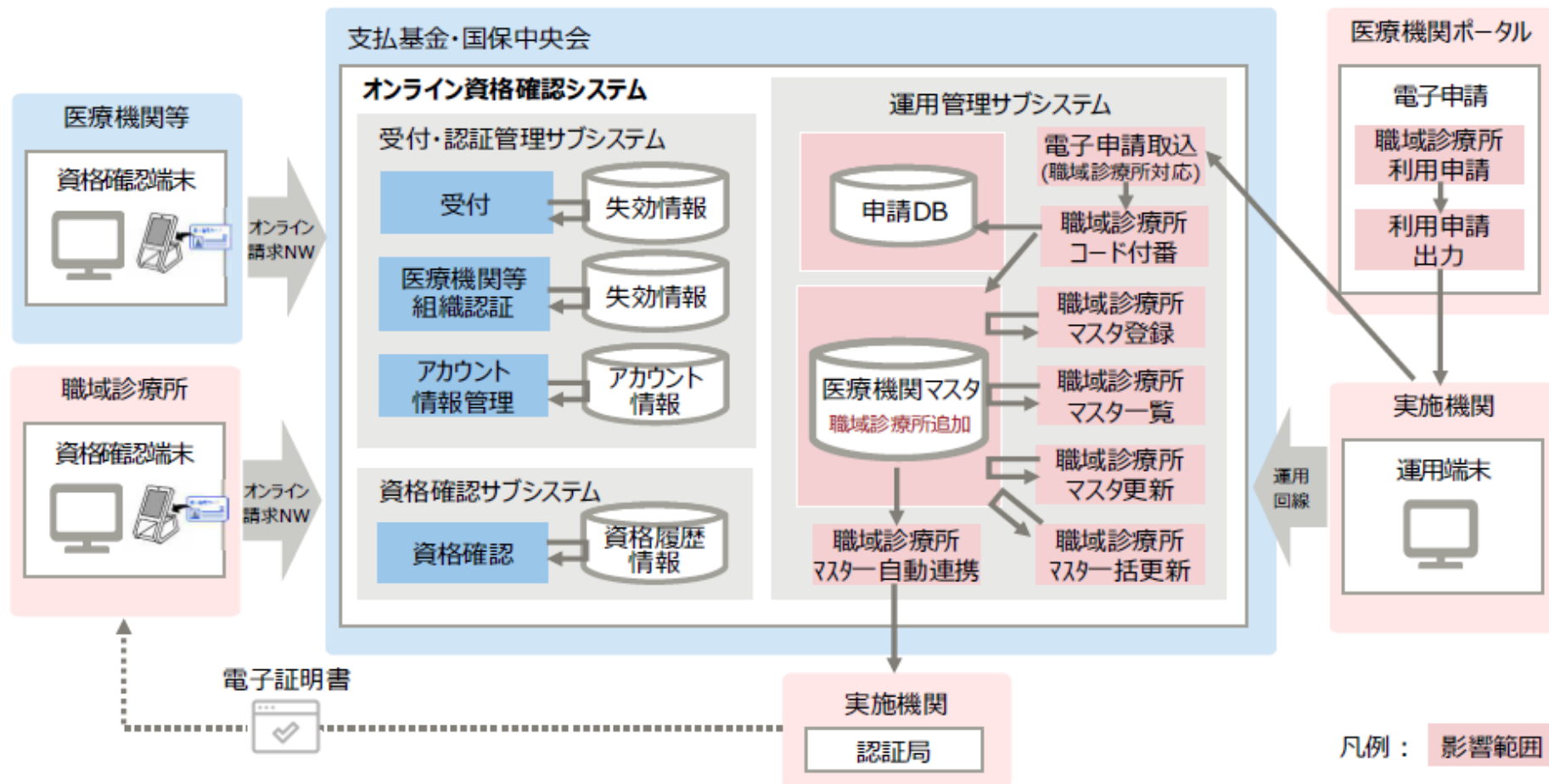
<概要イメージ図>



職域診療所におけるオンライン資格確認のイメージ

【実現方式案】

- 職域診療所からの申請に基づき、実施機関が職域診療所のシステム内部用医療機関コードを付番する運用とする。内部用医療機関コードは職域診療所と判断できるようにする。
- 各種準備は他の医療機関と同様の運用とすることを想定する。



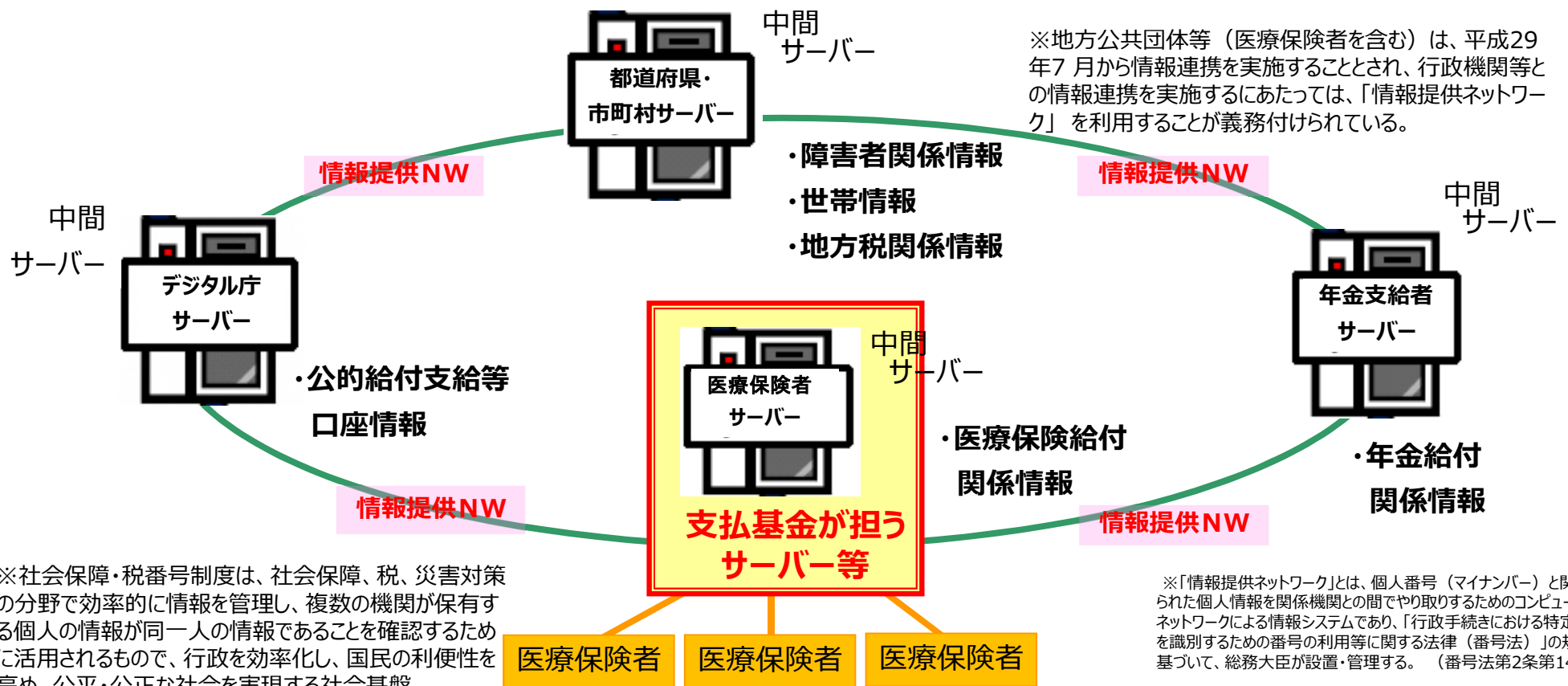
オンライン資格確認等システム改修に係る計画支援及び周知広報支援等

令和4年度概算要望額: 4.8億円

- ・ 訪問診療等のオンライン資格確認システム改修を予定していることから工程管理、オン資基盤の活用に向けた調査等を実施する。
- ・ オンライン資格確認システムが概ねすべての医療機関に導入されるように医療関係者等が円滑な作業や運営を行えるよう周知広報支援を行う。



- 本年5月12日にデジタル改革関連法案が成立。
- 公的給付の支給等の迅速かつ確実な実施のための預貯金口座の登録等に関する法律により、公的給付の迅速かつ確実な支給のため、預貯金口座の情報をマイナンバーとともにマイナポータルにあらかじめ登録し、行政機関等が当該口座情報の提供を求めることができることとともに、特定公的給付の支給のためマイナンバーを利用して管理できるようになった。
- また、預貯金者の意思に基づく個人番号の利用による預貯金口座の管理等に関する法律により、預貯金者の意思に基づくマイナンバーの利用による預貯金口座の管理に関する制度及び災害時又は相続時に預貯金者又はその相続人の求めに応じて預金保険機構が口座に関する情報を提供する制度が創設された。
- この法律に伴い社会保険診療報酬支払基金で管理している医療保険者等向け中間サーバーについても、公的給付支給等口座情報を取得するための機能を追加するための改修（データレイアウト変更）が必要。



※社会保障・税番号制度は、社会保障、税、災害対策の分野で効率的に情報を管理し、複数の機関が保有する個人の情報が同一人の情報であることを確認するために活用されるもので、行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平・公正な社会を実現する社会基盤。

令和3年度に構築・整備した医療・介護データ等の解析基盤（HIC）及びレセプト情報・特定健診等情報データベースシステム（NDB3）について、令和4年度以降に必要となる運用開始後の課題の把握・改修事項の検討及び具体化・要件定義等設計、改修・運用・保守工程管理、関係者調整の支援を実施する。また、**第四期医療費適正化計画の策定や令和6年度診療報酬改定に関するエビデンスの構築等に関連する医療保険政策に係るデータ分析・エビデンスの整備**についても対応する。さらに、「経済財政運営と改革の基本方針」及び「全世代型社会保障検討会議」等の示す政策工程の具体化・実現化を行う（令和6年度末まで3年間の国庫債務負担行為による複数年事業として実施）

厚生労働省

- HICの利用ガイドライン・利用規約の策定、必要な制度改正
- 関連する公的DBガイドラインとの整合、必要な制度改正
- 省内データ分析の状況把握、承認

円滑な
制度
運営の実現

継続的改善の支援

受託事業者

情報システムの継続的改善

- 業務要件把握等の調査研究に基づいて要件定義等への反映を支援
- 情報システムとしてのHIC・NDB3が適切に改修・運用・保守業務がなされるように工程管理
- 老健局、健康局等関係者及び関係システムとの調整支援

政策目的でのデータ活用

- NDB利活用に関する局内の教育研修支援
データ定義の作成や結果の評価方法等の分析ノウハウの蓄積を教育研修化、人事異動等によるノウハウ喪失を防止
- NDBの本来利用・省内利用に係るデータ集計・分析支援
局内・省内で日々発生する政策ニーズに対して、NDBを活用した分析要件の設計から集計・分析までをワンストップで支援し、政策立案推進を強く後押し

分析の支援

エビデンスに基づく迅速な政策検討のさらなる推進

HIC利用者（研究者等）

- HICを通じたNDB等の申出
- HIC解析基盤を用いた解析、解析結果の利活用

HIC・NDB3 /改修・運用保守事業者

- HICを用いた第三者提供制度の運用
- 関係システムの改修・運用・保守

介護DB等関係システム/運用各局・事業者

- HICを用いた第三者提供制度の運用
- 関係システムの運用

本来利用に基づく政策分析（厚生労働省内各局局）

- 医療費適正化計画の更なる推進に向けた分析を推進
- 中央社会保険医療協議会での議論のエビデンスとして、悉皆性の高いNDBデータによる分析を迅速に実施
- 診療報酬改定調査等の個別実施調査を可能な限りNDBに代替、医療機関等の調査回答負担を軽減
- 医療保険に関連する各種政策（地域医療構想、介護保険事業計画等）を根拠とするNDB分析

⇒医療保険政策の確実な推進が求められる中、政策立案から実行まで機動的なデータ分析・エビデンス整備の必要性が高まっている。

| | 令和4年度（2022年度） | | | | 令和5年度（2023年度） | | | |
|----------|-------------------|------|--------|------|---------------|------|--------|------|
| | 4-6月 | 7-9月 | 10-12月 | 1-3月 | 4-6月 | 7-9月 | 10-12月 | 1-3月 |
| 医療費適正化計画 | | | | | | | | |
| | 基本方針の検討 | | | | 第四期計画策定 | | | |
| 診療報酬改定 | | | | | | | | |
| | 令和6年度診療報酬改定に関する検討 | | | | | | | |

課題/
ニーズ
把握

工程管理
支援

関係者間
調整支援

利用依頼

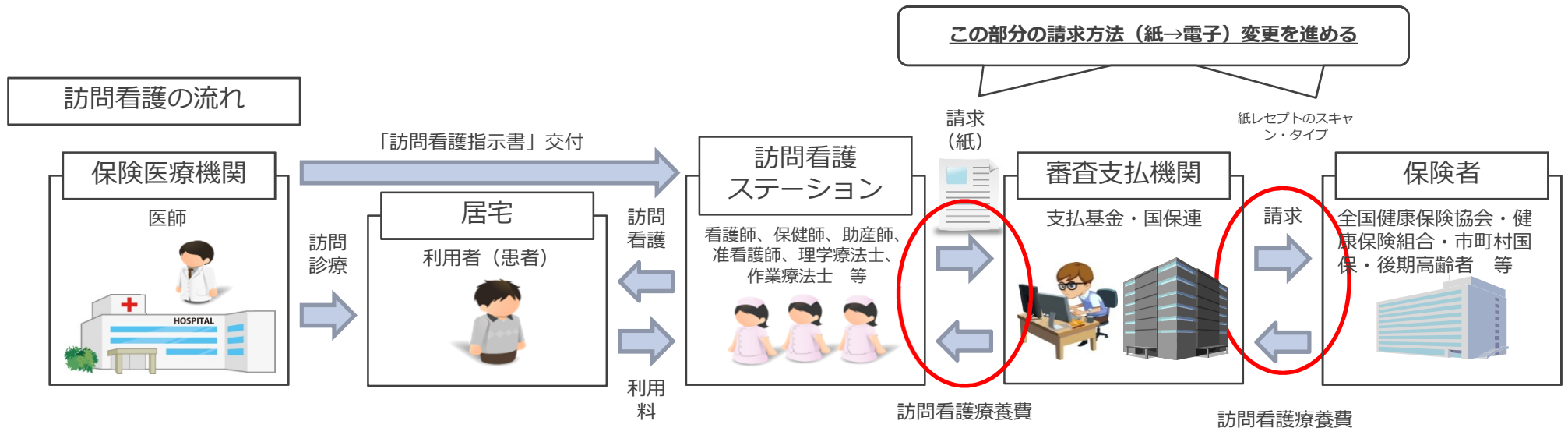
支払基金と国保中央会・国保連のシステムの統合的かつ効率的な在り方の実現に向けた工程表



※1 受付領域は、技術的な実現可能性を精査し、費用面も勘案しつつ、システム集約
 ※2 コンピュータチェックのロジックとマスタ、振分チェックのAIエンジン、自動レポートング、基盤、ネットワーク、セキュリティ対策等
 ※3 「疎結合」とはコンピュータシステムで、異なる二つの構成要素の結びつきが弱い状態。各要素の独立性が高く、一方に障害が生じても他方に影響を与えることが少ない。疎結合化により、共同利用機能及びその他の機能・システムの柔軟なシステム運用・改修を可能とする。
 ※4 「重要な意思決定に関する基金・国保の意見調整の仕組み」と「支払基金と国保の実効的な合同実務部隊」を構築する
 ※5 審査領域は、技術的な実現可能性や一時的に生じる追加費用と共同化等による中長期的な費用の抑制効果の精査を行いつつ、2026年4月に共同利用開始を目指す。
 ※6 支払領域等の共同利用については、審査領域とは別に、デジタル庁（仮称）との連携の下、早急に費用対効果を含めた検証を行い結論を出す
 ※7 審査支払システムの基盤としてGov-Cloud（仮称）の利活用の可能性も検討する

概要

- 医科・歯科・調剤及び介護レセプトについては、原則、オンライン又は電子媒体（電子レセプト）により請求することとされているが、訪問看護レセプトは紙による請求となっている。
- 訪問看護の事業所数とレセプト件数は、高齢化の進行に伴い大幅に増加しており、今後も増加が見込まれることから、訪問看護事業者のレセプト請求事務や保険者・審査支払機関のレセプト処理事務の効率化が必要。
- 訪問看護レセプトを電子化することにより、業務の効率化やコスト削減だけでなく、NDBに収載されることで、今まで悉皆データがなかった医療保険の訪問看護レセプトについて、介護保険サービスと合わせた訪問看護全体の分析が可能になり、地域医療や在宅医療の実態把握と推進につながる。
- 本事業は、訪問看護事業者におけるオンライン資格確認の利用前提であるオンライン請求ネットワーク構築を見据え、2024年度に本格運用を予定している訪問看護療養費のレセプト電子化に向け、訪問看護ステーションからの請求の受付・審査等のための審査支払機関におけるレセプト電算処理システム等構築経費を要求するもの。



保険者努力支援制度

平成27年国保法等改正により、市町村国保について、医療費適正化に向けた取組等に対する支援を行うため、保険者の取組状況に応じて交付金を交付する保険者努力支援制度を創設。

制度概要

- 市町村・都道府県について、医療費適正化に向けた取組等を評価する指標を設定し、達成状況に応じて交付金を交付（平成30年度～）

※H28・29年には市町村を対象に前倒しで実施
（財源：特別調整交付金、H28年度：150億円、H29年度：250億円）

- 財政規模：約1000億円（国保改革による公費拡充の財源を活用）

※うち、特別調整交付金によりH30年度：約163億円、H31年度以降：約88億円を措置

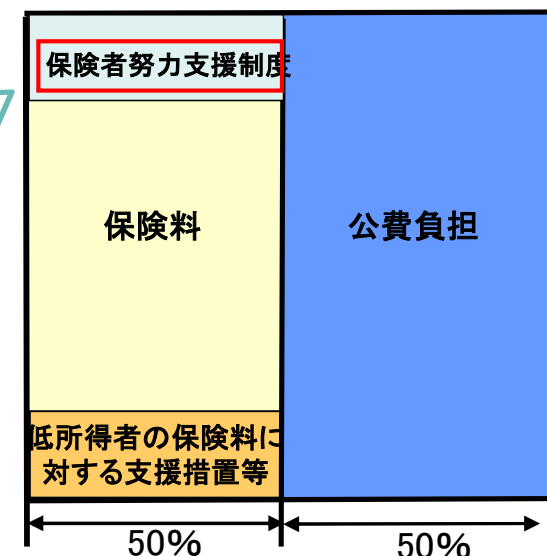
□市町村分 <500億円程度>

（指標の例）特定健診・特定保健指導の実施率、後発医薬品の促進の取組・使用割合 等

□都道府県分 <500億円程度>

（指標の例）医療費適正化のアウトカム評価（医療費水準・医療費の変化） 等

国保財政の仕組み(イメージ)



抜本的強化

令和2年度～

<取組評価分>

- ①予防・健康インセンティブの強化（例）予防・健康づくりに関する評価指標（特定健診・保健指導、重症化予防等）の配点割合を上げ
- ②成果指標の拡大（例）糖尿病等の重症化予防について、アウトカム指標を導入

<予防・健康づくり支援分（事業費分・事業費連動分）> ※新設

- 令和2年度より500億円を追加し、「事業費」として交付する部分（200億円※）を設け、「事業費に連動」して配分する部分（300億円。評価指標を設定し配分）と合わせて交付することにより、自治体における予防・健康づくりの取組を後押し

※従来の国保ヘルスアップ事業（特別調整交付金）を統合し事業総額は250億円

以降も毎年度、各自治体の取組状況等を踏まえ、地方団体等と協議の上、評価指標・配点割合の見直しを実施

●健康保険組合等の保険者において、データヘルスの取組を一層効果的・効率的に実施し、保険者機能を強化するための事業に係る費用を補助する。

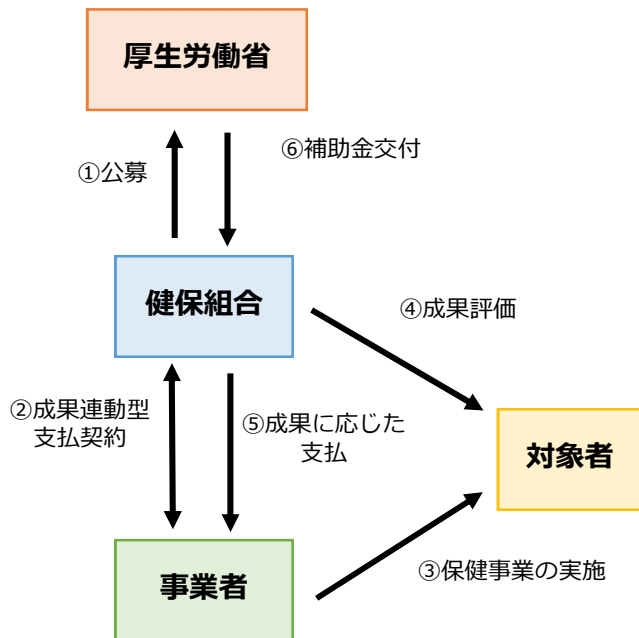
- ・成果連動型の民間事業者への委託方式による保健事業のスキームの構築
- ・保健事業を共同で実施するスキームの自走化に向けた支援
- ・評価指標の標準化や保健事業のパターン化の検討

成果連動型民間委託方式(PFS)に関する補助事業

■ 健保組合が成果連動型民間委託方式で保健事業を実施するにあたり、成果連動型民間委託方式の事業のスキーム構築のために係る費用を補助。

※「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、複数年にわたる成果連動型民間委託方式について、取り組む分野を拡大していくことが掲げられており、被用者保険においてもモデル事業構築及び普及促進が必要。

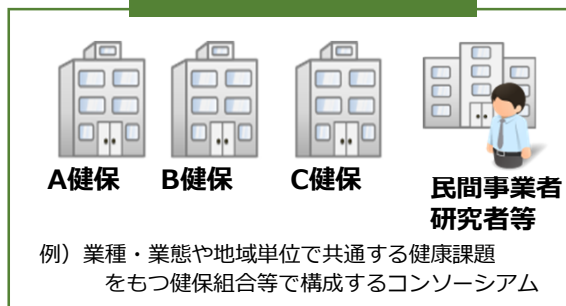
【事業イメージ】



保健事業の共同化支援に関する補助事業

■ これまでの取組により、複数の保険者が共同で保健事業を実施することで、保健事業費のスケールメリットを享受できるなど付加価値が得られていることから、特定保健指導等の継続的な保健事業について、保健事業の共同化が自走するよう取組を支援。

共同による保健事業



※「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、予防・重症化予防・健康づくりサービスの産業化に向けて、包括的な民間委託の活用が推進されるよう掲げられており、引き続き普及促進が必要。

【これまでの取組】

- 平成29年～令和元年度：モデル事業実施
- 令和2年度：手引きの作成
データヘルスポータルサイトに
共同事業支援機能構築
- 令和3年度：普及を目的とした補助事業実施

評価指標・保健事業の標準化に関する補助事業

■ データヘルス・ポータルサイトに蓄積される健康課題や保健事業の実績データをもとに、個別の健康課題に応じた効果的な保健事業のパターン化（標準化）の検討に係る費用を補助。

※「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、保険者が策定するデータヘルス計画の標準化推進が掲げられており、補助を通じた支援が必要。



〈データヘルス・ポータルサイト〉
データヘルス計画の円滑な運営を支援することを目的に開設。健保組合は、ポータルサイトを活用して、計画策定および評価・見直しを実施。

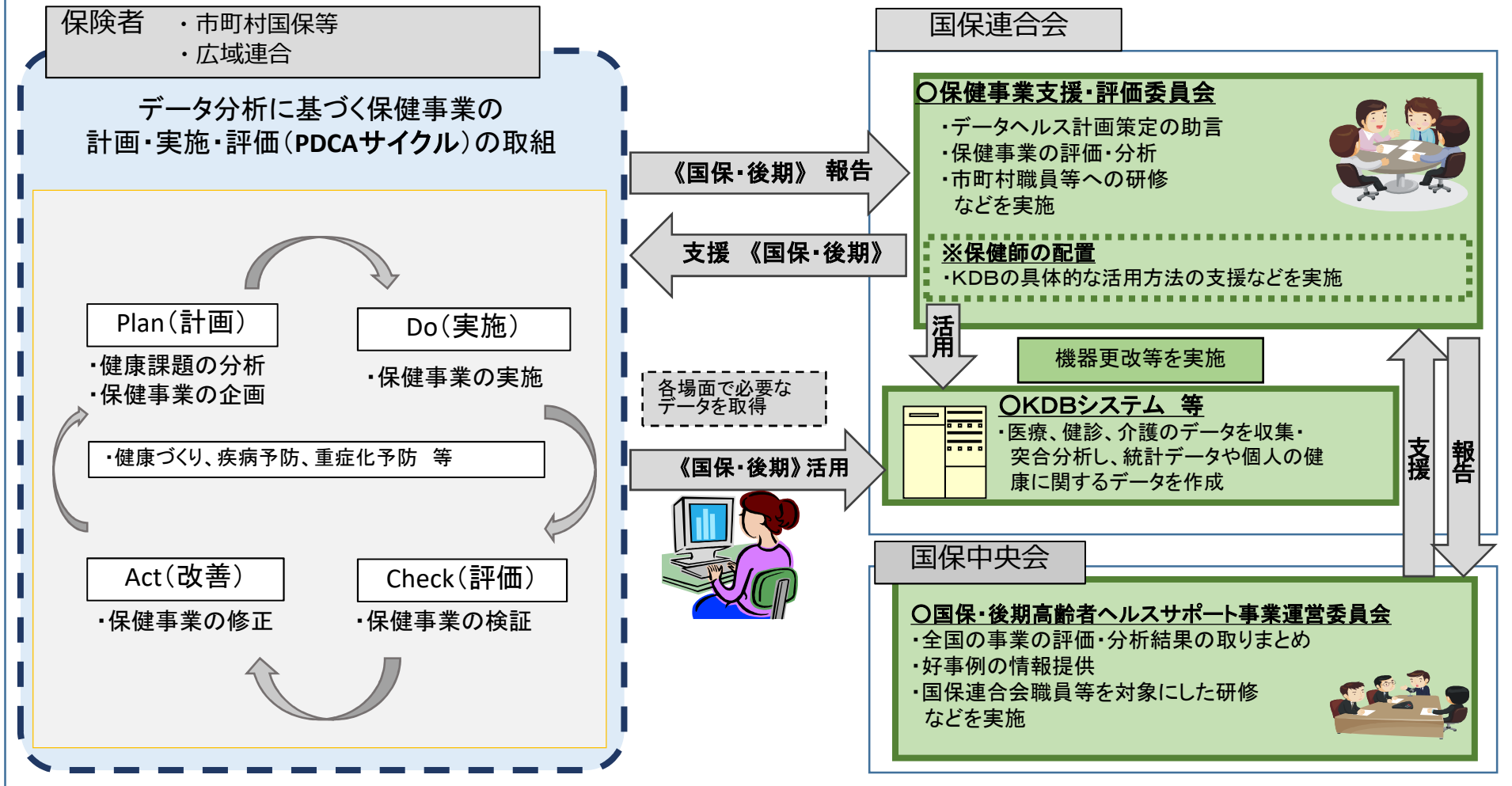


○国保・後期高齢者ヘルスサポート事業

令和4年度概算要求額：4.4億円（国保：4.3億円、後期：0.1億円）
 令和3年度予算額：4.4億円（国保：4.3億円、後期：0.1億円）

国保・後期高齢者ヘルスサポート事業

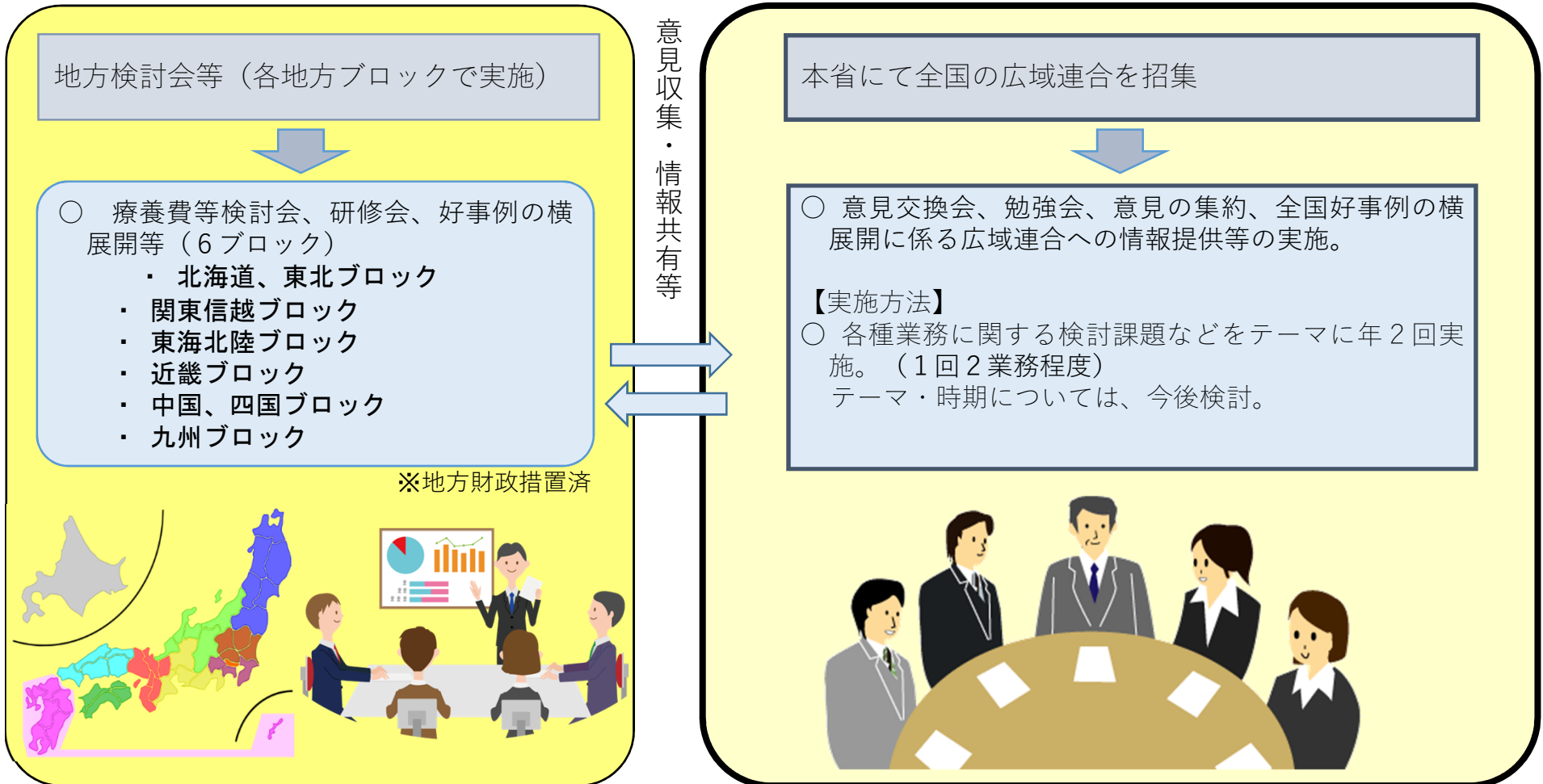
レセプト・健診情報等のデータ分析に基づく保健事業のPDCAサイクルに沿った効率的・効果的な実施に向け、KDBシステム等を活用した保健事業を行う市町村国保等に対する支援を実施する。



効果的な保健事業等の推進 (適正業務等を行うための連絡会議に要する経費)

令和4年予算概算要求額：14百万円
(令和3年度予算額：14百万円)

○後期高齢者医療広域連合（以下「広域連合」という。）で行う各種業務等において、見直しや改善等を図るための意見収集やそれらを実施している好事例の情報共有など、広域連合が適正業務を行うための連絡会議を実施する。



○特定健診・保健指導における医療費適正化効果検証事業

令和4年度概算要求額：1.4億円
令和3年度予算額：0.5億円

レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）のデータを用いて、都道府県別に外来・入院の医療費の構成要素を分析し、医療費の増加と関係する要素を分析する事業や特定健診・保健指導（以下「特定健診等」という。）による検査値の改善状況・行動変容への影響、医療費適正化効果について分析し、保険者の予防・健康づくりと医療費適正化を推進するための事業

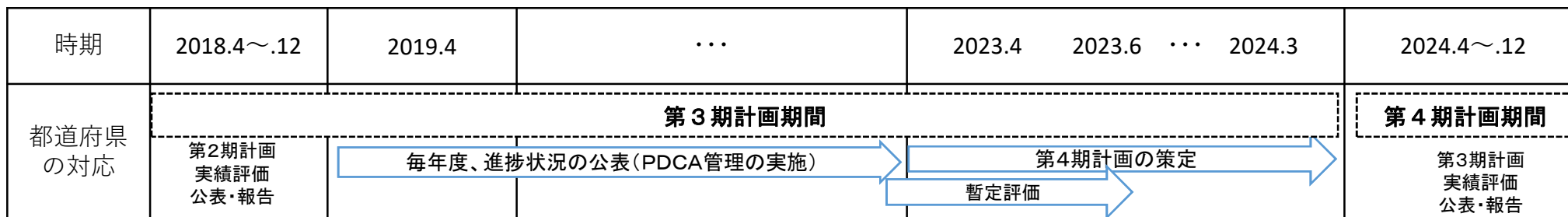
（1）医療費適正化計画等に係るデータの集計及び分析等補助業務

都道府県の医療費適正化計画のPDCAサイクルを支援するため、NDBに収録されたデータを活用して、医療費の地域差や外来・入院医療費の構成要素を分析し、医療費の増加と関係する要素の分析作業を行う。また、都道府県別データブックの作成や医療費適正化効果推計ツールを更新し各都道府県へ配布する。

令和4年度においては、第4期医療費適正化計画に向けたシステム改修に伴う調査研究を行う。

〔主な分析内容〕

- ・疾患別医療費内訳、地域差分析（都道府県別、二次医療圏別、保険者種別別）、入院・入院外別、性年齢階級別、全疾患集計 等



（2）レセプト情報・特定健診等情報の分析等に係る支援業務

特定健診等の医療費適正化効果を検証するため、NDBに収録されたデータを活用して、様々な調査・分析用資料を作成し、公表する。また、作成された調査・分析用資料について学術的な検証を実施するため、公衆衛生及び疫学等の知見を有する有識者により構成されるワーキンググループ（WG）を設置・運営する。

〔調査・分析用資料の例〕

- ・レセプト情報と特定健診等情報を経年的に個人単位で紐付けた上で、特定保健指導の実施による検査値や医療費への効果を分析（5年間の経過分析の結果、保健指導による検査結果、医療費等への効果があることを検証し、平成28年4月に公表。）
- ・性年齢階級別、保険者種別、都道府県別の特定健診・保健指導の実施状況、メタボ率 等
- ・分析結果は、厚生労働省のホームページで広く公開

＜特定健診の検査項目＞

- ・質問票（服薬歴、喫煙歴 等）、身体計測（身長、体重、BMI、腹囲）、血圧測定、血液検査（脂質検査、血糖検査、肝機能検査）、尿検査（尿糖、尿蛋白）

※詳細健診（医師が必要と認める場合に実施）

→心電図検査、眼底検査、貧血検査、血清クレアチニン検査（2018年度～）

<経緯・目的>

- 令和2年4月から開始された「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」について、令和6年度までに全ての市町村において取り組まれるよう、一体的実施の取組状況・現状分析や広域連合及び自治体への指導助言が求められている。
- 令和4年度は、調査分析や市町村の取組状況から課題の整理や効果検証を行い、効果的・効率的な指導助言の提案を行う。

<令和元年度>

- ・ガイドライン（第2版）策定

<令和2年度>

- ・保健事業の実施状況調査
- ・先行事例調査

<令和3年度>

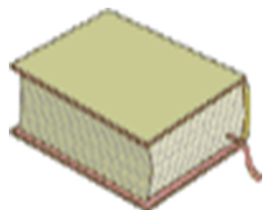
- ・ガイドライン補足版策定

<令和4年度>（予定）

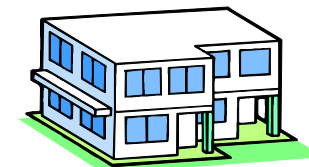
- ・一体的実施の課題の整理・効果検証
- ・効果的・効率的な指導助言

1. 効果検証会議の実施

- 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の取組状況・現状分析
 - 広域連合及び実施自治体・未実施自治体への指導助言
 - 収集したデータに基づく詳細な分析
 - 取組状況の類型化、類型ごとの効果検証
- ※年3回程度開催予定
※専門知識のある有識者が随時参加【構成員：15人、作業チームの人員：10人程度】
※外部（民間シンクタンク）への委託により運営



検討結果の見える化、横展開



広域連合・市町村

※「高齢者の保健事業のあり方検討ワーキンググループ」により検討・精査

2. 検討班・ヒアリング等の実施

(1) 有識者・広域連合等による検討班（年2回程度開催予定）

有識者や広域連合のブロック代表を構成員として、保健事業の趣旨・目的・背景、事業実施に必要な技術的、専門的事項等について理解を深めるとともに、課題の整理や効果的・効率的な指導助言の検討等を行う。

(2) 実施状況調査等の実施（広域連合・市町村を対象）

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について、調査により実施自治体、未実施自治体の状況から課題を整理し、必要な情報提供を実施。

(3) その他、必要に応じて運営に係る会合を実施

○保険者協議会における保健事業の効果的な実施支援事業

令和4年度概算要求額：80百万円
(令和3年度予算額：80百万円)

○ 保険者協議会は、都道府県単位で保険者横断的に住民の予防・健康づくりと医療費適正化を推進する取組を行っている。保険者が共通認識を持って取組を進めるよう、都道府県内の医療費の調査分析など、保険者が行う加入者の健康の保持増進や医療費適正化の効果的な取組を推進するために必要な体制を確保できるよう、補助するものである。

※1 都道府県内の医療費の適正化については、被用者保険を含め、都道府県と保険者が同じ意識をもって共同で取り組む必要がある。こうした観点から、保険者と後期高齢者広域連合が都道府県ごとに共同で「保険者協議会」を組織し（高齢者医療確保法）、都道府県や必要に応じて医療関係者等の参画も得て会議を開催している。

※2 第3期の医療費適正化計画からは、都道府県が医療費適正化計画の策定に当たって、保険者協議会に事前に協議することとなった。また、都道府県は、計画に盛り込んだ施策の実施に関して必要があると認めるときは、保険者協議会を通じて、保険者、医療関係者等に必要な協力を求めることができることとされている。

【保険者協議会が行う事業（補助率）】（案）

◇保険者協議会の開催等（1/2）

医療計画（地域医療構想）、医療費適正化計画への意見提出に係る、専門家等を活用したデータ分析、意見聴取等を行うための保険者協議会、専門部会等の開催

◇データヘルスの推進等に係る事業（1/2）

保険者等が実施する、健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の推進を図るために実施する事業等

※令和2年度より補助率を10/10→1/2へ改正

◇特定健診等に係る受診率向上のための普及啓発に係る事業（1/2）

特定健診等の受診率向上のため、保険者等が共同で行う積極的な普及・啓発活動等

◇特定健診等の円滑な実施のための事業（1/2）

保険者等への情報提供を迅速かつ効率的に実施するためのHPの作成等

◇特定保健指導プログラム研修等事業（1/2）

特定保健指導を行う医師、保健師及び管理栄養士等に対するプログラム習得のための研修の実施

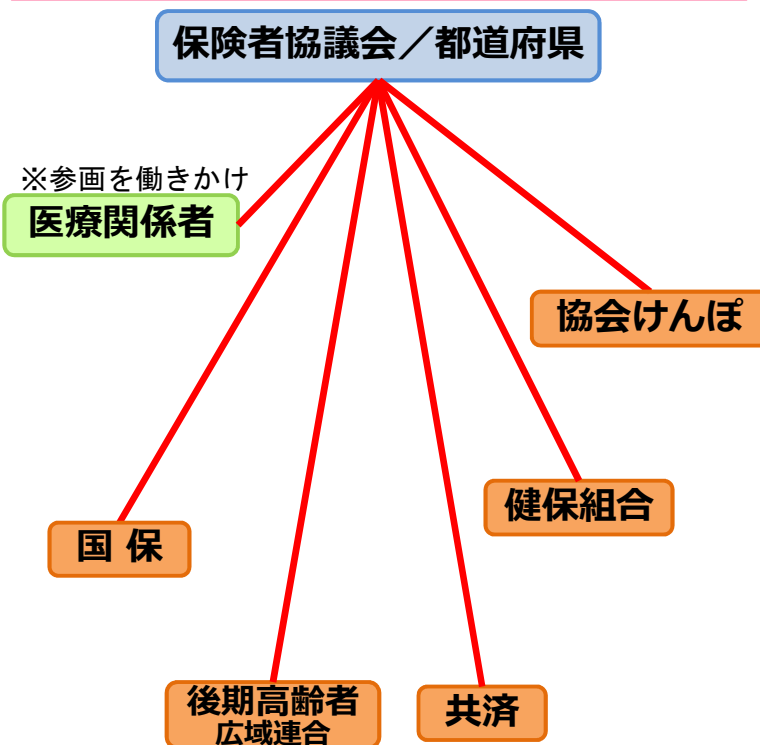
◇特定保健指導実施機関の評価事業（1/2）

◇特定健診と各種検診の同時実施の促進事業（1/2）

被用者保険の被扶養者向け健診と自治体のがん検診等の同時実施等

※ 事業の追加について検討中

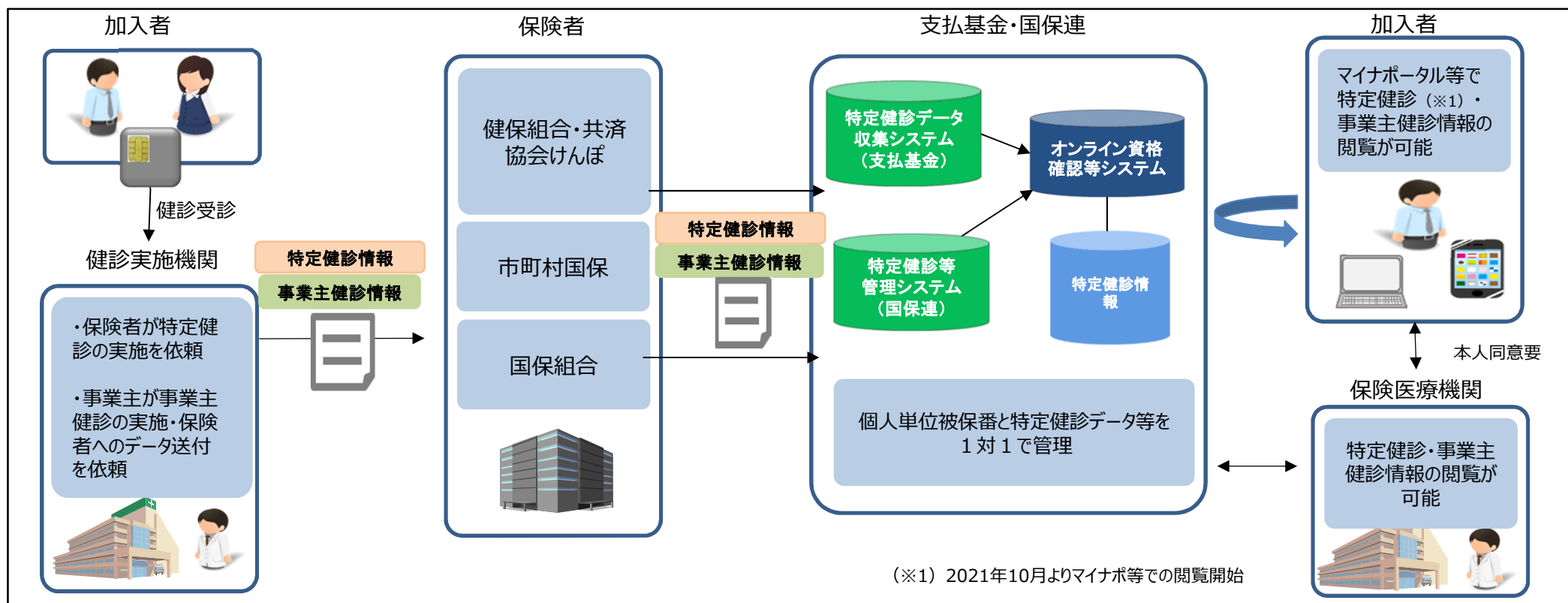
医療関係者等の協力も得て、協議会を活用しながら、健康増進や医療費分析等を推進



4 0歳未満の事業主健診情報の活用に向けたシステム改修

令和4年度概算要求額：6.3億円

- 健康保険法等では、保険者は被保険者等の健康の保持増進のために必要な事業（保健事業）を行うに当たっては、医療保険等関連情報を活用し、適切かつ有効に行うこととしているが、①40歳未満の者に係る事業主健診等の結果が事業者等から保険者へ提供される法的仕組みがない。②実態として特に中小企業等からの保険者への提供実績が低い、といった課題があるため、これらを解決する必要がある。
- 全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律案により、「生涯現役で活躍できる社会づくりの推進（予防・健康づくりの強化）」で、①労働安全衛生法等による健診の情報を保険者が保健事業で活用できるよう、事業者に対し被保険者等の健診情報を求めることを可能とする、②健康保険組合等が保存する特定健診等の情報を後期高齢者医療広域連合へ引き継ぐこと等を可能とする等、保健事業における健診情報等の活用促進について、令和4年1月1日より施行する。
- 事業主健診情報（40歳未満）をマイナポータル等を通じて、自らの保健医療情報として閲覧可能とするため、既存のスキームを活用し、当該情報を保険者に集約、保険者から支払基金に登録するためシステムを改修する。患者本人や医療機関等において、既に閲覧開始されている特定健診情報等に加え、更に事業主健診情報（40歳未満）の閲覧が可能となり、幅広い加入者の予防・健康づくり等が期待でき、データヘルス推進の面でも重要である。また、保険者と事業者等が同じ情報を基に連携して加入者の健康確保を進めることが可能となり、コラボヘルス（保険者と事業者等の積極的連携による加入者の予防・健康づくりの推進）の実現につながる。



● スケジュール（案） 2021年度（令和3年度） 2022年度（令和4年度） 2023年度（令和5年度）

システム改修のための調査事業

システム改修

事業主健診データ（40歳未満）の閲覧開始

○ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の全国的な横展開事業

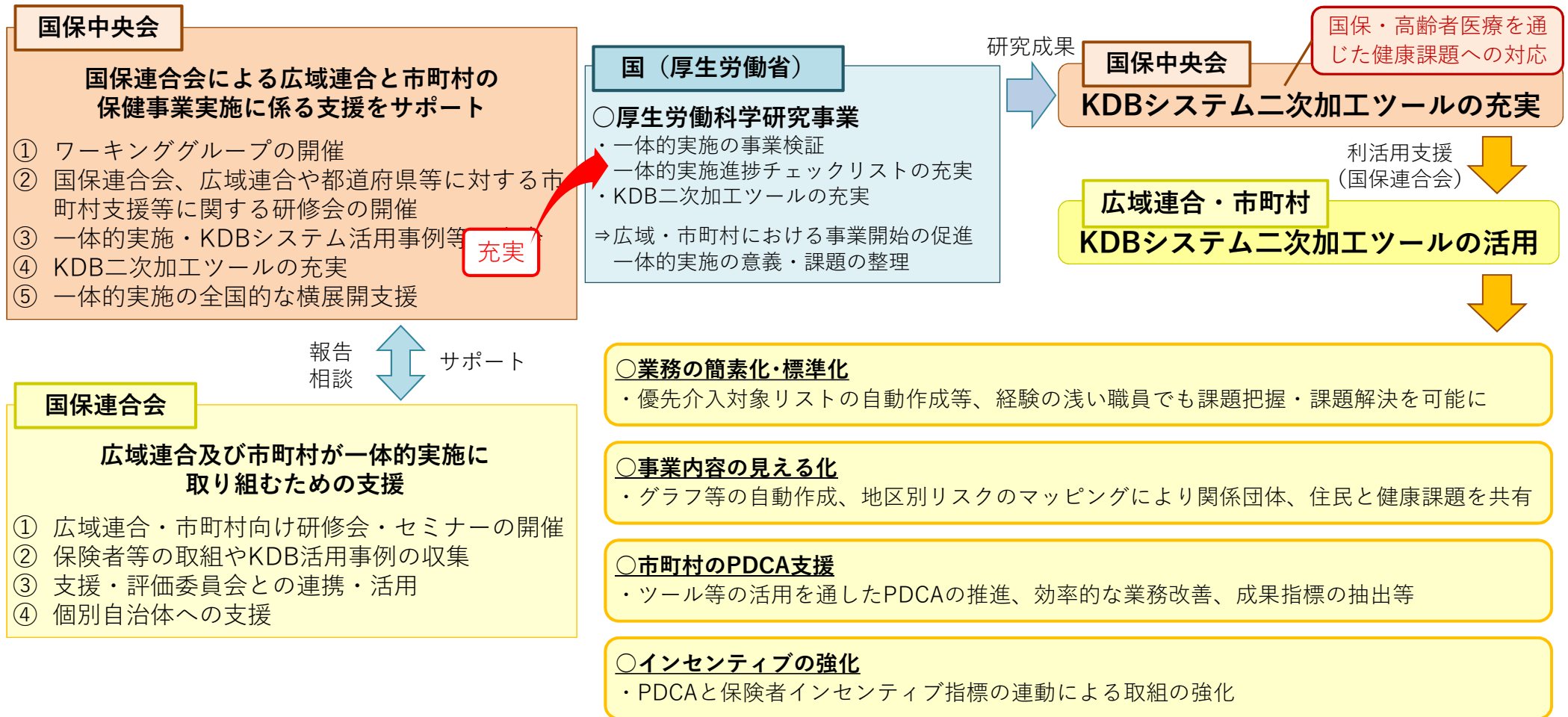
令和4年度概算要求額：1.4億円
(令和3年度予算額：1.9億円)

< 目的 >

令和2年度より開始された「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」について、令和6年度までに全ての市町村において取組が実施されるよう、効果的な横展開を図る。

< 事業概要 >

- ・ 国保中央会が行う国保連合会や広域連合等への研修等のサポート事業やKDBシステムのデータ活用ツールの充実を支援する。
- ・ 国保連合会が行う広域連合及び市町村の保健事業を支援するための研修等の事業を支援する。



広域連合及び市町村へのサポート事業等やKDBシステムのデータ活用ツールの充実により、一体的実施の全国的に横展開を図る。

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の全国的な横展開事業に関するロードマップ



- ・保健事業指針の改定
- ・PDCA、成果指標の設定
- ・KDB二次加工ツール開発
- ・ガイドライン改定
- ・進捗チェックリスト開発
- ・先行事例の収集・公表

令和6年度までの全市町村における実施に向けた取組

▽横展開事業に係る既存の取組

国保中央会

- ・研修指針策定、改定
- ・連合会・広域連合向け研修
- ・KDBシステム活用情報提供

国保連合会

- ・広域連合及び市町村向け研修
- ・KDBシステム利活用推進
- ・開始に向けた支援 (R1)、取組のフォローアップ (R2～)

▽令和4年度に充実する取組

国保中央会

➤ ワーキンググループの開催

広域連合や市町村の一体的実施の取組支援のための関係機関の役割の明確化、PDCAを意識した一体的実施の取組の支援方法の検討等

➤ 国保連合会、広域連合や都道府県等に対する市町村支援等に関する研修会

➤ 一体的実施・KDBシステム活用事例等発表会

➤ KDB二次加工ツールの充実

市町村等における二次加工ツールの利活用の状況、課題に応じたツールの開発、改修等

➤ 一体的実施の全国的な横展開支援

一体的実施におけるWeb上での情報集約、情報提供支援

- ・事務の簡素化、標準化
- ・事業内容の見える化 関係団体、住民との健康課題の共有
- ・PDCA支援による効果的・効率的な保健事業の展開

課題

- 一体的実施の取組に際しての課題例
 - ・関係部署間での合意形成ができていない
 - ・他の自治体の取組状況を参照してから取り組みたい
- KDB利活用における課題例
 - ・KDBの機能を十分理解して活用することが難しい
 - ・データの二次加工のための統計分析スキルが不足

解決策

- 一体的実施の取組に際しての解決策
 - ・一体的実施の取組事例等発表会（研修開催等）
 - ・市町村への個別支援 等
- KDB利活用における課題例
 - ・KDB二次加工ツールの充実
 - ・KDBシステム活用事例等発表会（研修開催等）

・市町村からは、KDBの活用等に関するセミナー・研修会の開催、市町村の健康課題の分析等に関する支援への期待が高い。

(背景)

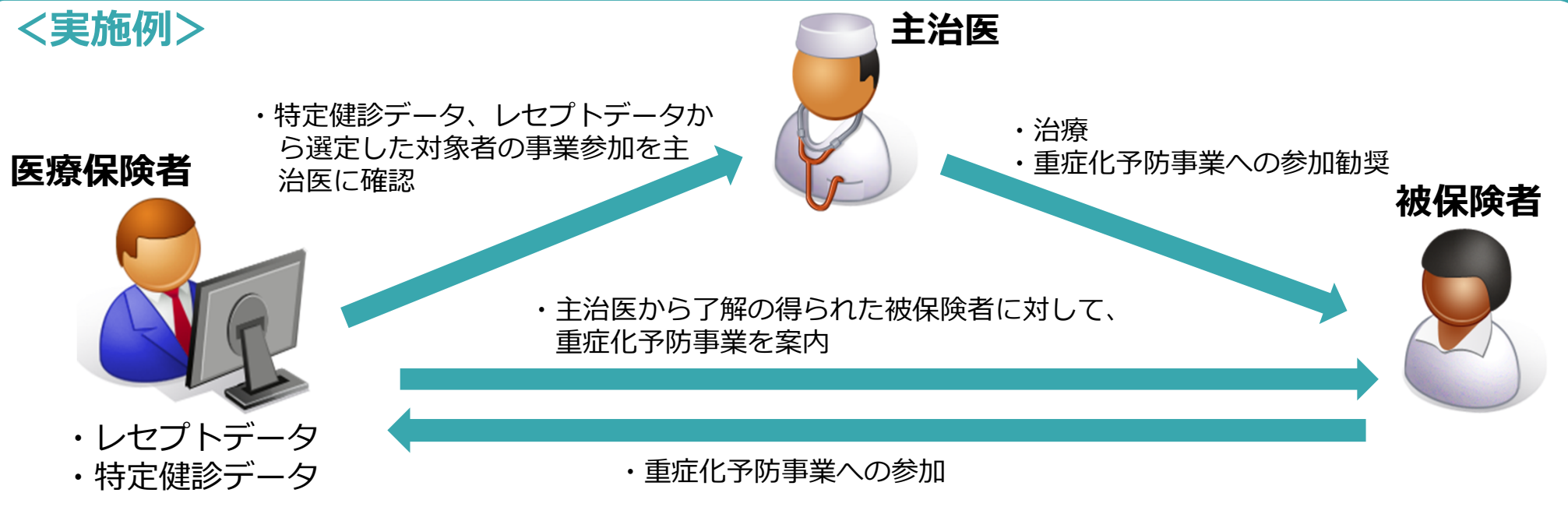
「経済財政運営と改革の基本方針2021」(令和3年6月18日閣議決定)において、糖尿病等の生活習慣病の重症化予防に関して、より一層推進することとされている。

日本医師会、日本糖尿病対策推進会議との連携協定に基づく「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」等を参考にしながら、さらに効果的に取組を推進する。

(事業内容)

- 糖尿病性腎症の患者等であって、生活習慣の改善により重症化の予防が期待される者に対して医療保険者が実施する、医療機関と連携した保健指導等を支援する。

<実施例>



○後期高齢者医療の被保険者に係る歯科健診

令和4年度概算要求額：7.0億円
(令和3年度予算額：7.0億円)

概要

- 歯周病を起因とする細菌性心内膜炎・動脈硬化症等の悪化、口腔機能低下による誤嚥性肺炎等を予防するため、歯・歯肉の状態や口腔機能の状態等をチェックする歯科健診を実施することとし、広域連合に対して国庫補助を行う。

※経済財政運営と改革の基本方針2021

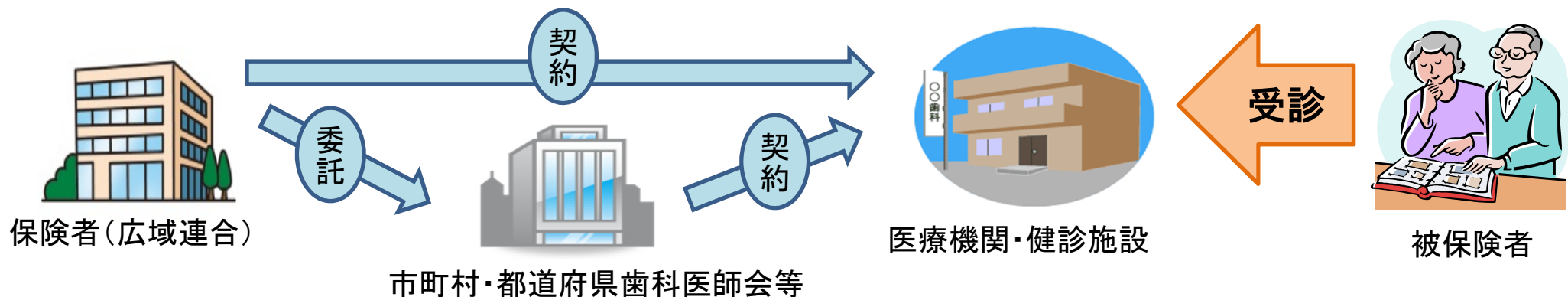
全身との関連性を含む口腔の健康の重要性に係るエビデンスの国民への適切な情報提供、生涯を通じた切れ目のない歯科健診、オーラルフレイル対策・疾病の重症化予防にもつながる歯科医師、歯科衛生士による歯科口腔保健の充実、歯科医療専門職間、医科歯科、介護、障害福祉機関等との連携を推進し、歯科衛生士・歯科技工士の人材確保、飛沫感染等の防止を含め歯科保健医療提供体制の構築と強化に取り組む。

- 健康増進法に基づき実施されている歯周疾患検診や、厚生労働省において平成30年10月に策定した「後期高齢者を対象とした歯科健診マニュアル」などを参考にしつつ、高齢者の特性を踏まえた健診内容を各広域連合で設定。

〈例：後期高齢者を対象とした歯科健診マニュアル〉

咀嚼機能、舌・口唇機能、嚥下機能、口腔乾燥、歯の状態等（歯の状態、粘膜の異常、歯周組織の状況）

- 市町村や都道府県歯科医師会等への委託等により実施。



【参考：実施広域連合数】

| 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 31広域連合 | 43広域連合 | 45広域連合 | 47広域連合 | 47広域連合 |

○予防・健康インセンティブ推進事業に係る経費

令和4年度概算要求額：69百万円
(令和3年度予算額：77百万円)

健康長寿社会の実現や医療費の適正化を図るため、経済団体、保険者、自治体、医療関係団体等で構成される「日本健康会議」における先進的な予防・健康づくりのインセンティブを推進する自治体を増やすなどの目標を達成するための取組を支援するための経費。

日本健康会議

- ◆ 経済界・医療関係団体・自治体・保険者のリーダーが手を携え、健康寿命の延伸と医療費の適正化を目的として、先進的な予防・健康づくりの取組を全国に広げるため、民間主導で「日本健康会議」を2015年7月に発足。予防・健康づくりの「健康なまち・職場づくり宣言2020」の目標達成年度である2020年は8つの宣言の最終的な達成状況に加え、5年間の活動の成果のまとめとして開催した。
- ◆ 今後の国民の健康づくりについて、「経済団体、医療団体、保険者、自治体などの連携」、「厚労省と経産省の連携」、「官民の連携」の3つの連携により、コミュニティの結びつき、一人ひとりの健康管理、デジタル技術等の活用に力点を置いた健康づくりを応援することをコンセプトとして、引き続き民間主導で第2期（2021年～2025年）日本健康会議を開始。
- ◆ 2025年までの数値目標（KPI）を入れた「健康づくりに取り組む5つの実行宣言2025」を設定し、毎年度進捗状況を確認。
- ◆ この目標を着実に達成するため、
①厚労省と日本健康会議において、毎年、全保険者を対象として調査を実施し、その結果を公表。
②「日本健康会議 データポータルサイト」を開設し、県別や業界別などの形で取組状況を「見える化」。
- ◆ 地域版の日本健康会議の開催も進めていく。

<2020年度の開催状況>

日時・会場：2020年9月30日（水）@イイノホール & カンファレンスセンター

1. 主催者・来賓挨拶

日本健康会議共同代表 日本商工会議所 会頭 三村 明夫
内閣官房長官 加藤 勝信
厚生労働大臣 田村 憲久
経済産業大臣 梶山 弘志

2. 保険者の取組状況の報告～4年目を迎えた「宣言」達成状況の概要～

(1) 「健康なまち・職場づくり宣言2020」達成状況の報告

日本健康会議事務局長 渡辺 俊介

(2) 保険者の取組状況の報告 健康保険組合連合会 副会長 佐野 雅宏
全国健康保険協会 理事長 安藤 伸樹
国民健康保険中央会 理事長 原 勝則
全国後期高齢者医療広域連合協議会 会長 横尾 俊彦

3. 日本健康会議の成果とこれからの「健康なまち・職場づくり」

日本健康会議共同代表 公益社団法人日本医師会 名誉会長 横倉 義武
(ほか)



『日本健康会議2020』の様子

保険者等に対して適切な予防健康事業の実施を促進するため、**予防・健康づくりの健康増進効果等のエビデンスを確認・蓄積するための実証事業を行う。**

● 実証事業の内容（予定）

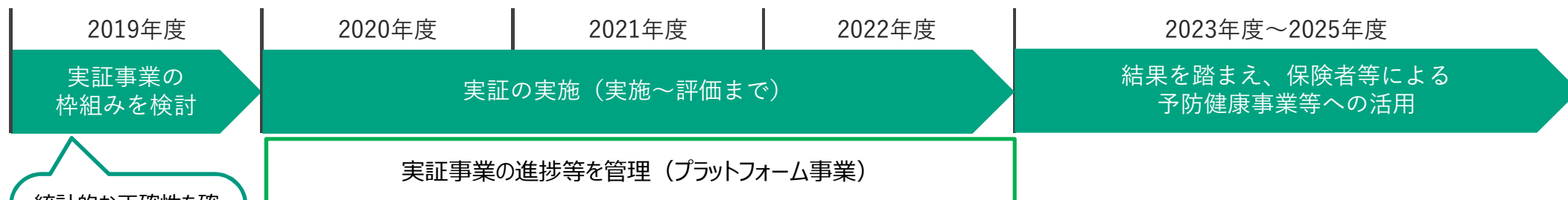
- 特定健診・保健指導の効果的な実施方法に係る実証事業
- がん検診のアクセシビリティ向上策等の実証事業
- 重症化予防プログラムの効果検証事業
- 認知症予防プログラムの効果検証事業
- 認知症共生社会に向けた製品・サービスの効果検証事業
- 複数コラボヘルスを連携させた健康経営の効果検証事業

- 歯周病予防に関する実証事業
- AI・ICT等を活用した介護予防ツール等の効果・普及実証事業
- 健康増進施設における標準的な運動プログラム検証のための実証事業
- 女性特有の健康課題に関するスクリーニング及び介入方法検証のための実証事業
- 食行動の変容に向けた尿検査及び食環境整備に係る実証事業
- 健康にやさしいまちづくりのための環境整備に係る実証事業

(●：厚生労働省、○：経済産業省)

● 全体スケジュール（案）

成長戦略実行計画では、2020年度から実証を開始し、その結果を踏まえて2025年度までに保険者等による予防健康事業等に活用することとされていることを踏まえ、以下のスケジュールで事業を実施する。



統計的な正確性を確保するため、実証事業の検討段階から、統計学等の有識者に参加を求め、分析の精度等を担保

【参考】経済財政運営と改革の基本方針（骨太）2019～抜粋～

③疾病・介護の予防（iii）エビデンスに基づく政策の促進

上記（i）や（ii）の改革を進めるため、エビデンスに基づく評価を取組に反映していくことが重要である。このため、データ等を活用した予防・健康づくりの健康増進効果等を確認するため、エビデンスを確認・蓄積するための実証事業を行う。

個別の実証事業について（保険局分）

令和4年度概算要求額：4.3億円
（令和3年度予算案：4.5億円）

● 特定健診・保健指導の効果的な実施方法に係る実証事業

特定健診・保健指導は、施行（2008年度）から11年経過し、目標（特定健診70%以上、特定保健指導45%以上（2023年度））とは依然乖離がある（それぞれ55.6%、23.2%（2019年度））ものの、実施率は着実に向上し、保険者ごとに様々取組が進んでいる。健康寿命の延伸を目指す中で、より健康増進効果等がある特定健診・保健指導の取組はどのようなものかについて、検証する。

（実証スケジュール（案））

| 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度～2025年度 |
|---|--|--|---|--|
| 実証事業の 枠組みを検討 | 実証の実施（実施～評価まで） | | | 結果を踏まえ、保険者等による 予防健康事業等への活用 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・実証事業全体のスキームにおける位置づけを検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病予防に関連する文献レビュー・保険者の取組についての調査を行い、現状のエビデンスについて整理。 ・NDB等の既存データベースでの分析。 ・事業対象者、介入手法、アウトカム等の分析デザインを検討。 ・（文献レビューと分析デザインの検討を踏まえた）実証フィールドの選定。 ・試行的なデータ収集。 | <ul style="list-style-type: none"> ・分析デザインに沿って実証フィールドでのデータ（介入実施の有無や状態の変化等のアウトカムデータ等）収集を実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・データ収集を継続 ・分析用データの作成 ・データ分析・評価：第三者の視点も加えて実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・2024年度（医療費適正化計画第4期の開始年度）からの特定健診等基本指針、運用等に反映 |

● 重症化予防プログラムの効果検証事業

人工透析にかかる医療費は年間総額約1.57兆円となっており、その主な原疾患である糖尿病性腎症の重症化予防は、健康寿命の延伸とともに、医療費適正化の観点で喫緊の課題である。専門医療機関等における介入のエビデンスは存在するが、透析導入患者をみると適切に医療を受けてこなかったケースも多く、医療機関未受診者を含めた戦略的な介入が必要である。このため、保険者において実施されている重症化予防の取組について、腎機能等一定の年月を必要とする介入・支援の効果やエビデンスを検証する。

（実証スケジュール（案））

| 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度～2025年度 |
|---|--|--|--|---|
| 実証事業の 枠組みを検討 | 実証の実施（実施～評価まで） | | | 結果を踏まえ、保険者等による 予防健康事業等への活用 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・実証事業全体のスキームにおける位置づけを検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・既存の研究事業の効果検証の結果を踏まえ、実証事業に反映 ・実証フィールドの検証（市町村など100保険者） | <ul style="list-style-type: none"> ・実証フィールド（約200保険者）での実施 ・病期別の介入とデータ収集 | <ul style="list-style-type: none"> ・実証フィールド（約200保険者）での実施 ・実証分析・評価：第三者の視点も加えて実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病性腎症重症化予防プログラム等への反映を検討 |

保険者とかかりつけ医等の協働による加入者の予防健康づくり（モデル事業）

令和4年度概算要求額：1.2億円
 （令和3年度予算額：1.0億円）

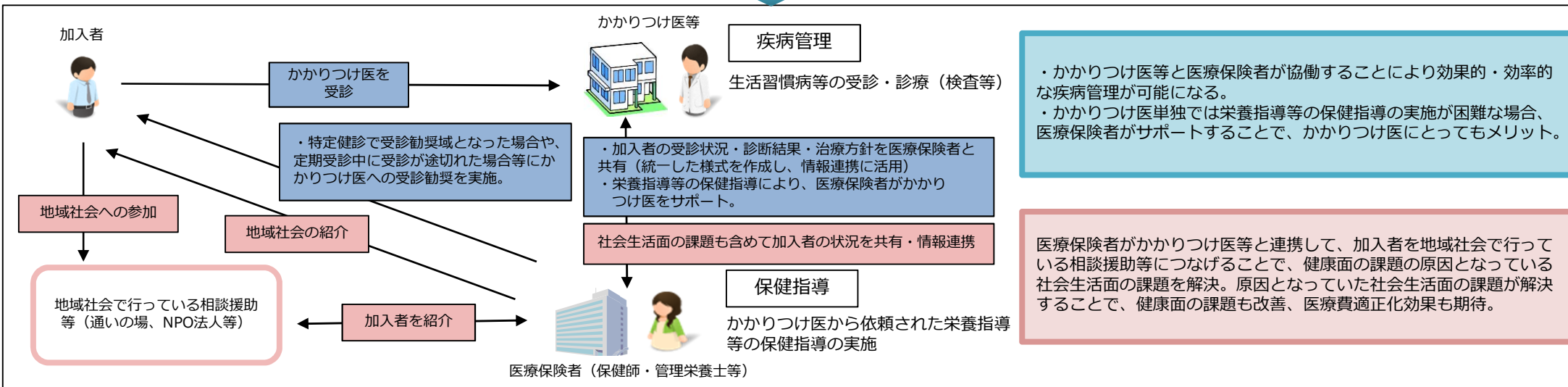
- 特定健診の結果、受診勧奨判定とされた加入者について、保険者がかかりつけ医等と連携し生活習慣病の重症化予防を図る必要があるものの、現状、かかりつけ医での診療と、特定保健指導をはじめとした医療保険者の取組との間で、連携する仕組みが乏しい。
- 社会生活面の課題が生活習慣病の治療を困難にしている場合（※）もあるため、地域社会で行っている相談援助等も活用しながら社会生活面の課題解決に向けた取組みが重要である。
- そのため、引き続き、保険者による受診勧奨を契機として、かかりつけ医等と医療保険者が協働し、加入者の健康面や社会生活面の課題について情報共有しながら、加入者の重症化予防に必要な栄養指導等の保健指導の実施や地域社会で行っている相談援助等の活用を進めることで、加入者の健康面及び社会生活面の課題を解決するための取組みを推進する。

（※）孤立による食事意欲の低下などの社会的な課題のため糖尿病に対する食事療法が困難な場合に、地域社会での交流等につなげることで孤立を解消、食事療法にも取り組むことで糖尿病を改善

【現状】

- ・特定健診において受診勧奨領域となった加入者は医療機関を受診、疾患として診断された場合、栄養指導等を含めた診療を受ける。特定保健指導の対象者にもなっている場合、特定保健指導を別途受診する必要があるが、医療機関との連携が不十分な場合、栄養指導等が重複して実施される可能性がある。
- ・生活習慣病の重症化に影響する社会生活面の課題を解決する仕組みがない。

【望ましい姿】



● スケジュール（案）

2021年度

2022年度

2023年度

2024年度

モデル事業実施（保険者協議会で数力所）

モデル事業実施結果取り纏め

実施結果を踏まえ保健指導プログラム・特定健診等
実施計画へ反映

東日本大震災の特別措置の延長 (医療保険者等への財政支援措置)

令和4年度概算要求額

38億円(38億円)

(ほか介護分:0.7億円(0.7億円))

(計:38.6億円(38.6億円))

()の金額は令和3年度当初予算額

1. 一部負担金の免除等による財政支援<29.3億円(29.3億円)>

①一部負担金の免除等による財政支援

(29.1億円(29.1億円))

東電福島第一原発の事故により設定された避難指示区域等の住民の方の医療機関等で一部負担金を免除した保険者等への補助

②特定健診の自己負担金の免除等による財政支援等

(0.2億円(0.2億円))

東電福島第一原発の事故により設定された避難指示区域等の保険者等への補助

- ・ 特定健康診査等に係る自己負担金に対する助成
- ・ 避難先の保険者と被災元の保険者が実施する特定健康診査等の費用との差額に対する助成
- ・ 被災者に対する特別措置についての周知事業

2. 保険料の免除による財政支援 <8.6億円(8.6億円)>

①保険料の免除による財政支援(7.3億円(7.3億円))※

東電福島第一原発の事故により設定された避難指示区域等の住民の方の保険料を免除した保険者等への補助

※このほか、介護分0.7億円(0.7億円)

②固定資産税の課税免除に伴う保険者への財政支援

(1.3億円(1.3億円))

東電福島第一原発の事故により設定された避難指示区域等の固定資産税の免除に伴う保険料減収分の1/2を財政支援

